

NEC

MultiWriter 2800N 2800 2300N



レーザープリンター

ユーザズマニュアル

このユーザーズマニュアルは、必要なときすぐに参照できるよう、お手元に置いておくようにしてください。

安全にかかわる表示について

プリンターを安全にお使いいただくために、このユーザーズマニュアルの指示に従って操作してください。このユーザーズマニュアルには製品のどこが危険か、指示を守らないとどのような危険に遭うか、どうすれば危険を避けられるかなどについて説明されています。

また、製品内で危険が想定される箇所またはその付近には警告ラベルが貼り付けられています。

ユーザーズマニュアルならびに警告ラベルでは、危険の程度を表す言葉として「警告」と「注意」という用語を使用しています。それぞれの用語は次のような意味を持つものとして定義されています。



指示を守らないと、人が死亡する、または重傷を負うおそれがあることを示します。



指示を守らないと、火傷やけがのおそれ、および物的損害の発生のおそれがあることを示します。

危険に対する注意・表示は次の3種類の記号を使って表しています。それぞれの記号は次のような意味を持つものとして定義されています。

	この記号は指示を守らないと、危険が発生するおそれがあることを示します。記号の中の絵表示は危険の内容を図案化したものです。(注意の喚起)	 (感電注意)
	この記号は行為の禁止を表します。記号の中や近くの絵表示はしてはならない行為の内容を図案化したものです。(行為の禁止)	 (接触禁止)
	この記号は行為の強制を表します。記号の中の絵表示はしなければならない行為の内容を図案化したものです。危険を避けるためにはこの行為が必要です。(行為の強制)	 (プラグを抜け)

ユーザズマニュアルおよび 警告ラベルで使用する記号とその内容

注意の喚起

	毒性の物質による被害のおそれがあることを示します。		火傷を負うおそれがあることを示します。
	レーザー光による失明のおそれがあることを示します。		指などがはさまれるおそれがあることを示します。
	発煙または発火のおそれがあることを示します。		特定しない一般的な注意・警告を示します。
	感電のおそれがあることを示します。		

行為の禁止

	プリンターを分解・修理・改造しないでください。感電や火災のおそれがあります。		指定された場所には触らないでください。火傷・感電などの傷害が起こるおそれがあります
---	--	---	---

行為の強制

	プリンターの電源プラグをコンセントから抜いてください。火災や感電のおそれがあります。
---	--

商標について

MultiWriter、PrintAgent、MOPYING、NMPSは日本電気株式会社の登録商標です。

Microsoft、Windows、Windows NT、MS-DOSは米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。

Netscapeは米国 Netscape Communications Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。

i486は米国Intel Corporationの商標です。

HPは米国Hewlett-Packard Companyの商標です。

ESC/Pはセイコーエプソン株式会社の登録商標です。

NetWare、IntranetWareは米国Novell, Inc.の登録商標です。

Macintosh、Mac OS、QuickDraw、QuickDraw GX、LocalTalk、TrueType、漢字Talkは米国Apple Computer, Inc.の米国およびその他の国における登録商標です。

IBM、ATは米国International Business Machines Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。

UNIXはThe Open Groupの米国ならびに他の国における登録商標です。

Ethernetは米国ゼロックス社の登録商標です。

Adobe、AcrobatおよびPhotoshopはAdobe Systems Incorporated（アドビシステムズ社）の商標です。

DocuWorksは富士ゼロックス株式会社の商標です。

その他記載の会社名および商品名は各社の商標または登録商標です。

Windows MeはMicrosoft Windows Millennium Edition operating systemの略です。Windows 98はMicrosoft Windows 98 operating systemの略です。Windows 98 Second EditionはMicrosoft Windows 98 Second Edition operating systemの略です。Windows 95はMicrosoft Windows 95 operating systemの略です。Windows 2000はMicrosoft Windows 2000 Professional operating systemおよびMicrosoft Windows 2000 Server operating systemの略です。Windows 2000 Advanced ServerはMicrosoft Windows 2000 Advanced Server operating systemの略です。Windows 2000 Datacenter ServerはMicrosoft Windows 2000 Datacenter Server operating systemの略です。Windows NT 4.0はMicrosoft Windows NT Workstation operating system Version 4.0およびMicrosoft Windows NT Server network operating system Version 4.0の略です。Windows NT Server 4.0, Terminal Server EditionはMicrosoft Windows NT Server network operating system Version 4.0, Terminal Server Editionの略です。Windows NT Server, Enterprise Edition 4.0はMicrosoft Windows NT Server, Enterprise Edition network operating system Version 4.0の略です。Windows NT 3.51はMicrosoft Windows NT Workstation operating system Version 3.51およびMicrosoft Windows NT Server network operating system Version 3.51の略です。Windows NT 3.5はMicrosoft Windows NT Workstation operating system Version 3.5およびMicrosoft Windows NT Server network operating system Version 3.5の略です。Windows 3.1はMicrosoft Windows operating system Version 3.1の略です。

ご注意

1. 本書の内容の一部または全部を無断転載することは禁止されています。
2. 本書の内容に関しては将来予告なしに変更することがあります。
3. NECの許可なく複製・改変などを行うことはできません。
4. 本書は内容について万全を期して作成致しましたが、万一ご不審な点や誤り、記載もれなどお気づきのことがありましたら、お買い求めの販売店にご連絡ください。
5. プリンターの機能の一部は使用する環境あるいはソフトウェアによってはサポートされない場合があります。
6. 運用した結果の影響については4項および5項にかかわらず責任を負いかねますのでご了承ください。
7. 本製品を第三者に売却・譲渡する際は必ず本書も添えてください。

はじめに

このたびはNECのプリンターをお買い求めいただき、まことにありがとうございます。

MultiWriter 2800N/2800/2300Nは高性能なCPUを採用し、省スペース、高速ウォームアップ、高速スループットを実現した、NECが提唱する「MOPYING」コンセプトに基づき開発されたプリンターです。さらに、用途に合わせた豊富な給紙を実現しています。

それぞれの特長を以下に示します。

- **MultiWriter 2800N**
 - ー 最高28ページ/分の印刷速度(A4サイズ横の場合)
 - ー ネットワークインターフェース標準装備
 - ー 両面印刷機能を標準
 - ー 2段カセット標準
 - ー 最大給紙容量1850枚
 - ー 最高1500dpi相当の解像度(600dpi+SET)
- **MultiWriter 2800**
 - ー 最高28ページ/分の印刷速度(A4サイズ横の場合)
 - ー 両面印刷機能を標準
 - ー 2段カセット標準
 - ー 最大給紙容量1850枚
 - ー 最高1500dpi相当の解像度(600dpi+SET)
 - ー 2つのパラレルインターフェースコネクター搭載
- **MultiWriter 2300N**
 - ー 最高20ページ/分の印刷速度(A4サイズ横の場合)
 - ー ネットワークインターフェース標準装備
 - ー 両面印刷機能を標準
 - ー 2段カセット標準
 - ー 最大給紙容量1350枚
 - ー 最高2400dpi相当の解像度(1200dpi+SET)

また、Windows環境でより簡単に、より快適に使用していただける印刷統合管理ソフトウェア「PrintAgent」に対応しています。PrintAgentにより、プリンターの状態や印刷の進行状況を確認したり、より快適な「MOPYING」を実現しています。

「MOPYING」については、「プリンティングスタイル「MOPYING」とは」(6ページ)をお読みください。



マニュアルの種類と使い方

MultiWriter 2800N/2800/2300N本体や付属のプリンターソフトウェアの取り扱い方を説明したマニュアルには、「ユーザーズマニュアル(本書)」と「オンラインマニュアル(3つ)」があります。オンラインマニュアルは添付のプリンターソフトウェアCD-ROMの[MANUAL]フォルダーに収録されており、パソコンの画面(「Adobe Acrobat Reader」)を使って閲覧できます。目的に応じてマニュアルをお読みいただき、MultiWriter 2800N/2800/2300Nを十分にご活用ください。



MultiWriter 2800N/2800/2300N ユーザーズマニュアル(本書)

プリンターを箱から取り出して印刷するまでの手順やプリンターソフトウェアのインストールなど操作の基本的なことから、ネットワークの設定などのより進んだ使い方、日常の保守、および正しく動作しない場合の対処方法をこの1冊で説明しています。本書はいつでもご覧になれるようにお手元に置いてください。



オンラインマニュアル 「プリンターの設定と技術仕様」

MultiWriter 2800N/2800/2300Nでメニューモードや制御コードを使ってできるプリンターの設定内容や、技術情報などを詳細に説明しています。必要に応じて印刷していただくとプリンターの近くでご覧になれます。



オンラインマニュアル 「プリンターソフトウェアの詳細」

プリンタードライバーやPrintAgent、MultiWriter 2800N/2800/2300Nで使われるプリンターソフトウェアについて詳細に説明しています。



オンラインマニュアル 「ネットワークセットアップガイド」

プリンターをネットワークに接続して使う場合のIPアドレスの設定方法や、インターネットプリンティングプロトコル(IPP)について詳細に説明しています。

本書の読み方

MultiWriter 2800N/2800/2300Nのユーザーズマニュアルは第1部と第2部で構成されています。

第1部ではプリンターを箱から出してから、設置、プリンターソフトウェアのインストール、基本的な操作、より進んだ便利な使い方までを記載しています。また、日常的な保守のしかた、故障かなと思ったときの対処方法を記載していますので、必要に応じてお読みください。

第2部ではMultiWriter 2800N/2800/2300Nをネットワークプリンターとしてお使いになる場合の設定方法をネットワークシステム管理者(アドミニストレーター)を対象として記載しています。

このほか、巻末にMultiWriter 2800N/2800/2300Nの仕様、用紙の規格について説明している付録があります。必要に応じてお読みください。

次ページに知りたい内容別のユーザーズマニュアルガイドを示します。

— ✓ チェック —

1ページから始まる「安全にお使いいただくために」にはプリンターを安全にお使いいただくための注意事項が記載してあります。必ずお読みください。

第1部 プリンターの操作と設定

プリンターを設置する	1章 プリンターの設置
コンピューターと接続する	
ネットワークに接続する	
プリンターソフトウェアをインストールする	2章 プリンターソフトウェアのインストール
プリンターソフトウェアについて	
用紙について	3章 用紙のセット
プリンターの基本的な使い方	4章 操作パネルについて
便利な機能を使う	5章 より進んだ使い方
日常の保守について	6章 日常の保守
オプションについて	8章 オプション
困ったときには	
紙づまりのときは	7章 故障かな？と思ったら

第2部 IPP・LPR印刷の設定

ユーティリティを使ってIPアドレスを設定する	1章 IPアドレスの設定
IPP、LPR(TCP/IP)を使って印刷する	2章 各OSの設定
困ったときには	

付録

このプリンターの性能は？	仕様
印刷範囲が知りたい	印刷範囲
わからない用語がある	用語解説

本文中で使用する記号の意味

このユーザズマニュアルでは、表紙の裏の「安全にかかわる表示について」で説明した記号のほかに、本文中で次の2種類の記号を使っています。それぞれの記号の意味を次に示します。

記号	内 容
 重要	この注意事項および指示を守らないと、プリンターを含むコンピュータシステムに影響を与える障害が発生するおそれがあることを示しています。
 チェック	この注意事項および指示を守らないと、プリンターが正しく動作しない場合があることを示しています。

目次

安全にかかわる表示について	
ユーザズマニュアルおよび警告ラベルで 使用する記号とその内容	
はじめに	iii
マニュアルの種類と使い方	iv
本書の読み方	iv
安全にお使いいただくために	1
警告ラベルについて	1
安全上のご注意	2
プリンティングスタイル「MOPYING」とは	6

第1部 プリンターの操作と設定

第1部の概要	12
--------------	----

1章 プリンターの設置 13

1 設置に必要なスペースを用意する	15
設置してはいけない場所	16
2 箱の中身を確認する	17
3 固定用部材を取り外す	18
4 各部の名称を確認する	20
MultiWriter 2800N/2300Nの名称を 確認する	20
MultiWriter 2800の名称を確認する	21
5 EPカートリッジを取り付ける	22
6 用紙をセットする	24
7 電源コードを接続する	26
8 テスト印刷をする	27
9 コンピューターに接続する	29
10 ネットワークに接続する	30
MultiWriter 2800N/2300Nをネットワークに 接続する	31
MultiWriter 2800をネットワークに接続する	36

2章 プリンターソフトウェアの インストール 43

プリンターソフトウェアCD-ROMについて	44
プリンターソフトウェアの動作環境	45
インストール方法の選択	46
CD-ROMからのインストール	48
「プラグ・アンド・プレイ」による インストール	52
Windows Me 日本語版	52
Windows 98 日本語版	53
Windows 95 日本語版	54
Windows 2000 日本語版	56
プリンター管理者向けインストール	58
インストール手順	59
パスワードの設定	61
FD作成(インストール媒体の作成)	62
プリンタードライバのみのインストール	65
Windows Me/98/95 日本語版	65
Windows 2000 日本語版	67
Windows NT 4.0 日本語版	70
Windows NT 3.51 日本語版	72
Windows 3.1 日本語版	73
印刷先の変更	75
Windows Me/98/95 日本語版	75
Windows 2000 日本語版	76
Windows NT 4.0 日本語版	77
プリンタードライバの削除	78
Windows Me/98/95 日本語版	78
Windows 2000 日本語版	79
Windows NT 4.0 日本語版	80
Windows NT 3.51 日本語版	80
Windows 3.1 日本語版	81
PrintAgentの追加・削除	82
Windows Me/98/95の場合	82
Windows 2000の場合	84
Windows NT 4.0の場合	86
その他のOS環境	87
Windows NT 3.5 日本語版/ 日本語MS-DOS環境	87
プリンターを選択する	87
プリンターを設定する	88

MS-DOS環境での両面印刷設定	88
PC-PTOS環境でプリンターを選択する	90

3章 用紙のセット 93

用紙について	94
使用できる用紙	94
用紙についての注意事項	94
用紙のセット方向	95
ホッパーに用紙をセットする	96
MPに用紙をセットする	99
手差しに用紙をセットする	102
はがき、往復はがきをセットするときの 注意	104
OHPフィルム、ラベル紙をセットする ときの注意	105
封筒をセットするときの注意	105
定形外用紙をセットするときの注意	106

4章 操作パネルについて ... 107

ディスプレイ	108
ランプ	109
スイッチ	110
通常のスイッチ機能	110
メニューモード時のスイッチ機能	114
シフト時のスイッチ機能	114
メニューモード	116
メニューモードでの設定変更のしかた	116
メニューモード設定項目一覧	117
メモリースイッチの設定変更のしかた	120
メモリースイッチの内容	121
メニューツリー	124
リレー給紙の設定	128
動作エミュレーションの切り替え	129
ESC/Pエミュレーションモード	129
プロッターエミュレーションモード	130
プロッターエミュレーションで利用の 場合の注意事項	131

PC-PTOS環境での機能	132
メニューの設定	132
メモリースイッチの設定(メニューで設定で きるものを除く)	132

5章 より進んだ使い方 133

機能の紹介	134
「PrintAgent」ツールバー	136
プリンタステータスウィンドウ	137
リプリント	141
文書を結合する	142
仕分け印刷	144
拡大・縮小印刷	146
複数ページ印刷	147
プリンターの自動切替	148
プロパティダイアログボックス	149
Windows Me/98/95の場合	149
Windows 2000の場合	151
[プリンタのプロパティ]ダイアログ ボックス	151
[印刷設定]ダイアログボックス	152
「かんたん設定」の使い方	153
Windows NT 4.0の場合	155
[デバイスプロパティ]ダイアログ ボックス	156
[ドキュメントプロパティ]ダイアログ ボックス	157
Windows NT 3.51の場合	158
[デバイスプロパティ]ダイアログ ボックス	158
[ドキュメントプロパティ]ダイアログ ボックス	159
Windows 3.1の場合	160
設定方法	162
リプリント機能	162
リプリント機能を使用するときの 注意事項	165
文書結合	167
ジョブ結合	167
ジョブ結合における両面印刷の注意事項	168
仕分け印刷の設定	169
ジョブセパレート機能	169
丁合い機能	171
電子ソート機能	173

両面印刷の設定	174
拡大・縮小印刷	176
出力用紙サイズを指定する	176
拡大・縮小率を指定する	178
拡大・縮小印刷に対応した用紙サイズを 指定する	179
複数ページ印刷	180
印刷位置の調整	181
定形外用紙サイズの設定	182

6章 日常の保守 185

EPカートリッジの交換	185
交換する前に	185
EPカートリッジの回収と購入	186
回収について	186
購入について	186
EPカートリッジの種類	186
EPカートリッジの交換手順	187
清 掃	189
清掃箇所と清掃時期	189
プリンターの清掃手順	190
リブプレートの清掃	190
プリンターの表面の清掃	192

7章 故障かな?と思ったら... 193

印刷できないときは	193
アラーム表示が出ているときは	195
印刷に異常が見られるときは	198
思うように印刷できないときは	201
PrintAgentシステムが起動しないときは	206
プリンタステータスウィンドウがおかしいときは	207
リプリント機能が動作しないときは	210
ジョブセパレート機能が動作しないときは	211
PrintAgentを正しく動作させるために	212
PrintAgentを動作させる前に	212
共有プリンターの利用/提供について ...	212
クライアント・サーバーシステムで お使いの場合	213

PrintAgentの機能を十分に発揮させるために	214
その他	215
PrintAgentの動作中は	216
PrintAgentの制限事項	216
OSをアップグレードする場合	216
紙づまりのときは	217
紙づまりの発生箇所	217
ピックアップ(用紙給紙ミス)の処理	219
紙づまりの処理	221
ピックアップ、紙づまり処理後の確認	226
ユーザーサポートについて	227
ユーザーサポートの内容	227
お客様登録申込書について	227
保証について	227
保守サービスについて	228
ユーザーズマニュアルの再購入について	229
情報サービスについて	229
プリンターソフトウェアをフロッピー ディスクで必要な場合	229
修理に出す前に	230
プリンターの寿命について	230
補修用部品について	230
プリンターを運搬するときは	231
プリンター・消耗品を廃棄するときは	231

8章 オプション 233

オプション品の紹介	235
ホッパー・カセット	235
インターフェースオプション	237
ネットワークオプション	238
Macintosh対応ドライバー	240
メモリー	241
リファレンスマニュアル	241
増設ホッパー	242
増設ホッパーの設置に必要な高さ	242
増設ホッパーの取り付け	243
増設ホッパーの取り外し	249
LANボード	250
LANボードの取り付け	250
LANボードの取り外し	251

LANボード(TCP/IP)(型番 PR-L2800-NP)の 取り付け	252
LANボード(TCP/IP)(型番 PR-L2800-NP)の 取り外し	253
LANボード取り付け後の注意事項	253
LANアダプター	255
LANアダプターの取り付け	255
LANアダプターの取り付け	256
増設メモリー	257
増設メモリーの取り付け	257
増設メモリーの取り外し	259
使用できるコンピューターとプリンターケーブル	260

第2部 IPP・LPR印刷の設定

MultiWriterを使ったネットワーク印刷	262
第2部の概要	264

1章 IPアドレスの設定 265

IPアドレスの設定方法	265
EASY設定ユーティリティ	266
PrintAgentプリンタ管理ユーティリティ	267

2章 各OSの設定 269

Windows Me 日本語版	270
① IPPクライアントソフトウェアの インストール	270
② プリンターの作成	270
③ 印刷先の変更	272
Windows 98/95 日本語版	273
① NEC Internet Printing Systemの インストール	273
② プリンターの作成	275
印刷先の変更	277
Windows 2000 日本語版	278
IPP (Internet Printing Protocol)	278

UNIX用印刷サービス (LPR)	280
UNIX用印刷サービスのインストール ...	280
プリンターの追加	280
Standard TCP/IP Port (LPR)	281
LPRバイトカウント機能	283
Windows NT 4.0 日本語版	284
NEC Internet Printing System (IPP)	284
① NEC Internet Printing Systemの インストール	284
② プリンターの作成	286
印刷先の変更	287
Microsoft TCP/IP印刷 (LPR)	288
Microsoft TCP/IP印刷サービスの インストール	289
プリンターの追加	289
ネットワークで思うように印刷できないときは	290

付録 技術情報

付録の概要	294
仕 様	295
用紙の規格	299
印刷範囲	300
定形用紙	300
Windows環境	300
MS-DOS環境、PC-PTOS環境	302
文字コード表	308
1バイト系コード表	308
2バイト系コード表	309
電子ソート機能有効時の印刷保証枚数表	315
グループプリンタ適合表	316
増設メモリー対応表	316

用語解説 318

索引 327

(空白ページ)

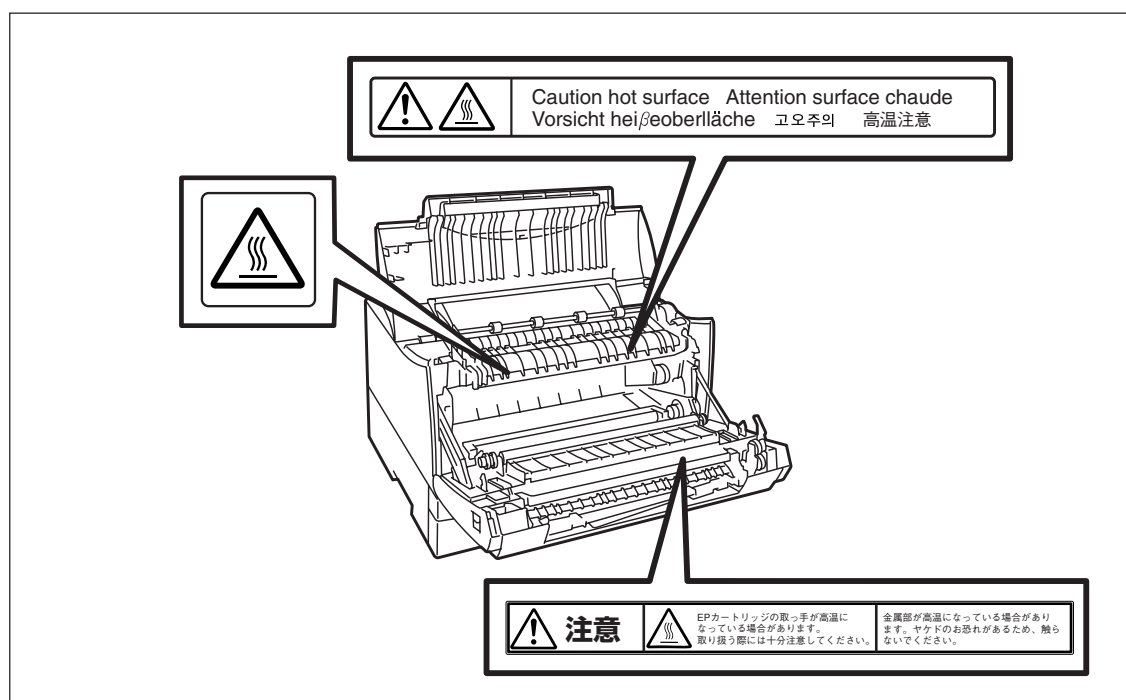


安全にお使い いただくために

警告ラベルについて

MultiWriter 2800N/2800/2300Nプリンター内の危険性を秘める部品やその周辺には警告ラベルが貼り付けられています。これはプリンターを操作する際、考えられる危険性を常にお客様に意識していただくためのものです。

警告ラベルは下図に示す場所に貼られています。もしこのラベルが貼り付けられていない、はがれかかっている、汚れているなどして読めない場合は、販売店にご連絡ください。



安全上のご注意

ここで示す注意事項はプリンターを安全にお使いになる上で特に重要なものです。この注意事項の内容をよく読んで、ご理解いただき、プリンターをより安全にご活用ください。記号の説明については表紙の裏の「安全にかかわる表示について」を参照してください。

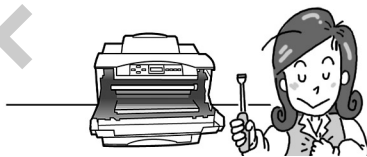
警告

プリンターの内部をのぞかない



このプリンターはレーザー（レーザーダイオード）を使用しています。電源がONになっているときに内部をのぞいたり、鏡などを差し込んだりしないでください。万一、レーザー光が目に入ると失明するおそれがあります（レーザー光は目に見えません）。

分解・修理・改造はしない



ユーザーズマニュアルに記載されている場合を除き、分解したり、修理／改造を行ったりしないでください。プリンターが正常に動作しなくなるばかりでなく、感電や火災の原因となるおそれがあります。

針金や金属片を差し込まない



通気孔などのすきまから金属片や針金などの異物を差し込まないでください。感電のおそれがあります。

煙や異臭、異音が生じたら使わない



万一、煙、異臭、異音などが生じた場合は、ただちに電源スイッチをOFFにして電源プラグをコンセントから抜いてください。その後、販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災の原因となるおそれがあります。

ぬれた手で電源プラグを抜かない



お手入れの際は電源プラグをコンセントから抜いてください。また、ぬれた手で抜き差しをしないでください。感電するおそれがあります。

⚠ 注意

こわれた液晶ディスプレイには触らない



操作パネルの液晶ディスプレイ内には人体に有害な液体があります。壊れた液晶ディスプレイから流れ出た液体が、万一、口に入った場合は、すぐにうがいをして、医師に相談してください。また、皮膚に付着したり目に入ったりした場合は、すぐに流水で15分以上洗浄して、医師に相談してください。

雷が発生しそうなきは装置に触らない



火災・感電の原因となります。雷が発生しそうなきは電源プラグをコンセントから抜いてください。また雷が鳴りだしたらケーブル類も含めて装置には触らないでください。

電源コードに薬品類をかけない



電源コードに殺虫剤などの薬品類をかけないでください。コードの被覆が劣化し、感電や火災の原因となることがあります。

プリンター内に水や異物を入れない



プリンター内に水などの液体、ピンやクリップなどの異物を入れないでください。火災や感電、故障の原因となります。もし入ってしまったときは、すぐ電源をOFFにして、電源プラグをコンセントから抜いてください。分解しないで販売店に連絡してください。

プラグの抜き差しは電源コードを引っ張らない



電源プラグを抜くときはプラグ部分を持って行ってください。コード部分を引っ張るとコードが破損し、火災や感電の原因となるおそれがあります。

損傷した電源コードは使わない



損傷した電源コードはすぐ同じものと取り替えてください。損傷部分を補修してお使いにならないでください。ビニールテープなどで補修した部分が過熱し、火災や感電の原因となるおそれがあります。

高温注意



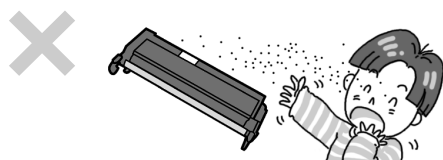
プリンターの内部には、使用中に高温になる定着ユニットという部品があります。カバーを開けて作業する場合は、十分に冷めてから行ってください。

巻き込み注意



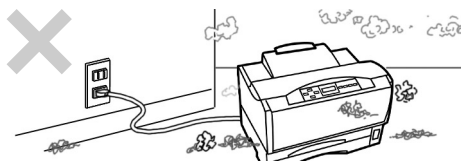
プリンターの動作中は用紙挿入口、排出口に手や髪の毛を近づけないでください。髪の毛を巻き込まれたり、指をはさまれたりしてけがをするおそれがあります。

EPカートリッジはお子様に近づけない



EPカートリッジはお子様の手の届かないところに保管してください。トナーカートリッジに入っているトナーが、目や口などに入ると健康を損なうおそれがあります。

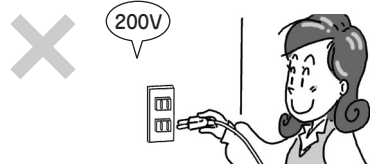
ほこり・湿気の多い場所を避ける



プリンターをほこりの多い場所、給湯器のそばなど湿気の多い場所には置かないでください。火災になることがあります。

また、プラグ部分は時々抜いて、乾いた布でほこりやゴミをよくふき取ってください。ほこりがたまったままで、水滴などが付くと発熱し、火災になることがあります。

指定外のコンセントに差し込まない



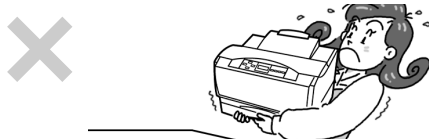
電源は指定された電圧、電流の壁付きコンセントをお使いください。指定外の電源を使うと火災や漏電になることがあります。

日の当たるところには置かない



プリンターを窓ぎわなどの直射日光が当たる場所には置かないでください。そのままにすると内部の温度が上がり、プリンターが異常動作したり、火災を引き起こしたりするおそれがあります。

プリンターを1人で持ち上げない

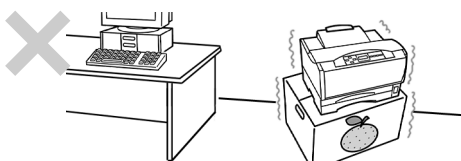


プリンターの質量はそれぞれ次のとおりです（EPカートリッジ含まず）。

- MultiWriter 2800N/2800：約17.5kg
- MultiWriter 2300N：約16.7kg

装置側面の取っ手を持ち、装置前面に手を添えて2人以上で運んでください。1人で運ぶと腰を痛めるおそれがあります。

不安定な場所に置かない



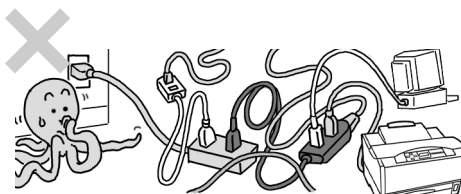
プリンターを不安定な場所には置かないでください。けがや周囲の破損の原因となることがあります。

指定以外の電源コードは使わない



プリンターに添付されている電源コード以外のコードを使わないでください。電源コードに定格以上の電流が流れると火災になるおそれがあります。

電源をたこ足配線にしない



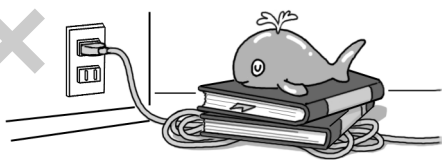
コンセントに定格以上の電流が流れると、コンセントが過熱して火災の原因となるおそれがあります。

電源プラグを中途半端に差し込まない



電源プラグは根元までしっかりと差し込んでください。中途半端な差し込みは接触不良の発熱による火災の原因となるおそれがあります。また中途半端な差し込み部にほこりがたまると、水滴などが付いたとき発熱し、火災になるおそれがあります。

電源コードは曲げたり、ねじったりしない



電源コードを無理に曲げたり、ねじったり、束ねたり、ものを載せたり、はさみ込んだりしないでください。またステーブルなどで固定することも避けてください。コードが破損し、火災や感電の原因となるおそれがあります。

プリンティングスタイル「MOPYING」とは

～MultiWriterを使って手間もコストも大幅削減！～

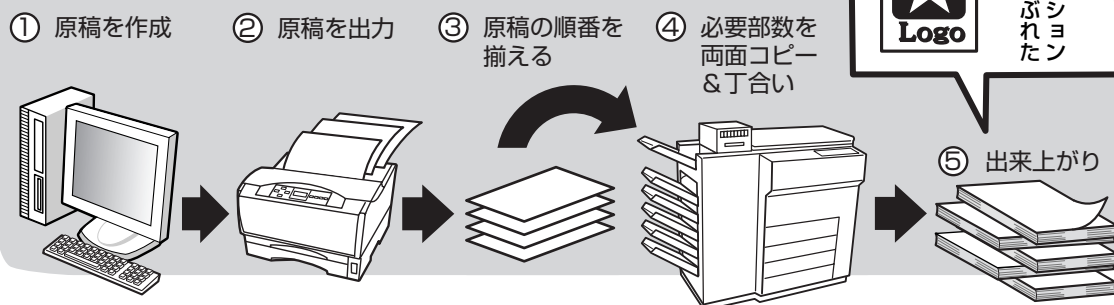
MOPYING(Multiple Original coPY and printING)とは、オリジナルのドキュメントをコピー機で複数コピーするのではなく、MultiWriterで必要部数を直接印刷する新しいドキュメント処理スタイルのことです。NEC MultiWriter 2800N/2800/2300Nに搭載されているPrintAgentの機能を使うと、MultiWriterをコピー機のような使い方ができるばかりでなく、手間のかかる原稿の準備作業がパソコン上でできます。

コピー機を使ってドキュメントを複数コピーする作業と比較すると、導入コストやランニングコストを低く抑えることができます。しかも、オリジナル出力なので仕上がりがきれいです。

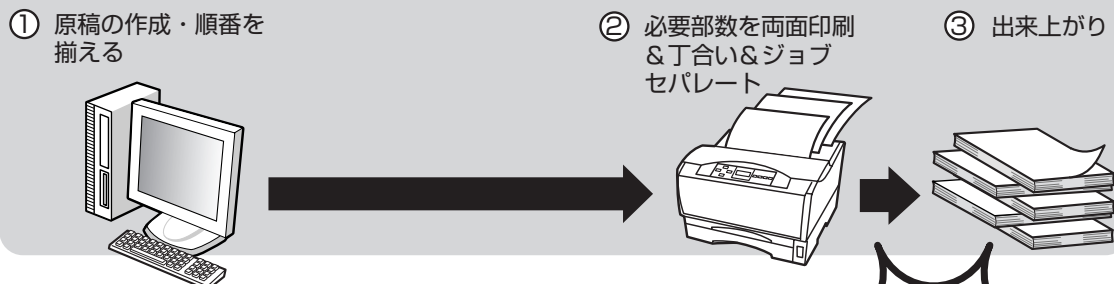
コピー機を使わずに必要部数をそのまま印刷

MultiWriter 2800N/2800/2300Nはジョブセパレート機能による簡単仕分け印刷、両面印刷機能を標準でサポートしています。例えば、会議の資料は原稿をコピー機で複数コピーするのではなく、MultiWriterで必要な分だけ直接印刷すれば、オリジナルの品質で資料が作成できます。

コピー機を使った複写出力



MOPYINGによるオリジナル出力



MultiWriter 2300Nの場合、1200dpi(47.2ドット/mm)で、MultiWriter 2800N/2800の場合、600dpi(23.6ドット/mm)の解像度に対応しています。オリジナル出力なので写真やグラフの網かけ、グラデーションがきれいに出来ます。コピー機のように、いちいち原稿に合わせて濃度調整をする必要はありません。



コピー機よりコストが安い

MultiWriterを使った場合、コピー機のような契約によるコピーチャージや定期保守費用などを必要としません。MultiWriterは感光体とトナーを一体型にしたEPカートリッジを採用することで、トナー交換の作業を容易にし、メンテナンスを不要にしています。

さらに、MultiWriter 2800N/2800は約14,000ページ*¹印刷可能なEPカートリッジ(型番: PR-L2800-12)は1枚あたり約3円*²、約6,000ページ*¹印刷可能なEPカートリッジ(型番: PR-L2800-11)は1枚あたり約5円*²と低コスト。MultiWriter 2300Nは約12,000ページ*¹印刷可能なEPカートリッジ(型番: PR-L2300-12)は1枚あたり約4円*²、約6,000ページ*¹印刷可能なEPカートリッジ(型番: PR-L2300-11)は1枚あたり約5円*²と低コスト。MultiWriterの導入は同等機能のコピー機を導入する場合と比較した場合、ランニングコストが約1/2から1/3の経費削減になります。

*¹ A4画像面積比率約5%の場合

*² 平成12年12月現在

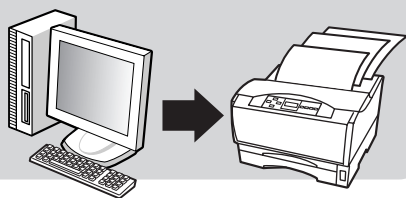
一度印刷した文書なら、すぐリプリント(再印刷)

「リプリント機能」を使うと一度でも印刷したデータなら設定範囲内でパソコンのスパールフォルダーに残しておき、再印刷することができます。これを使えば、いちいちアプリケーションを立ち上げずにコピー感覚ですぐ再印刷。

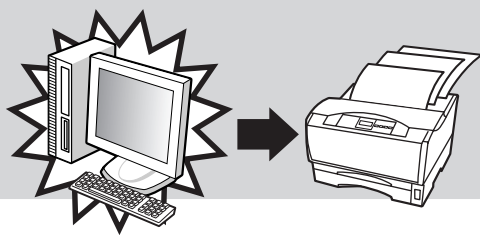
しかも蓄えた印刷データを自由に組み合わせて再印刷することも可能です。

コピー作業のように原稿を持って席とコピー機を往復することはありません。自席でPrintAgentを使って作業は終了です。

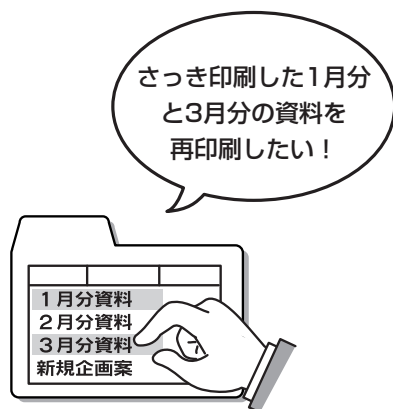
① 一度印刷したデータなら・・・



② PrintAgentが覚えているのでアプリケーションを立ち上げなくてもすぐ印刷

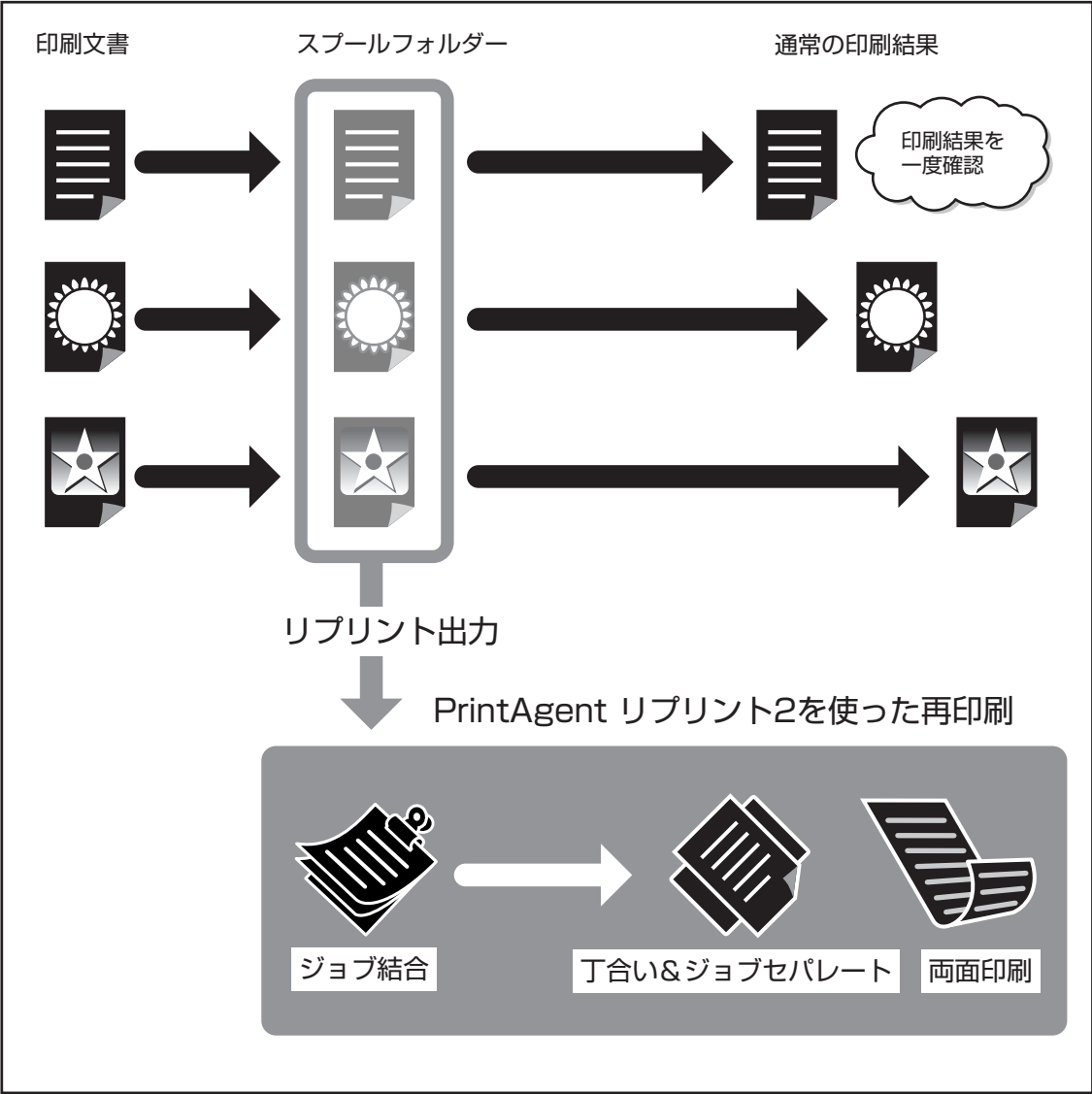


しかも、覚えているドキュメントで自由な組み合わせが可能(ジョブ結合)



さらに、再印刷する文書でも丁合い&ジョブセパレート&両面印刷で仕分けされた出力が可能です！

リプリント機能はMultiWriterに添付されている印刷統合ソフトウェア「PrintAgent」のPrintAgent リプリント2が提供します。PrintAgent リプリント2を使ったMOPYINGのフローは以下のとおりです。



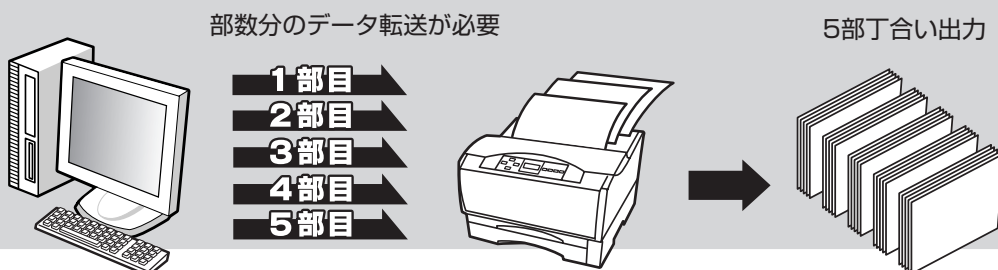
高速印刷・電子ソートですばやい仕上がり

MultiWriter 2800N/2800は、毎分28ページの高速印刷を実現(2300Nは毎分20ページ)。電子ソート機能*1を使えばパソコンからプリンターへ部数分のデータ転送が不要です*2。プリンターのメモリーに印刷データを蓄え、必要部数を印刷するのでトータル印刷処理時間が短縮されます。

*1 電子ソート機能を有効にする場合、64MB以上のメモリー増設(オプション)が必要です。

*2 増設メモリー容量、ページ数により必要枚数分データ転送を行う場合があります。

従来の丁合い機能を使った出力

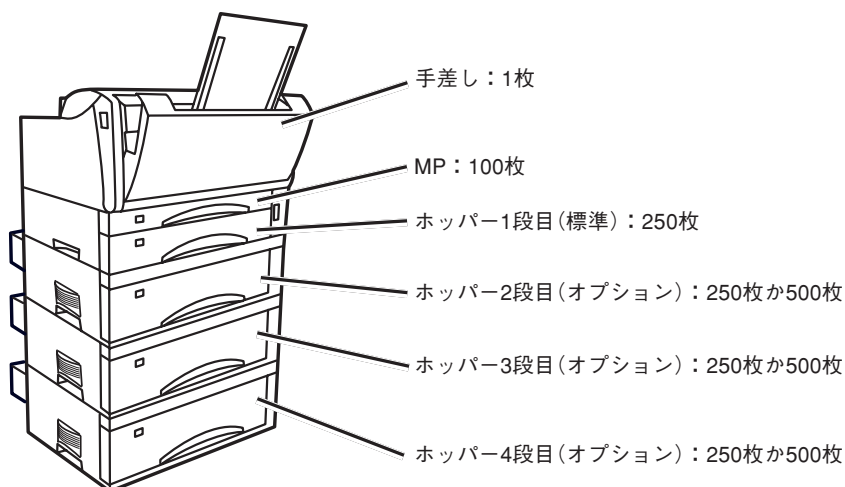


電子ソート機能を使った出力



プリンターのメモリーに蓄えられたデータを使って電子ソート

MultiWriter 2800N/2800は増設ホッパーを最高3段まで、またMultiWriter 2300Nは増設ホッパーを最高2段まで、増設が可能です。標準ホッパー、MPも合わせた用紙容量は最大1,850枚(2300Nの場合は最大1,350枚)。

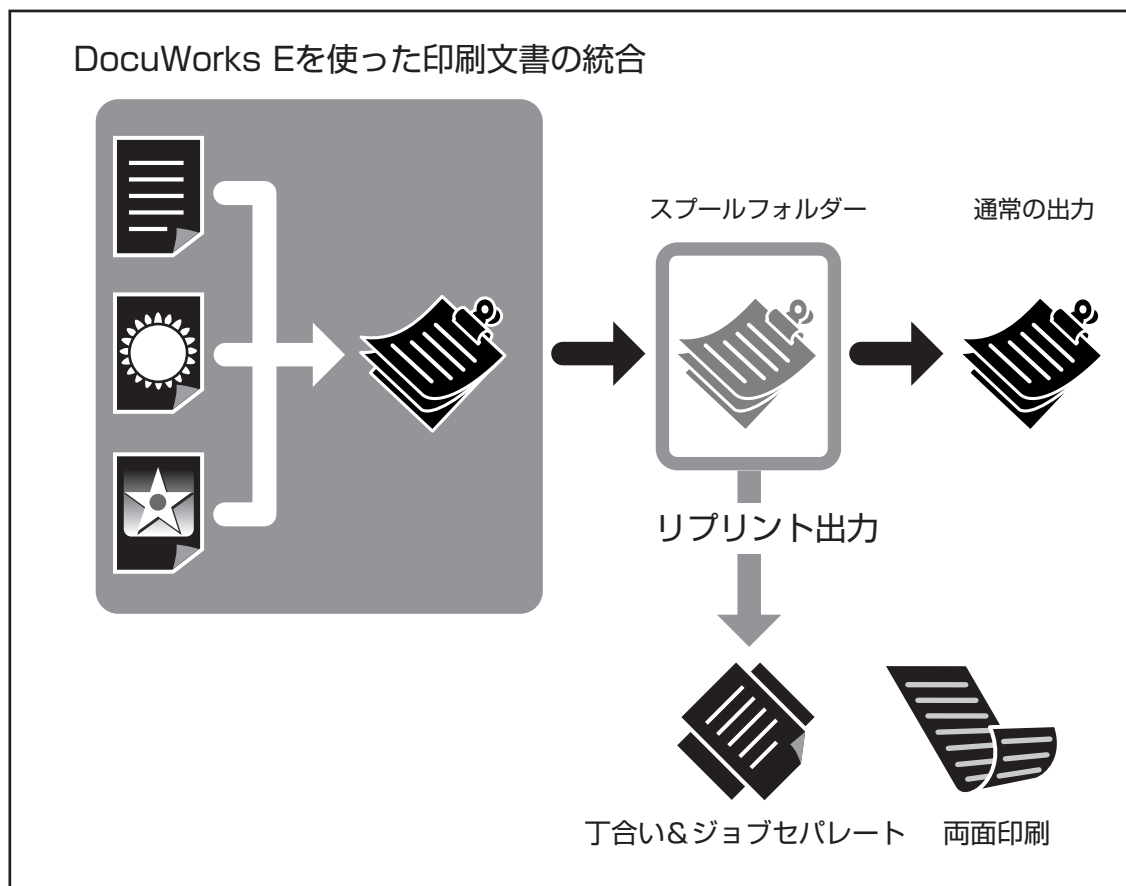


DocuWorks Eでさらに快適なMOPYING環境を

MultiWriterに標準添付されているドキュメント・ハンドリング・ソフトウェア「富士ゼロックス DocuWorks Ver.3.0E(NECバンドル版)」を使うと、さらに便利なMOPYING環境がご利用になります。

DocuWorks Eはそれぞれの文書のアプリケーションをいちいち立ち上げることなく、あたかも「ダブルクリップで原稿を束ねる」ように希望文書をページ単位で編集し、ひとまとめ(異種文書の統合)にすることができます。

さらに文書統合したデータに対してはページ順の入れ替え、見出し・ページ番号付け、出力用紙サイズに合わせた拡大・縮小なども自由自在です。DocuWorks Eを使ったMOPYINGのフローは以下のとおりです。



DocuWorks Ver. 3.0E(NECバンドル版)は、富士ゼロックス(株)が販売しているDocuWorks(製品版)の機能限定版であり、NEC製品において印刷動作を確認したものです。DocuWorksに関するお問い合わせは、以下のとおりです。

富士ゼロックス(株) お客様相談センター ☎ 0120-27-4100
URLアドレス <http://www.fujixerox.co.jp/soft/docuworks>

第1部

プリンターの操作と設定

MOPYING

MultiWriter

Network

***Compact
Speedy
High quality***

第1部の概要

第1部の各章に記載されている内容は以下のとおりです。

1章 プリンターの設置

プリンターを箱から取り出して、コンピューターやネットワークにつなぐまでの手順を説明しています。

2章 プリンターソフトウェアのインストール

プリンターソフトウェアのインストール手順について説明しています。

3章 用紙のセット

MultiWriter 2800N/2800/2300Nでお使いになれる用紙の種類、用紙のセット方法について説明しています。

4章 操作パネルについて

プリンターの操作パネル(ディスプレイ、ランプ、スイッチ)の機能について説明しています。

5章 より進んだ使い方

プリンタードライバの概要、MultiWriter 2800N/2800/2300Nのもつ便利な機能の紹介や設定方法について説明しています。

6章 日常の保守

プリンターの日常的な保守(EPカートリッジの交換、清掃など)の方法について説明しています。

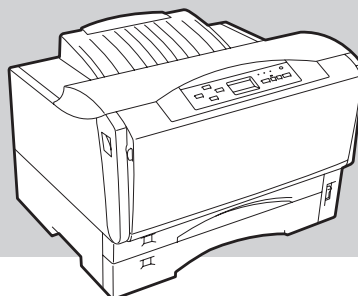
7章 故障かな？と思ったら

プリンターが思うように動作しなかった場合や紙づまりの原因、および対処方法について説明しています。

8章 オプション

プリンターの機能をさらに活用していただくため、豊富に用意されたオプション品、および使用できるプリンターケーブルについて説明しています。

1章 プリンターの設置



この章では、お買い上げになったプリンターの箱を開けてから、中身を確認し、テスト印刷、ネットワークでプリンターが使えるようになるまでを以下の手順で説明します。

1 設置に必要なスペースを用意する

2 箱の中身を確認する

3 固定用部材を取り外す

4 各部の名称を確認する

5 EPカートリッジを取り付ける

6 用紙をセットする

7 電源コードを接続する

8 テスト印刷をする

9 コンピューターに接続する

10 ネットワークに接続する

<MultiWriter 2800N/2300Nの場合>

Step 1 ネットワークケーブルを接続する

Step 2 コンフィグレーションページを印刷する

Step 3 IPアドレスとサブネットマスクを設定する

<MultiWriter 2800の場合>

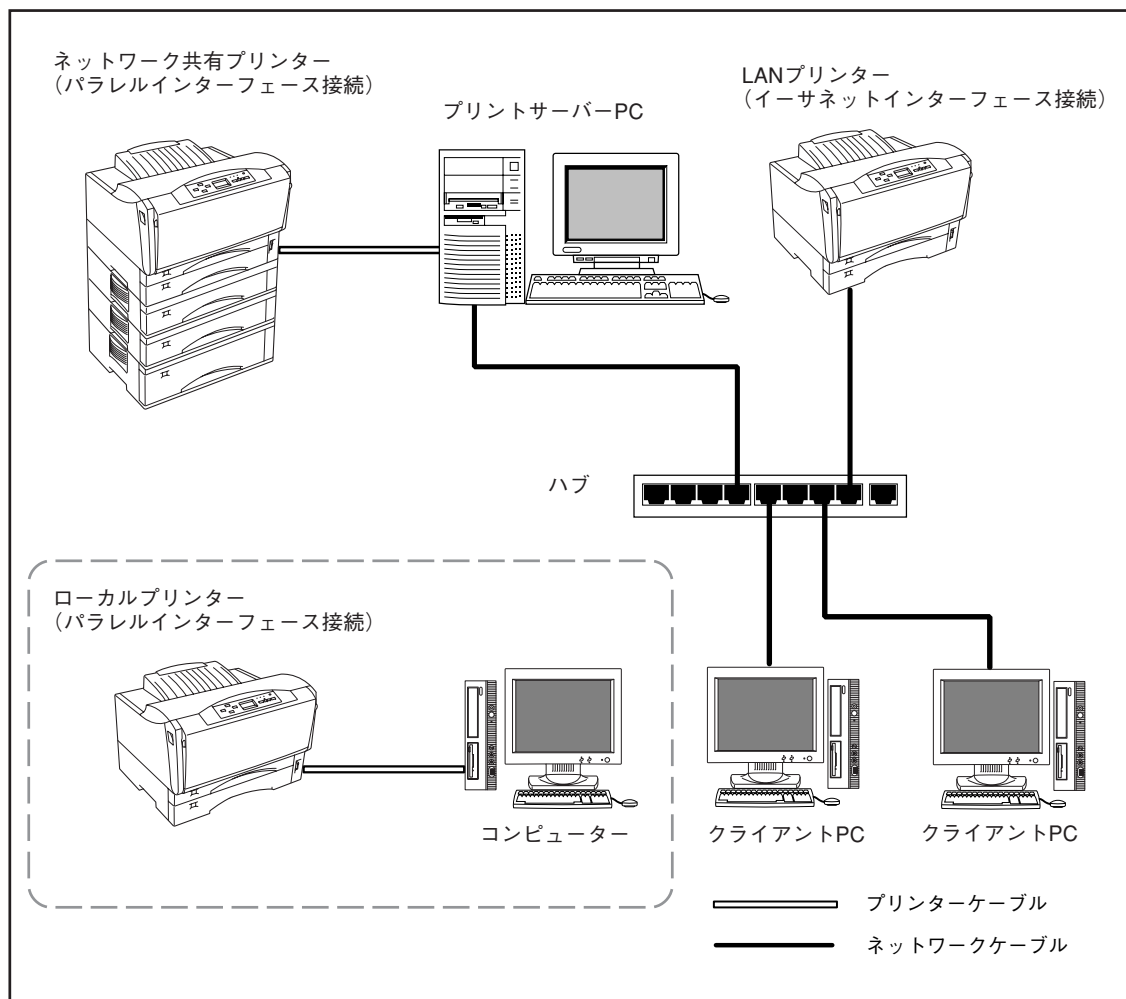
Step 1 LANボード/LANアダプターを取り付ける

Step 2 ネットワークケーブルを接続する

Step 3 コンフィグレーションページを印刷する

Step 4 IPアドレスとサブネットマスクを設定する

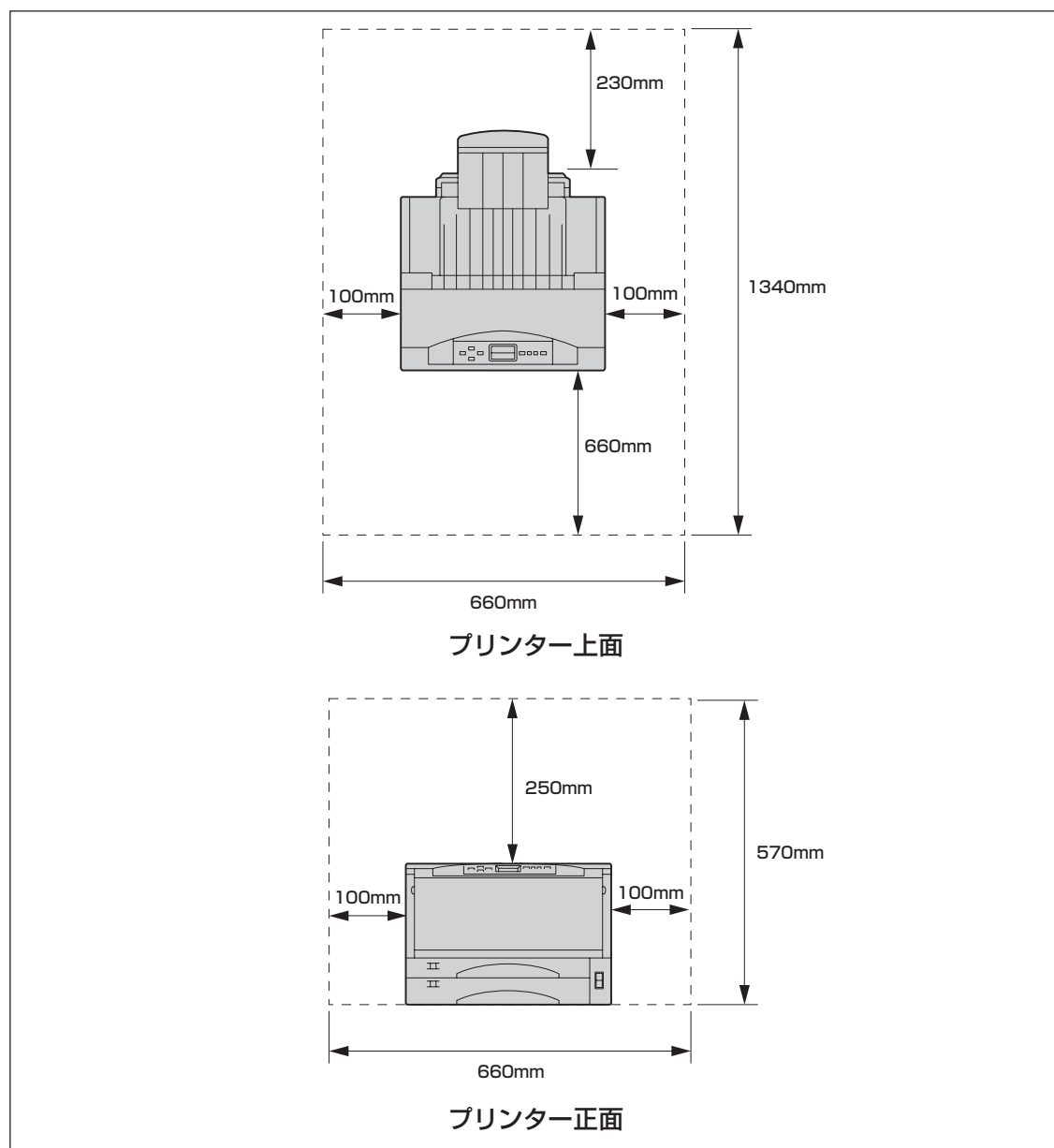
以下はMultiWriter 2800Nの接続例です。



MultiWriter 2800Nの接続例

1 設置に必要なスペースを用意する

MultiWriter 2800N/2800/2300Nを安全、快適にご使用いただくためには次のスペースを確保してください。設置にあたって注意すべき事柄を次ページに示します。

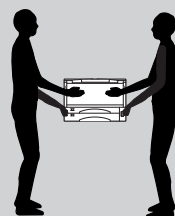


⚠ 注意

プリンターの質量はそれぞれ次のとおりです (EPカートリッジ含まず)。

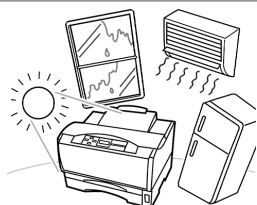
- MultiWriter 2800N : 約17.5kg
- MultiWriter 2800 : 約17.5kg
- MultiWriter 2300N : 約16.7kg

装置側面の取っ手を持ち、装置前面に手を添えて2人以上で運んでください。装置の重心は前面にありますので、前面方向へ倒れないように注意してください。1人で運ぶと腰を痛めるおそれがあります。

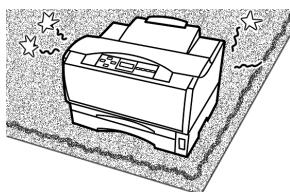


設置してはいけない場所

次のような場所には設置しないでください。



直射日光の当たる場所、湿気の多い場所、温度変化の激しい場所(暖房器、エアコン、冷蔵庫などの近く)には設置しないでください。また温度変化により結露現象が起こり故障の原因となることがあります。



じゅうたんを敷いた場所では使用しないでください。静電気による障害で装置が正しく動作しないことがあります。



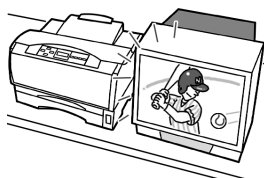
強い振動の発生する場所に設置しないでください。装置が正しく動作しないことがあります。



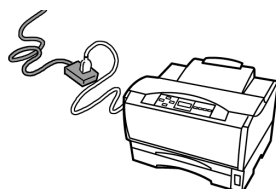
腐食性ガスの発生する場所、薬品類がかかるおそれのある場所には設置しないでください。部品が変形したり傷んだりして装置が正しく動作しなくなることがあります。



上から物が落ちてきそうな場所には設置しないでください。衝撃などにより装置が正しく動作しなくなることがあります。



ラジオやテレビなどの近くには設置しないでください。プリンターのそばで使用すると、ラジオやテレビの受信機などに受信障害を与えることがあります。



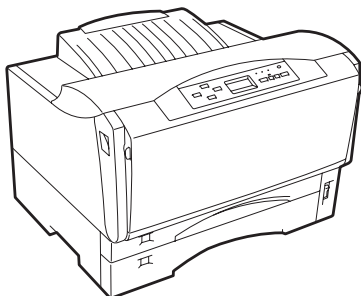
添付の電源コードだけで、コンセントに届かない場所に設置しないでください。延長コードの過容量、延長コードへのコンセントの差し込みにより発熱するおそれがあります。

2 箱の中身を確認する

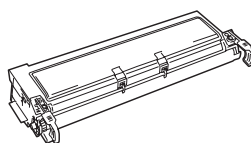
箱を開けて、まず次のものがすべてそろっていることを確認し、それぞれの点検を行ってください。万一足りないものや損傷しているものがある場合には、販売店に連絡してください。

梱包材料(箱や緩衝材など)はプリンターを運搬するときに必要となります。大切に保存しておいてください。

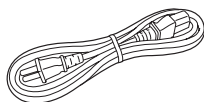
☐ MultiWriter 本体



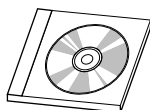
☐ EPカートリッジ



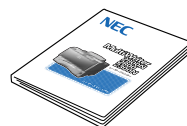
☐ 電源コード



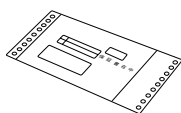
☐ プリンターソフトウェア
CD-ROM



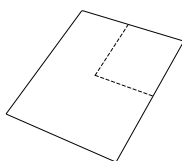
☐ ユーザーズマニュアル
(本書)



☐ 保証書



☐ お客様登録申込書



☐ NECサービス網
一覧表



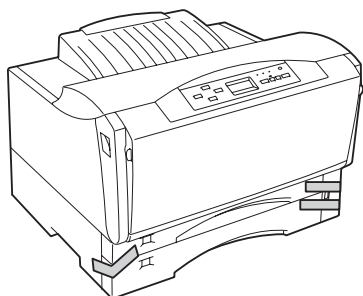
プリンターの箱を開けたら次のことを忘れずに行ってください

- お客様登録申込書に所定事項を記入して投函してください。(FAXでも受け付けております。詳しくはお客様登録申込書をお読みください。)
- 保証書、NECサービス網一覧表をなくさないよう大切に保管してください。

3 固定用部材を取り外す

プリンターは輸送中の損傷を防ぐために、動きやすい、あるいは外れやすい箇所をテープで固定してあります。次の手順に従ってテープを取り除きます。

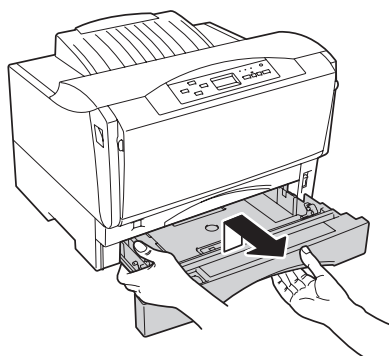
- ① プリンターの外側に貼り付けてあるテープ(3か所)をはがす。



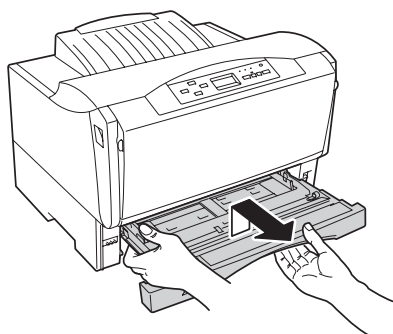
- ② 標準カセット、MPカセットをゆっくりと取り外す。

—  チェック —

カセットを取り外す際は、カセットを軽く持ち上げて取り外してください。

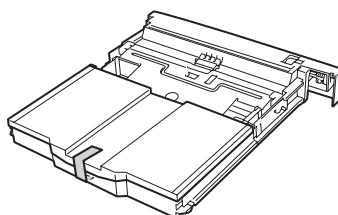


標準カセット(下)

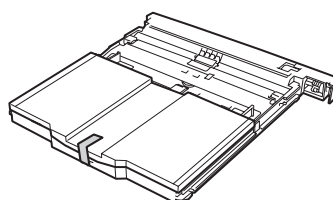


MPカセット(上)

- ③ 標準カセット、MPカセットにそれぞれ貼り付けてあるテープ(1か所)をはがす。



標準カセット



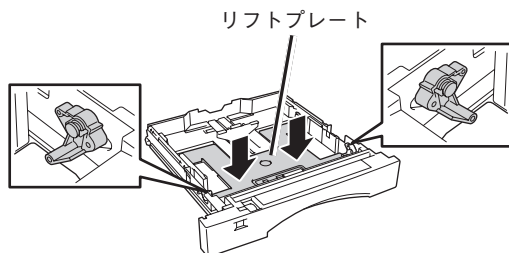
MPカセット

4 MPカセット、標準カセットをそれぞれ取り付ける。

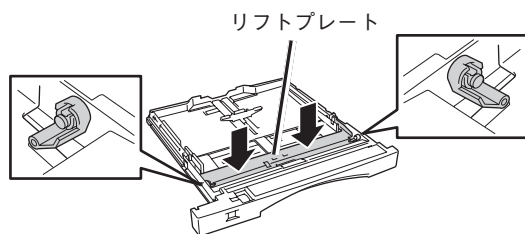
— チェック —

標準カセット、MPカセットを取り付ける前に、それぞれのカセット内のリフトプレートが確実に下がっていることを確認してください。

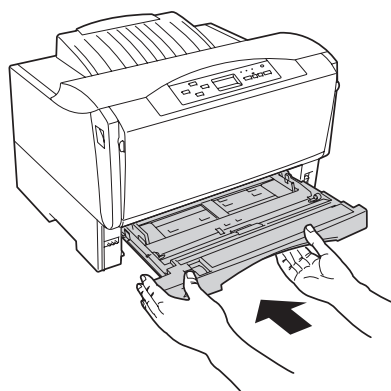
リフトプレートが完全に下がっていないと標準カセット、MPカセットをホッパー、MPにそれぞれ取り付けることはできません。



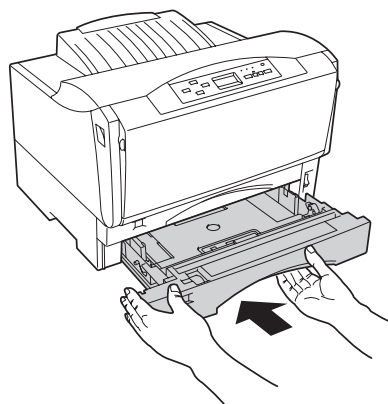
標準カセット



MPカセット



MPカセット

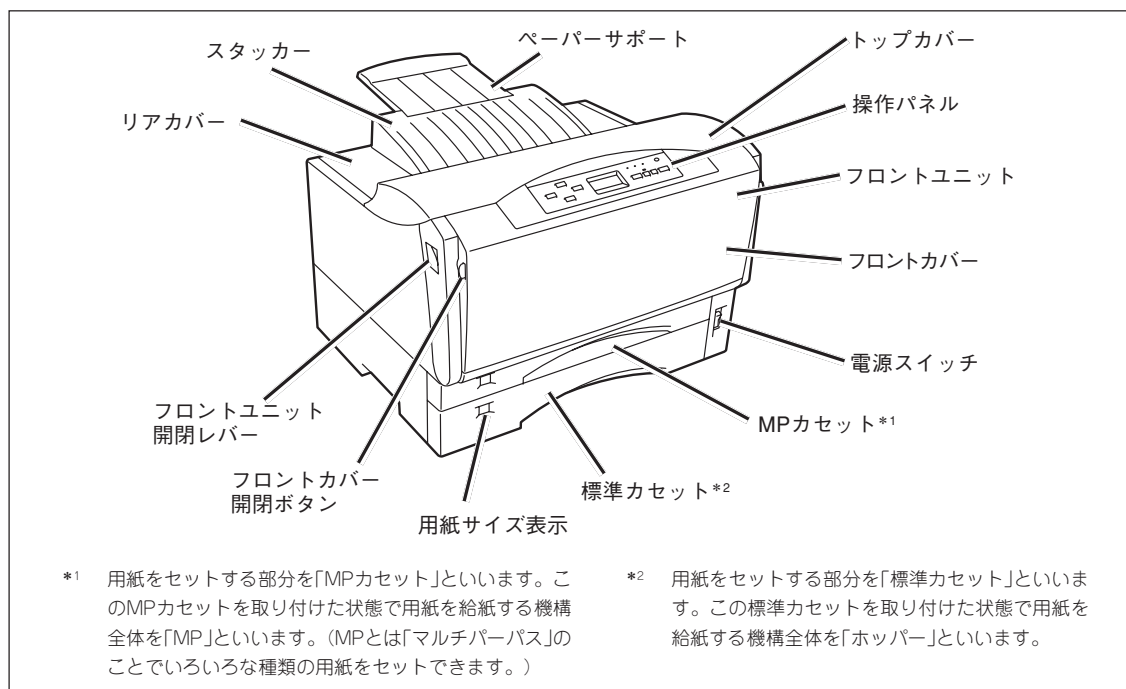


標準カセット

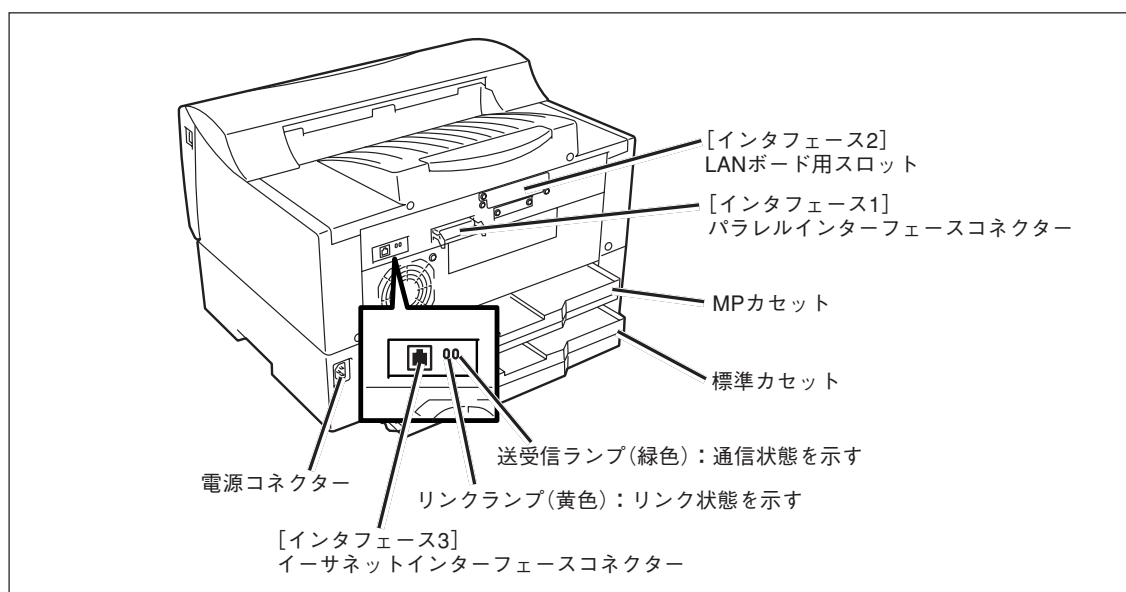
4 各部の名称を確認する

MultiWriter 2800N/2300NとMultiWriter 2800で各部の名称が異なります。プリンターを使用する前にそれぞれの名称と位置を確認してください。

MultiWriter 2800N/2300Nの名称を確認する

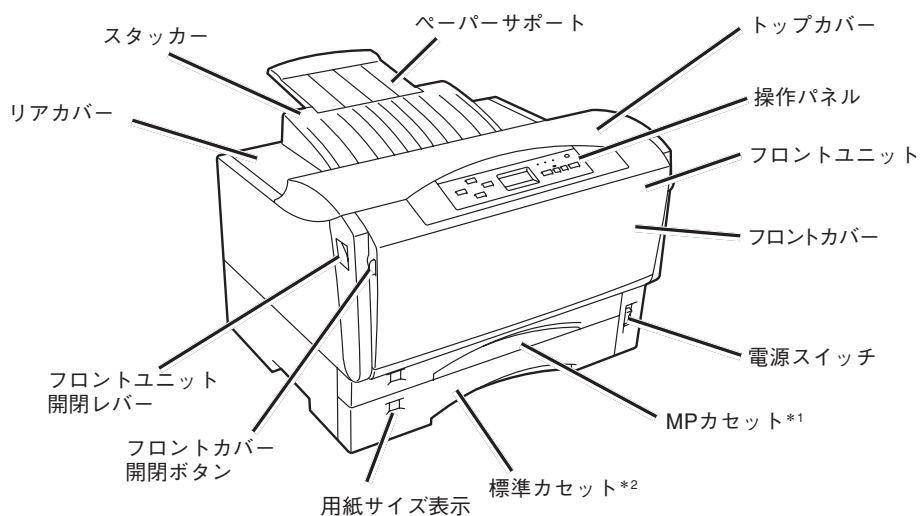


プリンター前面



プリンター背面

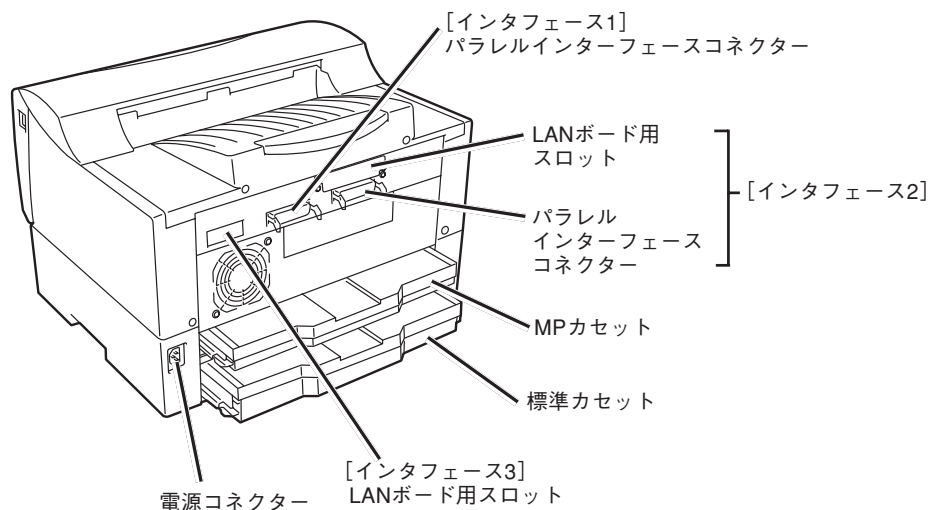
MultiWriter 2800の名称を確認する



*1 用紙をセットする部分を「MPカセット」といいます。このMPカセットを取り付けた状態で用紙を給紙する機構全体を「MP」といいます。(MPとは「マルチパーパス」のことです。)

*2 用紙をセットする部分を「標準カセット」といいます。この標準カセットを取り付けた状態で用紙を給紙する機構全体を「ホッパー」といいます。

プリンター前面

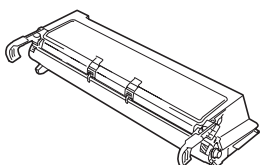


プリンター背面

5 EPカートリッジを取り付ける

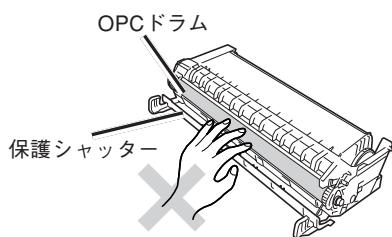
EPカートリッジは印刷を行うためのトナーやOPCドラム、現像ユニットなどが一体化されたものです。消耗品のため、印刷が薄くなったら交換します。このEPカートリッジは地球資源の有効活用を目的として回収し、再利用可能な部品は再利用しております。ご使用後はお買い上げの販売店、または添付の「NEC サービス網一覧表」に記載されているサービス施設までお持ち寄りください。

① EPカートリッジを袋から取り出す。



— 重要 —

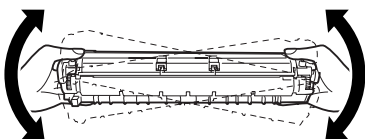
EPカートリッジのOPCドラム保護シャッター、およびOPCドラムには触らないようにしてください。



② EPカートリッジのトナーを均一にするため、水平に持って10回程度、図に示す方向にゆっくり振る。

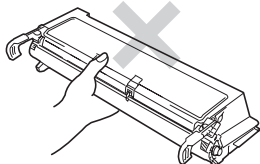
— チェック —

EPカートリッジは取っ手を持たず、図のように両端部をやさしく持ってゆっくり振ってください。

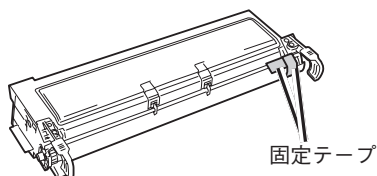


— 重要 —

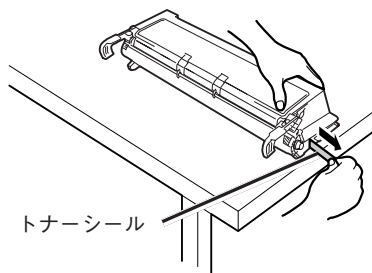
EPカートリッジの中央部を持たないでください。



③ 保護シャッターを止めているテープ(1か所)を上から下方向へはがす。



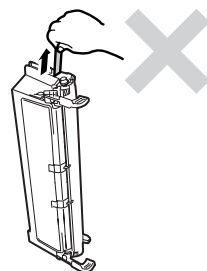
④ EPカートリッジの取っ手を手前にして、机など水平な面に置いて、側面から出ているトナーシールの端を持ち、ゆっくり引き抜く。



— 重要 —

EPカートリッジを立てた状態でトナーシールを引き抜かないでください。EPカートリッジを立てた状態でトナーシールを引くと途中で引き抜けなくなるか、切れてしまうおそれがあります。

もしトナーシールが途中で引き抜けなくなったり、あるいは途中で切れた状態のままセットすると、印刷品質が劣化するばかりでなくプリンター本体に障害が生じることがあります。

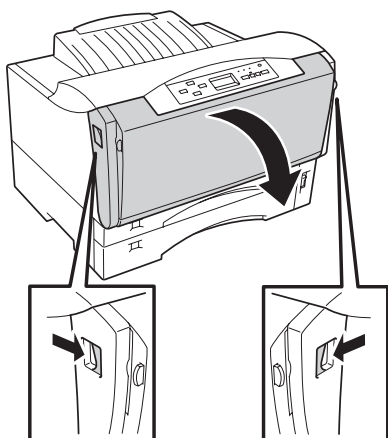


重要

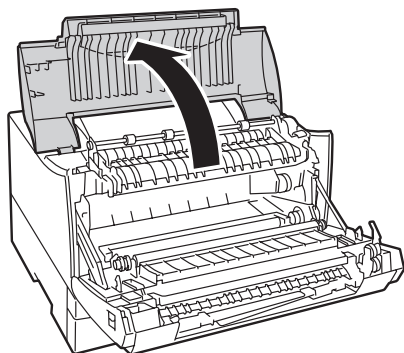
- 正常に引き抜けた場合約70cmの長さになります。正常に引き抜けなかった場合は、プリンターを購入された販売店に連絡してください。
- トナーシーンを引き抜くとき少量のトナーが出ることがあります。手や衣服などを汚さないように気をつけてください。万一、トナーが手や衣服についたら、水で洗い流してください。

- 5** 左右のフロントユニット開閉レバーを押しながら手前に引いて、フロントユニットをゆっくりと開ける。

フロントユニットが開いて止まります。

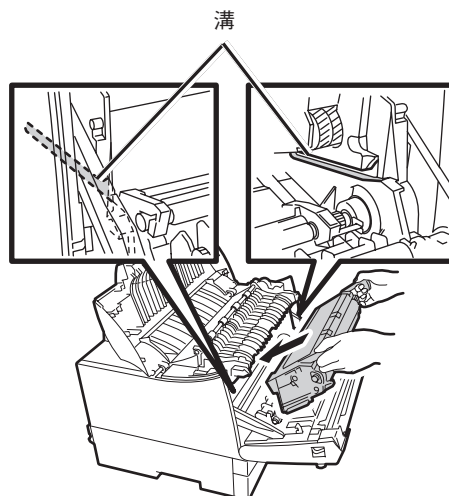


- 6** トップカバーの左右を持ち、ゆっくりと開ける。

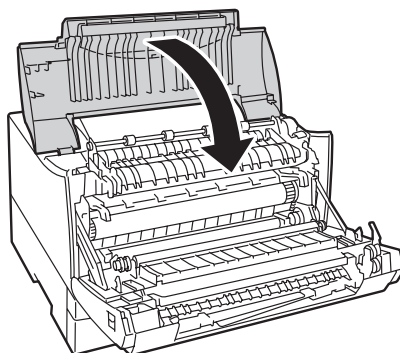


- 7** 図のようにEPカートリッジをプリンター正面に向けて、EPカートリッジの取っ手を持ちEPカートリッジの両側の突起部をプリンターの内側の溝に合わせてスライドさせ、セットする。

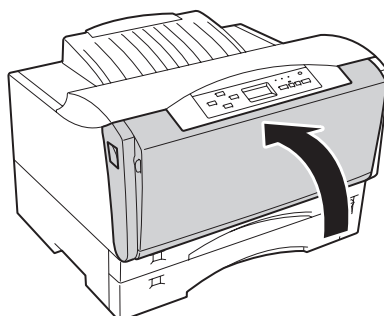
EPカートリッジが浮き上がっていたり、斜めになったりせず、確実に奥までセットされていることを確認してください。



- 8** トップカバーをゆっくりと閉じる。



- 9** フロントユニットをゆっくりと閉じる。



6 用紙をセットする

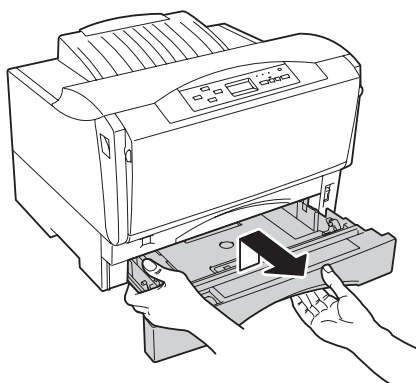
テスト印刷するためにA4サイズの下紙を横置きにホッパーにセットする手順を説明します。その他の下紙のセット方法、MultiWriter 2800N/2800/2300Nで使用する下紙については「3章 下紙のセット」(93ページ)をご覧ください。

重要

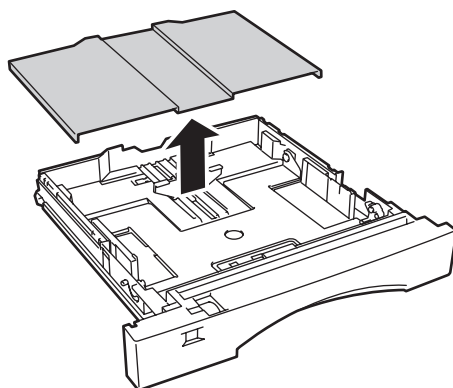
プリンターにセットする下紙は、両面とも印刷されていない下紙をセットしてください。すでに一度印刷された下紙をプリンターにセットしないでください。

一度印刷された下紙をセットして印刷すると、給紙できない、紙づまりになるなどプリンターの故障の原因となる場合があります。

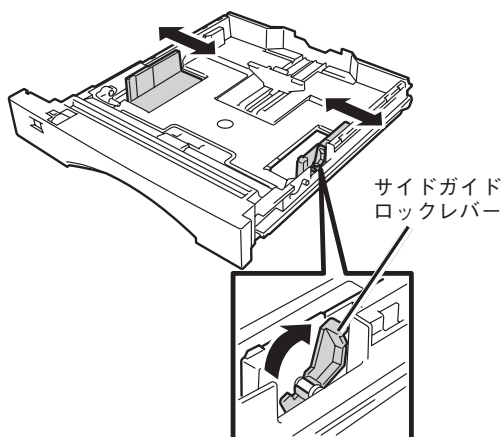
- 1 標準カセットを両手で軽く持ち上げ、ゆっくりと取り外す。



- 2 カセットカバーを取り外す。

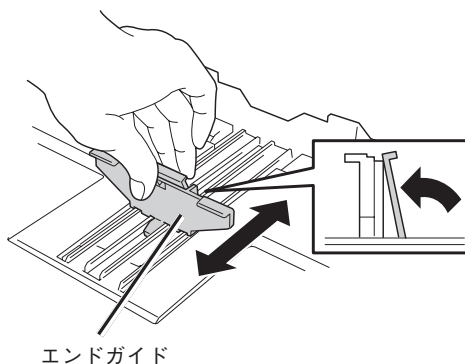


- 3 サイドガイドロックレバーを押し上げてサイドガイドをスライドさせ、「A4ヨコ」の表示に合わせる。



- 4 エンドガイドをスライドさせ、「A4ヨコ」の表示に合わせる。

エンドガイドは中央部のつまみを前に押しながらスライドさせます。

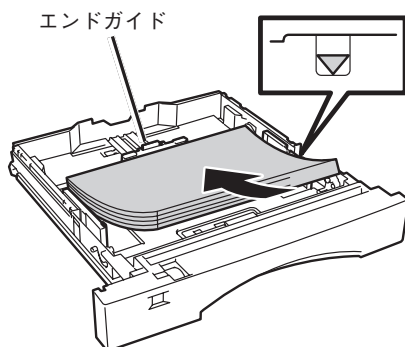


5 印刷する面を上にして、エンドガイド側から用紙をそろえてセットする。

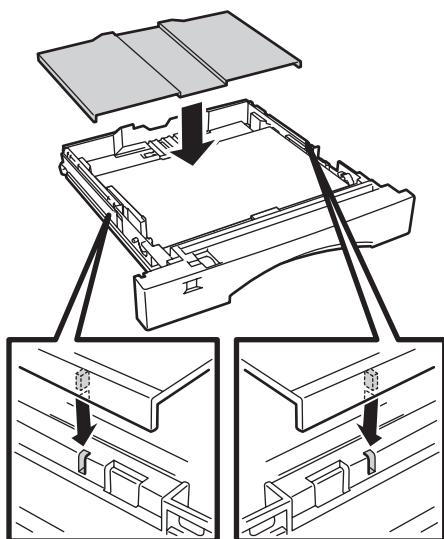
用紙を入れた後サイドガイドを再セットします。

— **✓** チェック —

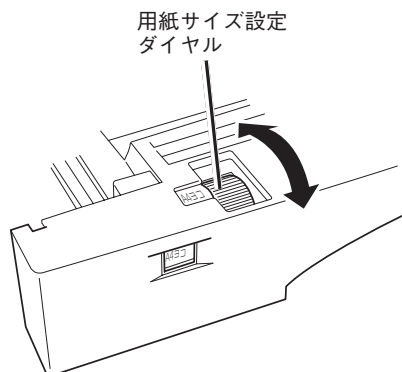
- リフトプレートが下がっていることを確認してください。
- 用紙は、エンドガイドの最大積載表示(▽)を越えないようにセットしてください。



6 カセットカバーを標準カセットの溝に合わせ取り付ける。



7 用紙サイズ設定ダイヤルを「A4ヨコ」に設定する。

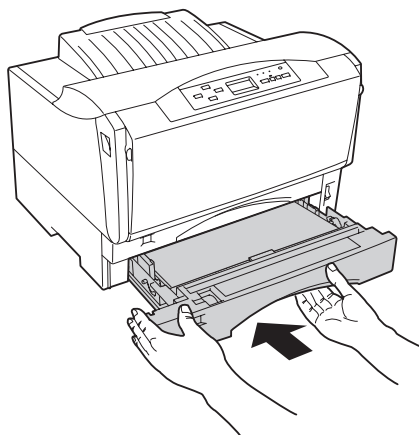


— **🔑** 重要 —

セットした用紙サイズと用紙サイズ設定ダイヤルの表示を合わせてください。セットした用紙サイズと用紙サイズ設定ダイヤルの表示が異なると紙づまりなどの障害の原因になることがあります。

8 標準カセットをプリンターに取り付ける。

標準カセットは両手で持ち、ゆっくり差し込んでください。



— **🔑** 重要 —

用紙をセットし終えた標準カセットは、重くなっています。取り付ける際は、標準カセットを両手で持ってプリンターに差し込んでください。

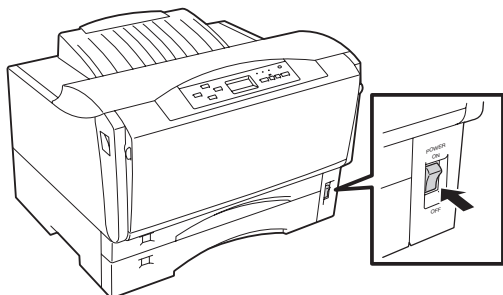
7 電源コードを接続する



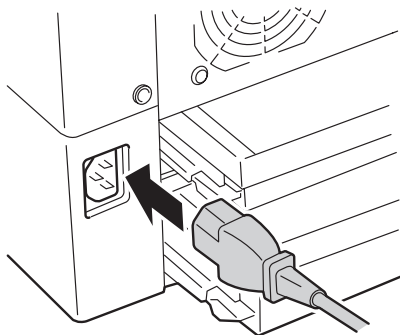
注意

電源コードは、添付されているものを使用してください。定格に満たない電源コードを使うと火災や感電、故障のおそれがあります。

- ① プリンターの電源スイッチがOFFになっていることを確認する。



- ② 電源コードの三極プラグをプリンター背面の電源コネクタに差し込む。

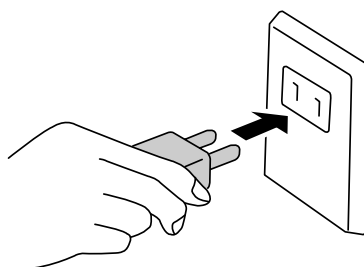


- ③ もう一方の電源プラグを壁付きコンセント（電流容量10A以上）に差し込む。



チェック

プリンターの電源コードは、コンピューター本体の補助コンセントには接続しないでください。



8 テスト印刷をする

コンピューターに接続する前に、プリンターが正常に動くことを確かめるためにテスト印刷を行います。「6 用紙をセットする」(24ページ)でA4サイズの下紙をホッパーにセットしてから行ってください。このテスト印刷は「7章 故障かな?と思ったら」の処置が済んだ後にも実行することをお勧めします。

重要

印刷中は電源スイッチをOFFにしないでください。印刷中にOFFにすると紙づまりおよび故障の原因になります。

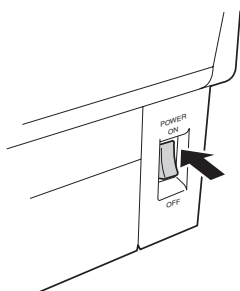
チェック

標準カセットにA4サイズの用紙がセットされていることを確認してください。

1 電源スイッチをONにする。

ディスプレイに次のメッセージが順に表示されます。

“イニシャライズチュウ”
“ウォームアップチュウ”



2 ブザーが2回鳴り、印刷可ランプが点灯することを確認する。



ホッパ° A4ヨコ ホ° ート
NPD L

3 [印刷可]スイッチを押す。

印刷可ランプが消灯します。



4 [メニュー]スイッチを押す。

ディスプレイには“テストメニュー →”と表示されます。



テストメニュー →

5 [▶]スイッチを押す。

ディスプレイ下段には“←ステータスインサツジツコウ→”と表示されます。



テストメニュー
←ステータスインサツジツコウ→

6 [▶]スイッチを押す。

データランプが点灯し、プリンターはテスト印刷を開始します。ディスプレイには“テストインサツチュウ”と表示されテスト印刷を開始します。



テストインサツチュウ

7 印刷結果を確認する。

MultiWriter 2800N

00000000

*** プリンタ環境設定 ***

H/W情報

Version

エンジン

00. 00

コントローラ

00. 00

オプション

なし

給紙構成

ホッパ1

A 4 横

MP

A 4 縦

手差し

A 4 縦

メニュー情報

印刷設定メニュー

コピー枚数

1枚

トナー節約

OFF

印字濃度

普通

用紙メニュー

ホッパ初期設定

ホッパ1

用紙種別

MP

普通紙

手差し

普通紙

定型外用紙

MP

OFF

手差し

OFF

リレー給紙設定

ホッパ1

OFF

MP

OFF

ジョブセバレート機能

無効

印字位置設定

ホッパ1微調整

TM 0mm

LM 0mm

MP微調整

TM 0mm

LM 0mm

手差し微調整

TM 0mm

LM 0mm

表面微調整

TM 0mm

LM 0mm

裏面微調整

TM 0mm

LM 0mm

両面印刷メニュー

初期設定

OFF

縦じ代

ロング1

余白

0mm

クリップ

ON

運用メニュー

節電機能

有効

節電時間設定

10分

自動排出

無効

メモリ設定

標準

解像度設定

600DPI

プロッタ縮小機能

無効

フロントメニュー

1バイト系ゼロ

0

2バイト系ゼロ

0

ANK

標準

漢字

明朝

文字セット

JIS1978

国別

日本

動作メニュー

動作エミュレーション

インタフェース1

NPDL

インタフェース3

NPDL

動作自動切り替え

インタフェース1

OFF

インタフェース3

OFF

メモリ容量

16MB

NPDL設定

A4ポート桁数

78桁

エミュレーション

201PL

136桁モード

無効

プロッタ設定メニュー

ベン幅設定

ベン1

0.1mm

ベン2

0.1mm

ベン3

0.1mm

ベン4

0.1mm

ベン5

0.1mm

ベン6

0.1mm

ベン7

0.1mm

ベン8

0.1mm

原点位置設定

左下

任意スケール

100%

回転角度設定

0°

線端形状

なし

接続形状

マイタ

マイタリミット

なし

SPコマンド排出

OFF

ミラー設定

OFF

オーバーレイ設定

OFF

NRコマンド動作

オンライン

カラーゼル番号

1

拡張モード

無効

I/F設定

インタフェース1

双方向設定

インタフェース3

ニブル

IPアドレス

011.022.033.044

サブネットマスク

255.0.0.0

メモリスイッチ

MSW1

12345678

MSW2

00000000

MSW3

00000000

MSW4

00000000

MSW5

00000000

MSW6

00000000

MSW7

00000000

MSW8

00000000

MSW9

00000000

MSW10

00000000

MultiWriter 2800Nのステータス印刷結果

これでテスト印刷は終了です。

次に、プリンターをコンピューターまたはネットワークへ接続します。

プリンターをコンピューターと接続するには、次ページの「9 コンピューターに接続する」、プリンターをネットワークに接続するには、「10 ネットワークに接続する」(30ページ)に進んでください。

9 コンピューターに接続する

ここでは、プリンターとコンピューターをプリンターケーブルで接続する方法を説明します。プリンターをネットワークへ接続してお使いになる場合は、「10 ネットワークに接続する」(30ページ)に進んでください。

MultiWriter 2800N/2800/2300Nにはプリンターケーブルが添付されていません。お使いになる環境に合わせて別途お買い求めになる必要があります。プリンターケーブルの種類については、「使用できるコンピューターとプリンターケーブル」(260ページ)をご覧ください。ご使用のコンピューターに合ったプリンターケーブルを確認してください。

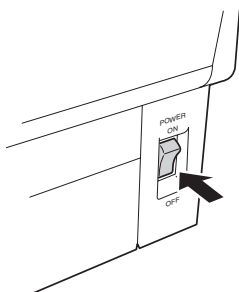
重要

パソコン本体とプリンターとの接続は、当社指定のケーブルをご使用ください。指定以外のケーブルを使用したり、市販のプリンターバッファー、プリンター切り替え器、プリンター共有器、コピープロテクターなどを使用すると、機能の一部または全部が正常に動作しない場合があります。

ケーブル接続について

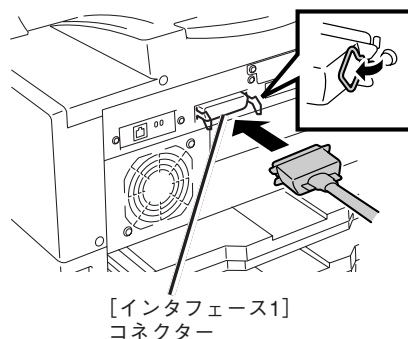
- MultiWriter 2800N/2300Nの背面にはパラレルインターフェースコネクタが1つあります。プリンターケーブルを接続してお使いになれます。
- MultiWriter 2800の背面にはパラレルインターフェースコネクタが2つあります。両方のインターフェースコネクタを使用すると、プリンターケーブルをつなぎ替えずに2台のコンピューターからデータを印刷することができます。この場合、2つのインターフェースの切り替えは自動で行われます。ただし、[インタフェース2]または[インタフェース3]のLANボード用スロットにオプションのLANボードを取り付けた場合は、[インタフェース2]コネクタは使用できません。プリンターケーブルを接続していた場合には[インタフェース2]コネクタからケーブルを取り外してください。

- 1 プリンターおよびコンピューターの電源をOFFにする。



- 2 プリンターケーブルを[インタフェース1]コネクタまたは[インタフェース2]コネクタ*に差し込み、コネクタ両端のロックスプリングで固定する。

* MultiWriter 2800のみ装備しています。



- 3 プリンターケーブルのもう一方のコネクタをコンピューターに接続する。

コンピューターのインターフェースコネクタの位置については、コンピューターのマニュアルを参照してください。

これでコンピューターへの接続は終了です。

次に、「2章 プリンターソフトウェアのインストール」(43ページ)に進み、ソフトウェアをインストールしてください。

10 ネットワークに接続する

MultiWriter 2800N/2300NはLANボードを標準で装備していますので、そのままネットワークに接続して、ネットワークプリンターとしてお使いいただけます。また、MultiWriter 2800はオプションのLANボード、またはLANアダプターを取り付けてネットワークに接続すれば、ネットワークプリンターとしてお使いになれます。さらに、オプションの無線LANプリンタボード(PR-WL-11)を取り付ければケーブルレスでネットワークに接続できます。

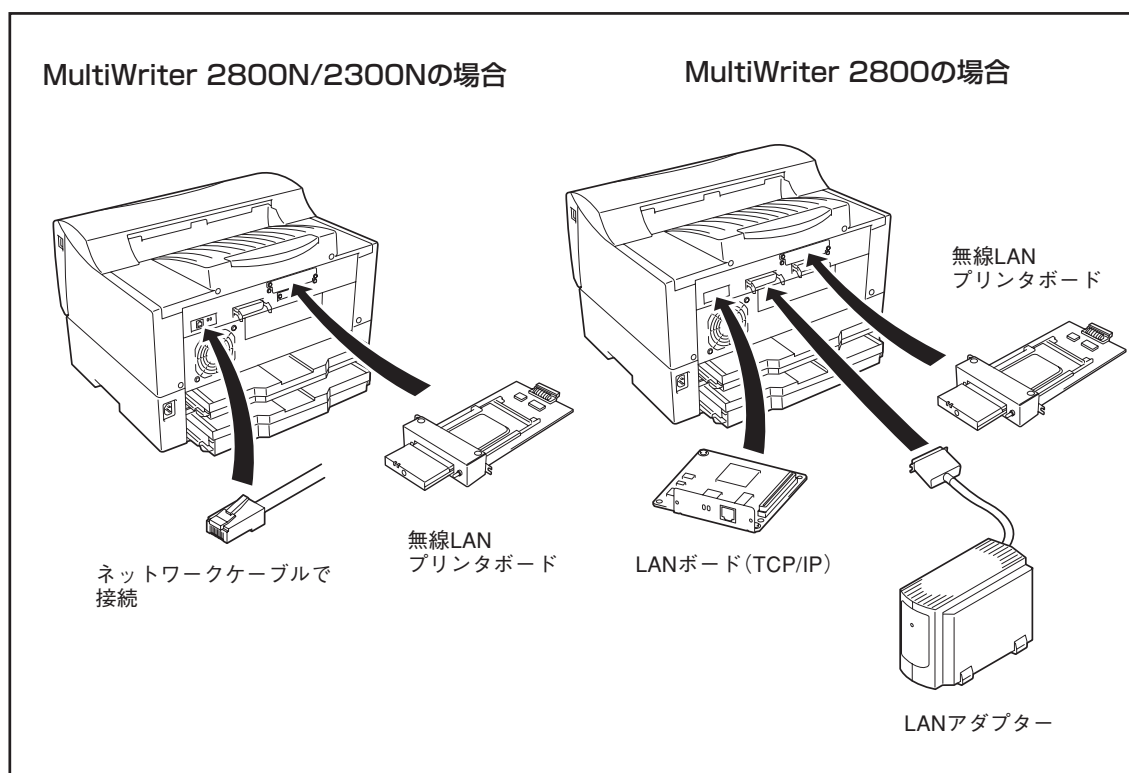
ここでは、ネットワークに接続するために必要な手順をMultiWriter 2800N/2300NとMultiWriter 2800に分けて以下のステップで手順を説明します。

- MultiWriter 2800N/2300Nをネットワークに接続する

- Step 1 ネットワークケーブルを接続する
- Step 2 コンフィグレーションページを印刷する
- Step 3 IPアドレスとサブネットマスクを設定する

- MultiWriter 2800をネットワークに接続する

- Step 1 LANボード／LANアダプターを取り付ける
- Step 2 ネットワークケーブルを接続する
- Step 3 コンフィグレーションページを印刷する
- Step 4 IPアドレスとサブネットマスクを設定する



ネットワークオプション接続例

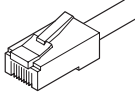
MultiWriter 2800N/2300Nをネットワークに接続する

MultiWriter 2800N/2300Nをネットワークに接続する手順を次に示します。

- Step 1 ネットワークケーブルを接続する
- Step 2 コンフィグレーションページを印刷する
- Step 3 IPアドレスとサブネットマスクを設定する

Step 1 ネットワークケーブルを接続する

MultiWriter 2800N/2300Nにはネットワークに接続するため、10BASE-Tおよび100BASE-TXに対応するLANボードが標準装備されています。ネットワークケーブルは添付されていないため、次の表に従って適切なケーブルを別途お求めの上、接続してください。

ケーブルタイプ	コネクタの形状	型番
Ethernet (10BASE-T) Fast Ethernet (100BASE-TX)		PK-CA117 PK-CA118

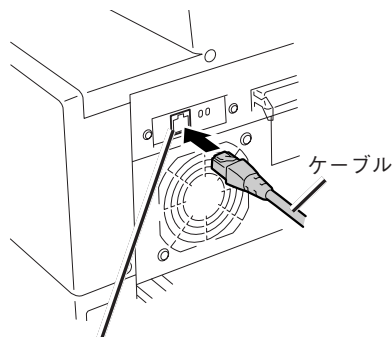


重要

- ケーブルを接続する前に、他のネットワーク利用者が印刷やファイルの転送を行っていないことを確認してください。
- プリンターの電源を必ずOFFにしてからケーブルの接続を行ってください。ONのまま接続するとプリンターの誤動作の原因となります。

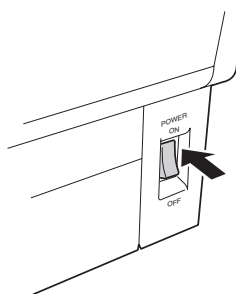
① プリンターの電源をOFFにする。

② ケーブルのコネクタをプリンター背面の[インタフェース3]のコネクタに差し込む。



[インタフェース3]のイーサネット
インターフェースコネクタ

③ プリンターの電源をONにする。



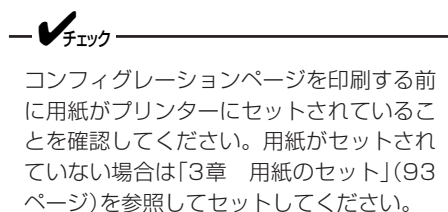
Step 2 コンフィグレーションページを印刷する

コンフィグレーションページとは、LANボードのIPアドレスやサブネットマスク、MACアドレス等のネットワークの設定情報が一覧できるLANステータス印刷のことです。ネットワークケーブルを接続したとき、またはネットワークに関する変更を行った前後などにコンフィグレーションページを印刷して設定内容の確認を行ってください。

MultiWriter 2800N/2300Nに標準装備されているLANボードのコンフィグレーションページ(LANステータス)の印刷は、プリンターの操作パネルから行います。

① プリンターの電源スイッチをONにする。

電源ON後、プリンターが印刷可能な状態(印刷可ランプ点灯)になったことを確認します。



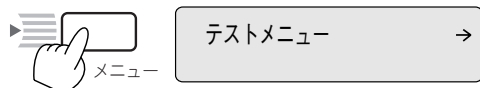
② [印刷可]スイッチを押す。

印刷可ランプが消灯します。



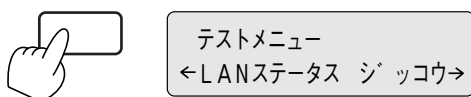
③ [メニュー]スイッチを押す。

ディスプレイには“テストメニュー →”と表示されます。



④ [▶]スイッチを1回、[▼]スイッチを4回押す。

ディスプレイ下段には“←LANステータス ジョコウ→”と表示されます。



⑤ [▶]スイッチを押す。

データランプが点灯し、プリンターは標準装備LANボードの設定情報の印刷を開始します。



インサチュウ

⑥ コンフィグレーションページを参照して標準装備LANボードの設定内容を確認する。

35ページのコンフィグレーションページの印刷例を参考にしてください。

印刷例は工場出荷時におけるLANボードの設定情報と、IPアドレスとサブネットマスクの設定変更後の印刷例です。

ネットワークへのセットアップ後やプリンターの設定を変更した後は必ずコンフィグレーションページを印刷して大切に保管しておいてください。

次に、IPアドレスとサブネットマスクの設定を行います。

Step 3 IPアドレスとサブネットマスクを設定する

MultiWriter 2800N/2300Nをネットワーク環境で利用するために、プリンターにIPアドレスとサブネットマスクを設定する必要があります。設定方法には主に以下の3通りがあります。

- プリンターの操作パネルを使って設定する
- EASY設定ユーティリティ(プリンターに添付のCD-ROMに収録)を使って設定する
- PrintAgentプリンタ管理ユーティリティ(プリンターに添付のCD-ROMに収録)を使って設定する

ここでは、プリンターの操作パネルを使った設定方法を説明します。その他の設定方法は第2部の「1章 IPアドレスの設定」(265ページ)、または添付のプリンターソフトウェアCD-ROMに収録されているオンラインマニュアル「ネットワークセットアップガイド」をご覧ください。

設定するIPアドレス、サブネットマスクの値は、ご使用になるネットワークの管理者におたずねください。

1 [印刷可]スイッチを押す。

印刷可ランプが消灯します。



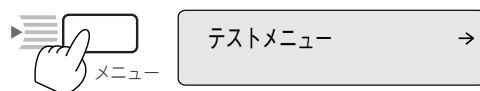
2 データランプが点灯していないことを確認する。

点灯している場合は[シフト]スイッチを押しながら[排出]スイッチを押して、プリンター内部に残っている印刷データを印刷してください。

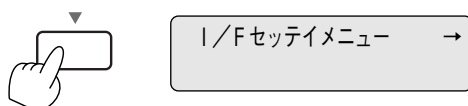


3 [メニュー]スイッチを押す。

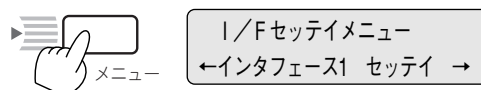
プリンターはメニューモードに入り、ディスプレイに“テストメニュー →”を表示します。



4 ディスプレイに“I/Fセッテイメニュー”と表示されるまで[▼]スイッチを数回押す。

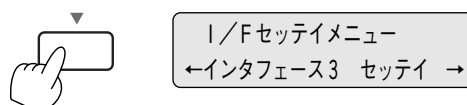


5 [▶]スイッチを1回押す。



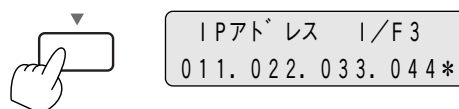
6 [▼]スイッチを1回押す。

ディスプレイ下段に“←インタフェース3 セッテイ →”を表示します。



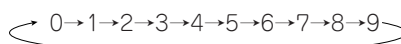
7 [▶]スイッチを1回押す。

ディスプレイに“IPアドレス I/F3”を表示します。



8 IPアドレスを設定する。

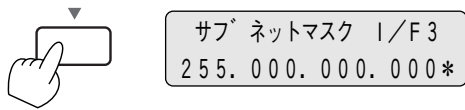
[設定変更]スイッチで設定を変更します。1回押すごとに以下のように数字が変わります。



カーソルを移動させるには、[▶]スイッチを押します。カーソルは右方向しか動きません。入力し間違えたら、[◀]スイッチで手順⑦に戻って入力し直してください。

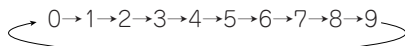
9 [▼]スイッチを押す。

ディスプレイに“サブネットマスク 1/F3”と表示します。



10 サブネットマスクを設定する。

[設定変更]スイッチで設定を変更します。1回押すごとに以下のように数字が変わります。



カーソルを移動させるには、
[▶]スイッチを押します。カーソルは右方向しか動きません。入力し間違えたら、[◀]スイッチを押し、手順⑦に戻って入力し直してください。

11 [メニュー終了]スイッチを押して、メニューモードを終了させる。

これで設定完了です。プリンターはセレクト状態になり、印刷可ランプが点灯し、ディスプレイは通常表示になります。



12 コンフィグレーションページ印刷をする。

手順については「Step 2 コンフィグレーションページを印刷する」(32ページ)を参照してください。

13 コンフィグレーションページの印刷例(次ページ)を参照して、正しく設定されているか設定内容を確認する。

これでネットワークへの接続は完了です。

次に、「2章 プリンターソフトウェアのインストール」(43ページ)に進み、ソフトウェアをインストールしてください。

工場出荷時の印刷例

```

NEC Network Interface Configuration Page

<Network Information>

F/W Version      :      02. 01
ID Number       :      NFE-290000
Printer Name    :      NFE-290000
MAC Address     :      00:00:4C:29:00:00
H/W Description :      NEC NetworkPrinter700080
10Base/100Base  :      " Auto ( ? ) "
Half/Full Duplex :      " Auto ( ? ) "
Printing Log    :      " Off"

<Self-Diagnosis>

Link Test       :      " No connection"
Network Status  :      " OK"

<TCP/IP parameters>

IP Address      :      11. 22. 33. 44
Subnet Mask     :      255. 0. 0. 0
Gateway Address :      0. 0. 0. 0
Auto IP Address :      " On"
Max. Number of Session :      64
Session Timeout [sec] :      120
Keep Alive     :      " On"
FTP Timeout [min] :      10
DHCP           :      " Off"
e-Mail Service :      " Off"
Current Active Session :      0

```

IPアドレス、サブネットマスク設定変更後の印刷例

```

NEC Network Interface Configuration Page

<Network Information>

F/W Version      :      02. 01
ID Number       :      NFE-290000
Printer Name    :      NFE-290000
MAC Address     :      00:00:4C:29:00:00
H/W Description :      NEC NetworkPrinter700080
10Base/100Base  :      " Auto (10Base) "
Half/Full Duplex :      " Auto (Half Duplex) "
Printing Log    :      " Off"

<Self-Diagnosis>

Link Test       :      " OK"
Network Status  :      " OK"

<TCP/IP parameters>

IP Address      :      123.123.123. 123
Subnet Mask     :      255.255.255. 0
Gateway Address :      0. 0. 0. 0
Auto IP Address :      " On"
Max. Number of Session :      64
Session Timeout [sec] :      120
Keep Alive     :      " On"
FTP Timeout [min] :      10
DHCP           :      " Off"
e-Mail Service :      " Off"
Current Active Session :      0

```

- *1 ID Number、Printer Nameおよび、MAC AddressはLANボード個々の情報を示します。
- *2 IPアドレス、サブネットマスクの工場出荷値です。
- *3 IPアドレス、サブネットマスクの変更された例です。

MultiWriter 2800をネットワークに接続する

MultiWriter 2800にはLANボードまたはLANアダプターは添付されていないので、別途お買い求めになる必要があります。ご使用のネットワーク環境に合ったLANボードまたはLANアダプターを「8章 オプション」(233ページ)をご覧ください、確認してください。

MultiWriter 2800をネットワークに接続する手順を次に示します。以下の手順はLANボードまたはLANアダプターが用意されていることを前提としています。

なお、LANボード(TCP/IP)(型番 PR-L2800-NP)をお使いの場合、Step 1以降の手順はMultiWriter 2800N/2300Nの設定方法と同じです。「MultiWriter 2800N/2300Nをネットワークに接続する」(31ページ)をご覧ください。

- Step 1 LANボード／LANアダプターを取り付ける
- Step 2 ネットワークケーブルを接続する
- Step 3 コンフィグレーションページを印刷する
- Step 4 IPアドレスとサブネットマスクを設定する

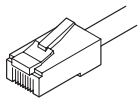
Step 1 LANボード／LANアダプターを取り付ける

MultiWriter 2800をネットワークプリンターとしてお使いになるためには、まずLANボードまたはLANアダプターを取り付けます。取り付けるLANオプションに応じて、以下の手順を行ってください。

- LANボード(TCP/IP)(型番 PR-L2800-NP)をお使いになる場合
取り付け手順は「8章 オプション」(233ページ)をご覧ください。
LANボードを取り付けた後の設定方法は「MultiWriter 2800N/2300Nをネットワークに接続する」(31ページ)をご覧ください、「Step 1 ネットワークケーブルに接続する」からの手順を行ってください。
- その他のLANボード、またはLANアダプターをお使いになる場合
取り付け手順は「8章 オプション」(233ページ)をご覧ください。
LANボードまたはLANアダプターを取り付けた後は、次のStep2に進んでください。

Step 2 ネットワークケーブルを接続する

LANボード／LANアダプターは、ネットワークに接続するインターフェースとして10BASE-T、100BASE-TX、および10BASE-2の3種類に対応しています。ネットワークケーブルは添付されていないため、次の表に従って適切なケーブルを別途お求めの上、LANボード／LANアダプターに接続してください。

ケーブルタイプ	コネクタの形状	型番
Ethernet (10BASE-T) Fast Ethernet (100BASE-TX)		PK-CA117 PK-CA118

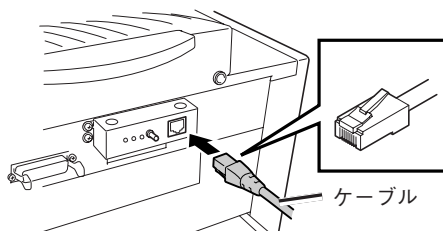
重要

- ケーブルを接続する前に、他のネットワーク利用者が印刷やファイルの転送を行っていないことを確認してください。
- プリンター、LANアダプターの電源を必ずOFFにしてからケーブルの接続を行ってください。ONのまま接続するとプリンターの誤動作の原因となります。

1 ケーブルのコネクタを接続する。

<LANボードをご使用の場合>

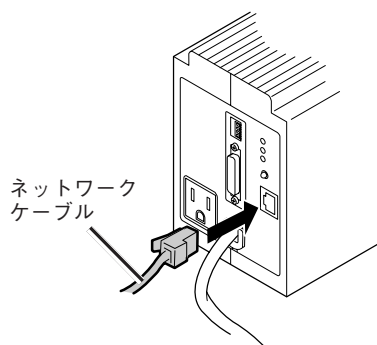
プリンターの電源をOFFにし、ケーブルのコネクタをLANボードのコネクタに差し込みます。



LANボード

<LANアダプターをご使用の場合>

LANアダプターの電源コードを壁付きACコンセントから抜き、ネットワークケーブルのコネクタをLANアダプターのEthernet用コネクタに差し込みます。



LANアダプター

ネットワークケーブル接続後の確認については、LANボード／LANアダプターの取扱説明書をご覧ください。

2 電源を入れる。

<LANボードをご使用の場合>

プリンターの電源をONにします。

<LANアダプターをご使用の場合>

LANアダプターの電源コードのプラグを壁付きACコンセントに差し込み、プリンターの電源をONにします。

Step 3 コンフィグレーションページを印刷する

コンフィグレーションページとは、LANボードまたはLANアダプターのIPアドレスやサブネットマスク、MACアドレスなどのネットワークの設定情報が一覧できるページのことです。ネットワークケーブルを接続したとき、またはネットワークに関する変更を行った前後などにコンフィグレーションページ印刷を行い、設定内容の確認をしてください。

ただし、LANボードまたはLANアダプターの種類によって印刷結果は異なりますので、印刷内容については、ご使用のLANボードまたはLANアダプターに添付のマニュアルをご覧ください。

① プリンターの電源スイッチをONにする。

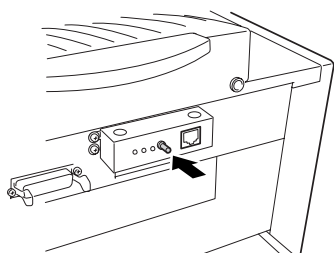
電源ON後、プリンターが印刷可能な状態(印刷可能ランプ点灯)になったことを確認します。

— チェック —

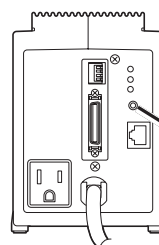
コンフィグレーションページを印刷する前に用紙がプリンターにセットされていることを確認してください。用紙がセットされていない場合は「3章 用紙のセット」(93ページ)を参照してセットしてください。

② コンフィグレーションページ印刷ボタンを押して、コンフィグレーションページを印刷する。

LANボードまたはLANアダプターの設定情報が印刷されます。



LANボード



LANアダプター

③ コンフィグレーションページを参照してLANボード、またはLANアダプターの設定内容を確認する。

35ページのコンフィグレーションページの印刷例を参考にしてください。

印刷例は工場出荷時におけるLANボードの設定情報と、IPアドレスとサブネットマスクの設定変更後の印刷例です。

ネットワークへのセットアップ後やプリンターの設定を変更した後は必ずコンフィグレーションページを印刷して大切に保管しておいてください。

次に、IPアドレスとサブネットマスクの設定を行います。

Step 4 IPアドレスとサブネットマスクを設定する

MultiWriter 2800をネットワーク環境で利用するためには、プリンターにIPアドレスとサブネットマスクを設定する必要があります。設定方法には主に以下の3通りがあります。

- プリンターの操作パネルを使って設定する
- EASY設定ユーティリティ(プリンターに添付のCD-ROMに収録)を使って設定する
- PrintAgentプリンタ管理ユーティリティ(プリンターに添付のCD-ROMに収録)を使って設定する

<LANボード(TCP/IP)(型番 PR-L2800-NP)をお使いの場合>

MultiWriter 2800N/2300Nの場合と手順は同じです。33ページを参照してください。

<LANボード(PR-NP-01T2)、無線LANプリンタボード(PR-WL-11)、LANアダプタ(PR-NP-02T2、PR-NP-03TR2)をお使いの場合>

プリンターの操作パネルより設定できます。

<マルチプロトコルLANボード(PC-PR-L01、PC-PR-L02)をお使いの場合>

EASY設定ユーティリティまたはPrintAgentプリンタ管理ユーティリティで設定してください。設定方法については第2部の「1章 IPアドレスの設定」(265ページ)、またはLANボードのマニュアルをご覧ください。

ここでは、プリンターの操作パネルでの設定方法を説明します。以下の設定方法は、[インタフェース1]、[インタフェース2]にLANボードまたはLANアダプターを取り付けた場合に設定できます。その他の設定方法は第2部の「1章 IPアドレスの設定」(265ページ)、または添付のプリンターソフトウェアCD-ROMに収録されているオンラインマニュアル「ネットワークセットアップガイド」をご覧ください。

プリンターの操作パネルによる設定では、あらかじめ、メニューモードでI/F設定の「双方向設定」を「ECP」に設定しておく必要があります。設定するIPアドレス、サブネットマスクの値は、ご使用になるネットワークの管理者におたずねください。

I/F設定をECPに変更する

1 [印刷可]スイッチを押す。

印刷可ランプが消灯します。



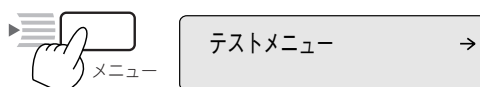
2 データランプが点灯していないことを確認する。

点灯している場合は[シフト]スイッチを押しながら[排出]スイッチを押して、プリンター内部に残っている印刷データを印刷してください。



3 [メニュー]スイッチを押す。

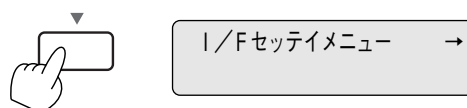
プリンターはメニューモードに入り、ディスプレイに「テストメニュー →」を表示します。



次からの手順は、接続するインターフェースコネクタの位置によって異なります。

4 ディスプレイに「I/Fセッテイメニュー」と表示されるまで[▼]スイッチを数回押す。

メニューの内容については「メニューツリー」(124ページ～127ページ)を参照してください。



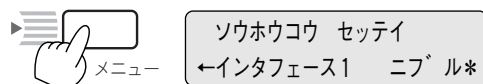
5 インターフェースを選択する。

LANボードの場合は[インタフェース2]、LANアダプターの場合はプリンターケーブルを接続しているインターフェースを選択してください。

＜LANアダプターを[インタフェース1]コネクタに接続している場合＞

[▶]スイッチを2回押して、以下のメッセージを表示させる。

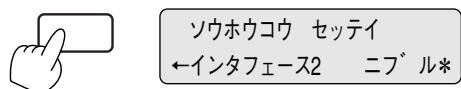
手順6に進んでください。



＜LANボードもしくはLANアダプターを[インタフェース2]コネクタに接続している場合＞

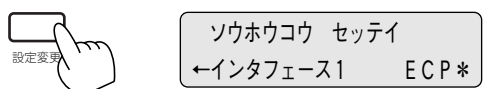
[▶]スイッチを1回、[▼]スイッチを1回、[▶]スイッチを1回押して、以下のメッセージを表示させる。

手順7に進んでください。

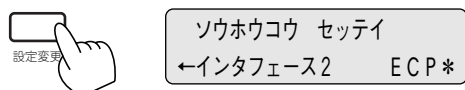


6 [設定変更]スイッチを1回押して、ディスプレイ下段に“←インタフェース1 ECP*”を表示させる。

手順8に進んでください。



7 [設定変更]スイッチを1回押して、ディスプレイ下段に“←インタフェース2 ECP*”を表示させる。



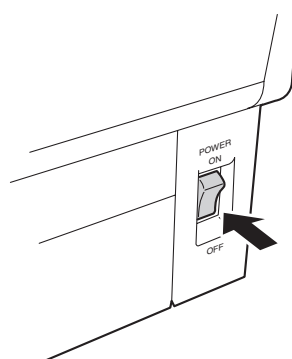
8 [メニュー終了]スイッチを押す。

メニューモードを終了します。



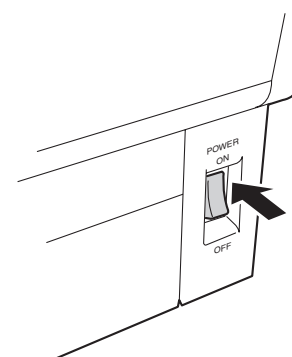
9 プリンターの電源をOFFにする。

[ソウホウコウ セッテイ]の設定の変更を有効にするために、プリンターの電源をいったんOFFにする必要があります。



10 プリンターの電源をONにする。

プリンターの電源を再投入することによって、設定が有効になります。



IPアドレスとサブネットマスクの設定を変更する

1 [印刷可]スイッチを押す。

印刷可ランプが消灯します。



2 データランプが点灯していないことを確認する。

点灯している場合は[シフト]スイッチを押しながら[排出]スイッチを押して、プリンター内部に残っている印刷データを印刷してください。

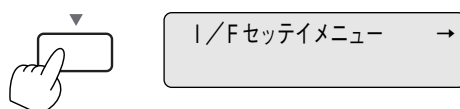


3 [メニュー]スイッチを押す。

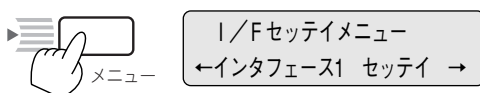
プリンターはメニューモードに入り、ディスプレイに“テストメニュー →”を表示します。



4 ディスプレイに“I/Fセッテイメニュー”と表示されるまで[▼]スイッチを数回押す。

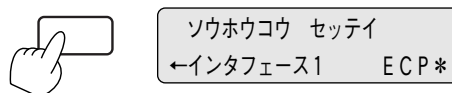


5 [▶]スイッチを1回押す。



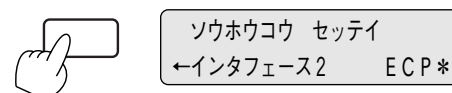
6 <LANアダプターが[インタフェース1]コネクタの場合>

[▶]スイッチを1回、[▼]スイッチを1回押し、ディスプレイ下段に“←インタフェース1 ECP*”を表示させる。

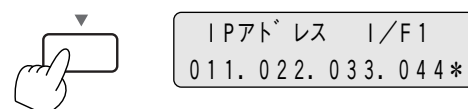


<LANボードもしくはLANアダプターが[インタフェース2]コネクタの場合>

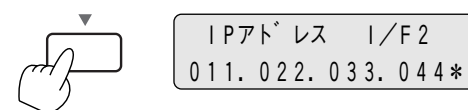
[▼]スイッチを1回、[▶]スイッチを2回押し、ディスプレイ下段に“←インタフェース2 ECP*”を表示させる。



7 [▼]スイッチを1回押し、ディスプレイに“IPアドレス I/F X”を表示させる。



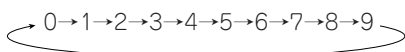
[インタフェース1]コネクタの場合



[インタフェース2]コネクタの場合

8 IPアドレスを設定する。

[設定変更]スイッチで設定を変更します。1回押すごとに以下のように数字が変わります。



カーソルを移動させるには、[▶]スイッチを押します。カーソルは右方向しか動きません。入力し間違えたら、[◀]スイッチで手順⑤に戻って入力し直してください。

9 [▼]スイッチを押す。

ディスプレイに“サブ ネットマスク I/F×”と表示します。



サブ ネットマスク I/F 1
255. 000. 000. 000*

[インタフェース1]コネクタの場合

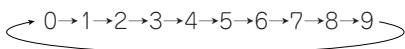


サブ ネットマスク I/F 2
255. 000. 000. 000*

[インタフェース2]コネクタの場合

10 サブネットマスクを設定する。

[設定変更]スイッチで設定を変更します。1回押すごとに以下のように数字が変わります。



カーソルを移動させるには、[▶]スイッチを押します。カーソルは右方向しか動きません。入力し間違えたら、[◀]スイッチを押し、手順⑤に戻って入力し直してください。

11 [メニュー終了]スイッチを押して、メニューモードを終了させる。

これで設定完了です。プリンターはセレクト状態になり、印刷可ランプが点灯し、ディスプレイは通常表示になります。



12 コンフィグレーションページを印刷する。

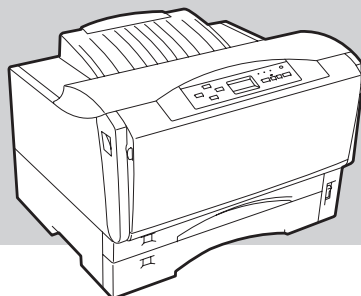
手順については「Step 3 コンフィグレーションページを印刷する」(38ページ)を参照してください。

13 コンフィグレーションページの印刷例(35ページ)を参照して、正しく設定されているか設定内容を確認する。

これでネットワークへの接続は完了です。

次に、「2章 プリンターソフトウェアのインストール」(43ページ)に進み、ソフトウェアをインストールしてください。

2章 プリンターソフトウェアの インストール



この章では、Windows Me/98*/95 日本語版、Windows 2000 日本語版、Windows NT 4.0 日本語版、Windows NT 3.51 日本語版、Windows 3.1 日本語版環境にプリンターソフトウェアをインストールし、プリンターを指定するまでの手順について説明します。また、その他の環境で使用する際の設定も説明します。

* 以下、本書でWindows 98と表記している場合は、Windows 98 Second Editionを含みます。

✓ チェック

- MultiWriterのプリンターソフトウェアを正しくインストールするためには、インストールする前に「PrintAgentを正しく動作させるために」(212ページ)をお読みください。
- インストールプログラムを実行する前に、起動中のアプリケーションをすべて終了させてください。

● フロッピーディスクでインストールする場合

本書ではCD-ROMを使った手順で説明しています。プリンターソフトウェアCD-ROMから作成したプリンターソフトウェアディスクを使用してインストールをする場合、インストールの途中でフロッピーディスクの交換を求める画面が表示されることがあります。その場合は画面の指示に従ってフロッピーディスクの入れ替えを行ってください。

● MultiWriter 2800/2300Nをお使いのお客様へ

本書中にMultiWriter 2800または、2300Nの記述がない場合は2800Nの記述を2800、または2300Nと読み替えてください。

プリンターソフトウェアCD-ROMについて

MultiWriter 2800N/2800/2300Nに添付のプリンターソフトウェアCD-ROMは、Windows Me/98/95、Windows 2000、Windows NT 4.0/3.51、Windows 3.1のコンピューター環境に対応した、ソフトウェアを提供しています。

このCD-ROMは、ISO9660フォーマットに従って作成されています。MacintoshでこのCD-ROMを見るためには、ISO9660機能拡張ファイルが必要です。詳しくはMacintosh本体またはOSのマニュアルをご覧ください。

CD-ROMの構成は以下のとおりです。

□ メニュープログラム

- はじめに
プリンターソフトウェアCD-ROMについて注意事項などが書かれています。ご使用になる前にお読みください。
- インストール
Windows Me/98/95、Windows 2000、Windows NT 4.0に対応した、MultiWriter 2800N/2800/2300N用のプリンターソフトウェアがインストールできます。
- オンラインマニュアル
「プリンターの設定と技術仕様」、「プリンターソフトウェアの詳細」、「ネットワークセットアップガイド」の3つのオンラインマニュアルが収録されています。オンラインマニュアルを読むためには「Adobe Acrobat Reader」が必要です。詳細についてはメニュープログラム内のユーティリティをご覧ください。
- ユーティリティ
 - ー iPrinting.DeliveryService
 - ー ドキュメント・ハンドリング・ソフトウェア「DocuWorks Ver.3.0E (NECバンドル版)」
 - ー NEC Internet Printing System for Windows 98/95
 - ー NEC Internet Printing System for Windows NT 4.0
 - ー NEC TrueTypeバーコードフォントキット
NEC TrueTypeバーコードフォントとNEC TrueTypeバーコードフォントユーティリティです。このソフトウェアをインストールすることによりWindows環境でバーコードフォント(5種類)の印刷をすることができます。
Industrial 2 of 5(モジュール比2.2、3.0、NW-7(モジュール比2.2、3.0)、CODE39(モジュール比2.2、3.0)、JAN、カスタマーバーコード(郵便バーコード)
 - ー NEC FontAvenue TrueTypeフォント3書体
FA 丸ゴシックM、FA 教科書体M、FA 端筆行書M
 - ー 帳票エディタ「帳楽」お試し版
 - ー EASY設定ユーティリティ
 - ー 印刷ログユーティリティ
合成サービス、集計サービス
 - ー Adobe Acrobat Reader

その他に、Windows Me/98/95、Windows 2000、Windows NT 4.0/3.51、Windows 3.1に対応したMultiWriterシリーズのプリンターソフトウェアを収録しています。詳しくは、それぞれのソフトウェアに関連するフォルダー内にある、「はじめにお読みください」(Readme.txt)をご覧ください。

プリンターソフトウェアの動作環境

MultiWriter 2800N/2800/2300Nに添付のプリンターソフトウェアの動作環境は以下のとおりです。

動作コンピューター*1	対応OS	メモリー
PC98-NXシリーズを含むIBM PC/AT互換機 (DOS/V対応機)	Microsoft Windows Millennium Edition (日本語版) Microsoft Windows 98 (日本語版) Microsoft Windows 98 Second Edition (日本語版) Microsoft Windows 95 (日本語版) Microsoft Windows 2000 (日本語版)	OSの動作条件に準じます。
PC-9800シリーズ	Microsoft Windows NT 4.0 (日本語版) Microsoft Windows NT 3.51 (日本語版) *2 Microsoft Windows 3.1 (日本語版) *2	

*1 OSによって動作するコンピューター条件が異なります。詳しい動作条件は各OSのマニュアルを参照してください。

*2 Windows NT 3.51、Windows 3.1はプリンタードライバーのみ対応しています。

✓チェック

メモリーについては、PrintAgentをクライアント-サーバーシステムでご使用の場合、プリントサーバーには64Mバイト以上(Windows 2000の場合は256Mバイト以上)のメモリーを搭載し運用されることを推奨します。

PrintAgentが利用できるネットワーク環境について

PrintAgentはネットワーク環境で、プリンターを次の形態でご使用の場合にご利用できます。

- 標準装備のLANボードやオプションのLANボード、およびLANアダプターでプリンターがネットワークに接続されている。(対応している型番については8章の「オプション」をご覧ください。)
- 無線LAN環境ではオプションの無線LANプリンターボード(PR-WL-11)で接続されている。
- 共有プリンターの場合(クライアント・サーバー接続)、プリントサーバーコンピューターのOSがWindows Me/98/95、Windows 2000/NT 4.0で、プリントサーバーコンピューターに本プリンターソフトウェアがインストールされている。
- お使いのコンピューターには、ネットワークに接続するためのネットワークボード/カード/アダプターなどを接続し、ネットワークの設定にTCP/IPプロトコルがインストールされている。

✖重要

- ネットワーク環境でネットワーク共有プリンターをお使いになるためには、あらかじめOSの共有設定を有効にしておく必要があります。詳しくはOSのマニュアルをご覧ください。
- プリンターに標準装備のLANボード、もしくはオプションのLANボードおよびLANアダプターでネットワークに接続されたMultiWriter 2800N/2800/2300NでPrintAgentをご利用になる場合、TCP/IPプロトコルがWindowsに組み込まれている必要があります。詳しくはOSのマニュアルをご覧ください。

プリンターソフトウェアの容量

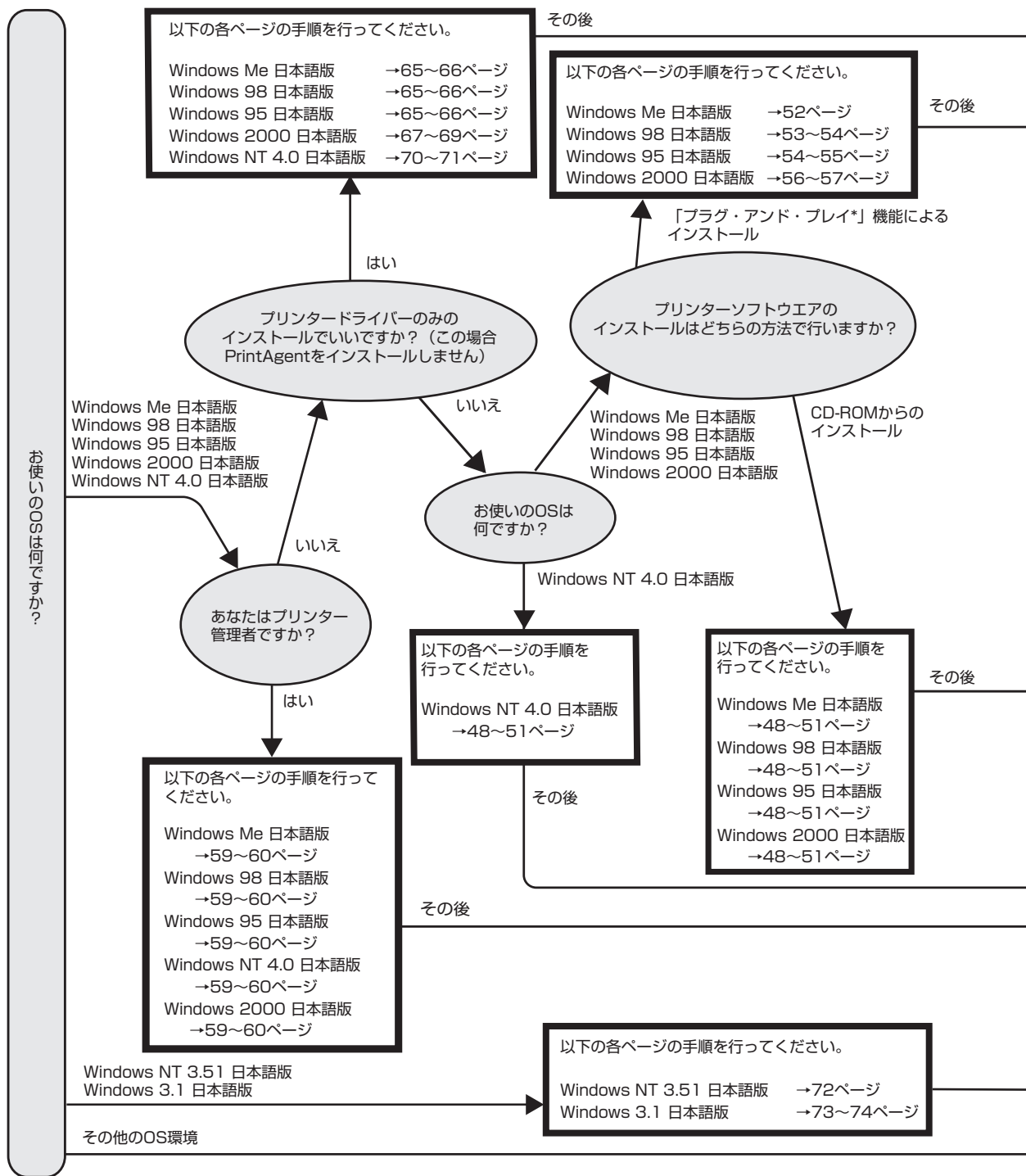
プリンターソフトウェアをインストールするのに必要なハードディスク容量は次のとおりです。インストールする前に以下の表で確認してください。

インストール方法	Windows Me/98/95 日本語版	Windows 2000 日本語版	Windows NT 4.0 日本語版	Windows NT 3.51 日本語版	Windows 3.1 日本語版
PrintAgentを含む標準設定	約9MB	約9.5MB	約10.0MB	—	—
PrintAgentを含む 一般ユーザー向け (最大)	最大 約12.0MB	最大 約12.5MB	最大 約13.0MB	—	—
PrintAgentを含む管理者向け	最大 約14.0MB	最大 約14.5MB	最大 約15.0MB	—	—
プリンタードライバーのみ	約2.5MB	約3.0MB	約3.5MB	約2.0MB	約0.6MB

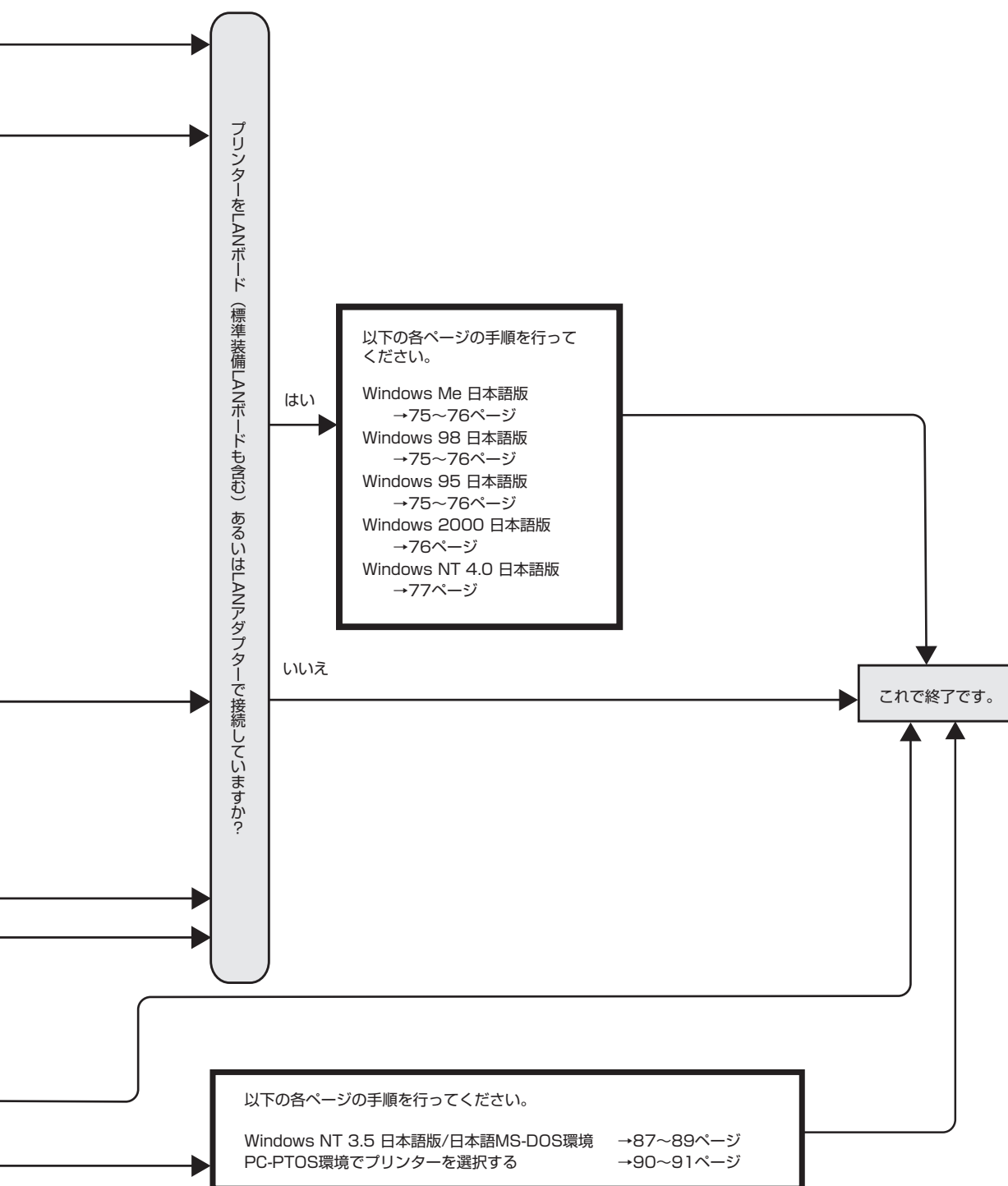
インストール方法の選択

プリンターソフトウェアをコンピューターにインストールします。

お使いになるコンピューターの条件に従って、以下のフローチャートの矢印に進み、それぞれのページに進んでください。



* 「プラグ・アンド・プレイ」機能とは、Windows Me/98/95/2000がインストールされているコンピュータで新しい周辺機器などを接続すると、コンピュータの起動時にその周辺機器を検出し、自動的にセットアップを実行する機能です。



CD-ROMからのインストール

Windows Me/98/95、Windows 2000、Windows NT 4.0で動作しているコンピュータでMultiWriterをご利用になる場合、プリンターソフトウェアCD-ROMのインストールプログラムを使ってプリンターソフトウェアをインストールします。

プリンターソフトウェアCD-ROMはドライブに挿入するだけで自動的にメニュープログラムが起動します。お使いのコンピュータによっては自動的にメニュープログラムが起動しない場合があります。その場合は、CD-ROMのルートディレクトリにある「MWSETUP.exe」を実行してください。

ここではWindows Me 日本語版を例にとり、プリンターソフトウェアのインストール手順を説明します。

① Windows Me 日本語版を起動する。

② プリンターソフトウェアCD-ROMをセットする。

[プリンターソフトウェアCD-ROMメニュー]が起動します。

お使いのコンピュータによっては、自動的にメニュープログラムが立ち上がらない場合があります。その場合はCD-ROMのルートディレクトリにある「MWSETUP.exe」を実行してください。

③ [インストール]をクリックする。

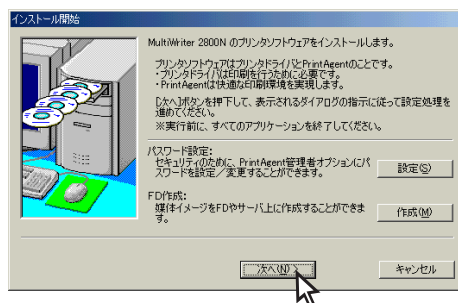


④ 右側のボックスから[MultiWriter 2800N]を選んで[インストール開始]をクリックする。



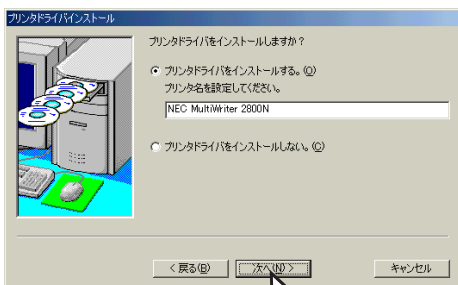
お使いのOSにインストール可能なプリンター名が表示されます。

⑤ [次へ]をクリックする。



6 [プリンタドライバをインストールする]を選び、[次へ]をクリックする。

[プリンタドライバをインストールしない]を選んだ場合は、手順⑨へ進んでください。



7 プリンターの接続先を選ぶ。

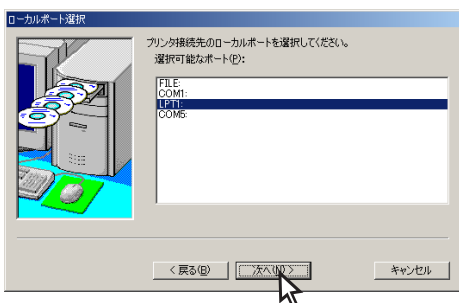
ネットワーク接続されていない場合はこのダイアログボックスは表示されません。次の「[ローカルポート]」を選んだ場合へ進んでください。



- [ローカルポート]は、コンピューターがプリンターとプリンターケーブルで接続されているときに選びます。
- [ネットワーク共有プリンタ]は、Multi-Writerがプリントサーバー上に共有されているときに選びます。
- [NEC TCP/IP Port]は、プリンターがLANボード(標準装備含む)またはLANアダプターを装備しており、ネットワーク上に接続されているときに選びます。

<[ローカルポート]を選んだ場合>

希望するポートを選び[次へ]をクリックする。手順⑧へ進んでください。

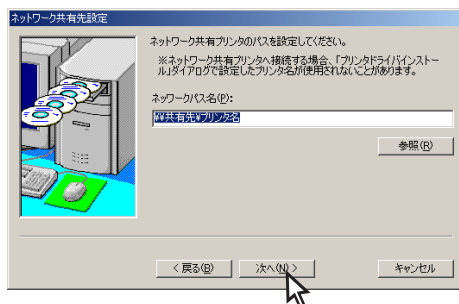


<[ネットワーク共有プリンタ]を選んだ場合>

プリンターの接続先を指定し、[次へ]をクリックする。

プリンターの接続先を[ネットワークパス名]に直接入力するか、[参照]をクリックして表示される一覧から指定します。

手順⑨へ進んでください。



<[NEC TCP/IP Port]を選んだ場合>

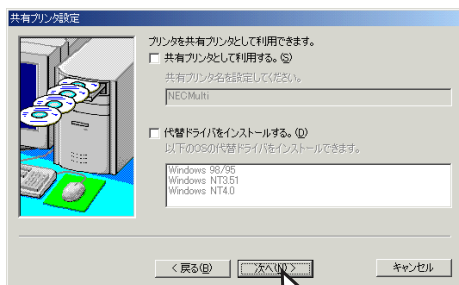
LANボード、またはLANアダプターのIPアドレスあるいは、ホスト名を設定して[次へ]をクリックする。



8 [次へ]をクリックする。

ネットワークに接続され、Windows 2000またはWindows NT 4.0をご利用の場合は、次のダイアログボックスが表示されます。

このダイアログボックスが表示されない場合は、次の手順⑨へ進んでください。

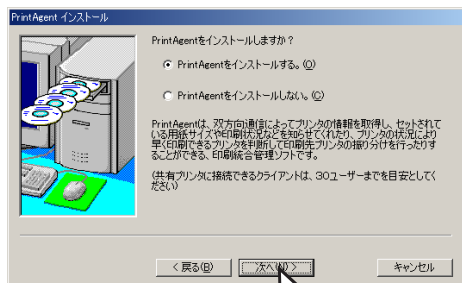


— ✓ チェック —

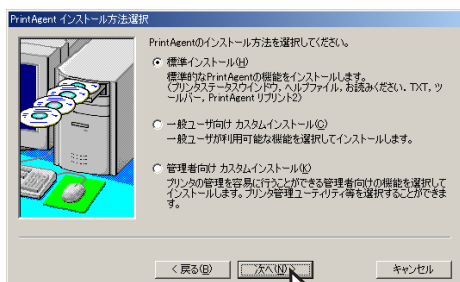
すでに代替ドライバーがインストールされている場合はリストに表示されません。

9 [PrintAgentをインストールする]を選び、[次へ]をクリックする。

[PrintAgentをインストールしない]を選んだときは、手順12へ進んでください。



10 使用目的に応じて[標準インストール]または[一般ユーザ向けカスタムインストール]のインストール方法を選び、[次へ]をクリックする。



[一般ユーザ向けカスタムインストール]を選ぶと、標準的なソフトウェアの項目が表示されます。インストールする項目にチェックを付けて[次へ]をクリックしてください。[全追加]をクリックするとすべてチェックが付きます。[全削除]をクリックするとすべてチェックが外れます。

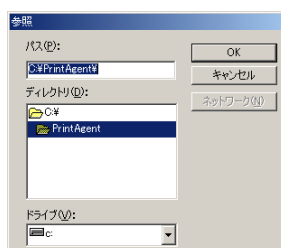


11 PrintAgentのインストール先とスプールファイルの作成先を指定する。フォルダーを確認して[次へ]をクリックする。

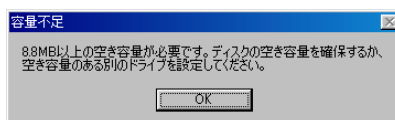
すでに他の機種種のPrintAgentがインストールされているときはこのダイアログボックスは表示されません。手順12へ進んでください。



- 作成先のフォルダーを変更したいときは[参照]をクリックするか直接パスを入力してください。



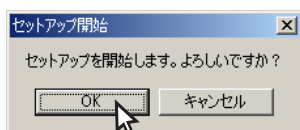
- 次のメッセージが出たときはインストール先のディスク空き容量が少なくなっています。フォルダーを変更する、または不要なファイルを削除してください。



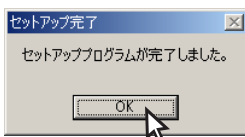
12 設定した内容を確認し、[完了]をクリックする。



13 [OK]をクリックする。

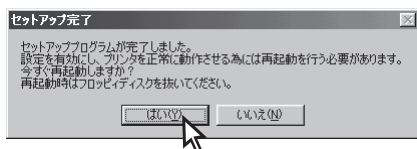


14 インストールが終了したら[OK]をクリックする。



— チェック —

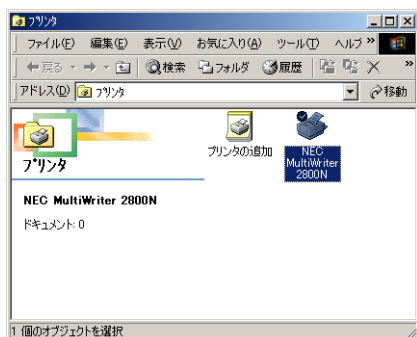
再起動を促すダイアログボックスが表示された場合は、画面の指示に従ってコンピュータを再起動してください。



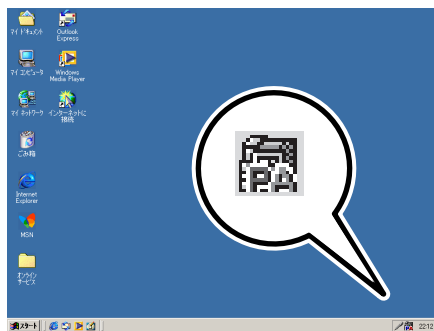
15 プリンターソフトウェアが正常にインストールされていることを確認する。

カスタムインストールでインストールを行った場合、選択されたオプションによっては登録されているアイコンが異なります。

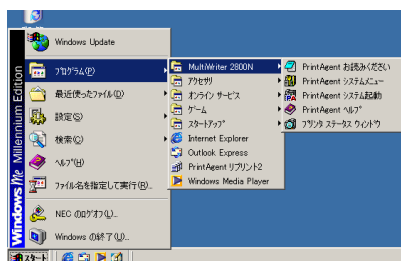
- [プリンタ]フォルダー内に、[NEC MultiWriter 2800N]アイコンが登録されている。



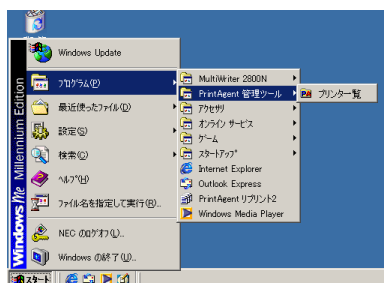
- タスクバーのトレイに、[PrintAgentシステム]アイコンが登録されている。



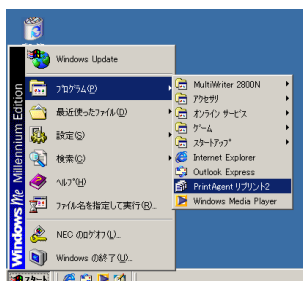
- スタートメニューの[プログラム]に[MultiWriter 2800N]というフォルダーが追加され、その下にPrintAgent関連のアイコンが登録されている。



- スタートメニューの[プログラム]に[PrintAgent管理ツール]というフォルダーが追加され、[プリンター一覧]が登録されている。
(カスタムインストールでプリンター一覧を選択した場合)



- スタートメニューの[プログラム]の下に[PrintAgent リプリント2]というフォルダーが登録されている。



「プラグ・アンド・プレイ」によるインストール

Windows Me 日本語版

ここでは、Windows Me 日本語版にプリンターソフトウェアをインストールする手順を説明します。

- 1 MultiWriter 2800N/2800/2300Nの電源をONにする。

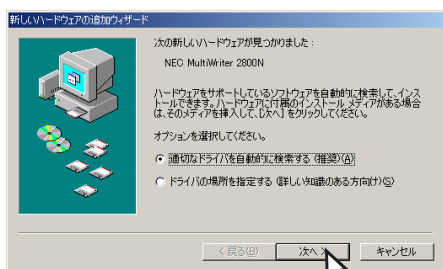
- 2 コンピューターの電源をONにする。

Windows Me 日本語版を起動します。

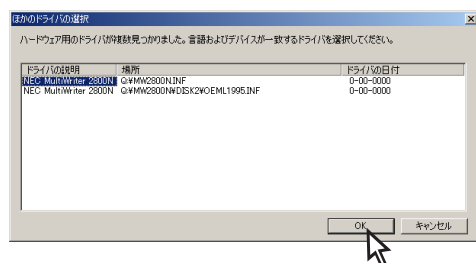
- 3 プリンターソフトウェアCD-ROMをセットする。

- 4 [適切なドライバを自動的に検索する]を選び、[次へ]をクリックする。

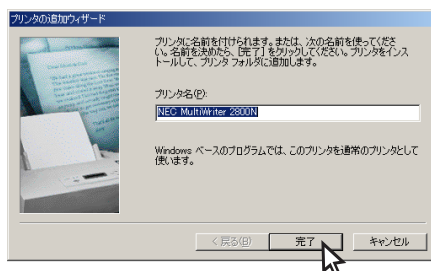
このダイアログボックスが表示されなかった場合、48ページの「CD-ROMからのインストール」を行ってください。



- 5 選択項目の中の[場所]がCD-ROMのルート of the driver is selected, and [Next] is clicked.



- 6 プリンターの名前を確認して、[完了]をクリックする。

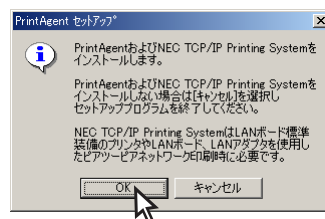


- 7 [完了]をクリックする。

先に[PrintAgentセットアップ]ダイアログボックスが表示されますが、ここでの手順を終了した後、次の手順へ進んでください。



- 8 PrintAgentをインストールする場合は[OK]をクリックする。



このあとは48ページの手順⑤からと同じです。PrintAgentをインストールしない場合は、[キャンセル]をクリックし、インストール手順を終了します。

Windows 98 日本語版

ここでは、Windows 98 日本語版にプリンターソフトウェアをインストールする手順を説明します。

- 1 MultiWriter 2800N/2800/2300Nの電源をONにする。

- 2 コンピューターの電源をONにする。

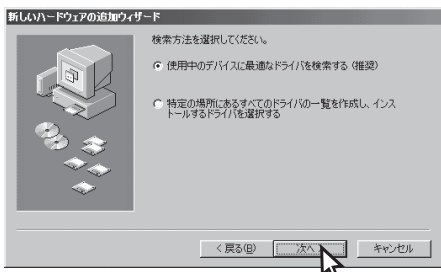
Windows 98 日本語版を起動します。

- 3 [次へ]をクリックする。

このダイアログボックスが表示されなかった場合、48ページの「CD-ROMからのインストール」を行ってください。



- 4 [使用中のデバイスに最適なドライバを検索する]を選び、[次へ]をクリックする。



- 5 プリンターソフトウェアCD-ROMをセットする。

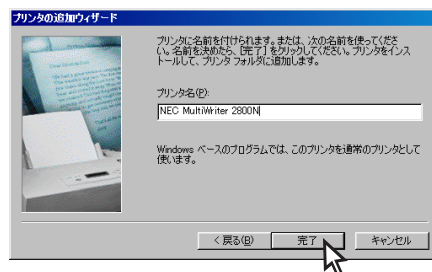
- 6 選択項目の中から[CD-ROMドライブ]をチェックして[次へ]をクリックする。



- 7 [次へ]をクリックする。



- 8 プリンターの名前を確認して、[完了]をクリックする。

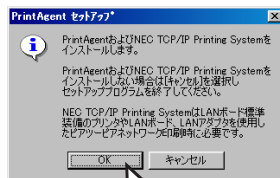


9 [完了]をクリックする。

先に[PrintAgentセットアップ]ダイアログボックスが表示されますが、ここでの手順を終了した後、次の手順へ進んでください。



10 PrintAgentをインストールする場合は[OK]をクリックする。



このあとは48ページの手順⑨からと同じです。PrintAgentをインストールしない場合は、[キャンセル]をクリックし、インストール手順を終了します。

Windows 95 日本語版

ここでは、Windows 95 日本語版にプリンターソフトウェアをインストールする手順を説明します。

1 MultiWriter 2800N/2800/2300Nの電源をONにする。

2 コンピューターの電源をONにする。

Windows 95 日本語版を起動します。

<[デバイスドライバウィザード]ダイアログボックスが表示された場合>

プリンターソフトウェアCD-ROMをセットし、[次へ]をクリックする。

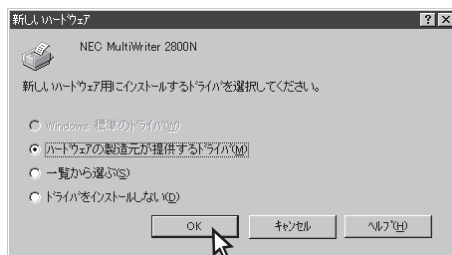
手順③に進んでください。



<[新しいハードウェア]ダイアログボックスが表示された場合>

[ハードウェアの製造元が提供するドライバ]を選び、[OK]をクリックする。

手順⑧に進んでください。



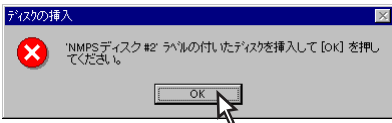
3 [完了]をクリックする。



- 4 プリンターの名前を確認して、[完了]をクリックする。

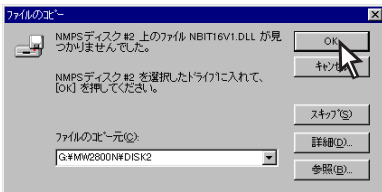


- 5 [OK]をクリックする。



- 6 [ファイルのコピー元]を指定して、[OK]をクリックする。

ファイルの指定は、CD-ROMドライブ名、コロンの(:)、円記号(¥)に続けて「MW2800N¥DISK2」と入力します。



プリンタードライバーがインストールされます。

- 7 PrintAgentをインストールする場合は[OK]をクリックする。

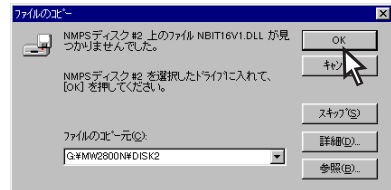


このあとは48ページの手順⑤からと同じです。PrintAgentをインストールしない場合は、[キャンセル]をクリックし、インストール手順を終了します。

- 8 プリンターソフトウェアCD-ROMをセットする。

- 9 [ファイルのコピー元]を指定して、[OK]をクリックする。

ファイルの指定は、CD-ROMドライブ名、コロンの(:)、円記号(¥)に続けて「MW2800N¥DISK2」と入力します。

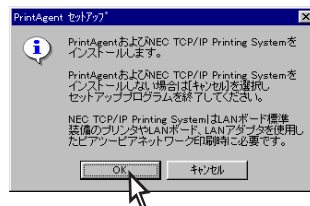


- 10 プリンターの名前を確認し、[完了]をクリックする。



プリンタードライバーがインストールされます。

- 11 PrintAgentをインストールする場合は[OK]をクリックする。



このあとは48ページの手順⑤以降と同じです。PrintAgentをインストールしない場合は、[キャンセル]をクリックし、インストール手順を終了します。

Windows 2000 日本語版

ここでは、Windows 2000 日本語版にプリンターソフトウェアをインストールする手順を説明します。

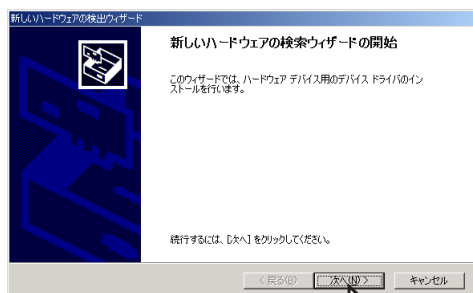
- 1 MultiWriter 2800N/2800/2300Nの電源をONにする。

- 2 コンピューターの電源をONにする。

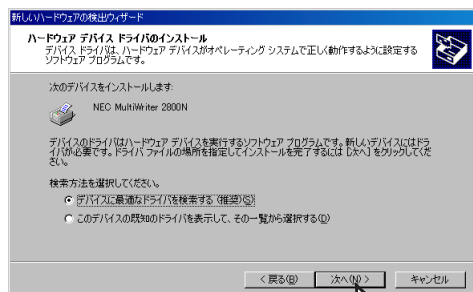
Windows 2000 日本語版を起動します。

- 3 [次へ]をクリックする。

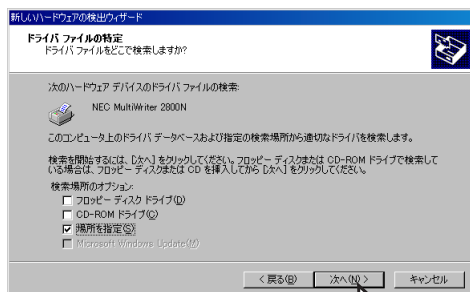
このダイアログボックスが表示されなかった場合、48ページの「CD-ROMからのインストール」を行ってください。



- 4 [デバイスに最適なドライバを検索する]を選び、[次へ]をクリックする。



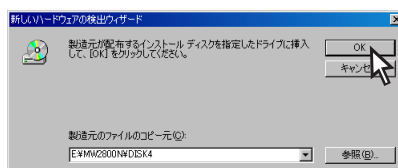
- 5 [場所を指定]を選び、[次へ]をクリックする。



- 6 プリンターソフトウェアCD-ROMをセットする。

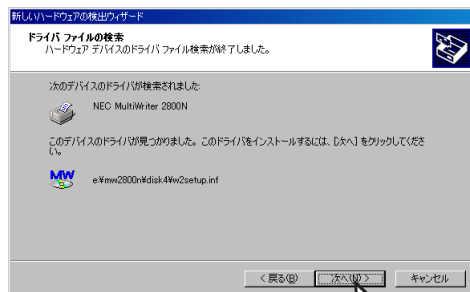
- 7 ファイルのコピー元を指定し、[OK]をクリックする。

ファイルの指定は、CD-ROMドライブ名、コロン(:)、円記号(¥)に続けて「MW2800N¥DISK4」と入力します。

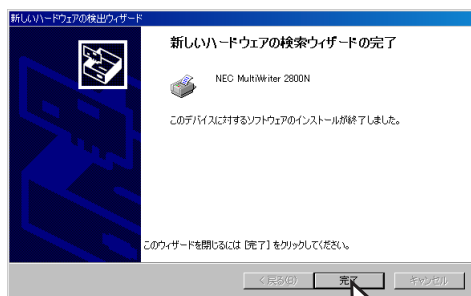


- 8 内容を確認し、[次へ]をクリックする。

インストールを開始します。



9 [完了]をクリックする。



— ✓ チェック —

[デジタル署名が見つかりませんでした]とメッセージダイアログボックスが表示される場合があります。MultiWriter 2800N/2800/2300Nに添付のプリンターソフトウェアCD-ROMに収録されているMultiWriter 2800N/2800/2300Nのプリンターソフトウェアは、弊社により動作を確認しております。

[はい]をクリックし、インストールを続行します。

[いいえ]をクリックした場合は、インストールが中止されます。



これでプリンタードライバーのインストールは完了です。

次にPrintAgentをインストールするには、「CD-ROMからのインストール」の手順⑥(49ページ)で「プリンタードライバをインストールしない。」を選んだ場合の手順に従って、インストールしてください。

プリンター管理者向けインストール

ここではプリンター管理者としてプリンターソフトウェアをインストールする場合の手順を説明します。

プリンター管理者向けのインストールを行うと、以下の機能を利用することができます。

プリンター管理者のみ選択可能なオプション

Web PrintAgent

ブラウザを使ってプリンターの状況を見ることができます。

プリンタ管理ユーティリティ

LANボード(標準装備も含む)/LANアダプターのリモート設定、プリンタ自動切替機能、保守情報のメール通知機能が利用できます。

印刷ログ

印刷の履歴状況を出力することができます。

- ☐ PrintAgent リプリント2
- ☐ Web PrintAgent*¹
- ☐ お読みください. TXT
- ☐ ツールバー
- ☐ プリントステータスウィンドウ
 - ☐ 音声
- ☐ プリンター一覧
- ☐ プリンタ管理ユーティリティ
 - ☐ プリンタ自動切替
 - ☐ メール通知*²
- ☐ ヘルプファイル
- ☐ 印刷ログ*³

*¹ プリントサーバーにWeb サーバーがインストールされている必要があります。詳しくは各OSのヘルプをご覧ください。

*² ネットワーク設定にTCP/IPプロトコルがインストールされている必要があります。詳しくは各OSのヘルプをご覧ください。

*³ Windows 2000/NT 4.0で選択できます。

また、プリンターを管理する方は以下の機能もご利用いただけます。

- セキュリティのためのパスワード設定(61ページ)

プリンター管理者以外の人に「プリンタ管理ユーティリティ」の使用や、プリンターソフトウェアの削除を保護するためにパスワードの設定が可能です。

- インストール用フロッピーディスクの作成(62ページ)

プリンターソフトウェアCD-ROMからインストール用のフロッピーディスクを作成します。またファイルサーバーのハードディスクなど任意の媒体にコピーすることができます。プリンター管理者がハードディスクなどにコピーし、複数台のコンピュータにプリンターソフトウェアを指定した内容で短時間にインストールしたい場合などに便利です。

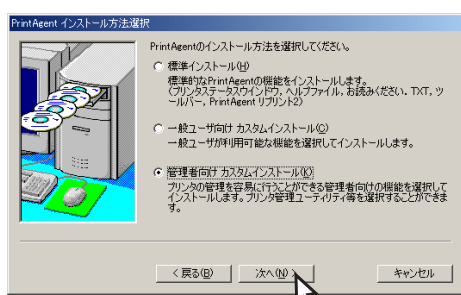
インストール手順

ここでは、Windows Me/98/95、Windows 2000、Windows NT 4.0 日本語版に対応したプリンターソフトウェアをプリンター管理者としてインストールする手順を説明します。

1 [PrintAgent インストール方法選択] ダイアログボックスを開く。

「CD-ROMからのインストール」(48ページ)の手順
①～③に従ってください。

2 [管理者向けカスタムインストール]を選び、[次へ]をクリックする。



3 任意の機能を選び、[次へ]をクリックする。

[全追加]をクリックすると、すべてチェックされます。
[全削除]をクリックすると、すべてチェックが外れます。

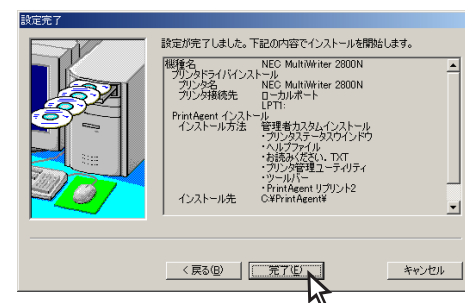


4 PrintAgentのインストール先とスプールファイルの作成先を指定し、[次へ]をクリックする。

すでに他のMultiWriterのPrintAgentがインストールされている場合は、このダイアログボックスは表示されません。

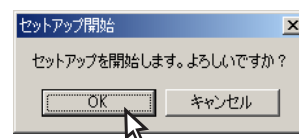


5 設定した内容を確認し、[完了]をクリックする。



6 [OK]をクリックする。

ソフトウェアのインストールが開始されます。

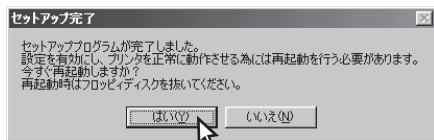


7 インストールが終了したら、[OK]をクリックする。



✓ チェック

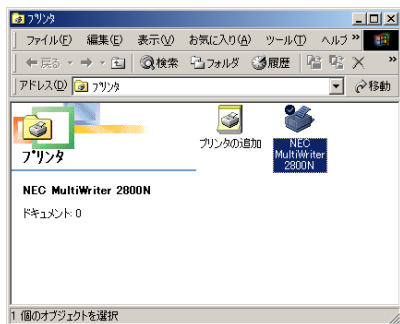
再起動を促すダイアログボックスが表示された場合は、画面の指示に従ってコンピュータを再起動してください。



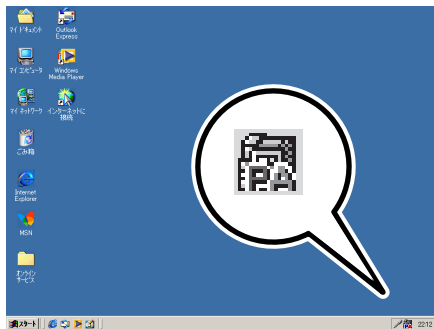
8 プリンターソフトウェアが正常にインストールされたことを確認する。

管理者向けカスタムインストールで選択されたオプションによっては登録されているアイコンが異なります。

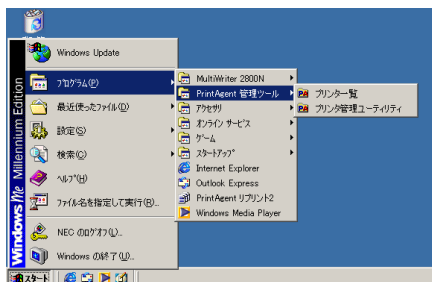
- [プリンタ]フォルダー内に、[NEC MultiWriter 2800N]アイコンが登録されている。



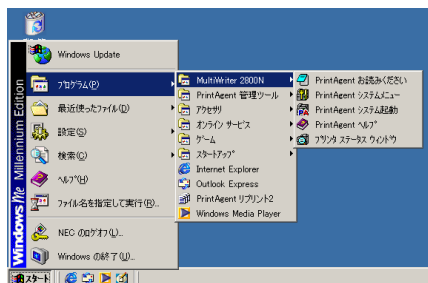
- タスクバーのトレイに、[PrintAgentシステム]アイコンが登録されている。



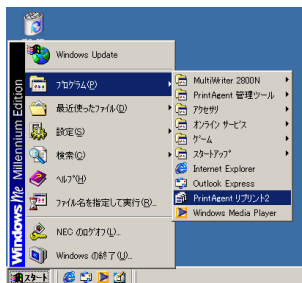
- スタートメニューの[プログラム]に[PrintAgent管理ツール]というフォルダーが追加され、その下に[プリンタ管理ユーティリティ]と[プリンター一覧]が登録されている。



- スタートメニューの[プログラム]に[MultiWriter 2800N]というフォルダーが追加され、その下にPrintAgent関連のアイコンが登録されている。



- スタートメニューの[プログラム]に[PrintAgent リプリント2]が登録されている。



パスワードの設定

プリンター管理者としてプリンターソフトウェアをインストールした場合、パスワードを設定できます。以下の手順で設定します。Windows Me/98/95、Windows 2000、Windows NT 4.0 日本語版に対応しています。

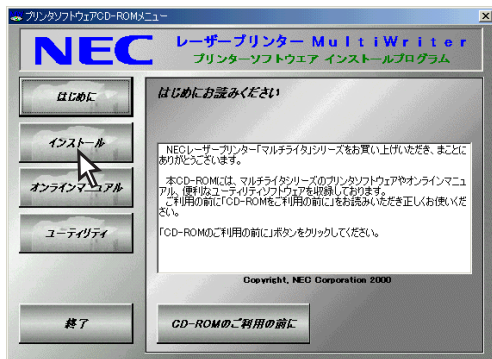
✓チェック

- パスワードで保護される機能はプリンタ管理ユーティリティの起動、プリンターソフトウェアの削除です。
- 設定したパスワードはPrintAgentに対応した機種で共通に使用されます。

① プリンターソフトウェアCD-ROMをセットし、メニュープログラムを立ち上げる。

お使いのコンピュータによっては、自動的にメニュープログラムが立ち上がらない場合があります。その場合はCD-ROMのルートディレクトリにある「MWSETUP.exe」を実行してください。

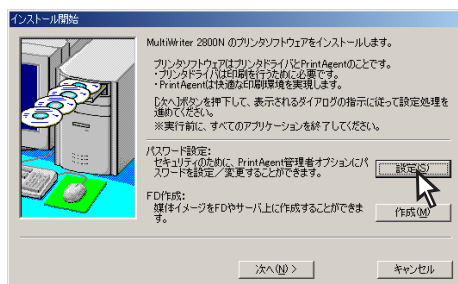
② [インストール]をクリックする。



③ 右側のボックスから[MultiWriter 2800N]を選んで[インストール開始]をクリックする。



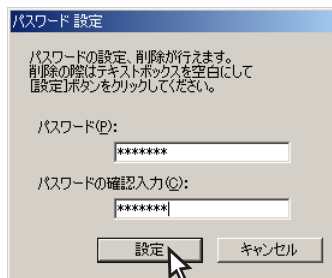
④ パスワード設定の[設定]をクリックする。



⑤ パスワードとパスワードの確認を入力し、[設定]をクリックする。

半角の英数文字で8文字まで入力できます。

パスワードを設定しない場合は空白のまま[設定]をクリックします。すでに入力してあるパスワードを解除する場合はボックス内の文字を削除して、[設定]をクリックします。



FD作成(インストール媒体の作成)

「FD作成」はプリンターソフトウェアCD-ROMの内容を任意の項目で構成し、フロッピーディスク、またはハードディスクなど任意の媒体にインストール用のプリンターソフトウェアをコピーする機能です。

コピーされる形式は次の2通りです。

- マスターとして MultiWriter 2800N用プリンターソフトウェアすべてコピーします。(1.44MBもしくは1.25MBでフォーマットされたフロッピーディスクが9枚が必要です)
- 「カスタム」インストール用として 機能を選択して、インストール用のプリンターソフトウェアをコピーします。(1.44MBもしくは1.25MBでフォーマットされたフロッピーディスクが9枚が必要です)

プリンターソフトウェアをコピーしたハードディスクを他のコンピュータも共有できるようにしておけば、CD-ROMを使わずにネットワークを介してプリンターソフトウェアをインストールすることができます。複数台のコンピュータに同じ内容のソフトウェアを短時間にインストールしたい場合などに便利です。

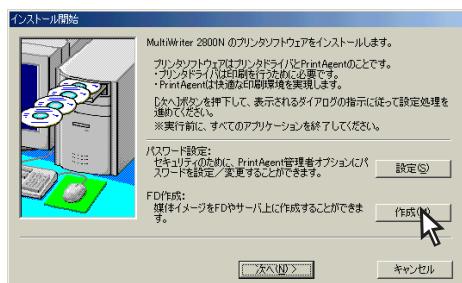
① プリンターソフトウェアCD-ROMをセットし、メニュープログラムを立ち上げる。

メニュープログラムを立ち上げる手順はお使いになるコンピュータの環境によって異なります。各OSのインストール方法を参照してください。

[MultiWriter 2800N]を選んで[インストール開始]をクリックします。



② FD作成の[作成]をクリックする。

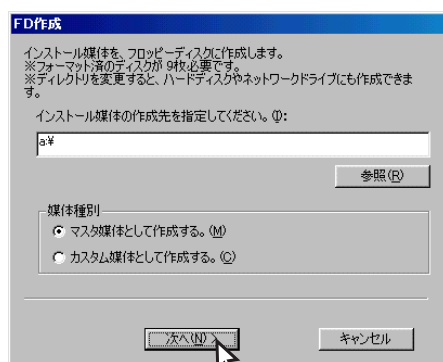


③ インストール媒体の作成先、媒体種別を指定し、[次へ]をクリックする。

作成先にフロッピーディスクドライブを指定するとプリンターソフトウェアがフロッピーディスクにコピーされます。

インストール媒体作成先に、ハードディスク、ネットワークパスを指定することができます。

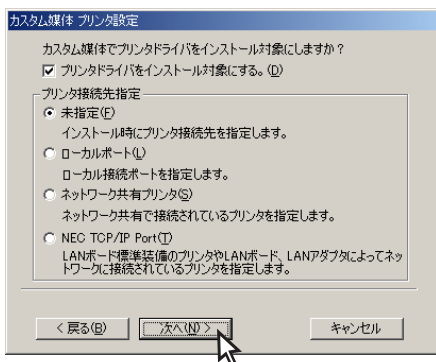
[マスタ媒体として作成する。]を選ぶとCD-ROMと、同様の内容をすべてコピーします。



＜[マスタ媒体として作成する]を選んだ場合＞
手順⑦へ進んでください。

＜[カスタム媒体として作成する]を選んだ場合＞
手順④へ進んでください。

- 4 プリンタードライバーのインストール、プリンターの接続先を選び、[次へ]をクリックする。

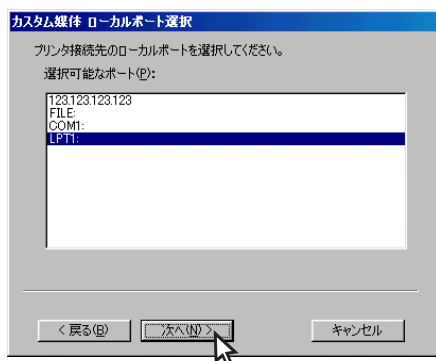


<[未指定]を選んだ場合>

手順⑤に進んでください。

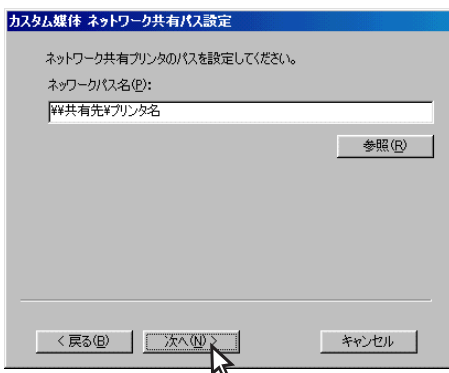
<[ローカルポート]を選んだ場合>

希望するポートを選び、[次へ]をクリックする。



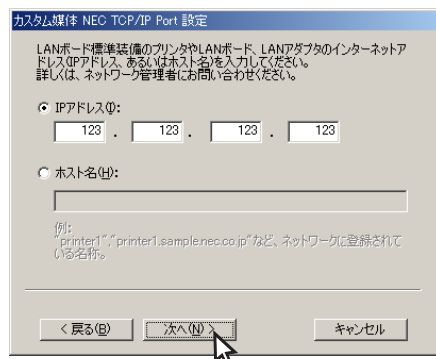
<[ネットワーク共有プリンタ]を選んだ場合>

プリンターの接続先を指定し、[次へ]をクリックする。



<[NEC TCP/IP Port]を選んだ場合>

LANボード、またはLANアダプターのIPアドレスあるいは、ホスト名を設定して[次へ]をクリックする。

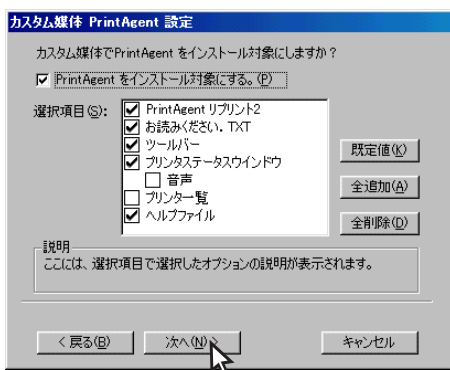


- 5 任意の機能を選ぶ。

[全追加]をクリックするとすべてチェックされます。[全削除]をクリックするとすべてチェックが外れます。

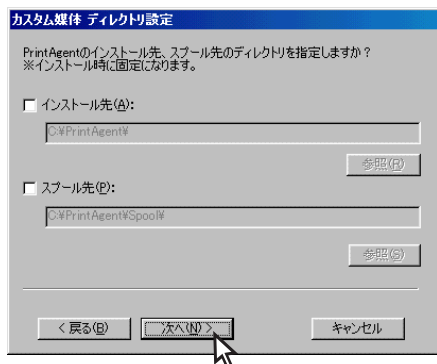
— チェック —

ここで選択されなかった機能はクライアントでインストールした後に、クライアントで追加を行おうとしても追加できません。インストールした機能のみ削除できます。

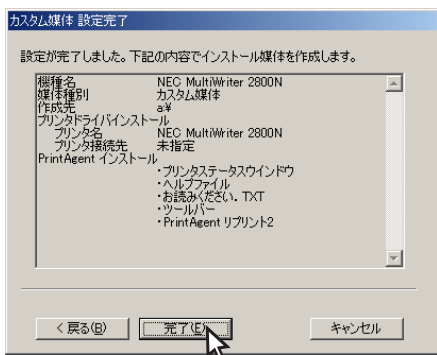


6 インストール先、スプール先を指定し、[次へ]をクリックする。

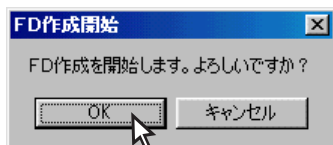
ここであらかじめインストール先を固定しておけば、個々のコンピューターからインストールするときの手順が簡略化できます。



7 設定した内容を確認し、[完了]をクリックする。

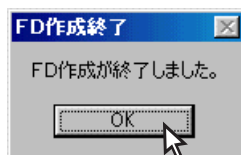


8 [OK]をクリックする。



インストール媒体の作成が開始します。

9 [OK]をクリックする。



— **チェック** —

FD作成によって作成されたフロッピーディスクは、以下のような構成になります。

Disk 1 : インストールプログラム

Disk 2 : Windows Me/98/95
プリンタードライバー

Disk 3 : Windows NT 4.0/3.5.1
プリンタードライバー

Disk 4 : Windows 2000
プリンタードライバー

Disk 5～Disk 9 : PrintAgentソフトウェア

作成したフロッピーディスクでのプリンターソフトウェアのインストールには、Disk 1にあるSETUP.EXEを実行してください。

また、Windows 3.1のプリンタードライバーはコピーされません。別途フロッピーディスクにコピーが必要です。プリンターソフトウェアCD-ROMのプリンター名のフォルダーの下にある¥Win31のすべてのフロッピーディスクにコピーしてください。

プリンタードライバーのみのインストール

Windows Me/98/95 日本語版

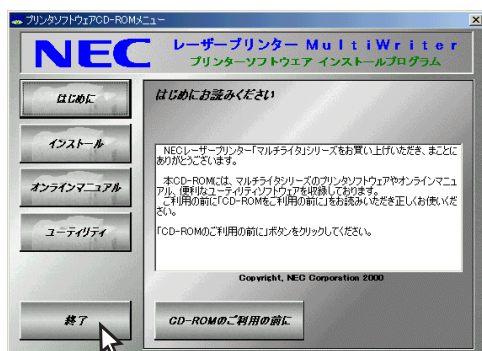
ここでは、Windows Me/98/95 日本語版にプリンタードライバーのみをインストールする手順を説明します。

① Windows Me/98/95 日本語版を起動する。

② プリンターソフトウェアCD-ROMをセットする。

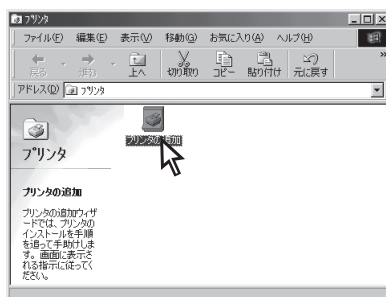
ソフトウェアインストールのメニュー画面が表示されます。

③ [終了]をクリックする。

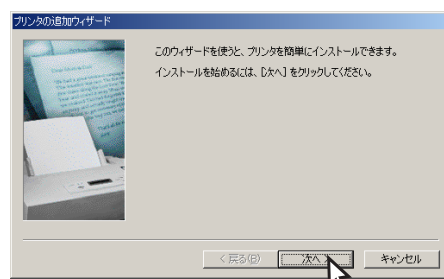


④ [プリンタ]フォルダーを開く。

⑤ [プリンタの追加]アイコンをダブルクリックする。

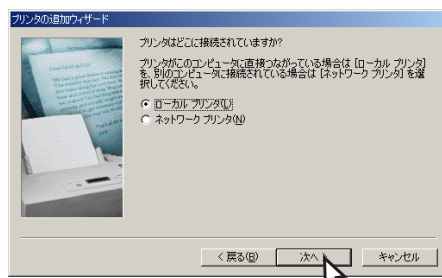


⑥ [次へ]をクリックする。



⑦ [ローカルプリンタ]を選び、[次へ]をクリックする。

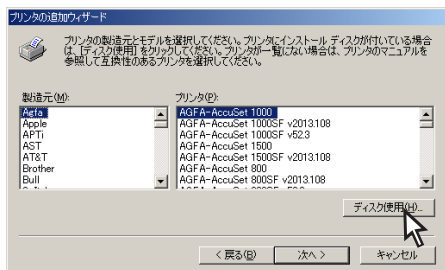
[ネットワークプリンタ]を選択する場合はOSの取扱説明書をご覧ください。



—  チェック —

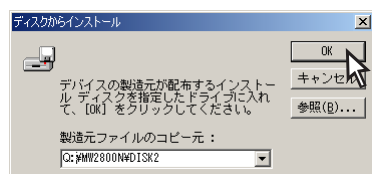
印刷先をLANボードあるいはLANアダプターに接続されたプリンターに変更するには、このままインストールを行った後、75ページを参照して印刷先を変更してください。

8 [ディスク使用]をクリックする。



9 配付ファイルのコピー元を入力して、[OK]をクリックする。

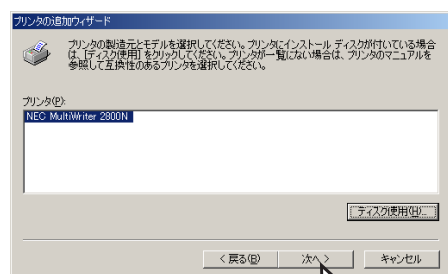
[配付ファイルのコピー元]に、CD-ROMを挿入したドライブ名、コロン(:)、円記号(¥)に続けて「MW2800N¥DISK2」と入力します。



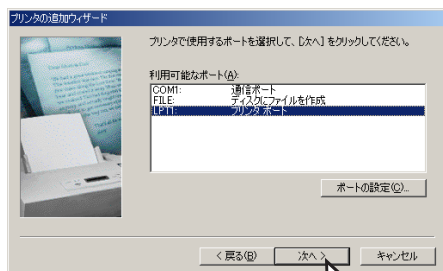
✓チェック

- MultiWriter 2800の場合、指定するディレクトリは「¥MW2800¥DISK2」と入力してください。
- MultiWriter 2300Nの場合、指定するディレクトリは「¥MW2300N¥DISK2」と入力してください。

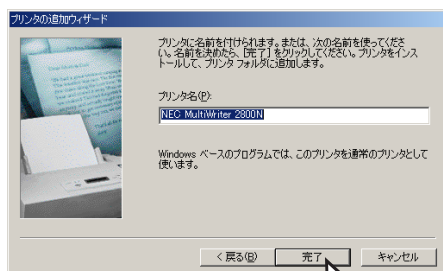
10 使用するプリンターを選択して、[次へ]をクリックする。



11 使用するポートを選び、[次へ]をクリックする。

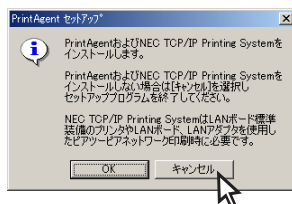


12 プリンターの名前を確認して、[完了]をクリックする。

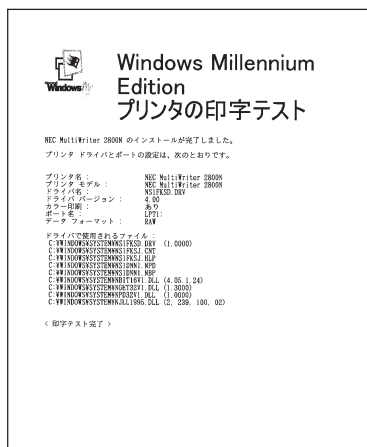


プリンタードライバがインストールされます。

13 [キャンセル]をクリックする。



この後テストページを印刷する場合は、プリンターのプロパティの[全般]シートで[印字テスト]をクリックしてください。以下のようなテストページが印刷されます。



Windows 2000 日本語版

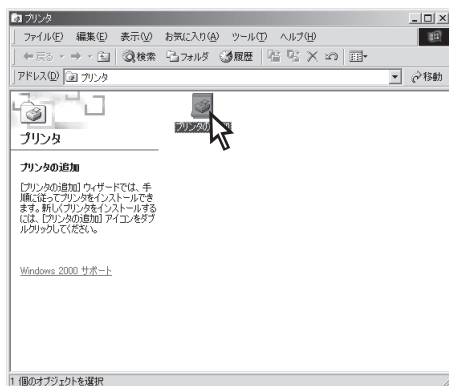
ここでは、Windows 2000 日本語版にプリンタードライバーのみをインストールする手順を説明します。

- 1 Windows 2000 日本語版を起動する。
- 2 プリンターソフトウェアCD-ROMをセットする。
[プリンターソフトウェアCD-ROM]メニューが起動します。

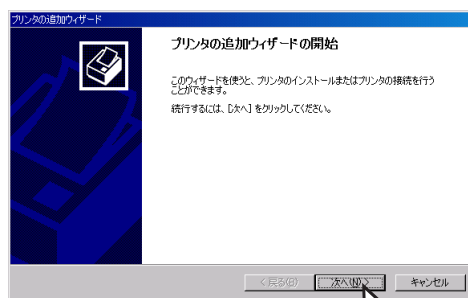
- 3 [終了]をクリックする。



- 4 [プリンタ]フォルダーを開く。
- 5 [プリンタの追加]アイコンをダブルクリックする。

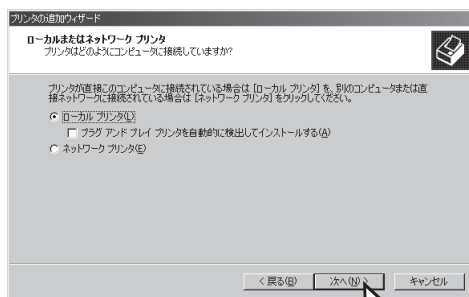


- 6 [次へ]をクリックする。



- 7 プリンターの接続先を選び、[次へ]をクリックする。

[ネットワークプリンタ]を選択する場合はOSの取扱説明書をご覧ください。

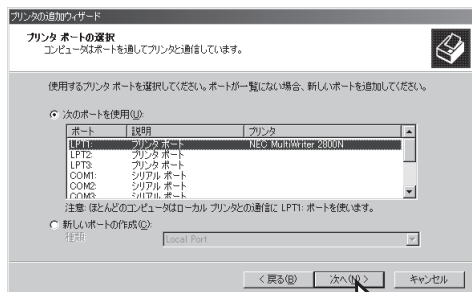


—✓チェック—

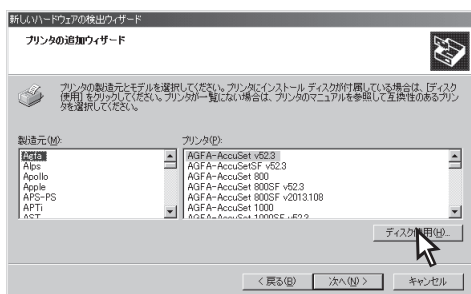
印刷先をLANボードあるいはLANアダプターに接続されたプリンターに変更するには、このままインストールを行った後、76ページを参照して印刷先を変更してください。

[プラグ アンド プレイ プリンタを自動的に検出してインストールする]を選んだ場合、プリンターの電源をONにするだけでコンピューターはプリンターを自動的に検出します。56ページの手順を参照してください。

- 8 使用するプリンタポートを選び、[次へ]をクリックする。

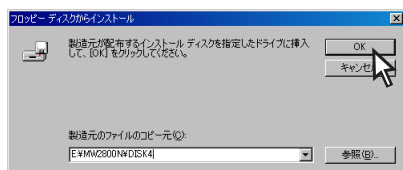


- 9 [ディスク使用]をクリックする。



- 10 [製造元のファイルのコピー元]を入力して、[OK]をクリックする。

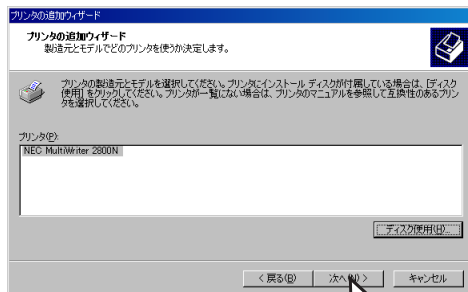
[製造元のファイルのコピー元]に、CD-ROMを挿入したドライブ名、コロン(:)、円記号(¥)に続けて「MW2800N¥DISK4」と入力します。



✓ チェック

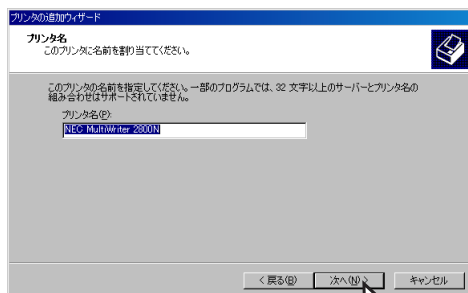
- MultiWriter 2800の場合、指定するディレクトリーは「¥MW2800¥DISK4」と入力してください。
- MultiWriter 2300Nの場合、指定するディレクトリーは「¥MW2300N¥DISK4」と入力してください。

- 11 使用するプリンターを選択して、[次へ]をクリックする。

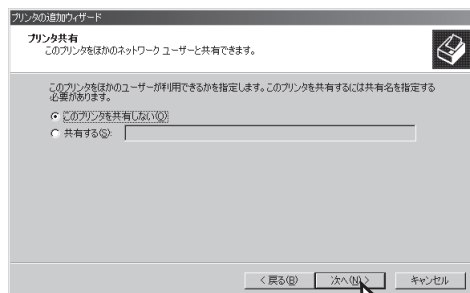


- 12 プリンターの名前を確認して[次へ]をクリックする。

すでに他のプリンタードライバーがインストールされている場合、通常使うプリンターとして使用するかしないかを選択してください。

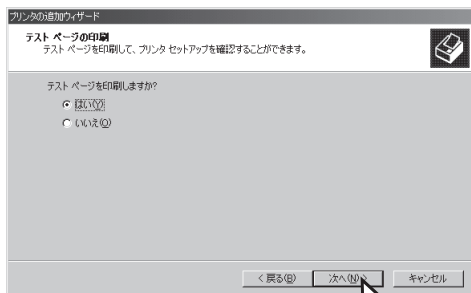


- 13 [このプリンタを共有しない]を選び、[次へ]をクリックする。

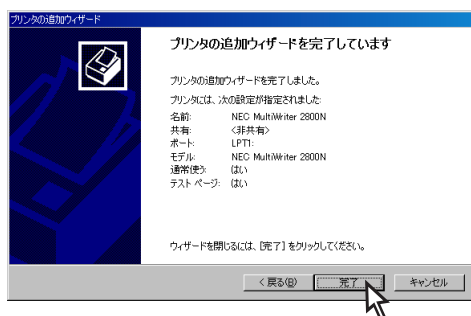


14 [テスト ページの印刷]で[はい]を選び、
[次へ]をクリックする。

プリンタードライバーのインストールが開始されます。



15 [完了]をクリックする。

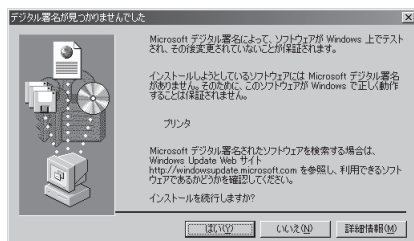


✓ チェック

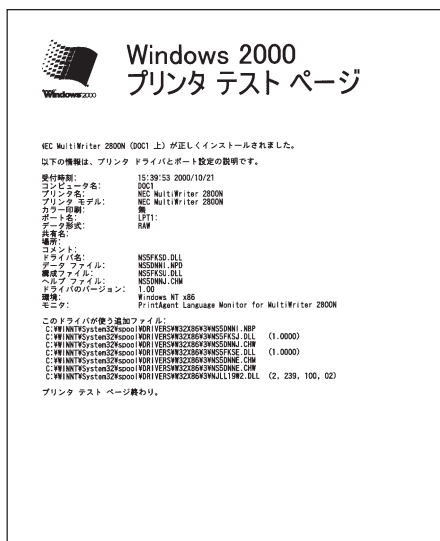
[デジタル署名が見つかりませんでした]とメッセージダイアログボックスが表示される場合があります。MultiWriter 2800N/2800/2300Nに添付のプリンターソフトウェアCD-ROMに収録されているMultiWriter 2800N/2800/2300Nのプリンターソフトウェアは、弊社により動作を確認しております。

[はい]をクリックし、インストールを続行します。

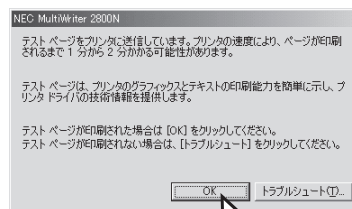
[いいえ]をクリックした場合は、インストールが中止されます。



以下のようなテストページが印刷されます。



16 テストページが正しく印刷された場合、[OK]をクリックする。



Windows NT 4.0 日本語版

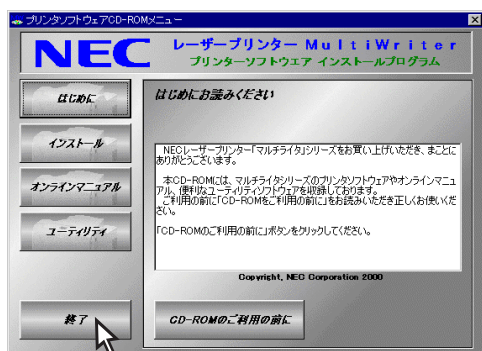
ここでは、Windows NT 4.0 日本語版にプリンタードライバーのみをインストールする手順を説明します。

① Windows NT 4.0 日本語版を起動する。

② プリンターソフトウェアCD-ROMをセットする。

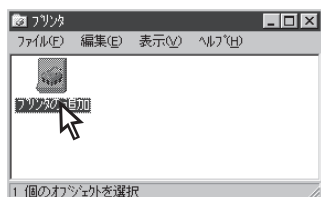
[プリンターソフトウェアCD-ROM]メニューが起動します。

③ [終了]をクリックする。



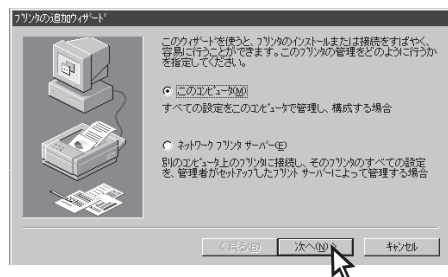
④ [プリンタ]フォルダーを開く。

⑤ [プリンタの追加]アイコンをダブルクリックする。



⑥ [このコンピュータ]を選択し、[次へ]をクリックする。

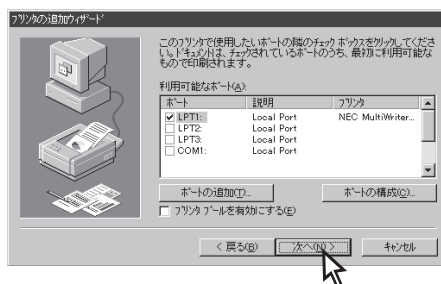
[ネットワークプリンタサーバー]を選択する場合は、OSの取扱説明書をご覧ください。



⑦ 使用するポートをチェックして、[次へ]をクリックする。

— チェック —

印刷先をLANボードあるいはLANアダプターに接続されたプリンターに変更するには、このままインストールを行った後、77ページを参照して印刷先を変更してください。



⑧ [ディスク使用]をクリックする。



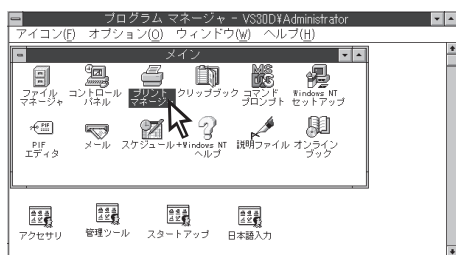
Windows NT 3.51 日本語版

ここでは、Windows NT 3.51 日本語版にプリンタードライバーをインストールする手順を説明します。

① Windows NT 3.51 日本語版を起動する。

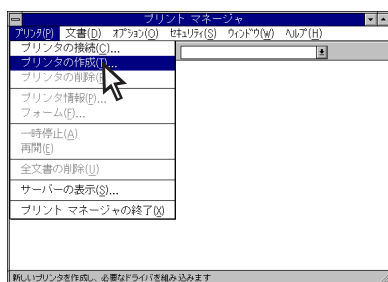
② プリンターソフトウェアCD-ROMをセットする。

③ [プログラムマネージャ]の[メイン]グループから[プリントマネージャ]をダブルクリックする。

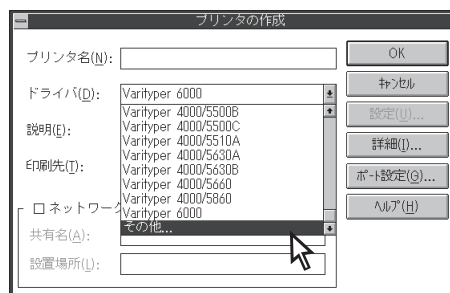


④ [プリンタ]メニューの[プリンタの作成]をクリックする。

共有設定されているプリンターに接続する場合は、OSの取扱説明書をご覧ください。

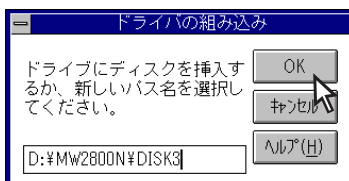


⑤ [ドライバ]ボックスから、一番下の[その他]を選択する。



⑥ パス名を入力し、[OK]をクリックする。

ボックスにCD-ROMを挿入したドライブ名、コロン(:)、円記号(¥)に続けて「MW2800N¥DISK3」と入力します。



✓チェック

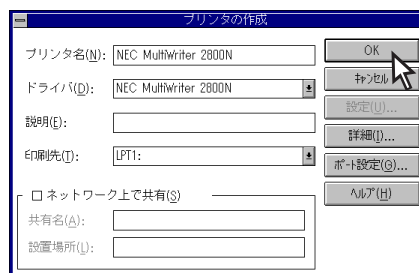
- MultiWriter 2800の場合、指定するディレクトリーは「¥MW2800N¥DISK3」と入力してください。
- MultiWriter 2300Nの場合、指定するディレクトリーは「¥MW2300N¥DISK3」と入力してください。

⑦ 使用するプリンターを選択して、[OK]をクリックする。



プリンタードライバーがインストールされます。

⑧ [プリンタ名]を入力して、[OK]をクリックする。



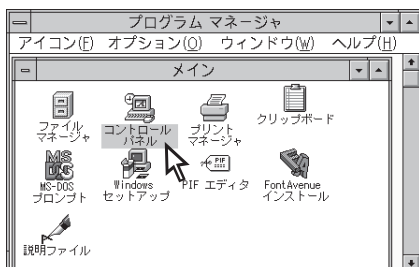
⑨ [OK]をクリックする。

Windows 3.1 日本語版

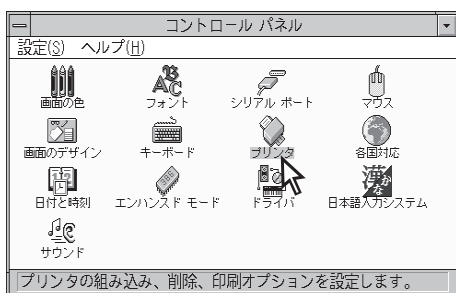
ここでは、Windows 3.1 日本語版にプリンタードライバをインストールする手順を説明します。

- 1 Windows 3.1 日本語版を起動する。
- 2 プリンターソフトウェアCD-ROMをセットする。
- 3 プログラムマネージャ中の[メイン]グループ内の[コントロールパネル]をダブルクリックする。

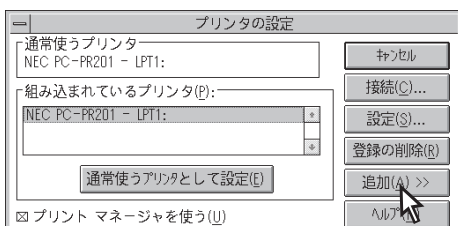
[コントロールパネル]フォルダーが表示されます。



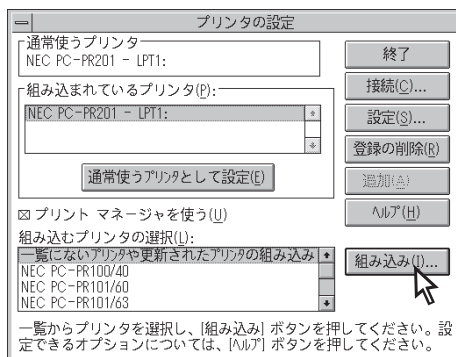
- 4 [プリンタ]アイコンをダブルクリックする。
[プリンタの設定]ダイアログボックスが表示されます。



- 5 [追加]をクリックする。



- 6 [組み込むプリンタの選択]一覧から[一覧にないプリンタや更新されたプリンタの組み込み]を選択し、[組み込み]をクリックする。

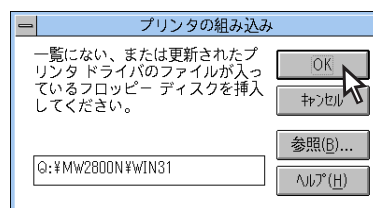


[プリンタの組み込み]ダイアログボックスが表示されます。

- 7 パスを指定する。

テキストボックスにCD-ROMを挿入したドライブ名、コロン(:)に続けて「¥MW2800N¥WIN31」と入力し、[OK]をクリックします。

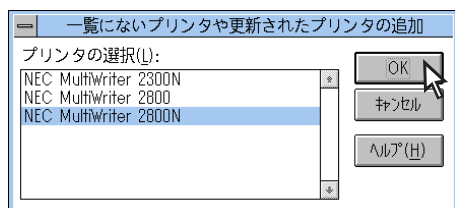
または[参照]をクリックしてCD-ROMを挿入したドライブを指定し、[ディレクトリ]の中から[MW2800N]の下にある[WIN31]を指定し、[OK]をクリックします。



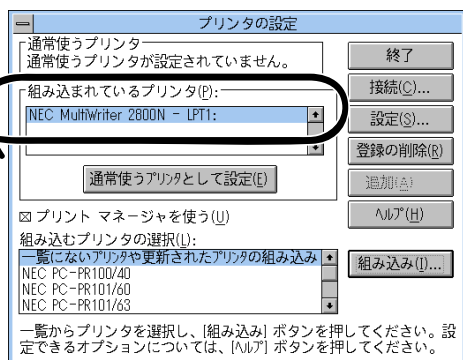
チェック

- MultiWriter 2800の場合、指定するディレクトリーは「¥MW2800¥WIN31」と入力してください。
- MultiWriter 2300Nの場合、指定するディレクトリーは「¥MW2300N¥WIN31」と入力してください。

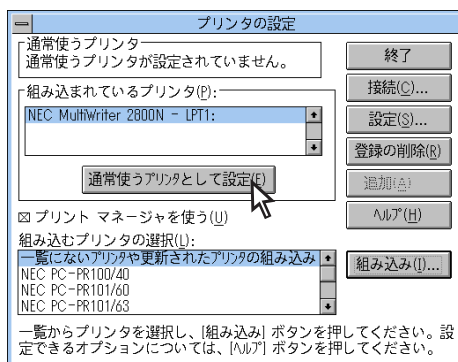
- 8 [プリンタの選択]一覧から[NEC MultiWriter 2800N]を選択し、[OK]をクリックする。



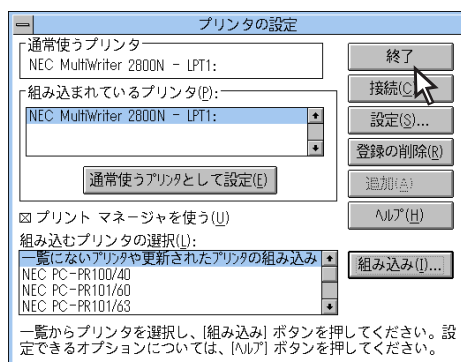
- 9 [組み込まれているプリンタ]に[NEC MultiWriter 2800N]が表示されていることを確認する。



- 10 [通常使うプリンタとして設定]をクリックする。



- 11 [終了]をクリックする。



印刷先の変更

標準装備のLANボード、オプションのLANボードまたはLANアダプターによって、ネットワークに接続されているプリンターに印刷先(ポート)を設定、変更する方法を説明します。

重要

NEC製の「NEC TCP/IP Printing System」および「NEC Network Port」以外の接続先(ポート)を設定する場合には、双方向通信機能を無効にする必要があります。お使いのOSの設定で双方向通信機能を無効にしてください。設定に関しては、7章の「PrintAgentの機能を十分に発揮させるために」(214ページ)をご覧ください。

チェック

- NEC製の「NEC TCP/IP Printing System」および「NEC Network Port」を選択し、接続先(ポート)を追加する場合には、インストールプログラムよりプリンタードライバーがインストールされている必要があります。
- NEC製の「NEC TCP/IP Printing System」および「NEC Network Port」はプリンターソフトウェアをインストールすると同時にインストールされています。

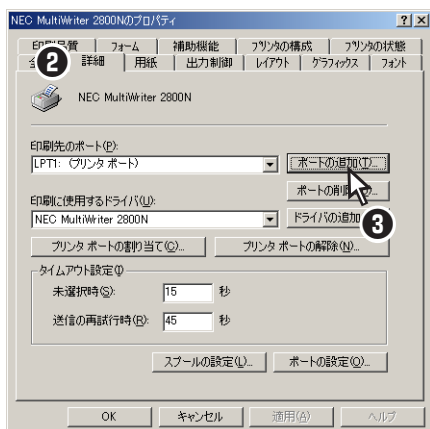
Windows Me/98/95 日本語版

1 [MultiWriter 2800Nのプロパティ]のダイアログボックスを表示させる。

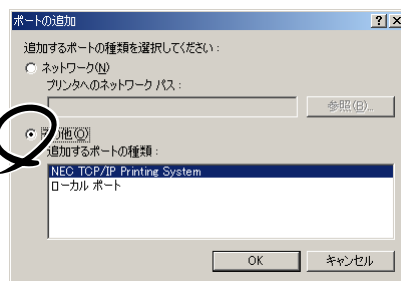
[プリンタ]フォルダーの[NEC MultiWriter 2800N]アイコンをクリックし、[ファイル]メニューの[プロパティ]をクリックします。

2 [詳細]タブをクリックする。

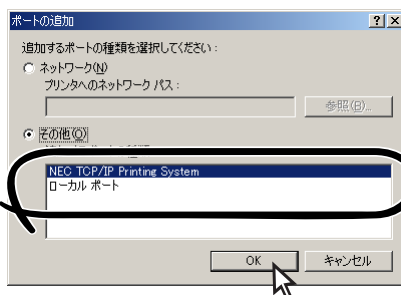
3 [ポートの追加]をクリックする。



4 [その他]を選ぶ。

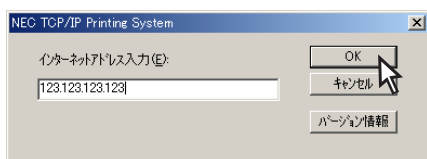


5 [NEC TCP/IP Printing System]を選んで、[OK]をクリックする。



- 6** LANボード(標準装備含む)、またはLANアダプターのインターネットアドレスを入力し、[OK]をクリックする。

インターネットアドレスについては、ネットワーク管理者におたずねください。



- 7** [OK]をクリックする。

[MultiWriter 2800Nのプロパティ]のダイアログボックスを閉じます。

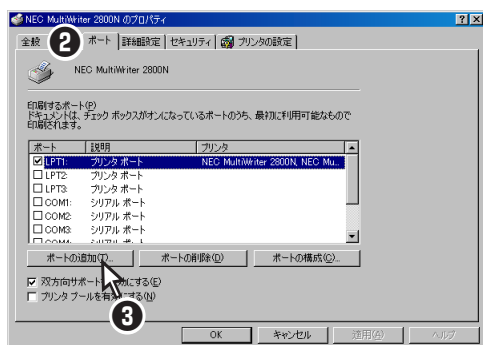
Windows 2000 日本語版

- 1** [MultiWriter 2800Nのプロパティ]のダイアログボックスを表示させる。

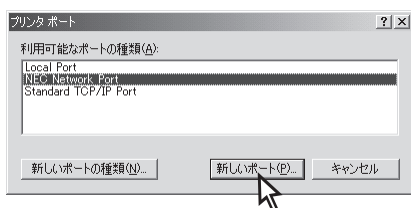
[プリンタ]フォルダーの[MultiWriter 2800N]アイコンを右クリックし、[プロパティ]をクリックします。

- 2** [ポート]タブをクリックする。

- 3** [ポートの追加]をクリックする。



- 4** [NEC Network Port]を選び、[新しいポート]をクリックする。



- 5** LANボード(標準装備含む)、またはLANアダプターのインターネットアドレスを入力し、[OK]をクリックする。

インターネットアドレスについては、ネットワーク管理者におたずねください。



- 6** [閉じる]をクリックする。

[プリンタポート]ダイアログボックスを閉じます。

- 7** [OK]をクリックする。

[MultiWriter 2800Nのプロパティ]のダイアログボックスを閉じます。

Windows NT 4.0 日本語版

- ① [MultiWriter 2800Nのプロパティ]ダイアログボックスを表示させる。

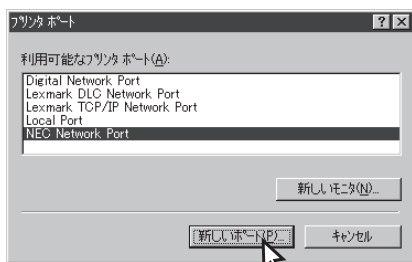
[プリンタ]フォルダーの[NEC MultiWriter 2800N]アイコンをクリックし、[ファイル]メニューの[プロパティ]をクリックします。

- ② [ポート]タブをクリックする。

- ③ [ポートの追加]をクリックする。



- ④ [NEC Network Port]を選んで、[新しいポート]をクリックする。



- ⑤ LANボード(標準装備含む)、またはLANアダプターのインターネットアドレスを入力し、[OK]をクリックする。

インターネットアドレスについては、ネットワーク管理者におたずねください。



- ⑥ [閉じる]をクリックする。

[プリンタポート]ダイアログボックスを閉じます。

- ⑦ [OK]をクリックする。

[MultiWriter 2800Nのプロパティ]のダイアログボックスを閉じます。

プリンタードライバーの削除

必要なファイルが削除されてしまったなどでプリンターが正常に動かなくなったときはプリンタードライバーを再インストールする必要があります。プリンタードライバーを再インストールするには、一度既存のプリンタードライバーを削除(アンインストール)してから行います。ここではMultiWriter 2800Nを例にして削除方法を説明します。

重要

- プリンタードライバーの削除を実行する前に起動中のアプリケーションをすべて終了させてください。
- MultiWriter 2800N/2800/2300Nが印刷中の場合は、プリンタードライバーの削除はできません。印刷が終了してから削除してください。

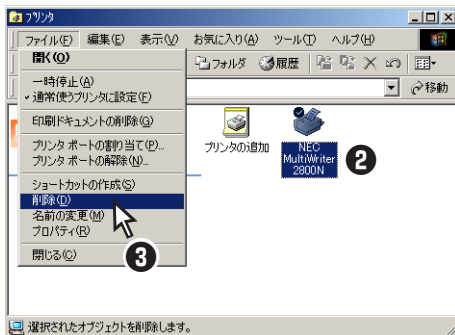
Windows Me/98/95 日本語版

① [プリンタ]フォルダーを開く。

インストール済みのプリンターアイコンが表示されます。

② [NEC MultiWriter 2800N]アイコンをクリックする。

③ [ファイル]メニューの[削除]をクリックする。



④ [はい]をクリックする。

MultiWriter 2800Nのプリンタードライバーが削除されます。



チェック

次のダイアログボックスが表示された場合は、[はい]をクリックしてください。



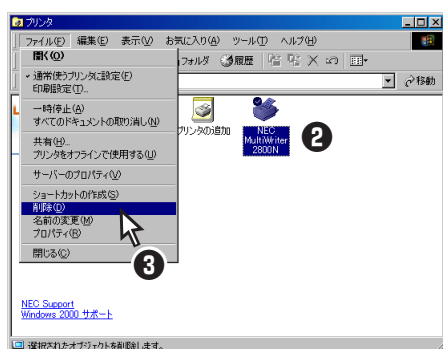
Windows 2000 日本語版

① [プリンタ]フォルダーを開く。

インストールされているプリンターアイコンが表示されます。

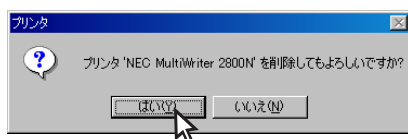
② [NEC MultiWriter 2800N]アイコンをクリックする。

③ [ファイル]メニューの[削除]をクリックする。



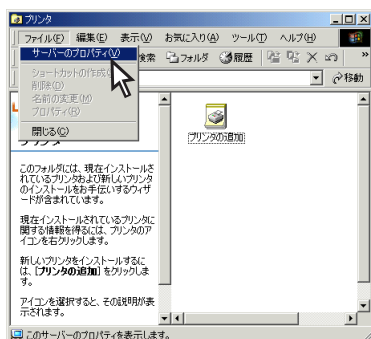
④ [はい]をクリックする。

MultiWriter 2800Nのプリンタードライバーが削除されます。



⑤ [ファイル]メニューの[サーバーのプロパティ]をクリックする。

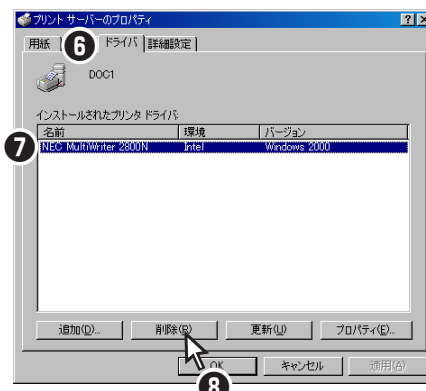
[プリントサーバーのプロパティ]が開きます。



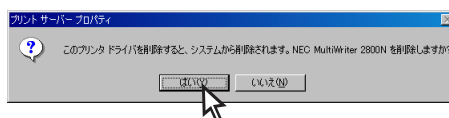
⑥ [ドライバ]タブをクリックする。

⑦ [インストールされたプリンタ ドライバ]から [NEC MultiWriter 2800N]をクリックする。

⑧ [削除]をクリックする。

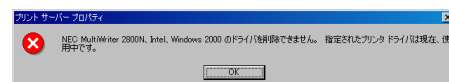


⑨ [はい]をクリックする。



✓ チェック

次のダイアログボックスが表示された場合は、Windows 2000の再起動後、手順⑤からやり直してドライバーを削除してください。



⑩ [インストールされたプリンタ ドライバ]から [NEC MultiWriter 2800N]が削除されたことを確認し、[閉じる]をクリックする。

[プリントサーバーのプロパティ]を閉じます。

Windows NT 4.0 日本語版

- 1 [プリンタ]フォルダーを開く。
- 2 [NEC MultiWriter 2800N]アイコンをクリックする。
- 3 [ファイル]メニューの[削除]をクリックする。



- 4 [はい]をクリックする。

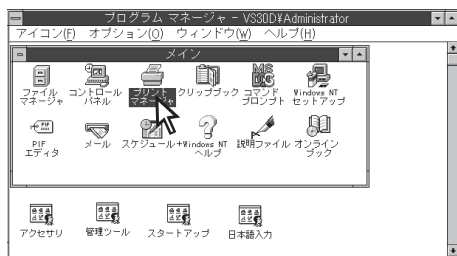
MultiWriter 2800Nのプリンタードライバが削除されます。



Windows NT 3.51 日本語版

- 1 [プログラムマネージャ]の[メイン]グループから[プリントマネージャ]をダブルクリックする。

[プリントマネージャ]ウィンドウが表示されず。



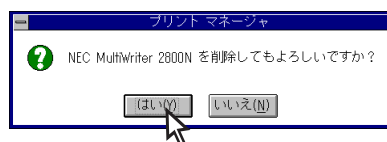
- 2 [MultiWriter 2800N]アイコンをクリックする。

- 3 [プリンタ]メニューの[プリンタの削除]をクリックする。



- 4 [はい]をクリックする。

MultiWriter 2800Nのプリンタードライバが削除されます。



Windows 3.1 日本語版

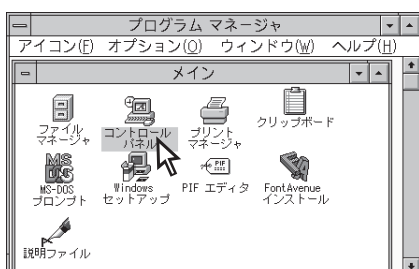
重要

MultiWriter 2800Nが通常使うプリンターに設定されている場合は、すべてのアプリケーションを終了してから削除を行ってください。

2 プリンターソフトウェアのインストール

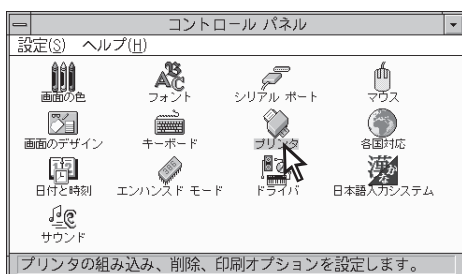
- 1 [プログラムマネージャ]の[メイン]ウィンドウ内の[コントロールパネル]アイコンをダブルクリックする。

[コントロールパネル]フォルダーが表示されます。

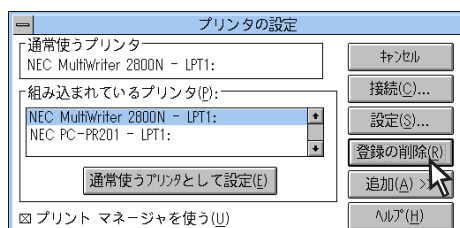


- 2 [コントロールパネル]内の[プリンタ]アイコンをダブルクリックする。

[プリンタの設定] ダイアログボックスが表示されます。

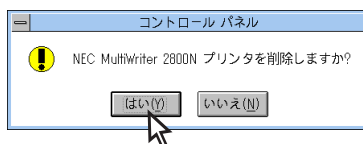


- 3 [組み込まれているプリンタ]リストボックス内の[NEC MultiWriter 2800N]を選んで、[登録の削除]をクリックする。



- 4 [はい]をクリックする。

これでMultiWriter 2800Nプリンタードライバーが削除されます。



PrintAgentの追加・削除

MultiWriter 2800N/2800/2300Nのプリンターソフトウェアのインストーラーでは、プリンターソフトウェアの機能ごとに、追加と削除をすることができます。

ここではPrintAgentの追加と削除方法について、OS別に説明します。

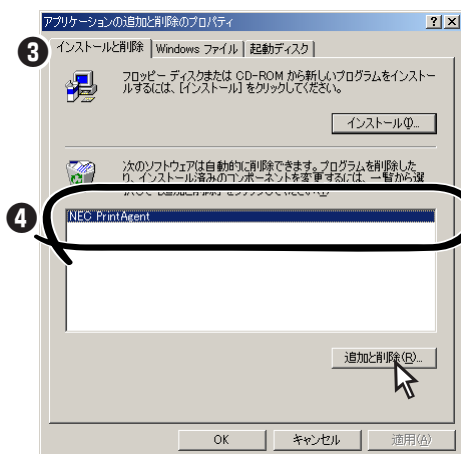
重要

- インストールプログラムを実行する前に起動中のアプリケーションをすべて終了させてください。
- すでに他のMultiWriterのプリンターソフトウェアをインストールしてお使いの場合、そのソフトウェアを削除しないと正常に動作しなくなる場合があります。詳しくは「PrintAgentを正しく動作させるために」(212ページ)をご覧ください。
- PrintAgentのインストール時に指定したPrintAgentモジュールのフォルダー名(指定しなければ「PrintAgent」になります)を変更している場合、ソフトウェアの削除は正常に行えません。変更されているフォルダー名をインストール時のフォルダー名に戻してからソフトウェアの削除を行ってください。
- PrintAgent対応プリンターのプロパティダイアログボックスを表示しているとソフトウェアの削除を行えません。ダイアログボックスを閉じてから行ってください。
- MultiWriter 2800N/2800/2300Nが印刷中の場合は、PrintAgentの削除はできません。印刷が終了してから削除してください。
- PrintAgent対応機種が複数インストールされている状態でMultiWriter 2000XのPrintAgentをアンインストールすると他の機種のPrintAgentが使用できなくなります。また、MultiWriter 2200XのPrintAgentをアンインストールすると一部の機能が使用できなくなります。このような場合は、まず他の機種のPrintAgentをアンインストールしてから、MultiWriter 2000X/2200XのPrintAgentをアンインストールし、必要な機種のPrintAgentをインストールし直してください。

Windows Me/98/95の場合

- 1 [コントロールパネル]フォルダーを開く。
- 2 [アプリケーションの追加と削除]アイコンをダブルクリックする。
- 3 [インストールと削除]シートを開く。

- 4 自動的に削除できるソフトウェアの一覧から[NEC PrintAgent]を選んで、[追加と削除]をクリックする。



5 対象機種を選択してからチェックを変更し、[次へ]をクリックする。

チェックを付けると追加、チェックを外すと削除になります。

また、複数機種のチェックを付ける(外す)と複数機種のオプションを同時に追加(削除)することができます。



管理者向けカスタムインストールを行った場合は選択できるオプションが異なります。

✓ チェック

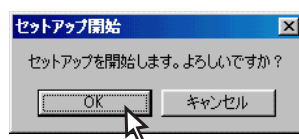
- MultiWriter 2050など他のMulti-Writerシリーズのプリンターソフトウェアがインストールされているとそれぞれのプリンターソフトウェアのオプションが表示される場合があります。
- オプションを追加する場合、セットアップに必要な媒体を要求する画面が表示されますが、プリンターソフトウェアCD-ROMがCD-ROMドライブに挿入されている場合、セットアップに必要なファイルを自動的に参照し、インストールされます。

6 [完了]をクリックする。

パスワードが設定されている場合に管理者向けのオプションを削除するには、あらかじめ設定したパスワードの入力が必要です。



7 [OK]をクリックする。



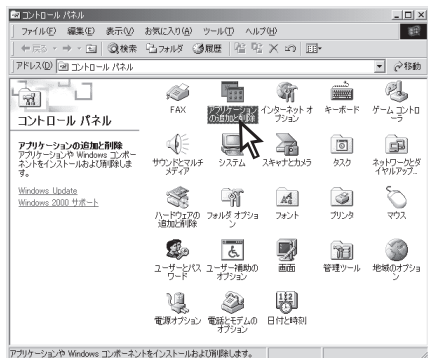
8 追加・削除が終了したら[OK]をクリックする。

再起動を促すダイアログボックスが表示された場合は、画面の指示に従ってコンピュータを再起動してください。

9 すべてのオプションを削除した場合はソフトウェアの一覧から[NEC PrintAgent]が削除されたことを確認し、[OK]をクリックする。

Windows 2000の場合

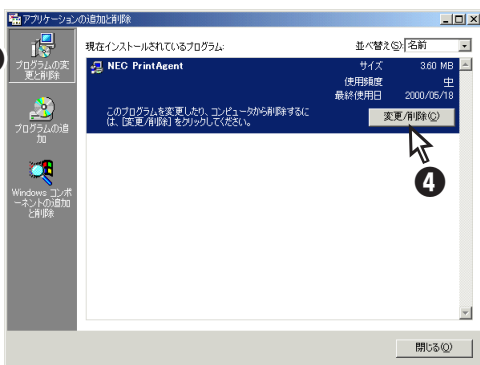
- 1 [コントロールパネル]フォルダーを開く。
- 2 [アプリケーションの追加と削除]アイコンをダブルクリックする。



- 3 左側の[機能選択]バーから[プログラムの変更と削除]をクリックする。

- 4 [NEC PrintAgent]を選んで、[変更/削除]をクリックする。

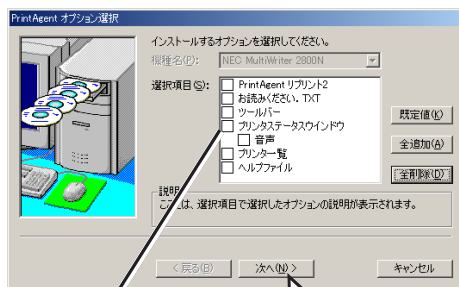
PrintAgentオプション選択ダイアログが表示されます。



- 5 対象機種を選択してからチェックを変更し、[次へ]をクリックする。

チェックを付けると追加、チェックを外すと削除になります。

また、複数機種のチェックを付ける(外す)と複数機種のオプションを同時に追加(削除)することができます。



管理者向けカスタムインストールを行った場合は選択できるオプションが異なります。

✓チェック

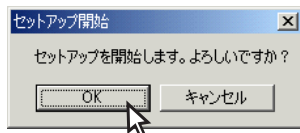
- MultiWriter 2050など他のMulti-Writerシリーズのプリンターソフトウェアがインストールされているとそれぞれのプリンターソフトウェアのオプションが表示される場合があります。
- オプションを追加する場合、セットアップに必要な媒体を要求する画面が表示されますが、プリンターソフトウェアCD-ROMがCD-ROMドライブに挿入されている場合、セットアップに必要なファイルを自動的に参照し、インストールされます。

- ⑥ 変更する項目を確認して、[完了]をクリックする。

パスワードが設定されている場合に管理者向けのオプションを削除するには、あらかじめ設定したパスワードの入力が必要です。



- ⑦ [OK]をクリックする。



- ⑧ 追加・削除が終了したら[OK]をクリックする。

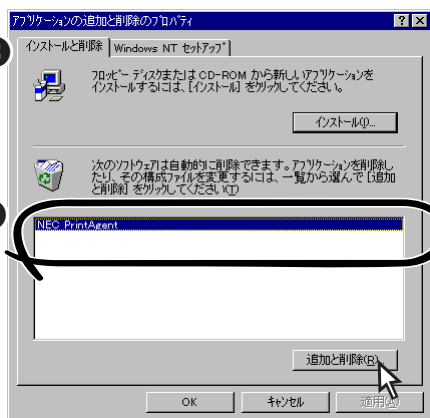
再起動を促すダイアログボックスが表示された場合は、画面の指示に従ってコンピュータを再起動してください。

- ⑨ すべてのオプションを削除した場合は、[現在インストールされているプログラム]から[NEC PrintAgent]が削除されたことを確認し、[閉じる]をクリックする。

Windows NT 4.0の場合

- 1 [コントロールパネル]フォルダーを開く。
- 2 [アプリケーションの追加と削除]アイコンをダブルクリックする。
[アプリケーションの追加と削除のプロパティ]ダイアログボックスが表示されます。
- 3 [インストールと削除]シートを開く。
- 4 自動的に削除できるソフトウェアの一覧から[NEC PrintAgent]を選んで、[追加と削除]をクリックする。

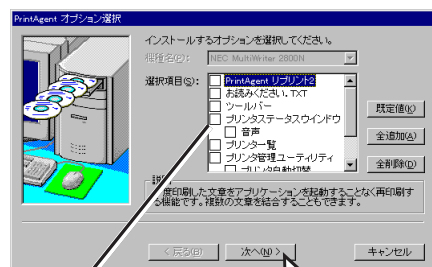
PrintAgentオプション選択ダイアログが表示されます。



- 5 対象機種を選択してからチェックを変更し、[次へ]をクリックする。

チェックを付けると追加、チェックを外すと削除になります。

また、複数機種のチェックを付ける(外す)と複数機種のオプションを同時に追加(削除)することができます。



管理者向けカスタムインストールを行った場合は選択できるオプションが異なります。

チェック

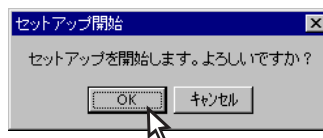
- MultiWriter 2050など他のMulti-Writerシリーズのプリンターソフトウェアがインストールされているとそれぞれのプリンターソフトウェアのオプションが表示される場合があります。
- オプションを追加する場合、セットアップに必要な媒体を要求する画面が表示されますが、プリンターソフトウェアCD-ROMがCD-ROMドライブに挿入されている場合、セットアップに必要なファイルを自動的に参照し、インストールされます。

- 6 [完了]をクリックする。

パスワードが設定されている場合に管理者向けのオプションを削除するには、あらかじめ設定したパスワードの入力が必要です。



- 7 [OK]をクリックする。



- 8 追加・削除が終了したら[OK]をクリックする。

再起動を促すダイアログボックスが表示された場合は、画面の指示に従ってコンピュータを再起動してください。

- 9 すべてのオプションを削除した場合はソフトウェアの一覧から[NEC PrintAgent]が削除されたことを確認し、[OK]をクリックする。

その他のOS環境

Windows NT 3.5 日本語版/日本語MS-DOS環境

ここではWindows NT 3.5 日本語版、日本語MS-DOS環境から印刷をするために必要なプリンターの設定内容を説明します。

プリンターを選択する

<Windows NT 3.5環境で使用する場合>

OSにバンドル(添付)されているドライバーを次の表に示す優先順位で指定してください。

<MS-DOSで使用する場合>

使用しているアプリケーション上で印刷するときにプリンターの名称「NEC MultiWriter 2800N」、「NEC MultiWriter 2800」、あるいは「NEC MultiWriter 2300N」を指定します。指定できない場合は、次の表に示す優先順位で指定してください。(ただしアプリケーションによってはMultiWriter 2800N/2800/2300Nの機能の一部が使用できないことがあります。)

優先順位	プリンター名称	動作モード*3
1	MultiWriter 2300/2100/210S	ページプリンター (もしくは、レーザープリンター)
2	MultiWriter 2650M/2250H	
3	MultiWriter 2650/2650E/2250	
4	MultiWriter 2050	
5	MultiWriter 2200X2、2200XE、2000X2	
6	MultiWriter 2200X	
7	MultiWriter 2000X	
8	MultiWriter 2000FW	
9	MultiWriter 2200NW2、PC-PR2000/6W	
10	MultiWriter 2200NW、MultiWriter 2000E	
11	PC-PR2000/4R、PC-PR2000/4W	
12	PC-PR4000E/4、PC-PR4000/4	
13	MultiWriter 1250、1400X、1000EW、PC-PR1000E/4W、PC-PR1000E/4、PC-PR1000/4R、PC-PR1000/4、PC-PR2000/2、PC-PR2000/4 あるいはNPD Level 2	
14	PC-PR1000、PC-PR1000/2	
15	PC-PR2000あるいはNPD	
16	PC-PR602R*1、*2、PC-PR602*1、*2、PC-PR601*1、*2	
17	PC-PR201/47、PC-PR201/45L、PC-PR201/60、PC-PR201/80A、PC-PR201/65A、PC-PR201/60A、PC-PR101/60あるいは201PL	201PLエミュレーション
18	PC-PR201X、PC-PR201J、PC-PR201GS、PC-PR201/45、PC-PR101GS	
19	PC-PR201G、PC-PR201V、PC-PR201V2、PC-PR201H3、PC-PR101G、PC-PR101G2	
20	上記以外のPC-PR201系、PC-PR101系プリンター (PC-PR201、PC-PR201F2、PC-PR201H2、PC-PR101、PC-PR101F2、PC-PR101E、PC-PR101E2など)	

*1 A4ポートレート桁数が80桁のとき、用紙の左側の余白量が異なるときは、アプリケーション上で余白量を変更してください。

*2 文字を縮小したときの印刷結果が異なるときは、プリンター設定を優先順位の12、13または15の機種に変更してください。

*3 ほとんどのアプリケーションでは、プリンターの動作モードを自動的に切り替えています。したがって、本プリンターの動作モードは201PLエミュレーションモード(お買い上げ時の設定)のままご使用になれます。

プリンターを設定する

MS-DOS環境でコンピューターをお使いの場合、プリンターの設定はメニューモードを使って行います。メニューモードの操作方法、メニューツリーについては本書の124～127ページ、各設定項目については添付のプリンターソフトウェアCD-ROMのオンラインマニュアル「プリンターの設定と技術仕様」を参照してください。

PC-PR201系、101系プリンターを選択した場合

プリンターの指定でPC-PR201系、あるいは101系プリンターを選択した場合は、アプリケーションとMultiWriter 2800N/2800/2300Nを次のような設定が標準的です。

ソフトウェア： シートフィーダー付き、単票(カット紙)、連続送り
プリンター： 201PLエミュレーションモード、136桁モード有効、用紙位置中央

MS-DOS環境での両面印刷設定

MS-DOS環境で両面印刷する際に必要な情報について説明します。MS-DOS環境で印刷する場合はメニューモード、および操作パネルの[両面]スイッチにより設定します。

両面印刷の設定

MS-DOSアプリケーションを使って両面印刷する場合、次の設定変更が必要です。
両面印刷をする場合、64MB以上のメモリーの増設をお勧めいたします。

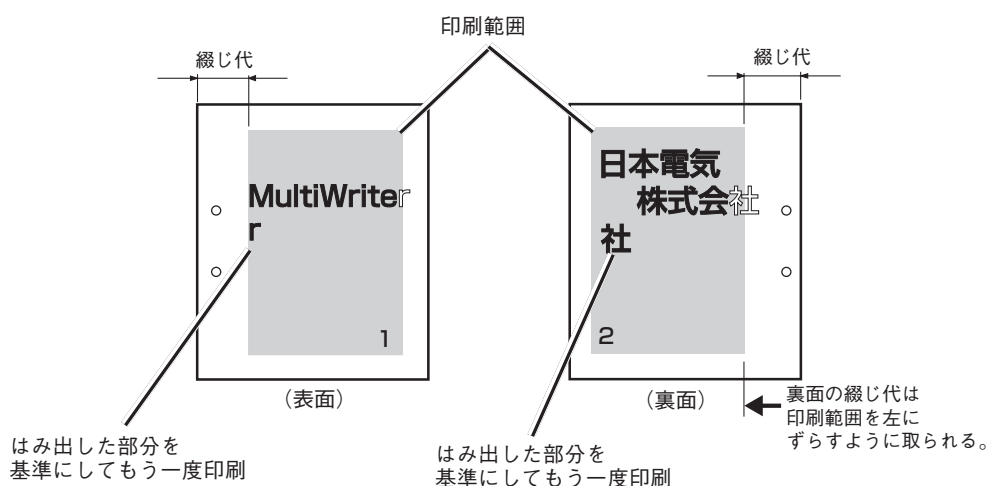
両面印刷のために必要な設定項目

メニューモード設定項目	備考
印字位置設定メニュー － 表面微調整 － 裏面微調整	表面、裏面ともに TM: +3.9 ～ -3.9ミリ LM: +3.9 ～ -3.9ミリ
両面印刷メニュー － 初期設定ON － 初期設定OFF	－
両面印刷メニュー － とじしろロング1 － とじしろショート1 － とじしろロング2 － とじしろショート2	添付のプリンターソフトウェアCD-ROMに収録されているオンラインマニュアル「プリンターの設定と技術仕様」を参照してください。
両面印刷メニュー：余白	0 ～ 20ミリ
両面印刷メニュー － クリップON － クリップOFF	余白を多くとりすぎた場合、印刷からはみ出たデータを次ページに印刷する（ON）か、消去する（OFF）かを設定します。

クリッピング機能について

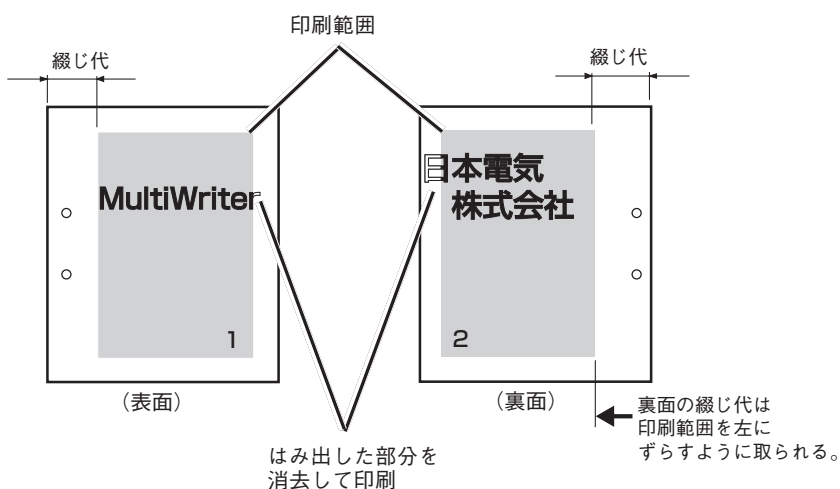
余白(とじしろ)を多く取り過ぎると、印刷データが用紙の印刷範囲を超えてしまう場合があります。クリッピング機能とは、このような場合に印刷範囲からはみ出したデータを次のページに印刷するか、はみ出した分を消去してそのまま残りのページを印刷するかを選択します。ただし、両面印刷時にのみ有効で、メニューモードで設定します(メニューモードについては116ページを参照してください)。

- 「クリップ」をOFFにすると、はみ出した印刷データを次のページに引き続いて印刷します。それ以降の印刷データは1ページずつずれることになります。(アプリケーションによっては、はみ出したデータを消去するものもあります)。



クリップOFF(チェックしていない)の場合

- 「クリップ」をONにすると、はみ出した印刷データを消去して印刷を続けます。



クリップON(チェックしている)の場合

PC-PTOS環境でプリンターを選択する

MultiWriter 2800N/2800/2300Nは、PC-9800シリーズのPTOSインストールモデルなどのPC-PTOSに対応しています。PC-PTOSで同期コード制御を行うアプリケーションを使用する場合はメモリスイッチ5-1を有効にする必要があります。次の手順でプリンターを選択してください。

✓チェック

アプリケーションが同期コード制御を行っているかどうかは、アプリケーションの製造元に確認してください。

① プリンターのメニューモードでメモリスイッチ5-1「同期コードの有効/無効の切り替え」を「有効(ON)」にする。

本メモリスイッチでは背面2つのインターフェースの同期コードが変更されますが、以下のメモリスイッチにより、別々に設定することもできます。

<[インタフェース1]コネクタに接続の場合>

メモリスイッチ9-1「同期コード無効/有効の切り替え[インタフェース1]」を「有効(ON)」に設定します。

<[インタフェース2]コネクタに接続の場合>

メモリスイッチ9-2「同期コード無効/有効の切り替え[インタフェース2]」を「有効(ON)」に設定します。

✓チェック

このスイッチをONにしないとPC-PTOSとの同期が取れないため、アプリケーションによっては用紙切れ、紙づまり等の処理が正常に行えない場合があります。

なお、このスイッチをONにしたままでもMS-DOS、Windows等の他のOSからの印刷は可能ですがOFFに比べて性能が若干低下する場合があります。

② OSの設定で「PC-PR2200NW2」を指定する。

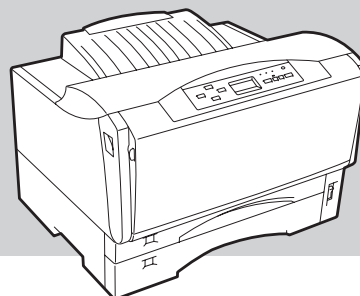
PC-PTOS VER.2.4よりも前のバージョンで使用する場合には「PTOS IV プリンタOS支援パッケージPX」が必要です。

制御コード、文字コード、印刷範囲等については「PC-PR PTOS入出力装置説明書」をご覧ください。(PC-PR PTOS入出力装置説明書の入手については、PC-PTOS関連商品取り扱い店にお問い合わせください。)

- PC-PTOSから使用する場合、MultiWriter 2800N/2800/2300NはNPDLモードの拡張モードである「PTOS対応モード」で動作します。このモード切り替えは、PTOSが自動的に行いますので切り替えのための操作は必要ありません。
- プリンターのモード切り替えは自動的に行われますが、使い方によってこの切り替えが正しく行われな
いときがあります。PC-PTOSでお使いの場合は下記の点にご注意ください。
 - プリンターケーブルは指定のものを使用してください。正しいプリンターケーブルを使用していな
い場合、モードの切り替えが正しく行われなことがあります。
 - 上位装置とプリンターの間にプリンターバッファ、プリンター切り替え器、プリンターネット
ワーク等を接続していると、モードの切り替えが正しく行われません。上位装置とプリンターは指
定のケーブルで直接接続してください。
 - 一部の上位装置で本体およびプリンターの電源を入れたままOSの変更を行うとプリンターのモー
ドの切り替えが正しく行われなことがあります。この場合はプリンターの電源を入れ直すか、プ
リンターの操作パネルからリセット操作([シフト]スイッチを押しながら[リセット]スイッチを2回
押す)を行うと復旧させることができます。
 - MultiWriter 2800N/2800/2300NはNPDL、ESC/Pの各言語をサポートしています。
「PTOS対応モード」への自動切り替えが可能ですが、PC-PTOSから使用する場合はそのインター
フェースにはNPDLを設定しておいてください。詳細については添付のプリンターソフトウェア
CD-ROMに収録されているオンラインマニュアル「プリンターの設定と技術仕様」をご覧ください。
- プリンターへのデータ送信の速度が速すぎて、PC-PTOSからのデータ受信が間に合わなくなり、印刷
が正常に行われな場合があります。このような場合は、データストローブのデータラッチタイミング
(メモリスイッチ7-1、7-2)を後縁ラッチに変更したり、アクノリッジの幅(メモリスイッチ8-3、
8-4、8-7、8-8)を広げてください。詳細については添付のプリンターソフトウェアCD-ROMに収録
されているオンラインマニュアル「プリンターの設定と技術仕様」をご覧ください。
- 両面印刷はアプリケーションによっては正しく印刷されない場合があります。
- プリンターのメニューモードの[I/Fセッテイメニュー]で「ソウホウコウセッテイ」を「ニブル」または「ナ
シ」に設定してください。設定の変更を行った場合はプリンターの電源の再投入が必要です。

(空白ページ)

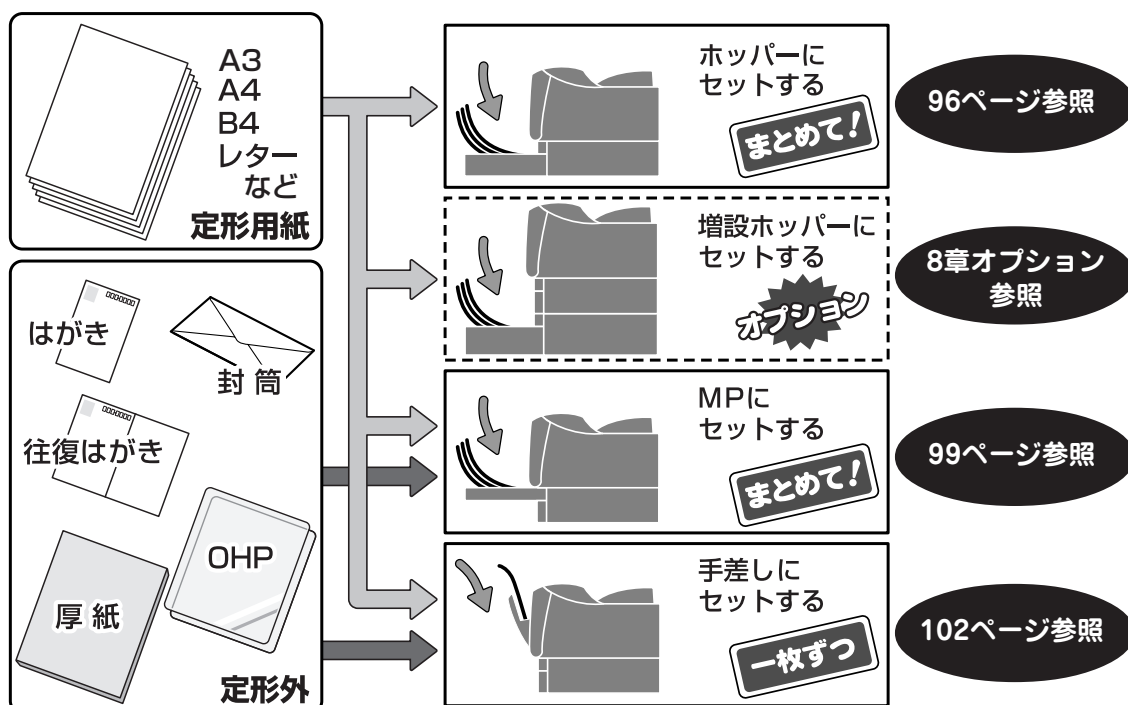
3章 用紙のセット



この章では、MultiWriter 2800N/2800/2300Nで使用する用紙、用紙のセット方法について説明します。

MultiWriter 2800N/2800/2300Nは豊富な給紙機構(ホッパー、MP、および手差し)をもつプリンターです。用途に合わせて使い分けてください。

MultiWriter 2800N/2800/2300Nでは大量給紙するのに便利なリレー給紙機能をご利用できます。ホッパー、MP、増設ホッパーに用紙をセットし印刷中に用紙がなくなると、自動的に同じ用紙サイズがセットされている給紙先に切り替える機能です。設定手順については4章の「リレー給紙の設定」(128ページ)をご覧ください。



用紙について

ここではMultiWriter 2800N/2800/2300Nで使用できる用紙、用紙のセット方向について説明します。用紙をセットする前に必ずお読みになり、使用できる用紙を確認してから印刷してください。

使用できる用紙

使用できる用紙の種類、サイズ、および枚数は以下の表のとおりです。用紙の規格、印刷範囲については「付録 技術情報」(293ページ)を参照してください。

給紙口	セットできる用紙			両面印刷
	種類	サイズ	枚数 ^{*3}	
標準ホッパー	普通紙 ^{*1}	A3、B4、A4、B5、A5、レター	250	○
	ラベル紙	A4、B4	30	×
MP	普通紙 ^{*1}	A3、B4、A4、B5、A5、レター	100	○
	ラベル紙	A4、B4	30	×
	はがき	官製はがき、官製往復はがき	30	×
	OHPフィルム	A4	30	×
	封筒	洋形4号 (LIFE洋封筒E506)	10	×
	定形外用紙	100～297×148～420mm	—	×
	厚紙 ^{*2}	—	—	×
	普通紙 ^{*1}	A3、B4、A4、B5、A5、レター	1	○
手差し	ラベル紙	A4、B4	1	×
	はがき	官製はがき、官製往復はがき	1	×
	OHPフィルム	A4	1	×
	封筒	洋形4号 (LIFE洋封筒E506)	1	×
	定形外用紙	100～297×148～420mm	1	×
	厚紙 ^{*2}	—	—	×
増設ホッパ (250)	普通紙 ^{*1}	A3、B4、A4、B5、A5、レター	250	○
増設ホッパ (500)	普通紙 ^{*1}	A3、B4、A4、レター	500	○

*1 坪量64.0g/m²～81.4g/m²(連量55～70kg)の用紙です。

*2 坪量81.4g/m²～128g/m²(連量70～110kg)の用紙です。

*3 坪量64.0g/m²(連量55kg)の用紙を使用した場合です。



普通紙(定形用紙)以外の用紙は両面印刷できません。

用紙についての注意事項

用紙をセットする前に以下の注意事項をお読みください。また、はがき、往復はがき、OHPフィルム、ラベル紙、封筒、定形外用紙をセットする際の注意事項については104ページ～106ページに記載していますので、併せてお読みください。

- 次のような用紙への印刷は避けてください。ご使用になると印刷不良、紙づまり、プリンターの故障の原因となるおそれがあります。
 - 無塵紙
 - 裏移り防止用の白粉(ミクロパウダー)が塗布された用紙
 - 熱で変質するインクを使った用紙、変質しやすい用紙

- － カーボン紙、ノンカーボン紙、感圧紙、感熱紙、酸性紙
 - － ざら紙や繊維質の用紙など、表面が滑らかでない用紙
 - － ミシン目のある用紙、穴あき用紙
 - － 紙の表面に特殊コーティングした用紙、表面加工したカラー用紙
 - － シワがある、折れている、破れている、湿っている、ぬれている、長期間放置した、カールしている、静電気で密着している、貼り合わせてある、のりが付いているなどの用紙
 - － ホチキス、クリップ、リボン、テープなどが付いている用紙
 - － のりが付いている封筒
 - － 熱転写プリンター、インクジェットプリンターで印刷した後の用紙
 - － 次のような状態のラベル紙
 - 台紙全体がラベルで覆われていないもの、部分的に使用したもの、ラベルがはがれかかっているもの、カールしているもの、表面にのりがしみ出ているもの
 - － すでに一度印刷した用紙(プレ印刷された用紙やいわゆる裏紙も含む)
- 再生紙、ラベル紙の使用については制限があります。添付の「NECサービス網一覧表」に記載のサービス窓口へお問い合わせください。
 - はがき、往復はがき、封筒、OHPフィルム、およびラベル紙の印刷品質は、規格を満たす普通紙の印刷品質より劣る場合があります。

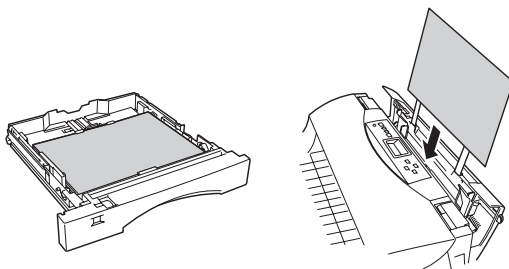
用紙のセット方向

標準ホッパー、MP、手差しにはA4サイズの内紙は横置き、縦置きどちらの方向でもセットできます。また、MP、手差しには往復はがきを横置き、縦置きどちらの方向でもセットできます*1。

横置き

右図のように横置きにセットできる用紙サイズは次の5種類です。

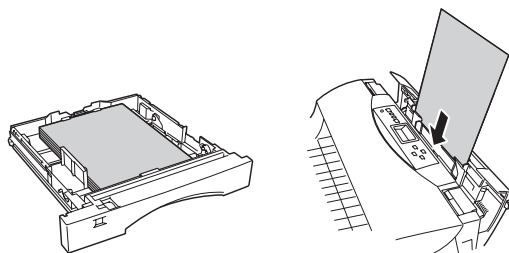
B5、A5、A4、レター、往復はがき*2



縦置き

右図のように縦置きにセットできる用紙サイズは次の6種類です。

A3、B4、A4、はがき、往復はがき、封筒



*1 往復はがきをMPまたは手差しにセットする場合は、あらかじめ「はがき、往復はがきをセットするときの注意」(106ページ)をお読みください。

*2 手差しに往復はがきを横置きにセットする場合は、用紙の種類によっては正常に給紙されない場合があります。縦置きにセットすることをお勧めします。

ホッパーに用紙をセットする

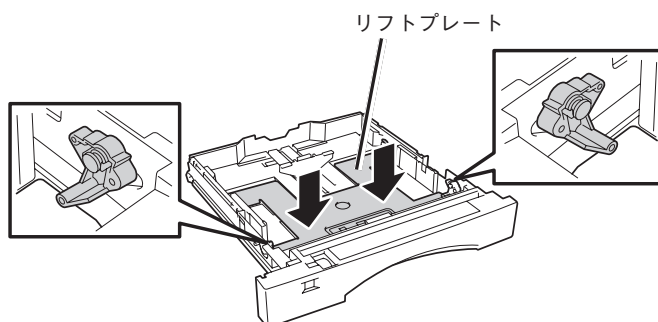
ホッパーから印刷するには、標準カセットに用紙をセットします。用紙は坪量64.0g/m²(連量55kg)の普通紙なら250枚までセットできます。

重要

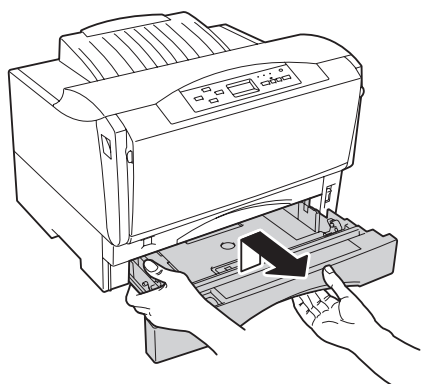
- ホッパーにセットする用紙は、両面とも印刷のされていない用紙をセットしてください。すでに一度印刷された用紙(ブレ印刷された用紙やいわゆる裏紙)をホッパーにセットしないでください。一度印刷された用紙をセットして、その用紙の裏に印刷すると、印刷不良や給紙できなかつたり、紙づまりを起こすばかりでなく、プリンターの故障の原因となる場合があります。
- 標準カセット前側のラバー部には手を触れないでください。給紙不良の原因となることがあります。

チェック

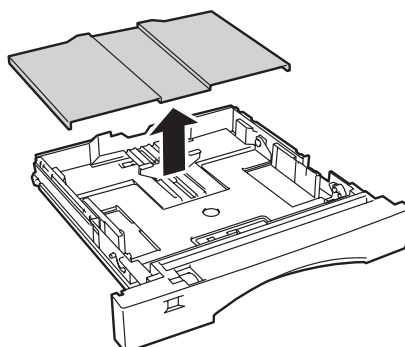
- 標準カセットを取り外す際は、軽くカセットを持ち上げて取り外してください。
- 用紙をセットする際は、リフトプレートが下がっていることを確認してください。リフトプレートが完全に下がっていないと、標準カセットをプリンターに取り付けることはできません。下がっていない場合は、完全に下がるまで下に押ししてください。



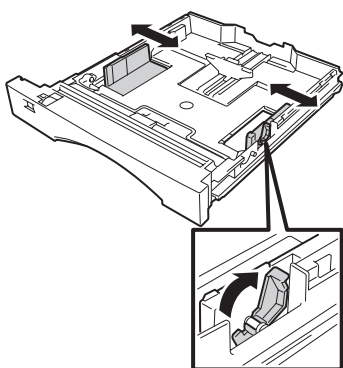
① 標準カセットを両手でゆっくりと取り外す。



② 用紙カセットカバーを取り外す。



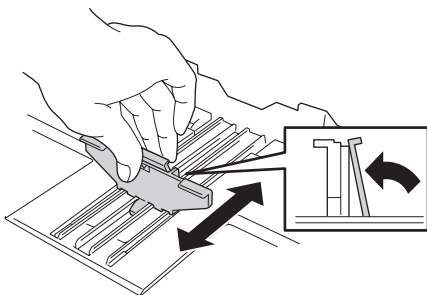
- ③ サイドガイドロックレバーを押し上げてサイドガイドをスライドさせ、使用する用紙のサイズに合わせる。



- ④ エンドガイドをセットする用紙サイズに合わせる。

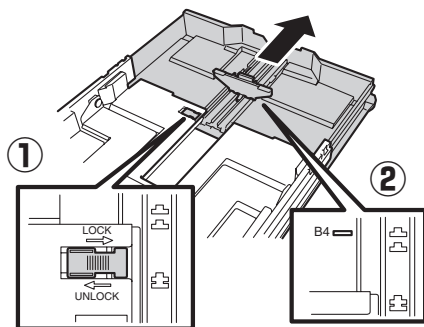
＜B5、A5、A4、レターサイズの場合＞

エンドガイドの中央部をつまみながら、エンドガイドをスライドさせ、セットする用紙サイズに合わせます。



＜B4、A3サイズの場合＞

- ① スライドカセットロックを左に動かし“UNLOCK”に合わせ、用紙カセットを引き伸ばした後、スライドカセットロックを右に戻し“LOCK”に合わせます。
- ② エンドガイドの中央部をつまみながら、エンドガイドをスライドさせ、“B4”または“A3”表示に合わせます。

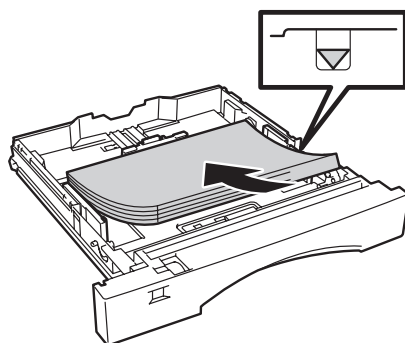


- ⑤ 印刷する面を上にして、エンドガイド側から用紙をそろえてセットする。

用紙をセットした後は、サイドガイドを再セットしてください。

✓ チェック

- 包みから出した新しい用紙は、さばかないでください。用紙をさばくと静電気が起きて紙づまりの原因になることがあります。
- 用紙は、エンドガイドの最大積載表示(▽)を越えないようにしてセットしてください。
- 1つの用紙カセット内にサイズや質の異なる用紙をセットしないでください。
- 用紙のつぎ足しはしないでください。

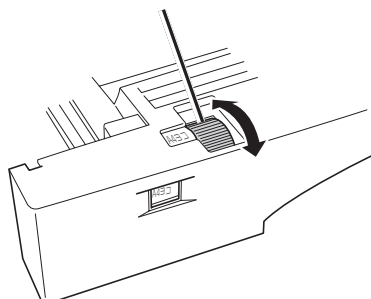


- ⑥ 用紙サイズ設定ダイヤルをセットした用紙サイズに合わせる。

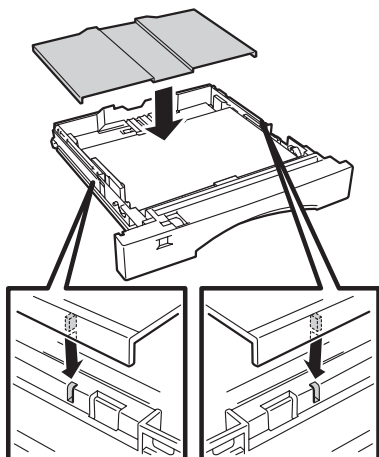
⚙ 重要

セットした用紙サイズと用紙サイズ設定ダイヤルの表示を合わせてください。セットした用紙サイズと用紙サイズ設定ダイヤルの表示が異なると紙づまりなどの障害の原因になることがあります。

用紙サイズ設定ダイヤル



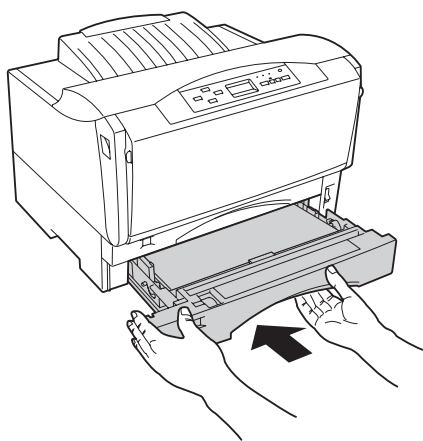
- 7 カセットカバーを用紙カセットの溝に合わせて取り付ける。



- 8 標準カセットを両手でゆっくり取り付ける。

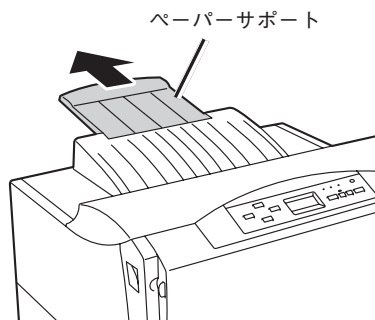


用紙をセットし終えた標準カセットは、重くなっています。取り付ける際は標準カセットを両手で持ってプリンターに差し込んでください。

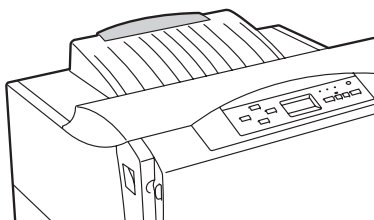


- 9 ペーパーサポートを引き出す。

A3、B4サイズの場合、ペーパーサポートを引き出します。



A3、B4サイズ以外の場合は、そのままお使いください。



残った用紙の保管方法

残った用紙は変質を防ぐため、次のことに注意して正しく保管してください。

- 用紙は包装してあった紙で包み直してください。
- キャビネットの中など直射日光の当たらない、湿気の少ない場所に保管してください。
- 用紙はしわ、折れ、カールなど癖がつかないように、平らな場所に水平にして保管してください。

MPに用紙をセットする

MPとは「マルチパーパス」のことで、いろいろな種類の用紙をセットすることができる給紙機構を指します。MPから印刷するには、MPカセットに用紙をセットします。MPカセットには普通紙やラベル紙をはじめ、厚紙、はがき、往復はがき、封筒、OHPフィルム、定形外用紙をセットすることができます。

MPカセットの容量は坪量64.0g/m²(連量55kg)の普通紙で約100枚です。はがき、往復はがき、OHPフィルム、ラベル紙は約30枚、封筒は約10枚セットすることができます。

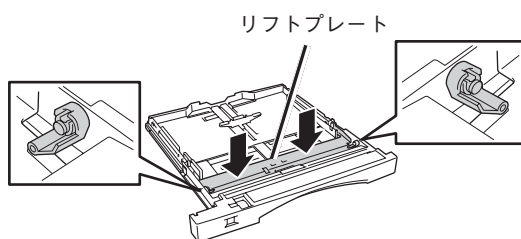
厚紙、OHPを使用する際は、メニューモードの「ヨウシメニュー」-「ヨウシシュベツ」-「MP ヨウシシュベツ」でそれぞれ「アツガミ」、「OHP」に設定する必要があります。詳細は124～127ページのメニューツリーを参照してください。厚紙は坪量81.4g/m²～128.0g/m²(連量70kg～110kg)までセットすることができます。

重要

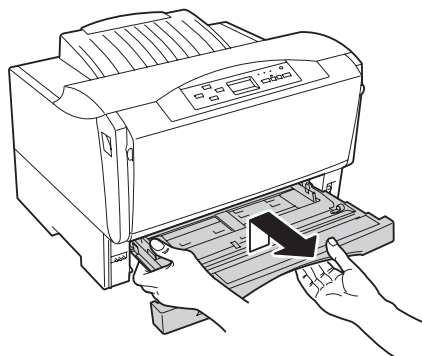
- MPカセットにセットする用紙は両面とも印刷のされていない用紙をセットしてください。すでに一度印刷された用紙(プレ印刷された用紙やいわゆる裏紙)をMPカセットにセットしないでください。一度印刷された用紙をセットして、その用紙の裏に印刷すると、印刷不良や給紙できなかったり、紙づまりを起こすばかりでなく、プリンターの故障の原因となる場合があります。
- MPカセットにレターサイズ、はがき、往復はがき、および封筒をセットした時は、MPカセットの用紙サイズを操作パネルで設定する必要があります。詳細は「4章 操作パネルについて」(107ページ)を参照して、[MP]スイッチで設定してください。また、異なる用紙サイズをセットした時にもそのつど操作パネルで設定を行ってください。
- MPカセット前側のラバー部には手を触れないでください。給紙不良の原因となることがあります。

チェック

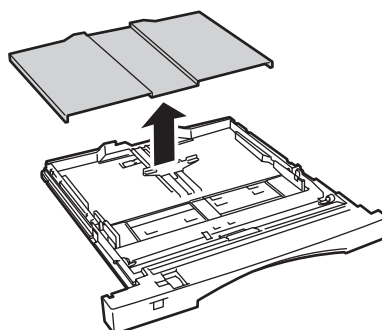
- MPカセットを取り外す際は、軽くカセットを持ち上げて取り外してください。
- 用紙をセットする際は、リフトプレートが下がっていることを確認してください。リフトプレートが完全に下がっていないと、MPカセットをプリンターに取り付けることはできません。下がっていない場合は、完全に下がるまで下に押してください。



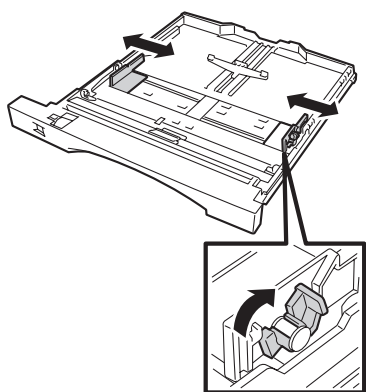
① MPカセットを両手でゆっくりと取り外す。



② 用紙カセットカバーを取り外す。



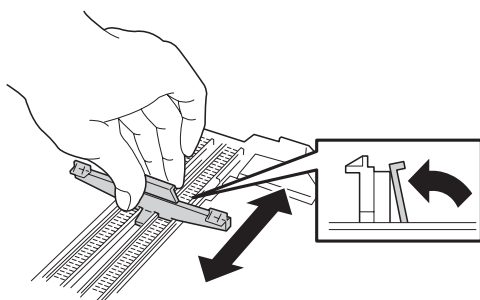
- 3** サイドガイドロックレバーを押し上げてサイドガイドをスライドさせ、使用する用紙のサイズに合わせる。



- 4** エンドガイドを使用する用紙サイズに合わせる。

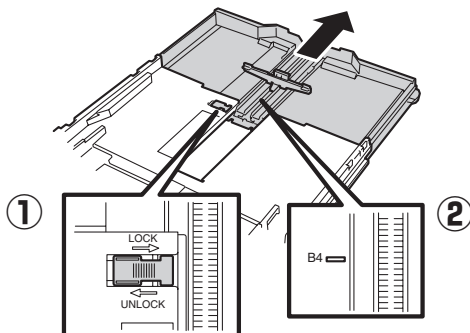
＜B5、A5、A4、レターサイズ、はがき、封筒、往復はがきの場合＞

エンドガイドの中央部をつまみながら、エンドガイドをスライドさせ、セットする用紙サイズに合わせます。



＜B4、A3サイズもしくはA4縦以上の定形外用紙の場合＞

- ① スライドカセットロックを左に動かして“UNLOCK”に合わせ、用紙カセットを引き伸ばした後、スライドカセットロックを右に戻し“LOCK”に合わせます。
- ② エンドガイドの中央部をつまみながら、エンドガイドをスライドさせ、“B4”または“A3”表示に合わせます。



- 5** 印刷する面を上にして、エンドガイド側から用紙をそろえてセットする。

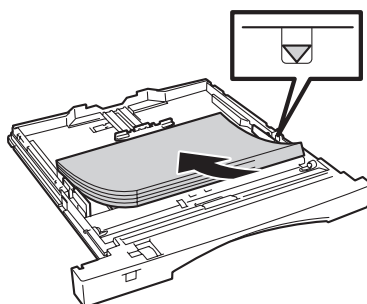
A3サイズ、B4サイズ、はがき、封筒は縦置きで、B5サイズ、A5サイズ、レターサイズは横置きでセットしてください。

A4サイズ、OHPフィルム、往復はがきは縦置き、横置きどちらでも用紙をセットできます。

用紙をセットした後は、サイドガイドを再セットしてください。

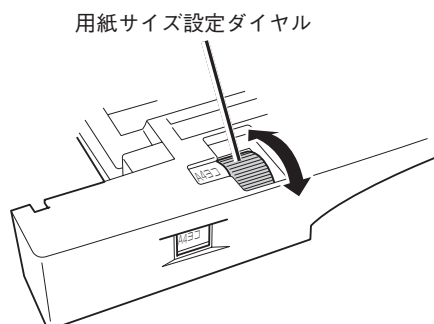
✓チェック

- 包みから出した新しい用紙は、さばかないでください。用紙をさばくと静電気が起きて紙づまりの原因になることがあります。
- 用紙は、エンドガイドの最大積載表示(▽)を越えないようにしてセットしてください。
- 1つの用紙カセット内にサイズや質の異なる用紙をセットしないでください。
- 用紙のつぎ足しはしないでください。



- 6** 用紙サイズ設定ダイヤルをセットした用紙サイズに設定する。

はがき、往復はがき、封筒、レターサイズ、定形外をセットした場合は、用紙サイズ設定ダイヤルの表示を「*」に設定してください。



重要

セットした用紙サイズと用紙サイズ設定ダイヤルの表示を合わせてください。セットした用紙サイズと用紙サイズ設定ダイヤルの表示が異なると紙づまりなどの障害の原因になることがあります。

7 はがき、往復はがき、封筒、レターサイズをセットした場合は、操作パネルで用紙サイズを設定する。

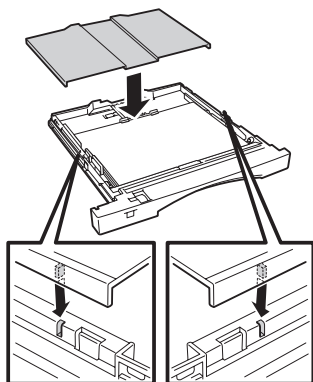
操作パネルの[印刷可]スイッチを押してから、[MP]スイッチを押して、用紙サイズを設定します。(操作パネルの詳細は107ページ参照。)

チェック

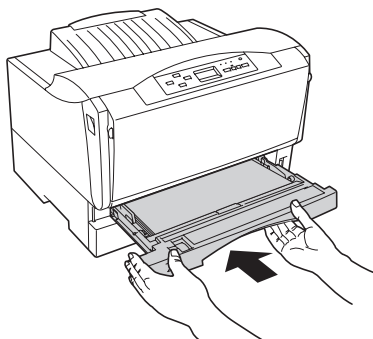
用紙サイズ設定ダイヤルをあらかじめ「*」に設定していないと、[MP]スイッチによる用紙サイズ設定はできません。



8 用紙カセットカバーをMPカセットの溝に合わせて取り付ける。



9 MPカセットを両手でゆっくり取り付ける。

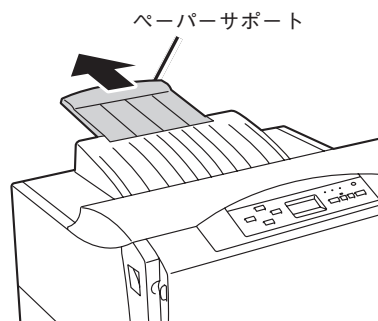


重要

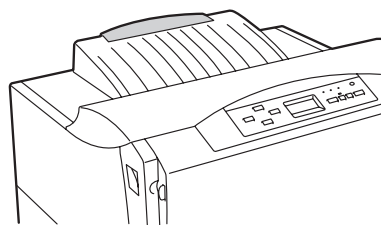
用紙をセットしたMPカセットは、重くなっています。取り付ける際はMPカセットを両手で持ってプリンターに差し込んでください。

10 ペーパーサポートを引き出す。

A3、B4サイズの場合、ペーパーサポートを引き出します。



A3、B4サイズ以外の場合、そのままお使いください。



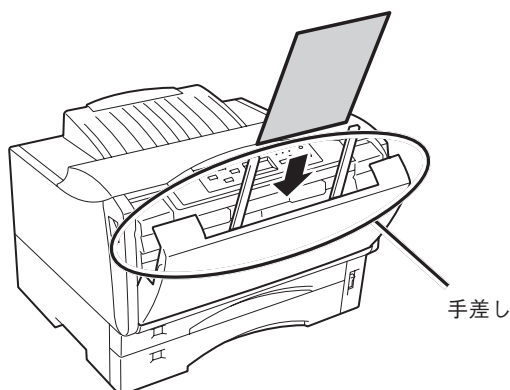
残った用紙の保管方法

残った用紙は変質を防ぐため、次のことに注意して正しく保管してください。

- 用紙は包装してあった紙で包み直してください。
- キャビネットの中など直射日光の当たらない、湿気の少ない場所に保管してください。
- 用紙はしわ、折れ、カールなど癖がつかないように、平らな場所に水平にして保管してください。

手差しに用紙をセットする

手差しには普通紙をはじめ、ラベル紙や厚紙、はがき、往復はがき、封筒、OHPフィルム、定形外用紙を一枚ずつセットすることができます。



厚紙、OHPを使用する際は、メニューモードの「ヨウシメニュー」-「ヨウシシュベツ」-「テサシ ヨウシシュベツ」でそれぞれ「アツガミ」、「OHP」に設定する必要があります。詳細は124～127ページのメニューツリーを参照してください。

⚠ 注意

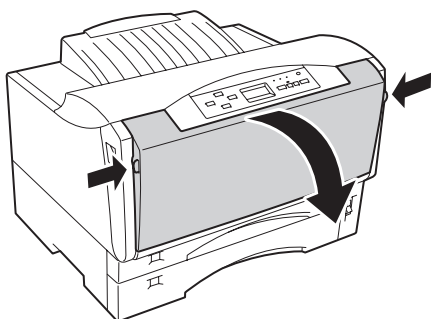
- 手差しに用紙以外の物や、手を載せないでください。手差しが破損する原因となるおそれがあります。
- 手差しから印刷しないときは、必ずフロントカバーを閉じてご使用ください。ほこりや異物が入りやすくなり、プリンターの破損や故障の原因となるおそれがあります。

🔑 重要

- 手差しにセットする用紙は両面とも印刷のされていない用紙をセットしてください。すでに一度印刷された用紙(プレ印刷された用紙やいわゆる裏紙)を手差しにセットしないでください。一度印刷された用紙をセットして、その用紙の裏に印刷すると、印刷不良や給紙できなかつたり、紙づまりを起こすばかりでなく、プリンターの故障の原因となる場合があります。
- 手差しに用紙をセットした時は、手差しの用紙サイズを操作パネルで設定する必要があります。詳細は「4章 操作パネルについて」(107ページ)を参照して、[手差し]スイッチで設定してください。また、異なる用紙サイズをセットした時にもそのつど操作パネルで設定を行ってください。

① フロントカバーを開く。

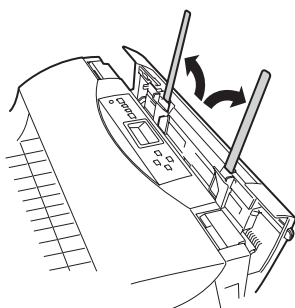
左右のフロントカバー開閉ボタンを押しながら、ゆっくり手前に引きます。



🔑 重要

フロントカバーは二段階に開閉します。手差しを使用する場合は、手前に一段開けてください。大きく二段階に開けると「カバーオープン」アラームとなります。また、印刷中にフロントカバーを大きく二段階に開けると紙づまりの原因となります。

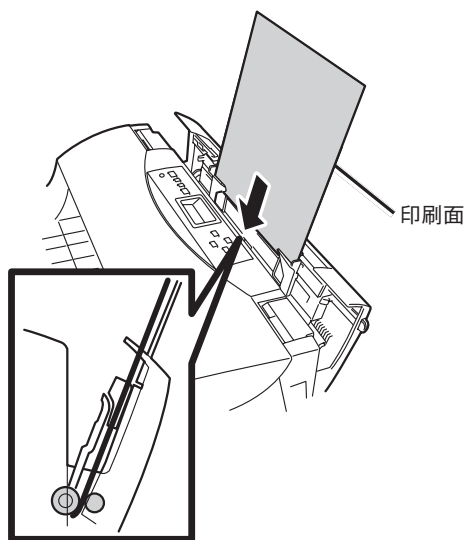
② 左右の手差し用紙サポートを開く。



③ 印刷したい面を手前にして、用紙を手差し用紙ガイドに沿って突き当たるまで挿入する。

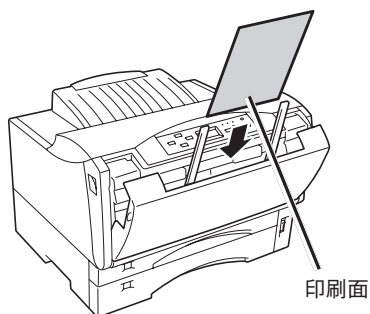
A3サイズ、B4サイズ、はがき、封筒は縦置きで、B5サイズ、A5サイズ、レターサイズは横置きでセットしてください。

A4サイズ、往復はがきは縦置き、横置きどちらでもセットできます。

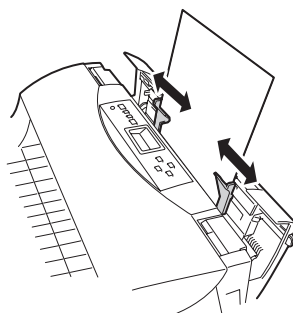


✓ チェック

手差しに用紙をセットする際には、印刷する面を手前にしてください。



④ セットした用紙に手差し用紙ガイドを合わせる。



⑤ 操作パネルでセットした用紙サイズを設定する。

操作パネルの[印刷可]スイッチを押してから、[シフト]スイッチを押しながら、[手差し]スイッチを押して、用紙サイズを設定します。(操作パネルの詳細は107ページ参照。)



- [シフト]スイッチを押しながら[手差し]スイッチを1回押すごとに用紙サイズは以下のように変わります。

「A4タテ→A4ヨコ→A5→B4→B5→LT
→ハガキ→ハガキ2ヨコ→ハガキ2タテ
→フウトウ→A3」

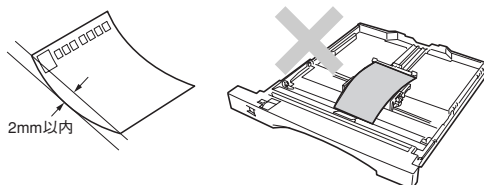
- 定形外サイズの場合は、操作パネルで用紙サイズを設定する必要はありません。

はがき、往復はがきをセットするときの注意

重要

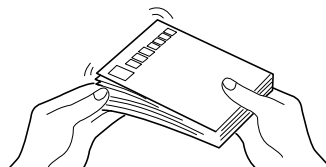
往復はがきは、折り返しや折り目がついているものを使用しないでください。折れた状態でMPカセットや手差しにセットすると、紙ぶまりの原因となるだけでなく、プリンターが故障するおそれがあります。

- はがき、往復はがきに反りがあるときは、反りの幅が2mm以内になるように反りを直してください。反りがある用紙をMPカセットにセットする場合は、反りの方向を直して(反っている凸面を下にして)セットしてください。

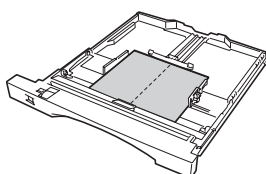


- 印刷所で印刷を施された官製はがき(年賀状など)には裏移り防止用の白い粉が塗布されていることがあります。このプリンターでこのようなはがきへの印刷を繰り返すと、白い粉によりプリンター内部のローラーの摩擦力が低下し、はがきがうまく送れなくなることがあります。このようなはがきを使用するときは、印刷の前にはがきの両面についている粉を乾いた布などで軽く払ってください。

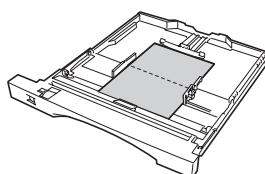
- はがきをまとめてMPカセットにセットする場合は、はがきを十分さばいてからセットしてください。



- 印刷したはがきは、反りが5mm以内になるように直してください。反りが大きいと郵便番号読取機の処理に不都合が生じます。
- 往復はがきをMPカセットにセットする場合は、横、縦のどちらでもセットできます。横、縦のセット方向は、それぞれ下図を示しています。操作パネルで設定する際にご注意ください。

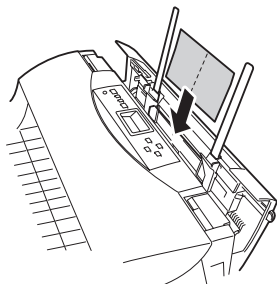


往復はがき 横

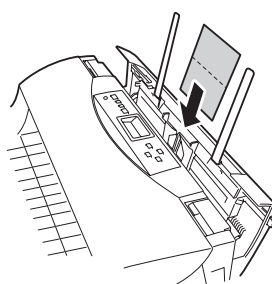


往復はがき 縦

- 往復はがきを手差しにセットする場合は、ご使用の用紙の種類によっては正常な給紙ができない場合があります。往復はがきは縦方向にセットして給紙することをお勧めします。



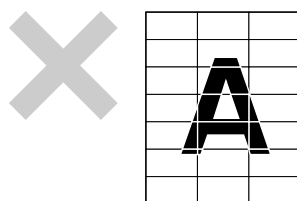
往復はがき 横



往復はがき 縦

OHPフィルム、ラベル紙をセットするときの注意

- OHPフィルム、ラベル紙は十分にさばいてからセットしてください。
- OHPフィルムは使用環境、種類によっては静電気が発生し、正常に給紙できないときがあります。その際は、手差しに1枚ずつセットして印刷することをお勧めします。
- ラベル紙は保管状態によっては反りが生じ、正常に給紙できないときがあります。その際は、反りを直して印刷してください。
- ラベル紙への印刷は、ラベルの切れ目部分に文字やイラストがかからないようにしてください。

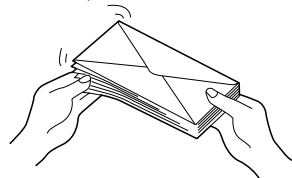
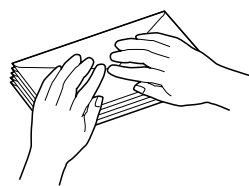


封筒をセットするときの注意

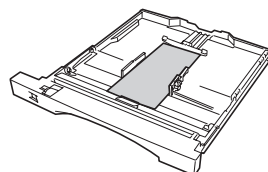
重要

フラップ(封筒の折り返し部分)面には印刷をしないでください。紙づまりの原因となるだけでなく、プリンターが故障することがあります。

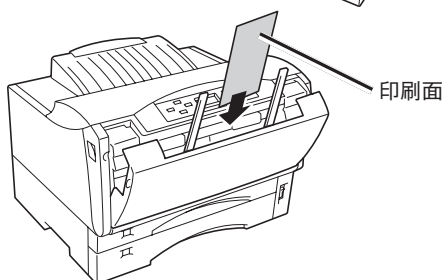
- 封筒は、洋形4号(LIFE洋封筒E506 ライフ株式会社製)をご使用ください。
- 封筒をセットする前に、封筒の束を平らなところへ置き、フラップ(封筒の折り返し部分)をきちんと折り曲げてフラップがはね上がらないようにしてください。フラップをきちんと折り曲げない状態でセットすると、用紙サイズエラーになることがあります。
- 封筒の両端を持って、十分さばいてからセットしてください。



- MPカセットにセットする場合は、縦方向にセットしてください。



- 手差しにセットする場合は、印刷する面を手前にして縦方向に封筒をセットしてください。



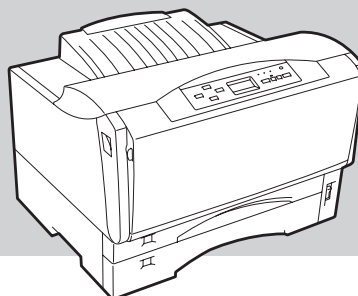
定形外用紙をセットするときの注意

— 重要 —

形状が長方形以外の不規則な形状の用紙、角が直角でない用紙は正常な給紙ができません。紙づまりの原因となるだけでなく、プリンターが故障するおそれがあります。

- 対応可能な用紙の厚み(坪量)は、定形用紙に比べて扱える範囲がせまくなる場合があります。定形外用紙を使用する場合は、事前に十分な試し印刷をして印刷動作を確認することをお勧めします。
- 紙質、繊維目方向、プレ印刷、ホールパンチ、ミシン目等により正常に印刷されない場合があります。
- 種類、繊維目方向によっては印刷後大きくカールするものがあります。
- 印刷した用紙が正常にスタックされない場合があります。この場合はそのつど用紙を取り除いてください。
- Windows環境以外から印刷を行う場合、メニューモードの「用紙メニュー」で「定形外用紙」を「ON」にする必要があります。詳細は4章の「メニューモード」(116～127ページ)を参照してください。

4章 操作パネルについて



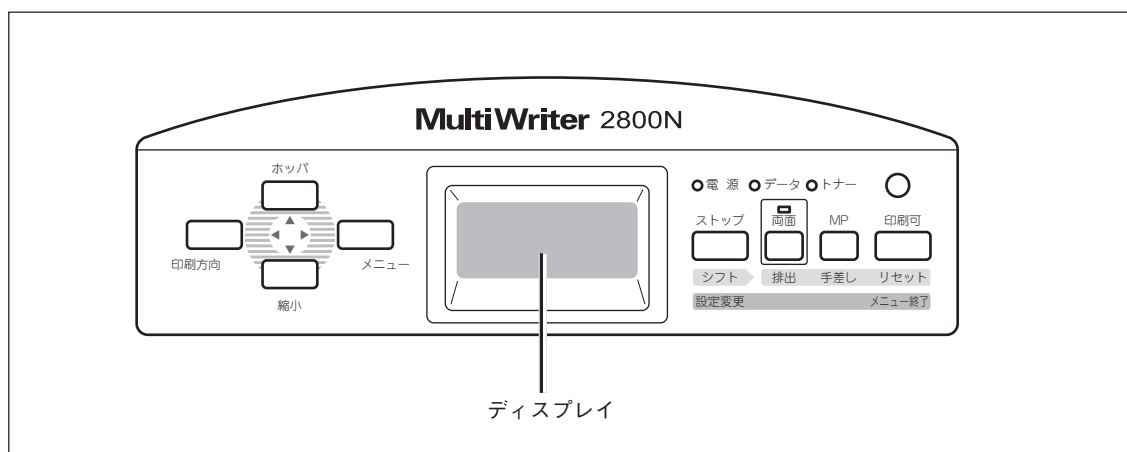
4

操作パネルについて

この章では、操作パネルやメニューモードなどプリンターの操作の基本的なことについて説明しています。

操作パネルはユーザーがプリンターの状態を見たり、設定を行ったりするためのものです。ここでは主に NPD L (Level 2) で使用する時の、操作パネル上の「ディスプレイ」および「ランプ」の表示の意味と、「スイッチ」の使い方について説明します。

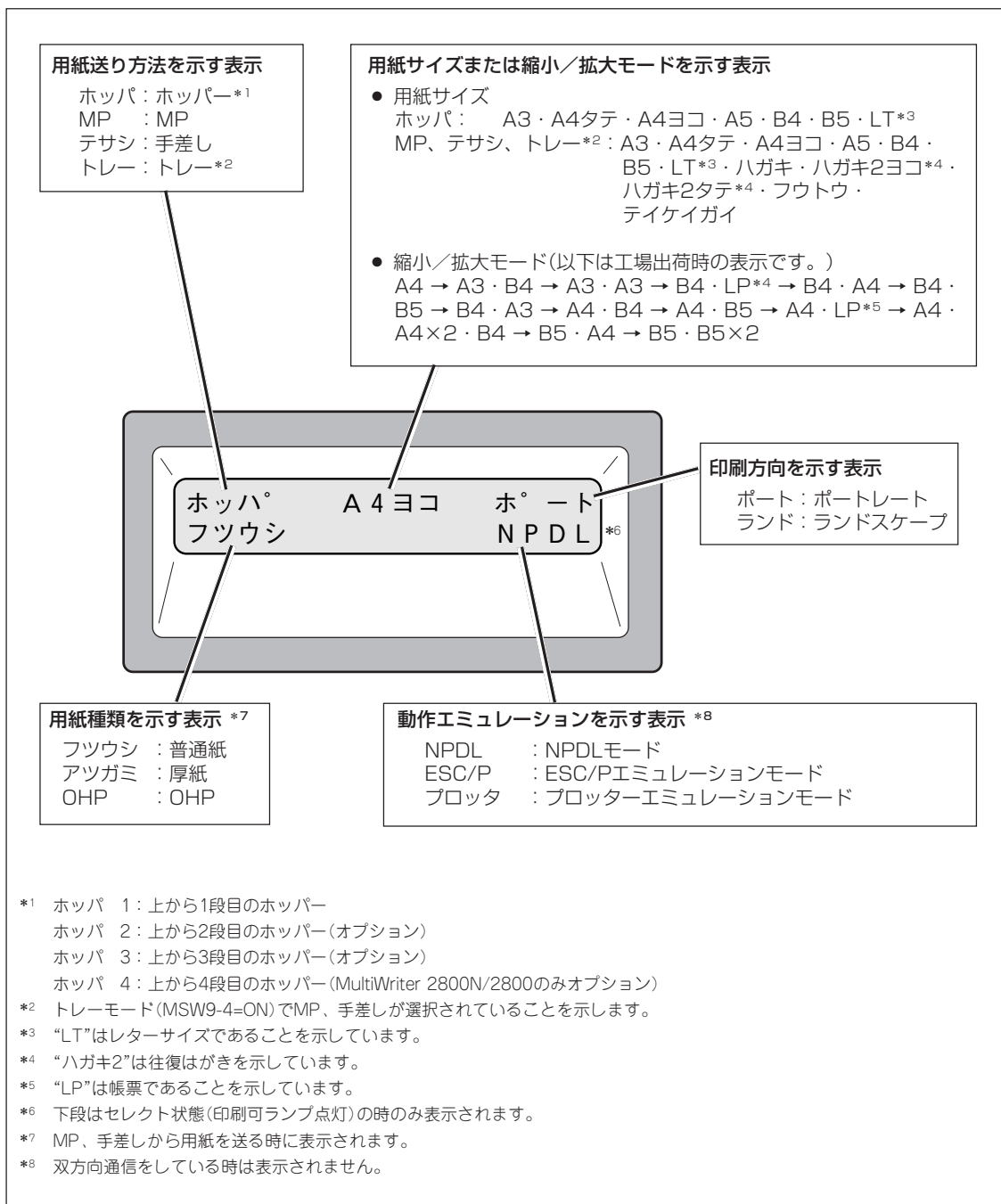
ESC/P エミュレーションおよびプロッターエミュレーションでは、一部機能が異なります。詳しくは117～119ページの表をご覧ください。



操作パネル(MultiWriter 2800Nの場合)

ディスプレイ

16桁2行の液晶ディスプレイです。英数字とカナで、プリンターの状態や操作に関する情報を表示します。



ディスプレイの表示

その他の表示内容については本書の「アラーム表示が出ているときは」(195ページ)、「メニューツリー」(124～127ページ)または、添付のプリンターソフトウェアCD-ROMに収録されているオンラインマニュアル「プリンターの設定と技術仕様」の「ディスプレイ表示一覧」をご覧ください。

ランプ



印刷可

印刷可ランプ(緑／赤)

- 点灯(緑) プリンターがセレクト状態(印刷データを受信できる状態)になっています。
- 点滅(赤) 点滅を繰り返し、30秒ごとにブザーが6回ずつ鳴ります。
カセットに用紙がない、カバーが開いているなど、プリンターにエラーが発生している状態を示します。詳細については本書の「アラーム表示が出ているときは」(195ページ)をご覧ください。
- 消灯 プリンターがディセレクト状態(印刷データを受信できない状態)になっています。(ただし、I/F設定がECPモード中は印刷データを受信します。)

○電源

電源ランプ(緑)

- 点灯 プリンターの電源がONになっています。
- 消灯 プリンターの電源がOFFになっています。

○データ

データランプ(橙)*

* I/F設定がECPモード中にディセレクト状態でデータ受信しているときはデータランプは点滅/点灯しません。

- 点灯
- プリンター内に印刷データが残っています。
 - プリンターはデータを受信中ではありません。
- 点滅 プリンターが印刷データを受信中です。
- 消灯
- プリンター内にデータが残っていません。
 - プリンターはデータを受信中ではありません。

○トナー

トナーランプ(赤)

- 点灯 EPカートリッジのトナーの残量が少ない、またはEPカートリッジの寿命です。新しいEPカートリッジと交換してください。詳細については「EPカートリッジの交換」(187ページ)をご覧ください。
- 消灯 EPカートリッジのトナーが十分にあります。



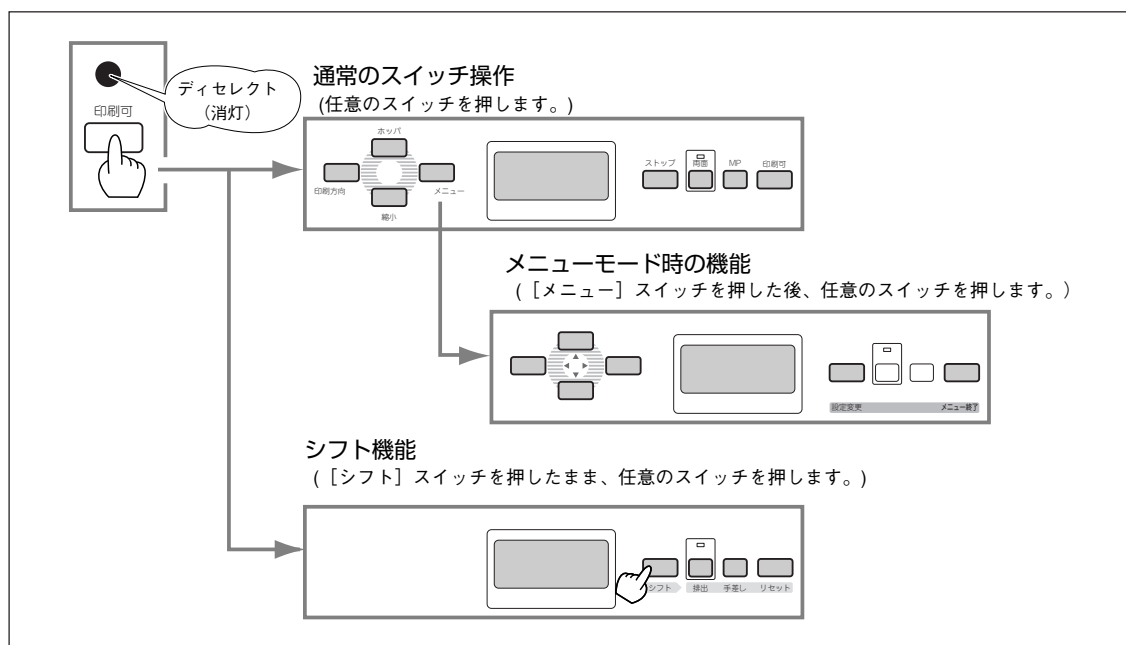
両面

両面ランプ(緑)

- 点灯 両面印刷モードに設定されています。
- 消灯 両面印刷モードではありません。

スイッチ

プリンターの操作パネルには8個のスイッチがあり、それぞれのスイッチは2つまたは3つの機能をもっています。



スイッチのモード

- | | | |
|-----------------|---|--|
| 通常のスイッチ機能 | — | [印刷可]スイッチを押し、ディセレクト状態(印刷可ランプが消灯している状態)になって初めて機能します([ストップ]スイッチを除く)。 |
| メニューモード時のスイッチ機能 | — | [メニュー]スイッチを押してメニューモードに入ると働く機能です。 |
| シフト時のスイッチ機能 | — | [シフト]スイッチを押しながら押すと働く機能です。 |

✓チェック

- アラームランプが点滅している間はどのスイッチも機能しません。アラームの詳細については「アラーム表示が出ているときは」(195ページ)をご覧ください。
- アプリケーションによっては、スイッチによる設定をアプリケーション側で行えるものもあります。
- 操作パネルにおいて、誤った操作を行った場合は、ブザーが鳴ります。

通常のスイッチ機能



[印刷可] スイッチ

このスイッチはプリンターが初期設定中でないとき、およびテスト印刷中でないときに機能します。

データを受信できる状態にする。

スイッチを押すごとにデータを受信できる状態(セレクト状態、印刷可ランプ緑点灯)と受信できない状態(ディセレクト状態、印刷可ランプ消灯)に交互に切り替わります。

MP



[MP]スイッチ

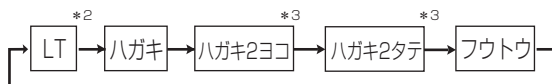
このスイッチは印刷可ランプとデータランプが消灯しているときに機能します。

給紙先をMPにする。*1

ホッパーから用紙を送る状態でこのスイッチを押すと、MPから用紙を給紙する状態に切り替わります。

MP給紙の用紙サイズを変更する。

MPにA3、A4、B4、B5をセットした場合は用紙サイズ設定ダイヤルで用紙サイズの設定をしますが、レターサイズ、はがき、往復はがき、封筒をセットした場合は用紙サイズ設定ダイヤルを「*」に設定し、このスイッチを押して用紙サイズを設定します。このスイッチを押すたびに用紙サイズの設定が次のように変わります。



— チェック —

MPに用紙をセットした後は、用紙サイズ設定ダイヤル、および[MP]スイッチで用紙サイズを変更してください。

*1 [ホッパ]スイッチでもMP給紙を選択することができます。

*2 「LT」は「レター」を意味します。

*3 「ハガキ2」は「往復はがき」を意味します。

両面



[両面]スイッチ

このスイッチは印刷可ランプとデータランプが消灯しているときに機能します。

両面印刷モードにする(両面印刷モードを解除する)。

両面ランプが消灯している状態で、このスイッチを押すと、両面印刷モードになります。このスイッチを押すたびに両面印刷モードの設定と解除が切り替わります。次の場合、両面ランプが点灯していても、印刷は片面で行われます。

- 用紙サイズがA3、A4、A5、B4、B5、レターサイズ以外の場合
- MP、手差し給紙で「厚紙」または「OHP」を指定した場合
- 定形外用紙に印刷した場合

ストップ



[ストップ]スイッチ

このスイッチは常に機能します。

データの受信と印刷を停止し、ディセレクト状態にする。

印刷中にこのスイッチを押すと、印刷中の用紙を排出した後、一時的に印刷を停止します。受信済みのデータは、プリンター内に残ったままになります。印刷を再開するときは、[印刷可]スイッチを押します。

アラーム音を止める。

アラームが発生してブザーが鳴っているときに、このスイッチを押すとアラーム音が止まります。



メニュー

【メニュー】スイッチ

このスイッチは印刷可ランプとデータランプが消灯しているときに機能します。

メニューモードに入る。

このスイッチを押すと、メニューモードに入ります。

ホッパ



【ホッパ】スイッチ

このスイッチは印刷可ランプとデータランプが消灯しているときに機能します。

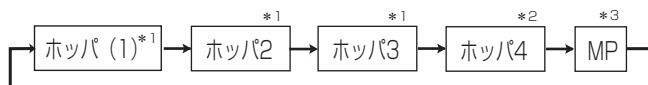
給紙先を切り替える。

手差しから用紙を送る状態でこのスイッチを押すと、ホッパーもしくはMPから用紙を送る状態に切り替わります。

給紙先を選択する(ホッパーを使用しているとき)。

ホッパー給紙を選択中にこのスイッチを押すたびに給紙するホッパー/MPを次のように切り替えます。(選択されたホッパーがディスプレイに表示されます。)

このスイッチを押したときの用紙サイズは、指定された給紙口の用紙サイズ設定ダイヤルにより自動設定されます。ただし、MP給紙で用紙サイズ設定ダイヤルを「*」に設定した場合は[MP]スイッチで設定した用紙サイズとなります。



*1 増設ホッパー装着時のみ表示されます。

*2 MultiWriter 2800N/2800で増設ホッパー装着時のみ表示されます。

*3 トレーモード時は“トレー”と表示されます。



手差しから用紙を送る状態でMP給紙に切り替ええると、メニューモードのホッパー初期設定で指定されているホッパーが選択されます。



印刷方向

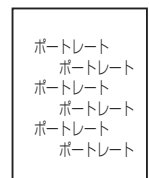
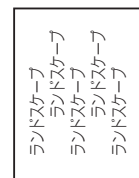
【印刷方向】スイッチ

このスイッチは印刷可ランプとデータランプが消灯しているときに機能します。

印刷方向をポートレートまたはランドスケープに選択する。

このスイッチを押すごとに、ポートレートとランドスケープを交互に切り替えます。

用紙の置き方に関係なく、縦長にした内容を印刷するときはポートレートを、横長にした内容を印刷するときはランドスケープを指定します。選択されている印刷方向は、ディスプレイに表示されています。



縮小

【縮小】スイッチ

このスイッチは印刷可ランプとデータランプが消灯しているときに機能します。また、選択されている用紙サイズがA3、A4、B4、B5のときに機能します。

- アプリケーションによっては縮小・拡大が正しく印刷されないものがあります。
- 印刷データの前に用紙サイズの指定コマンド(FS f c l c 2 c 3)によってA3、B4、または帳票サイズが指定されており、ホッパーにA4サイズ用の紙が入っている場合は自動的に縮小して印刷します。詳しくは別売の「NPD L (Level 2) リファレンスマニュアル」をご覧ください。
- 縮小を行った場合、座標などの数値の丸め誤差により、縮小しない場合と印刷結果が異なる場合があります。

縮小／拡大モードの設定をする。

このスイッチを押すと以下のような縮小／拡大印刷*ができます。印刷する用紙サイズによって、次ページの順序でモード選択されます。

- A3サイズに印刷する

A3 → A4→A3 → B4→A3 → A3 → (繰り返し)

- A4サイズに印刷する

A4 → B4→A4 → LP→A4 → A3→A4 → A4×2 → B5→A4 → A4 → (繰り返し)

- B4サイズに印刷する

B4 → LP→B4 → A3→B4 → B5→B4 → A4→B4 → B4 → (繰り返し)

- B5サイズに印刷する

B5 → A4→B5 → B4→B5 → B5×2 → B5 → (繰り返し)

動作エミュレーションがプロッターモードに設定されているとき縮小／拡大の設定をする。

プロッター縮小機能が有効のときに、このスイッチを押すと以下のような縮小／拡大印刷*ができます。

- A3サイズに印刷する

A3 → B3→A3 → A2→A3 → B2→A3 → A1→A3 → B1→A3
→ A0→A3 → B0→A3 → A4→A3 → B4→A3 → A3 → (繰り返し)

- A4サイズに印刷する

A4 → B4→A4 → LP→A4 → A3→A4 → B3→A4 → A2→A4 → B2→A4 → A1→A4
→ B1→A4 → A0→A4 → B0→A4 → A4×2 → B5→A4 → A4 → (繰り返し)

- B4サイズに印刷する

B4 → LP→B4 → A3→B4 → B3→B4 → A2→B4 → B2→B4 → A1→B4 → B1→B4
→ A0→B4 → B0→B4 → B5→B4 → A4→B4 → B4 → (繰り返し)

- B5サイズに印刷する

B5 → A4→B5 → B4→B5 → B5×2 → B5 → (繰り返し)

* LPは帳票サイズ(136桁×66行)を意味します。A4×2はA4サイズの2ページ分のデータをA4用紙1枚に印刷します。B5×2はB5サイズの2ページ分のデータをB5用紙1枚に印刷します。

メニューモード時のスイッチ機能



メニュー終了

【メニュー終了】スイッチ

メニューモードを終了させる。
メニューモード時にこのスイッチを押すと、メニューモードを終了します。



設定変更

【設定変更】スイッチ

設定変更したい項目(レベル3)を選択する。

メニューモード時でメニューツリーのレベル3の項目を選択中にこのスイッチを押すと、任意の項目の設定を変更することができます。

なお、メニューモードのレベルについては、124～127ページの「メニューツリー」を参考にしてください。



【▶】スイッチ

ディスプレイに表示されている設定項目を選択する(【→】スイッチとして機能)。

メニューモード時にこのスイッチを押すと、メニューツリーの次のレベル(レベル2またはレベル3)の項目を選択することができます。



【▲】スイッチ

ディスプレイに表示されている設定項目を選択する(【↑】スイッチとして機能)。

メニューモード時にこのスイッチを押すと、メニューツリーの同じレベルの項目を選択することができます。



【◀】スイッチ

ディスプレイに表示されている設定項目を選択する(【←】スイッチとして機能)。

メニューモード時にこのスイッチを押すと、メニューツリーのひとつ前のレベル(レベル1またはレベル2)の項目を選択することができます。



【▼】スイッチ

ディスプレイに表示されている設定項目を選択する(【↓】スイッチとして機能)。

メニューモード時にこのスイッチを押すと、メニューツリーの同じレベルの項目を選択することができます。

メニューツリーの詳細については「メニューツリー」(124～127ページ)をご覧ください。

シフト時のスイッチ機能



シフト

【シフト】スイッチ

このスイッチが押されている間、【両面】スイッチ、【MP】スイッチ、および【印刷可】スイッチの3つは、それぞれのスイッチの下に表記された機能「排出」、「手差し」、「リセット」が有効となります。

このスイッチを押すと、自動的に印刷可ランプが消灯します。



排出

[排出]スイッチ

このスイッチは印刷可ランプが消灯していて、データランプが点灯している(ディスプレイに“データガノコッテイマス”と表示されている)ときに機能します。アラーム中および用紙がない状態では機能しません。

プリンターに残っている未印刷データをすべて印刷する。

[シフト]スイッチを押した状態でこのスイッチを押すとプリンターに残っているデータをすべて印刷出力します。ただし、I/F設定がECPモードでディセレクト中に受信したデータは排出されません。

— チェック —

プリンター内にデータを残したまま次の印刷を行うと、プリンターは残っているデータと次の印刷データを重ねて印刷する場合があります。



リセット

[リセット]スイッチ

このスイッチは印刷可ランプが消灯しているときに機能します。アラーム中も機能します。

プリンターを初期状態にする。

[シフト]スイッチを押した状態でこのスイッチを2回続けて押すと、ディスプレイに“リセットジッコウ”と表示され、未印刷データは消失し、プリンターは初期状態(電源スイッチON直後の状態)になります。リセット後、ブザーが2回鳴ります。

— チェック —

リセットすると、スイッチを使って変更したプリンターの設定も、初期状態(電源ON直後の状態)に戻ります。ただし、メニュースイッチを使って変更したメニューモードの内容はリセットされません。詳細は添付のプリンターソフトウェアCD-ROMに収録されているオンラインマニュアル「プリンターの設定と技術仕様」の「NPDの初期状態」をご覧ください。



手差し

[手差し]スイッチ

このスイッチは印刷可ランプとデータランプが消灯しているときに機能します。

給紙先を手差しにする。

ホッパーから用紙を送る状態で[シフト]スイッチを押しながら、このスイッチを押すと、手差しから用紙を給紙する状態に切り替わります。

手差し給紙の用紙サイズを変更する。

手差し給紙を選択中に、このスイッチを押すたびに用紙サイズの設定が次のように変わります。



*1 「LT」は「レター」を意味します。

*2 「ハガキ2」は「往復はがき」を意味します。

メニューモード

メニューモードでは、プリンターの操作パネル上のスイッチを使ってプリンターのさまざまな設定を変更することができます。

メニューモードで変更した設定内容は電源をOFFにしても変わりません。

メニューモードでの設定変更のしかた

- 1 [印刷可]スイッチを押して、ディセレクト状態にする。

印刷可ランプが消灯します。



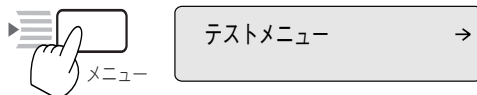
- 2 データランプが点灯していないことを確認する。

点灯している場合は[シフト]スイッチを押しながら[排出]スイッチを押して、プリンター内部に残っている印刷データを印刷してください。

○データ

- 3 [メニュー]スイッチを押す。

プリンターはメニューモードに入り、ディスプレイに「テストメニュー →」と表示します。



- 4 メニューモードの設定を変更する。

メニューモードの内容は次ページの「メニューモード設定項目一覧」および124～127ページの「メニューツリー」を参照してください。

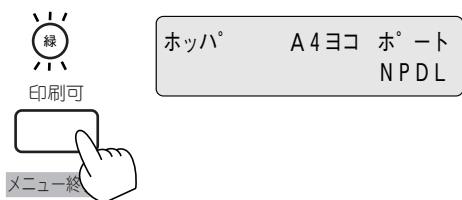
メニューモード中は次の5個のスイッチで項目の選択、設定の変更を行います。

[◀]、[▼]、
[▶]、[▲]スイッチ このスイッチを押すと
その方向へ進むことを示
しています。

[設定変更]スイッチ 押すたびにレベル3をひ
とずつ表示し、その内
容が自動的に選択されま
す。

- 5 [メニュー終了]スイッチを押して、メニューモードを終了する。

プリンターはセレクト状態になり、印刷可ランプが点灯し、ディスプレイは通常表示に戻ります。



メニューモード設定項目一覧

メニューモードで設定できる項目の一覧とそれらの簡単な説明を以下に示します。これらの設定はメモリースイッチからも設定できます。各設定方法で設定できる項目の一覧も以下に示します。

詳細については、添付のプリンターソフトウェアCD-ROMのオンラインマニュアル「プリンターの設定と技術仕様」を参照してください。

メニューモード設定項目一覧

○：有効 ×：無効

設定項目		説 明	メモリースイッチ (MSW)	ESC/P エミュレーション	プロッターエミュレーション
テスト印刷メニュー	ステータス印刷	ステータス印刷を行います。ステータス印刷では、オプションの接続やメモリースイッチの状態など、各プリンターの状態が印刷されます。	×	○	○
	サンプル印刷	サンプル印刷を行います。	×	○	○
	連続印刷	連続印刷を行います。	×	○	○
	16進ダンプ印刷	16進ダンプ印刷を行います。	×	○	○
	LANステータス印刷*	［インタフェース3］ に実装のLANボードのコンフィグレーションページ（LANステータス）を印刷します。	×	○	○
	通信ログ印刷*	［インタフェース3］ に実装のLANボードの通信ログを印刷します。	×	○	○
印刷設定メニュー	コピー枚数設定	コピー枚数は“01” から“20” まで設定できます。	×	○	○
	トナー節約機能	トナー節約機能を使用するかどうかを選択します。	×	○	○
	印字濃度	印字濃度を5段階の中から設定できます。	×	○	○
用紙メニュー	ホッパ初期設定	電源投入時およびリセット時のホッパー、MP、手差し設定を選択します。	×	○	○
	MPの用紙種別	MPで使用する用紙の種別を選択します。	×	○	○
	手差しの用紙種別	手差しで使用する用紙の種別を選択します。	×	○	○
	MP定形外用紙	MPで定形外用紙を使用するかどうかを選択します。	×	○	○
	手差し定形外用紙	手差しで定形外用紙を使用するかどうかを選択します。	×	○	○
	リレー給紙設定	リレー給紙機能を使用するかどうかを選択します。	×	○	○
	ジョブセパレート機能	ジョブセパレート機能を使用するかどうかを選択します。	×	○	○

* MultiWriter 2800N/2800/2300Nで［インタフェース2］のLANボード用スロットにオプションのLANボードを取り付けている場合は表示されません。また、MultiWriter 2800は［インタフェース3］のLANボード用スロットにオプションのLANボード（TCP/IP）（型番 PR-L2800-NP）を取り付けている場合のみ表示されます。

メニューモード設定項目一覧(続き)

設定項目		説 明	メモリー スイッチ (MSW)	ESC/P エミュレ ーション	プロッター エミュレ ーション
印字位置設定 メニュー	ホッパ1微調整		×	○	○
	ホッパ2微調整*1		×	○	○
	ホッパ3微調整*1		×	○	○
	ホッパ4微調整*2		×	○	○
	MP微調整		×	○	○
	手差し微調整		×	○	○
	表面微調整		×	○	○
	裏面微調整		×	○	○
両面印刷 メニュー	初期設定	電源投入時およびリセット時の印刷モードを両面印刷にするかしないかを選択します。	×	○	○
	綴じしろ	綴じしろを付加する位置を設定します。	×	○	○
	余白	綴じしろを付加する量を設定します。	×	○	○
	クリップ	印刷範囲からはみ出したデータをクリッピングするか、自動改行/改ページするかを設定します。	×	○	○
運用メニュー	節電機能	節電機能を使用するかしないかを設定します。	○	○	○
	節電時間設定*3	節電するまでの時間を設定します。	×	○	○
	温度制御*4	温度制御を行うかどうかを設定します。	×	○	○
	自動排出*5	自動排出の有効/無効、および設定時間を選択します。	×	○	○
	メモリー設定*6	プリンターメモリーの使用方法を選択します。	×	○	○
	解像度設定*7	解像度の設定をします。	○	○	○
	プロッタ縮小	プロッターモードのみ使用可能な縮小機能を設定します。	×	○	○
フォント メニュー	1バイト系ゼロ	1バイト系ゼロの字体を切り替えます。	○	○	×
	2バイト系ゼロ	2バイト系ゼロの字体を切り替えます。	×	○	×
	ANK	1バイト系コードのフォントのANK文字を選択します。	×	○	×
	漢字	標準フォント（2バイト文字）を選択します。	×	○*8	×
	文字セット	2バイト系文字セットを選択します。	×	1983固定	×
	国別	各国文字セットを選択します。	○	○	×

*1 増設ホッパ装着時のメニューです。

*2 増設ホッパ装着時のメニューです。(MultiWriter 2800N/2800に対応)

*3 節電機能有効時のみ表示されます。

*4 MultiWriter 2300Nに対応しています。

*5 コンピューターに負荷がかかっている場合やネットワークのデータ量が多い場合、自動排出までの待ち時間(最大30秒)以上にデータ送信が停止することがあります。この場合、途中で用紙が排出されるため正常な印刷結果が得られませんので、自動排出の設定を無効にする必要があります。

*6 64MB以上のメモリーを増設した時の初期設定は異なります。

*7 MultiWriter 2300Nのみ1200dpiの設定ができます。

*8 「ミンチョウ」「ゴシック」はESC/Pコマンドの「FS k(漢字の書体選択)」によって切り替えることができます。

メニューモード設定項目一覧(続き)

設定項目		説 明	メモリー スイッチ (MSW)	ESC/P エミュレー ション	プロッター エミュレー ション
動作メニュー	動作エミュレーション	[インタフェース1]、[インタフェース2]、[インタフェース3]で個別にプリンターの動作エミュレーションを設定します。	×	○	○
	動作自動切り替え	エミュレーションの自動切り替えを設定します。	×	○	○
NPDL設定 メニュー	A4ポートレート桁数	用紙がA4サイズ、ポートレート方向で使われるときの一行あたりの文字数を設定します。	○	○	×
	エミュレーション	ページプリンタモードが201PLエミュレーションモードかを選択します。	○	×	×
	136桁モード設定	136桁モードの有効・無効を選択します。有効のときは、用紙位置微調整の方向と量を選択します。	○	○*1	×
プロッター設定 メニュー	ペンの太さの選択、原点位置の選択、SPコマンドによる排出などの選択をします。		×	×	○
I/F設定 メニュー	インタフェース1*2	動作双方向の設定（ニブルモード、ECPモード、なし）とLANボード、LANアダプターのIPアドレス、サブネットマスクを設定します。	×	○	○
	インタフェース2*2		×	○	○
	インタフェース3*3	IPアドレス、サブネットマスクを設定します。	×	○	○
設定初期化 メニュー	メニュー初期化	メニュー項目を初期設定に戻します。	×	○	○
	LAN初期化*3	LAN設定を初期設定に戻します。	×	○	○
	全初期化*3	メニュー項目とLAN設定を初期設定に戻します。	×	○	○
	呼び出し	設定記憶で記憶されている内容を呼び出します。	×	○	○
	記憶	メニューモード内の各種機能設定と、[MP] スイッチ、および[手差し] スイッチで設定した用紙サイズをまとめて記憶します。	×	○	○
メモリースイッチ メニュー	メニューモードの中で比較の変更頻度の低いものがまとめられています。 (MSW1～10)		○	121～122 ページ参照	○

*1 ESC/Pエミュレーションでは常に136桁モードになります。

*2 I/F設定を変更した場合は、プリンターの電源を再投入する必要があります。

また、I/F設定メニューの動作双方向が「ECPモード」に設定されているときにIPアドレスとサブネットマスクが有効になります。
対応するLANボード、LANアダプターは型番 PR-NP-01T2、型番 PR-NP-02T2、型番 PR-NP-03TR2です。

*3 MultiWriter 2800N/2800/2300Nで[インタフェース2]のLANボード用スロットにオプションのLANボードを取り付けている場合は表示されません。また、MultiWriter 2800は[インタフェース3]のLANボード用スロットにオプションのLANボード(TCP/IP) (型番 PR-L2800-NP)を取り付けている場合のみ表示されます。

メモリースイッチの設定変更のしかた

ここでは、2段目にオプションの増設ホッパ(500)を取り付けた場合のメモリースイッチの設定変更を例にして説明します。対象となるメモリースイッチは「7-4」です。

1 プリンターの電源をONにする。

2 [印刷可]スイッチを押して、ディセレクト状態にする。

印刷可ランプが消灯します。



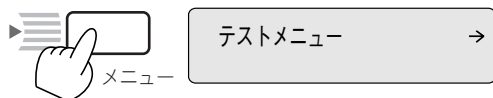
3 データランプが点灯していないことを確認する。

点灯している場合は[シフト]スイッチを押しながら[排出]スイッチを押して、プリンター内部に残っている印刷データを印刷してください。



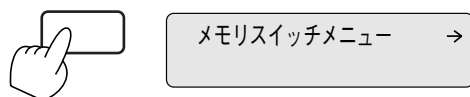
4 [メニュー]スイッチを押す。

プリンターはメニューモードに入り、ディスプレイに「テストメニュー →」と表示します。



5 [▲]スイッチを1回押す。

ディスプレイに「メモリースイッチメニュー →」と表示します。

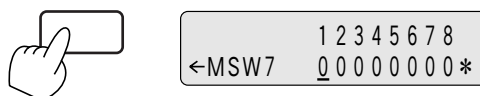


6 [▶]スイッチを1回押す。

MSW1が表示されます。



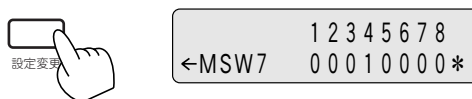
7 [▲]スイッチ、または[▼]スイッチを押して、MSW7を表示させる。



8 [▶]スイッチを3回押して、カーソルをMSW7-4に移動する。

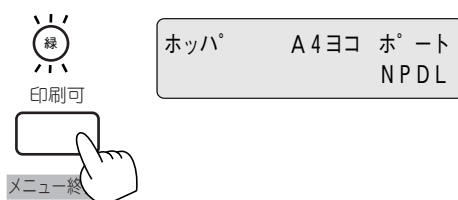


9 [設定変更]スイッチを1回押して、MSW7-4を“1”に変更する。



10 [メニュー終了]スイッチを押して、メニューモードを終了する。

プリンターはセレクト状態になり、印刷可ランプが点灯し、ディスプレイは通常表示に戻ります。



メモリスイッチの内容

メモリスイッチは1が0を選択することによって、他のメニューと同じように様々な機能を設定することができます。メモリスイッチは1-1から10-8まであります(未使用のスイッチもあります)。表中の太文字は工場出荷時の設定を示しています。

メニューモードで設定できるメモリスイッチの内容

○：有効 ×：無効

番号	機 能	0	1	ESC/Pモードでの動作	プロッターモードでの動作
1-1	各国文字の切り替え	3つのスイッチの1/0の組み合わせにより、5か国語の文字を切り替えます。(オンラインマニュアル参照) すべて0 (日本語)		○	×
1-2					
1-3					
1-4	グレースケールの網点の切り替え*1	粗い	細い	×	—
1-5	DC1、DC3の有効/無効の切り替え	有効	無効	○	×
1-6	自動復帰改行の切り替え	復帰改行	復帰のみ	×	×
1-7	印刷指令の切り替え	CRのみ	CR+その他	×	×
1-8	CR機能の切り替え	復帰のみ	復帰改行	○	×
2-1	1バイト系コードのゼロの字体の切り替え	0	Ø	○	×
2-2	エミュレーションモードの切り替え	201PLエミュレーション	ページプリンター(NPDL)	×	×
2-3	グラフィックモードの切り替え	ネイティブモード	コピーモード	×	×
2-4~2-5	(未使用)			—	—
2-6	7ビット/8ビットデータの切り替え	8ビット	7ビット	×	×
2-7	A4ポートレート印刷桁数の切り替え	78桁	80桁	○	×
2-8	B4→A4縮小時の縮小率の切り替え	4/5倍	2/3倍	○	×
3-1	レフトマージン量の設定 または用紙位置微調整量の設定 (136桁モード)	4つのスイッチの1/0の組み合わせにより、0インチから15/10インチまでの範囲で設定します。(1/10インチ単位) (オンラインマニュアル参照) すべて0 (0インチ)		○	×
3-2					
3-3					
3-4					
3-5	用紙位置微調整方向の設定 (136桁モード)	左	右	○	×
3-6	用紙位置の設定 (136桁モード)	左端合わせ	中央合わせ	○	×
3-7	136桁モードの有効/無効の切り替え	無効	有効	×	×
3-8	ブザー機能の有効/無効の切り替え	有効	無効	○	○
4-1	物理解像度の設定	2つのスイッチの1/0の組み合わせにより、1200dpi*2、600dpi、400dpiのいずれかを設定します。(オンラインマニュアル参照) 600dpi		○	○
4-2*2					
4-3	ESC c1での登録データを初期化する/しないの切り替え	初期化する	初期化しない	×	×
4-4	FFコードのみで白紙を出力する/しないの切り替え	出力する	出力しない	×	×
4-5	ランドスケープ方向の切り替え	反時計回り	時計回り	○	○
4-6~4-8	(未使用)			—	—

*1 解像度が600dpiの時のみ有効です。

*2 MultiWriter 2300Nのみ有効です。

メニューモードで設定できるメモリスイッチの内容(続き)

○：有効

×：無効

番号	機 能	0	1	ESC/Pモードでの動作	プロッターモードでの動作
5-1	同期コードの無効／有効の切り替え*1	無効	有効	○	○
5-2～5-8	(未使用)			－	－
6-1	SETを使用する／しないの切り替え	使用する	使用しない	○	○
6-2	メモリーオーバー時の動作指定	停止する	解像度を下げて印刷	○	○
6-3～6-6	(未使用)			－	－
6-7	節電機能を使用する／しないの切り替え	使用する	使用しない	○	○
6-8	(未使用)			－	－
7-1	データストローブ信号のデータラッチタイミング [インタフェース1]	前縁ラッチ	後縁ラッチ	○	○
7-2	データストローブ信号のデータラッチタイミング [インタフェース2] *2	前縁ラッチ	後縁ラッチ	○	○
7-3	(未使用)			－	－
7-4	ホッパー2に装着した増設ホッパーの種類	増設ホッパ (250)	増設ホッパ (500)	○	○
7-5	ホッパー3に装着した増設ホッパーの種類	増設ホッパ (250)	増設ホッパ (500)	○	○
7-6	(未使用)			－	－
7-7	FS fコマンドでの指定用紙サイズなしを表示する／しないの切り替え	表示する	表示しない	×	×
7-8	FS fコマンドでの自動縮小をする／しないの切り替え	自動縮小する	自動縮小しない	×	×
8-1 8-2	ビジアクノリッジ (BUSY-ACK) のタイミング [インタフェース1] (組み合わせとタイミングについてはオンラインマニュアルを参照)	2つのスイッチの1/0の組み合わせで、BUSY-ACKのタイミングを切り替えます。 タイミングA (8-1:0、8-2:0)		○	○
8-3 8-4	アクノリッジ (ACK) の幅 [インタフェース1] (組み合わせとタイミングについてはオンラインマニュアルを参照)	2つのスイッチの1/0の組み合わせで、ACKの幅を切り替えます。 1μs (8-3:0、8-4:0)		○	○
8-5 8-6	ビジアクノリッジ (BUSY-ACK) のタイミング [インタフェース2] *2 (組み合わせとタイミングについてはオンラインマニュアルを参照)	2つのスイッチの1/0の組み合わせで、BUSY-ACKのタイミングを切り替えます。 タイミングA (8-5:0、8-6:0)		○	○
8-7 8-8	アクノリッジ (ACK) の幅 [インタフェース2] *2 (組み合わせとタイミングについてはオンラインマニュアルを参照)	2つのスイッチの1/0の組み合わせで、ACKの幅を切り替えます。 1μs (8-7:0、8-8:0)		○	○
9-1	同期コード無効／有効の切り替え*1 [インタフェース1]	無効	有効	○	○
9-2	同期コード無効／有効の切り替え*1 [インタフェース2]	無効	有効	○	○
9-3	ホッパー4に装着した増設ホッパーの種類*3	増設ホッパ (250)	増設ホッパ (500)	○	○
9-4	トレイモード*4	無効	有効	○	○
9-5 9-6*2	節電モードの選択*5	2つのスイッチの1/0の組み合わせで、節電モードを切り替えます。 節電モード0 (9-5:0、9-6:0)		○	○
9-7 9-8	(未使用)			－	－
10-1 ～10-8	(未使用)			－	－

*1 PC-PTOSから印刷を行う場合はMSW5-1、9-1、9-2のいずれかをONにしてください。本スイッチを変更した場合は、プリンターの電源を再投入してください。

*2 MultiWriter 2800のみ対応しています。

*3 MultiWriter 2800N/2800のみ対応しています。

*4 トレイモードについては123ページの「トレイモードについて」をご覧ください。

*5 プリンターモデルによって対応できるモードが異なります(123ページの「節電モードの選択について」を参照)。

トレーモードについて

給紙先のMPと手差しを他のMultiWriterシリーズ(2200X系)*のトレー給紙と同じ動作にするためのモードです。他のMultiWriterシリーズ(2200X系)*用に作成したアプリケーションから、直接トレー指定コマンドを発行している場合、トレーモードを有効にすることで他のMultiWriterシリーズ(2200X系)*と同様にお使いいただけます。動作の詳細は添付のCD-ROMに収録されているオンラインマニュアル「プリンターの設定と技術仕様」をご覧ください。

* MultiWriter 2200X、MultiWriter 2200X2、MultiWriter 2200XE、MultiWriter 2000X2、MultiWriter 2050、MultiWriter 2650、MultiWriter 2250、MultiWriter 2650E、MultiWriter 2650M、MultiWriter 2250H

節電モードの選択について

MultiWriter 2800N/2800の場合は、メモリースイッチ9-5、9-6で設定が行えます。

節電モード0(9-5:0、9-6:0)：	標準設定です。消費電力は約30W以下です。
節電モード1(9-5:1、9-6:0)：	節電モード0に比べ消費電力をより少なくなるモードです。消費電力は約20Wです。ウォームアップ時間は、最大約52秒(室温20℃)になります。
節電モード2(9-5:0、9-6:1)：	節電モード0に比べウォームアップ待ち時間をより短くするモードです。約15秒(室温20℃)になります。消費電力は約65Wです。

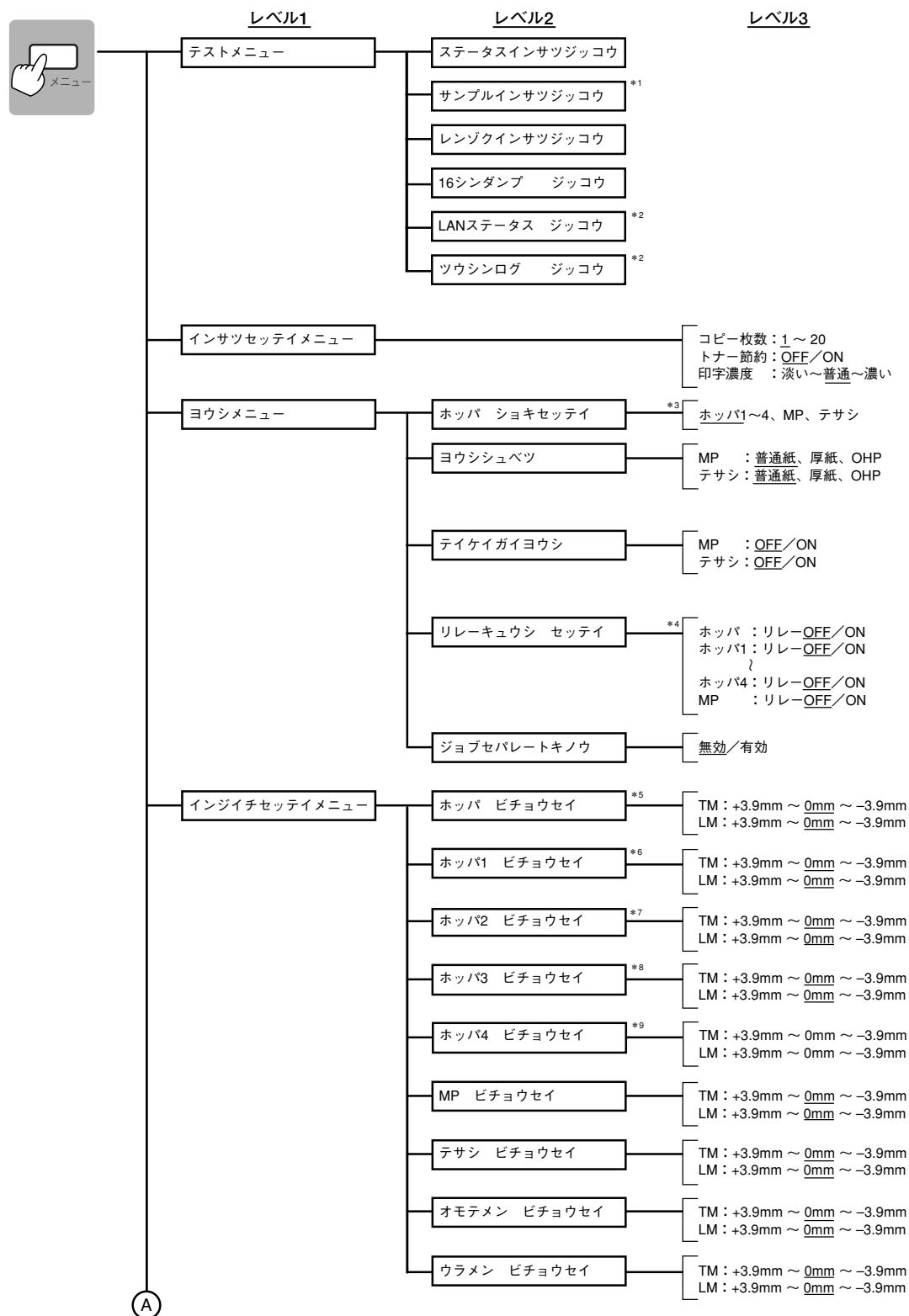
MultiWriter 2300Nの場合は、メモリースイッチ9-5で設定が行えます。

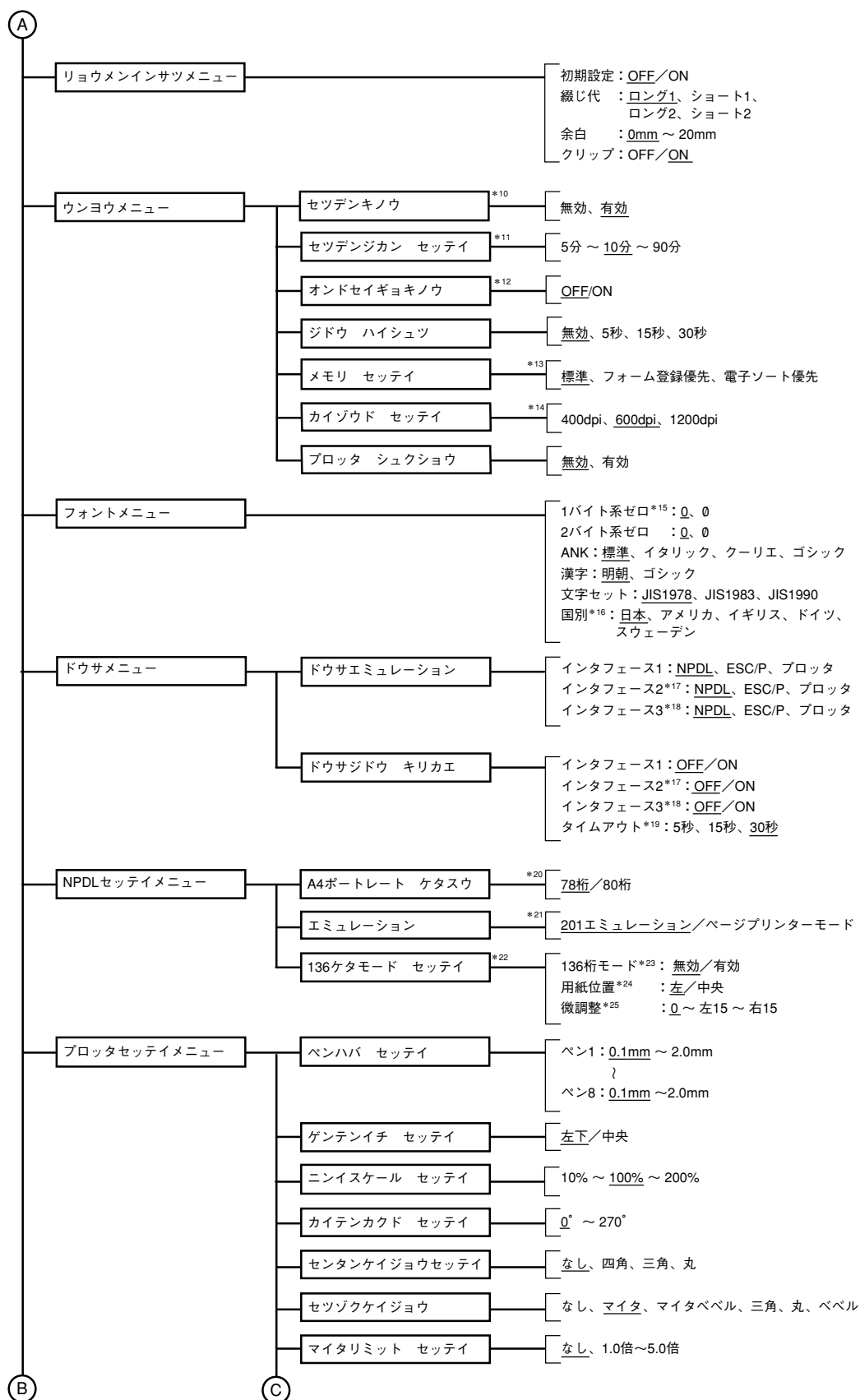
節電モード0(9-5:0)：	標準設定です。消費電力は約25W以下です。
節電モード1(9-5:1)：	節電モード0に比べ消費電力をより少なくなるモードです。消費電力は約20Wです。ウォームアップ時間は、最大約15秒(室温20℃)になります。

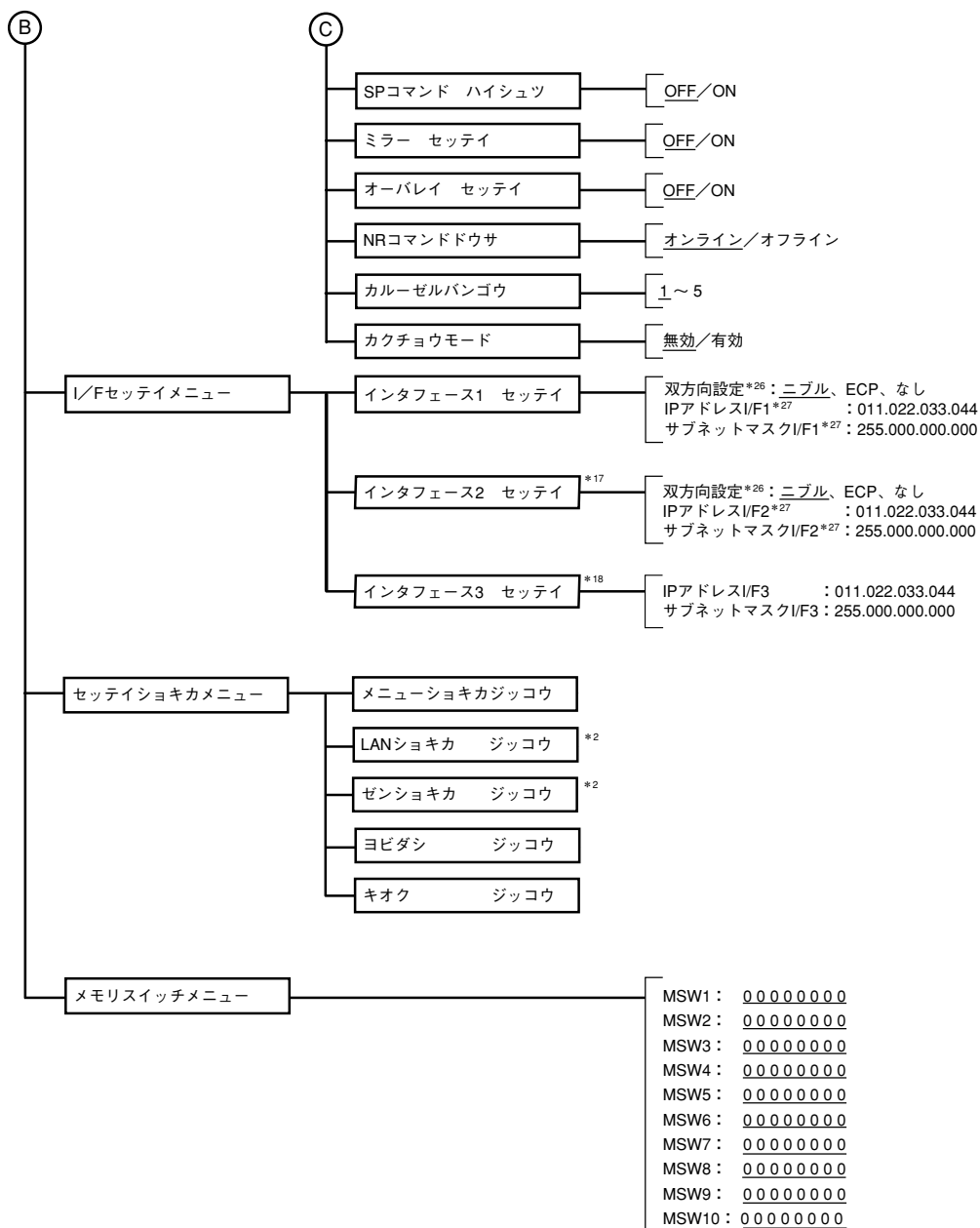
メニューツリー

次にメニューモードを図式的に表したメニューツリーを示します。(下線部分は出荷時の設定値です。)

「*」で示す補足的な説明は127ページにあります。







- *1 設定されている用紙がA4のときのみ表示されます。
- *2 [インタフェース2]のLANボード用スロットにオプションのLANボードを取り付けている場合は表示されません。また、MultiWriter 2800は[インタフェース3]のLANボード用スロットにオプションのLANボード(TCP/IP) (型番 PR-L2800-NP)を取り付けている場合のみ表示されます。
- *3 装着されているホッパーのみ表示されます。ホッパーを増設していない場合は“ホッパ1”が“ホッパ”と表示されます。
- *4 “ホッパ リレー”はホッパーを増設していないときに表示されます。ホッパ1～4はオプションの増設ホッパーを装着したときに表示されます。
- *5 ホッパーを増設していないときのみ表示されます。
- *6 オプションの増設ホッパーを1段以上装着しているときのみ表示されます。
- *7 オプションの増設ホッパーを1段以上装着しているときのみ表示されます。MSW7-4=1で500枚用の値を表示・設定し、MSW7-4=0で250枚用の値を表示・設定します。
- *8 オプションの増設ホッパーを2段以上装着しているときのみMSW7-5=1で500枚用の値を表示・設定し、MSW7-5=0で250枚用の値を表示・設定します。
- *9 オプションの増設ホッパーを3段装着しているときのみMSW9-3=1で500枚用の値を表示・設定し、MSW9-3=0で250枚用の値を表示・設定します。
- *10 MSW6-7と同期します。
- *11 「運用メニュー」の「節電機能」が有効のときのみ表示されます。
- *12 MultiWriter 2300Nのみ表示されます。
- *13 増設されているメモリー量により表示・設定できる項目が異なります。また、増設されているメモリー容量によって工場設定値が「電子ソート優先」に変わります。
- *14 MSW4-1、MSW4-2と同期します。1200dpi(47.2ドット/mm)はMultiWriter 2300Nでのみ有効です。
- *15 MSW2-1と同期します。
- *16 MSW1-1～MSW1-3と同期します。
- *17 MultiWriter 2800では通常表示されます。MultiWriter 2800N/2300Nでは、[インタフェース2]のLANボード用スロットにオプションのLANボードが装着されているときに表示されます。
- *18 MultiWriter 2800N/2300Nで[インタフェース2]のLANボード用スロットにオプションのLANボードが装着されているときは表示されません。
- *19 動作自動切り替えで、いずれかのインターフェースの設定がONのときのみ表示されます。
- *20 MSW2-7と同期します。
- *21 MSW2-2と同期します。
- *22 201エミュレーションモード時のみ表示されます。
- *23 MSW3-7と同期します。
- *24 136ケタモードが有効のときのみ表示されます。MSW3-6と同期します。
- *25 136ケタモードが有効のときのみ表示されます。MSW3-1～MSW3-5と同期します。
- *26 「双方向設定」の変更を有効にするためには、プリンターの電源を再投入する必要があります。
- *27 オプションのLANボード、またはLANアダプターが装着されていて、「インターフェース設定メニュー」の「双方向設定」が「ECP」に設定されているときのみ表示されます。

リレー給紙の設定

リレー給紙とは、印刷を行っている時に給紙先の用紙がなくなった場合に用紙がセットされている別の給紙先に自動的に切り替える機能です。この機能を利用するためには同じサイズ of 用紙がホッパー、MPもしくは増設ホッパーにセットされていて、プリンターのリレー給紙設定を有効にする必要があります。

また、A4用紙サイズをセットした場合は用紙のセット方向を同じにする必要があります。

リレー給紙機能を使うには次のステップで設定する必要があります。

Step 1 リレー給紙を有効にする

Step 2 給紙方法を設定する

Step 1 リレー給紙を有効にする

リレー給紙を有効にするために、プリンターの設定を行います。

① メニューモードに入る。

[印刷可]スイッチを押してプリンターをディセレクト状態にし、[メニュー]スイッチを押して“テストメニュー →”を表示させます。

② 操作パネルの[▼]スイッチ、[▶]スイッチ、[設定変更]スイッチを押して、“ヨウシメニュー”の“リレーキューシ”をONにする。

詳しくは、「メニューツリー」(124～127ページ)をご覧ください。

—  チェック —

リレー給紙させるホッパーまたはMP全ての“リレーキューシ”をONにしてください。



リレーキューシ セッテイ
←ホッパ リレー ON*

③ [メニュー終了]スイッチを押す。

④ 設定が終わったら、リレー給紙を有効にしたホッパーまたはMPの用紙サイズ、用紙の種類、用紙のセット方向が同じになっているか確認する。

Step 2 給紙方法を設定する

印刷を開始するときに[給紙方法]で[自動]を選択します。

① プリンタードライバーのプロパティダイアログボックスの[用紙]シートを開く。

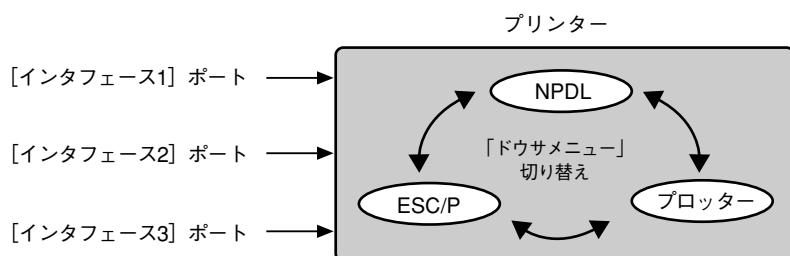
② ホッパーの給紙方法が[自動]になっていることを確認する。

プリンタードライバーの給紙方法を確認するには、5章の「プロパティダイアログボックス」(149ページ)を参照してください。

③ [印刷]ダイアログボックスで印刷範囲、印刷部数を指定し、[OK]をクリックして印刷する。

動作エミュレーションの切り替え

NPDモード、ESC/Pエミュレーションモード、プロッターエミュレーションモードの切り替えは、メニューモードの「動作メニュー」で行います(メニューモードの設定変更方法は116ページを参照してください)。メニューモードの「動作メニュー」では[インタフェース1]、[インタフェース2]、[インタフェース3]の各インターフェースに対して動作モードを設定できます。



インターフェースの動作は、工場出荷時「NPD」モードに設定されています。

メニューモードの設定項目については117ページ、メモリスイッチの詳細については121ページ、または添付のプリンターソフトウェアCD-ROMに収録されているオンラインマニュアル「プリンターの設定と技術仕様」をご覧ください。

動作エミュレーションは電源をOFFにしても保持されます。また、設定記憶に記憶することもできます。

上記3つのインターフェースのいずれか1つが動作している間は、その他のインターフェースは受信不可能になります。複数のインターフェースからデータが送られてきた場合は、最初に受信したインターフェースが選択され、その他のインターフェースは印刷待ち状態になります。そして最初に選択されたインターフェースからの印刷が終了してから標準では約30秒後に印刷待ち状態になっていたインターフェースの印刷を開始します。

ESC/Pエミュレーションモード

プリンターの動作エミュレーションをメニューモードを使用してESC/Pエミュレーションに切り替えることができます。

ESC/Pエミュレーションで使用する場合、次の手順で設定を行ってください。

✓ チェック

- “ドウサジドウキリカエ”は、コンピューターからプリンターに送られてくる印刷データのエミュレーションを自動的に決定し切り替えて印刷を行います。ただし、印刷データによっては印刷結果が不正になる場合があります。印刷結果が不正になる場合は、“ドウサエミュレーション”で設定し直してください。
- MultiWriter 2800N/2800/2300NのESC/Pエミュレーションは、拡張グラフィックス文字には対応していません。

① メニューモードに入る。

[印刷可]スイッチを押してプリンターをディセレクト状態にし、[メニュー]スイッチを押して“テストメニュー →”を表示させます。

② 操作パネルの[▼]スイッチ、[▶]スイッチを押して、“ドウサエミュレーション”を“ESC/P”に設定する。

詳しくは、「メニューツリー」を124～127ページを参照してください。

③ [メニュー終了]スイッチを押す。

ホッパ° A4ヨコ ホ° ート
ESC/P

ESC/Pエミュレーションで印刷方向にポートレートを選択しています。

ホッパ° A4ヨコ ラント°
ESC/P

ESC/Pエミュレーションで印刷方向にランドスケープを選択しています。

④ 設定が終わったら、アプリケーションで次の表に示す優先順位でプリンターを指定する。

セイコーエプソン社の24ピン漢字シリアルプリンターのほとんどが以下の分類に含まれます。

優先順位	プリンター名称
1	ESC/P 24-J84
2	ESC/P 24-J84準拠の各プリンター
3	ESC/P 24-J83
4	ESC/P 24-J83準拠の各プリンター

その他メニューモードの設定がESC/Pエミュレーションで可能かどうかを117ページ～119ページにまとめてあります。参照してください。

プロッターエミュレーションモード

プリンターの動作エミュレーションをメニューモードを使用してプロッターエミュレーション(HP社7550Aに準拠)に切り替えることができます。

プロッターエミュレーションで使用する場合、次の手順で設定を行ってください。

— ✓ チェック —

“ドウサジドウキリカエ”は、コンピューターからプリンターに送られてくる印刷データのエミュレーションを自動的に決定し切り替えて印刷を行います。ただし、印刷データによっては印刷結果が不正になる場合があります。印刷結果が不正になる場合は、“ドウサエミュレーション”で設定し直してください。

① メニューモードに入る。

[印刷可]スイッチを押してプリンターをディセレクト状態にし、[メニュー]スイッチを押して“テストメニュー →”を表示させます。

② 操作パネルの[▼]スイッチ、[▶]スイッチを押して、“ドウサエミュレーション”を“プロッタ”に設定する。

詳しくは、「メニューツリー」を124～127ページを参照してください。

③ [メニュー終了]スイッチを押す。

プロッターエミュレーションで印刷方向にランドスケープを選択しています。
モード切り替え時は「ランド」が選択されます。

ホッパ° A4ヨコ ラント°
フ° ロッタ

プロッターエミュレーションで印刷方向にポートレートを選択しています。

ホッパ° A4ヨコ ホ° ート
フ° ロッタ

④ 設定が終了後、アプリケーションでHP社プロッター7550Aに対応したプリンターを指定する。

その他メニューモードの設定がプロッターエミュレーションで可能かどうかを117ページ～119ページにまとめてあります。参照してください。

プロッターエミュレーションで利用の場合の注意事項

プロッターエミュレーションモードをお使いになる際は以下の点にご注意ください。

- プロッターモードにおいて、RS232Cインターフェースを制御して印刷行うアプリケーションでは正常な印刷が行えない場合があります。
- 動作エミュレーションをプロッターエミュレーションモードに設定した場合、印刷方向の初期状態は、ランドスケープに設定されます。
- メニューモードのNPD設定メニューについて
A4ポートレート桁数78桁／80桁の設定は、NPDモードでは有効(印刷に影響を与える)ですが、プロッターエミュレーションモードでは無効(印刷に影響を与えない)になります。ただし、プロッターエミュレーションモードでも桁数の切り替えは可能であり、プロッターエミュレーションモードで動作時に78桁から80桁に切り替えた場合は、NPDモードに動作モードが切り替わったときから80桁が有効になります。
- プロッターエミュレーションモードでの縮小印刷について
プロッターエミュレーションモードでは、A3よりも大きな用紙サイズからの縮小が可能です。この機能をご使用の場合には、メニューモードの「運用メニュー」-「プロッター縮小」で設定を変更してください。

PC-PTOS環境での機能

PC-PTOSから使用する場合は、メモリスイッチ5-1または9-1、9-2を「有効(ON)」にし(本スイッチを変更した場合は、プリンターの電源を再投入してください。)、それ以外のメニュー、メモリスイッチの各種設定はすべて出荷時設定のままでお使いください。メニューの出荷時設定は添付のプリンターソフトウェアCD-ROMに収録されているオンラインマニュアル「プリンターの設定と技術仕様」をご覧ください。メモリスイッチの出荷時設定は「メモリスイッチの内容」(121～123ページ)をご覧ください。

設定の内容によっては印刷結果が不正になる場合があります。ただし、以下の項目についてはPC-PTOSからの印刷でも設定を変えて使用することができます。

メニューの設定

- 各種テスト印刷／16進ダンプの実行
- 各種環境の設定*1
- 用紙の設定*1
- 印字位置微調整の設定
- 運用環境の設定
- メニュー項目の設定
- 動作環境の設定
- NPD環境の設定
 - － A4ポートレート桁数
 - － 136桁モード設定
- フォント環境の設定*2

*1 印刷環境の設定中のコピー枚数設定、用紙の設定中のホッパー初期設定に関しては、使用するアプリケーションによってはアプリケーションでの指定が優先されます。

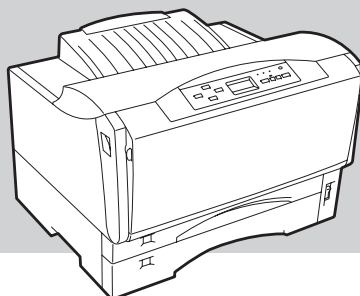
*2 PC-PTOSで規定した字形で印字する場合は、出荷時設定のままで使用してください。

メモリスイッチの設定(メニューで設定できるものを除く)

- | | |
|-------------------|---|
| (1-5) | DC1、DC3の有効／無効の切り替え |
| (1-6) | 自動復帰改行の切り替え |
| (1-7) | 印刷指令の切り替え |
| (1-8) | CR機能の切り替え |
| (2-3) | グラフィックモードの切り替え |
| (2-6) | 7ビット／8ビットデータの切り替え |
| (2-8) | B4→A4縮小時の縮小率の切り替え |
| (3-8) | ブザー機能の有効／無効の切り替え |
| (4-1、4-2) | 物理解像度の設定 |
| (4-3) | ESC c1での登録データを初期化する／しないの切り替え |
| (4-4) | FFコードのみで白紙を出力する／しないの切り替え |
| (4-5) | ランドスケープ方向の切り替え |
| (5-1) | 同期コードの有効／無効の切り替え |
| (6-1) | SETを使用する／しないの切り替え |
| (6-2) | メモリーオーバー時の動作指定 |
| (7-1、7-2) | データストロブ信号のデータラッチタイミング |
| (7-4) | ホッパー2に装着した増設ホッパーの種類 |
| (7-5) | ホッパー3に装着した増設ホッパーの種類 |
| (7-7、7-8) | FS fコマンドの動作に関する設定 |
| (8-1、8-2、8-5、8-6) | ビジアクノリッジ(BUSY-ACK)のタイミング |
| (8-3、8-4、8-7、8-8) | アクノリッジ(ACK)の幅 |
| (9-1、9-2) | 同期コードの有効／無効の切り替え |
| (9-3) | ホッパー4に装着した増設ホッパーの種類(MultiWriter 2800N/2800のみ対応) |
| (9-4) | トレイモード |
| (9-5、9-6) | 節電モードの選択(9-6はMultiWriter 2800N/2800のみ対応) |

PC-PTOS環境でプリンターをご使用になる前には、90ページの「PC-PTOS環境でプリンターを選択する」をお読みください。

5章 より進んだ使い方



この章では、MultiWriter 2800N/2800/2300Nの便利な機能の紹介とその使い方について説明します。MultiWriter 2800N/2800/2300Nがもつ様々な機能を組み合わせて使うことにより、MOPYINGを実現することができ、印刷コストの削減も図れます。この章をよくお読みになり、MultiWriter 2800N/2800/2300Nを使いこなしてください。

- 機能の紹介 134ページ
- プロパティダイアログボックス 149ページ
- 設定方法 162ページ

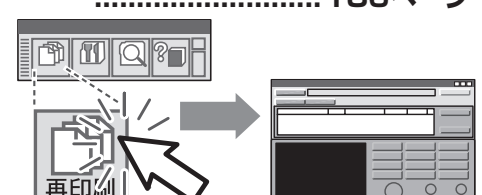
機能の紹介

ここでは、MultiWriter 2800N/2800/2300Nのもつ便利な機能を紹介します。

各機能の設定方法については、本書(記載のページ)および添付のプリンターソフトウェアCD-ROMに収録されているオンラインマニュアル「プリンターソフトウェアの詳細」、またはヘルプをご覧ください。

また、プリンタステータスウィンドウ、リプリント、文書の結合、仕分け印刷、拡大・縮小印刷、複数ページ印刷については137ページ以降で機能の概要を説明しています。詳細については、添付のプリンターソフトウェアCD-ROMに収録されているオンラインマニュアル「プリンターソフトウェアの詳細」、またはヘルプをご覧ください。

「PrintAgent」ツールバー
..... 136ページ



ボタン操作ひとつで・・・ PrintAgentの機能呼び出す

プリンターの状態や印刷状況を見る
..... 137ページ

便利な機能 プリンタステータスウィンドウ

プリンターの状態を印刷できます。パソコンに表示する



リプリントする 162ページ

便利な機能 PrintAgent リプリント2



一度印刷した文書を 再印刷

文書を結合する 167ページ

便利な機能 PrintAgent リプリント2
DocuWorks E



一度印刷した別々の文書を 自由に・・・ 組み合わせたり結合したり

仕分け印刷する 169ページ

便利な機能 ジョブセパレート、丁合い、電子ソート

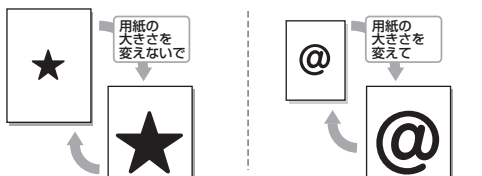


Aさんの出力文書 Bさんの出力文書

両面印刷する 174ページ



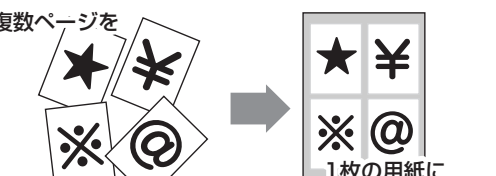
拡大・縮小印刷する ... 176ページ



用紙の大きさを 変えないで 用紙の大きさを 変えて

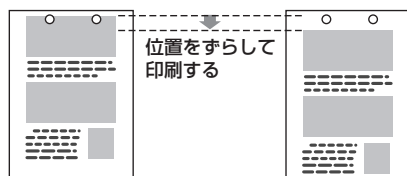
拡大縮小します

複数ページ印刷する ... 180ページ

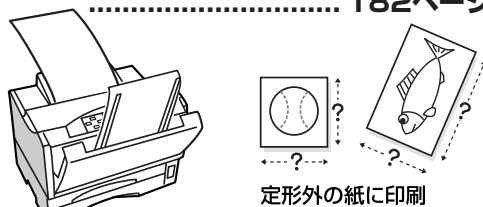


複数ページを 1枚の用紙に 印刷する

A A 印刷位置をずらす 181ページ



? 1 定形外サイズ用紙に印刷する 182ページ



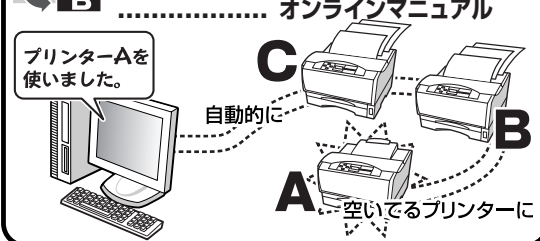
以下に記載した項目は、ネットワーク環境でMultiWriter 2800N/2800/2300Nを使用するときに便利な機能です。MultiWriter 2800N/2800/2300Nを一元管理することができます。

設定方法については、添付のプリンターソフトウェアCD-ROMに収録されているオンラインマニュアル「プリンターソフトウェアの詳細」、またはヘルプをご覧ください。

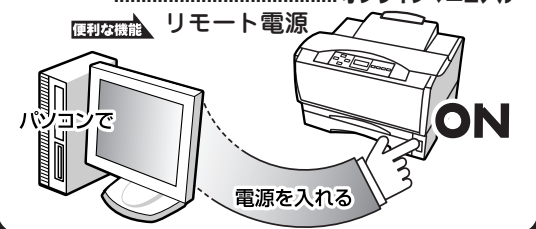
プリンターを一元管理する オンラインマニュアル



A B プリンターを自動切り替える オンラインマニュアル



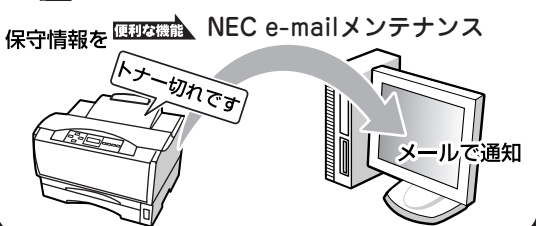
ON! パソコンから電源を入れる オンラインマニュアル



印刷履歴状況を出力する オンラインマニュアル



保守情報をメール通知する オンラインマニュアル



Web PA ブラウザでプリンターの状況を見る オンラインマニュアル



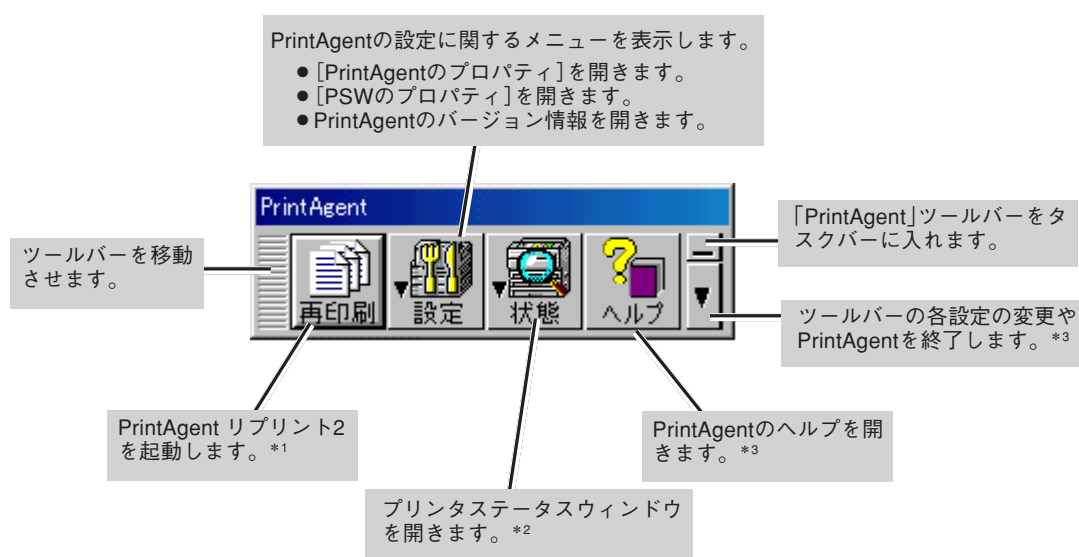
「PrintAgent」ツールバー

「PrintAgent」ツールバーでは、ボタン操作ひとつで簡単にPrintAgentの機能呼び出すことができます。このツールバーはPrintAgentオプションの「ツールバー」をインストールすれば、お使いになります。

「PrintAgent」ツールバーを表示させるには、次のような方法があります。

- タスクバーのPrintAgentアイコンを左または右クリックし、[ツールバーを表示]をクリックする。
- タスクバーのPrintAgentアイコンをダブルクリックする。
前回ツールバーを表示した状態でPrintAgentを終了した場合、「PrintAgent」ツールバーはPrintAgentの起動と同時に表示されます。

「PrintAgent」ツールバーの詳しい説明は、添付のプリンターソフトウェアCD-ROMに収録されているオンラインマニュアル「プリンターソフトウェアの詳細」、または「PrintAgent」ツールバーのヘルプをご覧ください。



*1 PrintAgent リプリント2がインストールされていない場合、[再印刷]ボタンはご利用になれません。

*2 PrintAgent対応プリンタがない場合、[状態]ボタンはご利用になれません。

*3 ヘルプがインストールされていない場合、ヘルプボタンとツールバー設定ボタンメニューの[ヘルプ]ボタンはご利用になれません。

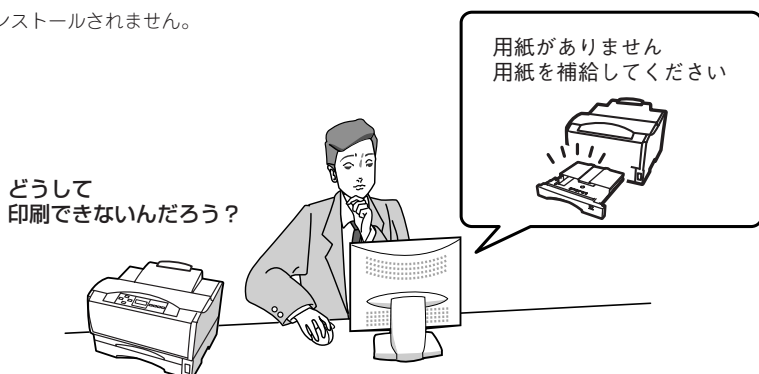
使用条件

PrintAgentおよびツールバーがインストールされている必要があります。「PrintAgent」ツールバーはWindows Me/98/95、Windows 2000、Windows NT 4.0で利用でき、PrintAgentをインストールする際に「PrintAgent リプリント2」オプションをチェックしておく必要があります。

プリンタステータスウィンドウ

プリンタステータスウィンドウは印刷の進行状況やプリンターの状態を画面と音声*によるメッセージで通知します。

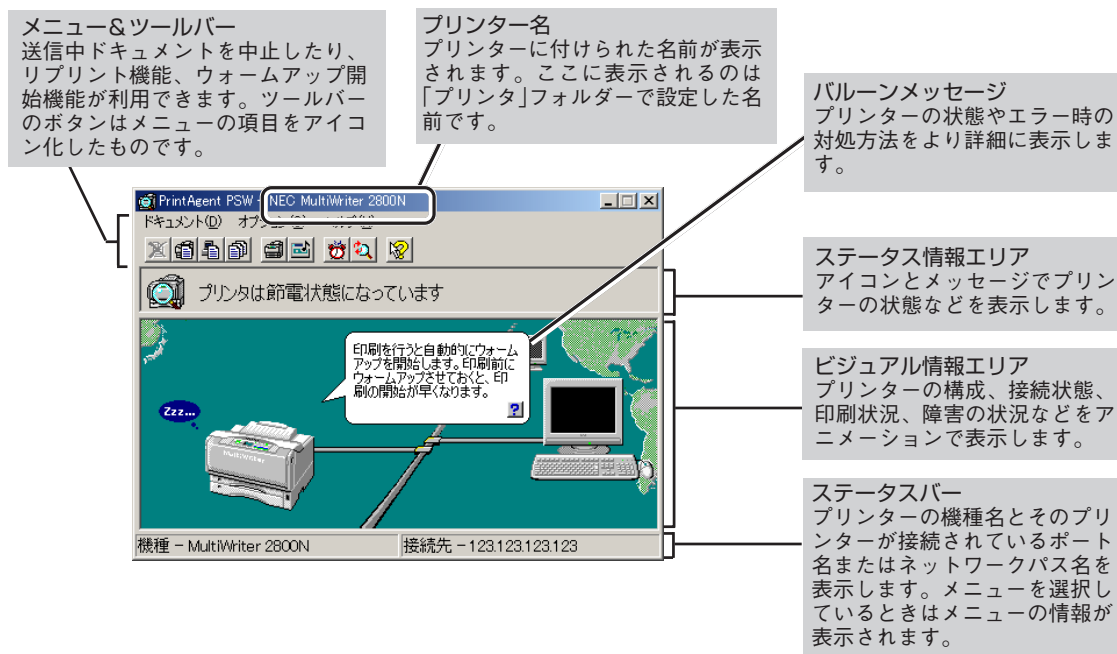
* 音声は標準ではインストールされません。



通常プリンターが印刷を開始したり、印刷中にエラーが発生したりするとプリンタステータスウィンドウが自動的に起動します。設定により画面上にアイコンや下のようなウィンドウを表示することができます。手動で起動する方法は次の3種類です。

- 「PrintAgent」ツールバーから起動する
- スタートメニューから起動する
- タスクバーのアイコンから起動する

また、印刷の中止などの指示もこのウィンドウから行うことができます。



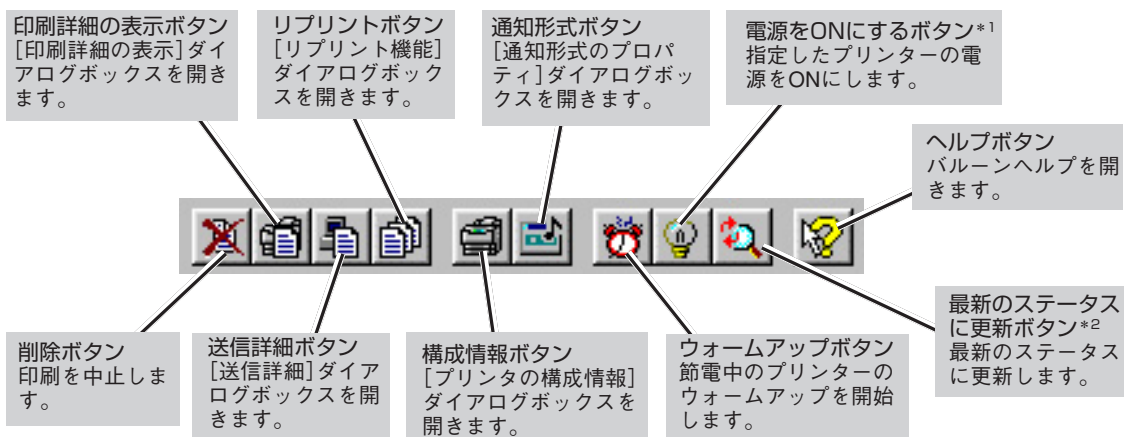
使用条件

PrintAgentがインストールされている必要があります。PrintAgentはWindows Me/98/95、Windows 2000、Windows NT 4.0で利用できます。プリンタードライバーのみをインストールしている場合は利用できません。

ツールバー

プリンタステータスウィンドウには、次のような機能があります。それぞれの機能はツールバーのボタンをクリックして設定、または実行できます。

また常に情報取得をするか、ウィンドウ表示するかどうかなどを選択できます。



*1 プリンターがオプションのリモート電源制御対応LANアダプタ (型番PR-NP-03TR2) に接続されている状態で、電源制御の設定が有効な場合に表示されます。

*2 初期設定では印刷中以外はプリンターの状態を監視しないことになっています。プリンターの最新の状態を知るためには[最新のステータスに更新]ボタンをクリックしてください。常にプリンターの状態を取得するようにするには、次ページの「通知形式を変更する」をご覧ください。

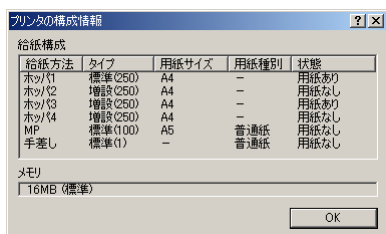
送信中のドキュメントの印刷を中止する

「送信中ドキュメント情報」に表示されているドキュメントを中止する機能です。

[印刷中止]ボタンをクリックします。

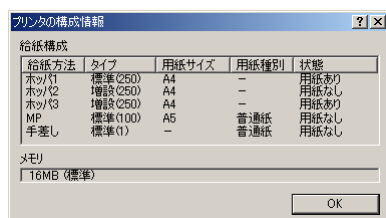
プリンターの構成情報を見る

<MultiWriter 2800N/2800の場合> プリンターの構成情報(給紙構成、メモリー)を確認するダイアログボックスです。



このダイアログボックスを表示させるには[構成情報]ボタンをクリックするか、[オプション]メニューの[プリンタの構成情報]を選択します。ただし、常に最新の情報を取得する設定になっていないと、このダイアログボックスの構成情報と実際の構成情報が一致しない場合があります。

<MultiWriter 2300Nの場合>



最新の情報に更新するにはツールバーの[最新のステータスに更新]ボタンをクリックするか、[オプション]メニューの[最新のステータスに更新]を選択してください。

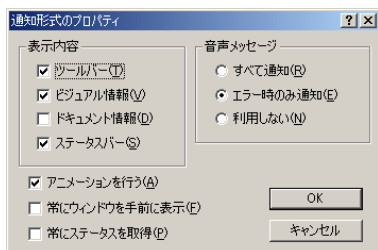
常に最新の情報を取得したい場合は[通知形式のプロパティ]ダイアログボックスで[常にステータスを取得]をチェックしてください。[通知形式のプロパティ]ダイアログボックスの開き方については次ページの「通知形式を変更する」を参照してください。

✓チェック

プリンターとコンピュータで双方向通信機能を無効に設定しているときは、各OSごとに以下のダイアログボックスの「プリンタの構成」の内容が表示されます。

- Windows Me/98/95：[プロパティ]ダイアログボックス
- Windows 2000：[プリンタのプロパティ]ダイアログボックス
- Windows NT 4.0：[デバイスプロパティ]ダイアログボックス

通知形式を変更する



プリンタステータスウィンドウの表示内容を選択します。必要とする項目だけを表示させることで、ウィンドウをコンパクトにすることができます。また、プリンタステータスウィンドウのアニメーションを行うかどうか、常にステータスを取得するかどうかなどの設定ができます。

このダイアログボックスを表示させるためには、[通知形式]ボタンをクリックするか[オプション]メニューの[通知形式]を選択します。

✓チェック

[常にステータスを取得]について

- [常にステータスを取得]をチェックすると印刷中以外でもプリンターの状態を常に監視します。
- ネットワーク共有プリンターの場合は、サーバーで設定してください。
Windows 2000/NT 4.0の場合、Administrators権限のユーザーのみが設定を変更できます。
- プリンタ自動切替機能をご利用の場合、グループを構成するプリンターではプリンターの状態を常に監視しているため設定の変更はできません。

ウォームアップを行う



[ウォームアップ開始]ボタンをクリックするか[オプション]メニューの[ウォームアップ開始]を選択すると節電状態のプリンターのウォームアップを開始します。通常はデータ受信とともにウォームアップを開始しますが印刷前にあらかじめウォームアップを開始させておくと印刷までの時間が早くなります。

なお、節電機能のON/OFFと節電状態に入るまでの時間はプリンターの操作パネルによるメニューモードで設定できます。

プリンターの電源をONにする



[電源をONにする]ボタンをクリックするか、[オプション]メニューの[電源をONにする]を選択すると指定したプリンターの電源をONにすることができます。リモート電源制御機能を有効にするためには、オンラインマニュアル「プリンターソフトウェアの詳細」の「リモート電源制御」をご覧ください。

✓チェック

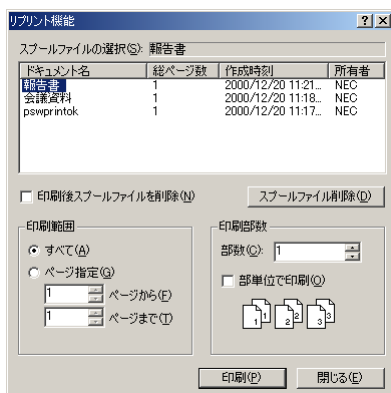
プリンターがオプションのリモート電源制御対応LANアダプタ(型番 PR-NP-03TR2)に接続されている場合のみ有効な機能です。

最新のステータスに更新する



初期設定では印刷しているとき以外は、常にプリンターの状態を監視していません。最新のステータスを取得するには[最新のステータスに更新]ボタンをクリックするか、[オプション]メニューの[最新のステータスに更新]を選択してください。

リプリント機能を使う



このダイアログボックスは[リプリント]ボタンをクリックするか、[ドキュメント]メニューの[リプリント機能]を選択すると表示されます。

リプリント機能を利用すると一度印刷したデータはアプリケーションから再び印刷を実行することなく、プリンタステータスウィンドウのダイアログボックスから直接再印刷(リプリント)できるようになります。詳細については、プリンターソフトウェアCD-ROMのオンラインマニュアル「プリンターソフトウェアの詳細」をご覧ください。

リプリント機能についてはPrintAgent リプリント2をご利用になると、より多くの機能がご利用できます。PrintAgent リプリント2をお使いになることをお勧めします。リプリント2の使用方法については、次ページをご覧ください。

リプリント

リプリント(再印刷)は、一度印刷したデータをアプリケーションから再び印刷を実行することなく、再印刷する機能です。MultiWriter 2800N/2800/2300Nではコピー機感覚で操作できる「PrintAgent リプリント2」を提供しています。

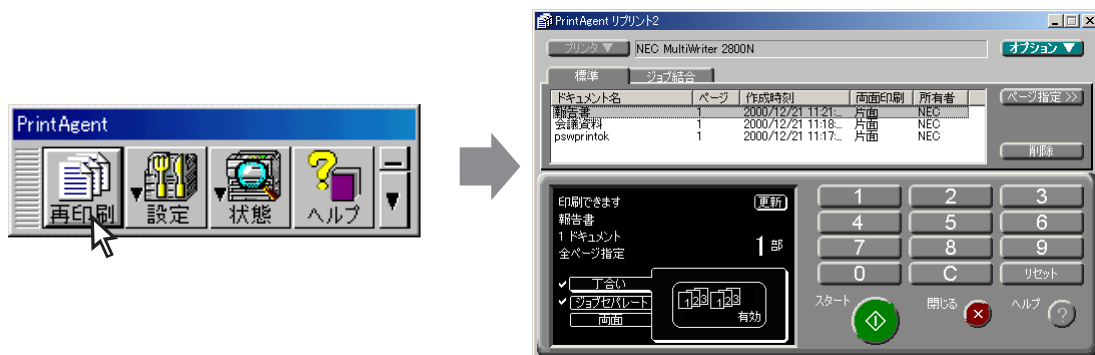
PrintAgent リプリント2

この機能をご利用になるには、あらかじめPrintAgent リプリント2がインストールされていることが必要です。(PrintAgentのインストール方法については「2章 プリンターソフトウェアのインストール」をご覧ください)。これを使えば、「PrintAgent」ツールバーからPrintAgent リプリント2を簡単に呼び出し、再印刷することができます。

PrintAgent リプリント2では以下の便利な機能を備えています。

- 標準モード： 再印刷する文書に対して丁合い機能、ジョブセパレート機能を選択して仕分け印刷や、両面印刷をすることができます。
- ジョブ結合モード： 一度印刷された複数の文書を結合し、一文書として再印刷することができます。(ジョブ結合の概要については次ページ以降の解説をご覧ください。)

PrintAgent リプリント2を起動するには、以下のとおり「PrintAgent」ツールバーの[再印刷]ボタンをクリックします。



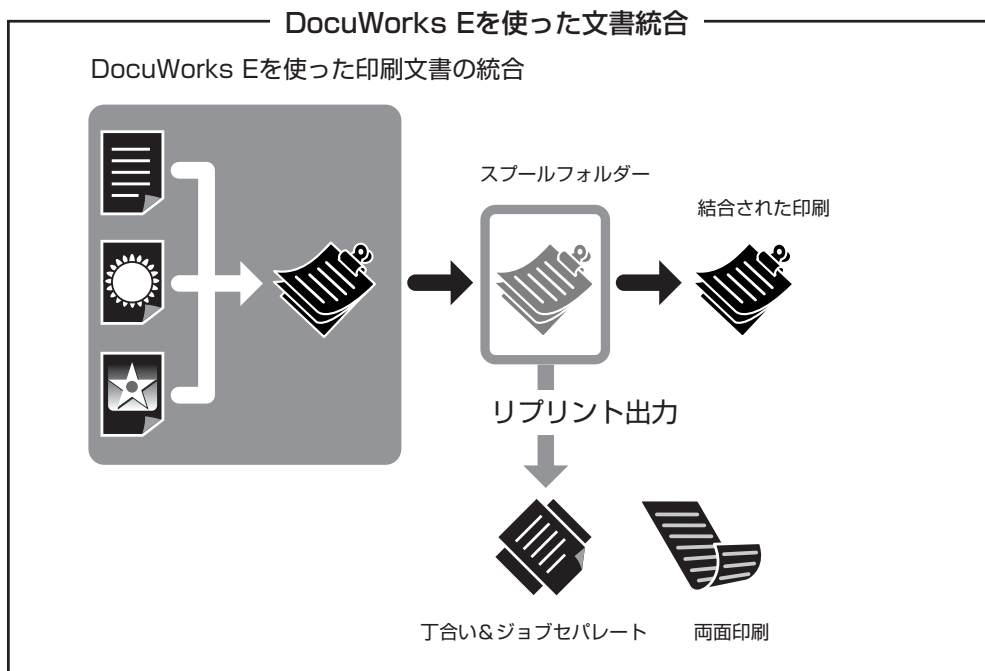
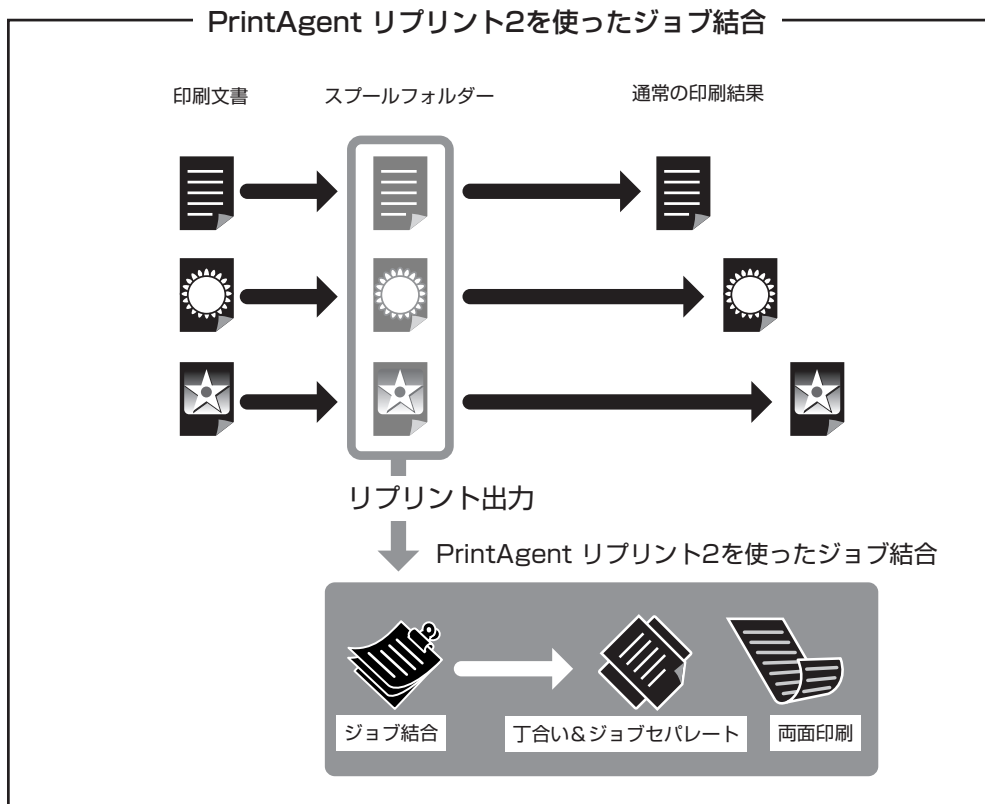
使用条件

PrintAgentおよびPrintAgent リプリント2がインストールされている必要があります。PrintAgent リプリント2はWindows Me/98/95、Windows 2000、Windows NT 4.0で利用でき、PrintAgentをインストールする際に「PrintAgent リプリント2」オプションをチェックしておく必要があります。

文書を結合する

異なる文書を結合するには、次の2つの方法があります。

- 一度印刷した複数の文書を結合する(ジョブ結合)
- 異なるアプリケーションで作成した文書をページ単位に編集して統合する(文書統合)



ジョブ結合

PrintAgentリプリント2で実現する機能です。一度印刷した複数の文書を自由に組み合わせ、選択した順番でひとつのジョブとして再印刷することができます。さらにジョブ結合した文書に対しても丁合い出力やジョブセパレート出力による仕分け印刷ができます。コピー作業のように原稿を並び替える必要はありません。すべてパソコンのデスクトップ上で原稿を並び替えることができ、しかもオリジナルでの出力(MOPYING)が可能です。

設定は[PrintAgent リプリント2]の[ジョブ結合]シートで行います。

丁合い機能選択タブ
ジョブ結合した文書を丁
合いで出力します。

**ジョブセパレート機能選
択タブ*1**
ジョブ結合した文書ごと
に縦置きと横置きで交互
に仕分け出力します。

両面印刷機能選択タブ*2
ジョブ結合した文書ごと
に両面印刷します。

印刷順番変更後ボタン
印刷順を1つ後にし
ます。

印刷順番変更前ボタン
印刷順を1つ前にし
ます。

*1 印刷データがA4サイズでジョブセパレート機能が有効な場合、選択できます。

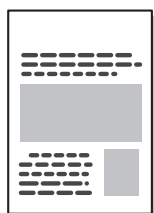
*2 印刷データが定型サイズの普通紙で両面印刷が有効な場合、選択できます。

文書統合(DocuWorks E)

ドキュメント・ハンドリング・ソフトウェア「DocuWorks Ver.3.0E」は文書作りをさらに便利にしま
す。

PrintAgent リプリント2は一度印刷した文書を自由に組み合わせる機能ですが、DocuWorks Eはパ
ソコン上の文書ファイルをページ単位で組み合わせるアプリケーションです。組み合わせる文書はアプ
リケーションの種類を問いません。文書の内容がわかっているれば、いちいちアプリケーションを立ち上
げなくても希望のページを抜き出してページ単位で編集することができます。(DocuWorks Eの詳細
については、添付のプリンターソフトウェアCD-ROMに収録されているDocuWorks Eに添付の「ユー
ーズマニュアル」をご覧ください。)

ワープロ (Word)



グラフ (Excel)

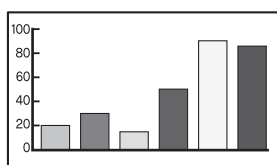


写真 (Photoshop)

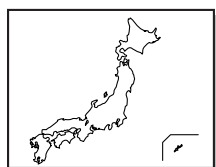
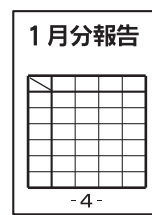
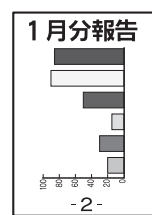
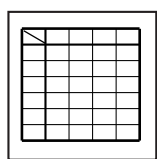


表 (Excel)



仕分け印刷

MultiWriter 2800N/2800/2300Nでは印刷時の仕分け機能として、丁合い機能、ジョブセパレート機能、丁合い印刷を高速にする電子ソート機能があります。複数部数を印刷する場合に、これらの機能を組み合わせて使うことによって簡単に仕分け印刷することができます。ここではそれぞれの機能と、丁合い機能、ジョブセパレート機能、電子ソート機能を組み合わせた場合の便利な使い方について説明します。

重要

これらの機能を使用するにはOSスプールの設定が双方向通信機能をサポートする設定になっていることが必要です。双方向通信を有効に設定していない場合、または双方向通信ができない場合は、部単位ごとの仕分け印刷ができない場合があります。詳しくは、7章の「PrintAgentの機能を十分に発揮させるために」(214ページ)をご覧ください。

丁合い機能

丁合い機能とは、部単位(1ページ・2ページ・3ページ、1ページ・2ページ・3ページ……)に印刷する機能のことです。

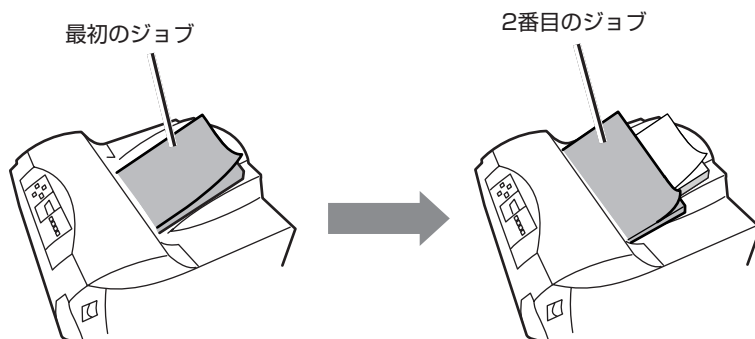
丁合い機能はWindows Me/98/95、Windows 2000、Windows NT 4.0で双方向通信が有効な場合に利用できます。双方向通信については、7章の「PrintAgentの機能を十分に発揮させるために」(214ページ)をご覧ください。

また、Windows NT 3.51や双方向通信が無効な環境の場合には、メモリーを増設して電子ソート機能を有効にすることにより利用できます。(電子ソート機能については173ページをご覧ください。)

ジョブセパレート機能

A4サイズ用紙をお使いの場合、印刷ジョブ(ひとつの文書)ごとに縦置きと横置きで交互に印刷させて、排出される用紙をスタッカー上で仕分ける機能です。ホッパー、MP、あるいは増設ホッパーにA4用紙が縦方向と横方向にセットされている必要があります。ネットワークで共有プリンターとしてご利用の場合などは、他の人のドキュメントと区別されるので自分のドキュメントを簡単に見つけることができ、便利です。

MultiWriter 2800N/2800/2300Nのプリンタードライバーは標準でジョブセパレート機能が有効になっています。



ジョブセパレートを使った仕分け印刷

ジョブセパレートを使った仕分け印刷とは、ジョブセパレート機能と丁合い機能を組み合わせた場合の使い方のことです。ジョブセパレート機能と丁合い機能を組み合わせて使用すると、部単位ごとに印刷するとともに、用紙を縦置き、横置きと交互にスタッカー上に仕分けて排出します。



電子ソート機能

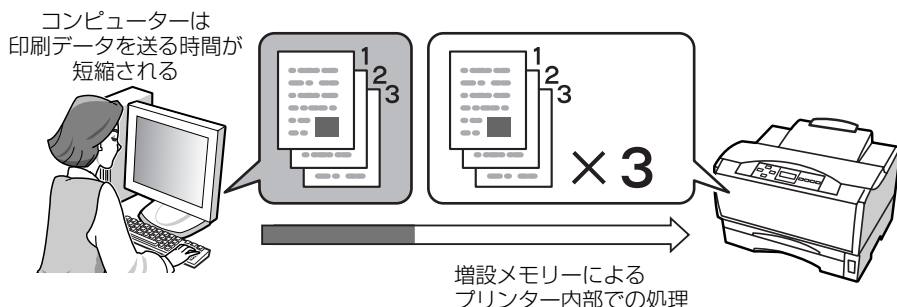
電子ソート機能とは、複数部数を印刷する場合にコンピューターから1部目だけ印刷データを送り、2部目以降はプリンターで印刷データ処理を行う機能*のことです。オプションの増設メモリーをプリンターに取り付けることにより実現できます。(増設メモリーによる印刷保証枚数については315ページを参照してください。)

これにより、コンピューターはプリンターに印刷データを送る時間を短縮することができ、コンピューターの印刷処理を早期に解放できます。また2部目以降はプリンター内で印刷データを高速に処理されて印刷でき、複数部数印刷時の高速化が可能です。また、丁合い機能、ジョブセパレート機能と組み合わせると複数の文書を高速に印刷することができるので、さらに便利です。

* 増設メモリー容量、文書のページ数、解像度、用紙サイズ、両面印刷、ジョブセパレートの設定の条件によっては2部目以降でもデータを送る場合があります。(双方向通信有効時)



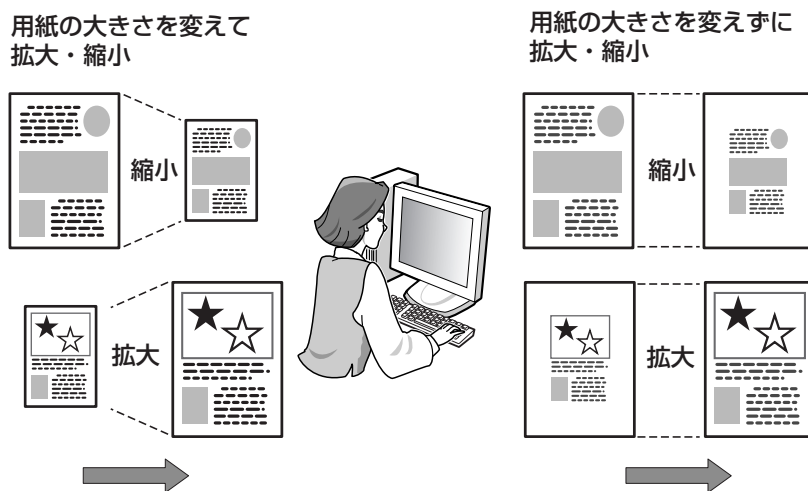
普通の丁合い印刷での印刷データの送り方



電子ソート機能を使った丁合い機能での印刷データの送り方

拡大・縮小印刷

用紙の大きさを変えて拡大・縮小する方法と、用紙の大きさを変えないで拡大・縮小するという方法があります。



用紙の大きさを変えて拡大・縮小

- 出力用紙サイズを指定する 176ページ

Windows Me/98/95、Windows 2000、Windows NT 4.0でご利用できます。

アプリケーションであらかじめ設定されている論理上の用紙サイズに対して、原稿を実際に印刷する出力用紙サイズを設定することにより、印刷データの拡大・縮小を行います。印刷データは出力用紙サイズに合わせて自動的に拡大・縮小されます。

- 拡大・縮小印刷に対応した用紙サイズを指定する 179ページ

Windows Me/98/95、Windows 2000、Windows NT 4.0/NT 3.51、Windows 3.1でご利用できます。

アプリケーションの用紙サイズを拡大・縮小印刷対応用紙サイズ(「A4×2→A4」など)に指定します。この設定はプリンターの機能を利用して印刷を行います。

用紙の大きさを変えないで拡大・縮小

- 拡大・縮小率を指定する 178ページ

Windows Me/98/95、Windows 2000、Windows NT 4.0でご利用できます。

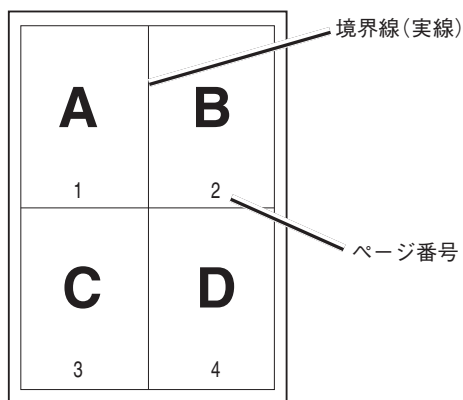
任意の倍率を指定することで、印刷データの拡大・縮小を行います。拡大・縮小率は10%～400%の範囲で設定可能です。

前述の「出力用紙サイズを指定する」と組み合わせると希望の出力用紙に任意の倍率で拡大・縮小して印刷データを出力することができます。

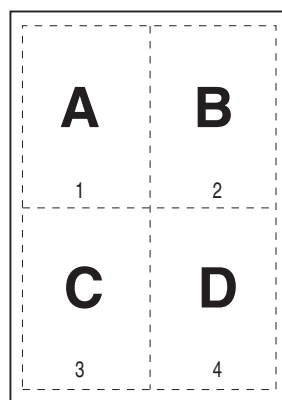
複数ページ印刷

複数ページ印刷では、連続した複数ページの印刷データを1枚の用紙に縮小配置して印刷することができます。さらに境界線や、ページ番号を次のとおり設定することができます。他の印刷機能とも組み合わせることができるのでドラフト印刷、カタログ印刷などに有効な機能です。

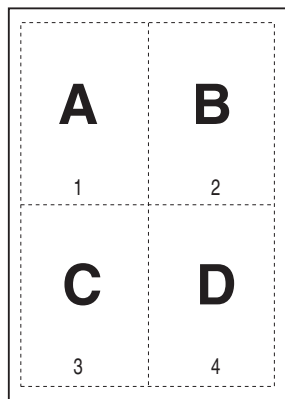
Windows Me/98/95、Windows 2000、Windows NT 4.0でご利用できます。



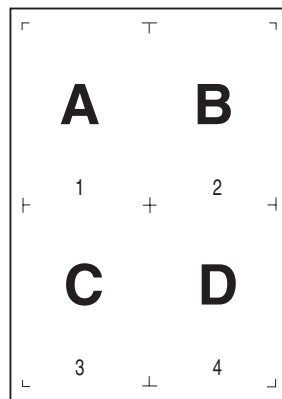
境界線(実線)、ページ番号付加の場合



境界線(破線)、ページ番号付加の場合



境界線(点線)、ページ番号付加の場合



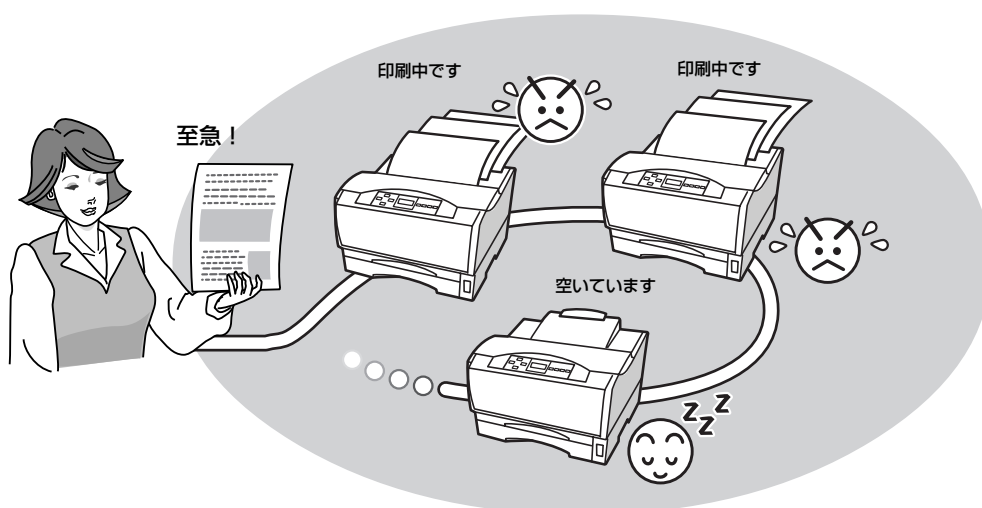
境界線(カットマーク)、ページ番号付加の場合

境界線のイメージ(ページ数“4ページ→1ページ”、配置Zに設定した場合)

プリンターの自動切替

複数のプリンターをグループ化することにより、自動的に空いているプリンターへ出力する機能です。ネットワーク共有プリンターとして設定することにより、ネットワーク内のクライアントも利用することができます。設定方法については、プリンターソフトウェアCD-ROMに収録されているオンラインマニュアル「プリンターソフトウェアの詳細」をご覧ください。

なお、グループプリンタとして設定可能なプリンターはMultiWriter系のプリンターです。付録「グループプリンタ適合表」(316ページ)を参照してください。



使用条件

- プリンター管理者が複数のMultiWriterをグループプリンタとして登録することが必要です。
- Windows Me/98/95、Windows 2000、Windows NT 4.0でご利用できます。
- プリンタードライバのみをインストールしている場合は利用できません。
- グループプリンタに設定するには、管理者向けインストールで「プリンタ自動切替」オプションを選択してインストールする必要があります。
- MultiWriter 2800N/2800/2300Nやグループ可能なMultiWriterをプリントサーバーコンピューター上で複数台接続しているネットワーク環境でのみ利用できます。
- Windows Me/98/95をお使いの場合、プリントサーバーコンピューター上でグループプリンタとして登録できるプリンターは2台までです。

プロパティダイアログボックス

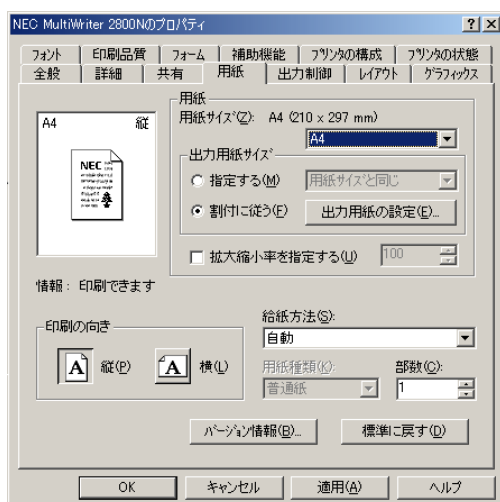
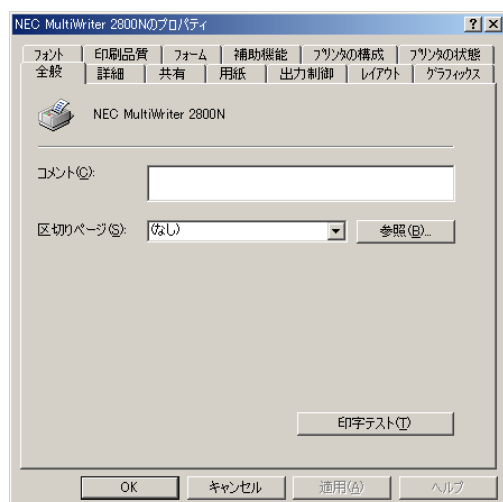
MultiWriter 2800N/2800/2300Nではプロパティダイアログボックスと呼ばれる画面を使って印刷の詳細な設定を行います。ここではプロパティダイアログボックスの概要を各OSに分けて説明します。

Windows Me/98/95の場合

Windows Me/98/95では、印刷の詳細設定はプロパティダイアログボックスで行います。プロパティダイアログボックスを開く方法は次の2通りあり、それぞれ内容が異なります。

- アプリケーションのメニューから開く場合
一般的にダイアログボックスの設定は、そのアプリケーションでのみ有効となります。また用紙の設定の項目などが表示できないことがあります。
- [プリンタ]フォルダーのメニューから開く場合
ダイアログボックスの設定は、すべてのアプリケーションでの基本設定になります。

プロパティダイアログボックスは、次のようなプロパティシートで構成されています。プロパティダイアログボックスの概要をプロパティシートごとに説明します。各項目の詳細は添付のプリンターソフトウェアCD-ROMに収録されているオンラインマニュアル「プリンターソフトウェアの詳細」をご覧ください。



シート	説 明
全般*	このプロパティシートはプリンターに関するコメントなどを設定・表示します。(Windows Me/98/95 日本語版対応のプリンタードライバとして共通のものです。) 通常のご使用时、このシートの設定の変更は必要ありません。詳しくはWindows Me/98/95 日本語版のヘルプをご覧ください。
詳細	このプロパティシートは印刷先のポート、双方向通信機能、および使用するプリンタードライバなどを表示・設定します。(Windows Me/98/95 日本語版対応のプリンタードライバとして共通のものです。) 通常のご使用时、このシートの設定の変更は必要ありません。  チェック PrintAgentを使用する場合は [スプールの設定] の [このプリンタで双方向通信機能をサポートする] が選択されている必要があります。
共有	このプロパティシートはプリンターを共有するときの設定を行います。ネットワークの設定でプリンターを共有できるように設定している場合に 표시됩니다。(Windows Me/98/95 日本語版対応のプリンタードライバとして共通のものです。) 詳しくはWindows Me/98/95 日本語版のヘルプをご覧ください。
用紙	このプロパティシートは用紙に関する以下の設定を行います。 ● 用紙サイズ ● 出力用紙サイズ ● 拡大縮小率 ● 印刷の向き ● 給紙方法 ● 用紙種類 ● 部数
出力制御	このプロパティシートは出力制御に関する以下の設定を行います。 ● 丁合い機能 ● ジョブセパレート機能 ● リプリント機能 ● 用紙サイズエラーを検出する ● プリンタ自動切替機能
レイアウト	このプロパティシートはレイアウトに関する以下の設定を行います。 ● 両面印刷 ● 複数ページ印刷 ● 印刷位置の調整
グラフィックス	このプロパティシートは印刷解像度やグラフィックスデータに対するプリンターの処理の設定を行うものです。以下の設定が可能です。 ● 解像度 ● ディザリング ● 濃度 ● 描画方法 ● ブラシパターン (解像度に合わせて印刷) ● ビットマップ (低解像度で印刷) ● グレイスケール (網点を細かくして印刷)
フォント	このプロパティシートはフォントに関する以下の設定を行います。 ● TrueTypeフォントの置き換え方法 ● 文字を白黒で印刷する/しない ● OCR文字の文字ピッチを固定する/しない ● JIS78コードのプリンタフォントを使用する/しない
印刷品質	このプロパティシートは印刷品質に関する以下の設定を行います。 ● SET機能 ● トナー節約機能 ● 印刷濃度の設定 ● 従来互換の印刷範囲を使用する/しない
フォーム	このプロパティシートはフォーム印刷を利用する場合に、フォーム印刷に関する設定を行います。フォーム印刷は見出し文字や罫線枠などのフォームデータを文書データと重ね合わせて印刷するものです。フォームデータを作成するには別売のアプリケーションが必要です。
補助機能	このプロパティシートは印刷時にプリンターの操作パネルの下段に表示する文字列を設定します。
プリンタの構成	このプロパティシートはプリンターの構成を表示・設定します。プリンターとコンピューターとの間で双方向通信が行われているとき、プリンターに装着されているメモリー、オプション装置が表示されます。双方向通信ができない場合は、それぞれ表示される項目から装着されているものをクリックして選択し、プリンターの構成を設定します。
プリンタの状態	このプロパティシートは現在のプリンターの状態を表示します。双方向通信している場合 [プリンタ情報取得] ボタンを押すと最新の情報を取得することができます。

*お使いのシステムによっては [情報] シートと表示されることがあります。

Windows 2000の場合

Windows 2000では、印刷の詳細設定は以下の2つのダイアログボックスで行います。

- [プリンタのプロパティ]ダイアログボックス 151ページ
- [印刷設定]ダイアログボックス 152ページ

また、プロパティダイアログボックスを開く方法は次の2通りあり、それぞれ内容が異なります。

- **アプリケーションのメニューから開く場合**

一般的にダイアログボックスの設定は、そのアプリケーションでのみ有効となります。また用紙の設定の項目などが表示できないことがあります。アプリケーションから開けるのは[印刷設定]ダイアログボックスだけです。

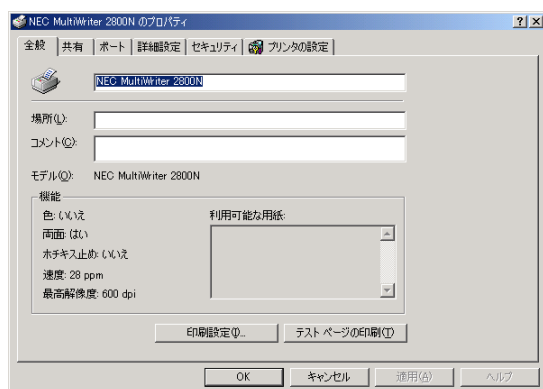
- **[プリンタ]フォルダーのメニューから開く場合**

ダイアログボックスの設定は[印刷設定]、[プリンタのプロパティ]ダイアログボックスともに、すべてのアプリケーションでの基本設定になります。

[プリンタのプロパティ]ダイアログボックス

[プリンタのプロパティ]ダイアログボックスはプリンターのポートや共有などに関する設定を行うものです。次のようなプロパティシートで構成されています。[プリンタのプロパティ]ダイアログボックスの概要をプロパティシートごとに説明します。各項目の詳細は添付のプリンターソフトウェアCD-ROMに収録されているオンラインマニュアル「プリンターソフトウェアの詳細」をご覧ください。

このダイアログボックスはアプリケーションのメニューからは開くことができません。

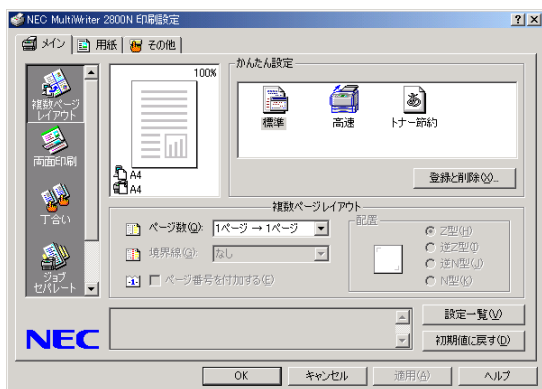


シート	説 明
全般	このプロパティシートはプリンターに関するコメントなどを設定・表示します。 (Windows 2000 日本語版対応のプリンタードライバーク通のものです。) 通常のご使用時、このシートの設定の変更は必要ありません。詳しくはWindows 2000 日本語版のヘルプをご覧ください。
共有	このプロパティシートはプリンターを共有するときの設定を行います。(Windows 2000 日本語版対応のプリンタードライバーク通のものです。) 詳しくはWindows 2000 日本語版のヘルプをご覧ください。
ポート	このプロパティシートは印刷するポートや双方向通信機能の表示・設定をします。(Windows 2000 日本語版対応のプリンタードライバーク通のものです。) 通常のご使用時、このシートの設定の変更は必要ありません。詳しくはWindows 2000 日本語版のヘルプをご覧ください。  チェック PrintAgentを使用する場合は、[双方向サポートを有効にする] がチェックされている必要があります。
詳細設定	このプロパティシートはWindows 2000 日本語版対応のプリンタードライバーク通のものです。 通常のご使用時、このシートの設定の変更は必要ありません。詳しくはWindows 2000 日本語版のヘルプをご覧ください。
セキュリティ	このプロパティシートはWindows 2000 日本語版対応のプリンタードライバーク通のものです。 通常のご使用時、このシートの設定の変更は必要ありません。詳しくはWindows 2000 日本語版のヘルプをご覧ください。
プリンタの設定	このプロパティシートは以下のプリンターの設定・情報の確認を行います。 ● TrueTypeフォントの置き換え・割り付け ● 出力用紙の割り付け ● 従来互換の印刷範囲 ● プリンタの構成 ● 文字セットの選択 ● ハーフトーンセットアップ ● プリンタ情報取得 設定・情報の確認はツリービューで項目を選び、右側のリストボックス、ボタンを使って行います。

[印刷設定] ダイアログボックス

[印刷設定] ダイアログボックスは印刷の詳細な設定を行うものです。次のようなプロパティシートで構成されています。

[印刷設定] ダイアログボックスの概要をプロパティシートごとに説明します。各項目の詳細は添付のプリンターソフトウェアCD-ROMに収録されているオンラインマニュアル「プリンターソフトウェアの詳細」をご覧ください。「かんたん設定」機能の使い方については153ページを参照してください。



シート	説 明
メイン	このプロパティシートはレイアウト、出力制御に関する以下の設定を行います。シート左側の「機能選択」バーから機能項目を選び、シート右下のエリア内で設定を行います。 ● 複数ページレイアウト ● ジョブセパレート ● 両面印刷 ● リプリント ● 丁合い ● かんたん設定
用紙	このプロパティシートは用紙に関する以下の設定を行います。 ● 用紙サイズを選択 ● 出力サイズを選択 ● 出力サイズの割り付け ● 拡大縮小率の指定 ● 印刷の向き ● 給紙方法 ● 用紙種類 ● 部数
その他	このプロパティシートは用紙、レイアウト、出力制御関係以外の設定を行います。シート左側のツリービューから機能項目を選び、シート右側のエリア内で設定を行います。設定できる項目は次の5つのグループにまとめられています。 ● グラフィックス ● 印刷品質 ● フォント ● 拡張機能 ● プリンタ情報取得

「かんたん設定」の使い方

「かんたん設定」はWindows 2000/NT 4.0のプリンタードライバでご利用になれます。[印刷設定]ダイアログボックスおよび[ドキュメントプロパティ]ダイアログボックス内の設定内容をまとめて登録できる機能で、アイコンをクリックすれば登録した設定内容で簡単に印刷することができます。

ここではMultiWriter 2300Nを例にして、「かんたん設定」の登録と削除方法について説明します。詳細については、添付のプリンターソフトウェアCD-ROMに収録されているオンラインマニュアル「プリンターソフトウェアの詳細」をご覧ください。

なお、「かんたん設定」には、あらかじめ5つの機能が設定された[プリンターで登録済みの設定]アイコンがあります。それぞれのアイコンに設定されている内容は以下の表のとおりです。

[プリンターで登録済みの設定]アイコン	設定内容				
	解像度	ブラシパターン	グレースケールの網点	SET機能	トナー節約機能
標準	600dpi	拡大する	細かく	使用する	使用しない
高速	300dpi	拡大する	標準	使用する	使用しない
高画質*	1200dpi	拡大する	標準	使用する	使用しない
トナー節約	600dpi	拡大する	標準	使用する	使用する

* MultiWriter 2300Nのみ対応

ユーザー設定の登録

① 任意のプロパティシートで登録したい設定内容に変更する。

設定内容を確認したい場合は[設定一覧]をクリックして、[設定一覧]ダイアログボックスを表示させます。

② [メイン]シートを開く。

③ 「登録と削除」をクリックする。

[かんたん設定の登録と削除] ダイアログが表示されます。

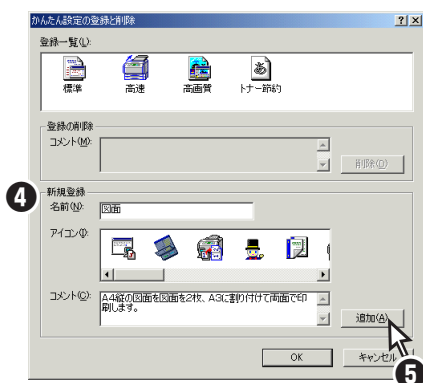


④ 名前を入力し、任意のアイコンを選択します。

名前は必ず入力してください。名前の入力文字は全角/半角に関係なく、15文字までです。

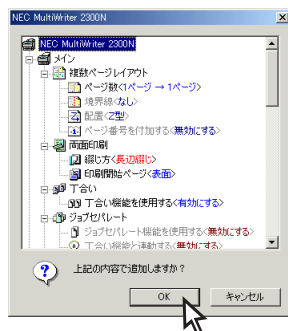
登録する設定の簡単な説明を全角/半角に関係なく、127文字まで[コメント]ボックスに入力することができます。

⑤ [追加]をクリックする。



⑥ 設定内容が表示されるので、確認して[OK]をクリックする。

[印刷設定]ダイアログボックスを開いた後に変更された内容は、赤で表示されています。



7 [登録一覧]リストビューに登録したアイコンが追加されたことを確認し、[OK]をクリックする。

アイコンの表示順は、アイコンを直接ドラッグすることで変更できます。



各シートの右クリックメニューからも[かんたん設定の登録と削除]ダイアログボックス[設定一覧]ダイアログボックスを開くことができます。

ユーザー設定の削除

① [メイン]シートを開く。

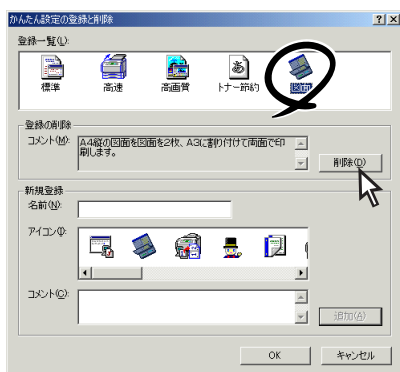
② [登録と削除]をクリックする。

[かんたん設定の登録と削除]ダイアログボックスが表示されます。

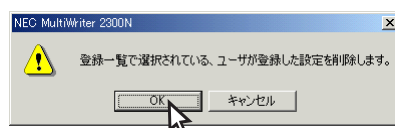
③ 削除したいアイコンを選択し、[削除]をクリックする。

—  チェック —

[プリンターで登録済みの設定]アイコンは削除できません。



④ [OK]をクリックする。



⑤ [登録一覧]リストビューから登録していたアイコンが削除されたことを確認し、[OK]をクリックする。

各シートの右クリックメニューからも[かんたん設定の登録と削除]ダイアログボックス[設定一覧]ダイアログボックスを開くことができます。

Windows NT 4.0の場合

Windows NT 4.0では、印刷の詳細設定は以下の2つのダイアログボックスで行います。

- [デバイスプロパティ]ダイアログボックス 156ページ
- [ドキュメントプロパティ]ダイアログボックス 157ページ

また、プロパティダイアログボックスを開く方法は次の2通りあり、それぞれの内容が異なります。

● アプリケーションのメニューから開く場合

一般的にダイアログボックスの設定は、そのアプリケーションでのみ有効となります。また用紙の設定の項目などが表示できないことがあります。アプリケーションから開けるのは[ドキュメントプロパティ]ダイアログボックスだけです。

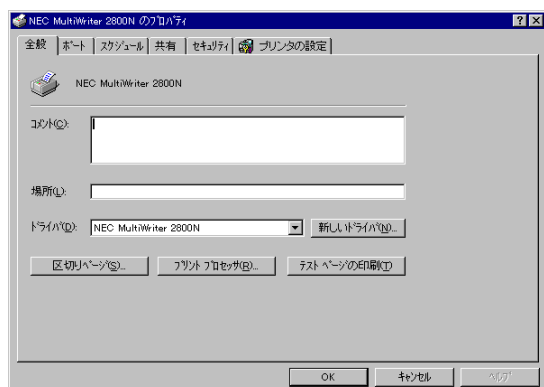
● [プリンタ]フォルダーのメニューから開く場合

ダイアログボックスの設定は[ドキュメントプロパティ]、[デバイスプロパティ]ダイアログボックスともに、すべてのアプリケーションでの基本設定になります。

[デバイスプロパティ]ダイアログボックス

[デバイスプロパティ]ダイアログボックスはプリンターのポートや共有などに関する設定を行うものです。次のようなプロパティシートで構成されています。[デバイスプロパティ]ダイアログボックスの概要をプロパティシートごとに説明します。各項目の詳細は添付のプリンターソフトウェアCD-ROMに収録されているオンラインマニュアル「プリンターソフトウェアの詳細」をご覧ください。

このダイアログボックスはアプリケーションのメニューからは開くことができません。



シート	説明
全般	このプロパティシートはプリンターに関するコメントなどを設定・表示します。 (Windows NT 4.0 日本語版対応のプリンタードライバーク通のものです。) 通常のご使用時、このシートの設定の変更は必要ありません。詳しくはWindows NT 4.0 日本語版のヘルプをご覧ください。
ポート	このプロパティシートは印刷するポートや双方向通信機能の表示・設定をします。(Windows NT 4.0 日本語版対応のプリンタードライバーク通のものです。) 通常のご使用時、このシートの設定の変更は必要ありません。詳しくはWindows NT 4.0 日本語版のヘルプをご覧ください。 ☒ チェック PrintAgentを使用する場合は、[双方向サポートを有効にする]がチェックされている必要があります。
スケジュール	このプロパティシートはWindows NT 4.0 日本語版対応のプリンタードライバーク通のものです。通常のご使用時、このシートの設定の変更は必要ありません。詳しくはWindows NT 4.0 日本語版のヘルプをご覧ください。
共有	このプロパティシートはプリンターを共有するときの設定を行います。(Windows NT 4.0 日本語版対応のプリンタードライバーク通のものです。) 詳しくはWindows NT 4.0 日本語版のヘルプをご覧ください。
セキュリティ	このプロパティシートはWindows NT 4.0 日本語版対応のプリンタードライバーク通のものです。通常のご使用時、このシートの設定の変更は必要ありません。詳しくはWindows NT 4.0 日本語版のヘルプをご覧ください。
プリンタの設定	このプロパティシートは以下のプリンターの設定・情報の確認を行います。 ● TrueTypeフォントの置き換え・割り付け ● 出力用紙の割り付け ● 従来互換の印刷範囲 ● プリンタの構成 ● 文字セットの選択 ● ハーフトーンセットアップ ● プリンタ情報取得 設定・情報の確認はツリービューで項目を選び、右側のリストボックス、ボタンを使って行います。

「ドキュメントプロパティ」ダイアログボックス

「ドキュメントプロパティ」ダイアログボックスは印刷の詳細な設定を行うものです。次のようなプロパティシートで構成されています。

「ドキュメントプロパティ」ダイアログボックスの概要をプロパティシートごとに説明します。各項目の詳細は添付のプリンターソフトウェアCD-ROMに収録されているオンラインマニュアル「プリンターソフトウェアの詳細」をご覧ください。

「かんたん設定」機能の使い方についてはWindows 2000と同じです。153ページを参照してください。



シート	説 明
メイン	このプロパティシートはレイアウト、出力制御に関する以下の設定を行います。シート左側の「機能選択」バーから機能項目を選び、シート右下のエリア内で設定を行います。 ● 複数ページレイアウト ● 両面印刷 ● 丁合い ● ジョブセパレート ● リプリント ● かんたん設定
用紙	このプロパティシートは用紙に関する以下の設定を行います。 ● 用紙サイズの選択 ● 出力サイズの選択 ● 出力サイズの割り付け ● 拡大縮小率の指定 ● 印刷の向き ● 給紙方法 ● 用紙種類 ● 部数
その他	このプロパティシートは用紙、レイアウト、出力制御関係以外の設定を行います。シート左側のツリービューから機能項目を選び、シート右側のエリア内で設定を行います。設定できる項目は次の5つのグループにまとめられています。 ● グラフィックス ● 印刷品質 ● フォント ● 拡張機能 ● プリンタ情報取得

Windows NT 3.51の場合

Windows NT 3.51では以下の2つのプロパティダイアログボックスで行います。

- [デバイスプロパティ]ダイアログボックス 158ページ
- [ドキュメントプロパティ]ダイアログボックス 159ページ

プロパティダイアログボックスを開く方法は次の2通りあり、それぞれ内容が異なります。

- **アプリケーションのメニューから開く場合**
一般的にダイアログボックスの設定は、そのアプリケーションでのみ有効となります。また用紙の設定項目などが表示されないことがあります。アプリケーションから開けるのは印刷の設定を行う[ドキュメントプロパティ]ダイアログボックスのみです。
- **[プリントマネージャ]を使って開く場合**
ダイアログボックスの設定は[ドキュメントプロパティ]、[デバイスプロパティ]ともにすべてのアプリケーションでの基本設定になります。

[デバイスプロパティ]ダイアログボックス

[デバイスプロパティ]ダイアログボックスはプリンターに関する設定を行うものです。次のようなプロパティシートで構成されています。

[デバイスプロパティ]ダイアログボックスの概要をプロパティシートごとに説明します。各項目の詳細は添付のプリンターソフトウェアCD-ROMに収録されているオンラインマニュアル「プリンターソフトウェアの詳細」をご覧ください。このダイアログボックスはアプリケーションのメニューからは表示させることができません。



シート	説 明
プリンタの設定	このプロパティシートはプリンターの以下の設定を行います。 ● TrueTypeフォントの置き換え設定 ● 従来互換の印刷範囲を使用する/しない ● ハーフトーンの設定
プリンタの構成	このプロパティシートはプリンターの構成を表示・設定するものです。それぞれ表示されている項目から装着されているオプションをクリックし、プリンターの構成を設定します。

[ドキュメントプロパティ]ダイアログボックス

[ドキュメントプロパティ]ダイアログボックスは印刷の詳細な設定を行うものです。次のようなプロパティシートで構成されています。

[ドキュメントプロパティ]ダイアログボックスの概要をプロパティシートごとに説明します。各項目の詳細は添付のプリンターソフトウェアCD-ROMに収録されているオンラインマニュアル「プリンターソフトウェアの詳細」をご覧ください。また、各プロパティシート上のそれぞれの項目の上で右クリックすることによりヘルプでも説明されています。



シート	説 明
用紙	このプロパティシートは用紙に関する以下の設定を行います。 ● 用紙サイズ ● 印刷の向き ● 給紙方法 ● 用紙種類 ● 部数
出力制御	このプロパティシートは出力制御に関する以下の設定を行います。 ● 丁合い機能 ● ジョブセパレート機能 ● 用紙サイズエラーを検出する
レイアウト	このプロパティシートはレイアウトに関する以下の設定を行います。 ● 両面印刷 ● 印刷位置の調整
グラフィックス	このプロパティシートは印刷解像度やグラフィックスデータに対するプリンターの処理の設定を行います。以下の設定が可能です。 ● 解像度 ● ブラシパターンを拡大して印刷 ● 印刷データ全体をビットマップで印刷 ● グレイスケール（網点を細かくして印刷） ● ハーフトーンカラーの調整
フォント	このプロパティシートはフォントに関する以下の設定を行います。 ● TrueTypeフォントの置き換え方法 ● 文字を白黒で印刷する/しない ● OCR文字の文字ピッチ固定
印刷品質	このプロパティシートは印刷品質に関する以下の設定を行います。 ● SET機能 ● トナー節約機能 ● 印刷濃度の設定
フォーム	このプロパティシートの設定はフォーム印刷を利用する場合にフォーム印刷に関する設定を行います。フォーム印刷とは見出し文字や罫線枠などのフォームデータを文書データと重ね合わせて印刷することです。フォームデータを作成するには別売のアプリケーションが必要です。
補助機能	このダイアログボックスは印刷時にプリンターの操作パネルの下段に表示する文字列を設定します。

Windows 3.1の場合

Windows 3.1では、次のような[印刷設定]ダイアログボックスで印刷に関する詳細設定を行うことができます。

✓チェック

MultiWriter 2300Nでは解像度1200dpiをサポートしていますが、Windows 3.1をご利用の場合、解像度を1200dpiに設定することはできません。

[印刷設定]ダイアログボックス

NEC MultiWriter 2800N on LPT1:

用紙サイズ(Z) A4

用紙種類(K) 普通紙

給紙方法(S) 自動

解像度(R) 600DPI

部数(C) 1

印刷の向き

☒ 縦(P)

☐ 横(L)

☐ ジョブアトリビュート機能を使用する(J)

☐ 用紙サイズエラーを検出する(E)

[レイアウト]ダイアログボックス

両面印刷

☐ 片面(N)

☒ 両面印刷(L)

印刷開始ページ

☒ 表紙(F)

☐ 裏面(B)

印刷位置

表紙(F)

上から(5.0) 下から(5.0)

裏面(B)

上から(5.0) 下から(5.0)

左から(5.0) 右から(5.0)

右から(5.0) 左から(5.0)

単位(U)

☒ mm

☐ inch

標準に戻す(R)

対称(C)

平行(P)

[グラフィックス]ダイアログボックス

ダイザリング

☐ なし(N)

☒ ハリタン(P)

☐ コントラストを強くする(C)

☐ 誤差拡散法(E)

濃度(D) 100 %

☒ アラビア数字を拡大する(B)

☐ ビットマップを低解像度で印刷する(L)

☒ グレイスケールの網点を細かく印刷する(S)

[オプション]ダイアログボックス

印刷品質

印刷濃度の設定(D) 普通

☐ ドット節約機能を使用する(Q)

☒ SET機能を使用する(E)

☐ 従来互換の印刷範囲を使用する(W)

フォント

☐ 文字を白黒で印刷する(B)

☐ OCR文字の文字ピッチを固定する(P)

フォント置換設定(I)...

フォーム印刷

☐ フォーム印刷を行う(M)

フォーム設定(J)...

☐ フォームデータを先に印刷する(F)

[補助機能]ダイアログボックス

操作パネル表示

☒ なし(N)

☐ ユーザー名(U)

☐ 指定文字列(S)

表示文字列(M)

OK

キャンセル

ヘルプ(H)

[フォント置換設定]ダイアログボックス

FontAvenue

☒ 明朝体-Lをアリナフォントで印刷(M)

☒ ゴシック体-Mをアリナフォントで印刷(S)

TrueType

☐ 一番近いアリナフォントで印刷(J)

☒ 置換表を使用して印刷(C)

置換表の設定(S)...

OK

キャンセル

ヘルプ(H)

[フォーム設定]ダイアログボックス

デバイスID: (未設定)

フォームファイル(F)

コメント

エラー表示

☒ エラー表示を行う(E)

フォーム選択(S)...

OK

キャンセル

ヘルプ(H)

[印刷設定]ダイアログボックスを開く方法は次の2通りあり、それぞれの内容は異なります。

● アプリケーションのメニューから開く場合

一般的にダイアログボックスの設定は、そのアプリケーションでのみ有効となります。

● [コントロールパネル]を使って開く場合

ダイアログボックスの設定は、すべてのアプリケーションでの基本設定になります。

ダイアログボックス	説 明
印刷設定	このダイアログボックスは用紙や印刷品質に関する設定を行います。 さらにグラフィックやフォントなど詳細な設定を行いたい場合は [オプション] ボタンをクリックすると表示する [オプション] ダイアログボックスから設定することができます。 ● 用紙サイズ ● 用紙種類 ● 給紙方法 ● 解像度 ● 部数 ● 印刷の向き ● ジョブセパレート機能 ● 用紙サイズエラーを検出する
オプション	このダイアログボックスは印刷品質、フォント、およびフォーム印刷に関する設定を行います。 ● 印刷品質の設定 ● フォントの設定 ● フォーム印刷の設定 ● [レイアウト] ダイアログボックスの起動 ● [グラフィックス] ダイアログボックスの起動 ● [補助機能] ダイアログボックスの起動
レイアウト	このダイアログボックスは両面印刷機能および印刷位置調整機能に関する設定を行います。
フォント置換設定	このダイアログボックスはFontAvenueフォント、TrueTypeフォントをプリンターフォントに置き換えて印刷する設定を行います。
グラフィックス	このダイアログボックスは印刷解像度やグラフィックスデータに対するプリンターの処理の設定を行います。 ● デザリング ● 濃度 ● ブラシパターン（解像度に合わせて印刷） ● ビットマップ（低解像度の印刷） ● グレイスケール（網点を細かくして印刷）
フォーム設定	このダイアログボックスはフォーム印刷を利用する場合にフォーム印刷に関する設定を行います。フォーム印刷とは見出し文字や罫線枠などのフォームデータを文書データと重ね合わせて印刷することです。フォームデータを作成するには別売のアプリケーションが必要です。
補助機能	このダイアログボックスは印刷時にプリンターの操作パネルの下段に表示する文字列を設定します。

設定方法

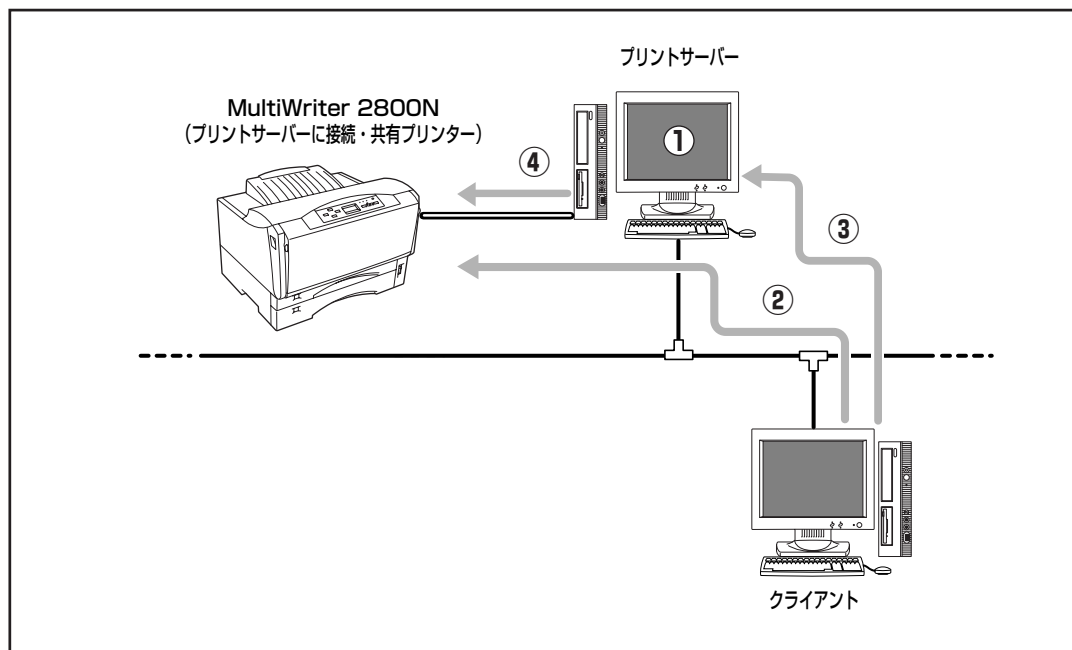
ここでは、134ページで紹介した機能の設定方法について説明します。なお、ネットワークでMultiWriterを管理する機能の設定方法については、添付のプリンターソフトウェアCD-ROMに収録されているオンラインマニュアル「プリンターソフトウェアの詳細」をご覧ください。



リプリント機能

Windows Me/98/95、Windows 2000、Windows NT 4.0で動作しているコンピュータで利用できます。リプリント機能を使うには次のステップが必要です。

- Step 1 リプリント機能を設定する(リプリント機能の提供)
- Step 2 印刷する(リプリント用ファイルのスプール)
- Step 3 リプリントしたい文書を選ぶ(スプールファイルの選択)
- Step 4 リプリントする(スプールファイルの出力)



MultiWriter 2800Nの場合*

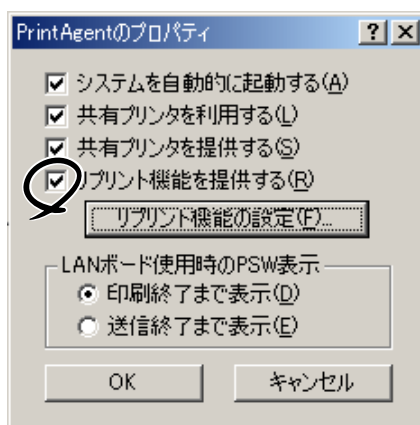
* このイラストはクライアントからリプリントを実行する場合のステップを説明したものです。

Step 1 リプリント機能を設定する

ローカル接続されているコンピューターまたはプリントサーバーの「PrintAgent」ツールバーの設定ボタンメニューからPrintAgentのプロパティを開くか、あるいはPrintAgentのシステムメニューからPrintAgentのプロパティを開き、[リプリント機能を提供する]をチェックする。

重要

プリントサーバーがWindows 2000/NT 4.0の場合、Administratorsの権限がないと、この設定はできません。



[リプリント機能を提供する]

リプリントを行う場合には、本項目をチェックしておきます。チェックすると、一度印刷したデータをコンピューター上でプライベートスプールします。プライベートスプールするときの設定を行うには[リプリント機能の設定]ボタンをクリックします。プライベートスプールとは、リプリントを行うためにPrintAgentがドキュメントを保有することです。プリントサーバーのハードディスクに印刷ドキュメントが保存されます。

[リプリント機能の設定]ボタン

このボタンをクリックすると、下図に示すダイアログボックスが表示されます。このダイアログボックスでリプリント機能に関する詳細な設定を行います。



*1 ここで設定した値のうちのいずれかを超えると、すでにスプールしているドキュメントの中から最も古いファイルの順に消去されます。

*2 空き容量が不足した場合など、このボタンからスプール先のフォルダーを変更できます。ネットワークで接続されたフォルダーやリムーバブルディスクはスプールするフォルダーとして指定できません。

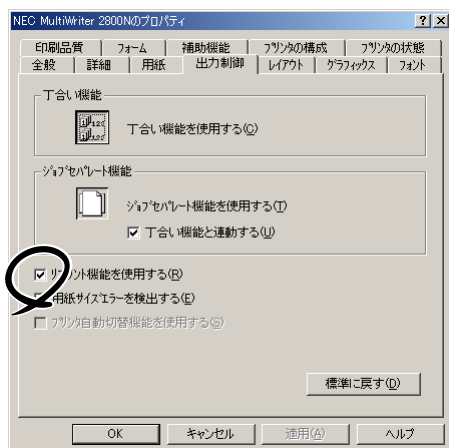
Step 2 印刷する

- 1 リプリント機能を利用するプリンターのプロパティダイアログボックスを開き、[リプリント機能を使用する]をチェックする。

リプリント機能は標準で有効になっています。

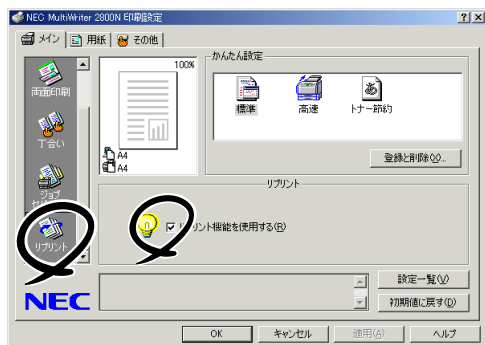
<Windows Me/98/95の場合>

プリンターのプロパティの[出力制御]シート



<Windows 2000/NT 4.0の場合>

[印刷設定]ダイアログボックスの[メイン]シートの[機能選択]バーで[リプリント]ボタンを選択



- 2 アプリケーションでドキュメントを印刷する。

Step 3 リプリントしたい文書を選ぶ

- 1 「PrintAgent」ツールバーの[再印刷]ボタンをクリックする。



- 2 [標準]シートを開く。
- 3 [PrintAgent リプリント2]でリプリントしたいドキュメントを選ぶ。

—✓チェック—

標準ではリプリントできるドキュメント数は「10」に設定されています。変更するときは163ページを参照してください。



Step 4 リプリントする

再印刷するドキュメントの印刷部数、丁合、ジョブセパレート、両面印刷を設定して印刷する。

次ページの「リプリント機能を使用するときの注意事項」を参考にして設定してください。



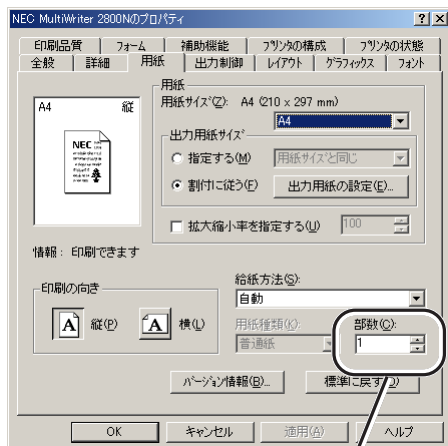
リプリント機能を使用するときの注意事項

リプリント機能を利用するにあたっては、以下の内容を参考にしてください。

- リプリントされるページは、最初に印刷したときのプロパティダイアログボックスの設定をそのまま使って印刷されます。

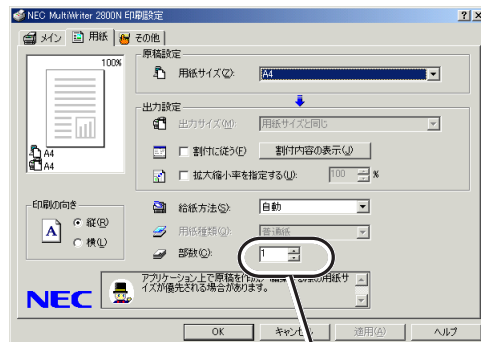
たとえば給紙方法や縮小・拡大率の設定、印刷位置の調整などはそのままの設定で印刷されます。ただし部数、丁合い、ジョブセパレータの設定は初期化されますので、リプリントするときに再設定することになります。

<Windows Me/98/95の場合>



リプリント出力時はクリアされます。リプリントするごとに部数を指定する必要があります。

<Windows 2000/NT 4.0の場合>



リプリント出力時はクリアされます。リプリントするごとに部数を指定する必要があります。

- リプリント機能で印刷できるページはアプリケーションで実際に印刷したページのみです。

たとえば10ページある文書の中から下の[印刷]ダイアログボックスのように2～3ページを印刷した場合、1ページと4～10ページをリプリントすることはできません。

<Windows Me/98/95/NT 4.0の場合>



リプリントに有効なページは2～3ページです。

<Windows 2000の場合>

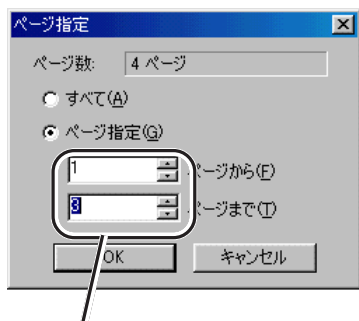


リプリントに有効なページは2～3ページです。

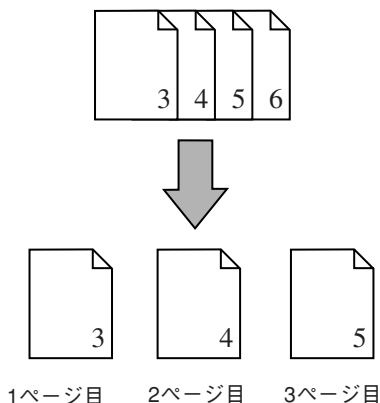
- リプリント機能で印刷するページを指定する場合、最初にアプリケーションで印刷したときの開始ページが「1ページ目」として設定されます。

たとえばアプリケーションで文書の3～6ページを印刷して、リプリント機能で3ページのみを印刷するときのページ指定は「1」です。また、4、5ページを印刷するときの開始ページは「2」、終了ページは「3」です。

PrintAgent リプリント2の場合

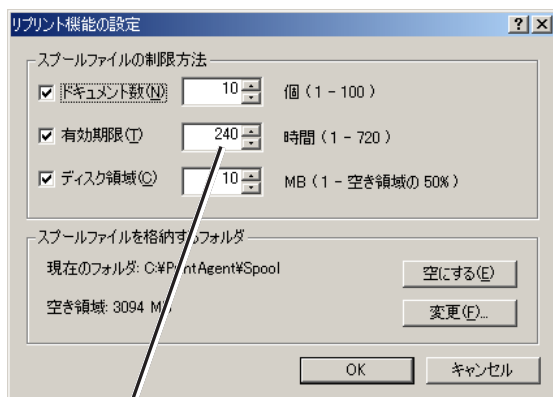


リプリント機能での印刷：[1]ページから[3]ページまで



- サーバー／クライアント環境での印刷ファイルはプリントサーバーにスプールされます。

スプールされたファイルは[リプリント機能の設定]ダイアログボックスで設定された制限に従って古いものから消去されます。



スプールファイルの有効期限



ここではジョブ結合の設定方法について説明します。

ジョブ結合

ジョブ結合の使い方はPrintAgent リプリント2でリプリントする場合と最初の手順は同じです。

① PrintAgentでリプリント機能の設定をする。

PrintAgentリプリント2を使用するために、PrintAgentのプロパティでリプリント機能の設定をします。(詳細は163ページ)

② アプリケーションから印刷する。

リプリント機能を使用する設定でアプリケーションからドキュメントを印刷します。(詳細は164ページ)

③ 「PrintAgent」ツールバーの[再印刷]ボタンをクリックする。

PrintAgent リプリント2が起動します。



④ ジョブ結合シートを開く。

⑤ ジョブ結合したいドキュメントを選択する。

チェックした順に印刷順が指定されます。印刷順を変えたい場合は[前へ]ボタンまたは[後へ]ボタンを押して変更してください。

⑥ 必要に応じて丁合い、ジョブセパレート機能、両面印刷機能を選択して、印刷仕上がりを設定する。

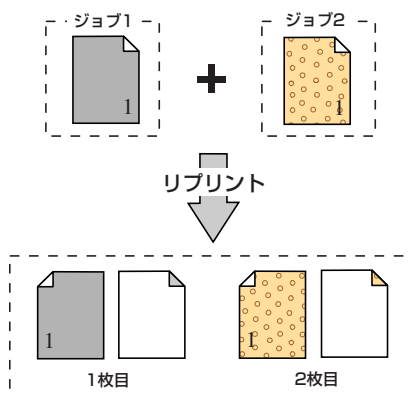
⑦ 再印刷するドキュメントの印刷部数を設定し[スタート]ボタンをクリックする。



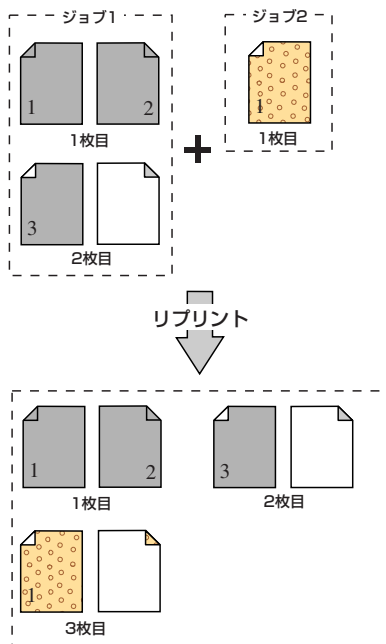
ジョブ結合における両面印刷の注意事項

PrintAgent リプリント2のジョブ結合で両面印刷を利用するにあたっては、以下の内容を参考にしてください。

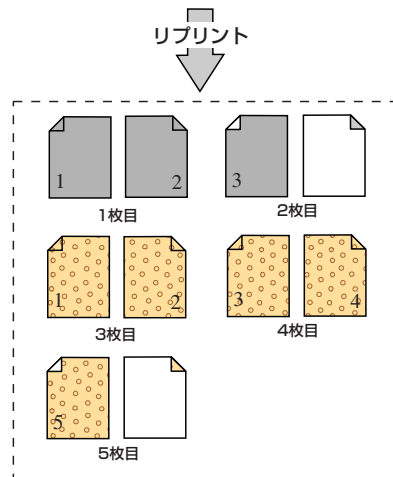
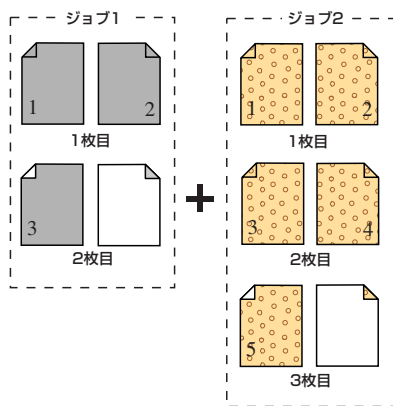
- プリンタードライバーで片面に印刷設定されたドキュメントジョブを結合し、両面印刷設定をして印刷したときは、次のように印刷されます。



ジョブ1が1ページ(片面)、
ジョブ2が1ページ(片面)の場合

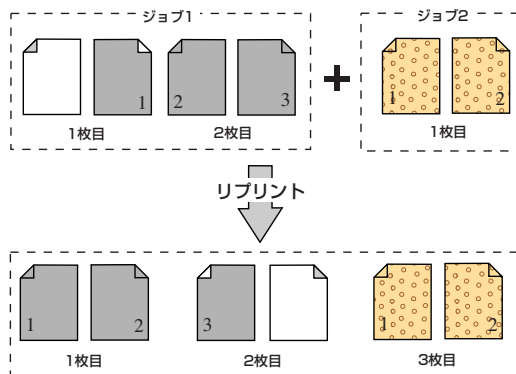


ジョブ1が3ページ(両面)、
ジョブ2が1ページ(片面)の場合



ジョブ1が3ページ(両面)、
ジョブ2が5ページ(両面)の場合

- プリンタードライバーで裏面から印刷した両面のドキュメントジョブを結合し、両面設定をして印刷した場合は、次のように印刷されます。



開始ページを裏面からにして両面印刷したい場合は、「変更しない」を選択してください。



以下の3つの機能の設定方法について説明します。

- ジョブセパレート機能 169ページ
- 丁合い機能 171ページ
- 電子ソート機能 173ページ

それぞれの機能を組み合わせて仕分け印刷を行う場合、各機能の設定をよくお読みになり、組み合わせた機能をそれぞれ設定した後に印刷を行ってください。

ジョブセパレート機能

ジョブセパレート機能はWindows Me/98/95、Windows 2000、Windows NT 4.0/3.51、Windows 3.1が動作しているコンピューターで利用できます。



チェック

- ジョブセパレート機能は、A4用紙を縦置き、横置きに2か所以上セットしたときに機能します。A4用紙サイズ以外の用紙サイズでは機能しません。
- MPにA4用紙をセットした場合は、プリンターの操作パネルでメニューモードの用紙種類を[普通紙]に設定してください。設定されていないと、ジョブセパレート機能は動作しません。
- ネットワーク環境で複数のクライアントが1台のプリンターを共有して使用している場合にジョブセパレート機能を実現するためには、すべてのクライアントにおいて、[ジョブセパレート機能を使用する]および[給紙方法]の項目が[自動]に設定されている必要があります。
- プリンターと双方向通信が無効な場合、ジョブセパレートを使った仕分け印刷ができない場合があります。7章の「PrintAgentの機能を十分に発揮させるために」(214ページ)を参照して、双方向通信を有効にしてください。

- ① ホッパー、MP、あるいは増設ホッパーにA4用紙を縦置き、横置きにそれぞれセットする。



チェック

- A4用紙をセットする場合は用紙のセット方向(縦置き、横置き)を用紙サイズ設定ダイヤルで確認してください。
- プリンターの操作パネル表示が「ホッパ」もしくは「MP」になっていることを確認してください。

- ② プリンタードライバーのプロパティダイアログボックスの[用紙]シートを開く。

- ③ 給紙方法が[自動]になっていることを確認する。

<Windows Me/98/95/NT 3.51の場合>

- Windows Me/98/95は[プロパティ]ダイアログボックスの[用紙]シートで確認します。
- Windows NT 3.51*は[ドキュメントプロパティ]ダイアログボックスの[用紙]シートで確認します。



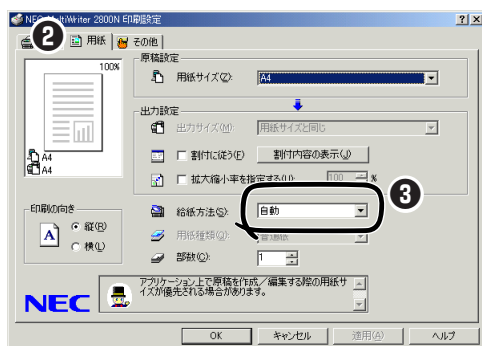
* Windows NT 3.51の画面表示内容は、上記とは多少異なります。以下同様です。

✓チェック

MPを使用してジョブセパレート機能を行う場合は、[出力制御]シートの[用紙サイズエラーを検出する]がチェックされている必要があります。

<Windows 2000/NT 4.0の場合>

- Windows 2000は[印刷設定]ダイアログボックスの[用紙]シートで確認します。
- Windows NT 4.0は[ドキュメントプロパティ]ダイアログボックスの[用紙]シートで確認します。



✓チェック

MPを使用してジョブセパレート機能を行う場合は、[その他]シートの[用紙サイズエラー]を[検出する]に設定されている必要があります。

<Windows 3.1の場合>

[印刷設定]ダイアログボックスで確認します。

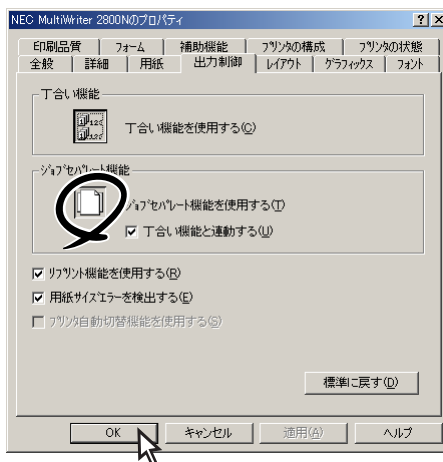
✓チェック

MPを使用してジョブセパレート機能を行う場合は、[印刷設定]ダイアログボックスの[用紙サイズエラーを検出する]がチェックされている必要があります。

4 ジョブセパレート機能を有効にする。

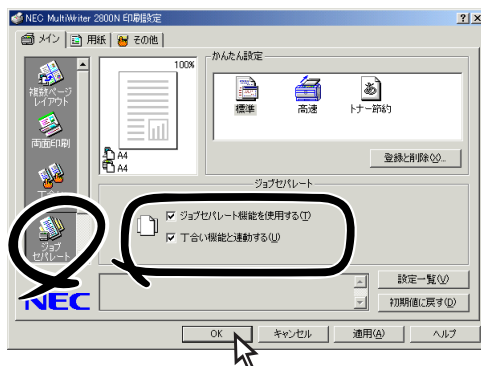
<Windows Me/98/95/NT 3.51の場合>

- Windows Me/98/95は[プロパティ]ダイアログボックスの[出力制御]シートを開き、ジョブセパレート機能の[ジョブセパレート機能を使用する]ボタンをクリックします。
- Windows NT 3.51は[ドキュメントプロパティ]ダイアログボックスの[出力制御]シートを開き、ジョブセパレート機能の[ジョブセパレート機能を使用する]ボタンをクリックします。



<Windows 2000/NT 4.0の場合>

- Windows 2000は[印刷設定]ダイアログボックス、Windows NT 4.0は[ドキュメントプロパティ]ダイアログボックスの[メイン]シートを開き、左側の[機能選択]バーから[ジョブセパレート]ボタンを選択します。
- [ジョブセパレート]の[ジョブセパレート機能を使用する]をチェックします。



<Windows 3.1の場合>

[印刷設定]ダイアログボックスを開き、[ジョブセパレート機能を使用する]をチェックします。

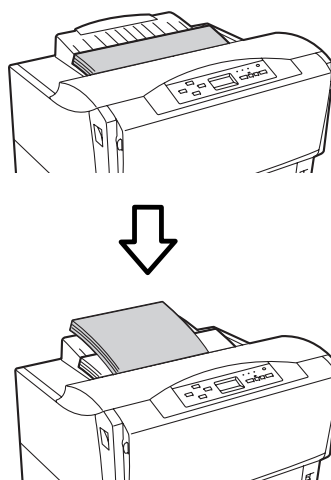
5 [印刷]ダイアログボックスで印刷範囲を指定して[OK]をクリックする。

印刷が始まり、給紙設定されている(プリンターのディスプレイに表示されている)給紙部から給紙され、スタッカー上に排出されます。

丁合いや印刷部数はプリンタードライバーのプロパティダイアログボックスで設定してください。

6 次の文書の印刷部数を指定して印刷する。

前に印刷された用紙の置き方と別の向きにセットされている給紙部から給紙され、スタッカー上に排出されます。



丁合い機能

丁合い機能とは、部単位(1ページ・2ページ・3ページ、1ページ・2ページ・3ページ……)に印刷する機能のことです。

丁合い機能はWindows Me/98/95、Windows 2000、Windows NT 4.0で双方向通信が有効な場合に利用できます。双方向通信については、7章の「PrintAgentの機能を十分に発揮させるために」(214ページ)をご覧ください。

また、Windows NT 3.51や双方向通信が無効な環境の場合には、メモリーを増設して電子ソート機能を有効にすることにより利用できます。(電子ソート機能については173ページをご覧ください。)

— チェック —

丁合い機能の設定はプロパティダイアログボックスで行ってください。アプリケーションによっては、印刷機能で丁合い*、部数の指定ができるものがありますが、これらの機能を使って丁合いを指定しても正しく機能しない場合があります。この機能を利用する場合はアプリケーションで丁合い、部数の指定をしないでください。

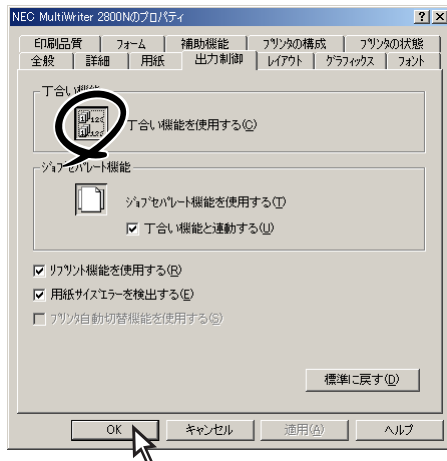
またアプリケーションによってはアプリケーションで設定した部数が優先される場合があります。その場合はアプリケーションで設定を行ってください。

* アプリケーションによっては、「部単位で印刷」という表示になっている場合があります。

- ① プリンタードライバーのプロパティダイアログボックスを開き、丁合い機能を有効にする。

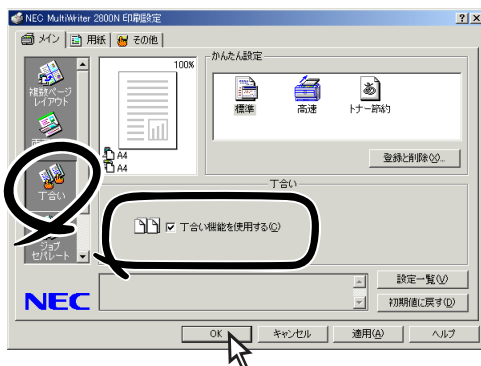
<Windows Me/98/95/NT 3.51の場合>

- Windows Me/98/95は[プロパティ]ダイアログボックスの[出力制御]シートを開き、[丁合い機能を使用する]ボタンをクリックします。
- Windows NT 3.51は[ドキュメントプロパティ]ダイアログボックスの[出力制御]シートを開き、[丁合い機能を使用する]ボタンをクリックします。



<Windows 2000/NT 4.0の場合>

- ① Windows 2000は[印刷設定]ダイアログボックス、Windows NT 4.0は[ドキュメントプロパティ]ダイアログボックスの[メイン]シートを開き、左側の[機能選択]バーから[丁合い]ボタンを選択します。
- ② [丁合い]の[丁合い機能を使用する]をチェックします。



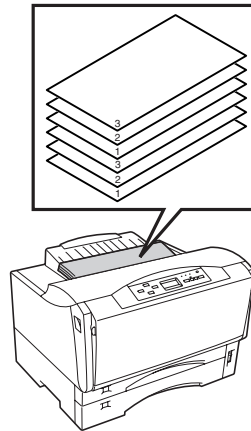
[丁合い機能と連動する]ボタンについて

[ジョブセパレート機能]で[丁合い機能と連動する]をチェックしておくで[丁合い機能を使用する]ボタンと[ジョブセパレート機能を使用する]ボタンが連動してON/OFFできるようになります。

- ② [印刷]ダイアログボックスで印刷範囲を指定して[OK]をクリックする。

部単位(1ページ・2ページ・3ページ、1ページ・2ページ・3ページ……)に仕分けされながらスタッカー上に排出されます。

丁合いや印刷部数はプリンタードライバーのプロパティダイアログボックスで設定してください。



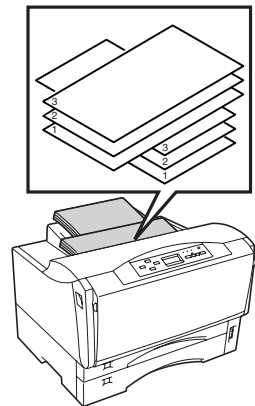
ジョブセパレート機能と丁合い機能を組み合わせた使い方

ジョブセパレート機能と丁合い機能を組み合わせて使うと、部単位ごとに用紙が縦置き、横置きに仕分けされながらスタッカー上に排出されます。

ジョブセパレート機能と丁合い機能は標準で有効になっています。

ジョブセパレート機能と丁合い機能を組み合わせて使う場合、丁合い機能の設定と170ページの「ジョブセパレート機能」手順①～④の設定をしてから印刷を行ってください。

アプリケーションの印刷機能で「丁合い」もしくは「部単位で印刷」の指定ができる場合がありますが、アプリケーションの丁合い機能は使用せずにプリンターのプロパティで丁合い機能を有効にしてください。



電子ソート機能

電子ソート機能とは、複数部数の印刷を行う場合、コンピューターから1部目だけ印刷データを送り、2部目以降はプリンター内部で印刷処理を行う機能*のことです。オプションの増設メモリーをプリンターに取り付けることにより実現できます。(増設メモリーの取り付け方は257ページを参照してください)。

* 増設メモリー容量、文書のページ数、解像度、用紙サイズ、両面印刷、ジョブセパレートの設定の条件によっては2部目以降でもデータを送る場合があります。

重要

MultiWriter 2800N/2800/2300Nを双方向通信が無効な環境でお使いの場合には、プリンター本体に装備したメモリー容量をプリンタードライバーで設定する必要があります。次の手順に従って、メモリー容量を設定してください。ただし、双方向通信が有効な環境ではPrintAgentの機能により自動的に設定されます。

電子ソート機能はWindows Me/98/95、Windows 2000、Windows NT 4.0/NT 3.51で動作しているコンピューターで利用できます。

また、増設メモリーによる印刷保証枚数については、「電子ソート機能有効時の印刷保証枚数表」(315ページ)を参照してください。

チェック

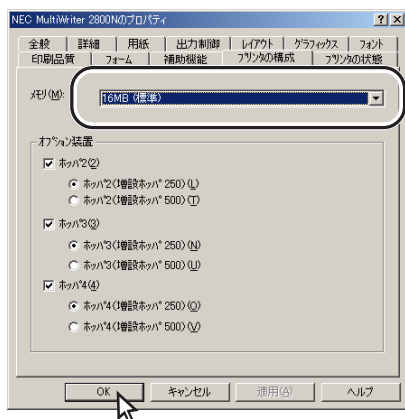
- 電子ソート機能を有効にするためには、プリンターに64MB以上のメモリーを増設してください。
- MultiWriter 2300Nをお使いの場合で、解像度を1200dpiに設定して電子ソート機能を利用した印刷を行うためには、256MBのメモリーを増設する必要があります。

プリンタードライバーでの増設メモリーの設定方法

双方向通信が無効な環境の場合、以下のダイアログボックスの[プリンタの構成]シートを開き、[メモリー]を増設したメモリーの構成に合わせます。

<Windows Me/98/95/NT 3.51の場合>

- Windows Me/98/95は[プロパティ]ダイアログボックスの[プリンタの構成]シート
- Windows NT 3.51は[デバイスプロパティ]ダイアログボックスの[プリンタの構成]シート



<Windows 2000/NT 4.0の場合>

- Windows 2000は[プリンタのプロパティ]ダイアログボックスの[プリンタの設定]シート
- Windows NT 4.0は[デバイスプロパティ]ダイアログボックスの[プリンタの設定]シート





両面印刷はA3、B4、A4、B5、A5、レターサイズの普通紙を選択しているときに可能です。(用紙に関しては、付録の「用紙の規格」の両面印刷時をご覧ください。)

両面印刷の設定はWindows Me/98/95、Windows 2000、Windows NT 4.0/3.51、Windows 3.1で動作しているコンピューターで利用できます。ただし、メモリー、解像度、用紙の条件によっては印刷できない場合があります。

重要

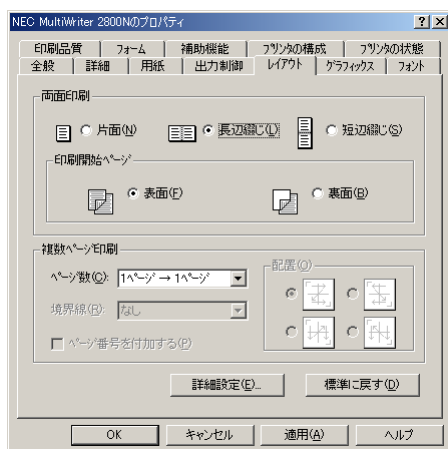
指定以外の用紙を使わないでください。また、両面印刷をする際は両面とも印刷されていない用紙をお使いください。指定以外の用紙や、すでに印刷されている用紙をセットして両面印刷をすると紙づまりやプリンターの故障の原因となります。

1 両面印刷を有効に設定する。

<Windows Me/98/95/NT 3.51の場合>

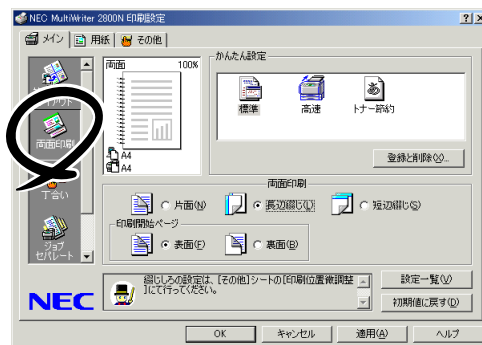
- Windows Me/98/95は[プロパティ]ダイアログボックスの[レイアウト]シートを開き、[両面印刷]で[長辺綴じ]または[短辺綴じ]のいずれかを選びます。
- Windows NT 3.51*は[ドキュメントプロパティ]ダイアログボックスの[レイアウト]シートを開き、[両面印刷]で[長辺綴じ]または[短辺綴じ]のいずれかを選びます。

* Windows NT 3.51の画面表示内容は、下記とは多少異なります。



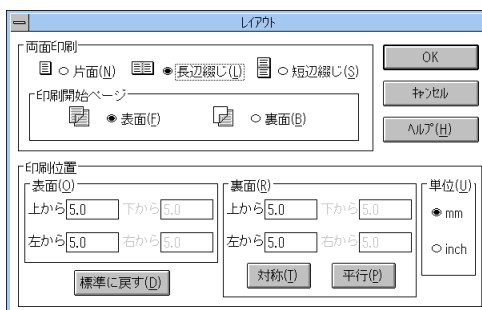
<Windows 2000/NT 4.0の場合>

- Windows 2000は[印刷設定]ダイアログボックス、Windows NT 4.0は[ドキュメントプロパティ]ダイアログボックスの[メイン]シートを開き、左側の[機能選択]バーから[両面印刷]ボタンを選択します。
- [両面印刷]で[長辺綴じ]または[短辺綴じ]のいずれかを選びます。



<Windows 3.1の場合>

[レイアウト]ダイアログボックスの[両面印刷]で[長辺綴じ]または[短辺綴じ]のいずれかを選びます。



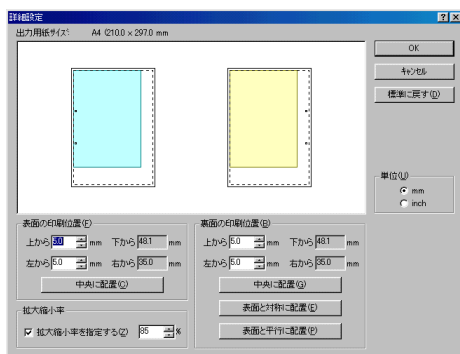
2 印刷開始ページを設定する。

3 必要に応じて、綴じしろの位置、印刷位置を設定する。

<Windows Me/98/95/NT 3.51の場合>

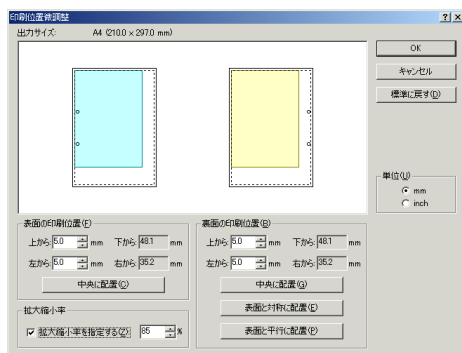
[レイアウト]シートの[詳細設定]ダイアログボックスで設定します。

* Windows NT 3.51の画面表示内容は、下記とは多少異なります。



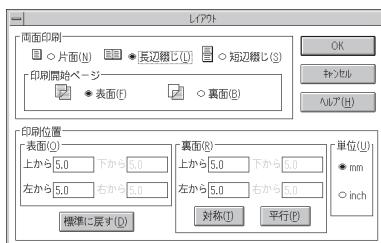
<Windows 2000/NT 4.0の場合>

[その他]シートの[拡張機能]ツリーメニューの[印刷位置微調整]ダイアログボックス



<Windows 3.1の場合>

[レイアウト]ダイアログボックス



4 [印刷]ダイアログボックスで印刷範囲を指定して[OK]をクリックする。

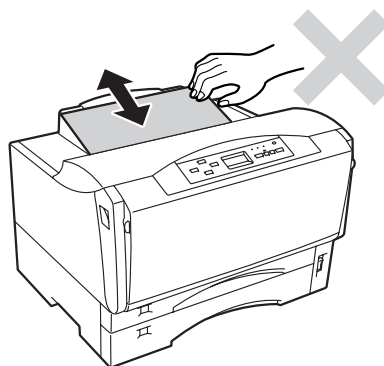
プリンターの両面ランプが点灯して両面印刷を始めます。

丁合いや印刷部数はプリンタードライバーのプロパティダイアログボックスで設定してください。

重要

両面印刷中のプリンターの動作について

両面印刷中は、片面印刷を終了した用紙が、いったんスタッカー上に現れますが、再びプリンター内部に吸い込まれていきます。これは用紙を反転させるための動作です。片面印刷終了後にスタッカー上に現れた用紙を引き抜いたり、さわったりしないでください。印刷範囲がずれたり、正しく印刷できなくなるばかりでなく、紙づまりやプリンターの故障の原因となることがあります。





出力用紙サイズを指定する



Windows NT 3.51/3.1では出力用紙サイズを指定する拡大・縮小印刷の機能は利用できません。

① [プロパティ]ダイアログボックスの[用紙]シートを開く。

Windows 2000は[印刷設定]ダイアログボックス、NT 4.0は[ドキュメントプロパティ]ダイアログボックスの[用紙]シートを開きます。

② [用紙サイズ]ボックスからアプリケーションで設定した用紙サイズを選択する。

ユーザ定義を選択した場合の設定は「定形外用紙サイズの設定」(183ページ)を参照してください。

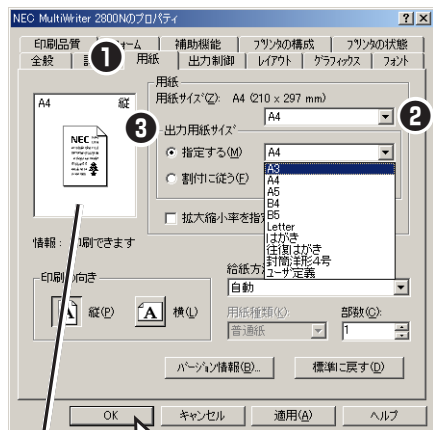
③ [出力用紙サイズ]に任意の出力用紙サイズを設定する。

出力用紙サイズの設定方法には次の2通りがあります。

- サポートするすべての用紙サイズに対して、共通の出力用紙サイズを割り付ける場合→③-(a)
- すでに設定してある用紙割り付けに従って出力用紙サイズを設定する場合→③-(b)

③-(a) <Windows Me/98/95の場合>

[出力用紙サイズ]で[指定する]を選び、[出力用紙サイズ]ボックスから任意の出力用紙サイズを選択します。手順⑥に進んでください。

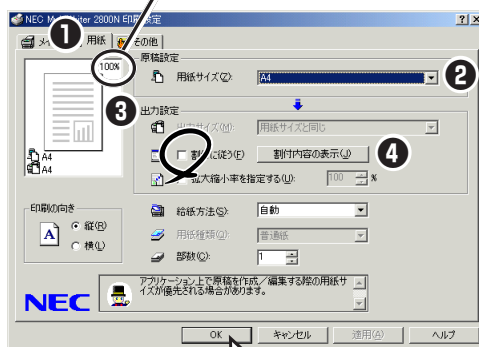


[用紙サイズ]と[出力用紙サイズ]に設定された用紙サイズに応じて、拡大・縮小のイメージが表示されます。

<Windows 2000/NT 4.0の場合>

[出力設定]の[割付に従う]のチェックを外し、[出力サイズ]ボックスから任意の出力用紙サイズを選択する。手順⑥に進んでください。

[用紙サイズ]と[出力サイズ]に設定された用紙サイズに応じて、拡大・縮小率が表示されます。



③-(b) [割付に従う]をチェックする。

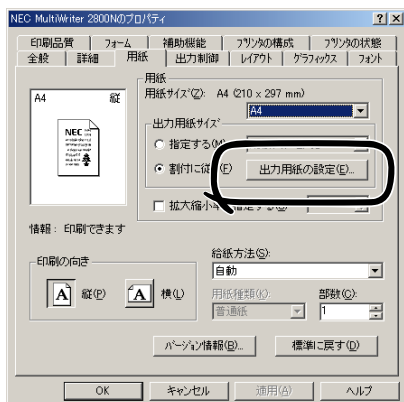
現在[用紙サイズ]で選択されている用紙サイズに割り付けてあるサイズが、出力用紙サイズとして自動的に設定されます。

割り付けの設定を変更したい場合は手順④に進んでください。変更しない場合は手順⑥に進んでください。

4 出力用紙の割付設定をするダイアログボックスを開く。

<Windows Me/98/95の場合>

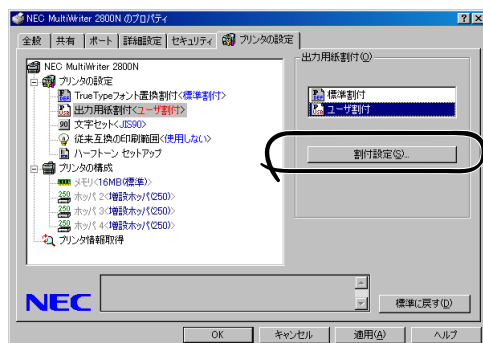
[出力用紙の設定]をクリックします。



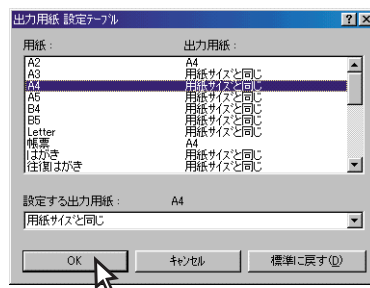
<Windows 2000/NT 4.0の場合>

- Windows 2000は[プリンタのプロパティ]ダイアログボックスを開きます。[プリンタの設定]シートの[出力用紙割付]で[ユーザ割付]を選び、[割付設定]をクリックします。
- Windows NT 4.0は[デバイスプロパティ]ダイアログボックスを開きます。[プリンタの設定]シートの[出力用紙割付]で[ユーザ割付]を選び、[割付設定]をクリックします。

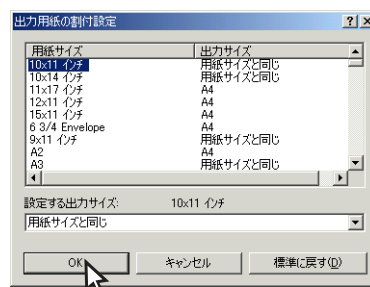
[用紙]シートの[割付内容の表示]をクリックすると、組み合わせの表示のみ行います。



5 設定したい出力用紙サイズを選択し、[OK]をクリックする。



Windows Me/98/95



Windows 2000/NT 4.0

6 [用紙]シートの[OK]をクリックする。

Windows 2000/NT 4.0の場合は[プリンタの設定]シートの[OK]をクリックし、[用紙]シートの[OK]をクリックします。

チェック

- 以下の用紙サイズを指定した場合は[出力用紙サイズ]が固定となり、[出力用紙サイズ]で指定する拡大・縮小印刷機能は使用できません。

A3→A4、A3→B4、A4→A3、A4→B4、A4→B5、A4×2→A4、B4→A3、B4→A4、B4→B5、B5→A4、B5→B4、B5×2→B5、LP→A4、LP→B4

- [給紙方法]に増設ホッパ(500)が設定されている場合はA5、B5は指定できません。

拡大・縮小率を指定する

この機能は次の場合以外はいつでも有効で、他の印刷機能と組み合わせることができます。

✓チェック

Windows NT 3.51/3.1では、拡大・縮小率を指定する拡大・縮小印刷機能は利用できません。

- [レイアウト]*¹シートで複数ページ印刷を設定している
- [フォーム]*²シートでフォーム印刷を設定している
- [用紙]シートで以下の用紙サイズを設定している
A3→A4、A4→B5、A4×2→A4、B4→A4、B4→B5、B5→A4、B5×2→B5、LP→A4、A3→B4、A4→A3、A4→B4、B4→A3、B5→B4、LP→B4

*¹ Windows 2000/NT 4.0の場合は[メイン]シートの[複数ページレイアウト]シートになります。

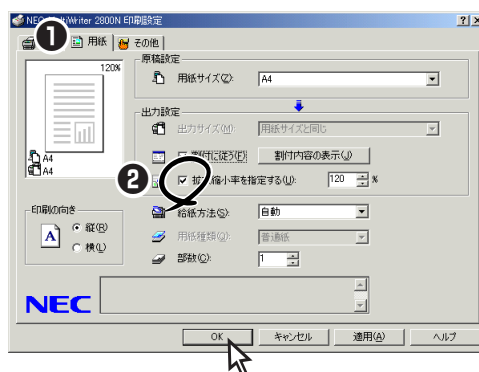
*² Windows 2000/NT 4.0の場合は[その他]シートになります。

① [プロパティ]ダイアログボックスの[用紙]シートを開く。

Windows 2000は[印刷設定]ダイアログボックス、Windows NT 4.0は[ドキュメントプロパティ]ダイアログボックスの[用紙]シートを開きます。

② [拡大縮小率を指定する]をチェックし、右のボックスで拡大・縮小率を設定する。

③ [OK]をクリックする。



Windows 2000/NT 4.0



Windows Me/98/95

拡大・縮小印刷に対応した用紙サイズを指定する

プリンターの拡大・縮小モードを設定します。設定は印刷時のみ有効になります。

① [プロパティ]ダイアログボックスの[用紙]シートを開く。

- Windows 2000は[印刷設定]ダイアログボックスの[用紙]シートを開きます。
- Windows NT 4.0/NT 3.51は[ドキュメントプロパティ]ダイアログボックスの[用紙]シートを開きます。
- Windows 3.1は[印刷設定]ダイアログボックスを開きます。

② [用紙サイズ]ボックスから用紙サイズ(下記の拡大・縮小率)を選ぶ。

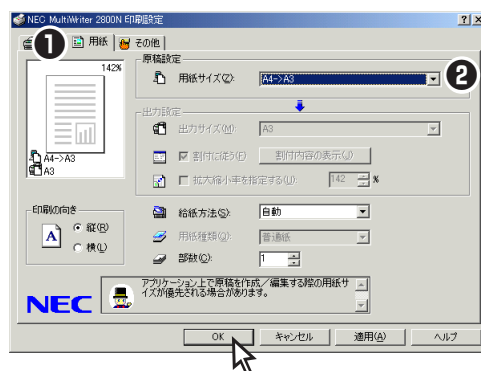
A3→A4、A4→B5、A4×2→A4、B4→A4、B4→B5、B5→A4、B5×2→B5、LP→A4、A3→B4、A4→A3、A4→B4、B4→A3、B5→B4、LP→B4

③ [OK]をクリックする。

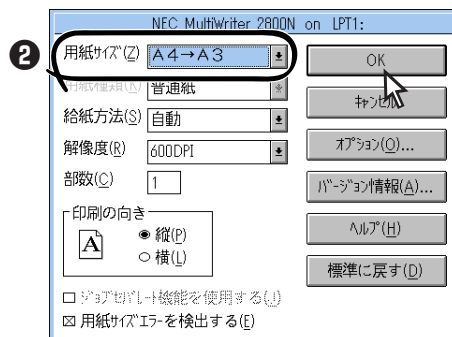


Windows Me/98/95/NT 3.51 *

* Windows NT 3.51の画面表示内容は、下記とは多少異なります。



Windows 2000/NT 4.0



Windows 3.1

複数ページ印刷



複数ページ印刷では縮小されて印刷されるため、ドラフト印刷、カタログ印刷などに有効な機能です。
なお、Windows NT 3.51、Windows 3.1で動作しているコンピュータでは複数ページ印刷機能は利用できません。

- 1 [プロパティ]ダイアログボックスの[レイアウト]シートを開き、[複数ページ印刷]を選択する。

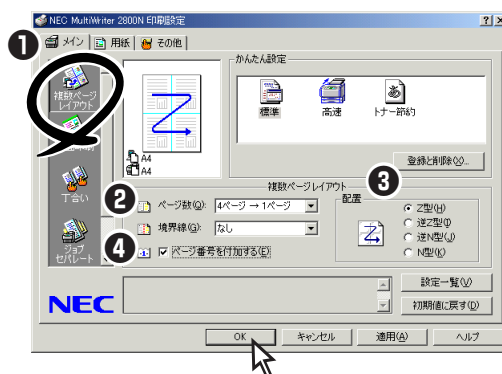
Windows 2000は[印刷設定]ダイアログボックス、Windows NT 4.0は[ドキュメントプロパティ]の[メイン]シートを開き、左側の[機能選択]バーから[複数ページレイアウト]を選択します。

- 2 [ページ数]から縮小配置するページ数を選択する。

- 3 [配置]から配置方法を選択する。

- 4 必要に応じて、[境界線]および[ページ番号を付加する]を選択する。

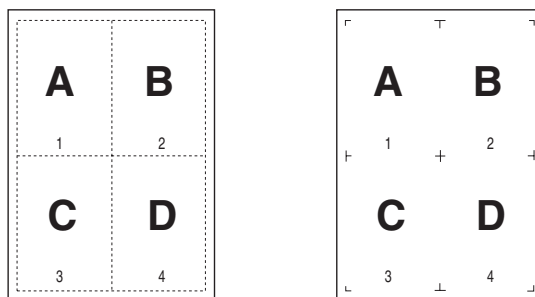
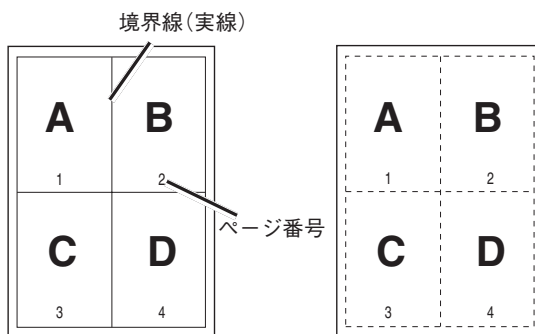
- 5 [OK]をクリックする。



Windows 2000/NT 4.0



Windows Me/98/95



境界線のイメージ (ページ数“4ページ→1ページ”、配置Zに設定の場合)

印刷位置の調整

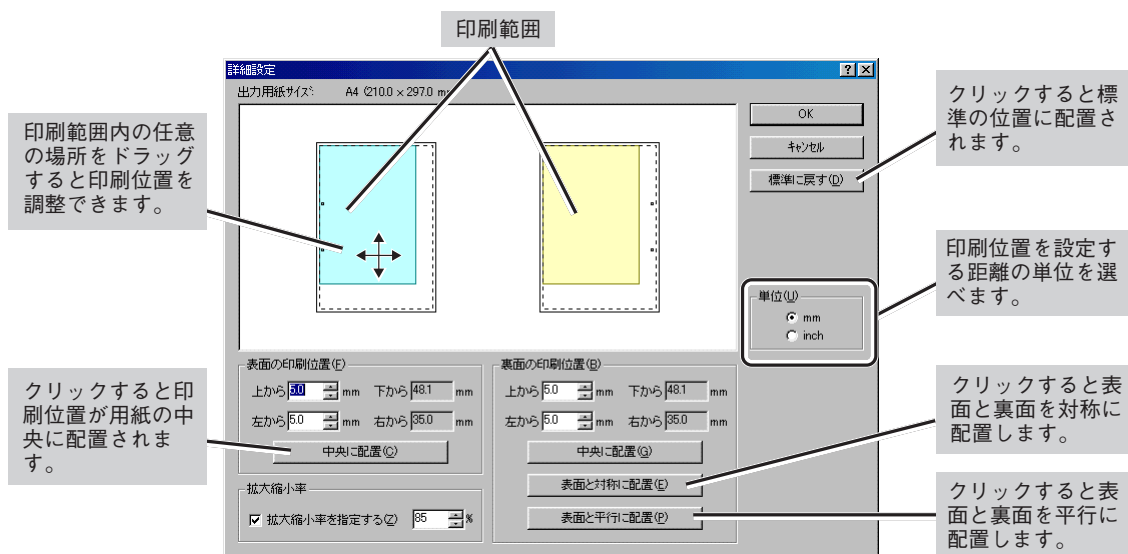


OSごとに以下のダイアログボックスで印刷位置を細かく調整します。

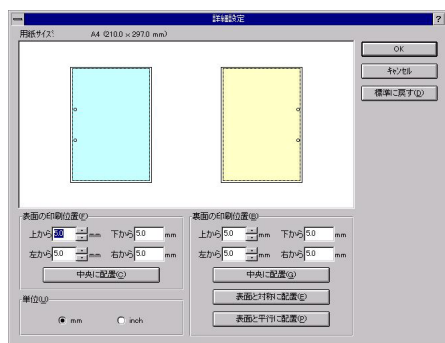
- Windows Me/98/95/NT 3.51 : [レイアウト]シートの[詳細設定]ダイアログボックス
- Windows 2000/NT 4.0 : [その他]シートの[拡張機能]ツリービューの[印刷位置微調整]ダイアログボックス
- Windows 3.1 : [レイアウト]ダイアログボックス

以下は両面印刷するときのダイアログボックスの例です。片面印刷する場合には片面のみ設定するダイアログボックスが表示されます。

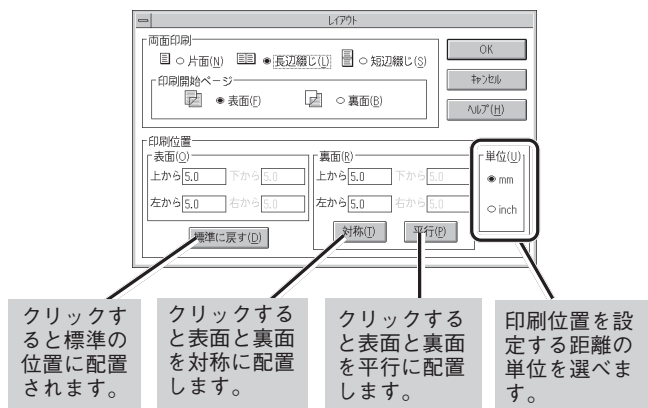
印刷位置は用紙上端と左端からの距離で設定します。下端、右端からの距離はそれに合わせて自動的に変化します(ボックスに入力できません)。また、このダイアログボックスには入力された数値に応じて変化する印刷範囲のイメージが表示されます(Windows 3.1は除く)。さらにこの印刷範囲のイメージを直接マウスで変化させて「感覚的」に位置調整することも可能です。



[詳細設定]ダイアログボックス (Windows Me/98/95)
[印刷位置微調整]ダイアログボックス (Windows 2000/NT 4.0)



[詳細設定]ダイアログボックス
(Windows NT 3.51)



[レイアウト]ダイアログボックス (Windows 3.1)

定形外用紙サイズの設定



定形外用紙サイズ用の紙に出力するには、以下の手順を行ってください。
Step 2およびStep 3は、OSごとに説明します。

- Step 1 定形外用紙をセットする(詳細は3章を参照してください。)
- Step 2 ユーザー定義サイズを設定する
- Step 3 ユーザー定義サイズで印刷する

MP、手差しに定形外の用紙をセットする場合はあらかじめ使用できる用紙の種類、用紙サイズを確認しておいてください。(用紙については付録の「用紙の規格」をご覧ください。)

✓ チェック

プリンターにセットできる用紙サイズは、幅100～297mm、高さは148～420mmです。プリンタードライバーで設定できる用紙サイズは、幅100～594mm、高さは148～800mmです。

Step 1 定形外用紙をセットする

<MPにセットする場合>

① MPカセットに用紙をセットする。

手順は、3章の「MPに用紙をセットする」(99ページ)を参照してください。

② MPカセットの用紙サイズ設定ダイヤルを「*」(アスタリスク)に設定する。

このとき、操作パネルの[MP]スイッチによる用紙サイズ設定は必要ありません。設定は無効になります。

<手差しにセットする場合>

① 手差しに用紙をセットする。

手順は、3章の「手差しに用紙をセットする」(102ページ)を参照してください。

② 操作パネル上の[手差し]スイッチで給紙先を「手差し」にする。

このとき、操作パネルの[手差し]スイッチによる用紙サイズ設定は必要ありません。設定は無効になります。

Step 2 ユーザー定義サイズを設定する

定形外用紙をユーザー定義サイズとして、次の手順で設定します。各OSごとに説明します。

Windows Me/98/95/3.1の場合、設定できるユーザー定義サイズは一種類のみです。

Windows 2000/NT 4.0/NT 3.51の場合、複数の用紙サイズ(ユーザー定義サイズ)を追加することができます。詳しくはOSのヘルプを参照してください。

各OSとも、プロパティダイアログボックスはアプリケーションのメニューから開く方法と[プリンタ]フォルダーから開く方法があります。

アプリケーションメニューから開いた場合は、一般的にそのアプリケーションでのみ有効な設定になります。また、[プリンタ]フォルダーから開いた場合は、すべてのアプリケーションの基本設定になります(詳細は149ページを参照ください)。

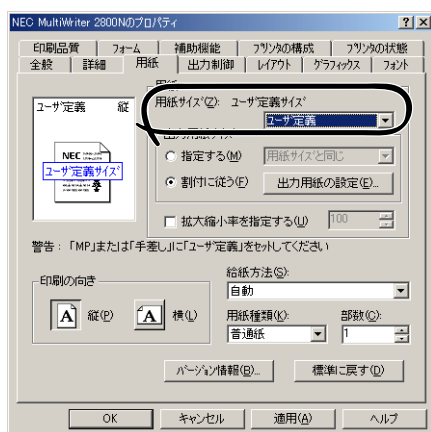
<Windows Me/98/95/3.1の場合>

- 1 [プリンタ]フォルダーを開く。
 - 2 使用するプリンターのアイコンをクリックする。
 - 3 [ファイル]メニューの[プロパティ]をクリックする。
- [プロパティ]ダイアログボックスが表示されます。
- 4 [用紙]シートを開き、[用紙サイズ]ボックスから[ユーザ定義]を選ぶ。

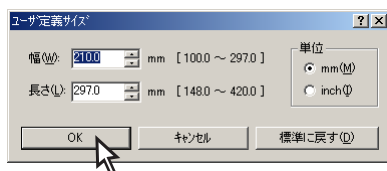
Windows 3.1では[印刷設定]ダイアログボックスの[用紙サイズ]ボックスで選択します。

✓チェック

- [ユーザ定義サイズ]を選択すると給紙方法で[ホッパ]は選択できません。
- 坪量81.4g/m²(連量70kg)を越える用紙の場合[用紙種類]ボックスで[厚紙]を指定してください。



- 5 用紙の[幅]と[長さ]を入力し、[OK]をクリックする。

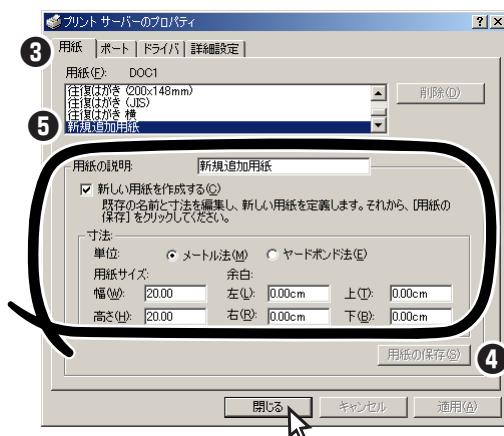


- 6 [OK]をクリックし、[プロパティ]ダイアログボックスを閉じる。

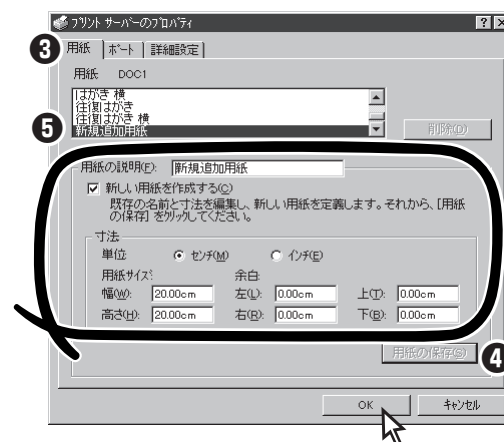
これでユーザー定義の用紙サイズが設定できました。

<Windows 2000/NT 4.0の場合>

- 1 [プリンタ]フォルダーを開く。
- 2 [ファイル]メニューから[サーバーのプロパティ]をクリックする。
- 3 [用紙]シートを開く。
- 4 [新しい用紙を作成する]をチェックして、[用紙の説明]に任意の用紙名、[寸法]にサイズを入力し、[用紙の保存]をクリックする。
- 5 ボックスに新規作成した用紙名が追加されたことを確認して[閉じる]をクリックする。



Windows 2000



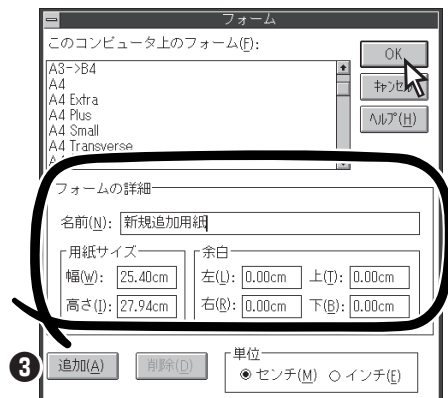
Windows NT 4.0

これで新しい用紙サイズが追加されました。

<Windows NT 3.51 の場合>

- 1 [プリントマネージャ]を開く。
- 2 [プリンタ]メニューの[フォーム]をクリックする。
[フォーム]ダイアログボックスが表示されます。
- 3 [フォームの詳細]グループの[名前]ボックスに任意の用紙名、用紙サイズを入力してから[追加]をクリックする。

- 4 ボックスに新規作成した用紙名が追加されたことを確認して[OK]をクリックする。



これで新しい用紙サイズが追加されました。

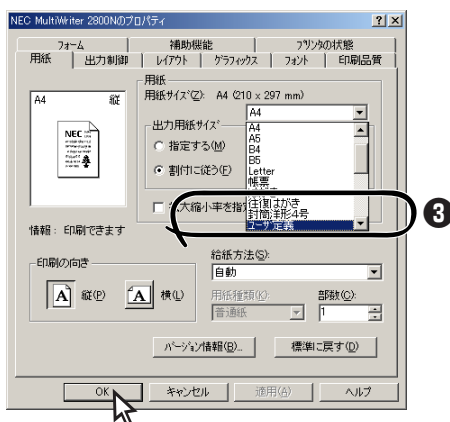
Step 3 ユーザー定義サイズで印刷する

Step2で設定した用紙サイズで印刷する手順を説明します。

なお、アプリケーションによっては手順が異なる場合があります。

<Windows Me/98/95/3.1の場合>

- 1 アプリケーションの[ファイル]メニューで[印刷]をクリックし、[印刷]ダイアログボックスを開く。
- 2 [プロパティ]をクリックする。
- 3 [用紙]シートを開き、[用紙サイズ]ボックスから、[ユーザー定義サイズ]を選択する。



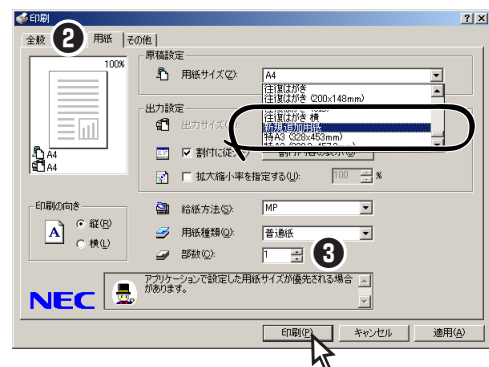
- 4 [ユーザー定義サイズ]ダイアログボックスで[幅]と[長さ]を確認し、[OK]をクリックする。
- 5 印刷部数を指定して、[OK]をクリックする。

<Windows 2000/NT 4.0/NT 3.51の場合>

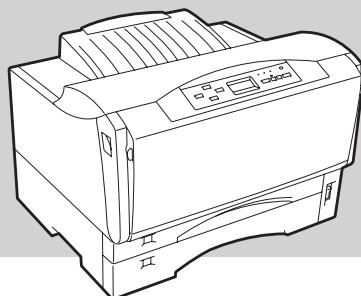
- 1 アプリケーションの[ファイル]メニューで[印刷]をクリックし、[印刷]ダイアログボックスを開く。

アプリケーションによっては、この手順後に[印刷]ダイアログボックスの[プロパティ] (Windows NT 3.51の場合は[プリンタの設定])をクリックします。

- 2 [用紙]シートを開き、[用紙サイズ]ボックスから、Step2で追加した用紙サイズを選択する。
- 3 印刷部数を指定して、[印刷] (または[OK])をクリックする。



6章 日常の保守



この章では、日常の保守として消耗品の交換およびプリンターの清掃について説明します。清掃は、MultiWriter 2800N/2800/2300Nを正しく動作させるために定期的に行うことをお勧めします。

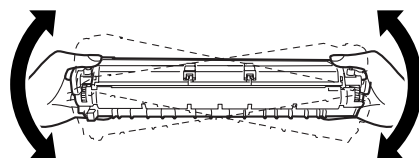
EPカートリッジの交換

ディスプレイが“76 トナーナシ EPコウカン”または“89 EPジュミョウ EPコウカン”と表示し、トナーランプが点灯したら、EPカートリッジの交換時期です。

ディスプレイが“89 EPジュミョウ EPコウカン”と表示した場合、EPカートリッジを速やかに交換してください。

交換する前に

ディスプレイが“76 トナーナシ EPコウカン”と表示した場合、交換する前に使用中のEPカートリッジをプリンターから取り出し、トナーが均一になるようにゆっくりと振ってください。



✓ チェック

EPカートリッジは取っ手を持たず、図のように両端部をやさしく持ってゆっくり振ってください。

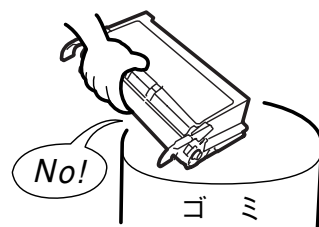
もう一度セットしてトナーランプが消灯すれば、まだしばらく、そのEPカートリッジを使用することができます。それでもトナーランプが点灯したままなら、新しいEPカートリッジに交換します。トナーランプ点灯前でも、印刷が薄くなったり、部分的に印刷が抜けるような場合はEPカートリッジを取り出してゆっくり振り、トナーを均一にしてください。

EPカートリッジの回収と購入

回収について

NECの使用済みEPカートリッジを地球資源の有効活用を目的として回収し、再利用可能な部品は再利用しております。

ご使用済みのEPカートリッジは捨てずに、EPカートリッジ回収センタに直接お送りいただくか、お買い上げの販売店、または添付の「NECサービス網一覧表」に記載されているサービス施設までお持ち寄りください。なお、その際はEPカートリッジの損傷を防ぐため、ご購入時の梱包箱に入れてください。



購入について

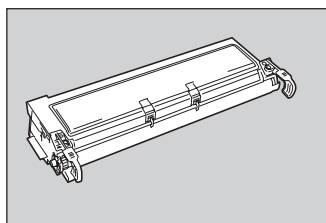
新しいEPカートリッジは、MultiWriter 2800N/2800/2300Nをお買い求めになった販売店、または添付の「NECサービス網一覧表」に記載されているサービス施設などでお求めになれます。

重要

プリンターによって、使用できるEPカートリッジが異なります。他のモデルに対応したEPカートリッジでは代用できません。お買い求めの際には次の「EPカートリッジの種類」をよくご覧になり、ご使用のプリンターに対応したEPカートリッジを、お選びください。

EPカートリッジの種類

MultiWriter 2800N/2800/2300Nでお使いになれるEPカートリッジは以下の表のとおりです。ご購入時に添付されているEPカートリッジは、MultiWriter 2800N/2800の場合PR-L2800-11(相当品)、MultiWriter 2300Nの場合PR-L2300-11(相当品)です。



EPカートリッジ		対応しているプリンター		
型番	印刷可能ページ数	MultiWriter 2800N	MultiWriter 2800	MultiWriter 2300N
PR-L2800-11	約6,000枚	○	○	×
PR-L2800-12	約14,000枚	○	○	×
PR-L2300-11	約6,000枚	×	×	○
PR-L2300-12	約12,000枚	×	×	○

チェック

- 各EPカートリッジの1個あたりの印刷可能ページ数はA4用紙サイズに画像面積比5%の印刷を行ったときの値です。(188ページ参照)
- 印刷用紙サイズ、画像面積比、印刷濃度設定などの印刷に関する設定の要因によって、印刷可能ページ数は異なります。

EPカートリッジの交換手順

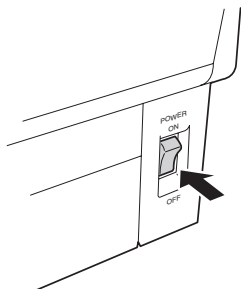
EPカートリッジの交換手順を説明します。

⚠ 注意

電源スイッチをOFFにした直後は、定着ユニット周辺、プリンター内部の金属部、およびEPカートリッジの取っ手は高温になっている場合があります。火傷をするおそれがありますので、十分に冷めてから取り扱ってください。

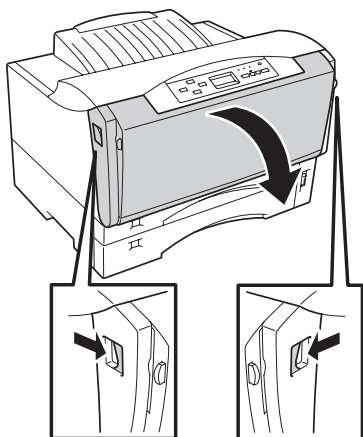
① 電源スイッチをOFFにする。

電源ランプが消灯します。

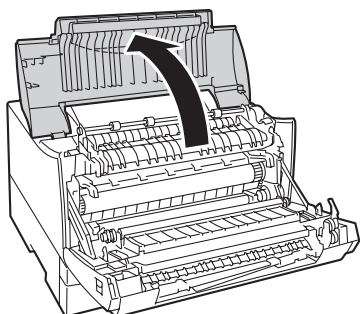


② 左右のフロントユニット開閉レバーを押しながら手前に引いて、フロントユニットをゆっくり開ける。

フロントユニットが開いて止まります。



③ トップカバーの左右を持ち、ゆっくり開ける。

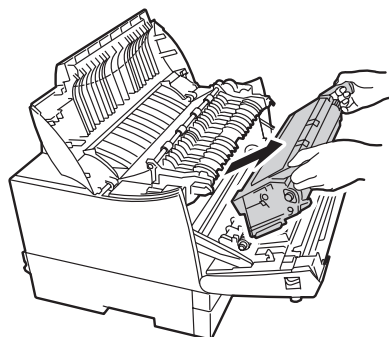


④ 左右の取っ手を図のように持ち、使い終わったEPカートリッジを引き出す。

EPカートリッジは、手前に引き出せば簡単に取り出せます。

重要

トナーで手や衣服を汚さないように気をつけてください。万一、トナーが手や衣服についた場合は、水で洗い流してください。



EPカートリッジは地球資源の有効活用を目的として回収し、再利用可能部品は再利用しております。EPカートリッジの回収については188ページをご覧ください。

⑤ 新しいEPカートリッジを1章の「5 EPカートリッジを取り付ける」(22ページ)に従って取り付ける。

⑥ 電源スイッチをONにする。

⑦ テスト印刷を実行する。

1章の「8 テスト印刷をする」(27ページ)に従って印刷が正しく行われることを確認してください。

EPカートリッジの寿命

プリンターに添付されているEPカートリッジ(MultiWriter 2800N/2800の場合はPR-L2800-11相当品、MultiWriter 2300Nの場合はPR-L2300-11相当品)の寿命は、A4用紙で画像面積比率(1ページ中の黒い部分の面積と印刷範囲の面積との比率)約5%のとき、約6,000枚(PR-L2800-11もしくはPR-L2300-11使用時も同等)になります。また、PR-L2300-12使用時は約12,000枚、PR-L2800-12使用時は約14,000枚になります。

以下は、画像面積比率約5%を目安とした文書例です。

EPカートリッジの寿命について

本プリンターの消耗品の「EPカートリッジ」には寿命6 0 0 0枚(A4、画像面積比5%)のものがあ
ります。

ここで画像面積比5%の意味及びEPカートリッジの寿命について説明します。

従来、シリアル系ドットインパクトプリンタ、熱転写プリンタ等においては、消耗品であるイン
クリボンの寿命は「何文字」という表現をしていました。これに対し、本プリンタの様なページプリン
タにおいては、「何枚」という単位で表現されています。

この様に、表現が「文字数」から「枚数」に変化した理由は、

- ① ページプリンタにおいては、処理の単位がページ単位であること。
- ② ①にも関連して、グラフィック等、文字数では十分把握できない様な印刷を行うケースが増
えてきている。

この2つが考えられます。

EPカートリッジの寿命を決定するものの1つに、そのEPカートリッジ内部に収納されているトナ
ーの量があります。トナーをすべて消費してしまえばEPカートリッジの寿命となります。(これは従来
のインクリボンにおいてインクがなくなるまでをリボンの寿命と呼んだのと同じことです)。

従って「枚数」で寿命と考えるときは、1ページの中でどれくらいのトナーを消費しているかとい
うことが問題となります。

1ページ中の印刷領域(印刷用紙の上下左右端から各々5mmの部分を除く領域)に黒い部分がどの位
の割合であるか表したものが画像面積比です。1ページの中に印刷が全くない状態が0%、印刷領
域全域が真っ黒にすべてのドットを埋め尽くした状態が100%です。

この画像面積比によりカートリッジの寿命は長くも短くもなります。このことから「画像面積比何
%のときに寿命が何枚」という表現をします。従って、印刷する内容の画像面積比が5%より高い場
合、6 0 0 0枚印刷する前にEPカートリッジの寿命となる場合があります。

なお、この印刷サンプルが画像面積比約5%相当の目安となります。

画像面積比5%の印刷例

チェック

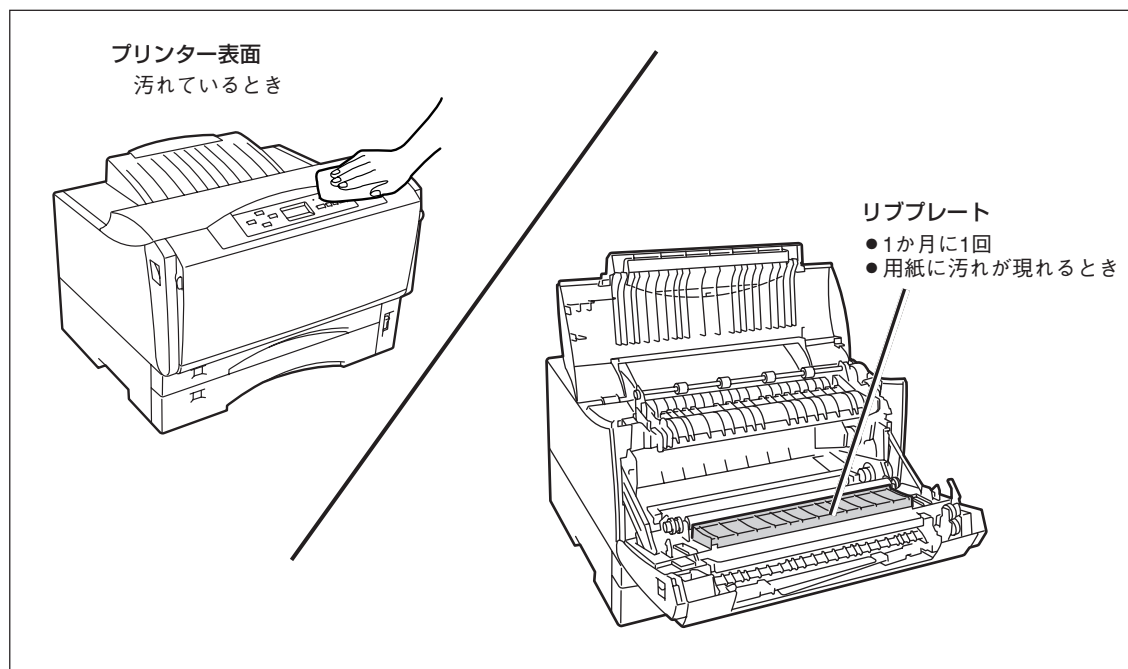
- EPカートリッジの寿命は画像面積比率、印刷用紙サイズ、両面印刷などの印刷条件によって異なります。
- 画像面積比率は、お使いのコンピューターの環境(OS、アプリケーション、使用フォントなど)により変化します。

清 掃

MultiWriter 2800N/2800/2300Nを正しく動作させるためには、図に示す箇所を定期的に、あるいは必要に応じて清掃することをお勧めします。

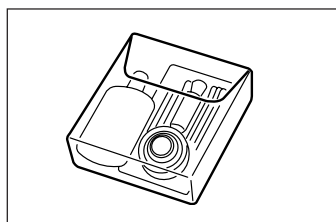
清掃箇所と清掃時期

清掃する箇所と清掃時期について示します。



清掃には、糸くずの出ない乾いた柔らかい布を用意してください。清掃用にクリーニングキットも別売されています。

クリーニングキット (型番 PC-PR601-14)



プリンターの清掃に便利な用具一式が入っています。

プリンターの清掃手順

プリンターの清掃手順について説明します。

⚠ 注意

- 清掃するときは、電源スイッチをOFFにし、電源コードをコンセントから抜いてください。感電するおそれがあります。また、電源コードはプラグを持って抜いてください。コード部分を引っ張るとコードが傷み、火災や感電の原因となることがあります。
- 電源スイッチをOFFにした直後は、定着ユニット周辺、プリンター内部の金属部、およびEPカートリッジの取っ手は高温になっている場合があります。火傷をするおそれがありますので、十分に冷めてから取り扱ってください。

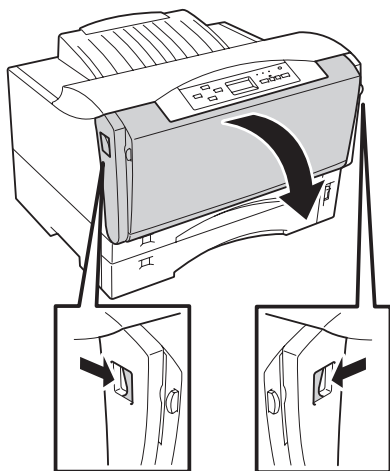
リブプレートの清掃

給紙方向に縦にかすれる、白いスジが入る、文字や黒い部分の輪郭がにじむときに行います。

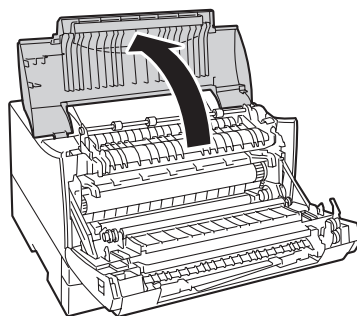
- ① プリンターの電源をOFFにし、プリンター背面の電源コネクターとコンセントから電源コードを抜く。

- ② 左右のフロントユニット開閉レバーを押しながら手前に引いて、フロントユニットをゆっくり開ける。

フロントユニットが開いて止まります。



- ③ トップカバーの左右を持ちゆっくり開ける。

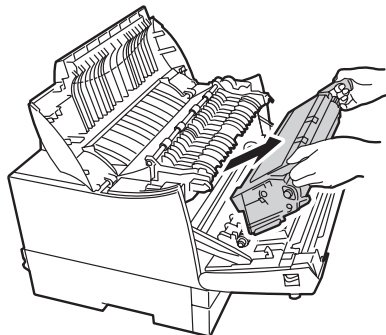


- ④ 左右の取っ手を図のように持ち、EPカートリッジを取り出す。

EPカートリッジは手前にスライドさせれば簡単に取り出せます。

⚠ 重要

トナーで手や衣服を汚さないように気を付けてください。万一、トナーが手や衣服についた場合は、水で洗い流してください。



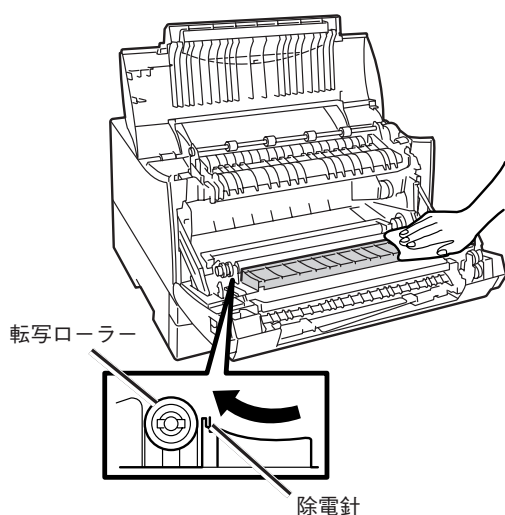
— ✓ チェック —

清掃時に取り外したEPカートリッジは立てたり、裏返しに置いたりしないでください。また、直射日光が当たる場所や、ほこりの多い場所は避け、水平な場所に置いてください。

- 5** リブプレートの汚れを乾いた柔らかい布でふき取る。

— ⚠ 重要 —

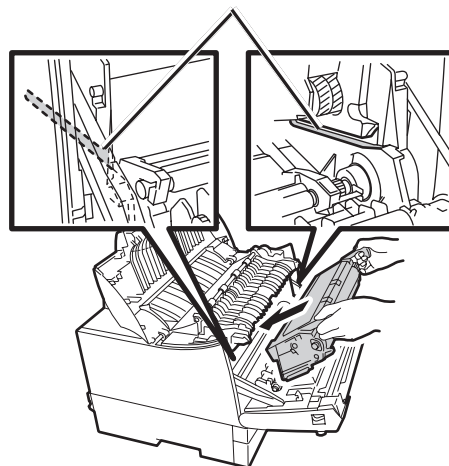
転写ローラー、除電針には触らないようにしてください。



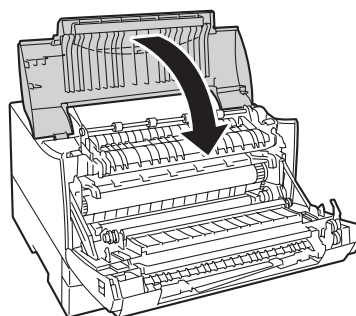
- 6** EPカートリッジをプリンター本体に再びセットする。

図のようにEPカートリッジをプリンター正面に向けて、EPカートリッジの取手を持ち、EPカートリッジの両側の突起部をプリンターの内側の溝に合わせてスライドさせ、セットします。EPカートリッジが浮き上がっていたり、斜めになっていたりせずに確実に奥までセットされていることを確認してください。

溝

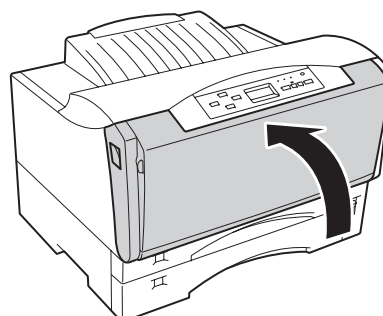


- 7** トップカバーをゆっくりと閉じる。



- 8** フロントユニットをゆっくりと閉じる。

カチッと音がするまでゆっくりとフロントユニットを押し上げ、確実に閉まったことを確認してください。



- ⑨ プリンター背面の電源コネクタに電源コードのプラグを差し込み、コンセントにも差し込む。

- ⑩ プリンターの電源スイッチをONにする。

- ⑪ テスト印刷を実行する。

1章の「8 テスト印刷をする」(27ページ)に従って印刷が正しく行われることを確認してください。

プリンターの表面の清掃

プリンターの表面が汚れているときに行います。

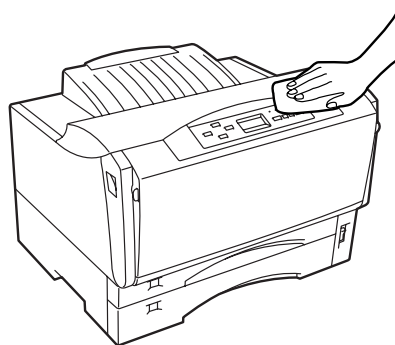
- ① 外観の汚れは柔らかい清潔な布でふき取る。

汚れが落ちにくい場合は、中性洗剤を含ませた布で拭き取ります。

- ② 乾いた布で拭く。

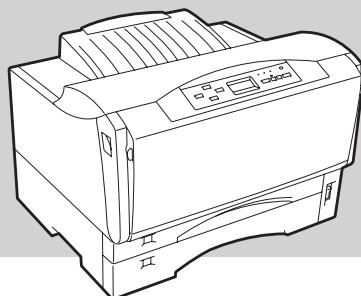


アルコール、シンナー等はプリンターの表面を傷めますので、使用しないでください。



7章

故障かな?と思ったら



この章では、「故障かな?」と思ったらときの症状を以下の項目に分けて、原因と処置方法を説明します。

- 印刷できないときは
- 印刷に異常が見られるときは
- PrintAgentシステムが起動しないときは
- リプリント機能が動作しないときは
- 紙づまりのときは
- アラーム表示が出ているときは
- 思うように印刷できないときは
- プリンタステータスウィンドウがおかしいときは
- ジョブセパレート機能が動作しないときは

また、「PrintAgentを正しく動作させるために」、「ユーザーサポートについて」も記載しています。その他プリンターソフトウェアを利用する際の補足情報がプリンターソフトウェアの「はじめにお読みください」(Readme.txt)に記載されています。プリンターソフトウェアCD-ROMのメニュープログラムから参照できます。

本章の他に、ネットワークでの印刷の際は第2部の「ネットワークで思うように印刷できないときは」(290ページ)も併せてお読みください。

印刷できないときは

プリンターにデータを送ったのに印刷ができないなどの症状、および原因と処理方法を示します。それぞれの方法に従って原因の確認、処理を行ってください。

症 状	原因と処理方法
電源ランプが点灯しない	電源スイッチがOFFになっている。 → 電源スイッチをONにしてください。 電源コードがきちんと差し込まれていない。 → プリンター側とコンセント側の両方を確認してください。 コンセントに電気が供給されていない。 → 配電盤などの状態を調べてください。
データを送り終わったのに印刷ができない、または長い間印刷を開始しない	印刷可ランプが消灯している。 → [印刷可]スイッチを押して、印刷可ランプを点灯させてください。

症 状	原因と処理方法
データを送り終わったのに印刷ができない、または長い間印刷を開始しない(続き)	プリンターケーブルまたはネットワークケーブルが正しく選択されていないか、または正しく接続されていない(データランプ消灯)。 → 260ページおよび31ページを参照して、プリンターケーブルまたはネットワークケーブルの種類を確認後、接続してください。 改ページまたは排出コードがない(データランプ点灯)。 → [シフト]スイッチを押しながら[排出]スイッチを押して、プリンター内に残っている未印刷データを印刷してください。また、この状態が多く発生するソフトウェアをお使いの場合は、メニューモードで自動排出を選択することをお勧めします。 用紙がなくなったか、または指定されたサイズの下紙がない(印刷可ランプ(赤)点灯)。 → 「3章 用紙のセット」(93ページ)を参照して、用紙を補給してください。 印刷可ランプ(赤)が点灯している。 → 「アラーム表示が出ているときは」(195ページ)をご覧ください。 データ送信中(データランプ(橙)点滅) → プリンターはページ単位で処理するプリンターなので、1ページ分のデータがそろわないと印刷を開始しません。また、グラフィックモードで多量のデータを送る場合などは、データ転送に時間がかかります。もう少しお待ちください。 MultiWriter 2800N/2800/2300Nが「通常使うプリンタ」として選択されていない。 → MultiWriter 2800N/2800/2300Nを「通常使うプリンタ」として選択してください。 コンピューターのメモリーが不足している。 → コンピューターのメモリーを増やしてください。
ホッパーにセットした用紙サイズを認識しない	用紙サイズ設定ダイヤルの設定が正しくない。 → セットした用紙サイズを用紙サイズ設定ダイヤルで設定してください。 用紙のセットのしかたが悪い。 → 「ホッパーに用紙をセットする」(96ページ)を参照して、用紙をセットし直してください。
MPから印刷ができない	給紙方法が自動、ホッパー、手差しのいずれかになっている。 → プリンタードライバーの給紙方法をMPに設定し直してください。 MPにセットした用紙サイズが正しく設定されていない。 → A3、A4、A5、B4、B5サイズをセットした場合は用紙サイズ設定ダイヤルでセットした用紙サイズを設定してください。レターサイズ、はがき、往復はがき、封筒、定形外をセットした場合は、用紙サイズ設定ダイヤルを「*」に設定して、[MP]スイッチで用紙サイズを設定してください。(100ページ参照) 用紙をセットしてください。 → 「MPに用紙をセットする」(99ページ)を参照して用紙をセットし直してください。
手差しから印刷ができない、または給紙方法を手差しとし、印刷したのに「テサシ XX セット」が表示される	給紙方法が自動、ホッパー、MPのいずれかになっている。 → プリンタードライバーの給紙方法を手差しに設定し直してください。 手差しにセットした用紙サイズが正しく設定されてない。 → [手差し]スイッチで用紙サイズを設定してください。(103ページ参照) 用紙をセットし直してください。 → 「手差しに用紙をセットする」(102ページ)を参照して用紙をセットし直してください。

アラーム表示が出ているときは

保守が必要な時期になったりエラーが発生したりすると、赤色のランプが点滅または点灯し、ディスプレイにその内容が表示(アラーム表示)されます。このとき、ブザーが30秒ごとに6回ずつ鳴ります。



メモリースイッチ3-8の設定がONのときは、ブザーは鳴りません。

次の表に、アラーム表示とその内容、および処理方法を示します。それぞれの方法に従って処理してください。

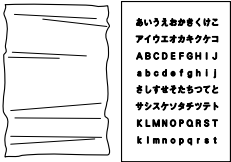
ディスプレイ表示	アラームの内容と処理方法
ホッパ¹ A4ヨコ ホキュウ ホッパーが増設されているときは、この位置にホッパー番号(1、2、3または4)が表示されます。 MP A4ヨコ ホキュウ フツウシ テサシ A4ヨコ セット フツウシ	用紙がない。または印刷フォーマットで指定されたサイズ of 用紙がない。 → 標準カセット、MPカセット、または手差し of のいずれかに表示されているサイズの用紙を補給してください。
トレイ A4タテ ホキュウ フツウシ	用紙がない。または印刷フォーマットで指定されたサイズの用紙がない。(メモリースイッチ9-4がONの場合) → MPカセット、または手差し of のいずれかに表示されているサイズの用紙を補給してください。
ヨウシカセット ナシ ホッパ²	用紙カセットが抜かれている。 → 用紙をセットし、表示された場所 of の用紙カセットをゆっくり戻してください。
MP LT ホキュウ ヨウシサイズ³ ヲヘンコウシマス	MPカセット of の用紙サイズ設定ダイヤルが「*」 of のときに設定 of の異なる用紙サイズを指定して印刷した。 → MPカセットを引き抜き、用紙サイズ設定を確認してください。 → MPカセットを引き抜き、用紙をセットし、用紙サイズ設定ダイヤルで用紙サイズを設定してください。 → [印刷可]スイッチを押してください。
72 カバ⁴ーオープ⁵ン ホンタイ 72 カバ⁴ーオープ⁵ン リョウメン	フロントユニット、トップカバー、フロントカバーが開いている。 → フロントユニット、トップカバー、フロントカバーをきちんと閉じてください。
73 EPカートリッジ ナシ	EPカートリッジが取り付けられていない。 → EPカートリッジを取り付け直してください。EPカートリッジを取り付けた後、フロントユニットをきちんと閉じてください。

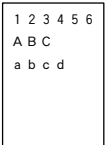
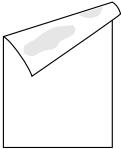
症 状	原因と処理方法
74 カミヅ マリ ホントイ 紙づまりが発生した場所が表示されます。	紙づまりが発生している。 → 「紙づまりのときは」(217ページ)を参照して、つまった用紙を取り除いてください。
75 ヨウシサイズエラー ホッパ° 1 増設ホッパーが選択されているときはホッパー番号(1、2、3または4)、またはMP、デサシが右端に表示されます。	指定サイズと異なる用紙がセットされている。 → 指定サイズの用紙をホッパーにセットして、[印刷可]スイッチを押してください。 → MPの場合、用紙サイズ設定ダイヤルと操作パネルの設定がセットされている用紙サイズとあっているか確認してください。
76 トナーナシ EPコウカン	EPカートリッジの交換時期を示している。 → 「EPカートリッジの交換」(185ページ)に従って、EPカートリッジを交換後、フロントユニットとトップカバーをきちんと閉じてください。 EPカートリッジを交換しなくても、[印刷可]スイッチを押してプリンターをセレクト状態にすれば、少しの間は印刷を続けることができますが、トナーランプは点灯を続けます。目的の印刷が終了したら、すみやかに交換してください。また、この状態のままプリンターの電源をOFFにし、再び電源をONにしても“76 トナーナシ”アラームは解除できません。
77 テイキホシュ	定期保守(定着ユニットなどの交換)の必要な時期を示している。 → 販売店にお問い合わせください。 このアラームが発生してもただちに印刷できなくなるわけではありませんので、[印刷可]スイッチを押してプリンターをセレクト状態にすれば、印刷を続けることはできます。しかし、なるべく早く定期保守を行ってください。“77 テイキホシュ”アラームは、電源をOFFにしても、次にONにしたときに再発生します。
78 ヨウシビ° ックミス ホッパ° ピックアップが発生した給紙口が表示されます。	用紙ピックアップが発生している。 → この後の「紙づまりのときは」に従って、給紙できなかった用紙を取り除いて再度用紙をセットしてください。
82 メモリーオーバー メモリーゾ° ウセツシテクタ° サイ	印刷データを蓄えるメモリーが不足している(メモリースイッチ6-2 OFFの場合のみ表示する)。 → [印刷可]スイッチを押してください。そのページのみ解像度を下げて印刷を行うか、“83 インサツフカ”のアラーム表示をします。 メモリーを増設してください。
83 インサツフカ メモリーゾ° ウセツシテクタ° サイ	メモリーオーバーで解像度を落として印刷しようとしたが、それでもメモリーが不足している。 → [印刷可]スイッチを押してください。解像度を落として印刷を行おうとしたページのデータを廃棄します。 メモリーを増設してください。
84 フォーム オーバ° -XXX	フォーム登録に必要なメモリーが不足している。 → [印刷可]スイッチを押してください。アラームの対象となった番号(×××)のフォームデータが読み捨てられます。メモリーを増設してください。

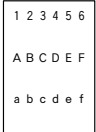
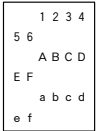
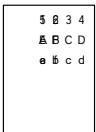
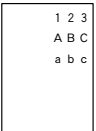
症 状	原因と処理方法
88 EPタイプ ^o チガイ EPコウカン	EPカートリッジのタイプが違う。 → 正しいタイプのEPカートリッジを取り付けてください。「EPカートリッジの交換」(185ページ)に従って、EPカートリッジを取り付け後、フロントユニットとトップカバーをきちんと閉じてください。
89 EPジ ュミョウ EPコウカン	EPカートリッジの寿命を示している。 → 「EPカートリッジの交換」(185ページ)に従って、EPカートリッジを交換後、フロントユニットとトップカバーをきちんと閉じてください。
XX コールXXX	障害が発生している。 → 電源をOFFにして、もう一度ONにしてください。それでもアラームが再発する場合は、プリンターの故障が考えられます。保守サービス窓口に修理をお申し付けください。 → ネットワークに接続されたプリンターに印刷しているときにプリンターフォルダーやプリントマネージャの画面から「印刷中止」や「印刷ドキュメントの削除」を行った場合、ネットワーク環境によっては印刷が中断されたことがプリンターに伝わらない場合があります。この場合はプリンター内に印刷データが残ったままとなり次の印刷データと混じることにより、アラームが表示されたり誤印字したりすることがあります。そのような環境でお使いの場合はPrintAgentのプリンタステータスウィンドウのジョブキャンセル機能を使って印刷を中止してください。
上記以外の表示	障害が発生している。 → 電源をOFFにして、もう一度ONにしてください。それでもアラームが再発する場合は、プリンターの故障が考えられます。保守サービス窓口に修理をお申し付けください。

印刷に異常が見られるときは

印刷にカスレや汚れなど異常が発生する場合は、次の表を参照して異常原因を取り除いてください。

症 状	原因と処理方法
用紙にしわが入ったり、文字の周りがにじむとき 	用紙が規格に合っていない。 → 「用紙の規格」(299ページ)を参照して、確認してください。 サイドガイドが用紙の幅に合っていない。 → 「3章 用紙のセット」(93ページ)を参照して、もう一度用紙をセットし直してください。 手差し給紙の「用紙種類」の設定が、セットされている用紙に対して正しく設定されていない。 → プロパティダイアログボックス、メニューモードで正しい用紙種類を設定し直してください。 設定濃度が濃すぎる。 → メニューモード、プリンタードライバーで濃度を設定し直してください。
用紙が汚れているとき 	プリンターの内部が汚れている。 → 「清掃」(189ページ)を参照して、よく清掃してください。
印刷が薄いとき 	トナーがない(トナーランプ点灯)。 → EPカートリッジの交換時期です。「EPカートリッジの交換」(185ページ)を参照して、EPカートリッジを交換してください。 トナー節約機能を使用している。 → メニューモード、プリンタードライバーでトナー節約機能を解除してください。 設定濃度が淡すぎる。 → メニューモード、プリンタードライバーで濃度を設定し直してください。 EPカートリッジのトナーシールが引き抜かれていない。 → 「EPカートリッジを取り付ける」(22ページ)を参照して、トナーシールを引き抜いてください。 手差し給紙の「用紙種類」が、セットされている用紙に対して正しく設定されていない。 → プロパティダイアログボックス、メニューモードで正しい用紙種類を設定し直してください。
何も印刷されない 	トナーがない(トナーランプ点灯)。 → EPカートリッジの交換時期です。「EPカートリッジの交換」(185ページ)を参照して、EPカートリッジを交換してください。 EPカートリッジのトナーシールが引き抜かれていない。 → 「EPカートリッジを取り付ける」(22ページ)を参照して、トナーシールを引き抜いてください。

症 状	原因と処理方法
真っ黒に印刷されたとき 	EPカートリッジが正しく取り付けられていない。 → 「EPカートリッジの交換」(185ページ)を参照して、EPカートリッジを取り付け直してください。 EPカートリッジに問題がある。 → 「EPカートリッジの交換」(185ページ)を参照して、新しいEPカートリッジと交換してください。
文字のグレー印刷ができない 	プリンタードライバーの設定が正しくない。 → Windows Me/98/95：プリンタードライバーの[プロパティ]ダイアログボックスを開き、[フォント]シートの[文字を白黒で印刷する]がチェックされているかどうか確認してください。チェックされている場合は、チェックを外してください。 Windows 2000：プリンタードライバーの[印刷設定]ダイアログボックスを開き、[文字の表現]で[標準(グレースケール)]が選択されているかどうか確認してください。選択されていない場合は、選択してください。 Windows NT 4.0：プリンタードライバーの[ドキュメントプロパティ]ダイアログボックスを開き、[その他]シートの[文字の表現]で[標準(グレースケール)]が選択されているかどうか確認してください。選択されていない場合は、選択してください。 Windows NT 3.51：プリンタードライバーの[ドキュメントプロパティ]ダイアログボックスを開き、[フォント]シートの[文字を白黒で印刷する]がチェックされているか確認してください。チェックされている場合はチェックを外してください。 Windows 3.1：プリンタードライバーの[オプション]ダイアログボックスを開き、[文字を白黒で印刷する]がチェックされているか確認してください。チェックされている場合はチェックを外してください。
印刷に縦線や横線が入るとき 	EPカートリッジが正しく取り付けられていない。 → 「EPカートリッジの交換」(185ページ)を参照して、EPカートリッジを取り付け直し、数枚テスト印刷をしてください。 EPカートリッジに問題がある。 → 「EPカートリッジの交換」(185ページ)を参照して、新しいEPカートリッジと交換してください。
印刷用紙の裏が汚れるとき 	転写ローラが汚れている。 → 数枚テスト印刷をしてください。 重要 転写ローラーを直接清掃すると用紙送り不良の原因となるおそれがあります。 リブプレートが汚れている。 → 「清掃」(189ページ)を参照して、プリンターの内部を清掃してください。

症 状	原因と処理方法
部分的に白く抜けるとき 	用紙が湿気を吸収している可能性がある。 → 「3章 用紙のセット」(93ページ)を参照して、セットしてある用紙をすべて交換してください。 用紙が規格に合っていない。 → 「用紙の規格」(299ページ)を参照して、確認してください。 冬期はプリンター内部が結露している可能性がある。 → 電源をONにしたまま30分～1時間放置してから印刷してください。 EPカートリッジに問題がある可能性がある。 → 「EPカートリッジの交換」(185ページ)を参照して、新しいEPカートリッジと交換してください。
縦線の形状で白く抜けるとき 	EPカートリッジが正しく取り付けられていない。 → 「EPカートリッジの交換」(185ページ)を参照して、EPカートリッジを取り付け直し、数枚テスト印刷をしてください。 EPカートリッジに問題がある。 → 「EPカートリッジの交換」(185ページ)を参照して、新しいEPカートリッジと交換してください。
正しく印刷できずに文字が化ける 	プリンター切り替え器などを介して印刷している。 → 切り替え器などを介さずにプリンターを接続してください。 → LANボード接続に変更してください。
改行量（行の間隔）が2倍になる  1行が2行にわたる  各行の文字が重なって印刷されてしまう  用紙の途中から印刷が始まってしまう 	アプリケーションで設定した用紙サイズと、使用する用紙サイズが異なっている。 → ソフトウェアの用紙サイズ設定と使用する用紙のサイズを合わせてください。 → 他の用紙サイズに印刷するか、メニューモードを使ってA4ポートレート桁数を80桁にしてください。 A4ポートレートの用紙に80桁分の印刷（パーソナルコンピュータの画面コピーなど）を行うと、このような症状になることがあります。 アプリケーションのプリンター設定が「シリアルプリンター」になっている。 → ページプリンターまたはレーザープリンターを選択してください。 → メニューモードを使ってプリンターの136桁モードを有効にしてください。 アプリケーションがシリアルプリンター専用で作られている場合には、136桁モードを有効にすることでこれらの症状は改善されます。特に、「用紙の途中から印刷が始まってしまう」場合には、136桁モードの用紙位置設定を中央合わせにすることで正しい印刷結果が得られるようになります。

思うように印刷できないときは

プリンターの動作がおかしくて思うように印刷ができないとき、プリンターまたはアプリケーションの設定を変えれば、ほとんどの場合は改善できます。

ここで説明する項目を参照して原因の確認と処置を行ってください。

症 状	原因と処理方法
正常に印刷できない	他のプリンタードライバが同一のポートを使用している。 → プリンタードライバによっては接続先のポート (LPT 1:、COM 1: など) に対し常に通信を行おうとするため、同一ポートに接続されているプリンターに悪影響を与えることがあります。Windows のヘルプを参照して、他のプリンタードライバのポートを本プリンタードライバと違うポートに変更するか、他のプリンタードライバを削除してください。 プリンターのメモリースイッチ 5-1、9-1 または 9-2 が ON で、I/F 設定が「ECP」になっている。 → お使いのプリンターを Windows から印刷する場合は、メモリースイッチ 5-1、または 9-1、9-2 を ON のままメニューモードの I/F 設定メニューの「ソウホウコウセツテイ」を「ニブル」に設定してください。プリンターの I/F 設定を変更した場合は、プリンターの電源の再投入が必要となります。 お使いのコンピューターのプリンタポート設定とプリンターの I/F 設定が異なる。 → お使いのコンピューターのプリンタポート設定とプリンターの I/F 設定の動作モードを同じ設定にしてください。詳しくはお使いのコンピューターの取扱説明書をご覧ください。 PrintAgent が正しく動作していない。 → 7 章の「PrintAgent システムが起動しないときは」(206 ページ) を参照してください。 プリンターと双方向通信ができない。 → 7 章の「PrintAgent の機能を十分に発揮させるために」(214 ページ) を参照してください。
斜線の太さが均一でない (線の角度によって、線の太さが違っている) 写真などの絵やグラデーションがおかしい	SET の設定が「ON」になっている。 → プリンタードライバのプロパティまたはメニューモードで SET の設定を「OFF」にしてください。SET は、印刷時の解像度を拡張して斜線や曲線の印刷品質を向上させるための機能ですが、印刷内容によってはこのような症状になることがあります。 トナー節約機能が ON になっている。 → プリンタードライバのプロパティまたはメニューモードでトナー節約機能を「OFF」にしてください。トナー節約機能はトナーの使用を節約する試し印刷用の機能です。この機能を使うと細い線、濃度の薄い印刷、網かけ、グラデーションが不鮮明になることがあります。
印刷位置が以前使用していたプリンターと合わない	アプリケーションの用紙・印刷に関する設定が間違っている。 → アプリケーションの説明書を見て正しく設定してください。アプリケーションによっては、わずかでも異なる設定項目があると、印刷位置がずれる場合があります。

症 状	原因と処理方法
印刷位置が以前使用していたプリンターと合わない(続き)	プリンターのA4ポートレートの印刷桁数が80桁に設定されている。 → メニューモードでA4ポートレート桁数を78桁にしてください。A4ポートレートの印刷桁数が80桁に設定されている場合には、本来の印刷位置よりわずかに左にずれて印刷されます。したがって、80桁に設定されているプリンターとそうでないプリンターとでは印刷位置が異なります。 使用している用紙がプリンターの規格に合っていない。 → 「用紙の規格」(299ページ)を参照して、規格に合っているか確認してください。MultiWriter 2800N/2800/2300Nのようなレーザープリンターは、用紙送りをローラーの摩擦によって行っています。そのため、他のレーザープリンターと同様に縦方向、横方向とも多少の誤差が発生します。この誤差は用紙によっても異なります。 以前使用していたプリンターとMultiWriter 2800N/2800/2300Nとの間に印刷位置の互換性がない。 → プリンターの印刷位置は、PC-PR2000/6W等のNPDLまたはNPDL(Level2)対応のプリンターおよびPC-PR601、PC-PR602、PC-PR602Rに対して互換性があります。その他のプリンターに対しては印刷位置の互換性はありません。従来互換の印刷範囲に設定するには、プリンタードライバーの以下に示すシートで設定を変更してください。 Windows Me/98/95 : [プロパティ]の[印刷品質]シート Windows 2000 : [プリンタのプロパティ]の[プリンタの設定]シート Windows NT 4.0/3.51 : [デバイスプロパティ]の[プリンタの設定]シート Windows 3.1 : [オプション]ダイアログボックス
“データガノコッティマス”を表示したまま印刷を開始しない	改ページコードまたは排出コードがありません。 → [印刷可]スイッチを押して印刷可ランプを消灯させてから、[シフト]スイッチを押しながら[排出]スイッチを押してください。 MultiWriter 2800N/2800/2300Nはページ単位で処理するプリンターなので、1ページ分のデータが揃わないと印刷を開始しません。また、アプリケーションの中にはページの最後に排出コードなどのページの終わりを示す制御コードをプリンターに送らないものがあります。このような場合は上記の方法で処理してください。 なお、メニューモードで自動排出を有効にしておく設定した時間内に印刷データが来ない場合、自動的に印刷・排出されます。ただしコンピューターからのデータ送信が長い時間途切れるような場合には、この機能を使用しないでください。 → プリンターの動作エミュレーションがプロッターエミュレーションの場合は、コンピューターから用紙送りコマンドPGを送り、用紙を排出してください。また、メニューモードの「プロッタセッテイメニュー」の「SPコマンドハイシュツ」を「SPコマンドハイシュツ ON」に設定すれば、コマンド「SP0;」または「SP;」で用紙を排出することができます。 アプリケーションのプリンター設定が「シリアルプリンター」になっている。 → ページプリンターまたはレーザープリンターを選択してください。ソフトウェアのプリンター設定がシリアルプリンターになっていると、排出コードをプリンターに送らないためにこのような症状が起こります。 また、新たにソフトウェアを作成する場合には、このような症状を防ぐため、各ページの最後に排出コード (0Ch) を付加するようにしてください。

症 状	原因と処理方法
“データガノコッティマス”を表示したまま印刷を開始しない(続き)	コンピューターからのデータ送信が途切れている。 → プリンターへのデータ送信について、プリンタードライバーの「タイムアウト設定」の設定時間を長くしてください。複雑なデータやアプリケーションによっては、設定時間が短いとデータ送信を中止することがあります。
ページの途中までしか印刷されない または1ページ分のデータが2ページにわたって印刷されてしまう	自動排出機能が有効になっている。 → メニューモードで自動排出を無効にしてください。 プリンターには自動排出機能(コンピューターからのデータの送信が一定時間途切れると、そこまでのデータが自動的に印刷・排出する機能)があります。このとき、コンピューターからのデータ送信が設定した自動排出時間以上に途切れた場合には、ページの途中でそれまでのデータを印刷・排出してしまいます。 また、各OSでプリンターへのデータ送信についてタイムアウト時間を設定できます。このタイムアウト設定の時間が短いと、複雑なデータなどでプリンターのビジー時間が長くなった場合、コンピューターが印刷データの送信を中止する場合があります。その場合にはプリンターの自動排出を無効にするだけでなく、タイムアウト設定の時間を長くしてください。タイムアウト設定の時間変更は各OSのマニュアルを参照してください。 綴じしろが合っていない。 → 印刷範囲を確認してください。両面印刷のときにはクリップ機能を使うと印刷範囲を超えた分のデータを次のページに印刷しないようになります。詳細は「クリッピング機能について」(89ページ)参照してください。
用紙の左側が空白になる(印刷文字が用紙の右側にかたよって印刷される)	一部のソフトウェアでは、用紙位置が異なる場合がある。 → メニューモードで136桁モードを有効にし、用紙位置を調整してください。
縮小すると、縮小前と印刷結果が異なる	印刷データによっては、縮小すると印刷結果が異なる場合がある。 → プリンターでは、座標値などを縮小することにより縮小印刷を行っています。このときに、数値の丸め誤差が生じ、図形と図形の重なりなどが変わることで、印刷結果が異なってしまう場合があります。
改行量がおかしくなり、徐々にずれてしまう	一部のソフトウェアには、ソフトウェアの指定によって改行で用紙を排出するものがある。 → ソフトウェアの設定をシートフィーダー付きにするか、1ページの長さを67行(A4サイズの場合)に設定してください。
画面の文字と異なる文字が印刷された	ご使用のコンピューター環境に最も適した方法でプリンターを指定していない。 → 「2章 プリンターソフトウェアのインストール」(43ページ)を参照してください。 適切なエミュレーションモードを選択していない。 → 「メニューモード」(116ページ)を参照して、エミュレーションモードを選択し直してください。 動作自動設定を選択している場合は、動作モード設定にて正しいエミュレーションを選択し直してください。途中で長い時間中断させるような使い方をしている場合に自動排出機能が有効になっていると、ページの途中でそれまでのデータを印刷・排出してしまうことがあります。

症 状	原因と処理方法
画面の文字と異なる文字が印刷された(続き)	プリンターケーブルがきちんと接続されていない。 → プリンター側とコンピューター側の接続状態を確認してください。 プリンターバッファや切り替え器を使用している。 → プリンターバッファや切り替え器を使用しない接続方法に変更してください。
白紙が出る	ソフトウェアのプリンター設定がシートフィーダー付きになっている。 → シートフィーダー付きになっている場合は、メニューモードで「136桁モード」を有効にしてください。
両面印刷が正しく機能しない	メニューモードが合っていない。 → メニューモードの両面印刷に関する設定を確認してください。 セットされている用紙サイズが合っていない。 → 両面印刷は普通紙のA3、A4、A5、B4、B5、レターサイズでしか機能しません。セットされている用紙を確認してください。 MPの用紙種類を普通紙以外に設定している。 → MPから両面印刷を行う場合、用紙の種類を普通紙に設定してください。 MPの定形外用紙がONになっている。 → メニューモードで定形外用紙を「OFF」にしてください。 メモリーが足りない。 → A3、B4サイズ of 用紙に両面印刷を行う場合、メモリーの増設が必要です。8章の「増設メモリー」(257ページ)をご覧ください。 メモリースイッチ5-1、または9-1、9-2がONになっている。 → メモリースイッチ5-1、または9-1、9-2を「OFF」にしてください。PC-PTOS等の環境下で同期コードを有効にし、アプリケーションがページごとに同期を取っている場合には、正しく機能しないことがあります。
1200dpi印刷時に“82 メモリーオーバー”が表示され、一部分が白紙で印刷される*	プリンターのメモリーが足りない。 → メモリーの増設が必要です。316ページの「増設メモリー対応表」をご覧ください。
解像度1200dpi時で用紙にしわが入る*	メニューモードが正しく設定されていない。 → 400dpi、600dpiで印刷を行った後で1200dpiに解像度を切り替えて印刷した場合、用紙にしわができる場合があります。メニューモードのウンヨウメニューで「オンドセイギョキノウ」を「ON」に設定し直してください。ただし、この場合、印刷開始時間が通常よりも遅くなります。
ユーザー定義サイズで印刷されない	〔用紙サイズエラーを検出する〕がチェックされていない。 → 〔給紙方法〕で〔自動〕が選択されている場合、プリンタードライバーの以下に示すシートで用紙サイズエラーの設定内容を確認してから印刷してください。用紙サイズエラーの設定が次ページのとおりにない場合、〔MP〕または〔手差し〕からの給紙を行わない場合があります。

* MultiWriter 2300Nのみ対象です。

症 状	原因と処理方法
ユーザー定義サイズで印刷されない(続き)	Windows Me/98/95 : [プロパティ]の[出力制御]シートで[用紙サイズエラーを検出する]をチェックする。 Windows 2000 : [印刷設定]の[その他]シートの[用紙サイズエラー]で[検出する]を選択する。 Windows NT 4.0 : [ドキュメントプロパティ]の[その他]シートの[用紙サイズエラー]で[検出する]を選択する。 Windows NT 3.51 : [ドキュメントプロパティ]の[出力制御]シートで[用紙サイズエラーを検出する]をチェックする。 Windows 3.1 : [印刷設定]ダイアログボックスで[用紙サイズエラーを検出する]をチェックする。
丁合い印刷ができない または多部数印刷ができない	プリンターと双方向通信ができない。 → 7章の「PrintAgentの機能を十分に発揮させるために」(214ページ)を参照してください。 → 双方向通信が行えない環境の場合は、電子ソート機能を有効にする必要があります。電子ソート機能を有効にするためにはプリンターにメモリーを増設し、プリンタードライバの設定を変更する必要があります。詳しくは、5章の「電子ソート機能」(173ページ)をご覧ください。 → アプリケーションの丁合い印刷、または部数印刷を設定してください。
印刷速度が遅い	プリンターバッファなどを取り付けている。 → コンピューター本体とプリンターを市販のプリンターバッファ、プリンター切り替え器、プリンター共有器、コピープロテクターなどで接続している場合には、プリンタードライバの双方向通信機能を無効にする必要があります。7章の「PrintAgentの機能を十分に発揮させるために」(214ページ)を参照して、双方向通信機能を無効にしてください。 プリンターと双方向通信ができない。 → 7章の「PrintAgentの機能を十分に発揮させるために」(214ページ)を参照してください。

1200dpi*1での印刷について

- MultiWriter 2300Nをお使いの場合でWindows 3.1対応のプリンタードライバでは、解像度の設定で1200dpi(47.2ドット/mm)をサポートしておりません。他の解像度設定で印刷してください。
- MultiWriter 2300Nをお使いで、プロッターコマンドのパラメーターがセットした用紙の印刷範囲をはみ出すような結果となる座標を指定した場合に、解像度1200dpiでの印刷を行いますと、印刷したいイメージと相違が出る場合があります。この場合は、解像度を600dpi(23.6ドット/mm)または400dpi(15.7ドット/mm)に落として印刷することをお勧めします。

PrintAgentシステムが起動しないときは

PrintAgentシステムが動作しないときの症状とその原因、処理方法を示します。それぞれの方法に従って対処してください。

症 状	原因と処理方法																
画面上にPrintAgentのシステムアイコンが表示されていない	[PrintAgentのプロパティ]ダイアログボックスで[システムを自動的に起動する]をチェックしていない。 → チェックしてください。Windows Me/98/95の場合は次回起動時から、Windows 2000/NT 4.0の場合は次回ログオン時から自動的に表示されます。 PrintAgentを終了している。 → [スタート]-[プログラム]-[MultiWriter 2800N(2800/2300N)]-[PrintAgentシステム起動]を実行してください。																
PrintAgentが機能しない	PrintAgentシステムファイルが削除された。インストール、またはアンインストールの失敗などによりPrintAgentが正しくインストールされていません。 → Windowsを再起動して、PrintAgentをアンインストールします。再び、Windowsを再起動して、プリンターソフトウェアを再インストールしてください。																
双方向機能が有効になっていない	Windowsのポートが正しく設定されていない。 <table><tr><th>OS</th><th>ローカル接続</th><th>LAN接続</th><th>USBケーブル接続</th></tr><tr><td>Windows Me/98/95</td><td>LPTx</td><td>NEC TCP/IP Printing System</td><td>LPTUSBx</td></tr><tr><td>Windows 2000</td><td>LPTx</td><td>NEC Network Port</td><td>LPTUSBxxx:</td></tr><tr><td>Windows NT 4.0</td><td>LPTx</td><td>NEC Network Port</td><td>---</td></tr></table> → 双方向通信が可能なポートに接続していることを確認してください。 上記のポート以外を設定して印刷を行う場合には、プリンターのプロパティで双方向通信を無効(サポートしない)に設定してください。 → プリンターのプロパティで双方向通信を有効(サポートする)に設定してください。「PrintAgentの機能を十分に発揮させるために」(214ページ)を参照してください。	OS	ローカル接続	LAN接続	USBケーブル接続	Windows Me/98/95	LPTx	NEC TCP/IP Printing System	LPTUSBx	Windows 2000	LPTx	NEC Network Port	LPTUSBxxx:	Windows NT 4.0	LPTx	NEC Network Port	---
OS	ローカル接続	LAN接続	USBケーブル接続														
Windows Me/98/95	LPTx	NEC TCP/IP Printing System	LPTUSBx														
Windows 2000	LPTx	NEC Network Port	LPTUSBxxx:														
Windows NT 4.0	LPTx	NEC Network Port	---														

プリンタステータスウィンドウがおかしいときは

プリンタステータスウィンドウでプリンター状態を表示しなかったりおかしいときは、ここで説明する項目を参照して原因の確認と処置を行ってください。

症 状	原因と処理方法
プリンタステータスウィンドウが[スタート]メニューに登録されていない	カスタムインストールによって、インストール対象とされなかった。 → システムの管理者にご相談ください。 必要なファイルが削除されている。 → PrintAgentを再インストールしてください。
使用したいプリンターのプリンタステータスウィンドウが選択できない	プリンタフォルダーに「NEC MultiWriter 2800N(2800/2300N)」のプリンターが登録されていない。 → PrintAgentおよび、プリンタードライバをインストールしてください。 プリンタードライバが変更されている。 → プリンタードライバを変更すると、誤動作の原因となります。プリンタードライバを削除し、再度プリンタードライバをインストールしてください。
プリンタステータスウィンドウが起動しない	プリンターのアクセス権がない。 → 権限を確認してください。 必要なファイルが削除されている。 → PrintAgentを再インストールしてください。 コンピューターのメモリー不足。 → 必要のないアプリケーションを終了してください。 プリンターポートを直接アクセスしてプリンターの状態を監視するユーティリティが使用されている。 → コンピューターで使用されているユーティリティに依拠して、プリンターの監視を行わないように設定してください。
プリンタステータスウィンドウの表示内容が不正である、アニメーションが行われない	印刷データを直接プリンターに送信している。 → 印刷データ(ジョブ)をスプールするように設定してください。 【通知形式のプロパティ】の設定が変更されている。 → 設定内容を確認してください。
プリンタステータスウィンドウがプリンターの状態を正しく表示しない	最新のステータスを取得していない。 → プリンタステータスウィンドウの[最新のステータスに更新]ボタンをクリックしてください。 14ピンパラレルインターフェースでプリンターを接続している。 → このインターフェースではプリンターの情報を取得することができず、プリンタステータスウィンドウの機能が大幅に制限されます。プリンタ増設インターフェースボード(PC-9801-94)をお使いになることをお勧めします。

症 状	原因と処理方法
プリンタステータスウィンドウがプリンターの状態を正しく表示しない(続き)	プリンターが直接つながっているコンピューターで双方向通信ができない設定になっている。 → Windows Me : [プロパティ]の[詳細]-[スプールの設定]-[このプリンタの双方向通信機能をサポートする]を選んでください。 Windows 98/95 : [プロパティ]の[詳細]-[スプールの設定]-[このプリンタで双方向通信機能をサポートする]を選んでください。 Windows 2000/NT 4.0 : [プリンタのプロパティ]の[ポート]-[双方向サポートを有効にする]をチェックしてください。 プリンターが直接つながっているコンピューターがWindows 2000/NT 4.0でプリンタープールを使用している。 → Windows 2000/NT 4.0上のすべてのプリンターのプロパティ-[ポート]-[プリンタプールを有効にする]のチェックを外してください。 お使いのコンピュータープリンターポート(パラレルポート)の設定とプリンターのI/F設定が異なっている。 → 双方の動作設定を合わせてください。「PrintAgentの制限事項」(216ページ)を参照してください。
プリンタステータスウィンドウの音声メッセージが通知されない	音声インストールされていない。 → 標準インストールでは音声はインストールされません。アプリケーションの追加と削除で音声を選択してインストールしてください。(82ページ参照) 音声を通知しない設定になっている。 → [通知形式のプロパティ]の設定を確認してください。 [PSWのプロパティ]の[自分のドキュメントを印刷していないときの設定]が「自動起動する」になっていない。 → 自分のドキュメントを印刷していないときの音声メッセージは「自動起動しない」と設定されているときは通知されません。「エラー発生時にウィンドウで自動起動する」と設定されているときはエラー時のみ通知されます。 ボリューム、Windowsのサウンド設定が変更されている。 → 設定を確認してください。
プリンタステータスウィンドウ上から印刷ドキュメントの削除ができない	印刷ドキュメントがすでにプリンターへ送られてしまった。 → すでにプリンターへ送信済みのドキュメントに対しては、削除できません。 プリンターのアクセス権がない。 → ネットワーク管理者に権限を確認してください。 印刷先がネットワーク共有プリンターである。 → ネットワーク共有プリンターのサーバーのOSがWindows 2000/NT 4.0の場合は、クライアントでプリンターをインストール(作成)した直後は削除できません。いったんクライアント側のOSを「ログオフ」→「ログオン」してください。

症 状	原因と処理方法
プリンタステータスウィンドウが自動起動しない、または自動起動してしまう	[PSWのプロパティ]の設定が変更されている。 → 設定を確認してください。詳細は添付のCD-ROMに収録されているオンラインマニュアル「プリンターソフトウェアの詳細」を参照してください。 LANボードまたはLANアダプターを装備したLANプリンターに直接接続して使用している。 → LANプリンターをサーバーを介さずに使用している場合は[PSWのプロパティ]で[自分のドキュメントを印刷していないとき]の起動条件として[印刷中にアイコンで自動起動する]を設定しても、他の人の印刷時には自動起動しません。ただし、この場合でもエラー発生時には自動起動を行います。
プリンターの構成情報の表示内容が実際の構成と異なっている	プリンターが双方向通信できないインターフェースで接続されている。もしくはプリンターがバッファーなどを経由して接続されている。 → プリンターの現在の設定は読み込むことはできません。双方向通信できないときは、初期状態として最大構成が入っています。この場合の構成はプリンタードライバーから設定が可能です。詳しくは、プリンタードライバーのヘルプをご確認ください。 プリンターの情報をうまく取得できない。 → ネットワークのトラフィックの状況や上位ホストの処理状況により、正しくプリンターの情報が取得できなかったと思われます。プリンターの電源を入れ直してください。情報の更新を行ってください。

リプリント機能が動作しないときは

リプリントがうまくいかなかった場合、ここで説明する項目を参照して原因の確認と処置を行ってください。

症 状	原因と処理方法
リプリント機能が使用できない	[リプリント機能を提供する]がチェックされていない。 → PrintAgentのプロパティを開き、確認してください。(ネットワーク共有プリンターをご使用の場合は、サーバー上のPrintAgentのプロパティを開き、設定を確認してください。) プリンターが直接つながっているコンピューターで双方向通信ができない設定になっている。 → Windows Me : [プロパティ]の[詳細]-[スプールの設定]-[このプリンターの双方向通信機能をサポートする]を選んでください。 Windows 98/95 : [プロパティ]の[詳細]-[スプールの設定]-[このプリンターで双方向通信機能をサポートする]を選んでください。 Windows 2000/NT 4.0 : [プリンターのプロパティ]の[ポート]-[双方向サポートを有効にする]をチェックしてください。 → 「使用できるコンピューターとプリンターケーブル」(260ページ)を参照して、ご使用のプリンターケーブルは正しいものが使われているかどうかチェックしてください。 PrintAgent リプリントがインストールされていない。 → PrintAgent リプリント2を追加インストールしてください。(82ページ参照) プリンタードライバがインストールされていない。 → 「2章 プリンターソフトウェアのインストール」(43ページ)を参照して、ご使用のプリンターのプリンタードライバをインストールしてください。
リプリントしたい印刷ジョブが蓄えられない	[リプリント機能を使用する]がチェックされていない。 → Windows Me/98/95 : [プロパティ]ダイアログボックスの[出力制御]シートを開き、確認してください。 Windows 2000 : [印刷設定]ダイアログボックスの[メイン]シートで機能選択バーの[リプリント]を選択し、確認してください。 Windows NT 4.0 : [ドキュメントプロパティ]ダイアログボックスの[メイン]シートで機能選択バーの[リプリント]を選択し、確認してください。
蓄えられた印刷ジョブがなくなった	印刷ジョブのスプールサイズが大きい。 → [PrintAgentのプロパティ]ダイアログボックスを開き、[リプリント機能の設定]ダイアログボックスでディスク領域を大きくしてください。(163ページ参照) ドキュメント数が制限を越えている。 → [PrintAgentのプロパティ]ダイアログボックスを開き、[リプリント機能の設定]ダイアログボックスでドキュメント数の値を大きくしてください。(163ページ参照) 有効期限が過ぎている。 → [PrintAgentのプロパティ]ダイアログボックスを開き、[リプリント機能の設定]ダイアログボックスで有効期限の時間を長くしてください。(163ページ参照)

ジョブセパレート機能が動作しないときは

データを送ったが、ジョブセパレートできなかった場合、ここで説明する項目を参照して原因の確認と処置を行ってください。

症 状	原因と処理方法
ジョブセパレート機能が使用できない	A4サイズが縦置き、横置きでセットされていない。 → プリンターにセットされている用紙の向きを確認してください。(169ページ参照) MPの用紙サイズが設定されていない。 → MPの用紙サイズを「A4ヨコ」もしくは「A4タテ」に設定してください。 → メニューモードのヨウシメニューで「MP テイケイガイヨウシ」を「OFF」に設定してください。 → メニューモードのヨウシメニューで「MP ヨウシシュベツ」を「フツウシ」に設定してください。 MPの用紙種類を普通紙以外に設定している。 → MPから印刷する場合、用紙の種類を普通紙に設定してください。 給紙方法が自動に設定されていない。 → プリンタードライバーの[プロパティ]ダイアログボックスの[用紙]シートを開き、自動に設定してください。 [ジョブセパレート機能を使用する]がチェックされていない。 → ネットワーク環境で共有プリンターとして使用しているすべての利用者(クライアント)の設定をプリンタードライバーで[ジョブセパレート機能を使用する]にしてください。 プリンターの給紙先が[手差し]になっている。 → [ホッパ]スイッチ、または[MP]スイッチを押して、給紙先を[ホッパ]もしくは[MP]に設定してください。 プリンターで双方向通信ができない。 → 7章の「PrintAgentシステムが起動しないときは」(206ページ)を参照してください。双方向通信ができない場合には、丁合い機能と組み合わせた多数印刷時のジョブセパレートはできません。
ジョブセパレート機能がうまく働かない	丁合い機能が正しく選択されていない。 → アプリケーションの印刷機能から丁合い機能を指定している場合は正しく機能しません。アプリケーションの指定を外してください。 すべてのクライアントがジョブセパレート機能を使用できる設定になっていない。 → ネットワーク環境で共有プリンターとして使用しているすべてのクライアントが[ジョブセパレート機能を使用する]に設定していることを確認してください。
PrintAgent リプリント2でジョブセパレートが設定できない	プリンタードライバーの給紙方法が[自動]以外の設定で印刷された印刷ジョブを選択している。 → 給紙方法を[自動]に設定し、印刷してください。 A4サイズ以外の用紙で印刷されたジョブがある。 → A4サイズで設定された印刷ジョブにしてください。
PrintAgent リプリント2でジョブ結合したとき、ジョブセパレートが設定できない	A4サイズ以外の用紙で印刷されたジョブがある。 → A4サイズ以外の用紙で印刷されたジョブの選択を解除してください。 → 結合するジョブをA4サイズで設定された印刷ジョブにしてください。

PrintAgentを正しく動作させるために

PrintAgentはネットワーク環境で使用することで、より効果を発揮します。以下はPrintAgentを正常に機能させるための注意事項をネットワーク関連の設定を中心に説明します。

PrintAgentを動作させる前に

共有プリンターの利用/提供について

本項目は、Windows 2000/NT 4.0では、共有プリンターの提供のみAdministrators権限のある方が設定を変更できます。[共有プリンタを利用する]、[共有プリンタを提供する]は、通常はONのままで支障ありませんが、次の場合はOFFにすることをお勧めします。

- ネットワークの回線速度が遅い

低速回線を経由する共有プリンターに対して、PrintAgentを使用すると、通信速度の関係でプリンタステータスウィンドウなどの操作がしにくかったり、状態の表示が遅れたりすることがあります。この場合は、[PrintAgentのプロパティ]で[共有プリンタを利用する]のチェックを外してください。ネットワーク共有プリンターについてのPrintAgentの双方向通信機能を無効にすることができます。

- 転送データ量に応じて課金されるネットワーク環境

転送データ量に応じて課金される従量課金制のネットワークを経由してPrintAgentを使用している場合に、PrintAgentの双方向通信によってデータ転送が発生し、課金されることがあります。考慮すべきネットワーク環境の例としては以下のケースがあります。

- ー ネットワークプリンターが、公衆回線を経由した別のネットワーク上に存在する場合
- ー プリントサーバー、DNSサーバー、WINSサーバーが公衆回線を経由した別のネットワーク上に存在する場合
- ー ローカルネットワークの通信自体が課金ネットワークの場合

これを避けたい場合にも、上記操作によってネットワーク共有プリンターについてのPrintAgentの双方向通信機能を無効にしてください。

- コンピューターの処理能力が十分でない

コンピューターの性能があまり高くない場合、PrintAgentのご利用により、他の作業の処理速度に影響する可能性があります。この設定を外してもローカルに接続しているプリンターでは、引き続きPrintAgentがご利用になれます。

従量課金回線での課金を最小限(印刷時のみ)とするためには

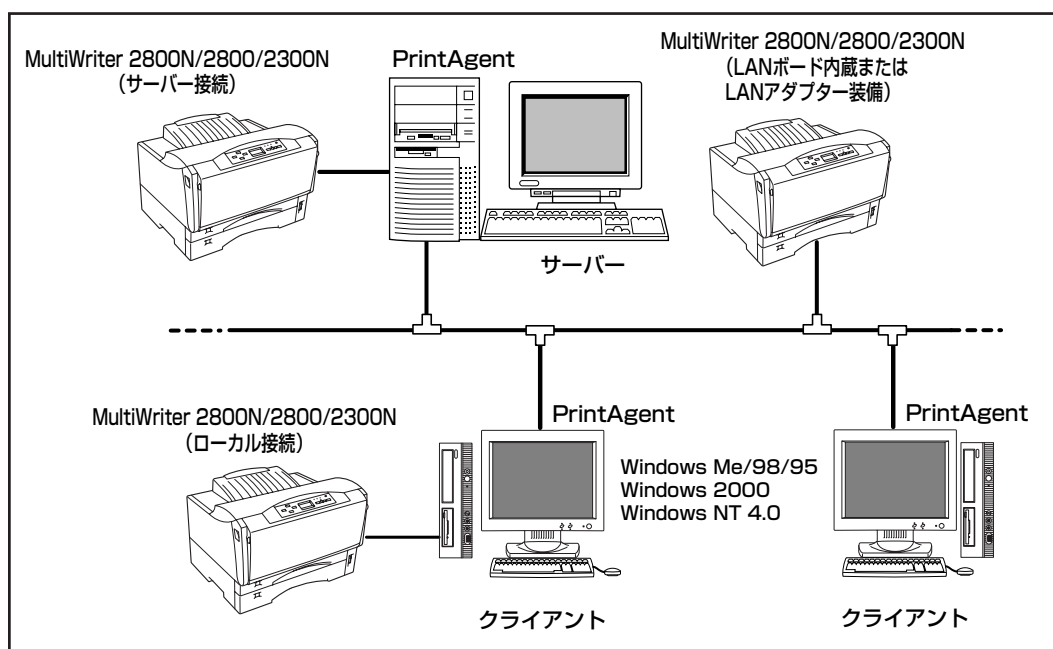
- クライアントコンピュータ側で[PrintAgentのプロパティ]の[共有プリンタを利用する]のチェックを外します。
- サーバコンピュータ側で[PrintAgentのプロパティ]の[共有プリンタを提供する]のチェックを外します。
- サーバコンピュータがWindows Me/98/95の場合はプリンタの[プロパティ]の[詳細]-[スプールの設定]-[このプリンタの双方向通信機能をサポートしない]を選択してご利用ください。

サーバコンピュータがWindows 2000の場合は[プリンタのプロパティ]、Windows NT 4.0の場合は[デバイスプロパティ]の[ポート]-[双方向サポートを有効にする]のチェックを外してご利用ください。

クライアント・サーバシステムでお使いの場合

PrintAgentをクライアント・サーバシステムでお使いの場合、以下のことに注意してください

- PrintAgentはローカルプリンタに対してもネットワーク上の共有プリンタに対しても使用できます。ただし、ネットワーク上で使われる場合PrintAgentソフトウェアはサーバ、クライアント両者にインストールされている必要があります。



- 1台のサーバに接続されたクライアントの中でPrintAgentを使用するクライアントは30台以下を推奨します。サーバの性能やネットワークトラフィックによっては、印刷時にプリンタの状態情報が取得できなくなる、クライアントでオフライン作業になる、またはネットワークプリンタの状態が不明になる場合があります。このような場合、印刷時以外は[PrintAgentのプロパティ]の設定の[共有プリンタを利用する]のチェックを外してPrintAgentを動作させないようにするか、PrintAgentを終了させて運用してください。
- プリントサーバには64 Mバイト以上のメモリーを搭載し、運用することを推奨します。(Windows 2000 日本語版をプリントサーバとしてご利用の場合には、256Mバイト以上を推奨します。)

PrintAgentの機能を十分に発揮させるために

PrintAgentの機能を十分に発揮させるために、双方向通信でお使いになることをお勧めします。

- 双方向通信が可能なポートに接続してください。

OS	ローカル接続	LAN接続	USBケーブル接続
Windows Me/98/95	LPTx	NEC TCP/IP Printing System	LPTUSBx
Windows 2000	LPTx	NEC Network Port	LPTUSBxxx:
Windows NT 4.0	LPTx	NEC Network Port	---

✓チェック

上記の表以外のポートでご利用の場合には双方向通信を無効に設定してください。PrintAgentの機能はご利用になれません。

- 双方向通信を有効にしてください。

<Windows Meの場合>

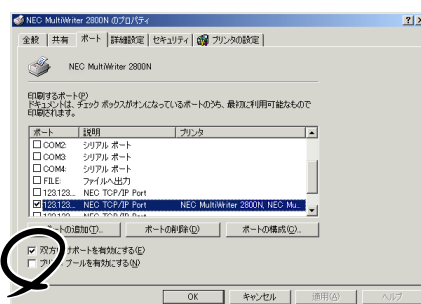
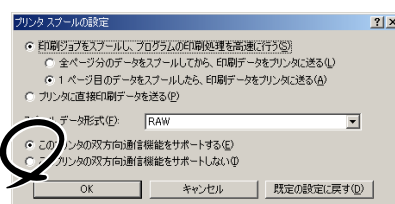
[プロパティ]ダイアログボックスの[詳細]-[スプールの設定]-[このプリンタの双方向通信機能をサポートする]を選択する。

<Windows 98/95の場合>

[プロパティ]ダイアログボックスの[詳細]-[スプールの設定]-[このプリンタで双方向通信機能をサポートする]を選択する。

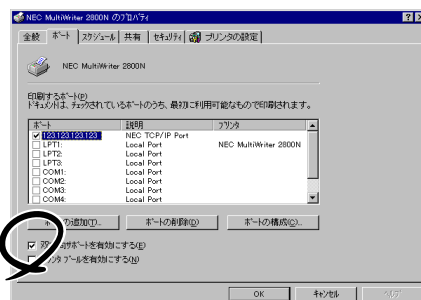
<Windows 2000の場合>

[プリンタのプロパティ]ダイアログボックスの[ポート]シートで[双方向サポートを有効にする]をチェックする。



<Windows NT 4.0の場合>

[デバイスプロパティ]ダイアログボックスで[ポート]シートの[双方向サポートを有効にする]をチェックする。



その他

PrintAgentを動作させる前に、以下のことに注意してください。

- ネットワーク共有プリンターが直接つながっているコンピューターのOSがWindows 2000/NT 4.0の場合、プリンタープールはサポートしていません。サーバーコンピューター上ですべてのプリンターのプリンタープールを無効にする必要があります。サーバーコンピューターがWindows 2000の場合は[プリンタのプロパティ]、Windows NT 4.0の場合は[デバイスプロパティ]の[ポート]-[プリンタプールを有効にする]のチェックを外してください。[プリンタプールを有効にする]をチェックした場合、プリンターの状態が正しく表示されません。権限がない場合は管理者に連絡してください。
- PrintAgentがサポートしているネットワークプロトコルはTCP/IPです。また、LANボード／LANアダプターを装着したプリンターと接続する場合、サポートしているネットワークプロトコルもTCP/IPのみです。
- PrintAgentはWindows 2000 Advanced Server、Windows 2000 Datacenter Server、Windows NT Server,Enterprise Edition 4.0のクラスタ機能を使ったクラスタリングシステム、あるいはWindows NT Server 4.0,Terminal Server Edition、Windows 2000のTerminal Serviceを実装したシステムには対応していません。これらのシステムでは、PrintAgentが正常に動作しない場合がありますので、PrintAgentをインストールしないでご利用ください。
- PrintAgentをインストール時に指定するPrintAgentモジュールのフォルダー名(指定しなければ「PrintAgent」になります)はインストール終了後に変更しないでください。フォルダー名を変更するとアンインストールが正常に行えません。また、PrintAgentが正しく動作しません。Windows 3.1やDOS上でフォルダーの移動などを行うと、フォルダーの名前が「PRINTA~1」などに変わってしまう場合があります。
- プリンターソフトウェアをインストールする際に指定する出力ポート(インターフェースコネクタ)に、プリンターインターフェース変換アダプターやプリンターバッファを使用している場合、PrintAgentはご利用になれません。PrintAgentをインストールしないでご利用ください。また、PrintAgentを利用する場合は、出力ポート(インターフェースコネクタ)からプリンターインターフェース変換アダプターやプリンターバッファなどを取り外してお使いください。
- コンピューターのOSがWindows Me/98/95の場合でネットワークアダプターが他のインターフェースなど同一の割り込み要求(IRQ)に設定されていると、Windows起動時にエラーが発生することがあります。このような場合は、使用していないインターフェースの割り込み要求(IRQ)を解放し、ネットワークアダプターで使用する割り込み要求(IRQ)と競合しないように設定を変更してください。割り込み要求(IRQ)の解放、変更についてはお使いのコンピューター、ネットワークアダプターの取扱説明書または各OSのヘルプ等を参照してください。

PrintAgentの動作中は

コンピュータにPrintAgent対応プリンターが複数インストールされている場合、プリンタステータスウィンドウを表示させると、ダイアログボックスで「プリンタの選択」を要求されることがあります。

PrintAgentの制限事項

- PrintAgentとプリンターポートを直接アクセスしてプリンターの状態を監視するユーティリティ（DMIToolなど）を同時に使用すると正しく動作しない場合があります。このような場合は、お使いのユーティリティに応じて、プリンターの監視を行わないように設定してください。
- プリンターとお使いのコンピュータのプリンターポート（パラレルポート）の設定が異なる場合、PrintAgentの動作に不具合が生じることがあります。（例えば、コンピュータはECPモード、プリンターはニブルモードといった場合です。）双方の設定を合わせてご使用ください。設定を変更する場合、お使いのコンピュータの取扱説明書を参照して、プリンターポート（パラレルポート）の設定を変更するか、プリンターの設定を変更してください。プリンターの設定を変更するには「メニューモード」(116～128ページ)を参照してください。

重要

Windows 95で赤外線通信インターフェースアダプターを使ってMultiWriter 2800N/2800/2300Nに接続している場合、PrintAgentの機能はご利用になれません。片方向通信での印刷となります。

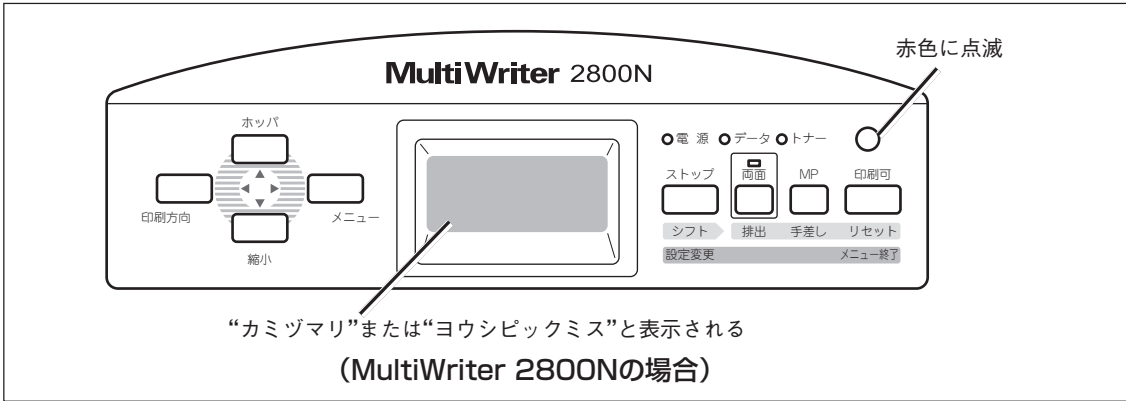
OSをアップグレードする場合

お使いのコンピュータのOSをアップグレードする場合、以下のことに注意してください。

- Windows Me/98/95、Windows NT 4.0用のプリンターソフトウェア（プリンタードライバおよびPrintAgent）はWindows 2000では使用できません。
- OSをアップグレードする前に、2章の「プリンタードライバの削除」(78ページ)、「PrintAgentの追加・削除」(82ページ)の手順に従ってプリンタードライバ、およびPrintAgentを削除してください。OSをアップグレードした後に、再度プリンターソフトウェアをインストールしてください。

紙づまりのときは

紙づまりが発生すると、操作パネルの印刷可(赤)ランプが点滅し、ディスプレイに“74 カミヅマリ ホンタイ リョウメン キュウシ”、または“78 ヨウシピックミス ホッパ MP テサシ”と表示されます。同時にプリンターは印刷を中止し、ディセレクト状態(印刷可ランプが赤色に点滅)になります。



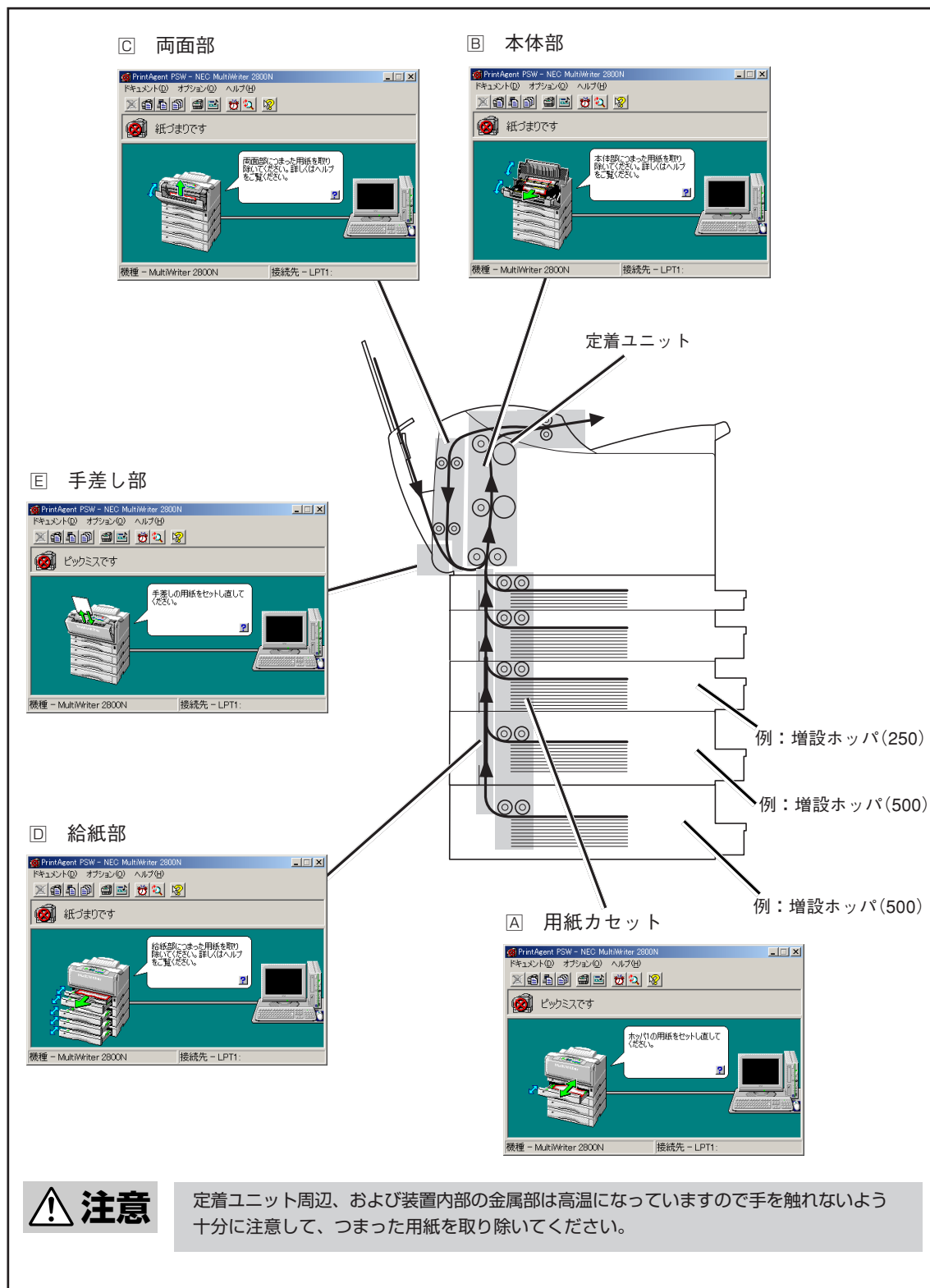
紙づまりの発生箇所

紙づまり、またはピックミス(用紙給紙ミス)のときのディスプレイ表示と発生箇所は次の表のとおりです。ディスプレイ下段の表示は紙づまり、またはピックミス(用紙給紙ミス)が発生している箇所を表しています。

ディスプレイ表示		紙づまり発生箇所
上段	下段	
“74 カミヅマリ”	“ホンタイ”	[B] 本体部 [E] 手差し部
	“リョウメン”	[C] 両面部
	“キュウシ”	[D] 給紙部
“78 ヨウシピックミス”	“ホッパ”	[A] 用紙カセット
	“MP”	
	“テサシ”	[E] 手差し部

次ページの図を参考にして[A]、[B]、[C]、[D]、[E]のいずれかを開けて、つまった箇所を調べてください。つまった箇所に応じて、219ページからの手順に従って用紙を取り除いてください。

Ⓐ～Ⓔで示す網掛け部分が紙づまり、またはピックミスの発生箇所です。処理手順については219ページ以降を参照してください。



紙づまり、ピックミスの発生箇所

ピックミス(用紙給紙ミス)の処理

発生箇所(Ⅳ、Ⅴ)に応じて、ピックミス(用紙給紙ミス)の処理をしてください。

給紙されなかった用紙を取り除くことができれば、カバー類を閉めてください。完全に取り除かれていればアラームは解除され、自動的に印刷は再開されます。

ピックミスが頻発するようでしたら、「ピックミス、紙づまり処理後の確認」(226ページ)を参照してピックミスを誘発させる事柄がないか確認してください。

— ✓ チェック —

給紙できなかった用紙は、このマニュアルの手順どおりに取り除いてください。無理に引き抜こうとすると、用紙が破れ、残った紙片がプリンターの正しい用紙送りを妨げることがあります。

A 用紙カセット

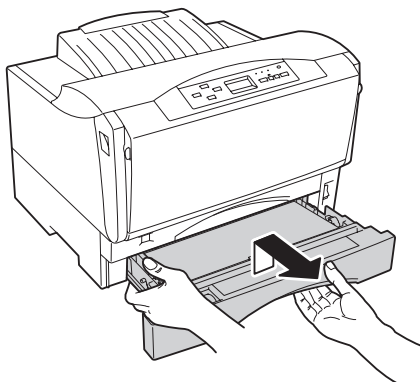
用紙カセットでピックミスが発生した場合の処理方法を説明します。

① 操作パネルの表示でピックミスが発生した箇所を確認する。

② プリンターの電源をONにしたまま、ピックミスが発生した箇所の用紙カセットをゆっくりと取り外す。

— ⚠ 重要 —

用紙カセットを取り外すとき、用紙がセットされていると重くなっています。両手で持って取り外してください。

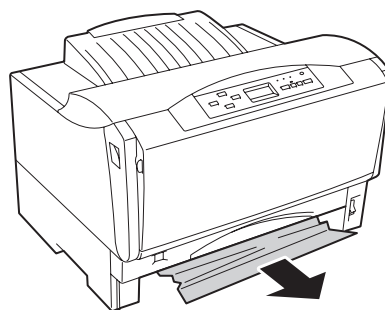


③ 給紙されなかった用紙を取り除く。

— ✓ チェック —

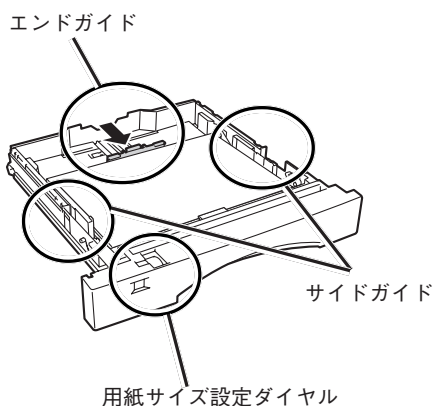
給紙されなかった用紙は用紙カセットから取り去って、再セットしないでください。

用紙の折れ曲がりなどにより紙づまりの原因となります。

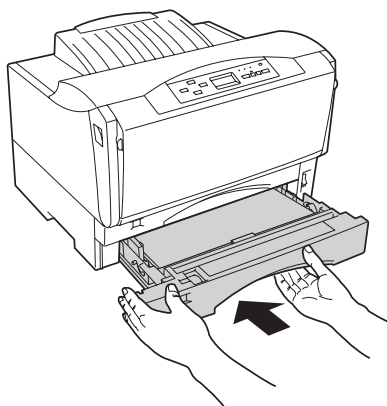


4 用紙のセット方法、およびセットした用紙の種類が正しいか確認する。

用紙カセットカバーを外し、エンドガイドとサイドガイドの位置が正しいか確認してください。「3章 用紙のセット」(95ページ)を参照してください。



5 用紙カセットを取り付ける。



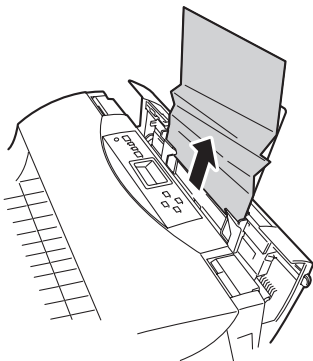
重要

用紙カセットを取り付けるとき、用紙がセットされていると重くなっています。両手で持って取り付けてください。

E 手差し部

手差し部でピックアップが発生した場合の処理方法を説明します。

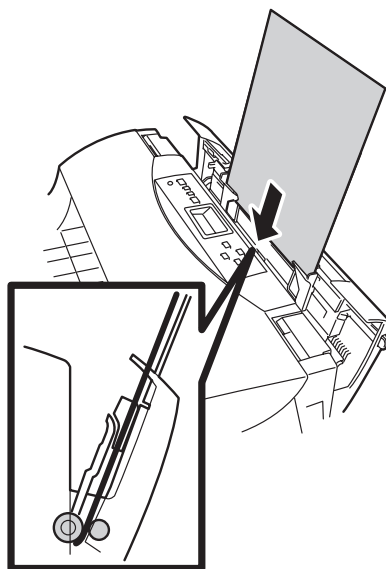
1 プリンターの電源をONにしたまま手差し給紙できなかった用紙を取り除く。



2 新しい用紙を手差しの奥まで確実にセットする。

チェック

- セットする用紙の種類が正しいか確認してください。
- 給紙されなかった用紙は手差しから取り去って、再セットしないでください。用紙の折れ曲がりなどにより紙づまりの原因となります。



3 用紙のセット方法が正しいか確認する。

手差し用紙ガイドの位置はセットした用紙に合わせてください。

3章の「手差しに用紙をセットする」(102ページ)を参照してください。

紙づまりの処理

発生箇所(㉔、㉕、㉖、㉗)に応じて、紙づまりの処理をしてください。

つまった用紙を取り除くことができれば、カバー類を開めてください。完全に取り除かれていればアラームは解除され、自動的に印刷は再開されます。

紙づまりが頻発するようでしたら、「ピックアップ、紙づまり処理後の確認」(226ページ)を参照して紙づまりを誘発させる事柄がないか確認してください。

— ✓ チェック —

- つまった用紙は、このマニュアルの手順どおりに取り除いてください。無理に引き抜こうとすると、用紙が破れ、残った紙片がプリンターの正しい用紙送りを妨げることがあります。
- 紙づまりが発生した場合、つまった用紙が取り除かれると、紙づまりによって正しく排出されなかった用紙の印刷データから印刷を再開します。しかし、紙づまりが発生した位置によっては、正しく排出されなかった印刷データから印刷を再開できない場合があります。

㉔ 本体部の紙づまり

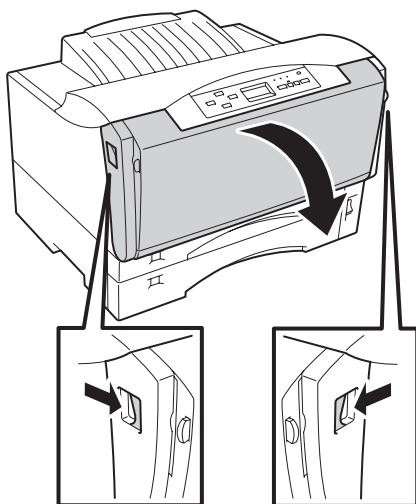
本体部で紙づまりが発生した場合の処理方法を説明します。

⚠ 注意

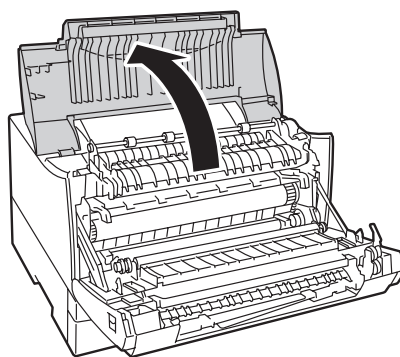
定着ユニット周辺、および装置内部の金属部は高温になっています。触れると火傷をするおそれがありますので、十分に注意してください。

- ① プリンターの電源をONにしたまま左右のフロントユニット開閉レバーを押しながら手前に引いて、フロントユニットをゆっくりと開ける。

フロントユニットが開いて止まります。



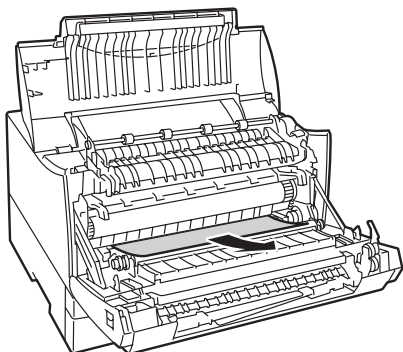
- ② トップカバーの左右を持ち、ゆっくりと開ける。



- 3** つまった用紙の両端をつまんで、ゆっくりと手前に引き抜く。

用紙がローラーにかかっていないときは、用紙をしっかりと持って手前にゆっくりと引き抜きます。

つまった用紙が見つからない場合は、手順**6**に進んでください。

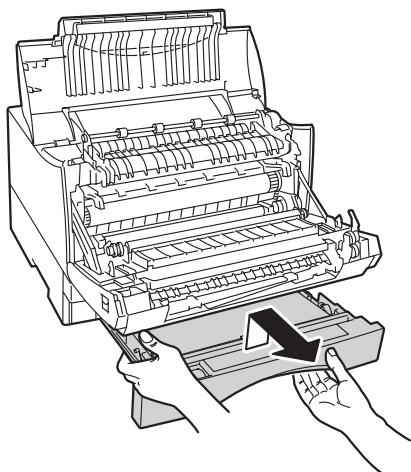


- 4** トップカバーをゆっくりと閉じる。

- 5** フロントユニットをゆっくりと閉じる。

つまった用紙が取り除かれていれば、アラームが解除され、自動的に印刷は開始されます。これで終わりです。

- 6** 標準カセット、またはMPカセットをゆっくりと取り外す。



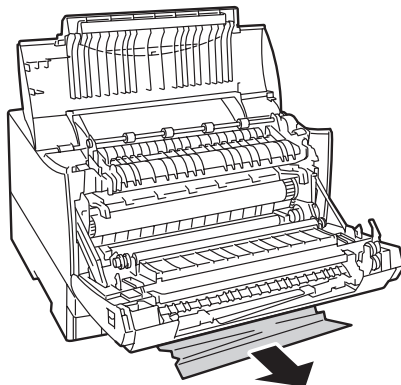
- 7** つまった用紙の両端をつまんで、ゆっくりと下方向に引き抜く。

つまっている用紙が見つからなかった場合は、そのまま次の手順へ進んでください。

— **✓** チェック —

つまった用紙は用紙カセットから取り去って、再セットしないでください。

用紙の折れ曲がりなどにより紙づまりの原因となります。



- 8** トップカバーをゆっくりと閉じる。

- 9** フロントユニットをゆっくりと閉じる。

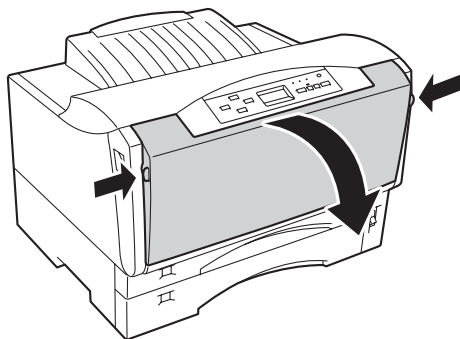
- 10** 取り外した標準カセット、またはMPカセットを取り付ける。

C 両面部の紙づまり

両面部で紙づまりが発生した場合の処理方法を説明します。

- 1 プリンターの電源をONにしたまま左右のフロントカバー開閉ボタンを押しながら手前に引いて、フロントカバーをゆっくりと開ける。

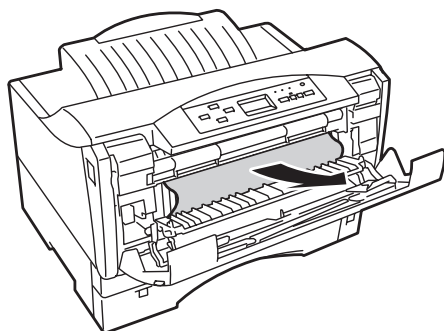
フロントカバーを60° くらいの位置まで開けます。操作パネルのディスプレイに「カバーオープン」と表示されます。



- 2 つまった用紙の両端をつまんで、ゆっくりと手前に引き抜く。

用紙が取れない、または見つからない場合はフロントカバーを閉じた後、「[回] 本体部の紙づまり」(221ページ)の手順に従って処理してください。

- 3 フロントカバーをゆっくりと閉める。



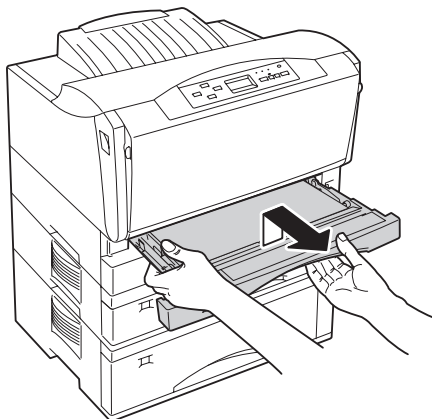
D 給紙部の紙づまり

給紙部で紙づまりが発生した場合の処理方法を、増設ホッパーを装着した場合を例にして説明します。

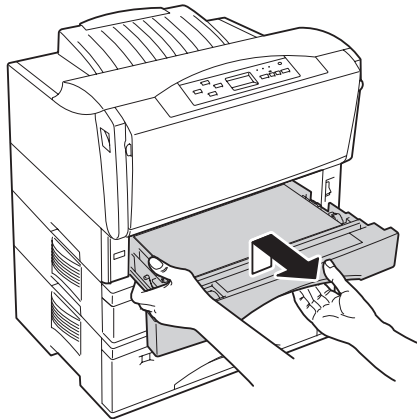
重要

- 用紙力セットを取り外すときは、両手で持ってください。
- 用紙力セットを取り外すときは、ゆっくりと引き出してください。用紙力セットを強く引き出すと、つまっている用紙が切れてしまい取り除けなくなるおそれがあります。

- 1 MPカセットをゆっくりと取り外す。



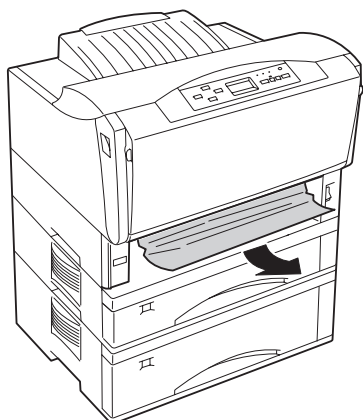
- 2 標準カセットをゆっくりと取り外す。



3 つまった用紙をゆっくり引き抜く。

用紙を強く引っ張ると、途中で切れてしまい、用紙が取りづらくなりますのでゆっくりと引き抜いてください。

つまった用紙が見つからない場合は、手順⑤に進んでください。

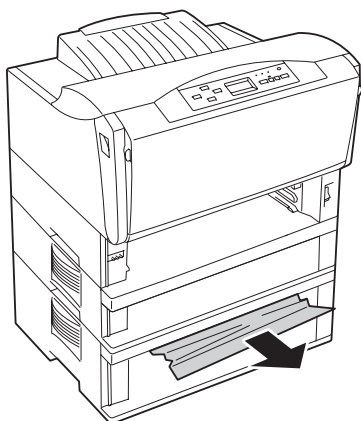


4 標準カセット、MPカセットを取り付ける。

つまった用紙が取り除かれていれば、アラームが解除され、自動的に印刷は開始されます。これで終わりです。

5 つまった用紙が見つからない場合は、増設カセットを上から順番に取り外し、つまった用紙を取り除く。

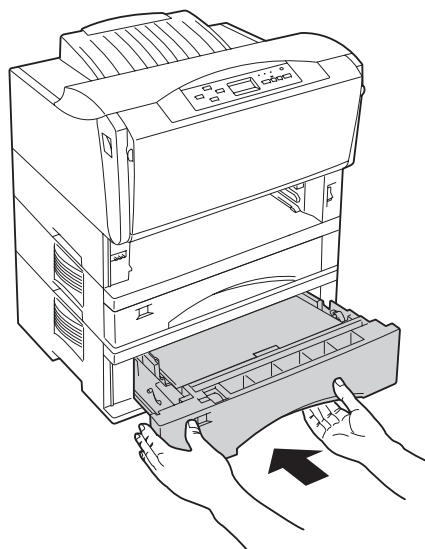
用紙を強く引っ張ると、途中で切れてしまい、用紙が取りづらくなりますのでゆっくりと引き抜いてください。



重要

用紙カセットを取り外すとき、用紙がセットされていると重くなっています。両手で持って取り外してください。

6 増設カセットを取り付ける。

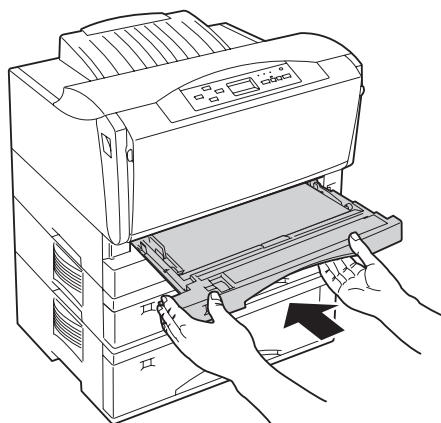


重要

用紙カセットを取り付けるとき、用紙がセットされていると重くなっています。両手で持って取り付けてください。

7 標準カセット、MPカセットを取り付ける。

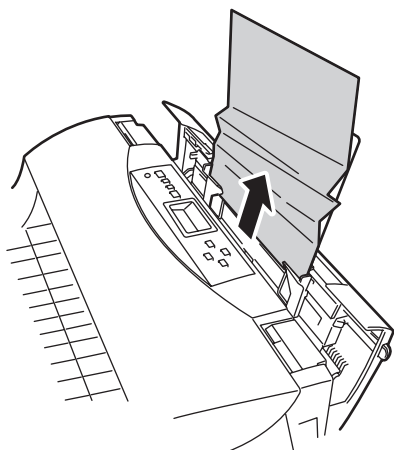
つまった用紙が取り除かれていれば、アラームが解除され、自動的に印刷は開始されます。これで終わりです。



E 手差し部の紙づまり

手差し部で紙づまりが発生した場合の処理方法を説明します。

- 1 プリンターの電源をONにしたまま、フロントカバー開閉ボタンを押しながら手前に引いてフロントカバーを開けて、つまった用紙を取り除く。



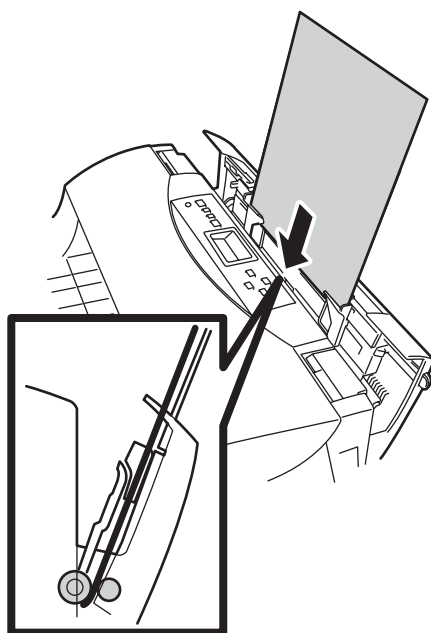
- 2 用紙が取れない、または見つからない場合は「回 本体部の紙づまり」(221ページ)の手順に従って処理する。

このとき、フロントカバーは開けておいてください。

- 3 新しい用紙を手差しの奥まで確実にセットする。

手差し用紙ガイドの位置はセットした用紙に合わせてください。

3章の「手差しに用紙をセットする」(102ページ)を参照してください。



✓ チェック

- セットする用紙の種類が正しいか確認してください。
- 給紙されなかった用紙は用紙カセットから取り去って、再セットしないでください。用紙の折れ曲がりなどにより紙づまりの原因となります。

ピックアップ、紙づまり処理後の確認

給紙できなかった用紙または、つまっていた用紙を取り除いたら、紙づまりの再発を防止するために次の事項を確認してください。

- ☐ 用紙の破片が紙づまりした場所に残っていませんか。
- ☐ 用紙は正しくセットされていますか。
- ☐ セットした用紙サイズと用紙サイズ設定ダイヤルの設定は合っていますか。
- ☐ 用紙は規格内のものを使用していますか。また、「用紙の規格」(299ページ)に記載されている事柄は守られていますか。
- ☐ 用紙の量が多すぎませんか。エンドガイドの最大積載表示(∇)以下にセットされていますか。(坪量64.0g/m²(連量55kg)の普通紙で、標準ホッパーの容量は約250枚です。)
- ☐ 一度印刷した用紙を使用していませんか。
- ☐ プレ印刷用紙(すでに罫線などが印刷されている用紙)を使用していませんか。
- ☐ フロントユニット、トップカバー、フロントカバーは確実に閉じられていますか。
- ☐ 標準カセット、MPカセット、または増設カセットが奥までまっすぐに差し込まれていますか。
- ☐ 標準カセット、MPカセット、または増設カセット内のサイドガイドおよびエンドガイドが用紙サイズに合っていますか。

上記の確認後、「テスト印刷をする」(27ページ)に従って、印刷が正しく行われることを確認してください。(紙づまり処理直後はローラーなどに付着したトナーで用紙が汚れることがあります。数ページ、テスト印刷をしてください。)

ユーザーサポートについて

NECはMultiWriter 2800N/2800/2300Nの「お客様登録」された方々にさまざまなユーザーサービスを用意しています。ユーザーサポートをお受けになる前に、ここで説明している保証およびサービスの内容について確認してください。

ユーザーサポートの内容

お客様登録申込書について

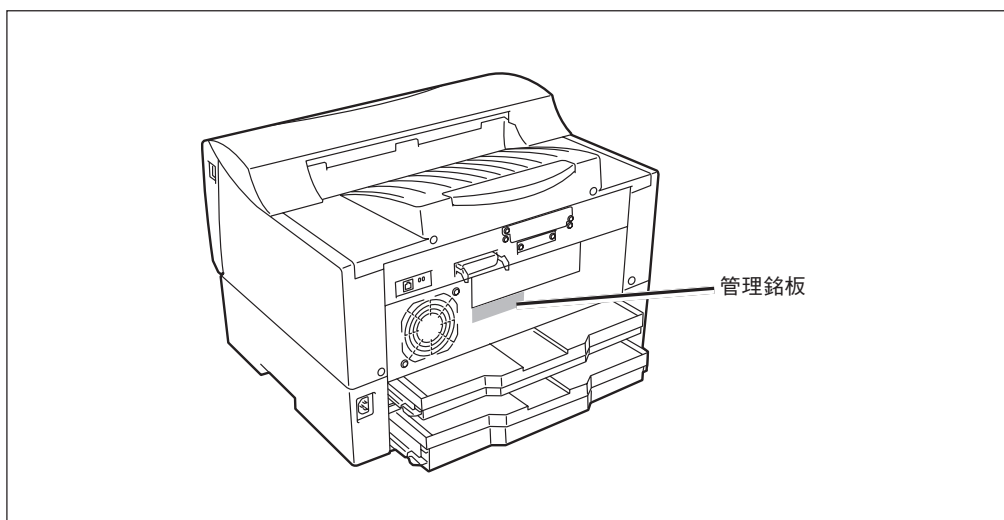
添付の「お客様登録申込書」に記載されている事項をよくお読みになり、ご記入の上、投函してください。

保証について

プリンターには「保証書」が付いています。「保証書」は販売店で所定事項を記入してお渡ししますので、記載内容を確認して大切に保管してください。保証期間中に万一故障が発生した場合は、「保証書」の記載内容に基づき、無料修理します。詳細については「保証書」、および次ページの「保守サービスについて」をご覧ください。また、プリンターに添付の「NECサービス網一覧表」に記載されているサービス窓口へお問い合わせください。

— チェック —

本体の背面に、製品の型式、SERIAL No.(製造番号)、定格、製造業者名、製造国が明記された管理銘板が貼ってあります(下図参照)。販売店またはサービス窓口にお問い合わせする際にこの内容をお伝えください。また、管理銘板の製造番号と保証書の保証番号が一致していないと、万一プリンターが保証期間内に故障した場合でも保証を受けられないことがあります。お問い合わせの前にご確認ください。



管理銘板の位置

保守サービスについて

保守サービスは純正部品を使用することはもちろん、技術力においてもご安心してご利用いただける、当社指定の保守サービス会社をご利用ください。保守サービスは以下のような種類があります。

- 契約保守 年間一定料金で契約を結び、サービス担当者を派遣するシステムです。
- 出張修理 サービス担当者がお客様のところに伺い、修理をするシステムです。料金は修理の程度、内容に応じて異なります。
- 持ち込み修理 お客様に修理品をサービス窓口にお持ち込みいただくシステムです。

種 類	概 要	修理料金		お支払い方法	受付窓口*1
		保証期間内	保証期間外		
契約保守	ご契約いただきますと、修理のご依頼に対しサービス担当者を派遣し、修理いたします。(原則として派遣日にその場で修理いたしますが、故障の程度・内容により、お引き取りして修理する場合がありますのでご了承ください。)保守料は、システム構成に応じた一定料金を前払いしていただくため一部有償部品を除き、修理完了時にその都度お支払いいただく必要はありません。保守費用の予算化が可能になります。	機器構成、契約期間に応じた一定料金		契約期間に応じて一括払い	NECフィールディング(株)
出張修理	修理のご依頼に対してサービス担当者を随時派遣し、修理いたします。(原則として派遣日にその場で修理いたしますが、故障の程度・内容により、引き取りさせていただいて修理する場合もありますのでご了承ください。)ご契約は不要です。	無料*2	修理料 ＋ 出張料	そのつど清算	
持ち込み修理	修理を経済的に済ませたい場合の保守サービスです。お客様がご自身で、最寄りの修理受付窓口へ修理品をお持ち込みください。修理後、修理完了品をお持ち帰りいただきます。	無料	修理料のみ		NECフィールディング(株) NEC Bit-INN

*1 受付窓口の所在地、連絡先などは添付の「NECサービス網一覧表」もしくは、インターネットのホームページアドレス <http://www.fielding.co.jp/per/index.htm> をご覧ください。

*2 本製品は「出張修理対象品」ですので、保証期間内の出張修理は無料です。出張修理の対象となっていない製品は出張料のみ有料となります。

ユーザーズマニュアルの再購入について

もしユーザーズマニュアルを紛失されたときは、下記のPCマニュアルセンターに品名を次のように指定してお申し込みください。ユーザーズマニュアル(コピー版)を実費で再度購入することができます。

品名 MultiWriter 2800N/2800/2300N ユーザーズマニュアル

なお、ユーザーズマニュアルの紛失に備えて、品名をメモしておくようにしてください。

PCマニュアルセンター

URL : <http://www.pcmanual.nedox.co.jp/nedox/>

電話 : 03-5476-1900

受付時間 月曜から金曜 10:00~12:00/13:00~16:00
(土曜、日曜、祭日は、ご利用になれません)

FAX : 03-5476-1967

受付時間 24時間(いただいたFAXに対するご回答は翌営業日以降となります。)

情報サービスについて

- プリンター製品に関する最新情報

インターネット NECホームページ 「121ware.com」 URL : <http://121ware.com>

- プリンターに関する技術的なご質問、ご相談

NECパソコンインフォメーションセンター

(電話番号、受付時間などについては、「NECサービス網一覧表」をご覧ください。)

プリンターソフトウェアをフロッピーディスクで必要な場合

通常プリンターソフトウェアのインストールは添付のCD-ROMから行いますが、フロッピーディスクを使ってインストールしたい場合は、いったんCD-ROMに収録されているプリンターソフトウェアをフロッピーディスクにコピーしてからインストールします。フロッピーディスクの作成手順については「FD作成」(62ページ)をご覧ください。

もし「CD-ROMドライブを持っていない」などでフロッピーディスクにコピーできない場合は、あらかじめ以下の必要事項をお調べいただき、最寄りのPCクリーンスポットまでご連絡ください。PCクリーンスポットの連絡先は、添付の「NECサービス網一覧表」をご覧ください。無償で、ご希望のフロッピーディスクをお送りします。

必要事項

- ① プリンターの名称 MultiWriter 2800N、MultiWriter 2800、またはMultiWriter 2300N
- ② プリンターの製造番号 保証書をご覧ください。9桁の英数字です。
- ③ フロッピーディスクタイプ 3.5インチ型の1.44MBタイプ^{*1}、または3.5インチ型の1.2MBタイプ^{*2}
- ④ ご住所
- ⑤ ご氏名
- ⑥ ご連絡先 昼間で連絡がとれる電話番号をお知らせください。また自宅が勤務先かも明記してください。

^{*1} PC98-NXシリーズを含むIBM PC/AT互換機(DOS/V対応機)に対応

^{*2} PC-9800シリーズに対応

修理に出す前に

「故障かな？」と思ったら、修理に出される前に以下の手順を実行してください。

- ① 電源コードおよびプリンターケーブルが正しく接続されているかどうかを確認してください。
- ② 定期的な清掃を行っていたか、またEPカートリッジの交換は確実に行われていたかを確認してください。
- ③ 本章の193～211ページをご覧ください。該当する症状があれば、記載されている処理を行ってください。

以上の処理を行っても、なお異常があるときは無理な操作をせずに、お近くのサービス窓口にご連絡ください。その際にディスプレイのアラーム表示の内容や、不具合印刷のサンプルがあればお知らせください。故障時のディスプレイによるアラーム表示は修理の際の有用な情報となることがあります。サービス窓口の電話番号、受付時間については「NECサービス網一覧表」をご覧ください。

なお、保証期間中の修理は、「保証書」を添えてお申し込みください。

またプリンターをお持ち込みいただくときは本書や梱包箱に表示されている手順を参照して、プリンターを梱包してください。

重要

海外でのご使用について

このプリンターは日本国内仕様のため、海外でご使用になる場合NECの海外拠点で修理することはできません。また、日本国内での使用を前提としているため、海外各国での安全規格などの適用認定を受けておりません。したがって、本装置を輸出した場合に当該国での輸入通関、および使用に対し罰金、事故による補償等の問題が発生することがあっても、弊社は直接・間接を問わず一切の責任を免除させていただきます。

プリンターの寿命について

MultiWriter 2800N/2800/2300Nの製品寿命は、印刷枚数が60万枚、または使用年数5年のいずれか早いほうです。MultiWriter 2800N/2800/2300Nは、10万枚ごとに定期保守が必要です。継続使用される場合や定期保守については、販売店または「NECサービス網一覧表」に記載のサービス窓口にご相談ください。

補修用部品について

本製品の補修用性能部品の最低保有期間は製造打ち切り後7年です。

プリンターを運搬するときは

引っ越しや修理などでプリンターを運搬するときは、次の手順でプリンターから付属品、消耗品、およびオプションを取り外してから行ってください。

- 1 付属品および消耗品 (EPカートリッジ、用紙カセット、用紙、電源コード、プリンターケーブル) を取り付けたときと逆の手順で取り外す。(「1章 プリンターの設置」を参照してください。)

重要

どの付属品を取り外すときも、電源がOFFになっていることを確認してください。

- 2 オプションを取り付けている場合は、各オプションの取扱説明書か、「8章 オプション」を参照して取り外す。

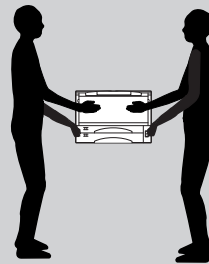
- 3 購入時の箱や緩衝材がない場合は、プリンターに衝撃を与えないよう柔らかいもので保護し、静かに運搬する。

注意

プリンターの質量はそれぞれ次のとおりです。(EPカートリッジ含まず。)

- MultiWriter 2800N : 約17.5kg
- MultiWriter 2800 : 約17.5kg
- MultiWriter 2300N : 約16.7kg

装置側面の取っ手を持ち、装置前面に手をそえて2人以上で運んでください。装置の重心は前面にありますので、前面方向へ倒れないように注意してください。1人で運ぶと腰を痛めるおそれがあります。

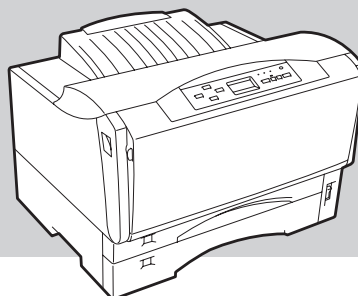


プリンター・消耗品を廃棄するときは

- プリンターの廃棄については各自治体の廃棄ルールに従ってください。詳しくは、各自治体へお問い合わせください。また、廃棄の際はEPカートリッジを取り外してお出してください。
- NECのEPカートリッジは地球資源の有効活用を目的として回収し、再利用可能な部品は再利用しています。ご使用済みのEPカートリッジは捨てずに、EPカートリッジ回収センタに直接お送りいただくか、お買い上げの販売店、または添付の「NECサービス網一覧表」に記載されているサービス施設まで、お持ち寄りください。なお、その際はEPカートリッジの損傷を防ぐため、ご購入時の梱包箱に入れてください。

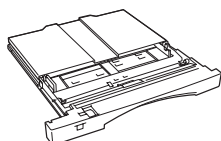
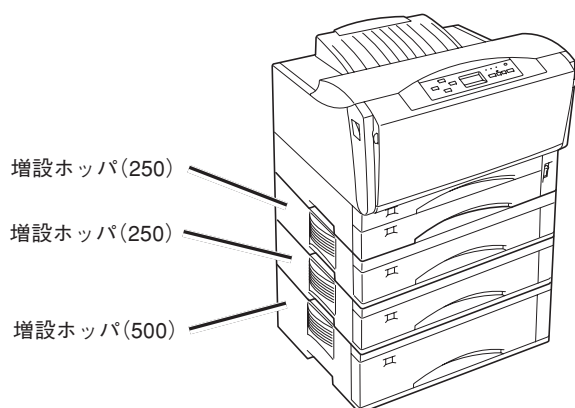
(空白ページ)

8章 オプション

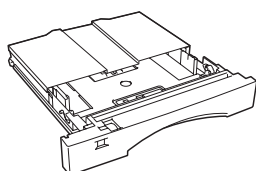


この章では、MultiWriter 2800N/2800/2300N用として提供される別売品(オプション)を紹介し、その取り付け、取り外し、テスト印刷の方法などについて説明します。

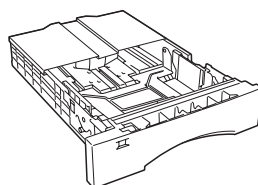
- オプション品の紹介 235ページ
- 増設ホッパー 242ページ
- LANボード 250ページ
- LANアダプター 255ページ
- 増設メモリー 257ページ
- 使用できるコンピューターとプリンターケーブル 260ページ



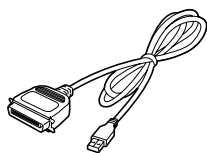
MPカセット



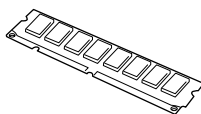
用紙カセット(250)



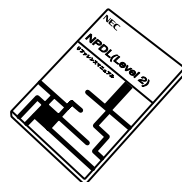
用紙カセット(500)



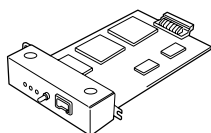
USBプリンターケーブル



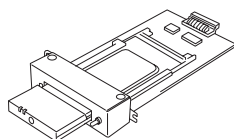
増設メモリー



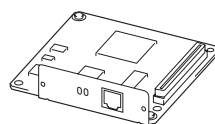
NPDL (Level 2)
リファレンスマニュアル



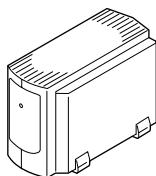
LANボード



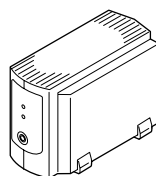
無線LANプリンタボード



LANボード(TCP/IP)
(MultiWriter 2800のみ対応)



LANアダプタ(TCP/IP)



LANアダプタ(TCP/IP)
(リモート電源制御対応)

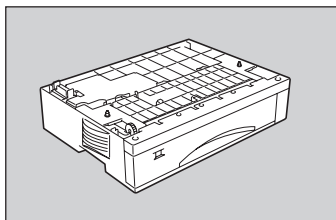
オプション一覧

オプション品の紹介

オプション品のご購入については、お買い求めの販売店、または添付の「NECサービス網一覧表」に記載されているサービス窓口などにお問い合わせください。

ホッパー・カセット

増設ホッパ(250) (型番 PR-L2300-02)



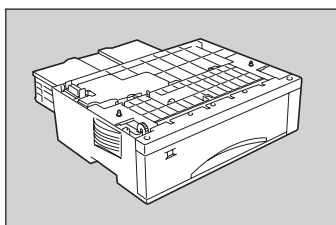
A3、A4、A5、B4、B5、レターサイズ用の紙(普通紙)を250枚までセットすることができます。

PR2000/4R-02、PR2200X-02、PR-L2200X2-02、PR-L2650-02は使用できません。

項目	型番 PR-2300-02
サイズ	459(W)×555(D)×104(H) mm (A3、B4サイズセット時、最大) 459(W)×420(D)×104(H) mm (A4、A5、B5、レターサイズセット時、最小で突起部含まないサイズ)
質量	約4.3kg
対応用紙	普通紙 A3、B4、A4、A5、B5、レター
備考	2段目、3段目、4段目*に増設可能

* MultiWriter 2800N/2800のみ増設ホッパー4段に対応しています。

増設ホッパ(500) (型番 PR-L2300-03)

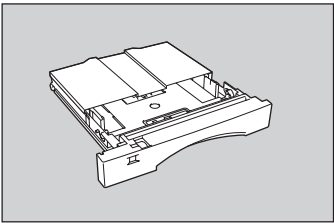


A3、A4、B4、レターサイズの用紙(普通紙)を500枚までセットすることができます。PR2000/4R-03、PR2400-03、PR2200X-03、PR-L2200X2-03、PR-L2650-03は使用できません。

項目	型番 PR-L2300-03
サイズ	459(W)×562(D)×139(H) mm (突起部を含まないサイズ)
質量	約5.5kg
対応用紙	普通紙 A3、B4、A4、レター
備考	2段目、3段目、4段目*に増設可能

* MultiWriter 2800N/2800のみ増設ホッパー4段に対応しています。

用紙カセット(250) (型番 PR-L2300-04)

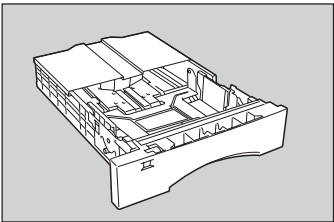


MultiWriter 2800N/2800/2300Nの標準ホッパー、増設ホッパ(250)用の用紙カセットです。各用紙サイズごとにカセットを用意して、用紙サイズを変えるときにカセットごと交換して使用する場合に便利です。

サイズ : 414(W)×555(D)×65(H)mm
(A3、B4サイズセット時、最大)
414(W)×420(D)×65(H)mm
(A4、A5、B5、レターサイズセット時、最小)

質量 : 約1.6kg

用紙カセット(500) (型番 PR-L2300-05)

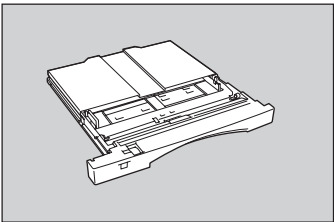


増設ホッパ(500)用の用紙カセットです。用紙サイズを変えたいときに、いちいち用紙を入れ替える必要がなく、カセットごと交換することができて便利です。

サイズ : 414(W)×562(D)×100(H)mm

質量 : 約2.5kg

MPカセット (型番 PR-L2300-MP)



MultiWriter 2800N/2800/2300NのMP用の増設MPカセットです。用紙サイズを変えたいときに、いちいち用紙を入れ替える必要がなく、カセットごと交換することができて便利です。

サイズ : 414(W)×546(D)×39(H)mm
(A3、B4サイズセット時、最大)
414(W)×411(D)×39(H)mm
(A4、A5、B5、レターサイズセット時、最小)

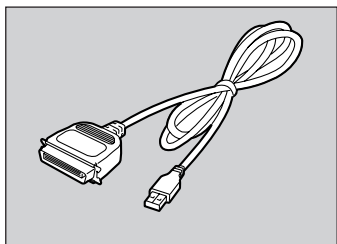
質量 : 約1.1kg

MultiWriter 2800N/2800/2300Nのそれぞれが対応しているカセットは以下のとおりです。

カセット型番	増設ホッパ (250)	増設ホッパ (500)	本体給紙部	
	PR-L2300-02	PR-L2300-03	標準ホッパー	MP
PR-L2300-04	○	X	○	X
PR-L2300-05	X	○	X	X
PR-L2300-MP	X	X	X	○

インターフェースオプション

USBプリンターケーブル(型番 PR-CA-U02)



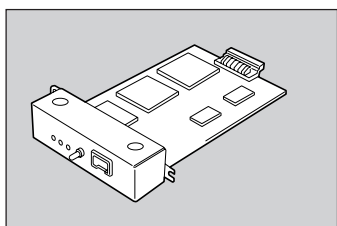
このUSBプリンターケーブルは、PC98-NXシリーズでご使用いただけます。

USBプリンターケーブルをご使用になる場合、コンピューターにUSBプリンターケーブルドライバーをインストールする必要があります。すでにコンピューターにケーブルドライバーがインストールされている場合、ケーブルドライバーのアップデートが必要になる場合があります。

USBプリンターケーブルに関する最新情報は情報サービス窓口(229ページ参照)より提供していますので、ご利用ください。(情報サービスの問い合わせ先は、USBプリンターケーブルのマニュアルを参照してください。)

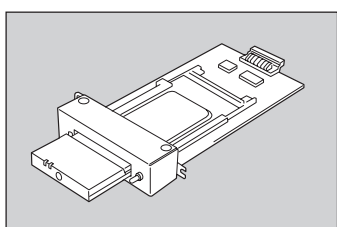
ネットワークオプション

LANボード(型番 PR-NP-01T2)



100BASE-TX、10BASE-Tインターフェースを装備し、SNMP(ネットワーク管理プロトコル)に対応している内蔵型LANボードです。さらに、MultiWriter 2800N/2800/2300Nと組み合わせることで、世界標準のPrinter-MIBに対応し、このMIBを監視するネットワーク管理ソフトウェアによって、プリンターの管理が行えます。

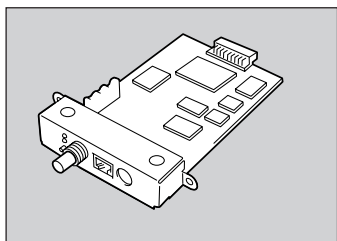
無線LANプリンタボード(型番 PR-WL-11)



転送速度最大11Mbpsの無線LAN環境にプリンターを接続する内蔵型LANボードです。従来の有線LANシステムのようにネットワークケーブルが散乱することなく、ネットワークケーブル敷設工事の必要がないため、安価に、また手軽にLAN環境が構築できます。さらに、MultiWriter 2800N/2800/2300Nと組み合わせることで世界標準のPrinter-MIBに対応し、このMIBを監視するネットワーク管理ソフトウェアによって、プリンターの管理が行えます。

無線LANプリンタボード(型番 PR-WL-11)、およびLANボード(型番 PR-NP-01T2)が対応しているPrinter-MIB、操作パネルによるIPアドレス、サブネットマスク設定の機能を有効にするためには、プリンターの動作双方向をECPモードにする必要があります。詳しくは、1章の「Step4 IPアドレスとサブネットマスクを設定する」(39ページ)を参照してください。

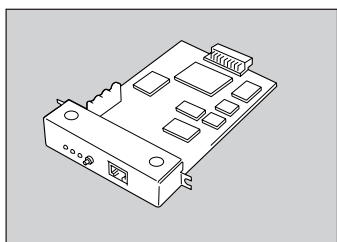
マルチプロトコルLANボード(型番 PC-PR-L01)



10BASE-2、10BASE-T、LocalTalkインターフェースを装備しているプリンター内蔵型LANボードです。

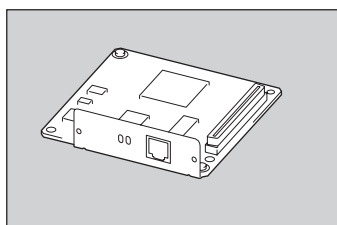
また、別売の拡張プリンタドライバ(PR2200NW2-21)を使うとMacintoshからの印刷が可能になります。

マルチプロトコルLANボード(型番 PC-PR-L02)



100BASE-TX、10BASE-Tインターフェースを装備しているプリンター内蔵型LANボードです。

LANボード(TCP/IP)(型番 PR-L2800-NP) : MultiWriter 2800のみ対応



MultiWriter 2800に対応し、100BASE-TX、10BASE-Tインターフェースを装備しているプリンター内蔵型LANボードです。

また、別売りのMacintosh拡張プリンタドライバ(型番 PR-SW-DR01)を使うとMacintoshからの印刷が可能になります。

LANボードネットワーク環境

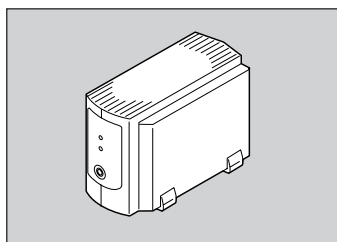
ネットワークOS		プロトコル	PR-NP-01T2	PC-PR-L01	PC-PR-L02	PR-WL-11	PR-L2800-NP
Windows	2000	TCP/IP	○	○	○	○	○
		IPP	×	×	×	×	○
	NT 3.1、3.5、3.51、4.0	TCP/IP	○	○	○	○	○
		DLC	×	○	○	×	×
		IPP*1	×	×	×	×	○
	Me/98/95	TCP/IP*2	○	○	○	○	○
		IPP*3	×	×	×	×	○
NetWare	3.11J、3.12J、4.1J、4.11J (NDS対応)	IPX/SPX	×	○	○	×	×
IntranetWare	4.11J (NDS対応)	IPX/SPX	×	○	○	×	×
LANマネージャ	OS/2 LANマネージャ2.1bおよびOS/2 LAN Server J3.0	NetBEUI	×	○	×	×	×
Macintosh	漢字Talk7.1X、7.5X、Mac OS 7.6X、8.0、8.1、8.5X、8.6、9.0X (ただしQuickDraw GXには未対応)	AppleTalk EtherTalk	×	○	×	×	×
		TCP/IP	×	×	×	×	○
UNIX		TCP/IP	○	○	○	○	○

*1 Windows NT 4.0のみNEC Internet Printing Systemにより対応します。

*2 NEC TCP/IP Printing Systemにより対応します。

*3 Windows 98/95はNEC Internet Printing Systemにより対応します。

LANアダプタ(TCP/IP)(型番 PR-NP-03TR2)



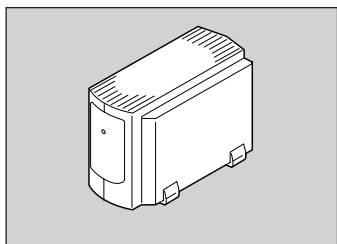
100BASE-TX、10BASE-Tインターフェースを装備し、SNMP(ネットワーク管理プロトコル)に対応している外置き型LANアダプターです。

さらに、MultiWriter 2800N/2800/2300Nと組み合わせることで、世界標準のPrinter-MIBに対応し、このMIBを監視するネットワーク管理ソフトウェアによってプリンタの管理が行えます。

PrintAgent(プリンタ管理ユーティリティ)のリモート電源制御機能を使って、コンピューターからプリンターの電源のON/OFFができます。(詳細は添付のプリンターソフトウェアCD-ROMに収録されているオンラインマニュアル「プリンターソフトウェアの詳細」をご覧ください。)

LANアダプターが対応しているPrinter-MIB、操作パネルによるIPアドレス設定などの機能を有効にするためには、プリンターの動作双方向をECPモードにする必要があります。詳しくは、1章の「Step4 IPアドレスとサブネットマスクを設定する」(39ページ)を参照してください。

LANアダプタ(TCP/IP)(型番 PR-NP-02T2)



100BASE-TX、10BASE-Tインターフェースを装備し、SNMP(ネットワーク管理プロトコル)に対応している外置き型LANアダプターです。

さらに、MultiWriter 2800N/2800/2300Nと組み合わせることで、世界標準のPrinter-MIBに対応し、このMIBを監視するネットワーク管理ソフトウェアによってプリンターの管理が行えます。

LANアダプターネットワーク環境

ネットワークOS		プロトコル	PR-NP-02T2	PR-NP-03TR2
Windows	Me/98/95 (NEC TCP/IP Printing Systemにより対応)	TCP/IP	○	○
Windows	2000	TCP/IP	○	○
Windows NT	3.1、3.5、3.51、4.0	TCP/IP	○	○*1
UNIX	—	TCP/IP	○	○

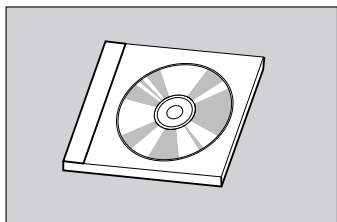
*1 Windows NT 3.1には対応していません。

LANボード/LANアダプターが対応している環境は以下のとおりです。

タイプ/ネットワーク環境	PR-NP-01T2	PC-PR-L01	PC-PR-L02	PR-L2800-NP	PR-NP-02T2	PR-NP-03TR2
内蔵型/外置き型	内蔵	内蔵	内蔵	内蔵	外置き	外置き
マルチプロトコル対応	×	○	○	×	×	×
TCP/IPプロトコル対応	○	○	○	○	○	○
リモート電源制御 対応	×	×	×	×	×	○
100BASE-TX	○	×	○	○	○	○
10BASE-T	○	○	○	○	○	○
10BASE-2	×	○	×	×	×	×
LocalTalk	×	○	×	×	×	×

Macintosh対応ドライバ

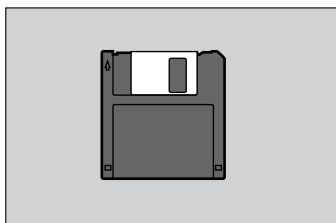
拡張プリンタドライバ(型番 PR-SW-DRO1)



MultiWriter 2800N/2300N、およびMultiWriter 2800にLANボード(TCP/IP)(型番 PR-L2800-NP)を装備したプリンターに対応したMacintosh用のQuickDrawプリンタードライバです。QuickDrawGXには対応していません。

対応OS : Mac OS 8.5、8.5.1、8.6、9.0、9.0.4

拡張プリンタドライバ(型番 PR2200NW2-21)



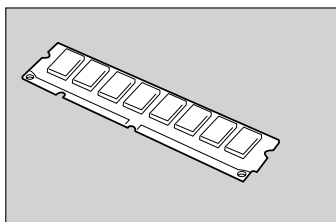
マルチプロトコルLANボード(PC-PR-L01)に対応したMacintosh用のQuickDrawプリンタードライバーです。QuickDrawGXとAdobe Acrobat 4.0には対応していません。

対応OS：漢字Talk 7.X、7.5.X、Mac OS 7.6、7.6.1、8.0、8.1、8.5、8.5.1、8.6、9.0

メモリー

増設メモリー

(型番 PR-MW-M002、PR-MW-M003、PR-MW-M004)



MultiWriter 2800N/2800/2300Nには1枚だけ取り付けることができます。取り付けることにより次の効果があります。

- 解像度1200dpiでの印刷時のメモリー不足の解消 (MultiWriter 2300Nのみ)
- 電子ソート機能
- 複雑な印刷データの印刷性能向上
- メモリー不足で印刷できない両面印刷などの解消
- フォーム登録数の増加
- 受信バッファの拡大

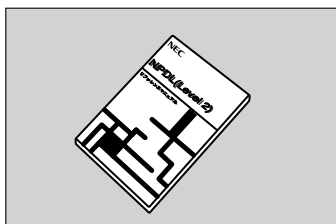
増設メモリーが対応しているメモリー容量は以下のとおりです。

品名	型番	メモリー容量
増設メモリー (64MB)	PR-MW-M002	64MB
増設メモリー (128MB)	PR-MW-M003	128MB
増設メモリー (256MB)	PR-MW-M004	256MB

リファレンスマニュアル

日本語ページプリンタ言語NPDL(Level 2)リファレンスマニュアル

(型番 PC-PRNPDL2-RM)



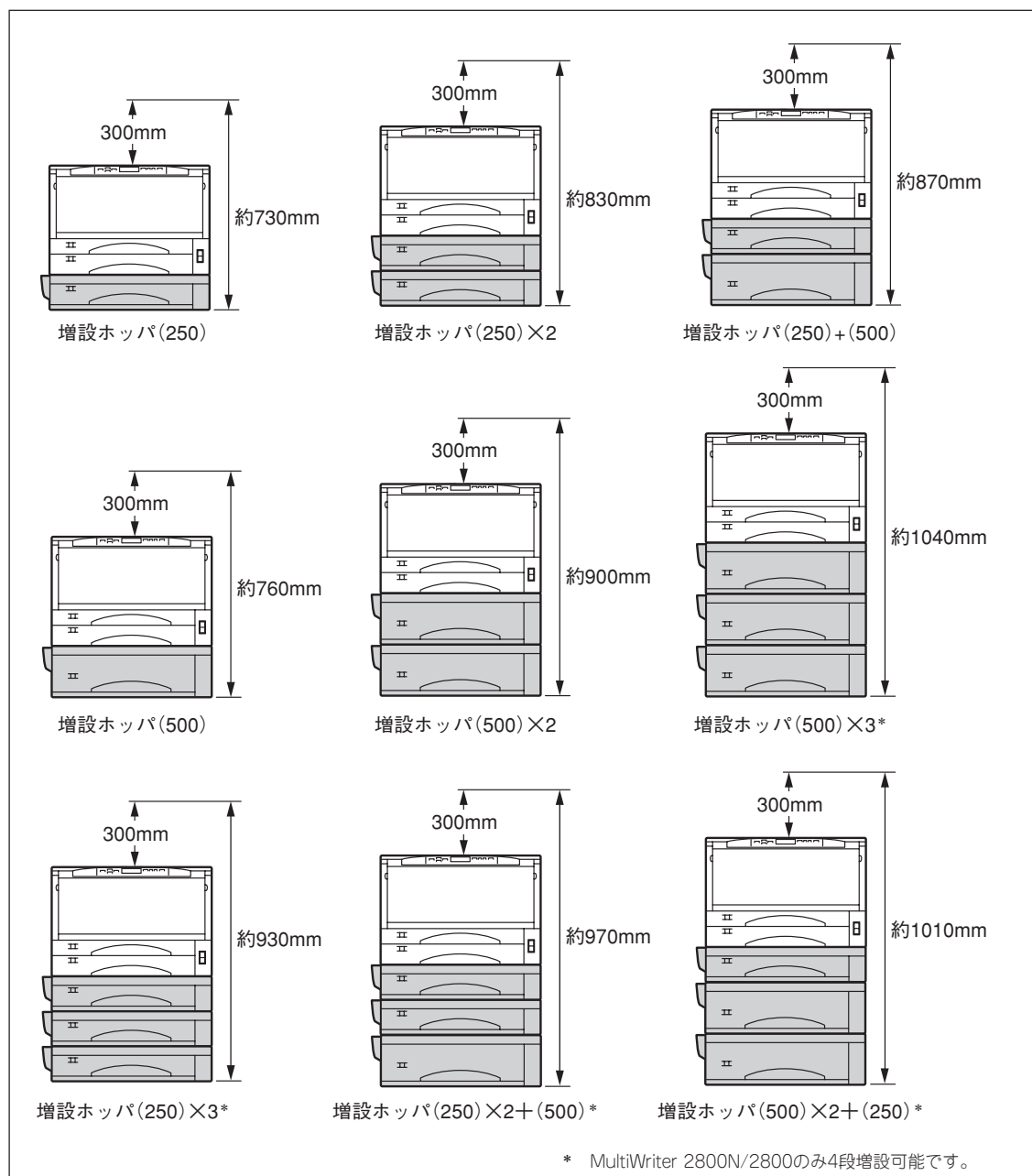
ページプリンターの様々な動作を制御する命令およびプログラミングについての詳しい解説書です。

増設ホッパー

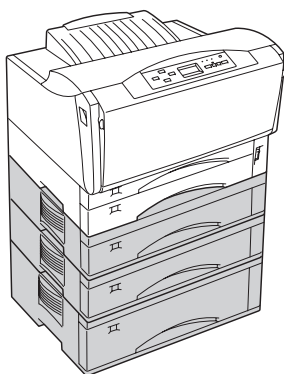
大量印刷をサポートするために、MultiWriter 2800N/2800/2300Nには型番 PR-L2300-02増設ホッパ(250)と型番 PR-L2300-03増設ホッパ(500)の2種類の増設ホッパーがそれぞれ用意されています。MultiWriter 2800N/2800は増設ホッパーを4段目まで、MultiWriter 2300Nは3段目まで増設が可能です。

増設ホッパーの設置に必要な高さ

増設ホッパーを設置するために必要な高さを示します。プリンターの周囲に必要な設置スペースについては14ページをご覧ください。



増設ホッパーの取り付け



増設ホッパ(250)/(500)は、上から2段目(ホッパー2)、3段目(ホッパー3)、4段目*(ホッパー4)どちらにでも取り付けることができます。2段目、3段目、4段目に取り付ける方法は同じです。ここでは2段目に取り付ける方法を示します。

⚠ 注意

MultiWriter 2800N/2800/2300Nは、それぞれ標準で約17.5kg/17.5kg/16.7kgの質量があります。取り付けは2名以上で行ってください。

* MultiWriter 2800N/2800のみ4段増設可能です。

🔑 重要

- 取り付け方法の詳細について、増設ホッパーに添付の取扱説明書を十分にお読みになってから取り付けてください。
- 増設ホッパーに添付の固定用ステーを必ず取り付けてプリンターと増設ホッパーを固定させてください。

1 プリンターの電源をOFFにする。

2 電源コードとプリンターケーブルをプリンターから取り外す。

🔑 重要

電源スイッチをOFFにしてください。ONにしたまま取り外すと故障の原因になることがあります。

3 プリンターを一時的に移動する。

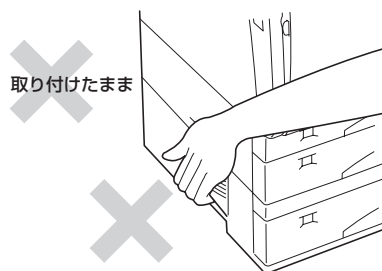
プリンターの左右の取っ手を持ち、しっかりした台や机の上に置いてください。

4 プリンターのあった場所に増設ホッパーを置く。

増設ホッパーの向きに注意してください。

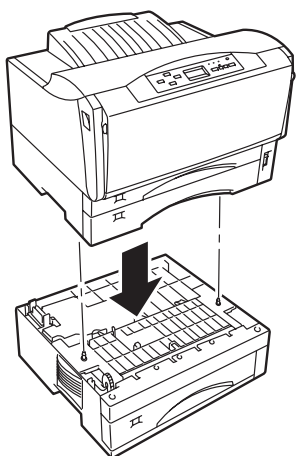
🔑 重要

増設ホッパーを運ぶ際は、増設ホッパーの左右の取っ手を持って1段ずつ運んでください。左側にある凸部は持たないでください。



5 増設ホッパーの上にプリンターを取り付ける。

取り付けピンに合わせて、プリンターを増設ホッパーの上に静かに置きます。



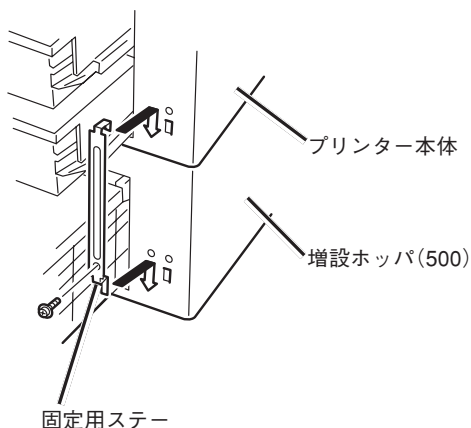
重要

増設ホッパーを3段目、(4段目*)にも取り付けられる場合は、3段目、(4段目*)の増設ホッパーを設置した後、2段目(3段目)の増設ホッパー、プリンターの順でひとつずつ載せてください。

* MultiWriter 2800N/2800のみ4段増設可能です。

6 プリンター本体と増設ホッパーを固定用ステーで固定する。

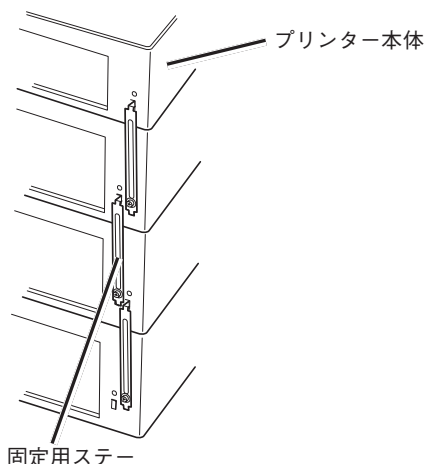
プリンター本体背面と増設ホッパー背面右側にある取り付け穴に固定用ステーの突起部を引っかけた後、ネジで1か所固定します。



7 増設ホッパーを2段、または3段増設する場合は、増設ホッパーの2段目と3段目、または3段目と4段目*を固定用ステーで固定する。

* MultiWriter 2800N/2800のみ4段増設可能です。

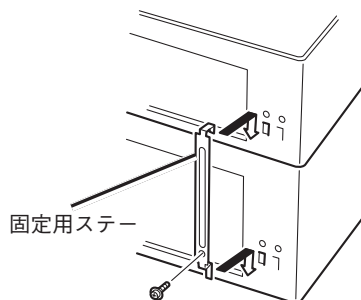
増設ホッパー背面右側にある取り付け穴に固定用ステーの突起部を引っかけた後、ネジで1か所固定します。



**MultiWriter 2800N/2800に
増設ホッパーを4段取り付けた例**

チェック

固定用ステーとネジは増設ホッパーにそれぞれ添付されており、増設ホッパ(250)用と増設ホッパ(500)用では、長さが異なります。下の段に付けた増設ホッパー用のステーをお使いください。



8 電源コードとプリンターケーブルをプリンターに取り付ける。

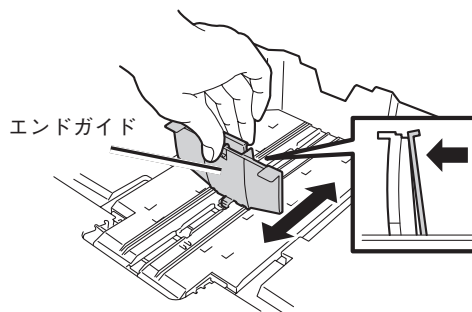
増設ホッパーへの用紙のセット

増設ホッパーへの用紙のセット方法は標準のホッパーと同じです。1章の「6 用紙をセットする」(24ページ)をご覧ください。

✓チェック

- 増設ホッパ(500)にセットできる用紙の種類、量は標準ホッパーとは異なります。増設ホッパ(500)にはA3、B4、A4、レターサイズを500枚までセットできます。また、増設ホッパ(500)の用紙力セットは縮めることはできません。
- 増設ホッパ(500)のエンドガイドは、標準のホッパー、増設ホッパ(250)のエンドガイドと形状が異なります。

増設ホッパ(500)のエンドガイドの取り外し/取り付けは下図のように左右のつまみを押しながら行ってください。エンドガイドはA3サイズ of 用紙をセットするときも使用します。



- 用紙をセットし終えた用紙力セットは重くなっています。増設ホッパーに取り付ける際は増設力セットを両手で持ってプリンターに差し込んでください。

プリンターの設定

標準では増設ホッパ(250)に設定されています。次の場合は、プリンターのメモリースイッチ(MSW)の設定を変更する必要があります。該当しない方は、次ページの「ホッパーの切り替え」へ進んでください。

- 増設ホッパ(500)を取り付けたとき
- 増設ホッパ(500)から増設ホッパ(250)に取り換えたとき

MultiWriter 2800N/2800の場合

位置	取り付けた増設ホッパー	MSWの設定
2段目	増設ホッパ (500)	MSW7-4 1
	増設ホッパ (250)	MSW7-4 0
3段目	増設ホッパ (500)	MSW7-5 1
	増設ホッパ (250)	MSW7-5 0
4段目	増設ホッパ (500)	MSW9-3 1
	増設ホッパ (250)	MSW9-3 0

MultiWriter 2300Nの場合

位置	取り付けた増設ホッパー	MSWの設定
2段目	増設ホッパ (500)	MSW7-4 1
	増設ホッパ (250)	MSW7-4 0
3段目	増設ホッパ (500)	MSW7-5 1
	増設ホッパ (250)	MSW7-5 0

次の手順は2段目に増設ホッパ(500)を取り付けたときの操作パネルによる設定の変更方法です。3段目、4段目*に取り付ける場合も同様の手順で行います。

* MultiWriter 2800N/2800のみ4段増設可能です。

① プリンターの電源をONにする。

② [メニュー]スイッチを押して、メニューモードに入る。

[印刷可]スイッチを押してプリンターをディセレクト状態にし、[メニュー]スイッチを押して“テストメニュー →”を表示させます。

テストメニュー →

③ [▲]スイッチを1回押す。

“メモリスイッチメニュー →”と表示されます。

メモリスイッチメニュー →

④ [▶]スイッチを1回押す。

MSW1が表示されます。

←MSW1 1 2 3 4 5 6 7 8
0 0 0 0 0 0 0 0 *

⑤ [▲]スイッチまたは[▼]スイッチを押して、MSW7を表示させる。

1 2 3 4 5 6 7 8
←MSW7 0 0 0 0 0 0 0 0 *

⑥ [▶]スイッチを3回押して、カーソルをMSW7-4に移動させる。

1 2 3 4 5 6 7 8
←MSW7 0 0 0 0 0 0 0 0 *

⑦ [設定変更]スイッチを押して、MSW7-4を1に変更する。

1 2 3 4 5 6 7 8
←MSW7 0 0 0 1 0 0 0 0 *

⑧ [印刷可]スイッチを押して、メニューモードを終了させる。

これで設定完了です。

ホッパーの切り替え

取り付けた増設ホッパーから給紙するためには、操作パネル上でホッパー表示を「ホッパ2」、「ホッパ3」、または「ホッパ4」*にします。

* MultiWriter 2800N/2800のみ4段増設可能です。

ホッパーの選択には、選択した状態をどこまで維持させるかによって、2つの方法があります。

- プリンターが初期化されるまで維持する方法 [ホッパ]スイッチによる切り替え
- プリンターが初期化されても増設ホッパーが選択される方法 メニューモードによる切り替え

次にそれぞれの選び方について説明します。

プリンターが初期化されるまで維持する方法

操作パネルの「ホッパ」スイッチを使って増設ホッパーを選択します。

- ①** [印刷可]スイッチを押し、印刷可ランプを消灯させる。

- ②** [ホッパ]スイッチを押し、ディスプレイの表示を“ホッパ2”、“ホッパ3”または“ホッパ4”※にする。

ホッハ° 2 A4ヨコ ホ° -ト

* MultiWriter 2800N/2800のみ4段増設可能です。

- 3** [印刷可]スイッチを押し、印刷可ランプを点灯させる。

- ④** コンピューターからデータを送る。

この状態は、以下の方法で変更しない限り、設定は維持されます。

- 同じ方法でホッパーの選択を変更する
- 手差し給紙に変更する
- 電源をOFFにする
- コンピューターから変更
- プリンターを初期化する

プリンターが初期化されても増設ホッパーが選択される方法

メニューモード内のプリンターの初期設定を変更します。

- ① メニューモードに入る。

[印刷可]スイッチを押してプリンターをディセレクト状態にし、[メニュー]スイッチを押して“テストメニュー →”を表示させます。

テストメニュー →

- ② [▼]スイッチを2回押す。

“ヨウシメニュー →”と表示されます。

ヨウシメニュー →

- ③ [▶]スイッチを2回押す。

ホッパー初期設定の表示になります。

ホッハ° ショキセツテイ
← ホッハ

- 4** [設定変更]スイッチを押して、ディスプレイ下段を “← ホツパ2*”、 “← ホツパ3*” または “← ホツパ4*” に変更する。

ホッハ° ショキセツテイ
← ホッハ° 2*

* MultiWriter 2800N/2800のみ4段増設可能です。

- 5** [印刷可]スイッチを押し、印刷可ランプを点灯させる。

ディスプレイ上段に“ホッパ2 ×× ×××”、
“ホッパ3 ×× ×××”、または“ホッパ4 ××
×××”*と表示されていれば設定は完了です。表
示されていないときはもう一度最初からやり直して
ください。

ホッパ° 2 A4ヨコ ホ° - ト
N P D L

この状態は、同じ方法でホッパーの選択を変更しないかぎり維持されます。

リレー給紙について

印刷しているホッパー、またはMPの用紙がなくなったときに、自動的に別の給紙先から用紙を吸入し印刷を続ける機能です。ホッパー、MP、または増設ホッパーを装着し、同じ用紙サイズ of 用紙をセットした場合のみ実現できます。

リレー給紙を有効にするために、メニューモードのリレー給紙設定をする必要があります。以下の手順で印刷してください。詳しい手順は、4章の「リレー給紙の設定」(128ページ)を参照してください。

① メニューモードに入る。

[印刷可]スイッチを押してプリンターをディセレクト状態にし、[メニュー]スイッチを押して“テストメニュー →”を表示させます。

② 操作パネルの[▼]スイッチ、[▶]スイッチ、[設定変更]スイッチを押して、“リレーキューウシ”をONにする。

✓ チェック

リレー給紙させるホッパーまたはMPの全てを“リレーキューウシ”ONにしてください。

③ [メニュー終了]スイッチを押す。

④ 設定が終わったら、リレー給紙を有効にしたホッパーまたはMPの用紙サイズ、用紙の種類、用紙のセット方向が同じになっているか確認する。

⑤ プリンタードライバーのプロパティダイアログボックスの[用紙]シートで、給紙方法が[自動]になっていることを確認する。

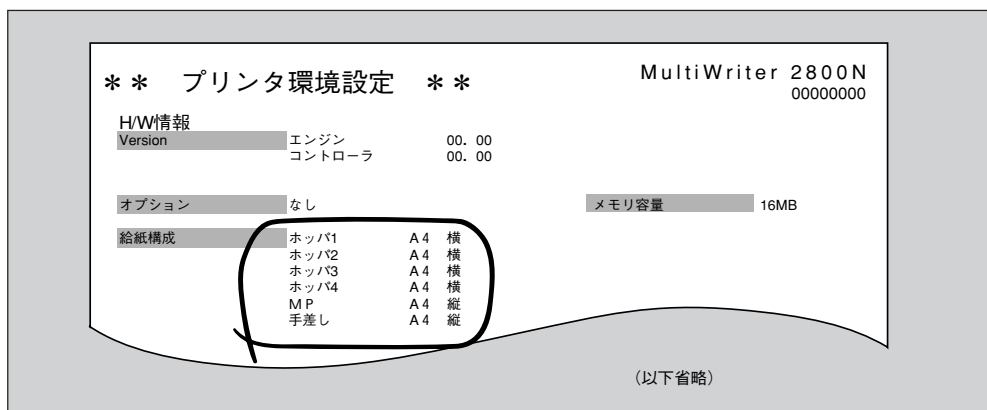
⑥ [印刷]ダイアログボックスで印刷範囲、印刷部数を指定し、[OK]をクリックして印刷する。

テスト印刷

増設ホッパーが正しく取り付けられたことを確認するために、テスト印刷のステータス印刷を行います。手順については1章の「8 テスト印刷をする」(27ページ)を参照してください。

2段目に増設ホッパーが取り付けられ、用紙が正常に給紙された場合、次のように「ホッパ2」と印刷されます。3段目に取り付けの場合は「ホッパ3」、4段目に付け付けた場合は「ホッパ4」*と印刷されます。

* MultiWriter 2800N/2800のみ4段増設可能です。



増設ホッパーのステータス印刷の例

ステータス印刷が終了すると、自動的に印刷可ランプが点灯し、印刷できる状態になります。これで、増設ホッパーの取り付けは完了です。

増設ホッパーの取り外し

増設ホッパーを取り外す場合は次の手順で行ってください。2段目と3段目、4段目*の取り外し方法は同じです。ここでは2段目を取り外す方法を示します。

* MultiWriter 2800N/2800のみ4段増設可能です。

⚠ 注意

- プリンターを1人で持ち上げないでください。1人で運ぶと腰を痛めるおそれがあります。プリンターを移動する時には、必ず2人以上で行ってください。MultiWriter 2800N/2800/2300Nは、それぞれ標準で約17.5kg/17.5kg/16.7kgの質量があります。
- プリンターに増設ホッパーを取り付けたまま、運搬、移設しないでください。プリンターや増設ホッパーを落下させ、破損するおそれがあります。運搬および移設の際は、必ず固定用ステーを取り外し、プリンター、増設ホッパーの順にそれぞれ持ち上げてください。

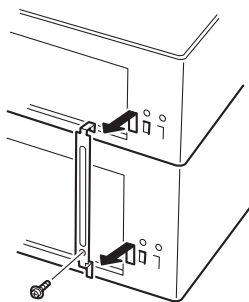
重要

取り外し方法の詳細について、増設ホッパーに添付の取扱説明書を十分にお読みになってから取り外してください。

- 1 プリンターの電源をOFFにし、電源コード、プリンターケーブルをプリンターから取り外す。

- 2 増設ホッパーを固定した固定用ステーを取り外す。

1か所のネジをそれぞれ外してから、固定用ステーを取り外します。



重要

取り外した固定用ステーは増設ホッパーと一緒に大切に保管してください。

- 3 プリンターを増設ホッパーから取り外し、一時的に台や机の上に置く。

重要

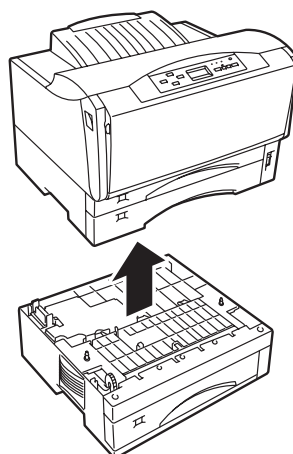
プリンターを持ち上げるとき、取っ手以外の場所を持たないでください。プリンターが破損することがあります。

- 4 増設ホッパーを台の上から外す。

3段目の増設ホッパーが取り付けられている場合は、プリンター、2段目の増設ホッパーを一時的に台や机の上に置いてから3段目を移動させてください。

重要

増設ホッパーを運ぶときは、増設ホッパーの左右の取っ手を持って運んでください。左側にある凸部は持たないでください。



- 5 プリンターを元の位置に置く。

- 6 電源コードとプリンターケーブルを取り付ける。

LANボード

MultiWriter 2800N/2800/2300Nをネットワークに接続するためのLANボードはPC-PR-L01、PC-PR-L02、PR-NP-01T2、PR-WL-11、PR-L2800-NP(MultiWriter 2800のみ対応)の5種類が用意されています(詳細は238ページ参照)。

それぞれのLANボードの取り付け・取り外し手順を説明します。なお、LANボードのPC-PR-L01、PC-PR-L02、PR-NP-01T2、PR-WL-11の取り付け手順は同じです。

使い方や操作方法については、LANボードに添付の取扱説明書をご覧ください。

重要

- LANボードは大変デリケートな電子部品です。ボードを取り扱うときは、プリンター背面のコネクターが付いているフレームなどに触れて身体の静電気を逃がしてから行ってください。また、ボードは端の部分を持って取り扱い、表面の部品には触れないようにしてください。
- MultiWriter 2800の場合でLANボード(型番 PC-PR-L01、PC-PR-L02、PR-NP-01T2、PR-WL-11)をご使用の場合は、[インタフェース2]コネクターは使用できません。プリンターケーブルは取り外してください。
- MultiWriter 2800N/2300Nの場合で[インタフェース2]のLANボード用スロットにLANボードを取り付けた場合は、[インタフェース3]のネットワークインターフェースは使用できません。

LANボードの取り付け

ここでは、PR-WL-11無線LANプリンタボードの取り付け手順を説明します。他のPC-PR-L01、PC-PR-L02、PR-NP-01T2の取り付け手順も同様の手順です。

- 1 プリンターの電源をOFFにし、電源コードとプリンターケーブルをプリンターから取り外す。

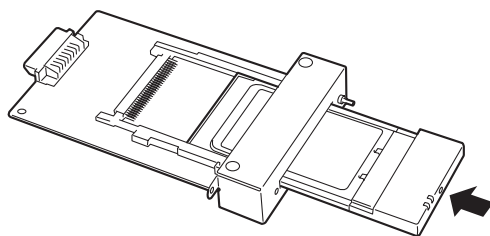
重要

電源は確実にOFFにしてください。ONにしたまま取り付けると、故障の原因となることがあります。

- 2 無線LANカードを無線LANプリンタボードのスロットに差し込みます。

チェック

この手順は無線LANプリンタボードでのみ必要な手順です。



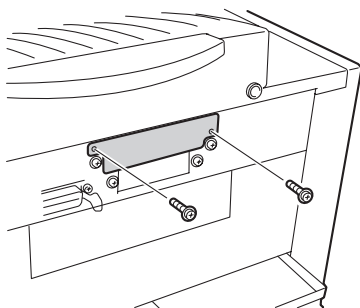
重要

MACアドレスが記載されているラベルが貼られている面を下にして、カードをスロットに差し込んでください。向きを間違えると故障や発火の原因となります。

- ③** LANボード用スロットからネジ2本を外して、プレートを取り外す。

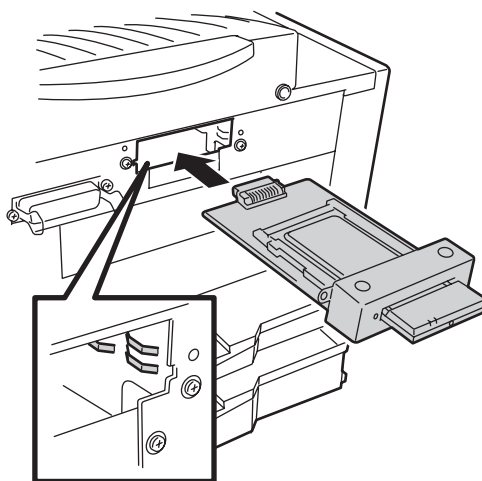
— チェック —

LANボード用スロットのプレートは大切に保管しておいてください。ボードを取り外しプリンターを元に戻すときに必要です。

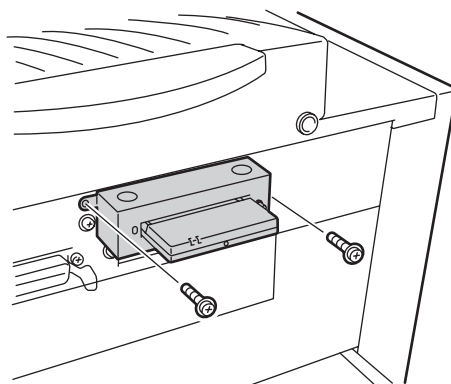


- ④** LANボードのネットワークコネクタを手前にして、ガイドレールに沿ってLANボードを差し込む。

手ごたえがあるまで押し込みます。



- ⑤** ネジ2本でLANボードを固定する。



LANボードの取り外し

PR-WL-11、PC-PR-L01、PC-PR-L02、PR-NP-01T2を取り外すときは、取り付けの手順⑤から逆に行ってください。

LANボード(TCP/IP)(型番 PR-L2800-NP)の取り付け

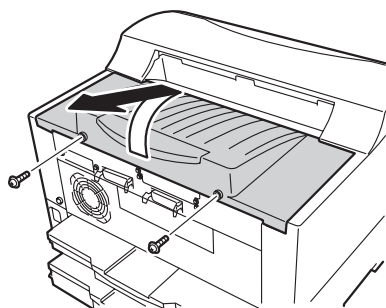
LANボード(TCP/IP)(型番 PR-L2800-NP)はMultiWriter 2800にのみ対応しています。

- 1 プリンターの電源をOFFにし、電源コードとプリンターケーブルをプリンターから取り外す。

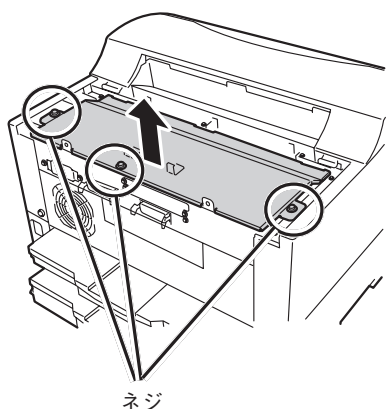
重要

電源は確実にOFFにしてください。ONにしたまま取り付けると、故障の原因となることがあります。

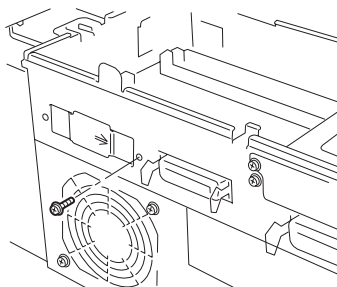
- 2 ネジ2本を外して、プリンター上部にあるリアカバーを取り外す。



- 3 コントロールカバーに刻印された矢印で示すネジ(3か所)をゆるめ、コントロールカバーを取り外す。



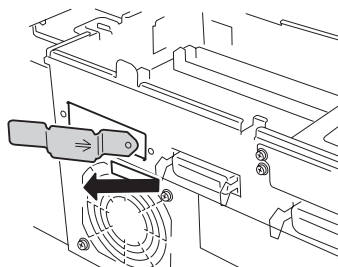
- 4 「インターフェース3」と刻印されたインターフェース3のLANボード用スロットの1か所のネジを外す。



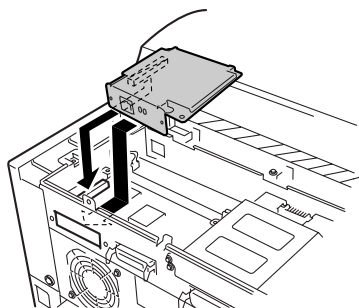
- 5 インターフェース3のLANボード用スロットのプレートを右にスライドさせて、取り外す。

チェック

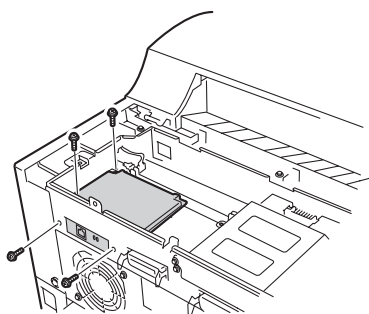
インターフェース3のLANボード用スロットのプレートは大切に保管しておいてください。LANボードを取り外して、プリンターを元に戻すときに必要です。



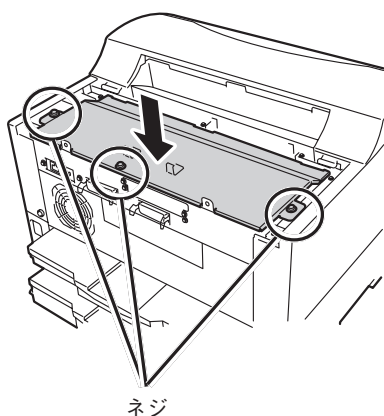
- 6 イーサネットコネクタ側をインターフェース3のLANボード用スロットに差し込み、プリンターのコネクタとLANボードのコネクタを接続する。



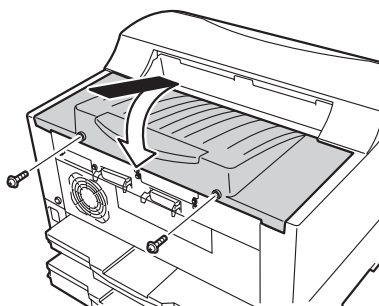
- 7** LANボードに添付のネジ4本でLANボード (TCP/IP)を固定する。



- 8** コントロールカバーを取り付け、表面に刻印された矢印で示すネジ(3か所)で固定する。



- 9** リアカバーを取り付け、ネジ2本で固定する。



次の手順は、1章の「10 ネットワークに接続する」(30ページ)をご覧ください。

LANボード(TCP/IP)(型番 PR-L2800-NP)の取り外し

PR-L2800-NPを取り外すときは、取り付けの手順を逆に行ってください。

LANボード取り付け後の注意事項

LANボードを取り付けた後に使用できるインターフェースは以下の表のとおりです。

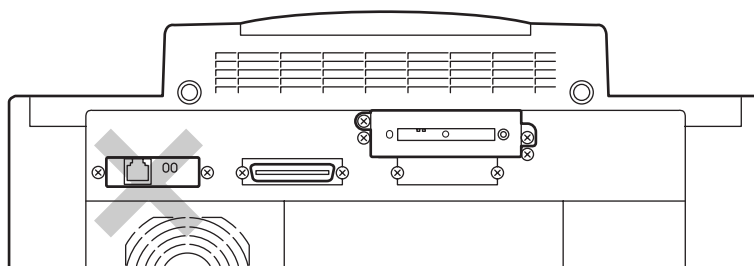
MultiWriter 2800N/2300Nの場合

ネットワークオプション	動作可能インターフェース		
	[インタフェース1]	[インタフェース2]	[インタフェース3]
標準 (オプションなし)	○	---	○
LANボード*	○	○	×
無線LANプリンタボード (PR-WL-11)	○	○	×

* 対応しているLANボードは、PR-NP-01T2、PC-PR-L01、PC-PR-L02です。



MultiWriter 2800N/2300Nの場合、[インタフェース2]のLANボード用スロットにLANボードを取り付けると[インタフェース3]のインタフェースコネクタは使用できません。



無線LANプリンタボード取り付け時

MultiWriter 2800の場合

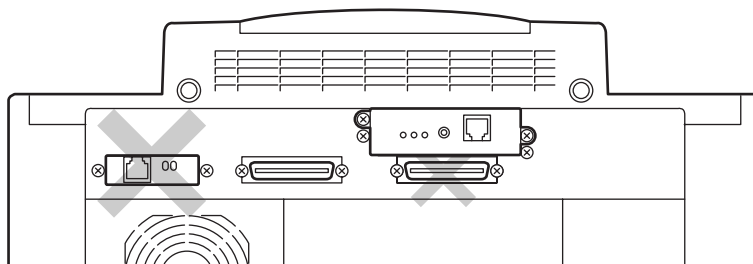
ネットワークオプション	動作可能インターフェース		
	[インタフェース1]	[インタフェース2]	[インタフェース3]
標準（オプションなし）	○	○	—
LANボード（PR-L2800-NP）	○	×	○
無線LANプリンタボード（PR-WL-11）	○	○*2	×
PR-L2800-NP + LANボード*1またはPR-WL-11	○	○*2	×

*1 対応しているLANボードは、PR-NP-01T2、PC-PR-L01、PC-PR-L02です。

*2 パラレルインターフェースコネクタは使用不可です。



MultiWriter 2800の場合、[インタフェース2]および[インタフェース3]のLANボード用スロットにLANボードを取り付けると[インタフェース2]のパラレルインタフェースコネクタは使用できません。



LANボード(PR-L2800-NP、PR-NP-01T2)取り付け時

LANアダプター

MultiWriter 2800N/2800/2300Nをネットワークに接続するためにLANアダプターはPR-NP-02T2、PR-NP-03TR2の2種類が用意されています。(239ページ参照)

LANアダプターの取り付け・取り外し手順を説明します。なお、PR-NP-02T2、PR-NP-03TR2の取り付け手順は異なります。LANアダプターに添付の取扱説明書をご覧ください。

使い方や操作方法については、LANアダプターに添付の取扱説明書をご覧ください。

—✓チェック—

LANアダプターのコネクター部には手を触れないでください。手を触れると、コネクター部の接点が汚れ、接触不良になることがあります。

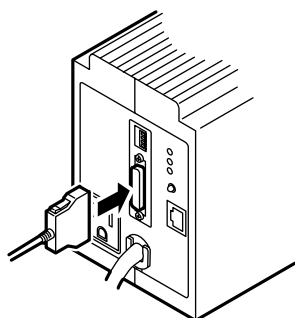
LANアダプターの取り付け

- 1 プリンターの電源をOFFにし、電源コード、プリンターケーブルをプリンターから取り外す。

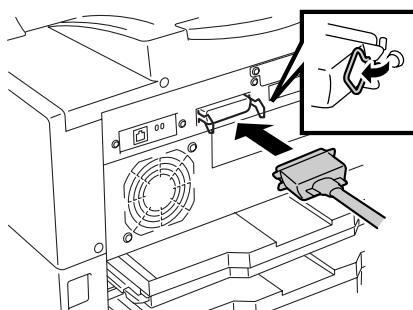
—重要—

電源は確実にOFFにしてください。ONにしたまま取り付けると、故障の原因となることがあります。

- 2 LANアダプターの電源をOFFにし、LANアダプターの電源コードを抜く。
- 3 LANアダプターのインターフェース用ソケットとプリンターのインターフェースコネクターをLANアダプター添付のプリンターケーブルで接続する。



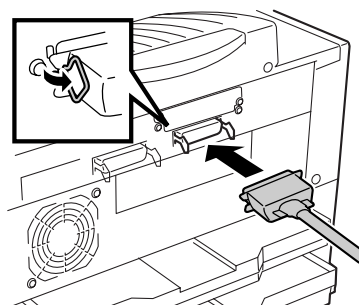
LANアダプター



プリンターの[インターフェース1]コネクター

—✓チェック—

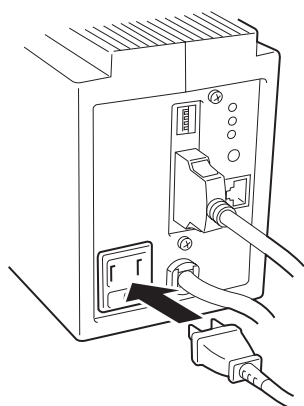
MultiWriter 2800で[インターフェース3]のLANボード用スロットにすでにLANボードが取り付けられている場合は、[インターフェース1]コネクターをお使いください。



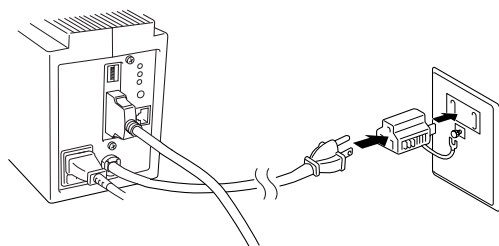
プリンターの[インターフェース2]コネクター
(MultiWriter 2800の場合のみ)

④ プリンターの電源コードのプラグをLANアダプター背面のACコンセントに差し込む。

LANアダプタ(型番 PR-NP-02T2)の場合は、プリンターの電源コードをACコンセントに差し込んでください。



⑤ LANアダプターの電源コードをコンセントに差し込む。



✓チェック

LANアダプターの電源コードは3極プラグです。2 極の壁付き A C コンセント (AC100V、電源容量15A以上)に差し込む場合は、3極/2極変換プラグをご使用ください。

⑥ LANアダプター前面のランプが緑色に点灯することを確認する。

ご使用の際には、以下の手順で電源を入れてください。

PR-NP-03TR2の場合：
プリンターの電源を入れてからLANアダプター前面のスイッチを押します。

PR-NP-02T2：プリンターの電源を入れます。

LANアダプターの取り付け

LANアダプターを取り外すときは、取り付けの手順⑤から逆に行ってください。

増設メモリー

増設メモリーを取り付けることで、次のような効果があります。

- 電子ソート機能を有効にする
- フォーム登録数の増加
- 受信バッファの拡大
- 両面印刷や解像度1200dpiでの印刷時のメモリー不足の解消
- 複雑な印刷データの印刷性能向上

MultiWriter 2300Nをお使いのお客様へ

MultiWriter 2300Nは、標準メモリー(16MB)でも1200dpiでの印刷は可能です。さらに印刷性能の向上のためにメモリー増設をお勧めいたします。

重要

指定のDIMMタイプの増設メモリーを使用してください。指定以外の増設メモリーを使用すると、故障の原因となることがあります。

増設メモリーの取り付け

重要

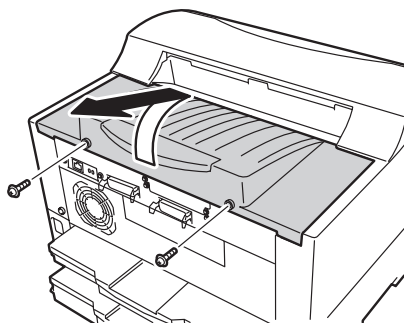
増設メモリーは大変デリケートな電子部品です。増設メモリーを取り扱うときは、プリンター背面のインターフェースコネクタが付いているフレームなどに触れて身体の静電気を逃がしてから行ってください。また、ボードは端の部分を持って取り扱い、表面の部品には触れないようにしてください。

- 1 プリンターの電源をOFFにし、電源コードとプリンターケーブルをプリンターから取り外す。

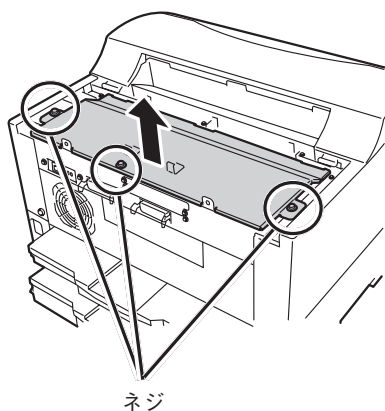
重要

電源は確実にOFFにしてください。ONにしたまま取り付けると、故障の原因となることがあります。

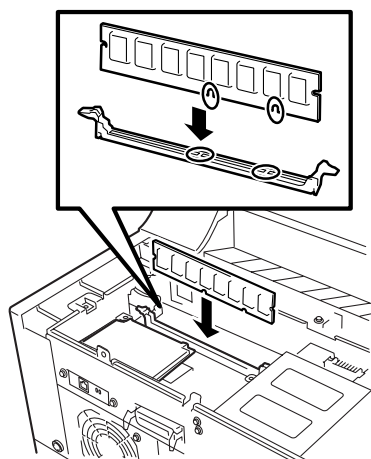
- 2 ネジ2本を外して、プリンター上部にあるリアカバーを取り外す。



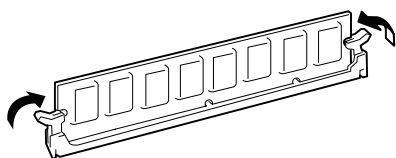
- 3** コントロールカバーに刻印された矢印で示すネジ(3か所)をゆるめ、コントロールカバーを取り外す。



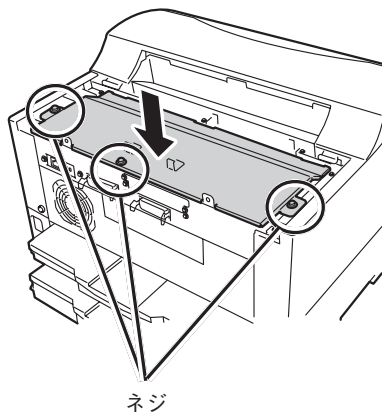
- 4** 両端のイジェクターを開き、切り欠き部をそろえ、「ガチッ」という音がするまでソケットに押し込む。



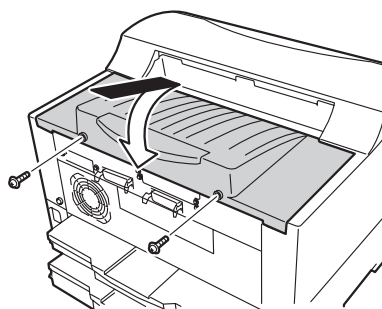
- 5** イジェクターが立ち上がり、しっかり固定できたことを確認する。



- 6** コントロールカバーを取り付け、表面に刻印された矢印で示すネジ(3か所)で固定する。



- 7** リアカバーを取り付け、ネジ2本で固定する。

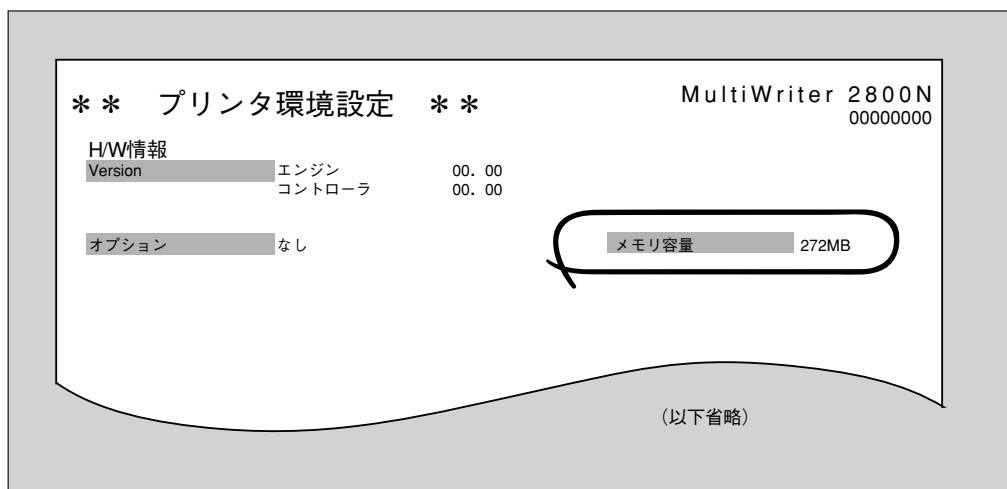


- 8** 電源コードとプリンターケーブルを取り付ける。

テスト印刷

増設メモリーが正しく取り付けられたかを確認するためにテスト印刷のステータス印刷を行います。手順については、1章の「8 テスト印刷をする」(27ページ)を参照してください。

次のように印刷されていれば、増設メモリーは正しく取り付けられたことになります。



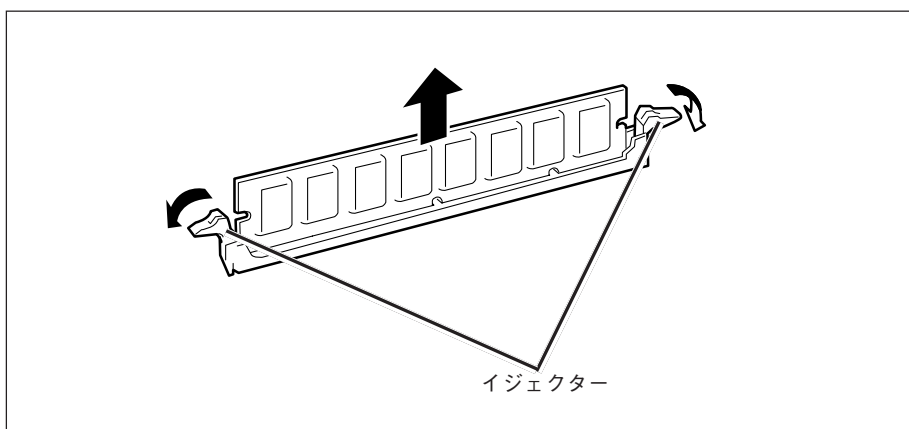
増設メモリーを増設したステータス印刷の例(256MBの場合)

ステータス印刷が終了すると、自動的に印刷可ランプが点灯し、印刷できる状態になります。これで増設メモリーの取り付けは完了です。

増設メモリーの取り外し

増設メモリーを取り外すときは、プリンターの電源をOFFにし、電源コードをプリンターから取り外し、取り付けの手順を逆に行ってください。

なお、増設メモリーを取り外すときはイジェクターを横に押し広げてください。



使用できるコンピューターと プリンターケーブル

MultiWriter 2800N/2800/2300Nで使用できるプリンターケーブルは次の表のとおりです。

コンピューター		プリンターケーブル*1
PC98-NXシリーズを含むIBM PC/AT互換機（DOS/V対応機）	PC98-NXシリーズ	PC-PRCA-01 PC-CA205*2 PR-CA-U02*3
	IBM、富士通、東芝、Compaq、DELL、その他各社	PC-PRCA-01
PC-9800シリーズ デスクトップタイプ ミニタワータイプ	98MATEシリーズ（除くAp・As・Ae・Af） 98MATEサーバシリーズ 98FELLOWシリーズ（除くBA・BX） 98MULTiシリーズ（除くCe） 98MULTi CanBeシリーズ VALUE STARシリーズ CEREB 98FINE PC-H98シリーズ *5	PC-CA202*4 PC-CA204*2
	PC-98XA・XL・XL・RL *5	PC-PR801-21 （パソコン本体に標準添付）
	上記以外の14ピンパラレルインターフェースを持つデスクトップタイプ	PC-CA203*2
98サーバシリーズ	SV-H98シリーズ *5 SV-98シリーズ	PC-CA202*4 PC-CA204*2
98NOTEシリーズ	Lavieシリーズ Aileシリーズ 98NOTE Light PC-9821Nf・Np・Nx・Nd・Nm・Ne3・Ne2・Nd2 PC-9801NL/A・NS/A	PC-CA202*4 PC-CA204*2
	上記以外の20ピンパラレルインターフェースを持つ98NOTEシリーズ	PC-9801N-19
PC-9800シリーズ ラップトップタイプ	PC-9821Ts	PC-CA202*4 PC-CA204*2
プリンタ増設インタフェースボード（PC-9801-94）		PC-CA202*4 PC-CA204*2

*1 他社のケーブルをお使いになる場合、運用した結果の影響については責任を負いかねます。

*2 PC-CA203、PC-CA204、PC-CA205のケーブルの長さは4.0m。

*3 USBプリンターケーブルに関する最新情報は、情報サービス窓口（229ページ）より提供していますので、ご利用ください。

*4 ケーブルの長さは1.5m。

*5 ハイレゾリューションモードでは、プリンタステータスウィンドウ機能、音声メッセージ機能は利用不可。

✓チェック

- 一部のコンピューターによっては、CPUの性能によりPrintAgentの動作が不安定または動作しないものがあります。
- PrintAgentはプリンタステータスウィンドウの表示に加えて音声メッセージを通知させることもできます。この機能を利用できるのはPCM録音・再生など「サウンド機能」を持ったコンピューターです。お手持ちのコンピューターが音声メッセージ機能を使用できるかどうかはコンピューターに添付のマニュアルをご覧ください。

第2部

IPP・LPR印刷の設定

MOPYING

MultiWriter

Network

***Compact
Speedy
High quality***

MultiWriterを使ったネットワーク印刷

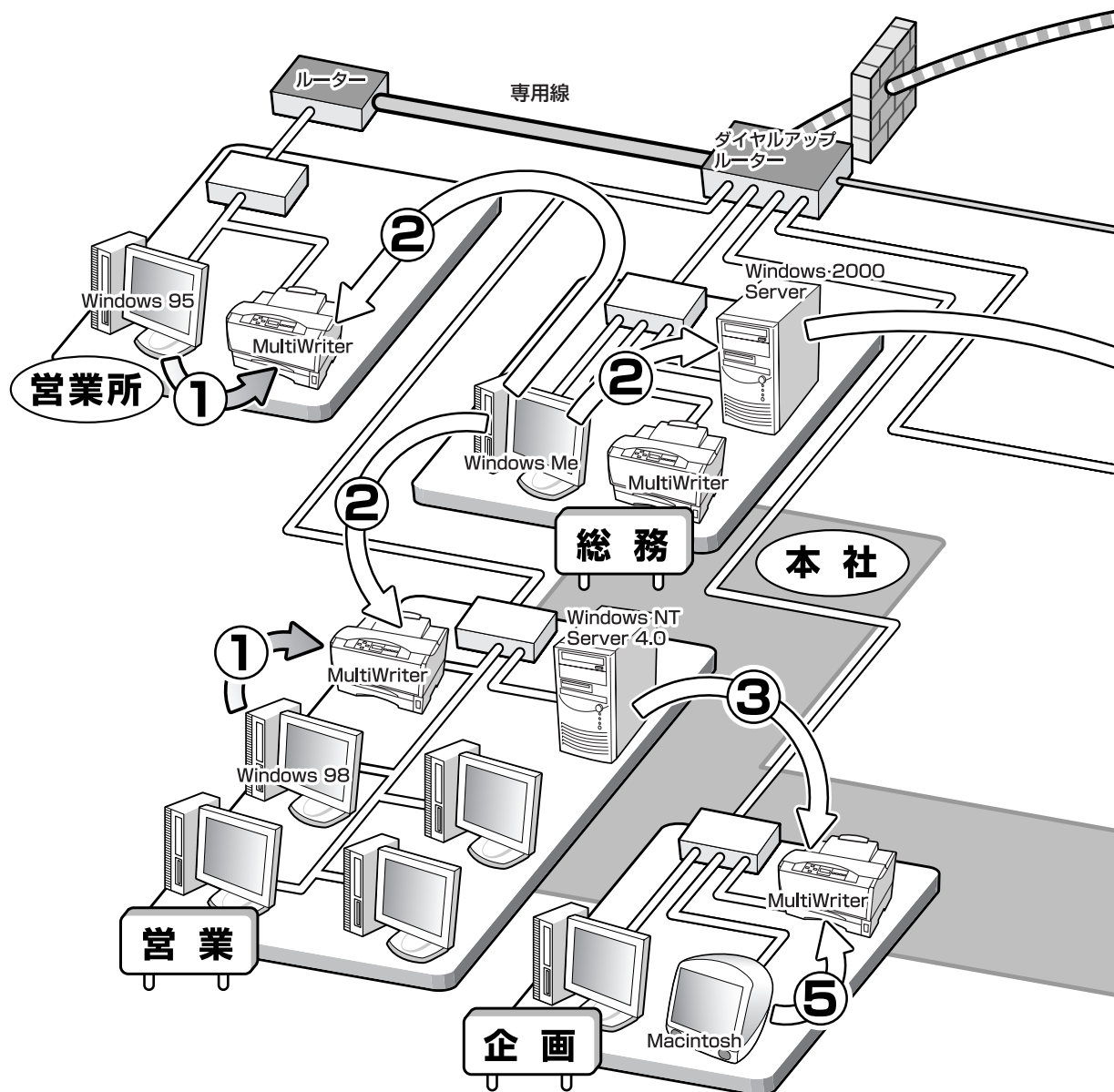
以下にMultiWriterをネットワークプリンターとして使用する場合の印刷の流れを示します。

① PrintAgent

PrintAgentは部門内、ワークグループでの使用に適した印刷管理ソフトウェアです。丁合い、リプリント、ジョブセパレート機能などの機能によりMOPYINGが快適に利用できます。

② IPP(Internet Printing Protocol)

Windows 2000、Windows Meで標準サポートされたインターネット印刷プロトコルです。印刷先をURLで指定することでインターネットに接続されている遠隔地のプリンターまたはWindows 2000のIPPサーバーを経由して印刷することができます。Windows 98/95、Windows NT 4.0用にはNEC Internet Printing Systemを使うことで利用できます。



③ LPR

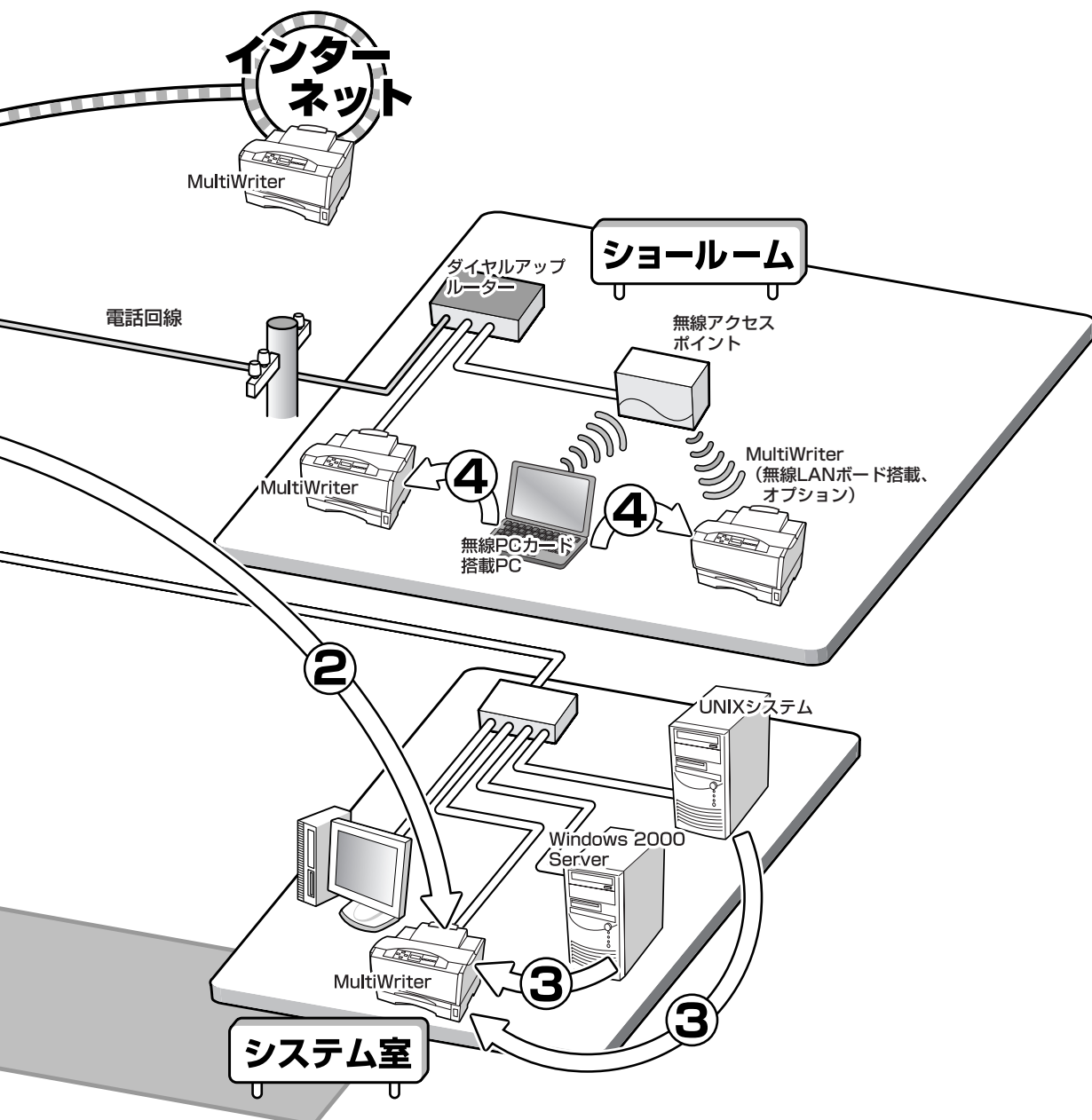
UNIXシステムネットワークで標準の1つとして利用されている印刷プロトコルです。Windows 2000、Windows NT 4.0/3.5.1に標準で搭載されています。

⑤

拡張プリンタドライバ(PR-SW-DR01)を使用することでMacintoshからの印刷ができます(プロトコルは、TCP/IPを使用します)。

④ NEC TCP/IP Printing System (NEC Network Port)

NEC製のプリンター、ネットワークオプションが使用できるプリンターに共通に使用できる印刷方式です。PrintAgentソフトウェアと共に使用することでプリンターと双方向通信を実現します。



第2部の概要

第2部の各章に記載されている内容は以下のとおりです。

1章 IPアドレスの設定

プリンターをネットワーク環境で利用する前にIPアドレスを設定します。ここでは、2つの設定方法を説明しています。

2章 各OSの設定

IPP、LPR(TCP/IP)プロトコルを使用して印刷する場合などのOSの設定について説明しています。また、ネットワークに接続したプリンターでうまく印刷できなかった場合の症状や対処方法を説明しています。

以下の項目については、それぞれのページまたはマニュアルを参照してください。

- **ネットワークインターフェースの初期化**

ネットワークインターフェース(MultiWriter 2800N/2300N、またはPR-L2800-NP LANボードを装着したMultiWriter 2800)の初期化は、プリンターの操作パネル「設定初期化メニュー」で行います。(119、126ページを参照してください。)

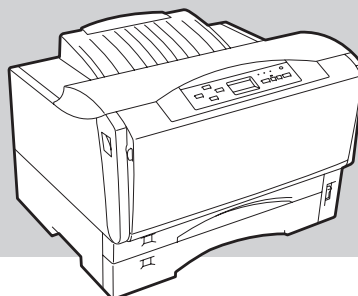
- **コンフィグレーションページの印刷**

MultiWriter 2800N/2300N、またはPR-L2800-NP LANボードを装着したMultiWriter 2800のコンフィグレーションページ(LANステータス)の印刷は、プリンターの操作パネル「テスト印刷メニュー」で行います。詳しくは、第1部の「コンフィグレーションページを印刷する」(32ページ)を参照してください。

- **ユーティリティ**

PrintAgentプリンタ管理ユーティリティ、WWWブラウザー、Telnetなど、ユーティリティの機能の説明は、添付のプリンターソフトウェアCD-ROMに収録されているオンラインマニュアル「ネットワークセットアップガイド」を参照してください。

1章 IPアドレスの設定



この章では、代表的なIPアドレスの設定方法について説明します。ここでは、EASY設定ユーティリティ、PrintAgentプリンタ管理ユーティリティの設定方法を説明します。UNIXコマンド、DHCPの設定方法については、添付のプリンターソフトウェアCD-ROMに収録されているオンラインマニュアル「ネットワークセットアップガイド」を参照してください。

IPアドレスの設定方法

IPアドレスの設定は以下の方法で行うことができます。

- プリンターの操作パネル 第1部の「1章 10ネットワークに接続する」(30ページ)を参照してください。Macintosh環境でオプションの拡張プリンタドライバ(PR-SW-DR01)を使用する場合は、この方法でIPアドレスを設定してください。
- EASY設定ユーティリティ 添付のプリンターソフトウェアCD-ROMに収録されています。
- PrintAgentプリンタ管理ユーティリティ 添付のプリンターソフトウェアCD-ROMに収録のプリンターソフトウェアで管理者向けとしてインストールすると使用できます。ユーティリティの詳細については、オンラインマニュアル「ネットワークセットアップガイド」を参照してください。
- UNIXコマンド UNIXコマンド「arp、ping」を使用して設定します。
- DHCP DHCPを使って設定します。工場出荷時の設定ではDHCP機能は無効になっています。ネットワークインターフェースのDHCP機能は、EASY設定ユーティリティまたはPrintAgentプリンタ管理ユーティリティで有効にできます。

EASY設定ユーティリティ

添付のプリンターソフトウェアCD-ROMに収録されているユーティリティ「EASY設定ユーティリティ」を使用してIPアドレス、サブネットマスクなどを設定します。このユーティリティはWindows Me/98/95、Windows 2000、またはWindows NT 4.0/3.51で使用できます。詳細については、添付のプリンターソフトウェアCD-ROMの[EASY]フォルダー内に収録されている「README.TXT」をご覧ください。

重要

- Windows 2000またはWindows NT 4.0/3.51でご使用になる場合は、Administratorsの権限を持ったユーザーでOSにログオンしてください。Administratorsの権限を持たないユーザーでログオンした場合には設定を行えません。
- プリンターにIPアドレスを設定する場合は、プリンターにIPアドレスを設定するために使うコンピューターとプリンターがIPルーター等を介さない(同じサブネットマスク内)で接続された環境で行ってください。

Windows Me上での手順を例にとって説明します。

1 Windows Meを起動する。

2 プリンターソフトウェアCD-ROMをセットする。

[プリンターソフトウェアCD-ROMメニュー]ダイアログボックスが表示されます。

お使いのコンピューターによっては、自動的にメニュープログラムが立ち上がらない場合があります。その場合は、CD-ROMのルートディレクトリにある「MWSETUP.exe」を実行してください。

3 [ユーティリティ]をクリックする。



4 [EASY設定ユーティリティ]を選択し、[フォルダを開く]をクリックする。

CD-ROM内の[EASY]フォルダーが開きます。

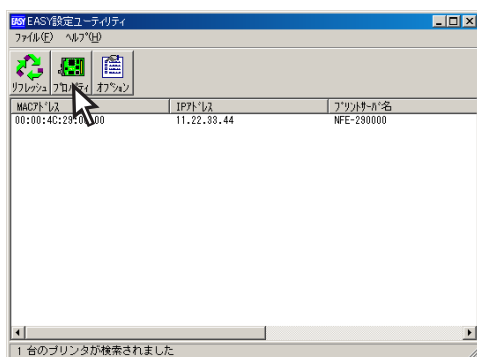


5 [NICSET.EXE]アイコンをダブルクリックする。

[EASY設定ユーティリティ]ウィンドウが表示されます。

- ⑥ 一覧からプリンターのMACアドレスを選択し、[プロパティ]ボタンをクリックする。

[TCP/IP]タブが表示されます。



一覧にプリンターが表示されない場合は、[リフレッシュ]ボタンをクリックし、再検索を行ってください。

- ⑦ プリントサーバー名を確認する。

ネットワーク上から見たプリンターの名前が[プリントサーバー名]ボックスに表示されます。プリントサーバー名の変更もできます。

- ⑧ [設定モード]で[IPアドレスを指定]を選択する。

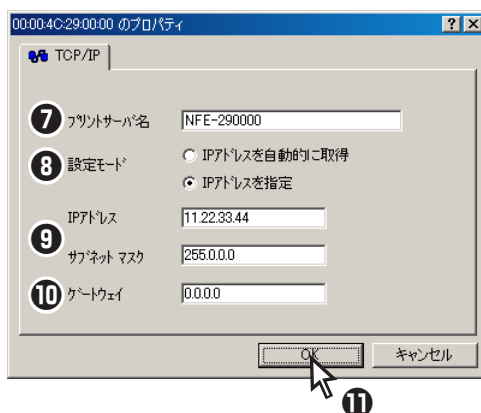
- ⑨ IPアドレス、サブネットマスクを入力する。

- ⑩ ゲートウェイアドレスを設定する。

ゲートウェイ(ルーター)を使用しないネットワーク環境では、設定の必要はありません。

e-mail通知、SNMPトラップを送信するときに参照されます。

- ⑪ [OK]をクリックする。



以上で設定は完了です。

PrintAgentプリンタ管理ユーティリティ

添付のプリンターソフトウェアCD-ROMに収録されているユーティリティ「PrintAgentプリンタ管理ユーティリティ」を使用してIPアドレス、サブネットマスクなどを設定します。このユーティリティは、IPアドレスの設定以外にネットワークに接続されたプリンターの状態を監視したり、ネットワーク接続、監視に必要な各種パラメーターを設定するためのソフトウェアです。

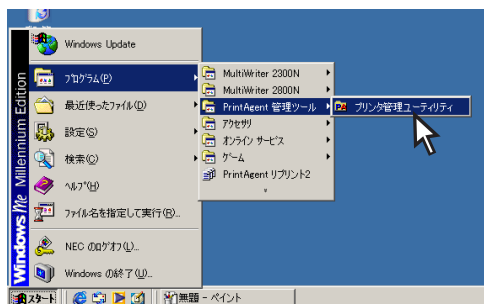
操作方法などの詳細については、添付のプリンターソフトウェアCD-ROMに収録されているオンラインマニュアル「ネットワークセットアップガイド」をご覧ください。

重要

- Windows 2000、またはWindows NT環境でご使用になる場合は、Administratorsの権限を持ったユーザーでOSにログオンしてください。Administratorsの権限を持たないユーザーでログオンした場合には設定を行えません。
- [マニュアルで設定する]を選択するとUNIXコマンドによる設定ができなくなります。UNIXコマンドでIPアドレスを再設定する場合は、[UNIXコマンドで設定する]を選んでください。

1 プリンタ管理ユーティリティを起動する。

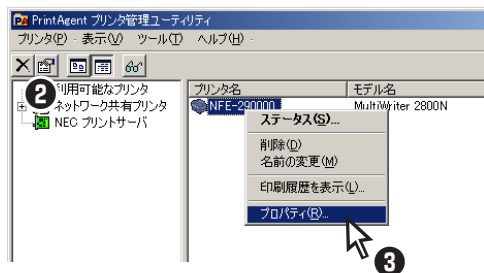
[スタート]をクリックし、[プログラム]、[PrintAgent管理ツール]をポイントします。次に[プリンタ管理ユーティリティ]をクリックします。



2 左側のツリービューから[NECプリントサーバ]を選択する。

プリンターがまだ登録されていないときは、[プリンタ]メニューから[プリンタの登録]をクリックしてプリンターを登録してください。

3 右側のリストビューから対象のプリンターを右クリックし、[プロパティ]をクリックする。



4 [TCP/IP]タブをクリックする。

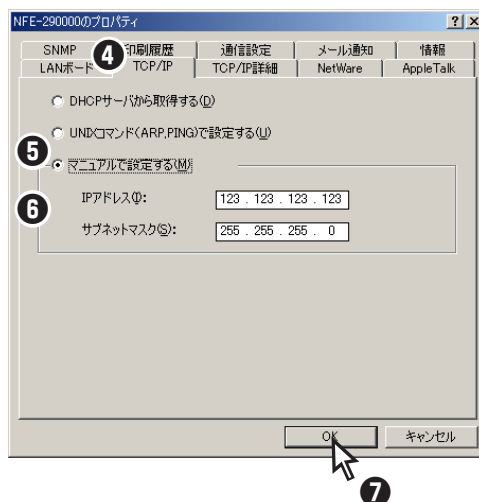
5 [マニュアルで設定する]を選択する。



[マニュアルで設定する]を選択するとUNIXコマンドによる設定ができなくなります。UNIXコマンドでIPアドレスを再設定する場合は、[UNIXコマンドで設定する]を選んでください。

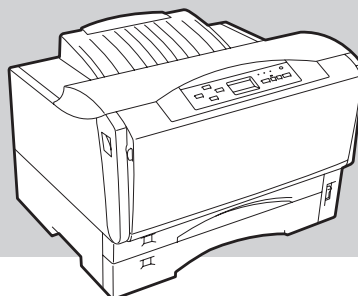
6 IPアドレスとサブネットマスクを入力する。

7 [OK]をクリックして終了する。



以上で設定は完了です。

2章 各OSの設定



この章では、Windows Me/98/95 日本語版、Windows 2000 日本語版、Windows NT 4.0 日本語版環境にインターネット印刷プロトコル(IPP)、LPRプロトコルを使用して印刷する場合の設定について説明しています。PrintAgentを使用した設定については、第1部の「2章 プリンターソフトウェアのインストール」(43ページ)を参照してください。

上記以外のOSの設定については、添付のプリンターソフトウェアCD-ROMに収録されているオンラインマニュアル「ネットワークセットアップガイド」を参照してください。

— ✓ チェック —

- PrintAgentは、インターネット印刷プロトコル(IPP)やLPRプロトコルに対応していません。プリンタードライバの双方向通信機能を無効にする必要があります。詳しくは、第1部の「7章 PrintAgentの機能を十分に発揮させるために」(214ページ)を参照してください。
- インターネット印刷プロトコル(IPP)を使用した印刷の設定を行う場合には、プリンターの電源をONにする必要があります。

ご使用になる印刷方法のページを参照してください。

インターネット印刷プロトコル(IPP)を使用して印刷を行うには

Windows Me 日本語版	270ページ
Windows 98/95 日本語版	273ページ
Windows 2000 日本語版	278ページ
Windows NT 4.0 日本語版	284ページ

LPRプロトコルを使用して印刷を行うには

Windows 2000 日本語版	280ページ
Windows NT 4.0 日本語版	288ページ

Windows Me 日本語版

Windows Me 日本語版の環境でIPPを使用して印刷する手順を説明します。

1 IPPクライアントソフトウェアのインストール

IPPクライアントソフトウェアのインストール方法を説明します。次の手順に従ってください。

- 1 「Windows Me」のCD-ROMをセットする。
- 2 [スタート]—[ファイル名を指定して実行]をクリックする。

- 3 「Q:¥add-ons¥ipp¥wppnpins.exe」と入力し、[OK]をクリックする。

「Q」は、CD-ROMを挿入したドライブ名です。



[¥add-ons¥ipp] フォルダにある
[ipp.txt] を必ずお読みください。

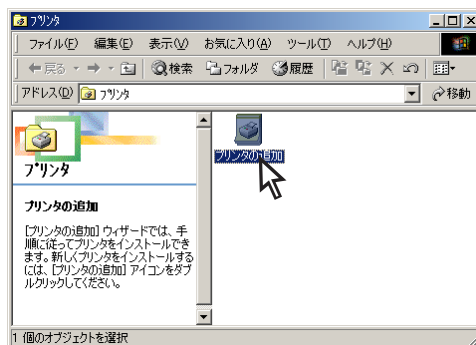
2 プリンターの作成

プリンターを作成します。次の手順に従ってください。

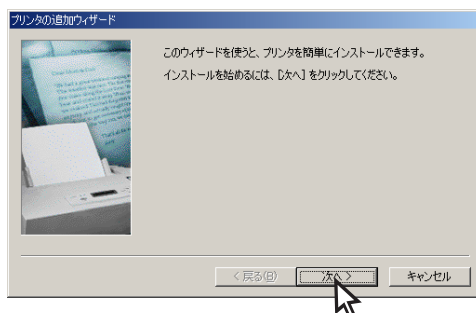
- 1 プリンターソフトウェアCD-ROMをセットする。
- 2 [終了]をクリックする。



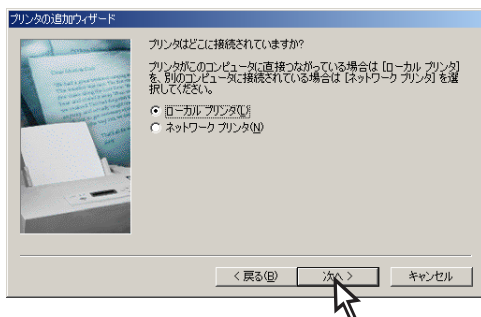
- 3 [プリンタ]フォルダーを開く。
- 4 [プリンタの追加]アイコンをダブルクリックする。



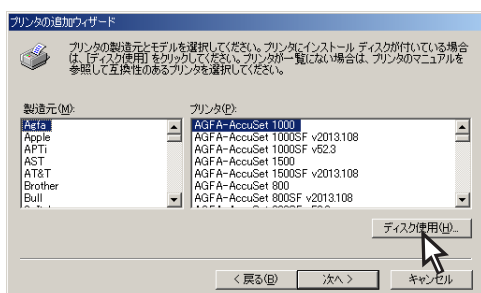
- 5 [次へ]をクリックする。



- ⑥ [ローカルプリンタ]を選び、[次へ]をクリックする。

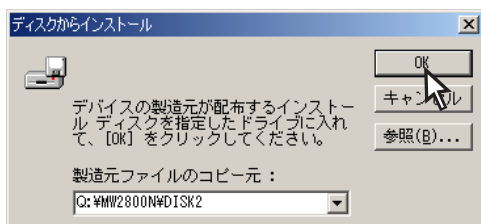


- ⑦ [ディスク使用]をクリックする。

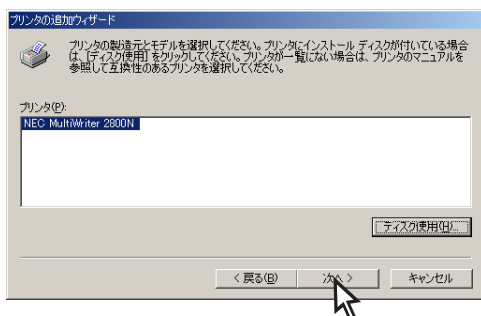


- ⑧ [製造元ファイルのコピー元]を入力して、[OK]をクリックする。

[製造元ファイルのコピー元]に、CD-ROMを挿入したドライブ名、コロン(:)、円記号(¥)に続けて「MW2800N¥DISK2」と入力します (MultiWriter 2800Nの場合)。

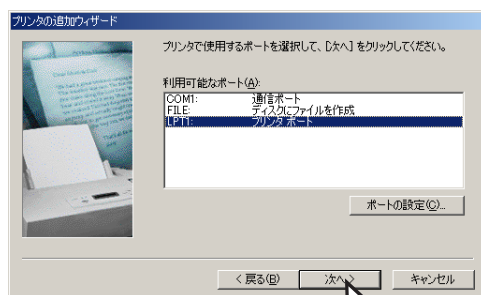


- ⑨ 使用するプリンターを選択して、[次へ]をクリックする。



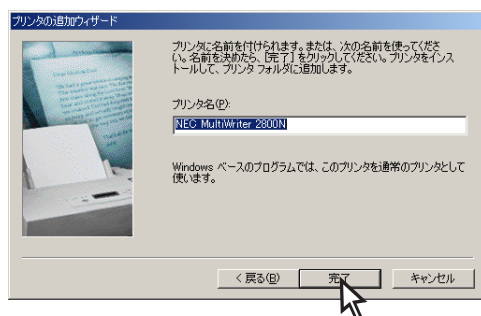
- ⑩ [LPT1:]を選び、[次へ]をクリックする。

次の「③ 印刷先の変更」でIPPポートを作成します。



- ⑪ プリンターの名前を確認して、[完了]をクリックする。

プリンタードライバがインストールされます。



- ⑫ [キャンセル]をクリックする。



— ✓ チェック —

プリンタードライバの双方向通信機能を無効にする必要があります。詳しくは、第1部の「7章 PrintAgentの機能を十分に発揮させるために」(214ページ)を参照してください。

3 印刷先の変更

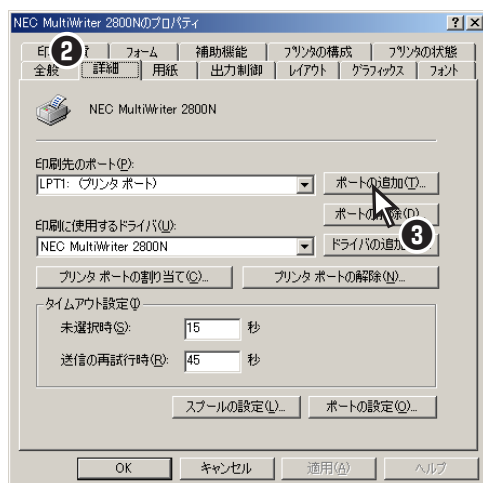
印刷先を変更します。次の手順に従ってください。

- 1 [MultiWriter 2800Nのプロパティ]ダイアログボックスを表示させる。

[プリンタ]フォルダーの[NEC MultiWriter 2800N]アイコンをクリックし、[ファイル]メニューの[プロパティ]をクリックします (MultiWriter 2800Nの場合)。

- 2 [詳細]タブをクリックする。

- 3 [ポートの追加]をクリックする。



- 4 [プリンタへのネットワーク パス]ボックスにプリンターのアドレスを入力する。

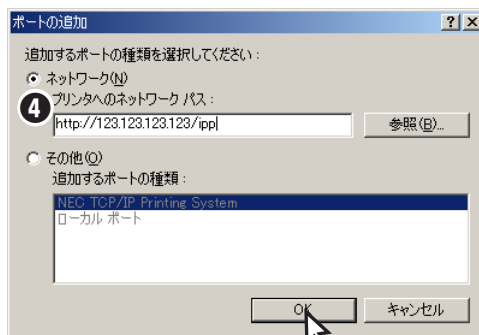


入力可能な形式は「http://」に限られます。

(入力例)

IPアドレスが「123.123.123.123」の場合
http://123.123.123.123/ipp

- 5 [OK]をクリックする。



この後、テストページを印刷する場合は、[MultiWriter 2800Nのプロパティ]ダイアログボックスの[全般]シートで[印字テスト]をクリックしてください。テストページが印刷されます。

以上で設定は完了です。

Windows 98/95 日本語版

Windows 98/95 日本語版の環境でIPPを使用して印刷する手順を説明します。NEC Internet Printing Systemを使用します。

重要

- NEC Internet Printing Systemは、プロキシーサーバーには対応していません。IPP対応プリンターへのアクセスにプロキシーサーバーの設定が必要な場合は印刷できません。
- NEC Internet Printing Systemは[プリンタ]フォルダーを開くと、プリンターの状態を確認します。ダイヤルアップルーターを使用してインターネットに接続している環境では、通信による課金が発生することがあります。

以下の手順は、Windows 98 日本語版で説明しています。Windows 95 日本語版の場合も同じ手順になります。

1 NEC Internet Printing Systemのインストール

NEC Internet Printign Systemのインストール方法について説明します。次の手順に従ってください。

1 プリンターソフトウェアCD-ROMをセットする。

[プリンタソフトウェアCD-ROMメニュー]ダイアログボックスが表示されます。

お使いのコンピュータによっては、自動的にメニュープログラムが立ち上がらない場合があります。その場合は、CD-ROMのルートディレクトリにある「MWSETUP.exe」を実行してください。

2 [ユーティリティ]をクリックする。



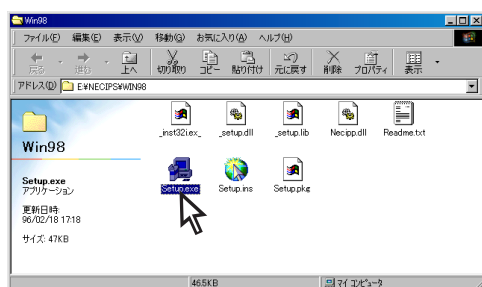
3 「NEC Internet Printing System for Windows 98/95」を選択し、[フォルダを開く]をクリックする。

重要

[¥NECIPS¥WIN98] フォルダにある [Readme.txt] を必ずお読みください。



4 [Setup.exe]アイコンをダブルクリックする。



5 [次へ]をクリックする。



6 [登録ポートのプリンタURI]ボックスに登録するプリンターのアドレスを入力する。

ここで、[登録]を行わなくても、インストール終了後に「印刷先の変更」で印刷先のポートを追加できます。



(入力例)

IPアドレスが「123.123.123.123(printer1.sample.nec.co.jp)」の場合

http://123.123.123.123/ipp

ipp://123.123.123.123/ipp

printer1.sample.nec.co.jp/ipp

✓チェック

IPアドレスの代わりにドメイン名を使用することができます。ドメイン名として入力可能な文字の長さは、最大127文字(127バイト)です。

7 [登録]をクリックする。

8 [次へ]をクリックする。



9 [開始]をクリックする。

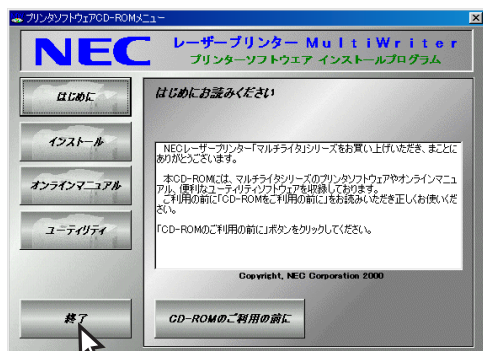
10 [OK]をクリックする。

2 プリンターの作成

プリンターを作成します。次の手順に従ってください。

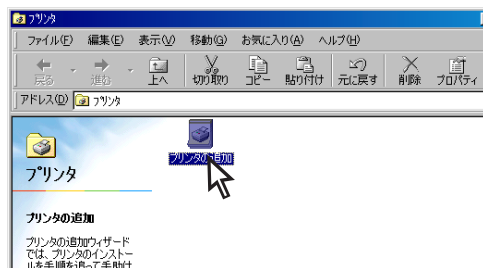
- 1 プリンターソフトウェアCD-ROMをセットする。

- 2 [終了]をクリックする。

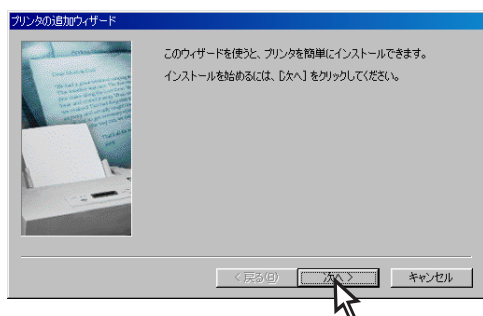


- 3 [プリンタ]フォルダーを開く。

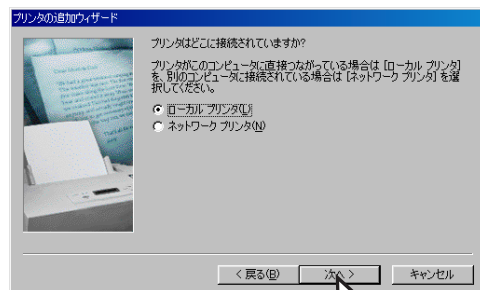
- 4 [プリンタの追加]アイコンをダブルクリックする。



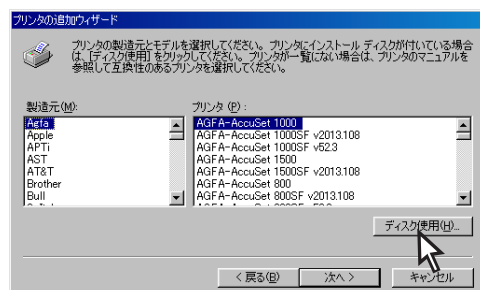
- 5 [次へ]をクリックする。



- 6 [ローカルプリンタ]を選び、[次へ]をクリックする。

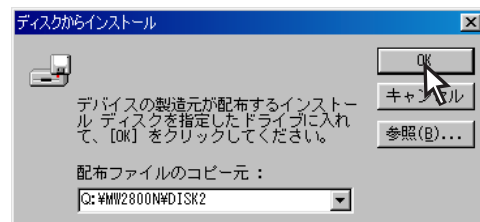


- 7 [ディスク使用]をクリックする。

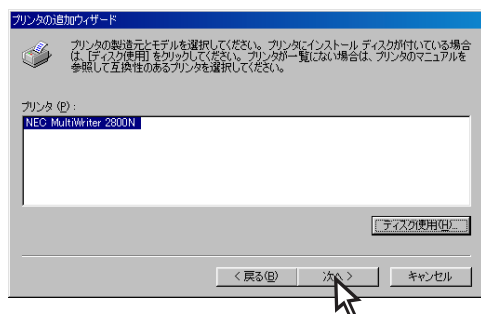


- 8 [配付ファイルのコピー元]を入力して、[OK]をクリックする。

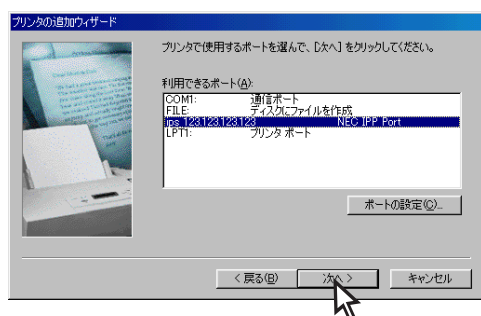
[配付ファイルのコピー元]に、CD-ROMを挿入したドライブ名、コロン(:)、円記号(¥)に続けて「MW2800N¥DISK2」と入力します。



- 9 使用するプリンターを選択して、[次へ]をクリックする。

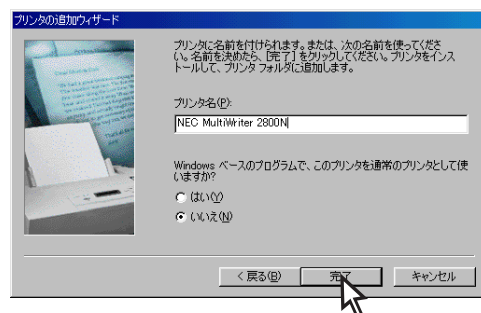


- 10 使用するポートを選び、[次へ]をクリックする。

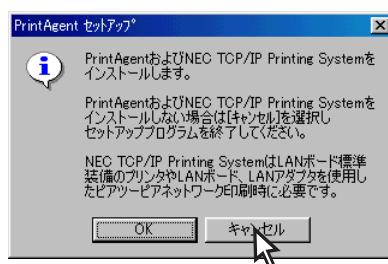


- 11 プリンターの名前を確認して、[完了]をクリックする。

プリンタードライバーがインストールされます。



- 12 [キャンセル]をクリックする。



この後、テストページを印刷する場合は、[MultiWriter 2800Nのプロパティ]ダイアログボックスの[全般]シートで[印字テスト]をクリックしてください。テストページが印刷されます。

✓チェック

プリンタードライバーの双方向通信機能を無効にする必要があります。詳しくは、第1部の「7章 PrintAgentの機能を十分に発揮させるために」(214ページ)を参照してください。

以上で設定は完了です。

印刷先の変更

NEC Internet Printing Systemをインストールした後に印刷ポートを追加する場合の手順について説明します。

- 1 [MultiWriter 2800Nのプロパティ]ダイアログボックスを表示させる。

[プリンタ]フォルダーの[NEC MultiWriter 2800N]アイコンをクリックし、[ファイル]メニューの[プロパティ]をクリックします(MultiWriter 2800Nの場合)。

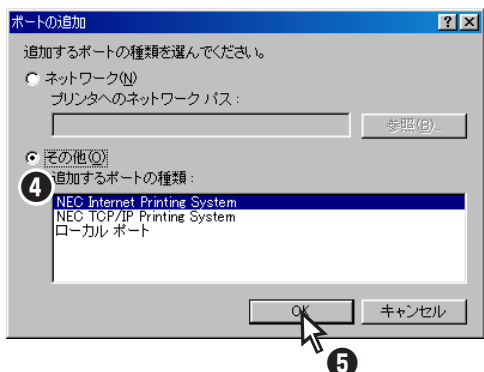
- 2 [詳細]タブをクリックする。

- 3 [ポートの追加]をクリックする。

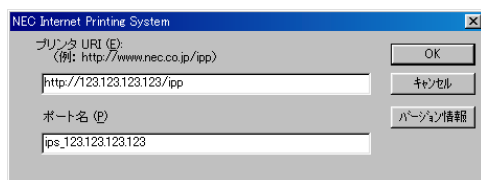


- 4 [その他]、[追加するポートの種類]で[NEC Internet Printing System]を選択する。

- 5 [OK]をクリックする。



- 6 [プリンタURI]ボックスにプリンターのURIを入力する。



(入力例)

IPアドレスが「123.123.123.123(printer1.sample.nec.co.jp)」の場合

http://123.123.123.123/ipp

ipp://123.123.123.123/ipp

printer1.sample.nec.co.jp/ipp

— チェック —

IPアドレスの代わりにドメインネームを使用することができます。ドメインネームとして入力可能な文字の長さは、最大127文字(127バイト)です。

- 7 [OK]をクリックする。

[MultiWriter 2800Nのプロパティ]ダイアログボックスを閉じます。

以上で設定は完了です。

Windows 2000 日本語版

Windows 2000 日本語版からネットワークプリンターへのプリントサーバーを使用せず、直接印刷するための設定について説明します。

IPP(Internet Printing Protocol)

Windows 2000 日本語版の環境でIPPを使用して印刷するまでの手順を説明します。

- 1 プリンターソフトウェアCD-ROMをセットする。

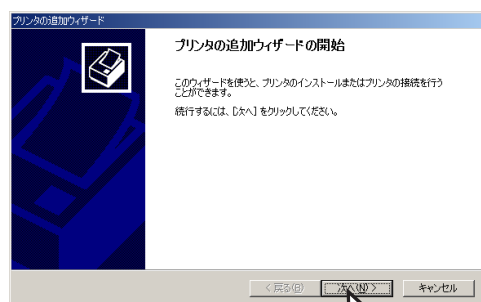
- 2 [終了]をクリックする。



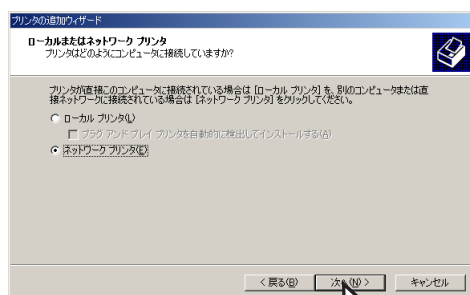
- 3 [プリンタ]フォルダーを開く。

- 4 [プリンタの追加]アイコンをダブルクリックする。

- 5 [次へ]をクリックする。



- 6 [ネットワークプリンタ]を選択して、[次へ]をクリックする。



- 7 [インターネットまたはイントラネット上のプリンタに接続します]を選択し、[URL]ボックスに登録するプリンターのIPアドレスを含むアドレスを入力する。

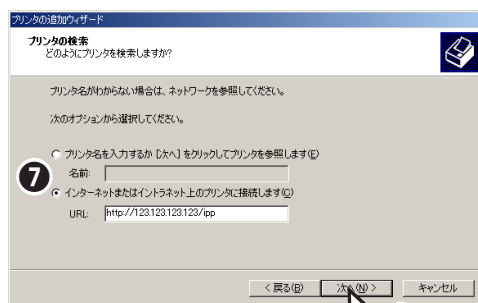
重要
入力可能な形式は「http://」に限られます。

(入力例)

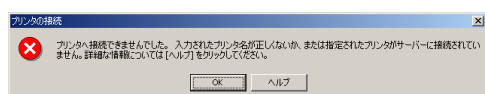
IPアドレスが「123.123.123.123」の場合

http://123.123.123.123/ipp

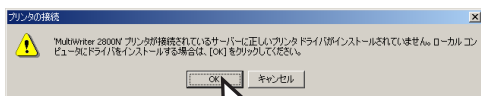
- 8 [次へ]をクリックする。



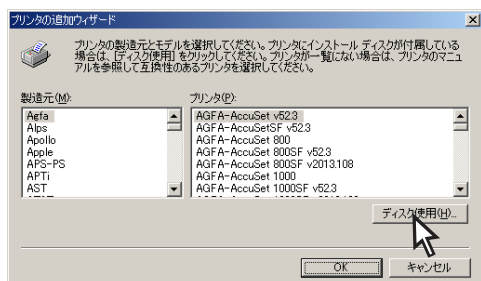
該当するプリンターの電源が入っていないまたはIPアドレスが正しくない場合は、以下のエラーメッセージが表示されます。



9 [OK]をクリックする。

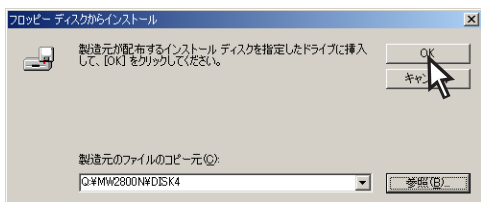


10 [ディスク使用]をクリックする。

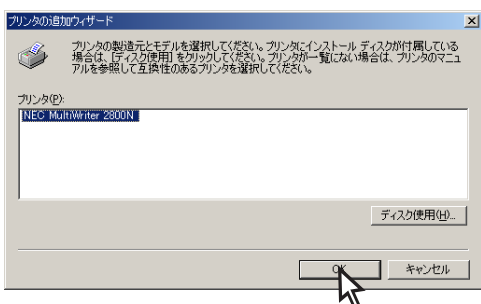


11 [製造元のファイルのコピー元]を入力し、[OK]をクリックする。

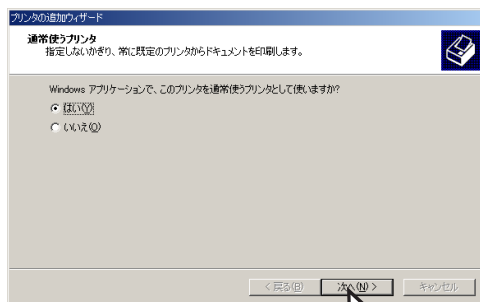
[製造元のファイルのコピー元]に、CD-ROMを挿入したドライブ名、コロンの(:)、円記号(¥)に続けて「MW2800N¥DISK4」と入力します。



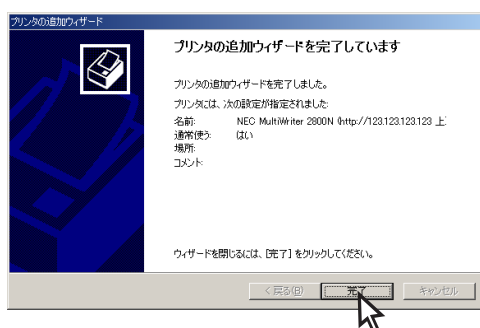
12 使用するプリンターを選び、[OK]をクリックする。



13 [通常使うプリンタ]に設定するか、しないかを選び、[次へ]をクリックする。



14 [完了]をクリックする。



— ✓ チェック —

- [デジタル署名が見つかりませんでした]とメッセージダイアログボックスが表示される場合があります。添付のプリンターソフトウェアCD-ROMに収録されているプリンターソフトウェアは、弊社により動作を確認しております。[はい]をクリックし、インストールを続行します。[いいえ]をクリックした場合は、インストールが中止されます。



- プリンタードライバーの双方向通信機能を無効にする必要があります。詳しくは、第1部の「7章 PrintAgentの機能を十分に発揮させるために」(214ページ)を参照してください。

以上で設定は完了です。

UNIX用印刷サービス(LPR)

LPRには、UNIX用印刷サービスによる印刷方法とStandard TCP/IP Portによる印刷方法の2種類あります。はじめに、UNIX用印刷サービス(LPR)を使用した印刷を行うための方法を説明します。

重要

UNIX用印刷サービス(LPR)を使用する場合、[プリンタのプロパティ]ダイアログボックスの[ポート]シートで[双方向サポートを有効にする]のチェックを外して、無効にしてください。

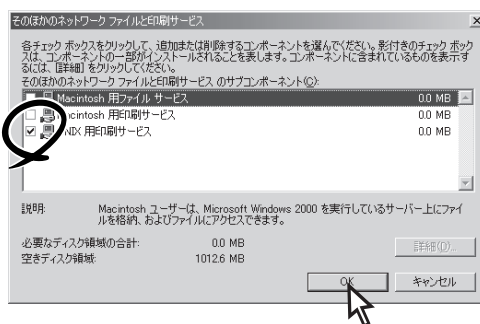
まず、使用するコンピューターにUNIX用印刷サービスをインストールします。すでに、インストールされている場合は、「プリンターの追加」へ進んでください。

UNIX用印刷サービスのインストール

UNIX用印刷サービスを使用するには、TCP/IPプロトコルがインストールされていて、設定が完了している必要があります。TCP/IPプロトコルのインストールについては、Windows 2000 日本語版のヘルプ「TCP/IPプロトコルをインストールするには」を参照してください。UNIX用印刷サービスのインストール方法について説明します。

- 1 コントロールパネルの[ネットワークとダイヤルアップ接続]ダイアログボックスを開く。
- 2 [詳細設定]メニューの[オプション ネットワーク コンポーネント]をクリックする。
- 3 [その他のネットワーク ファイルと印刷サービス]を選択し、[詳細]をクリックする。

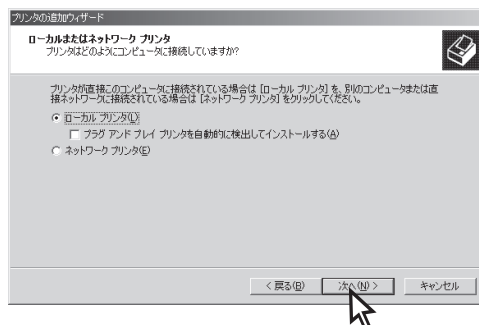
- 4 [UNIX用印刷サービス]をチェックして、[OK]をクリックする。



次に「プリンターの追加」を行ってください。

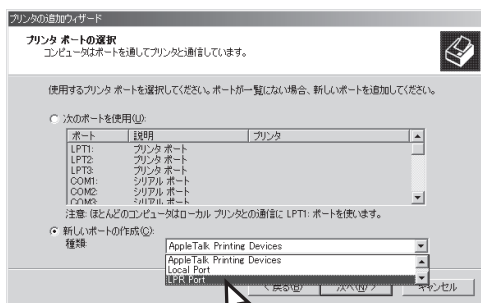
プリンターの追加

- 1 [プリンタ]フォルダーを開く。
- 2 [プリンタの追加]アイコンをダブルクリックし、[次へ]をクリックする。
- 3 [ローカル プリンタ]を選択し、[プラグアンドプレイ プリンタを自動的に検出してインストールする]のチェックを外して[次へ]をクリックする。



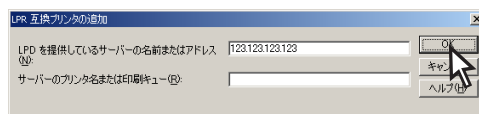
④ [新しいポートの作成]、[LPR Port]を選択する。

[LPR Port]が表示されない場合は、[UNIX用印刷サービス]をインストールしてください。



⑤ [次へ]をクリックする。

⑥ [LPDを提供しているサーバーの名前またはアドレス]ボックスに、追加するプリンターのIPアドレスまたはドメイン名を入力し、[OK]をクリックする。



⑦ 画面に表示される指示に従って、プリンターのインストールを完了する。

以上で設定は完了です。

Standard TCP/IP Port (LPR)

Windows 2000 日本語版の環境でStandard TCP/IP Port(LPR)を使用して印刷するまでの設定方法について説明します。

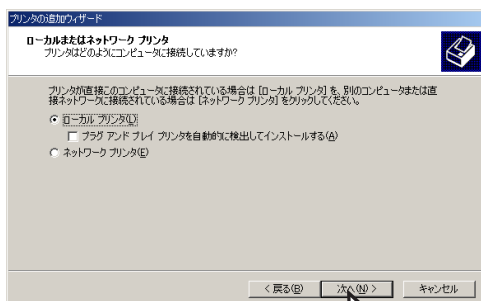
— 重要 —

Standard TCP/IP Port (LPR)を使用する場合、[プリンタのプロパティ]ダイアログボックスの[ポート]シートで[双方向サポートを有効にする]のチェックを外して、無効にしてください。

① [プリンタ]フォルダーを開く。

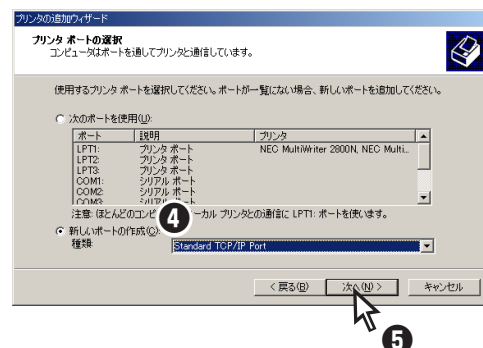
② [プリンタの追加]アイコンをダブルクリックする。

③ [ローカルプリンタ]を選択し、[プラグ アンド プレイ プリンタを自動的に検出してインストールする]のチェックを外して[次へ]をクリックする。

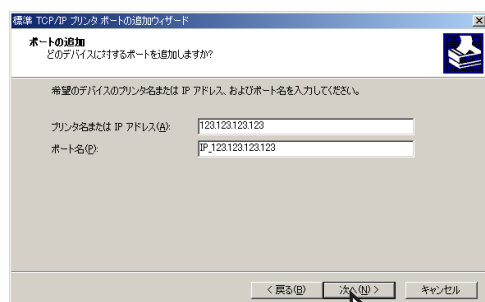


④ [新しいポートの作成]、[Standard TCP/IP Port]を選択する。

⑤ [次へ]をクリックする。



- ⑥ [プリンタ名またはIPアドレス]ボックスに追加するプリンターのIPアドレスを入力し、[次へ]をクリックする。



✓チェック

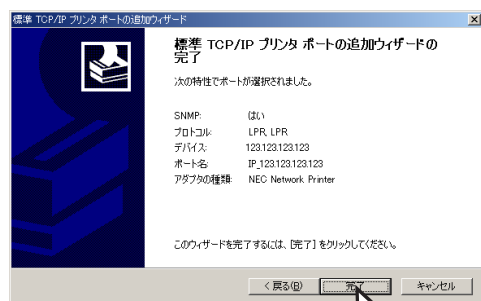
DNSサーバーが存在し、プリンターが登録されている場合には、DNS名を指定することもできます。

ネットワーク上にネットワークプリンターが存在する場合は、ネットワークプリンターが検出され、自動的に設定が完了します。手順⑦へ進んでください。

ネットワーク上にネットワークプリンターが存在しない場合は、手順⑧へ進んでください。

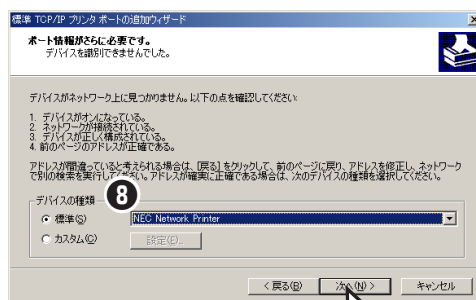
- ⑦ 内容を確認し、[完了]をクリックする。

画面に表示される指示に従って、プリンターのインストールを完了してください。続いて「LPRバイトカウント機能」へ進んでください。



- ⑧ [デバイスの種類]の[標準]をクリックし、[NEC Network Printer]を選ぶ。

- ⑨ [次へ]をクリックする。



- ⑩ 画面に表示される指示に従って、プリンターのインストールを完了する。

プリンターのドライバー選択画面では、対応するプリンターを選択して、ドライバーのインストールを完了してください。

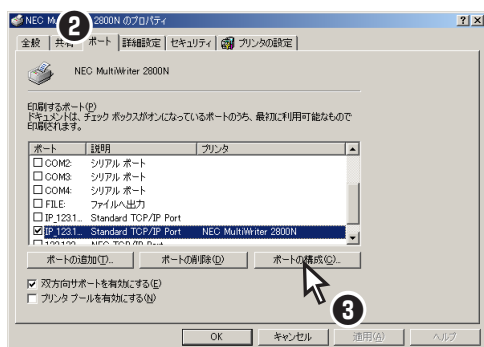
続いて「LPRバイトカウント機能」へ進んでください。

LPRバイトカウント機能

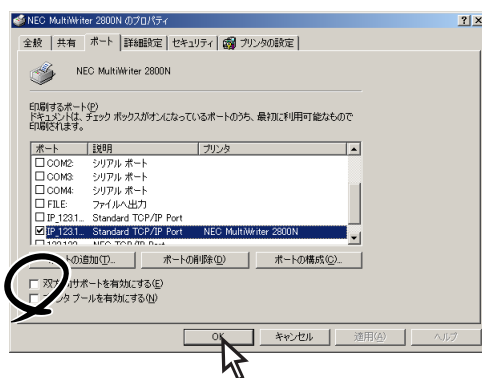
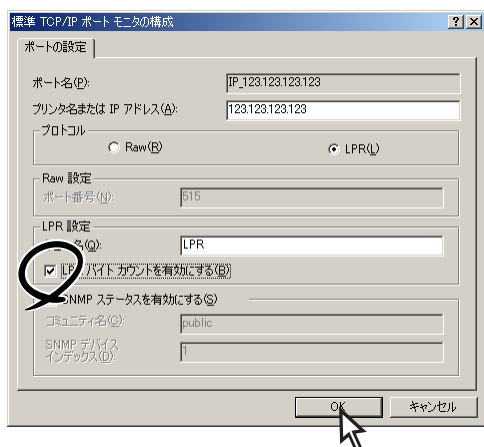
LPRプロトコルには、印刷データを送信する前に印刷データの容量を測定し、プリンターに送信する機能があります。これを「LPRバイトカウント機能」といいます。

この「LPRバイトカウント機能」を有効にすると、印刷が途中で中断されたときに、プリンターは処理されずに残っている印刷データを消去します。この機能を使用することで次の印刷データが送られてきたときにプリンター内に残っているデータと混在することを防ぐことができます。LPRバイトカウント機能を有効にするには、次の手順で設定してください。

- 1 [プリンタ]フォルダー内に作成されたプリンターの[プリンタのプロパティ]ダイアログボックスを表示させる。
- 2 [ポート]タブをクリックする。
- 3 [ポートの構成]をクリックする。
- 5 [双方向サポートを有効にする]のチェックを外して、[OK]をクリックする。



- 4 [LPRバイトカウントを有効にする]をチェックして、[OK]をクリックする。



以上で設定は完了です。

Windows NT 4.0 日本語版

Windows NT 4.0 日本語版からプリントサーバーを使用せずに、ネットワークプリンターへ直接印刷するための設定について説明します。

NEC Internet Printing System(IPP)

Windows NT 4.0 日本語版の環境でIPPを使用して印刷します。NEC Internet Printing Systemを使用します。

— 重要 —

- NEC Internet Printing Systemは、プロキシサーバーには対応していません。IPP対応プリンターへのアクセスにプロキシサーバーの設定が必要な場合は印刷できません。
- NEC Internet Printing Systemは[プリンタ]フォルダーを開くと、プリンターの状態を確認します。ダイヤルアップルーターを使用してインターネットに接続している環境では、通信による課金が発生することがあります。

① NEC Internet Printing Systemのインストール

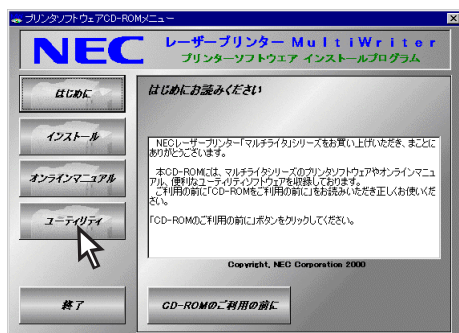
NEC Internet Printing Systemのインストール方法について説明します。次の手順に従ってください。

① プリンターソフトウェアCD-ROMをセットする。

[プリンタソフトウェアCD-ROMメニュー]ダイアログボックスが表示されます。

お使いのコンピュータによっては、自動的にメニュープログラムが立ち上がらない場合があります。その場合は、CD-ROMのルートディレクトリにある「MWSETUP.exe」を実行してください。

② [ユーティリティ]をクリックする。



③ [NEC Internet Printing System for Windows NT 4.0]を選択し、[フォルダを開く]をクリックする。

— 重要 —

[¥NECIPS¥WINNT40] フォルダにある [Readme.txt] を必ずお読みください。



4 [Setup]アイコンをダブルクリックする。



5 [次へ]をクリックする。



6 [登録ポートのプリンタURI]ボックスに登録するプリンターのアドレスを入力する。

ここで、[登録]を行わなくても、インストール終了後に「印刷先の変更」で印刷先のポートを追加できます。



(入力例)

IPアドレスが「123.123.123.123(printer1.sample.nec.co.jp)」の場合

http://123.123.123.123/ipp
ipp://123.123.123.123/ipp
printer1.sample.nec.co.jp/ipp

— チェック —

IPアドレスの代わりにドメインネームを使用することができます。ドメインネームとして入力可能な文字の長さは、最大127文字(127バイト)です。

7 [登録]をクリックする。

8 [次へ]をクリックする。



9 [開始]をクリックする。



10 [OK]をクリックする。

2 プリンターの作成

プリンターを作成します。次の手順に従ってください。

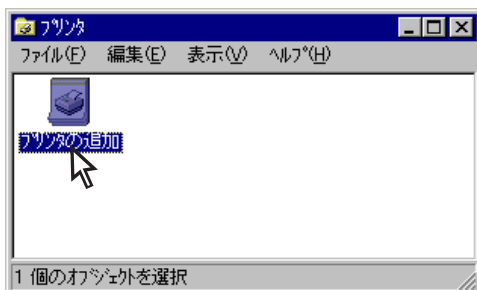
- 1 プリンターソフトウェアCD-ROMをセットする。

- 2 [終了]をクリックする。



- 3 [プリンタ]フォルダーを開く。

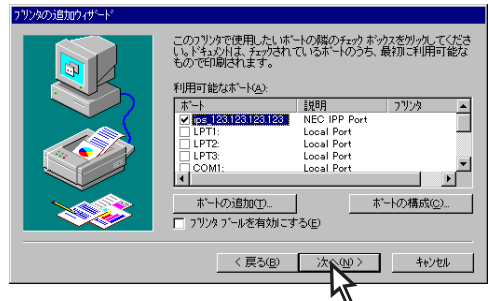
- 4 [プリンタの追加]アイコンをダブルクリックする。



- 5 [このコンピュータ]を選択して、[次へ]をクリックする。



- 6 使用するポートを選び、[次へ]をクリックする。

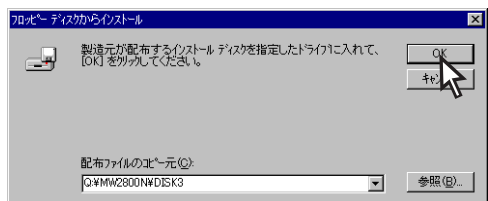


- 7 [ディスク使用]をクリックする。

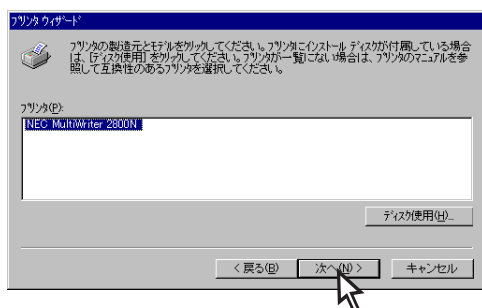


- 8 [配付ファイルのコピー元]を入力して、[OK]をクリックする。

[配付ファイルのコピー元]に、CD-ROMを挿入したドライブ名、コロン(:)、円記号(¥)に続けて「MW2800N¥DISK3」と入力します。



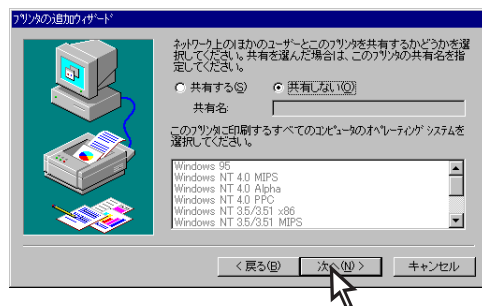
- ⑨ 使用するプリンターを選択して、[次へ]をクリックする。



- ⑩ [次へ]をクリックする。



- ⑪ 必要に応じて共有設定をして、[次へ]をクリックする。



- ⑫ [完了]をクリックして、終了する。



✓ チェック

プリンタードライバの双方向通信機能を無効にする必要があります。詳しくは、第1部の「7章 PrintAgentの機能を十分に発揮させるために」(214ページ)を参照してください。

以上で設定は完了です。

印刷先の変更

NEC Internet Printing Systemをインストールした後に印刷ポートを追加する場合の手順について説明します。

- ① [プリンタのプロパティ]ダイアログボックスを表示させる。

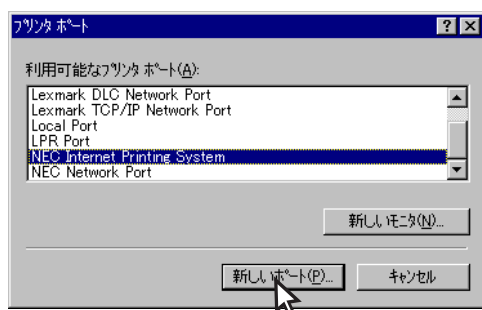
[プリンタ]フォルダーの[NEC MultiWriter 2800N]アイコンをクリックし、[ファイル]メニューの[プロパティ]をクリックします(MultiWriter 2800Nの場合)。

- ② [ポート]タブをクリックする。

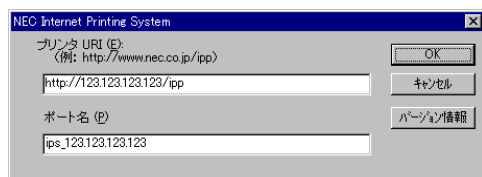
- ③ [ポートの追加]をクリックする。



- ④ [利用可能なプリンタポート]で[NEC Internet Printing System]を選択し、[新しいポート]をクリックする。



- ⑤ [プリンタ URI]ボックスにプリンターのURIを入力する。



(入力例)

IPアドレスが「123.123.123.123(printer1.sample.nec.co.jp)」の場合

http://123.123.123.123/ipp

ipp://123.123.123.123/ipp

printer1.sample.nec.co.jp/ipp

✓ チェック

IPアドレスの代わりにドメインネームを使用することができます。ドメインネームとして入力可能な文字の長さは、最大127文字(127バイト)です。

- ⑥ [OK]をクリックする。

[プリンタのプロパティ]ダイアログボックスを閉じます。

以上で設定は完了です。

Microsoft TCP/IP印刷(LPR)

Microsoft TCP/IP印刷(LPR)を使用した印刷を行うための方法を説明します。

重要

- Microsoft TCP/IP印刷(LPR)を使用した印刷を行うためには、プリンターに印刷データを送るWindows NT 4.0 日本語版にLPR(OS添付のMicrosoft TCP/IP印刷サービス)をインストールする必要があります。
- LPRで印刷する場合、[プリンタのプロパティ]ダイアログボックスの[ポート]シートで[双方向サポートを有効にする]のチェックを外して、無効にしてください。

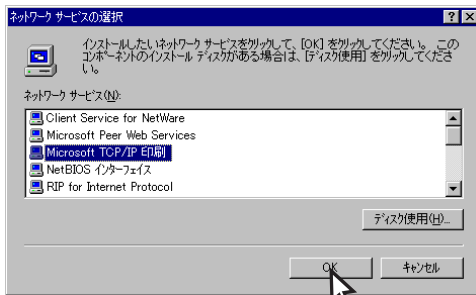
使用するコンピューターにMicrosoft TCP/IP印刷をインストールします。インストールされている場合は、「プリンターの追加」へ進んでください。

Microsoft TCP/IP印刷サービスのインストール

Microsoft TCP/IP印刷を使用するには、TCP/IPプロトコルがインストールされていて設定が完了している必要があります。TCP/IPプロトコルのインストールについては、Windows NT 4.0 日本語版のヘルプ「ネットワークプロトコルをインストールするには」を参照してください。Microsoft TCP/IP印刷サービスのインストール方法について説明します。

- 1 コントロールパネルの[ネットワーク]ダイアログボックスを開く。
- 2 [サービス]を選択し、[追加]をクリックする。
- 3 [ネットワークサービス]の一覧から[Microsoft TCP/IP 印刷]をクリックし、[OK]をクリックする。
- 4 画面に表示される指示に従って、インストールを完了する。

次に「プリンターの追加」へ進んでください。



プリンターの追加

- 1 [プリンタ]フォルダーを開く。
- 2 [プリンタの追加]アイコンをダブルクリックする。
- 3 [このコンピュータ]を選択し、[次へ]をクリックする。
- 4 [ポートの追加]をクリックする。
- 5 [LPR Port]を選択し、[新しいポート]をクリックする。
[LPR Port]が表示されない場合は、[Microsoft TCP/IP 印刷]サービスをインストールしてください。
- 6 [lpdを提供しているサーバの名前またはアドレス]ボックスに、追加するプリンターのIPアドレスまたはドメイン名を入力する。
- 7 画面に表示される指示に従って、プリンターのインストールを完了する。



以上で設定は完了です。

ネットワークで思うように印刷できないときは

ネットワーク接続上の疑問およびネットワークを介しての印刷がうまくできないときは、プリンターの故障を疑う前にこのページを参照してください。

症状	原因と対処方法
すべてのOSに共通	
プリンターに印刷できない。 プリンターがネットワーク上のホストコンピュータから見えない。	1. コンフィグレーションページを印刷して以下の項目を確認してください。 → ネットワークケーブルは正しく接続されていますか？ 「Link Test」の結果が「OK」であることを確認してください。 → リンクランプ(黄色)は点灯していますか？ ネットワークケーブルが抜けていないか、ハブの電源がONになっているか確認してください。 → リンクランプ(緑色)は点灯していますか？ → ネットワーク通信速度は正しく設定されていますか？ 「10BASE/100BASE」の設定が、接続されているハブの通信速度と一致しているか、「Auto」になっていることを確認してください。 → IPアドレス、サブネットマスクが正しく設定されていますか？ IPアドレス、サブネットマスクを確認してください。 2. PCからPingコマンドを実行し、PCとプリンターが通信できるか、以下の手順に従って確認してください。 → <Windows Me 日本語版の場合> ① [スタート]ー[プログラム]ー[アクセサリ]ー[MS-DOSプロンプト]を選択する。 ② ping 123.123.123.123(「123.123.123.123」はプリンターのIPアドレス)。 (例) <pre>C:\WINDOWS> ping 123.123.123.123 [return] Pinging 123.123.123.123 with 32 bytes of data: Reply from 123.123.123.123: bytes=32 time<10ms TTL=255 Reply from 123.123.123.123: bytes=32 time<10ms TTL=255 Reply from 123.123.123.123: bytes=32 time<10ms TTL=255 Reply from 123.123.123.123: bytes=32 time<10ms TTL=255 Ping statistics for 123.123.123.123: Packets: Sent = 4, Received = 4, Lost = 0 (0% loss), Approximate round trip times in milli-seconds: Minimum = 0ms, Maximum = 0ms, Average = 0ms</pre> 応答がある場合は、PC上プリンターのプロパティを開いて[印刷先]を再度、確認してください。 応答がない場合は、プリンター以外の機器(PC)と通信できるか確認してください。また、IPアドレスが適切な値かどうか確認してください。 IPアドレスは、PCのIPアドレスが「192.168.0.1」のとき、プリンターのIPアドレスは「192.168.0.2」のようにネットワークの番号帯が一致している必要があります。プリンターのIPアドレスが「11.22.33.44」のように番号帯が異なる場合は、一致させるようにしてください。

症状	原因と対処方法
コンフィグレーションページが印刷されない。	→ LANボードは動作していますか？ LANボードステータスランプが点灯または点滅している場合は、再度プリンターの電源を入れ直してください。
プリンターに印刷はできるが、正しく印刷されない。 印刷の途中で操作パネルに「データが残っています」と表示される。 データの最後の部分が欠けて印刷される。	→ IPアドレスが他の機器と重なっていないか確認してください。 → プリンターのWWWブラウザー画面を開き、[印刷履歴]を設定し、不具合発生時にログにエラーが無いか確認してください。
丁合い印刷、多数数印刷ができない。 ジョブセパレートができない。	プリンターと双方向通信が有効でない。 → PrintAgentは、IPP印刷、LPR印刷に対応していません。プリンタードライバの双方向通信機能を無効にしてください。詳しくは、第1部7章「PrintAgentの機能を十分に発揮させるために」(214ページ)を参照してください。 → 丁合い印刷には、メモリー増設による電子ソート機能を利用することをお勧めします。詳しくは第1部の「5章 電子ソート機能」(173ページ)を参照してください。 → 丁合い印刷または部数印刷はアプリケーションの設定を行ってください。
SNMP Trapがホストコンピューターに送信されない。	→ ルーターを越えた環境にSNMPマネージャのコンピューターが存在する場合は、ゲートウェイアドレスの設定が必要になります。
SNMPに応答がない。	→ ホストコンピューターに設定されたコミュニティ名と同じコミュニティ名をLANボードに設定してください。
Windows NTをご使用の場合	
印刷を実行するとしばらくしてプリントマネージャーに「プリンタエラー」と表示される。	→ 他のジョブを印刷している場合に起こることがあります。プリンターが使用中であれば、しばらく待ってからデータを送り直してください。
印刷中にキャンセルされる。 「エラー」と表示した状態で停止する。	→ 印刷するページを少なくして、もう一度印刷してみてください。印刷できた場合は、Windows NTのSystemディレクトリーの空き容量が少ないことが考えられます。十分な空き容量を確保してください。
LPRで大量の印刷を行うと途中で印刷が止まる場合がある。	→ 12ジョブ以上の印刷で止まる場合はWindows NTシステムに問題がある可能性が考えられます。最新のサービスパックモジュールを適用することをお勧めします。
UNIXをご使用の場合	
lprコマンドでデータを転送したが、文字が正しく印刷されない。	→ プリンター側のエミュレーションの設定が誤っている場合があります。エミュレーションの設定を確認してください。 → プリンターのコードに変換されていない場合があります。eucコードのフィルター設定を確認してください。フィルターの機能については、添付のプリンターソフトウェアCD-ROMに収録されているオンラインマニュアル「ネットワークセットアップガイド」の「UNIX」を参照してください。
putコマンドでデータを転送したが、最後のページが排出されない。	→ テキストファイル等の転送の場合、FFコードが付いていないことがあります。プリンター側で自動排出を設定してください。

(空白ページ)

付録 技術情報

MOPYING

MultiWriter

Network

***Compact
Speedy
High quality***

付録の概要

付録に記載されている内容は以下のとおりです。

仕様

機種ごとに印刷速度、消費電力、外形寸法などの仕様を記載しています。

用紙の規格

MultiWriter 2800N/2800/2300Nで通常印刷(片面印刷)時、両面印刷時にお使いになれる用紙の種類と規格について記載しています。

印刷範囲

定形用紙の印刷範囲をお使いのコンピューターの環境ごとに記載しています。

文字コード表

MultiWriter 2800N/2800/2300Nでの1バイト系および2バイト系コード表を掲載しています。

電子ソート機能有効時の印刷保証枚数表

電子ソート機能を使用するときの増設メモリーの容量による印刷保証枚数を記載しています。

グループプリンタ適合表

グループプリンタとして設定するとき使用するプリンタードライバーを記載しています。

増設メモリー対応表

増設メモリーを装着してメモリーを増設した際の解像度、用紙サイズごとに印刷保証を記載しています。

用語解説

本書中で使われている略語、用語の説明をしています。

仕 様

● MultiWriter 2800N

印刷方式

電子写真記録方式

露光方式：レーザーダイオード+ポリゴンスキャナー

現像方式：1成分乾式

印刷速度*1

約28ページ/分

(A4サイズ横置き、ホッパー給紙片面印刷時)：600dpi時

<補足>

はがき、往復はがき横置き給紙で連続印刷30枚までの場合は、約12ページ/分になります。ただし、30枚を超える連続給紙印刷を行った場合は、約6ページ/分になります。

*1 印刷速度は連続印刷の場合の最大値です。最初のページ、また印刷データの内容あるいはコンピューターからのデータの送り方などによって異なります。

ウォームアップの待ち時間

電源投入時：約52秒以内(室温20℃)

節電時：約35秒以内(室温20℃)

ファーストプリントタイム(600dpi時)

片面印刷時

A4サイズ 約6.5秒(A4用紙横置き、ホッパー給紙)

A3サイズ 約8.5秒(ホッパー給紙)

B4サイズ 約8秒(ホッパー給紙)

両面印刷時

A4サイズ 約14秒(A4用紙横置き、ホッパー給紙)

A3サイズ 約16秒(ホッパー給紙)

B4サイズ 約15秒(ホッパー給紙)

用紙容量

標準ホッパー：250枚、坪量64.0g/m²の普通紙(連量55kg相当)の場合

MP：100枚、坪量64.0g/m²の普通紙(連量55kg相当)の場合

手差し：1枚、坪量64.0g/m²の普通紙(連量55kg相当)の場合

スタック容量

250枚、坪量64.0g/m²の普通紙(連量55kg相当)の場合

ドット間隔

0.0423×0.0423mm(1/600×1/600インチ)

0.0635×0.0635mm(1/400×1/400インチ)

CPU

RV4640(133MHz)

メモリー

標準16MB、最大272MB(オプション増設時)

オプションメモリーソケット

1ソケット(DIMM用)

インターフェース

セントロニクス仕様に準拠*2(背面に1つ装備)

*2 IEEE1284規格準拠双方向パラレルインターフェース

イーサネットインターフェース(10BASE-T/100BASE-TX)

環境

動作温度：10～32.5℃

動作湿度：20～80%(RH)ただし結露しないこと

保管温度：0～32.5℃

保管湿度：10～80%(RH)ただし結露しないこと

塵埃量：一般事務室程度

ガス成分：一般事務室程度

気 圧：1.013×10⁵～0.7524×10⁵ Pa(海拔0～2500m)

騒音(音圧レベル、A補正)

動作時：53dB以下

待機時：36dB以下

電源

電 圧：AC 100V±10%

周波数：50/60Hz±1Hz

消費電力

動作時最大*3(プリンター単体時)：840W(850VA)

動作時最大*3(フルオプション時)：860W(870VA)

動作時平均(プリンター単体時)：460W

節電モード時：30W以下(節電モード0：工場出荷時)
約20W(節電モード1)
65W以下(節電モード2)

*3 最大値は瞬間的ピークを除いた値です。

外形寸法

カセット伸長時、最大：

459(幅)×583(奥行き)×319mm(高さ)

カセット縮小時、最小：

459(幅)×448(奥行き)×319mm(高さ)

質量

約17.5kg(消耗品、オプション含まず)

製品寿命*4

印刷枚数60万枚または使用年数5年のいずれか早い方

*4 定期交換部品の交換が必要です。

消耗品寿命

EPカートリッジ(本体添付)：約6,000枚(印刷枚数)

(ただしA4用紙、画像面積比5%印刷時)

● MultiWriter 2800

印刷方式

電子写真記録方式

露光方式：レーザーダイオード+ポリゴンスキャナー

現像方式：1成分乾式

印刷速度*1

約28ページ/分(A4サイズ横置き、ホッパー給紙片面印刷時)

<補足>

はがき、往復はがき横置き給紙で連続印刷30枚までの場合は、約12ページ/分になります。ただし、30枚を超える連続給紙印刷を行った場合は、約6ページ/分になります。

*1 印刷速度は連続印刷の場合の最大値です。最初のページ、また印刷データの内容あるいはコンピューターからのデータの送り方などによって異なります。

ウォームアップの待ち時間

電源投入時：約52秒以内(室温20℃)

節電時：約35秒以内(室温20℃)

ファーストプリントタイム(600dpi時)

片面印刷時

A4サイズ 約6.5秒(A4用紙横置き、ホッパー給紙)

A3サイズ 約8.5秒(ホッパー給紙)

B4サイズ 約8秒(ホッパー給紙)

両面印刷時

A4サイズ 約14秒(A4用紙横置き、ホッパー給紙)

A3サイズ 約16秒(ホッパー給紙)

B4サイズ 約15秒(ホッパー給紙)

用紙容量

標準ホッパー：250枚、坪量64.0g/m²の普通紙(連量55kg相当)の場合

MP：100枚、坪量64.0g/m²の普通紙(連量55kg相当)の場合

手差し：1枚、坪量64.0g/m²の普通紙(連量55kg相当)の場合

スタック容量

250枚、坪量64.0g/m²の普通紙(連量55kg相当)の場合

ドット間隔

0.0423×0.0423mm(1/600×1/600インチ)

0.0635×0.0635mm(1/400×1/400インチ)

CPU

RV4640(133MHz)

メモリー

標準16MB、最大272MB(オプション増設時)

オプションメモリーソケット

1ソケット(DIMM用)

インターフェース

セントロニクス仕様に準拠*2(背面に2つ装備)

*2 IEEE1284規格準拠双方向パラレルインターフェース

環境

動作温度：10～32.5℃

動作湿度：20～80%(RH)ただし結露しないこと

保管温度：0～32.5℃

保管湿度：10～80%(RH)ただし結露しないこと

塵埃量：一般事務室程度

ガス成分：一般事務室程度

気圧：1.013×10⁵～0.7524×10⁵Pa(海拔0～2500m)

騒音(音圧レベル、A補正)

動作時：53dB以下

待機時：36dB以下

電源

電圧：AC 100V±10%

周波数：50/60Hz±1Hz

消費電力

動作時最大*3(プリンター単体時)：830W(840VA)

動作時最大*3(フルオプション時)：860W(870VA)

動作時平均(プリンター単体時)：450W

節電モード時：30W以下(節電モード0：工場出荷時)

約20W(節電モード1)

65W以下(節電モード2)

*3 最大値は瞬間的ピークを除いた値です。

外形寸法

カセット伸長時、最大：

459(幅)×583(奥行き)×319mm(高さ)

カセット縮小時、最小：

459(幅)×448(奥行き)×319mm(高さ)

質量

約17.5kg(消耗品、オプション含まず)

製品寿命*4

印刷枚数60万枚または使用年数5年のいずれか早い方

*4 定期交換部品の交換が必要です。

消耗品寿命

EPカートリッジ(本体添付)：約6,000枚(印刷枚数)

(ただしA4用紙、画像面積比5%印刷時)

● MultiWriter 2300N

印刷方式

電子写真記録方式

露光方式：レーザーダイオード＋ポリゴンスキャナー

現像方式：1成分乾式

印刷速度*1

約20ページ/分

(A4サイズ横置き、ホッパー給紙片面印刷時)：600dpi時

約12ページ/分

(A4サイズ横置き、ホッパー給紙片面印刷時)：1200dpi時

<補足>

・A4サイズ縦置き給紙で連続印刷100枚までの場合は、約15.1ページ/分になります。ただし、100枚を越える連続印刷を行った場合は約10～12ページ/分になります。

・はがき、往復はがき横置き給紙で連続印刷30枚までの場合は、約9ページ/分になります。ただし、30枚を超える連続給紙印刷を行った場合は、約4.5ページ/分になります。

*1 印刷速度は連続印刷の場合の最大値です。最初のページ、また印刷データの内容あるいはコンピューターからのデータの送り方などによって異なります。

ウォームアップの待ち時間

電源投入時：約15秒以内(室温20℃)

節電時：約8秒以内(室温20℃)

ファーストプリントタイム(600dpi時)

片面印刷時

A4サイズ 約7秒(A4用紙横置き、ホッパー給紙)

A3サイズ 約9.5秒(ホッパー給紙)

B4サイズ 約9秒(ホッパー給紙)

両面印刷時

A4サイズ 約15秒(A4用紙横置き、ホッパー給紙)

A3サイズ 約18.5秒(ホッパー給紙)

B4サイズ 約17秒(ホッパー給紙)

用紙容量

標準ホッパー：250枚、坪量64.0g/m²の普通紙(連量55kg相当)の場合

MP：100枚、坪量64.0g/m²の普通紙(連量55kg相当)の場合

手差し：1枚、坪量64.0g/m²の普通紙(連量55kg相当)の場合

スタック容量

250枚、坪量64.0g/m²の普通紙(連量55kg相当)の場合

ドット間隔

0.0212×0.0212mm(1/1200×1/1200インチ)

0.0423×0.0423mm(1/600×1/600インチ)

0.0635×0.0635mm(1/400×1/400インチ)

CPU

RV4640(150MHz)

メモリー

標準16MB、最大272MB(オプション増設時)

オプションメモリーソケット

1ソケット(DIMM用)

インターフェース

セントロニクス仕様に準拠*2(背面に1つ装備)

*2 IEEE 1284規格準拠双方向パラレルインターフェース

イーサネットインターフェース(10BASE-T/100BASE-TX)

環境

動作温度：10～32.5℃

動作湿度：20～80%(RH)ただし結露しないこと

保管温度：0～32.5℃

保管湿度：10～80%(RH)ただし結露しないこと

塵埃量：一般事務室程度

ガス成分：一般事務室程度

気圧：1.013×10⁵～0.7524×10⁵Pa(海拔0～2500m)

騒音(音圧レベル、A補正)

動作時：50dB以下

待機時：36dB以下

電源

電圧：AC 100V±10%

周波数：50/60Hz±1Hz

消費電力

動作時最大*3(プリンター単体時)：830W(840VA)

動作時最大*3(フルオプション時)：850W(860VA)

動作時平均(プリンター単体時)：400W

節電モード時：25W以下(節電モード0：工場出荷時)
約20W(節電モード1)

*3 最大値は瞬間的ピークを除いた値です。

外形寸法

カセット伸長時、最大：

459(幅)×583(奥行き)×319mm(高さ)

カセット縮小時、最小：

459(幅)×448(奥行き)×319mm(高さ)

質量

約16.7kg(消耗品、オプション含まず)

製品寿命*4

印刷枚数60万枚または使用年数5年のいずれか早い方

*4 定期交換部品の交換が必要です。

消耗品寿命

EPカートリッジ(本体添付)：約6,000枚(印刷枚数)
(ただしA4用紙、画像面積比5%印刷時)

●MultiWriter 2800N/2800/2300N共通仕様

言語

- NPDL Level 2 (201PLエミュレーション含む)
 - ESC/Pエミュレーション
 - プロッターエミュレーション (HP 7550A準拠)
-

内蔵フォント

アウトラインフォント 2種類 (明朝体、ゴシック体)

対応OS

- Microsoft Windows Millennium Edition 日本語版
Microsoft Windows 98 日本語版
Microsoft Windows 98 Second Edition 日本語版
Microsoft Windows 95 日本語版
Microsoft Windows 2000 日本語版
Microsoft Windows NT 4.0 日本語版
Microsoft Windows NT 3.51 日本語版
Microsoft Windows 3.1 日本語版
- PC-PTOS Ver. 1.0以上
PC-PTOS Ver. 1.0~2.3でお使いの場合は「PTOS IVプリンターOS支援パッケージPS」が必要です。
- 日本語MS-DOS (ver 3.3以上)、MS-DOS 5.0/V以上またはIBM DOS Ver. J5.0/V以上 (DOS/V)
- Macintosh 漢字Talk 7.5.x、Mac OS 7.6.X、Mac OS 8.0~8.6、Mac OS 9.0.X (オプションのPR2200NW2-21およびPR-SW-DR01にて対応) ただし、漢字Talk 7.5.x以降のQuickDraw GXには未対応

用紙の規格

●通常印刷(片面印刷)時

普通紙(乾式PPC用紙)

寸法

A3判(297×420mm)、A4判(210×297mm)、A5判(148×210mm)、B4判(257×364mm)、B5判(182×257mm)、レターサイズ(約216×約280mm)、定形外用紙(100～297×148～420mm)(定形外用紙はMP、手差しのみ)

坪量

ホッパー給紙：64～81.4g/m²(連量*55～70kg)
MP給紙：64～81.4g/m²(連量*55～70kg)
手差し給紙：64～81.4g/m²(連量*55～70kg)

* 連量とは、用紙788×1091mm(四六判)のサイズの用紙1000枚あたりの重さを示します。

表面電気抵抗

$1 \times 10^9 \sim 1 \times 10^{12} \Omega$

厚紙

寸法

A3判(297×420mm)、A4判(210×297mm)、A5判(148×210mm)、B4判(257×364mm)、B5判(182×257mm)、レターサイズ(約216×約280mm)、定形外用紙(100～297×148～420mm)

坪量

MP給紙：81.4～128g/m²(連量*70～110kg)
手差し給紙：81.4～128g/m²(連量*70～110kg)

* 連量とは、用紙788×1091mm(四六判)のサイズの用紙1000枚あたりの重さを示します。

表面電気抵抗

$1 \times 10^9 \sim 1 \times 10^{12} \Omega$

はがき

官製はがき、官製往復はがきと同等の寸法、坪量のものを使用してください。ただし、往復はがきは折り目が無いものを使用してください。

寸法

官製はがき(100×148mm)
官製往復はがき(200×148mm)

坪量

MP給紙：157g/m²(連量*135kg)
手差し給紙：157g/m²(連量*135kg)

* 連量とは、用紙788×1091mm(四六判)のサイズの用紙1000枚あたりの重さを示します。

OHPフィルム

乾式PPC用、表面処理されているものを使用してください。

寸法 A4判(210×297mm)

厚さ 0.1mm±0.025mm(100μm±25μm)

ラベル紙

乾式PPC用、台紙全体がラベルで覆われたものを使用してください。

寸法 A4判(210×297mm)、B4判(257×364mm)

封筒

洋形4号(LIFE洋封筒E506ライフ株式会社製)のものに限ります。

寸法 105×235mm

●両面印刷時

普通紙(乾式PPC用紙)

寸法

A3判(297×420mm)、A4判(210×297mm)、A5判(148×210mm)、B4判(257×364mm)、B5判(182×257mm)、レターサイズ(約216×約280mm)

坪量

ホッパー給紙：64～81.4g/m²(連量*55～70kg)
MP給紙：64～81.4g/m²(連量*55～70kg)

* 連量とは、用紙788×1091mm(四六判)のサイズの用紙1000枚あたりの重さを示します。

表面電気抵抗

$1 \times 10^9 \sim 1 \times 10^{12} \Omega$

—チェック—

一般的に使用されている連量55kg相当の用紙に関して弊社で推奨している紙質特性を以下に示します。用紙メーカーに用紙を発注するときは下記の値を参照ください。

- 坪量 64～67g/m² (JIS P8124)
- 紙厚 0.085～0.092mm (JIS P8118)
- 平滑度 25～50sec (JIS P8119)
- 剛度 60cm³/100以上 (クラーク式：JIS P8143)
- 表面電気抵抗 $1 \times 10^9 \sim 1 \times 10^{12} \Omega$

印刷範囲

定形用紙

以下に示す印刷範囲は、理論印刷範囲を表しています。実際の印刷範囲と使用環境、プリンター設定により多少異なる場合があります。

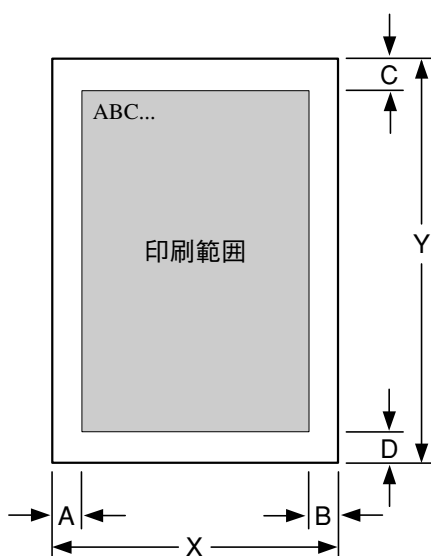
Windows環境

Windows環境において添付のプリンタードライバプロパティ上で[従来互換の印刷範囲を使用する]をチェックした場合は、MS-DOS環境と同じ印刷設定となります。87ページをご覧ください。

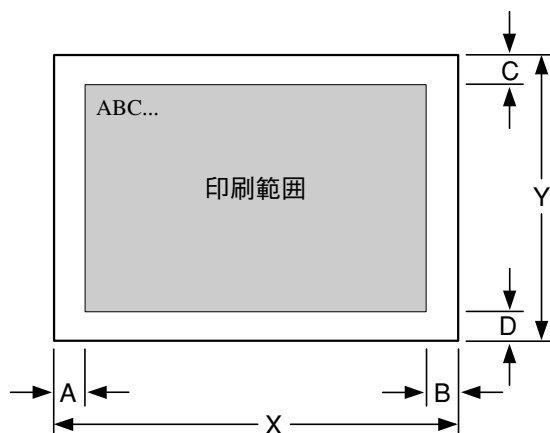
— チェック —

添付のプリンタードライバを使用した場合、ドライバーの機能により余白量をすべて約5mmに設定できます。

● ポートレート



● ランドスケープ



ポートレート

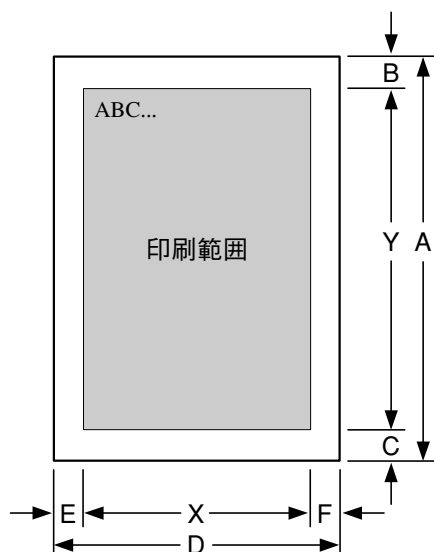
用紙	X (用紙幅) mm	Y (用紙長) mm	A (左余白) mm	B (右余白) mm	C (上余白) mm	D (下余白) mm
A2	420	594	5.00	5.00	5.00	5.00
A3	297	420	5.00	5.00	5.00	5.00
A4	210	297	5.00	5.00	5.00	5.00
A5	148	210	5.00	5.00	5.00	5.00
B4	257	364	5.00	5.00	5.00	5.00
B5	182	257	5.00	5.00	5.00	5.00
はがき	100	148	5.00	5.00	5.00	5.00
往復はがき	200	148	5.00	5.00	5.00	5.00
封筒洋形4号	105	235	5.00	5.00	5.00	5.00
レター	216	280	5.00	5.00	5.00	5.00
帳票	381	279.4	17.78	17.78	0	0
ユーザー定義	—	—	5.00	5.00	5.00	5.00
A3→A4	297	420	5.00	5.00	5.00	5.00
A3→B4	297	420	5.00	5.00	5.00	5.00
A4→A3	210	297	5.00	5.00	5.00	5.00
A4→B4	210	297	5.00	5.00	5.00	5.00
A4→B5	210	297	5.00	5.00	5.00	5.00
A4×2→A4	297	420	5.00	5.00	5.00	5.00
B4→A3	257	364	5.00	5.00	5.00	5.00
B4→A4	257	364	5.00	5.00	5.00	5.00
B4→B5	257	364	5.00	5.00	5.00	5.00
B5→A4	182	257	5.00	5.00	5.00	5.00
B5→B4	182	257	5.00	5.00	5.00	5.00
B5×2→B5	257	364	5.00	5.00	5.00	5.00
LP→A4	—	—	—	—	—	—
LP→B4	—	—	—	—	—	—

ランドスケープ

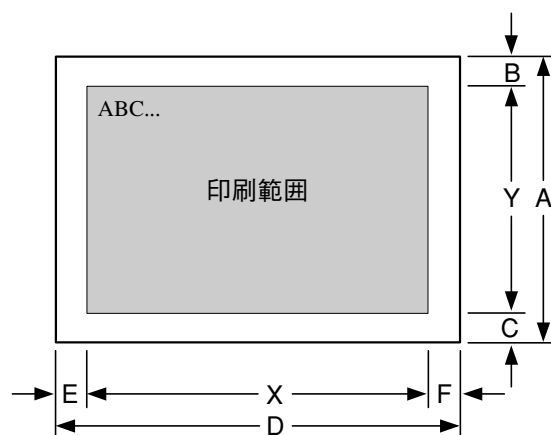
用紙	X (用紙幅) mm	Y (用紙長) mm	A (左余白) mm	B (右余白) mm	C (上余白) mm	D (下余白) mm
A2	594	420	5.00	5.00	5.00	5.00
A3	420	297	5.00	5.00	5.00	5.00
A4	297	210	5.00	5.00	5.00	5.00
A5	210	148	5.00	5.00	5.00	5.00
B4	364	257	5.00	5.00	5.00	5.00
B5	257	182	5.00	5.00	5.00	5.00
はがき	148	100	5.00	5.00	5.00	5.00
往復はがき	148	200	5.00	5.00	5.00	5.00
封筒洋形4号	235	105	5.00	5.00	5.00	5.00
レター	280	216	5.00	5.00	5.00	5.00
帳票	279.4	381	0	0	17.78	17.78
ユーザー定義	—	—	5.00	5.00	5.00	5.00
A3→A4	420	297	5.00	5.00	5.00	5.00
A3→B4	420	297	5.00	5.00	5.00	5.00
A4→A3	297	210	5.00	5.00	5.00	5.00
A4→B4	297	210	5.00	5.00	5.00	5.00
A4→B5	297	210	5.00	5.00	5.00	5.00
A4×2→A4	420	297	5.00	5.00	5.00	5.00
B4→A3	364	257	5.00	5.00	5.00	5.00
B4→A4	364	257	5.00	5.00	5.00	5.00
B4→B5	364	257	5.00	5.00	5.00	5.00
B5→A4	257	182	5.00	5.00	5.00	5.00
B5→B4	257	182	5.00	5.00	5.00	5.00
B5×2→B5	364	257	5.00	5.00	5.00	5.00
LP→A4	381	279.4	17.78	17.78	0	0
LP→B4	381	279.4	17.78	17.78	0	0

MS-DOS環境、PC-PTOS環境

- ポートレート



- ランドスケープ



● MS-DOS環境



Windows環境*1において添付のプリンタードライバプロパティ上で[従来互換の印刷範囲を使用する]をチェックした場合は、MS-DOS環境と同じ印刷設定となります。

ポートレート

付
録

データ	用紙	A (用紙長)	B (上余白)	C (下余白)	Y (印刷範囲)		D (用紙幅)	E (左余白)	F (右余白)	X (印刷範囲)		
		mm	mm	mm	ドット*5	行*2	mm	mm	mm	ドット*5	文字*3	文字*4
A3	A3	420	5.00	6.06	3864	96	297	5.00	4.98	2712	113	75
	B4	364	17.28	5.94	3864	96	257	10.12	7.70	2712	113	75
	A4	297	19.39	4.98	3864	96	210	14.77	3.88	2712	113	75
B4	A3	420	10.29	6.17	3336	83	297	13.47	7.73	2280	95	63
	B4	364	5.00	5.94	3336	83	257	8.00	7.70	2280	95	63
	A4(2/3)	297	30.82	30.80	3336	83	210	26.84	22.30	2280	95	63
	A4(4/5)	297	9.55	4.98	3336	83	210	10.75	6.21	2280	95	63
	B5	257	10.50	11.12	3336	83	182	12.66	8.48	2280	95	63
A4	A3	420	5.00	13.15	2712	67	297	7.12	12.49	1872	78	52
	A3(80)	420	5.00	13.15	2712	67	297	7.12	5.40	1920	80	53
	B4	364	5.00	14.51	2712	67	257	8.11	11.09	1872	78	52
	B4(80)	364	5.00	14.51	2712	67	257	8.11	5.05	1920	80	53
	A4	297	5.00	4.98	2712	67	210	8.00	3.88	1872	78	52
	A4(80)	297	5.00	4.98	2712	67	210	3.40	3.40	1920	80	53
	B5	257	8.60	9.22	2712	67	182	10.54	6.36	1872	78	52
	B5(80)	257	8.60	9.22	2712	67	182	8.85	3.82	1920	80	53
A4×2	A4	297	21.93	4.98	3828	-	210	14.77	3.88	2712	-	-
A4×2 (80)	A4	297	21.93	4.98	3828	-	210	14.77	3.88	2712	-	-
B5	B4	364	11.35	7.63	2328	58	257	13.29	5.37	1608	67	44
	A4	297	9.23	6.14	2328	58	210	10.12	5.36	1608	67	44
	B5	257	5.00	5.62	2328	58	182	8.00	3.82	1608	67	44
B5×2	B5	257	19.39	5.62	3288	-	182	13.93	3.82	2328	-	-
A5	A5	210	5.00	4.34	1896	47	148	8.00	4.11	1284	53	35
帳票	B4	364	35.90	51.66	3264	81	257	25.78	7.70	2640	110	73
	A4	297	30.82	35.88	3264	81	210	19.85	3.88	2640	110	73
ハガキ	ハガキ	148	5.00	3.30	1320	33	100	8.00	5.64	816	34	22
レター	レター	280	5.00	5.00	2544	63	216	8.00	4.80	1920	80	53
往復 ハガキ	往復 ハガキ	148	5.00	5.00	1303	32	200	5.00	5.00	1796	74	49
封筒	封筒	235	5.00	5.00	2126	53	105	5.00	5.00	898	37	24

*1 添付ドライバーの初期設定の余白量はすべて約5mmです。

*2 改行ピッチが6LPIの場合

*3 文字ピッチが10CPIの場合(7.2ポイントのフォント使用時)

*4 10.8ポイントのフォント使用時

*5 解像度が240dpiの場合

● MS-DOS環境



Windows環境*¹において添付のプリンタードライバープロパティ上で[従来互換の印刷範囲を使用する]をチェックした場合は、MS-DOS環境と同じ印刷設定となります。

ランドスケープ

データ	用紙	A (用紙長)	B (上余白)	C (下余白)	Y (印刷範囲)		D (用紙幅)	E (左余白)	F (右余白)	X (印刷範囲)		
		mm	mm	mm	ドット* ⁵	行* ²	mm	mm	mm	ドット* ⁵	文字* ³	文字* ⁴
A3	A3	297	4.98	5.00	2712	67	420	5.00	6.06	3864	161	107
	B4	257	9.82	8.00	2712	67	364	9.66	13.56	3864	161	107
	A4	210	10.65	8.00	2712	67	297	19.39	4.98	3864	161	107
B4	A3	297	16.20	5.00	2280	57	420	10.29	14.84	3264	136	90
	B4	257	7.70	8.00	2280	57	364	5.00	13.56	3264	136	90
	A4(2/3)	210	26.74	22.39	2280	57	297	30.82	35.88	3264	136	90
	A4(4/5)	210	8.75	8.21	2280	57	297	9.55	11.01	3264	136	90
	B5	182	8.48	12.66	2280	57	257	13.04	13.66	3264	136	90
A4	A3	297	12.49	7.12	1872	46	420	5.00	13.15	2712	113	75
	A3(80)	297	12.49	7.12	1872	46	420	5.00	13.15	2712	113	75
	B4	257	7.91	11.28	1872	46	364	5.00	14.51	2712	113	75
	B4(80)	257	7.91	11.28	1872	46	364	5.00	14.51	2712	113	75
	A4	210	3.88	8.00	1872	46	297	5.00	4.98	2712	113	75
	A4(80)	210	3.88	8.00	1872	46	297	5.00	4.98	2712	113	75
	B5	182	6.36	10.54	1872	46	257	8.60	9.22	2712	113	75
	B5(80)	182	6.36	10.54	1872	46	257	8.60	9.22	2712	113	75
A4×2	A4	210	10.65	8.00	2712	-	297	18.55	8.37	3828	-	-
A4×2 (80)	A4	210	10.65	8.00	2712	-	297	15.16	4.98	3924	-	-
B5	B4	257	10.66	8.00	1608	40	364	11.35	7.63	2328	97	64
	A4	210	7.48	8.00	1608	40	297	9.23	6.14	2328	97	64
	B5	182	3.82	8.00	1608	40	257	5.00	5.62	2328	97	64
B5×2	B5	182	9.75	8.00	2328	-	257	12.20	12.82	3288	-	-
A5	A5	148	4.11	8.00	1284	32	210	5.00	4.34	1896	79	52
帳票	B4	257	25.48	8.00	2640	66	364	35.90	51.66	3264	136	90
	A4	210	15.73	8.00	2640	66	297	30.82	35.88	3264	136	90
ハガキ	ハガキ	100	5.64	8.00	816	20	148	5.00	5.84	1296	54	36
レター	レター	216	4.80	8.00	1920	48	280	5.00	5.76	2544	106	70
往復 ハガキ	往復 ハガキ	200	5.00	5.00	1796	21	148	5.00	5.00	1303	54	36
封筒	封筒	105	5.00	5.00	898	22	235	5.00	5.00	2126	88	59

*¹ 添付ドライバーの初期設定の余白量はすべて約5mmです。

*² 改行ピッチが6LPIの場合

*³ 文字ピッチが10CPIの場合(7.2ポイントのフォント使用時)

*⁴ 10.8ポイントのフォント使用時

*⁵ 解像度が240dpiの場合

ポートレート

データ	用紙	A (用紙長)	B (上余白)	C (下余白)	Y (印刷範囲)		D (用紙幅)	E (左余白)	F (右余白)	X (印刷範囲)		
		mm	mm	mm	ドット*4	行*1	mm	mm	mm	ドット*4	文字*2	文字*3
A3	A3	420	5.00	6.06	3864	96	297	5.00	4.98	2712	113	75
	B4	364	15.58	7.63	3864	96	257	10.12	7.70	2712	113	75
	A4	297	16.01	8.37	3864	96	210	14.77	3.88	2712	113	75
B4	A3	420	10.29	8.07	3320	83	297	13.47	7.73	2280	95	63
	B4	364	5.00	7.63	3320	83	257	8.00	7.70	2280	95	63
	A4(2/3)	297	30.82	31.86	3320	83	210	26.84	22.30	2280	95	63
	A4(4/5)	297	7.54	8.37	3320	83	210	10.75	6.21	2280	95	63
	B5	257	10.50	12.18	3320	83	182	12.66	8.48	2280	95	63
A4	A3	420	5.00	17.91	2680	67	297	5.00	14.61	1872	78	52
	A3(80)	420	5.00	13.15	2712	67	297	5.00	7.52	1920	80	53
	B4	364	8.60	15.04	2680	67	257	10.54	8.65	1872	78	52
	B4(80)	364	5.00	14.51	2712	67	257	8.00	5.16	1920	80	53
	A4	297	5.00	8.37	2680	67	210	8.00	3.88	1872	78	52
	A4(80)	297	5.00	4.98	2712	67	210	3.40	3.40	1920	80	53
	B5	257	8.60	11.97	2680	67	182	10.54	6.36	1872	78	52
	B5(80)	257	8.60	9.22	2712	67	182	8.85	3.82	1920	80	53
A4×2	A4	297	21.93	9.43	3764	-	210	16.47	3.88	2688	-	-
A4×2 (80)	A4	297	21.93	9.43	3764	-	210	16.47	3.88	2688	-	-
B5	B4	364	11.35	8.90	2320	58	257	13.29	5.37	1608	67	44
	A4	297	9.23	7.10	2320	58	210	10.12	5.36	1608	67	44
	B5	257	5.00	6.47	2320	58	182	8.00	3.82	1608	67	44
B5×2	B5	257	19.39	6.68	3272	-	182	13.93	3.82	2328	-	-
A5	A5	210	5.00	4.34	1896	47	148	8.00	4.11	1284	53	35
帳票	B4	364	35.90	51.66	3264	81	257	25.78	7.70	2640	110	73
	A4	297	30.82	35.88	3264	81	210	19.85	3.88	2640	110	73
ハガキ	ハガキ	148	5.00	3.30	1320	33	100	8.00	3.10	840	35	23
レター	レター	280	5.00	5.76	2544	63	216	8.00	4.80	1920	80	53
往復 ハガキ	往復 ハガキ	148	5.00	5.00	1303	32	200	5.00	5.00	1796	74	49
封筒	封筒	235	5.00	5.00	2126	53	105	5.00	5.00	898	37	24

*1 改行ピッチが6LPIの場合

*2 文字ピッチが10CPIの場合(7.2ポイントのフォント使用時)

*3 10.8ポイントのフォント使用時

*4 解像度が240dpiの場合

ランドスケープ

データ	用紙	A (用紙長)	B (上余白)	C (下余白)	Y (印刷範囲)		D (用紙幅)	E (左余白)	F (右余白)	X (印刷範囲)		
		mm	mm	mm	ドット*4	行*1	mm	mm	mm	ドット*4	文字*2	文字*3
A3	A3	297	4.98	5.00	2712	67	420	5.00	6.06	3864	161	107
	B4	257	9.82	8.00	2712	67	364	9.66	13.56	3864	161	107
	A4	210	7.27	11.39	2712	67	297	16.85	7.52	3864	161	107
B4	A3	297	16.20	5.00	2280	57	420	10.29	6.17	3336	139	92
	B4	257	7.70	8.00	2280	57	364	5.00	5.94	3336	139	92
	A4(2/3)	210	26.74	22.39	2280	57	297	30.82	30.80	3336	139	92
	A4(4/5)	210	5.57	11.39	2280	57	297	7.01	7.52	3336	139	92
	B5	182	8.48	12.66	2280	57	257	13.04	8.58	3336	139	92
A4	A3	297	14.61	9.76	1840	46	420	5.00	16.64	2688	112	74
	A3(80)	297	14.61	9.76	1840	46	420	5.00	16.64	2688	112	74
	B4	257	5.37	17.95	1840	46	364	5.00	17.58	2688	112	74
	B4(80)	257	5.37	17.95	1840	46	364	5.00	17.58	2688	112	74
	A4	210	3.88	11.39	1840	46	297	5.00	7.52	2688	112	74
	A4(80)	210	3.88	11.39	1840	46	297	5.00	7.52	2688	112	74
	B5	182	6.36	13.29	1840	46	257	8.60	11.34	2688	112	74
	B5(80)	182	6.36	13.29	1840	46	257	8.60	11.34	2688	112	74
A4×2	A4	210	9.49	11.39	2680	-	297	18.55	8.37	3828	-	-
A4×2 (80)	A4	210	7.27	11.39	2712	-	297	12.62	7.52	3924	-	-
B5	B4	257	10.66	9.27	1600	40	364	11.35	7.63	2328	97	64
	A4	210	7.48	8.95	1600	40	297	9.23	6.14	2328	97	64
	B5	182	3.82	8.85	1600	40	257	5.00	5.62	2328	97	64
B5×2	B5	182	9.43	8.85	2320	-	257	12.20	12.82	3288	-	-
A5	A5	148	4.11	8.00	1284	32	210	5.00	4.34	1896	79	52
帳票	B4	257	25.48	8.00	2640	66	364	35.90	45.63	3336	139	92
	A4	210	12.35	11.39	2640	66	297	30.82	30.80	3336	139	92
ハガキ	ハガキ	100	5.64	5.46	840	21	148	5.00	3.30	1320	55	36
レター	レター	216	4.80	8.00	1920	48	280	5.00	5.76	2544	106	70
往復 ハガキ	往復 ハガキ	200	5.00	5.00	1796	21	148	5.00	5.00	1303	54	36
封筒	封筒	105	5.00	5.00	898	22	235	5.00	5.00	2126	88	59

*1 改行ピッチが6LPIの場合

*2 文字ピッチが10CPIの場合(7.2ポイントのフォント使用時)

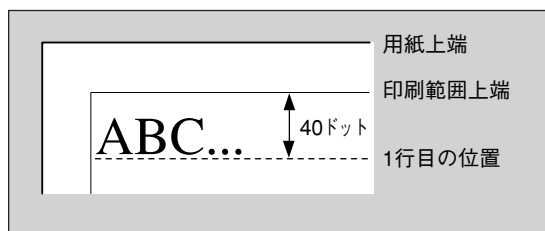
*3 10.8ポイントのフォント使用時

*4 解像度が240dpiの場合

補足説明

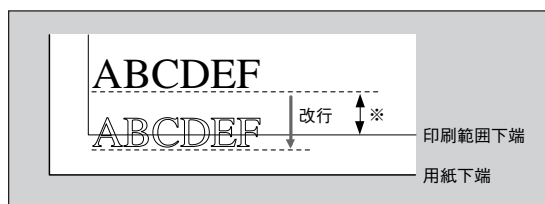
- 余白量(印刷不可領域)は、使用する用紙の寸法差、プリンター個々の用紙走行の精度などの条件により前後する場合があります。
- 印刷範囲(印刷可能ドット数)は、すべて9.45ドット/mm(240dpi)の解像度で規定されています。23.6ドット/mm(600dpi)での印刷可能ドット数は9.45ドット/mmのドット数を5/2倍にした値、47.2ドット/mm(1200dpi)での印刷可能ドット数は9.45ドット/mmのドット数を5倍にした値になります。

- 行桁モードでは、1行目の位置は9.45ドット/mm(240dpi)相当で印刷範囲の上から40ドット目(約4.2mm)となります。したがって、40ドットより小さい文字を印刷した場合、上端の余白は上記値よりも大きくなります。



- ー 1行目の第一印刷位置に文字を印刷したときは、全点アドレス印刷モードで座標値として(0, 39)(9.45ドット/mm)を指定したのと同じ位置に印刷されます。
- ー 文字が小さい場合などでは見かけ上の余白が大きくなります。

- 行桁モードでは、ページの下端付近での改行の結果、次の印刷位置が上記印刷範囲をはみ出してしまう場合には改ページされます。このため改行ピッチの設定によっては印刷範囲下端付近には印刷できない場合があります、その場合の下端余白は上記値よりも大きくなります。



最終行が下にはみ出してしまうので、実際には改ページ後に印刷されます。その結果、※の部分には印刷できなくなるので見かけ上の余白が大きくなります。

- 印刷可能桁数、行数は、上記印刷範囲のドット数を文字ピッチあるいは行ピッチで割ることによって算出したものです。計算に用いる値は右のとおりです。

- ー 値はすべて9.45ドット/mm(240dpi)のドット数です。文字数、行数とも、計算はすべて9.45ドット/mmで行います。
- ー 2バイト系文字については、カッコ内に示した文字ピッチを使用している場合のドット数を示しています。文字ピッチを変えることにより、印刷可能桁数も変わります。

種 別			ドット数
文字数	1バイト系	バイカ	24ドット
		エリート	20ドット
		コンデンス	14ドット
	2バイト系	7ポイント(1/10インチ)	24ドット
		10.5ポイント(3/20インチ)	36ドット
行数	12ポイント(1/6インチ)		40ドット
	8LPI(1/8インチ)		30ドット

- ー 1バイト系、2バイト系文字とも、文字間にスペースを挿入することが可能ですが、この場合も印刷可能桁数は減少します。

文字コード表

MultiWriter 2800N/2800/2300Nは、1バイト系コードと2バイト系コードを使用することができます。

1バイト系コードは、メモリスイッチ1-1～1-3を切り替えることによりアメリカ、イギリス、ドイツ、スウェーデン、日本の各国特殊文字が入ったコードにすることができます。工場設定は「日本」になっています。

2バイト系コードは、半角文字、JIS第一水準の漢字や記号など、およびJIS第二水準の漢字を印刷するときに使用できます。半角文字とは全角(普通の漢字)の半分の横幅の文字で、英字、数字、記号、カナなどがあります。

1バイト系コード表

カタカナモード

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
00					EOT					HT	LF	VT	FF	CR	SO	SI
10		DC1	DC2	DC3	DC4					EM		ESC	FS	GS	RS	US
20	SP	!	"	注1	注2	%	&	'	(	)	*	+	,	-	.	/
30	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	:	;	<	=	>	?
40	注3	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O
50	P	Q	R	S	T	U	V	W	X	Y	Z	注4	注5	注6	注7	-
60	注8	a	b	c	d	e	f	g	h	i	j	k	l	m	n	o
70	p	q	r	s	t	u	v	w	x	y	z	注9	注10	注11	注12	
80	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	+
90	⌂	〒	〒	〒	〒	〒	〒	〒	〒	〒	〒	〒	〒	〒	〒	〒
A0		。	「	」	、	・	ヲ	ァ	ィ	ゥ	ェ	ォ	ャ	ュ	ョ	ッ
B0	ー	ア	イ	ウ	エ	オ	カ	キ	ク	ケ	コ	サ	シ	ス	セ	ソ
C0	タ	チ	ツ	テ	ト	ナ	ニ	ヌ	ネ	ノ	ハ	ヒ	フ	ヘ	ホ	マ
D0	ミ	ム	メ	モ	ヤ	ユ	ヨ	ラ	リ	ル	レ	ロ	ワ	ン	〃	°
E0	＝	≠	≠	≠	≠	≠	≠	≠	≠	≠	≠	≠	≠	≠	≠	≠
F0	×	円	年	月	日	時	分	秒								

注 15

注 17

注 16

注 13

注 14

注 13

ひらがなモード

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
00					EOT					HT	LF	VT	FF	CR	SO	SI
10		DC1	DC2	DC3	DC4					EM		ESC	FS	GS	RS	US
20	SP	!	"	注1	注2	%	&	'	(	)	*	+	,	-	.	/
30	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	:	;	<	=	>	?
40	注3	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O
50	P	Q	R	S	T	U	V	W	X	Y	Z	注4	注5	注6	注7	-
60	注8	a	b	c	d	e	f	g	h	i	j	k	l	m	n	o
70	p	q	r	s	t	u	v	w	x	y	z	注9	注10	注11	注12	
80	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	+
90	⌂	〒	〒	〒	〒	〒	〒	〒	〒	〒	〒	〒	〒	〒	〒	〒
A0		。	「	」	、	・	を	あ	い	う	え	お	や	ゆ	よ	っ
B0	ー	あ	い	う	え	お	か	き	く	け	こ	さ	し	す	せ	そ
C0	た	ち	つ	て	と	な	に	ぬ	ね	の	は	ひ	ふ	へ	ほ	ま
D0	み	む	め	も	や	ゆ	よ	ら	り	る	れ	ろ	わ	ん	〃	°
E0	＝	≠	≠	≠	≠	≠	≠	≠	≠	≠	≠	≠	≠	≠	≠	≠
F0	×	円	年	月	日	時	分	秒								

注 15

注 17

注 16

注 13

注 14

注 13

国別相違点

注 No.	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
コード	23	24	40	5B	5C	5D	5E	60	7B	7C	7D	7E
日本	#	\$	@	[	¥	]	^	`	{		}	~
アメリカ	#	\$	@	[	\	]	^	`	{		}	~
イギリス	£	\$	@	[	\	]	^	`	{		}	~
ドイツ	#	\$	§	Ä	Ö	Ü	^	`	ä	ö	ü	ß
スウェーデン	#	¤	É	Ä	Ö	Å	Ü	é	ä	ö	å	ü

注1～12 各国特殊文字が入ります(メモリースイッチ1-1～1-3で切り替えます。)

注13 8、9、E、F行はCGグラフィックを表します。

注14 A～D行はひらがなモード(ESC &で指定)の場合はひらがな文字、カタカナモード(ESC \$で指定)の場合はカタカナ文字になります。

注15 0、1行は制御コードです。

注16 0、1行の空欄は無視されます。2～F行の空欄はスペース(SP)として処理されます。

注17 3行、0列の「0」の印刷字体はメモリースイッチ2-1により「0」に変更できます。

2バイト系コード表

半角文字

- コードは16進で表現されます。例えば、“J”のコードは0040+A=004Aとなります。
- 0020は漢字文字幅の半分のスペース(SP)です。

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
0020	!	"	#	\$	%	&	'	(	)	*	+	,	-	.	/	
0030	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	:	;	<	=	>	?
0040	@	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O
0050	P	Q	R	S	T	U	V	W	X	Y	Z	[	¥	]	^	_
0060	`	a	b	c	d	e	f	g	h	i	j	k	l	m	n	o
0070	p	q	r	s	t	u	v	w	x	y	z	{		}	~	
0080	。	「	」	、	・	を	あ	い	う	え	お	や	ゆ	よ	っ	
0090	ー	あ	い	う	え	お	か	き	く	け	こ	さ	し	す	せ	そ
00A0	。	「	」	、	・	ヲ	ア	イ	ウ	エ	オ	ヤ	ユ	ヨ	ツ	
00B0	ー	ア	イ	ウ	エ	オ	カ	キ	ク	ケ	コ	サ	シ	ス	セ	ソ
00C0	タ	チ	ツ	テ	ト	ナ	ニ	ヌ	ネ	ノ	ハ	ヒ	フ	ヘ	ホ	マ
00D0	ミ	ム	メ	モ	ヤ	ユ	ヨ	ラ	リ	ル	レ	ロ	ワ	ン	。°	
00E0	た	ち	つ	て	と	な	に	ぬ	ね	の	は	ひ	ふ	へ	ほ	ま
00F0	み	む	め	も	や	ゆ	よ	ら	り	る	れ	ろ	わ	ん	。°	

全角文字

- このコード表は、JIS 1978年版に準拠しています。(本プリンターでは、制御コードによってコード表をJIS 1983年版およびJIS 1990年版に切り替えることもできます。)ただし、デザイン処理などの都合により、一部字形の異なる文字があります。
- コードは16進で表現されます。例えば、“亜”のコードは3020+1=3021となります。
- 2121は漢字文字幅のスペース(SP)です。

漢字コード表

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
2120																
2130																
2140																
2150																
2160																
2170																
2220																
2230																
2240																
2250																
2260																
2270																
2320																
2330	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9						
2340	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O	
2350	P	Q	R	S	T	U	V	W	X	Y	Z					
2360	a	b	c	d	e	f	g	h	i	j	k	l	m	n	o	
2370	p	q	r	s	t	u	v	w	x	y	z					
2420	あ	い	う	え	お	か	き	ぎ	く							
2430	ぐ	け	こ	ご	さ	し	じ	ず	せ	そ	ぞ	た				
2440	だ	ち	ち	つ	つ	て	ど	な	に	ぬ	ね	の	は			
2450	ば	ば	ひ	び	ふ	ぶ	へ	べ	ほ	ぼ	ま	み				
2460	む	め	も	や	ゆ	よ	よ	ら	り	る	れ	わ	わ			
2470	ゐ	ゑ	を	ん												
2520	ア	イ	ウ	エ	オ	カ	キ	ク								
2530	グ	ケ	コ	ゴ	サ	シ	ジ	ズ	セ	ソ	タ					
2540	ダ	チ	ヂ	ツ	ツ	テ	ト	ナ	ニ	ヌ	ネ	ノ	ハ			
2550	バ	パ	ヒ	ビ	ピ	フ	ブ	ヘ	ベ	ホ	ボ	マ	ミ			
2560	ム	メ	モ	ヤ	ユ	ヨ	ヨ	ラ	リ	ル	レ	ロ	ワ			
2570	キ	エ	ヲ	ン	ヴ	カ	ケ									
2620	A	B	Γ	Δ	E	Z	H	Θ	I	K	Λ	M	N	Ε	O	
2630	Π	Ρ	Σ	T	Τ	Φ	X	Ψ	Ω							
2640	α	β	γ	δ	ε	ζ	η	θ	ι	κ	λ	μ	ν	ξ	ο	
2650	π	ρ	σ	τ	υ	φ	χ	ψ	ω							
2660																
2670																
2720	A	B	B	Γ	D	E	Ё	Ж	З	И	Й	К	Л	M	N	
2730	О	П	Р	С	T	У	Ф	X	Ц	Ч	Ш	Щ	Ъ	Ы	Ь	Э
2740	Ю	Я														
2750	a	b	B	Г	d	e	ё	ж	з	и	й	к	л	m	n	
2760	о	п	р	с	t	у	ф	x	ц	ч	ш	щ	ъ	ы	ь	э
2770	ю	я														

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
3020	亜	啞	娃	阿	哀	愛	挨	始	逢	葵	茜	槐	惡	握	渥	
3030	旭	葦	芦	鱗	梓	庄	幹	挽	宛	姐	虻	飴	絢	綾	鮎	或
3040	栗	拾	安	庵	按	暗	案	闇	鞍	杏	以	伊	位	依	偉	圀
3050	夷	委	威	尉	惟	意	慰	易	椅	為	畏	異	移	維	緯	胃
3060	萎	衣	謂	違	遺	井	亥	域	育	郁	磯	一	老	溢	逸	
3070	稻	茨	芋	鰯	允	印	咽	員	因	姻	引	飲	淫	胤	蔭	
3120	院	陰	隱	韻	吋	右	宇	烏	羽	迂	雨	卯	鶉	窺	丑	
3130	碓	臼	渦	嘘	唄	蔚	蔚	鰻	姥	厩	浦	瓜	閨	嚙	云	運
3140	雲	荏	餌	觀	營	嬰	影	映	曳	榮	永	泳	洩	瑛	盈	穎
3150	穎	英	衛	詠	銳	液	疫	益	馱	悅	謁	越	閱	榎	厭	円
3160	園	堰	奄	宴	延	怨	掩	援	沿	演	炎	焰	煙	燕	猿	縁
3170	艶	苑	蘭	遠	鉛	鴛	塩	汚	甥	凹	央	奧	往	応		
3220	押	旺	横	欧	段	王	翁	襖	鶯	鷗	黄	岡	沖	荻	億	
3230	屋	憶	臆	牝	牡	乙	俺	卸	恩	温	穩	音	下	化	仮	何
3240	伽	伽	佳	加	可	嘉	夏	嫁	家	寡	科	暇	果	架	歌	河
3250	火	珂	禍	禾	稼	箇	花	苛	茄	荷	華	菓	蝦	課	嘩	貨
3260	迦	過	霞	蛟	俄	峨	我	牙	臥	芽	蛾	賀	雅	餓	駕	
3270	介	会	解	回	塊	壞	迴	快	悔	恢	懷	戒	拐	改		
3320	魁	晦	械	海	灰	界	皆	絵	芥	蟹	開	階	貝	凱	効	
3330	外	咳	害	崖	慨	概	涯	碍	蓋	街	該	鎧	骸	淫	馨	蛙
3340	垣	柿	蟻	鉤	劃	嚇	各	廓	拡	攪	格	核	殼	獲	確	穫
3350	覚	角	赫	較	郭	闊	隔	革	學	岳	樂	額	顎	掛	笠	慳
3360	櫃	梶	鯀	渴	割	渴	恰	括	活	渴	滑	葛	褐	轄	且	鯉
3370	叶	枕	樺	栲	株	兜	竈	蒲	釜	鎌	嚙	鴨	栢	茅	萱	
3420	粥	刈	刈	瓦	乾	冠	冠	寒	刊	勘	勘	卷	喚	堪	姦	
3430	完	官	寬	干	幹	患	感	憤	憾	換	敢	柑	恒	棺	款	飲
3440	汗	漢	澗	灌	環	甘	監	看	竿	管	簡	緩	缶	翰	肝	艦
3450	堯	觀	諫	貫	還	鑑	閑	閑	閑	陷	韓	館	館	丸	含	岸
3460	巖	玩	癌	眼	岩	翫	贗	雁	頑	顏	願	企	伎	危	喜	器
3470	基	奇	嬉	寄	岐	希	幾	忌	揮	机	旗	既	期	棋	棄	
3520	機	婦	毅	氣	汽	幾	祈	季	稀	紀	徽	規	記	貴	起	
3530	軌	輝	飢	騎	鬼	龜	偽	儀	妓	宜	戲	技	擬	欺	儀	疑
3540	祇	義	蟻	誼	議	掬	菊	鞠	吉	吃	喫	桔	橘	詰	砧	杵
3550	黍	却	客	脚	虐	逆	丘	久	仇	休	及	吸	宮	弓	急	救
3560	朽	求	汲	泣	灸	球	究	窮	笈	級	糾	給	旧	牛	去	居
3570	巨	拒	拋	拳	渠	虛	許	距	鋸	漁	禦	魚	亨	享	京	
3620	供	俠	僑	兇	競	共	凶	協	匡	卿	叫	喬	境	峽	強	
3630	疆	怯	恐	恭	挾	教	橋	況	狂	狹	矯	胸	脅	興	蕎	鄉
3640	鏡	響	饗	驚	仰	凝	堯	曉	業	局	曲	極	玉	桐	秆	僅
3650	勤	均	巾	錦	斤	欣	欽	琴	禁	禽	筋	緊	芹	菌	衿	襟
3660	謹	近	金	吟	銀	九	俱	句	区	狗	玖	矩	苦	驅	駟	
3670	駒	具	愚	虞	喰	空	偶	寓	遇	隅	串	櫛	釧	屑	屈	
3720	掘	窟	杏	靴	轡	淫	熊	限	糸	栗	縹	桑	歟	歟	君	
3730	薰	訓	群	軍	郡	卦	袈	邪	係	傾	刑	兄	啓	圭	珪	型
3740	契	形	徑	恵	慶	慧	憩	揭	携	敬	景	桂	溪	畦	稽	系
3750	經	繼	繫	野	荊	蚩	計	詣	警	輕	頸	鷄	芸	迎	鯨	
3760	劇	戟	擊	激	隙	析	傑	欠	決	潔	穴	結	血	訣	月	件
3770	儉	倦	健	兼	券	劍	喧	圈	堅	嫌	建	憲	懸	拳	捲	

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
3820	検	権	牽	犬	献	研	硯	絹	梟	肩	見	謙	賢	軒	遣	
3830	鍵	険	顕	験	鹼	元	原	蔽	幻	弦	減	源	玄	現	絃	舷
3840	言	諺	限	乎	個	古	呼	固	姑	孤	己	庫	孤	戸	故	枯
3850	湖	狐	糊	袴	股	胡	狐	虎	誇	跨	鉅	雇	顧	鼓	五	互
3860	伍	午	吳	吾	娛	後	御	悟	梧	檣	瑚	碁	語	誤	護	醐
3870	乞	鯉	交	佼	侯	候	倖	光	公	功	効	勾	厚	口	向	
3920	后	喉	坑	垢	好	孔	孝	宏	工	巧	巷	幸	庚	庚	康	
3930	弘	恒	慌	抗	拘	控	攻	昂	晃	更	杭	校	梗	構	江	洪
3940	浩	港	溝	甲	皇	硬	稿	糠	紅	絃	絞	綱	耕	考	肯	肱
3950	腔	膏	航	荒	行	衡	講	貢	購	郊	酵	鉦	礦	鋼	閣	降
3960	項	香	高	鴻	剛	劫	号	合	豪	拷	濠	豪	轟	麴	克	刻
3970	告	国	穀	酷	鵠	黑	獄	漉	腰	甌	忽	惚	骨	伯	込	
3A20	此	頃	今	困	坤	壘	婚	恨	懇	昏	昆	根	棍	混	痕	
3A30	紺	艮	魂	些	佐	叉	唆	嵯	左	差	查	沙	磋	砂	詐	鎖
3A40	裴	坐	座	挫	債	催	再	哉	塞	妻	宰	彩	才	採	裁	
3A50	歲	濟	災	牙	犀	碎	砦	祭	斎	細	菜	裁	載	際	劑	在
3A60	材	罪	財	坂	阪	界	榊	肴	吟	崎	埼	鷺	作	削		
3A70	咋	搾	昨	朔	柵	窄	策	索	錯	桜	鮭	筵	匙	冊	刷	
3B20	察	拶	撮	擦	札	殺	薩	雜	阜	鯖	捌	鑄	鮫	皿	晒	
3B30	三	傘	參	山	慘	撒	散	棧	擦	刺	産	算	纂	蚕	讃	贊
3B40	酸	餐	斬	暫	殘	仕	仔	伺	使	束	司	史	嗣	四	士	始
3B50	姉	姿	子	屍	市	師	志	思	指	支	孜	斯	旨	枝	止	
3B60	死	氏	獅	祉	私	系	紙	紫	肢	脂	至	視	詞	詩	試	誌
3B70	諮	資	賜	雌	飼	齒	事	似	侍	児	字	寺	慈	持	時	
3C20	次	滋	治	爾	璽	痔	磁	示	而	耳	自	時	辞	汐	鹿	
3C30	式	識	鳴	竺	軸	穴	雪	七	叱	執	失	嫉	室	悉	湿	漆
3C40	疾	質	実	部	篠	悃	柴	芝	屢	藥	鎬	舍	写	射	捨	赦
3C50	斜	煮	社	紗	者	謝	車	遮	蛇	邪	借	勺	尺	杓	灼	爵
3C60	酌	积	錫	若	寂	弱	惹	主	取	守	手	朱	殊	狩	珠	種
3C70	腫	趣	酒	首	儒	受	呪	寿	授	樹	綬	需	囚	収	周	
3D20	宗	就	州	修	愁	拾	洲	秀	秋	終	繡	習	臭	舟	蒐	
3D30	衆	襲	讐	蹴	輯	週	酋	酬	集	醜	什	住	充	十	從	戎
3D40	柔	汁	洩	獸	縱	重	銃	叔	夙	宿	淑	祝	縮	肅	塾	熟
3D50	出	術	述	俊	峻	春	瞬	竣	舜	駿	准	循	旬	楯	殉	淳
3D60	準	潤	盾	純	巡	遵	醇	順	処	初	所	暑	曙	渚	庶	緒
3D70	署	書	薯	諸	諸	助	叙	女	序	徐	恕	鋤	除	傷	償	
3E20	勝	匠	升	召	哨	商	唱	嘗	獎	妾	娼	宵	將	小	少	
3E30	尚	庄	床	廠	彰	承	抄	招	掌	捷	昇	昌	昭	晶	松	梢
3E40	樟	樵	沼	消	涉	湘	燒	焦	照	症	省	硝	礁	祥	称	章
3E50	笑	柱	紹	肖	莖	蔣	蕉	衝	裳	訟	証	詔	詳	象	賞	醬
3E60	鉦	鍾	鐘	障	鞞	上	丈	丞	乘	冗	剩	城	場	壤	嬢	常
3E70	情	擾	条	杖	淨	狀	疊	穰	蒸	讓	釅	囑	埴	飾		
3F20	拭	植	殖	燭	織	職	色	触	食	蝕	辱	尻	伸	信	侵	
3F30	唇	娠	寝	審	心	慎	振	新	晋	森	榛	浸	深	申	疹	真
3F40	神	秦	紳	臣	芯	薪	親	診	身	辛	進	針	震	人	仁	刃
3F50	塵	壬	尋	甚	尽	腎	訊	迅	陣	靱	筭	諏	須	酢	囟	厨
3F60	逗	吹	垂	帥	推	水	炊	睡	粹	翠	衰	遂	醉	錐	錘	随
3F70	瑞	髓	崇	嵩	数	枢	趨	雛	据	杉	梶	菅	頗	雀	梶	

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
4020	澄	摺	寸	世	瀬	畝	是	凄	制	勢	姓	征	性	成	政	
4030	整	星	晴	棲	栖	正	清	性	生	盛	精	聖	声	製	西	誠
4040	誓	請	逝	醒	青	静	齊	稅	脆	隻	席	惜	戚	斥	昔	析
4050	石	積	籍	績	脊	責	赤	跡	蹟	碩	切	拙	接	撰	折	設
4060	窃	節	說	雪	絶	舌	蟬	仙	先	千	占	宣	專	尖	川	戰
4070	扇	撰	栓	柁	泉	浅	洗	染	潜	煎	煽	旋	穿	箭	線	
4120	織	羨	腺	舛	船	薦	詮	賤	踐	選	遷	錢	銑	閃	鮮	
4130	前	善	漸	然	全	禪	繕	膳	糰	憎	塑	咀	措	曾	曾	楚
4140	狙	疏	疎	礎	祖	租	粗	素	組	蘇	訴	阻	遡	鼠	僧	創
4150	双	叢	倉	喪	壯	奏	爽	宋	層	匝	惣	想	搜	掃	挿	搔
4160	操	早	曹	巢	槍	槽	槽	燥	争	瘦	相	窓	糟	総	綜	聡
4170	草	莊	蒼	蒼	藻	装	走	送	遭	鎗	霜	騷	像	増	憎	
4220	藏	蔵	贈	造	促	側	則	即	息	捉	束	測	足	速	俗	
4230	属	賊	族	統	卒	袖	其	揃	存	孫	尊	損	村	遜	他	多
4240	汰	汰	訖	唾	墮	妥	惰	打	舵	舵	脩	陀	駄	驢	体	堆
4250	対	耐	岱	帶	待	怠	態	戴	替	泰	滯	胎	腿	苔	袋	貸
4260	退	逮	隊	黛	鯛	代	台	大	第	醍	題	鷹	滝	瀧	卓	啄
4270	宅	托	挾	拓	沢	濯	琢	託	鐸	濁	諾	茸	珮	蛸	只	
4320	叩	但	達	辰	奪	脱	戮	豎	迎	棚	谷	狸	鱈	樽	誰	
4330	丹	单	嘆	坦	担	探	旦	歎	淡	湛	炭	短	端	簞	綻	耽
4340	胆	蛋	誕	鍛	团	壇	彈	斷	暖	檀	段	竿	談	值	知	地
4350	弛	恥	智	池	痴	置	致	軀	輝	馳	築	畜	竹	筑	蓄	
4360	逐	秩	窒	茶	嫡	着	中	仲	宙	忠	抽	昼	柱	注	虫	衷
4370	註	耐	鑄	駐	樗	豬	猪	亭	著	貯	丁	兆	涸	喋	寵	
4420	帖	帳	庁	弔	張	彫	微	懲	挑	暢	朝	潮	牒	町	眺	
4430	聴	脹	腸	蝶	調	譟	超	跳	眺	挑	鳥	鳥	勅	步	直	朕
4440	沈	珍	賃	鎮	陳	津	墜	椎	槌	追	錐	錐	搥	塚	拇	擱
4450	槻	佃	漬	柘	辻	葛	綴	鍔	椿	潰	坪	壺	婦	紬	爪	吊
4460	釣	鶴	亭	低	停	傾	剝	貞	呈	堤	定	帝	底	庭	廷	弟
4470	悌	抵	挺	提	梯	汀	碇	禎	程	締	艇	訂	諦	蹄	遁	
4520	邸	鄭	釘	鼎	泥	摘	擢	敵	的	笛	笛	適	鐃	溺	哲	
4530	徹	撤	徹	迭	鉄	典	填	天	展	添	纏	甜	貼	転	顛	
4540	点	佗	殿	澱	田	電	兎	吐	堵	塗	妬	屠	徒	斗	杜	渡
4550	登	菟	賭	途	都	鍍	砥	礪	努	度	土	奴	怒	倒	党	冬
4560	凍	刀	唐	塔	塘	套	宕	島	嶋	投	搭	束	桃	橋	棟	
4570	盜	淘	湯	濤	灯	燈	当	痘	禱	等	答	箇	糖	統	到	
4620	董	蕩	藤	討	騰	豆	踏	逃	透	鎧	陶	頭	騰	闘	働	
4630	動	同	堂	導	懂	撞	洞	瞳	童	胴	苟	道	銅	峠	錫	匿
4640	得	德	漬	特	督	禿	篤	毒	独	読	朽	椽	凸	突	殺	届
4650	鳶	苦	寅	酉	滯	噸	屯	惇	敦	沌	豚	頓	頓	吞	曇	鈍
4660	奈	那	内	乍	夙	雍	謎	灘	捺	鍋	櫓	馴	蠟	駁	南	楠
4670	軟	難	汝	二	尼	弑	邇	勾	賑	肉	虹	廿	日	乳	入	
4720	如	尿	菲	任	妊	忍	認	濡	禰	祢	寧	葱	猫	熱	年	
4730	念	捻	燃	燃	粘	乃	迺	之	桼	囊	惱	濃	納	能	腦	膿
4740	農	硯	蚤	巴	把	播	霸	杷	波	派	琶	破	婆	罵	芭	馬
4750	俳	癡	拜	排	敗	杯	盃	牌	背	肺	輩	倍	培	媒	梅	
4760	煤	煤	狙	買	壳	賠	陪	這	蠅	秤	矧	萩	伯	剝	博	拍
4770	柏	泊	白	箔	粕	舶	薄	迫	曝	漠	爆	縛	莫	駁	麦	

漢字コード表(続き)

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
4820		函	箱	碁	箸	肇	箸	櫨	幡	肌	畑	畠	八	鉢	潑	発
4830	酸	髪	伐	罰	拔	筏	閥	鳩	嘶	塙	蛤	隼	伴	判	半	反
4840	叛	帆	搬	斑	板	汜	汎	版	犯	班	畔	繁	般	藩	販	範
4850	采	煩	煩	飯	挽	晩	番	盤	磐	蕃	蛮	匪	卑	否	妃	庇
4860	彼	悲	扉	批	披	斐	比	泌	疲	皮	碑	秘	緋	罷	肥	被
4870	誹	費	避	非	飛	樋	簾	備	尾	微	枇	毘	毚	眉	美	
4920		鼻	柁	稗	匹	疋	髭	彦	膝	菱	肘	弼	必	畢	筆	逼
4930	檜	姫	媛	紐	百	謬	俵	彪	標	水	漂	瓢	票	表	評	豹
4940	廟	描	病	秒	苗	錨	鉦	蒜	蛭	鱈	品	彬	斌	浜	瀕	貧
4950	賓	頻	敏	瓶	不	付	埠	夫	婦	富	富	布	府	怖	扶	敷
4960	斧	普	浮	父	符	腐	膚	芙	譜	負	賦	赴	阜	附	侮	撫
4970	武	舞	葡	蕪	部	封	楓	風	葦	落	伏	副	復	幅	服	
4A20		福	腹	複	覆	淵	弗	弘	沸	仏	物	鮑	分	吻	噴	墳
4A30	憤	扮	焚	奮	粉	糞	紛	雰	文	聞	丙	併	兵	屏	幣	平
4A40	弊	柄	並	蔽	閉	陞	米	頁	僻	壁	癖	碧	別	警	蔑	篋
4A50	偏	變	片	篇	編	辺	返	遍	便	勉	婉	弁	鞭	保	舖	鋪
4A60	圃	捕	步	甫	補	輔	穗	募	墓	慕	戊	暮	母	簿	菩	倣
4A70	俸	包	呆	報	奉	宝	峰	峯	崩	庖	抱	捧	放	方	朋	
4B20		法	泡	烹	砲	縫	胞	芳	萌	蓬	蜂	褒	訪	豐	邦	鋒
4B30	飽	鳳	鵬	乏	亡	傍	剖	坊	妨	帽	忘	忙	房	暴	望	某
4B40	棒	冒	紡	肪	膨	謀	貌	貿	鉗	防	吠	煩	北	僕	卜	墨
4B50	撲	朴	牧	睦	穆	鉤	勃	沒	殆	堀	幌	奔	本	翻	凡	盆
4B60	摩	磨	魔	麻	埋	妹	昧	枚	每	哩	榎	幕	膜	枕	鮪	枉
4B70	鱗	櫛	亦	僕	又	抹	末	沫	迄	儘	繭	曆	万	慢	滿	
4C20		漫	蔓	味	未	魅	巳	箕	岬	密	蜜	湊	蓑	稔	脈	妙
4C30	耗	民	眠	務	夢	無	牟	矛	霧	鵠	掠	婿	娘	冥	名	命
4C40	明	盟	迷	銘	鳴	姪	牝	滅	免	棉	綿	緬	面	麵	摸	模
4C50	茂	妄	孟	毛	猛	盲	網	耗	蒙	儲	木	默	目	奎	勿	餅
4C60	尤	戾	勑	貫	問	悶	紋	門	匆	也	冶	夜	爺	耶	野	弥
4C70	矢	厄	役	約	葉	訖	躍	靖	柳	藪	鍵	愉	愈	油	癒	
4D20		論	輪	唯	佑	優	勇	友	有	幽	悠	憂	揖	有	柚	湧
4D30	涌	猶	猷	由	祐	裕	誘	遊	邑	郵	雄	融	夕	予	余	与
4D40	營	輿	預	備	幼	妖	容	庸	揚	搖	擁	曜	楊	樣	洋	浴
4D50	熔	用	窯	羊	耀	葉	蓉	要	謠	踊	遙	陽	養	慾	抑	欲
4D60	沃	浴	翌	翼	淀	羅	螺	裸	來	萊	賴	雷	洛	絡	落	酪
4D70	乱	卵	嵐	欄	濫	藍	蘭	覽	利	吏	履	李	梨	理	璃	
4E20		痢	裏	裡	里	離	陸	律	率	立	律	掠	略	劉	流	溜
4E30	琉	留	硫	粒	隆	竜	龍	侶	慮	旅	虜	了	亮	僚	兩	凌
4E40	寮	料	梁	涼	獺	療	瞭	稜	糧	良	諒	遼	量	陵	領	力
4E50	綠	倫	厘	林	淋	淋	琳	臨	輪	隣	隣	麟	溜	累	淚	累
4E60	類	令	伶	例	冷	勵	嶺	伶	玲	礼	苓	鈴	隸	零	靈	麗
4E70	齡	曆	歷	列	劣	烈	裂	廉	恋	憐	漣	煉	簾	練	聯	
4F20		蓮	連	鍊	呂	魯	櫓	炉	路	路	露	勞	婁	廊	弄	朗
4F30	樓	榔	浪	漏	牢	狼	籠	老	聾	蠟	郎	六	麓	禄	肋	録
4F40	論	倭	和	話	歪	賄	脇	惑	杵	驚	互	亘	鰐	託	藁	蕨
4F50	碗	湾	碗	腕												
4F60																
4F70																

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
5020		弋	丐	丕	个	卬	丩	井	丿	乂	乖	乘	亂	丌	豫	爭
5030	舒	式	于	亞	亟	一	亢	京	毫	亶	从	仍	仄	仆	仆	仗
5040	仞	仞	仞	价	伉	佚	估	佛	佝	佗	佗	佗	修	侏	侏	佻
5050	佩	佰	侑	侑	來	侖	俛	俛	俛	俛	俛	俛	侑	俛	俛	俛
5060	俚	倚	倨	倨	俛	倨	倨	倨	倨	倨	倨	倨	倨	倨	倨	倨
5070	偃	假	會	偕	修	偈	倣	倣	倣	倣	倣	倣	倣	倣	倣	倣
5120		僉	僇	傳	僇	僇	僇	僇	僇	僇	僇	僇	僇	僇	僇	僇
5130	僇	僇	僇	僇	僇	僇	僇	僇	僇	僇	僇	僇	僇	僇	僇	僇
5140	兩	僉	兮	冀	冂	回	册	冉	冂	青	晁	晁	一	冤	冠	冢
5150	寫	幕	冫	決	冫	冲	冰	況	冽	涸	涼	凜	几	處	凜	凭
5160	凰	冂	函	刃	刊	刌	刌	刌	刌	刌	刌	刌	刌	刌	刌	刌
5170	刌	刌	刌	刌	刌	刌	刌	刌	刌	刌	刌	刌	刌	刌	刌	刌
5220		辦	劬	劬	劬	劬	劬	劬	劬	劬	劬	劬	劬	劬	劬	劬
5230	勸	勸	勸	勸	勸	勸	勸	勸	勸	勸	勸	勸	勸	勸	勸	勸
5240	勸	勸	勸	勸	勸	勸	勸	勸	勸	勸	勸	勸	勸	勸	勸	勸
5250	厥	斷	廠	厶	參	纂	雙	雙	曼	變	叮	叨	叭	叭	叭	叭
5260	呀	听	吭	吼	吮	呐	吩	吝	呖	咏	呵	咎	咎	咎	咎	咎
5270	咒	呻	咀	呶	咄	呶	呶	哇	呶	咸	咥	咬	哄	哈	咨	
5320		咫	晒	吃	咄	咄	咄	哥	哦	唏	唔	哽	唏	哭	哺	呀
5330	咄	哇	咄	咄	咄	咄	咄	咄	咄	咄	咄	咄	咄	咄	咄	咄
5340	咄	咄	咄	咄	咄	咄	咄	咄	咄	咄	咄	咄	咄	咄	咄	咄
5350	咄	咄	咄	咄	咄	咄	咄	咄	咄	咄	咄	咄	咄	咄	咄	咄
5360	咄	咄	咄	咄	咄	咄	咄	咄	咄	咄	咄	咄	咄	咄	咄	咄
5370	咄	咄	咄	咄	咄	咄	咄	咄	咄	咄	咄	咄	咄	咄	咄	咄
5420		圉	國	國	圓	團	圖	圖	圉	圉	圉	圉	圉	圉	圉	圉
5430	圉	圉	圉	圉	圉	圉	圉	圉	圉	圉	圉	圉	圉	圉	圉	圉
5440	圉	圉	圉	圉	圉	圉	圉	圉	圉	圉	圉	圉	圉	圉	圉	圉
5450	圉	圉	圉	圉	圉	圉	圉	圉	圉	圉	圉	圉	圉	圉	圉	圉
5460	圉	圉	圉	圉	圉	圉	圉	圉	圉	圉	圉	圉	圉	圉	圉	圉
5470	圉	圉	圉	圉	圉	圉	圉	圉	圉	圉	圉	圉	圉	圉	圉	圉
5520		奸	妁	妝	佞	佞	妣	妣	妣	妣	妣	妣	妣	妣	妣	妣
5530	娑	娜	娉	娉	娉	娉	娉	娉	娉	娉	娉	娉	娉	娉	娉	娉
5540	媽	媽	媽	媽	媽	媽	媽	媽	媽	媽	媽	媽	媽	媽	媽	媽
5550	孃	孃	孃	孃	孃	孃	孃	孃	孃	孃	孃	孃	孃	孃	孃	孃
5560	它	宦	宸	宸	冠	奎	寔	寔	寔	寔	寔	寔	寔	寔	寔	寔
5570	寔	寔	寔	寔	寔	寔	寔	寔	寔	寔	寔	寔	寔	寔	寔	寔
5620		屺	屺	屺	屺	屺	屺	屺	屺	屺	屺	屺	屺	屺	屺	屺
5630	岬	岬	岬	岬	岬	岬	岬	岬	岬	岬	岬	岬	岬	岬	岬	岬
5640	崙	崙	崙	崙	崙	崙	崙	崙	崙	崙	崙	崙	崙	崙	崙	崙
5650	崙	崙	崙	崙	崙	崙	崙	崙	崙	崙	崙	崙	崙	崙	崙	崙
5660	巫	已	厄	帛	帛	帛	帛	帛	帛	帛	帛	帛	帛	帛	帛	帛
5670	幟	幟	幟	幟	幟	幟	幟	幟	幟	幟	幟	幟	幟	幟	幟	幟
5720		廖	廣	廐	廐	廐	廐	廐	廐	廐	廐	廐	廐	廐	廐	廐
5730	升	升	升	升	升	升	升	升	升	升	升	升	升	升	升	升
5740	彳	彳	彳	彳	彳	彳	彳	彳	彳	彳	彳	彳	彳	彳	彳	彳
5750	徒	徒	徒	徒	徒	徒	徒	徒	徒	徒	徒	徒	徒	徒	徒	徒
5760	怙	怙	怙	怙	怙	怙	怙	怙	怙	怙	怙	怙	怙	怙	怙	怙
5770	協	恆	恍	恣	恃	恤	恣	恣	恣	恣	恣	恣	恣	恣	恣	恣

	O	I	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
6020	燹	權	爍	爐	爛	羣	爭	爬	爰	爲	文	俎	月	牀	牆	
6030	賤	牘	低	梧	犁	犂	犒	牽	憤	犧	犹	豺	狙	狆	狄	
6040	狎	狝	貉	狠	狡	狹	狷	條	猗	猊	猜	猖	猝	猴	獴	猩
6050	狼	猾	獎	摸	默	獮	獐	獨	寧	獸	獵	獻	類	迦	玳	瑯
6060	玻	珀	珥	珮	珞	璫	琅	瑯	琥	琬	琲	琲	瑕	璵	瑟	瑙
6070	瑁	瑜	瑩	瑰	瓊	瑪	瑤	瑾	璋	璞	璧	瓊	龍	嬰	瑛	
6120		瓠	觶	卮	匋	甌	甦	用	盱	毗	盃	甄	釭	醢	臚	顙
6130	薺	薺	覺	菅	甦	甬	卑	甾	𪔐	𪔑	𪔒	𪔓	𪔔	𪔕	𪔖	𪔗
6140	畧	畫	除	畸	當	疆	疇	疇	疊	疊	疊	疔	疚	疝	疥	疣
6150	痲	疖	疔	疵	疽	疸	疼	庖	痄	痊	痒	癢	痣	痞	痼	痿
6160	瘤	瘁	痰	痺	瘋	瘋	瘍	瘡	瘟	瘡	痔	瘡	癰	瘤	瘡	
6170	瘰	癭	癰	癰	癰	癰	癰	癰	癰	癰	癰	癰	癰	癰	癰	
6220		癰	八	癸	發	自	兒	飯	旱	皎	皖	皓	皙	皜	皜	皜
6230	戰	輝	皺	孟	盍	蓋	盒	盞	盡	盞	盞	盞	盞	盞	盞	盞
6240	眈	眈	昵	眞	皆	眈	昧	脊	眸	睇	睇	睇	睇	睇	睇	睇
6250	瞿	睹	睹	瞋	瞋	瞋	瞋	瞋	瞋	瞋	瞋	瞋	瞋	瞋	瞋	瞋
6260	矗	矚	矜	矣	矮	砒	砌	砌	砒	砒	硏	硅	碎	砒	蓉	礪
6270	碚	碌	碣	碩	礎	礎	礎	礎	礎	礎	礪	碼	磅	磊	磬	
6320		磧	磚	磽	磴	磯	磯	磯	礬	礬	礬	祀	祠	祗	崇	祚
6330	祕	祕	祺	祿	禊	禊	禊	齋	禪	禮	禪	禹	禺	秉	批	秧
6340	拒	秣	秣	稈	稍	棋	植	稠	粟	稟	稱	稻	藁	稷	穉	穗
6350	稗	稿	穢	穩	龜	穰	穹	穿	竊	窗	窅	窘	窖	窩	竈	窖
6360	寔	窳	窳	隆	邃	寶	竊	計	奸	妨	氐	站	圻	竝	垧	埃
6370	娖	竭	堙	筑	笏	筵	色	笏	筵	筵	筵	范	笨	笑	筐	
6420		筐	筭	筭	筭	筭	筭	筭	筭	筭	筭	筭	夜	篋	篋	箱
6430	箇	簞	拖	空	筍	箋	箒	箒	箒	籊	篋	篋	篋	篋	篋	篋
6440	籌	飾	簑	簑	篋	策	篋	實	族	彪	筆	蓬	築	簑	簑	簑
6450	簧	簪	簪	簪	簪	簪	簪	簪	簪	簪	簪	簪	簪	簪	簪	簪
6460	籊	籊	料	枇	戶	粵	糝	糝	糝	糝	糝	糝	糝	糝	糝	糝
6470	棕	枇	榱	榱	椽	楠	糜	模	鬻	糯	糝	糝	糝	糝	糝	糝
6520		紂	紂	紂	素	絢	紫	繼	給	紂	絆	絆	絆	絆	絆	絆
6530	絨	絮	綫	緝	經	綉	條	綫	紹	紹	綺	縈	縈	縈	縈	縈
6540	綾	總	網	絢	絲	綵	綵	綵	絨	絹	縈	縈	縈	縈	縈	縈
6550	縈	縣	緯	縫	縱	縈	縈	縈	膝	繆	縈	縈	縈	縈	縈	縈

漢字コード表(続き)

[illegible][illegible]

電子ソート機能有効時の印刷保証枚数表

電子ソート機能有効時の増設したメモリーによる印刷保証枚数は以下のとおりです。



プリンターとコンピューターの双方向通信が無効な場合、以下の表に示す印刷ページ数が1部を超えた複数部数印刷はできません。

MultiWriter 2800N/2800の場合

用紙サイズ	解像度 (dpi)	増設メモリー容量		
		+64MB	+128MB	+256MB
A3片面	400	13枚	31枚	67枚
	600	3枚	11枚	28枚
B4片面	400	18枚	42枚	90枚
	600	5枚	15枚	37枚
A4片面*	400	27枚	64枚	137枚
		13枚	32枚	68枚
	600	7枚	24枚	57枚
		3枚	12枚	28枚

MultiWriter 2300Nの場合

用紙サイズ	解像度 (dpi)	増設メモリー容量		
		+64MB	+128MB	+256MB
A3片面	400	13枚	31枚	67枚
	600	3枚	11枚	28枚
	1200	—	—	3枚
B4片面	400	18枚	42枚	90枚
	600	5枚	15枚	37枚
	1200	—	—	5枚
A4片面*	400	27枚	64枚	137枚
		13枚	32枚	68枚
	600	7枚	24枚	57枚
		3枚	12枚	28枚
	1200	—	—	8枚
		—	—	4枚

—：電子ソート機能が働きます。

* それぞれの解像度の上段はプリンタードライバーなどでジョブセパレート＝OFFとして印刷した場合です。
下段はプリンタードライバー上でジョブセパレート＝ON(プリンタードライバーの初期設定)として印刷した場合です。

グループプリンタ適合表

グループプリンタの構成に使用するプリンタードライバーによって、グループ化できるプリンターの機種は異なります。お使いのプリンターの種類によってグループプリンタの構成に使用するプリンタードライバーを以下の表に従って選択してください。

使用するプリンタードライバー	グループ設定可能なプリンターの機種
MultiWriter 2800N MultiWriter 2800	MultiWriter 2800N、2800、2300N
MultiWriter 2300N	MultiWriter 2300N
MultiWriter 2300	MultiWriter 2300N MultiWriter 2300
MultiWriter 2100	MultiWriter 2800N、2800、2300N MultiWriter 2300、2100
MultiWriter 210S	MultiWriter 210S
MultiWriter 2650M	MultiWriter 2800N、2800、2300N MultiWriter 2300、2100 MultiWriter 2650M、2250H
MultiWriter 2250H	MultiWriter 2300N MultiWriter 2300、2250H
MultiWriter 2650E MultiWriter 2650 MultiWriter 2250 MultiWriter 2050	MultiWriter 2800N、2800、2300N MultiWriter 2300、2100 MultiWriter 2650M、2250H MultiWriter 2650E、2650 MultiWriter 2250、2050

増設メモリー対応表

増設メモリー対応表を次に示します。ここではプリンター電源投入時の解像度が1200dpi (MultiWriter 2300Nのみ)と600dpiの時のについて説明します。その他、詳細については添付のプリンターソフトウェア CD-ROMに収録されているオンラインマニュアル「プリンターの設定と技術仕様」をご覧ください。

MultiWriter 2800N/2800の場合

メモリー容量 (増設メモリー)	16MB (標準)		80MB (64MB)		144MB (128MB)		272MB (256MB)	
メモリー割当設定*1	標準		標準	電子ソート優先	標準	電子ソート優先	標準	電子ソート優先
A3片面	○		○	○	○	○	○	○
A3両面	○		○	○	○	○	○	○
B4片面	○		○	○	○	○	○	○
B4両面	○		○	○	○	○	○	○
A4横片面	○		○	○	○	○	○	○
A4横両面	○		○	○	○	○	○	○

◎：印刷保証
 ○：印刷可能（印刷データによっては、メモリーの増設を必要とする場合があります）
 網掛け部分は工場出荷設定、または工場出荷時設定のプリンターにメモリーを増設したときの初期設定になります。

MultiWriter 2300Nの場合

メモリー容量 (増設メモリー)		16MB (標準)		80MB (64MB)		144MB (128MB)		272MB (256MB)					
メモリー割当設定*1		標準		標準		電子ソート優先	標準		電子ソート優先	標準		電子ソート優先	
プリンターの電源投入時 解像度*2													
用紙サイズ・ 印刷解像度		600dpi	1200dpi	600dpi	1200dpi	600dpi	600dpi	1200dpi	600dpi	600dpi	1200dpi	600dpi	1200dpi
A3片面	600dpi	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
	1200dpi	○	○	○	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
A3両面	600dpi	○	○	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
	1200dpi	○	○	○	◎	○	○	◎	○	◎	○	◎	◎
B4片面	600dpi	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
	1200dpi	○	○	○	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
B4両面	600dpi	○	○	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
	1200dpi	○	○	○	◎	○	○	◎	○	◎	○	◎	◎
A4横片面	600dpi	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
	1200dpi	○	○	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
A4横両面	600dpi	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
	1200dpi	○	○	○	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎

◎：印刷保証

○：印刷可能（印刷データによっては、メモリーの増設を必要とする場合があります）

網掛け部分は工場出荷時設定、または工場出荷時設定のプリンターにメモリーを増設したときの初期設定となります。

*1 メモリー割当ての設定について

プリンターの操作パネルで切り替えます。

メニューモードの“ウンヨウメニュー”→“メモリセッテイ”です。詳しくは、4章の「メニューモード」(116ページ)を参照してください。

メモリー増設量	メモリー割当設定	
32MB増設時	ヒョウジュン	フォームトウロクユウセン
64MB～増設時	ヒョウジュン	デンシソートユウセン

1) 網掛け部分は、メモリーを増設した時の初期設定です。

2) MultiWriter 2300Nの電源投入時のプリンター立ち上げ解像度は1200dpiで、電子ソート機能を使用するためには、256MBの増設メモリーが必要です。

*2 プリンターの電源投入時の解像度について

プリンターの操作パネルで切り替えます。

工場出荷時は、600dpiに設定されています。

電源投入時の解像度	設定の変更方法（以下のいずれかの方法で行います。）
400dpi	●メモリスイッチの設定：MSW4-1＝ON、MSW4-2＝OFFに設定 ●メニューモードの“ウンヨウメニュー”→“カイゾウドセッテイ”を400dpiに設定
600dpi (工場出荷時設定)	●メモリスイッチの設定：MSW4-1＝OFF、MSW4-2＝OFFに設定 ●メニューモードの“ウンヨウメニュー”→“カイゾウドセッテイ”を600dpiに設定
1200dpi (MultiWriter 2300Nのみ)	●メモリスイッチの設定：MSW4-1＝OFF、MSW4-2＝ONに設定 ●メニューモードの“ウンヨウメニュー”→“カイゾウドセッテイ”を1200dpiに設定

例) MultiWriter 2300Nで、用紙サイズ：A3、レイアウト：両面印刷、解像度：1200dpiで印刷する場合は以下の条件で印刷保証となります。

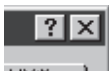
- 1) 増設メモリーを64MB以上にする。
- 2) メモリー割当て設定を“ヒョウジュン”に設定する。
- 3) プリンターの電源投入時解像度を、1200dpiにする。

用語解説

英数字

[?]ボタン

Windows Me/98/95/2000、Windows NT 4.0/3.51で、ダイアログボックスの項目についてのヘルプ画面を表示するためのボタン。[?]ボタンをクリックしてからウィンドウ内の項目をクリックすると項目の説明が表示される。



10BASE-2/10BASE-T/100BASE-TX

ネットワークの伝送路に関する規格。伝送速度は10BASE-2/Tが10Mbps、100BASE-TXが100Mbps。本プリンターでこれらの規格のケーブルを使ってネットワーク接続することができる。

16進ダンブ印刷

プリンターが受信したデータを処理せず、そのまま16進数で印刷すること。プリンターの動作を調べるときに使用する。(→ステータス印刷)

18	48	1C	30	36	46	51	20	30	30	18	73	30	1B	24
20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	2A	2B	2C	2D	2E
30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	3A	3B	3C	3D	3E
40	41	42	43	44	45	46	47	48	49	4A	4B	4C	4D	4E
50	51	52	53	54	55	56	57	58	59	5A	5B	5C	5D	5E
60	61	62	63	64	65	66	67	68	69	6A	6B	6C	6D	6E
70	71	72	73	74	75	76	77	78	79	7A	7B	7C	7D	7E
80	81	82	83	84	85	86	87	88	89	8A	8B	8C	8D	8E
90	91	92	93	94	95	96	97	98	99	9A	9B	9C	9D	9E
A1	A2	A3	A4	A5	A6	A7	A8	A9	AA	AB	AC	AD	AE	AF
B1	B2	B3	B4	B5	B6	B7	B8	B9	BA	BB	BC	BD	BE	BF
C1	C2	C3	C4	C5	C6	C7	C8	C9	CA	CB	CC	CD	CE	CF
D1	D2	D3	D4	D5	D6	D7	D8	D9	DA	DB	DC	DD	DE	DF
E1	E2	E3	E4	E5	E6	E7	E8	E9	EA	EB	EC	ED	EE	EF

201PL

NECのシリアルプリンター用標準コードのこと。

AppleTalk

米国アップルコンピュータ社が開発したMacintosh専用のネットワーク用ソフトウェアまたはプロトコル。

CR

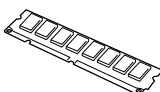
Carriage Return(キャリッジリターン)の略。改行を表す文字コード。もともとはタイプライターのキャリッジを左端に戻すという意味。プリンターの制御コード(コマンド)のひとつ。

CSV形式

データベースソフトや表計算ソフトのデータをテキストファイルとして保存する場合の形式のひとつ。データを区切り符号で仕切ることで異なるアプリケーション間でのデータの共有を図ることができる。

DIMM

Dual In-line Memory Moduleの略。コンピューターやプリンターなどに使われるメモリーの種類。



DHCP

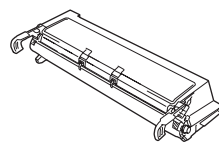
Dynamic Host Configuration Protocolの略。ネットワーククライアントにIPアドレスなどのパラメーターを配布するプロトコル。DHCPサーバーにおいてIPアドレスなどを一括管理し、クライアントは起動時にDHCPサーバーにIPアドレスの貸し出しを要求する。IPアドレスの一括管理によりアドレスの重複を避け、容易にネットワークの構築ができる。

DPI(dpi)

Dots Per Inchの略。1インチ当たりのドット数。プリンターの解像度などを表す単位。(→解像度)

EPカートリッジ

OPCドラム、現像ユニットなどが一体化された部品。ドラムにトナーを付着させ印刷イメージを形成させるはたらきをする(→OPC)。消耗品のため「76 トナーナシ EPコウカン」が表示されたら交換が必要。1本で印刷できる枚数はカートリッジの種類、印刷するデータによって異なる(詳細は「6章日常の保守」参照)。



ECP

Extended Capabilities Portの略。コンピューターとプリンターをつなぐパラレルインターフェースであるIEEE 1284が使用する、データ転送モードのひとつ。マイクロソフト社と米ヒューレット・パッカード社が中心となって提案した。データ転送速度は従来のセントロニクスの最大150KB/秒に比べ、2MB/秒と高速である。また、双方向通信機能やデータ圧縮機能を備える。使用するにはコンピューターとプリンターなど周辺機器の両方が対応している必要がある。

ESC/P

セイコーエプソン株式会社が開発したプリンターを制御する命令(コマンド)の集まり。

FF

Form Feedの略。プリンター制御命令のひとつで、改ページを行うためのもの。

IPアドレス

IPはInternet Protocolの略。インターネット上で個々のユーザーを認識する符号(アドレス)。インターネットに接続したコンピューターにはすべてIPアドレスが割り振られる。

IPP

Internet Printing Protocolの略。Windows 2000で標準にサポートされたインターネット印刷プロトコル。イントラネットやインターネットを通じてURLの指定を受けたプリンターに印刷することができる。

IPX/SPX

NetWareをネットワークOSとしてインストールしたコンピュータが使用するプロトコル。

ISO 9660

ISO(International Organization for Standardization: 国際標準化機構)が定めたCD-ROM用のファイル形式。多くのCDはこの方式を採っており、OSによって異なるフォルダーやファイルの名前の規則を守ればMacintoshやUNIXマシンでも読み出すことが可能。

LAN

Local Area Networkの略。構内情報通信網のこと。

LAN Manager

マイクロソフト社が開発したネットワークOS。NetBEUIプロトコルを用いる。本プリンターの場合、マルチプロトコルLANボード「PC-PR-L01」を装着することで対応可能。

LPR

Line Printer Remoteの略。Windows 2000/NT 4.0/NT 3.51、UNIXに標準でサポートされている。ネットワーク上でコンピュータからプリンターへ印刷することができる。

LPRバイトカウント

LPRプロトコルで、印刷データを送信する前に印刷データの容量を測定し、プリンターに送信する機能。

Macintosh

米国アップルコンピュータ社が開発したパーソナルコンピュータの総称。Mac OSには、あらかじめAppleTalkソフトウェアが組み込まれており、LocalTalkケーブルシステムやEtherTalkケーブルシステムを使ってネットワークを構築する。

Mac OS

米国アップルコンピュータ社が開発したパーソナルコンピュータのMacintoshのOSのこと。個々の名称はSystem(日本語では漢字Talk)であるが、総称としてMac OSと呼ぶようになった。

MIB

Management Information Baseの略。TCP/IP通信でのネットワーク管理用プロトコルのSNMPで、コンピュータ間でやり取りされる管理情報を定義したもの。

MOPYING

Multiple Original coPY and printINGの略。NECが提唱するコピー機の代わりにプリンターでオリジナル印刷する新しい「印刷スタイル」。

MP

Multi Purposeの略。いろいろな種類の用紙をセットできる給紙機構のこと。

MS-DOS

Microsoft Disk Operating Systemの略。マイクロソフト社が開発したOSのひとつ。現在のパソコンの基礎となったオペレーティングシステム。

NetBEUI

ネットビューイと読む。IBMによって開発された小規模LAN用のプロトコル。主にLAN ManagerをネットワークOSにしたときに用いられる。

NetWare

ノベル社が開発したネットワークOS。プロトコルにはIPX/SPXが用いられる。

NMPS

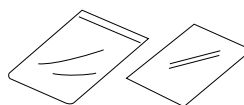
NEC MultiWriter Printing Systemの略。Windowsで使用するプリンターの機能を向上させ、より速く印刷し、より簡単に操作できるためのシステム。

NPDL

NEC Printer Description Languageの略。NECプリンター記述言語。

OHPフィルム

OHP(オーバーヘッドプロジェクター)用の透明なシート。プレゼンテーションなどに使用する。本プリンターで印刷するときは、MPまたは手差しを用いる。



OPC

Organic Photo Conductorの略。有機光電導体。ドラムカートリッジのドラムに用いられる有機材。一様に帯電させ、表面に光を照射すると照射量に応じて電荷が失われる現象を利用して潜像を形成する。

OS

Operating Systemの略。オペレーティングシステム。コンピュータのハードウェア、ソフトウェアを有効に利用するために総合的管理を行うソフトウェアのこと。本書では特に区別して説明する場合、MS-DOSやWindowsなどプログラムの実行管理などを行う基本的なソフトウェアを「基本OS」、Windows 2000、Windows NTやNetWareなどネットワークを強く意識したOSを「ネットワークOS」と呼ぶことがある。

ping

packet internet groperの略。インターネットなどのTCP/IPネットワークで相手のコンピュータに小さなパケットデータを送り、その戻り時間により相手先コンピュータや通信回線の状況をチェックするのに利用するコマンド。(→TCP/IP)

PrintAgent

双方向通信により、印刷状況の確認、プリンターの設定をコンピューター画面上から実現したソフトウェア。NEC MultiWriterシリーズに搭載。

RGBガンマ

Red Green Blueガンマ

使用しているモニターで中間トーンをどの程度調整する必要があるかを示すもの。専門的にはモニターの特性曲線を線形にするのに使用される指数。

SET

Sharp Edge Technologyの略。NECのMultiWriterシリーズに採用されている高精細印字機能。

SNMP

Simple Network Management Protocolの略。ネットワーク管理プロトコル的一种。事実上TCP/IPを使ったネットワーク管理の標準。コンピューター間はMIBで定義された管理情報がやり取りされる。(→MIB)

TCP/IP

Transmission Control Protocol/Internet Protocolの略。ネットワークのプロトコルのひとつ。UNIXをはじめWindows Me/98/95、Windows 2000、Windows NT 4.0/3.51、Macintoshなど、主要なOSでサポートされる世界的な標準プロトコルになっている。

TrueType

アップルコンピュータ社とマイクロソフト社が開発したソフトウェアで、Macintosh/Windows用のアウトラインフォントを用いた画面表示と印刷を行う。どんなアプリケーションソフトからでも利用できるアウトラインフォントが使えるので、文字サイズが大きくなってもギザギザにならない。

UNIX

AT&T社のベル研究所で開発された一般的にワークステーションで用いられるOS。プロトコルはTCP/IPを用いるのが標準的。クライアント・サーバシステムにおいてはUNIXマシンをサーバーにする例が多い。

USB

Universal Serial Busの略。キーボード、マウス、スピーカー、モデム、プリンターなどの周辺機器とコンピューターの間を統一したコネクタとケーブルで接続できるインターフェース。本プリンターではUSBコネクタを装備しないがUSBプリンターケーブルを使ってプリンター装備のセントロニクス仕様準拠コネクタとコンピューターのUSBコネクタを結ぶことができる。

WAN

Wide Area Networkの略。広域情報通信網。離れた場所のLAN同士を接続するネットワークのこと。一般の電話回線や専用回線などを介して接続する。

Windows 2000

マイクロソフト社が開発したOSのひとつ。Windows NTの堅牢性とWindows 98の機能を合わせ持つ、ローエンドからハイエンドまですべての領域をカバーするOS。Windows NT 4.0の後継にあたる。

Windows 95

マイクロソフト社が開発した個人ユーザー向けOS。Windows 3.1の後継にあたる。

Windows 98

マイクロソフト社が開発した個人ユーザー向けOS。Windows 95の後継にあたる。不具合の修正と機能の強化を図ったアップデート版としてWindows 98 Second Editionもある。

Windows Me

マイクロソフト社が開発した個人ユーザー向けOS。Windows 98の後継にあたる。主にマルチメディア、ネットワークなどの機能強化が図られた。

Windows NT

マイクロソフト社が開発したOSのひとつ。サーバーとして用いられることが多い。

Windowsアプリケーション

Windows専用のソフトウェアプログラムの総称。

WWW

World Wide Webの略。インターネットに公開されている情報を検索するためのシステムのひとつ。ユーザーはWebブラウザーを通して情報の検索や閲覧を行う。

五十音順

アイコン

アプリケーションやドキュメントなどWindowsのいろいろな要素を表す小さな絵。



アウトラインフォント

文字の形を直線や曲線で表された輪郭として記憶し、出力時にその文字データを論理的に処理して表現すること。文字サイズの自由な設定や文字の変形が可能となり、ドット密度に関係なく美しい文字を表現できる。

アドミニストレーター(Administrators)

管理者という意味。ネットワークやシステムの管理を行う最高の権限を持っている人。システムアドミニストレーターと呼ぶこともある。(→システム管理者)

アプリケーション

文書作成や作図など特定の作業に使うプログラム。

アンインストール

インストールしたソフトウェアを削除し、インストール前の状態に戻すこと。

イーサネット(Ethernet)

LANの伝送路に関する規格。米ゼロックス社と米ディジタルイクイップメント(DEC)社と米インテル社が協同で開発、規格した。3社の頭文字をとってDIX規格と呼ぶこともある。IEEE802.3標準の伝送速度10Mbpsの規格とほぼ同義。コンピューター同士をどのようなケーブルで結び、どのような信号で、どうやり取りするかなどを決めている。同軸ケーブル上で電波を使って通信する仕組みで、複数の端末が通信するために、CSMA/CDという信号制御方式を採用している。現在では同軸ケーブルではなくツイストペアケーブルを使うことが多い。

イニシャライズ

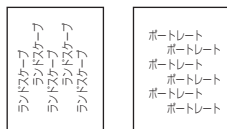
初期状態にすること。例えば、メモリーの内容を全部ゼロにしたり、プログラム中のカウンタをゼロにしたりすること。

印刷ジョブ

アプリケーションで作成された文書を印刷する作業単位のこと。スプールされて印刷待ちに追加されるか、直接プリンターに送られる。

印刷の向き

用紙に対して文字やグラフィックが印刷される方向。横長(ランドスケープ)と縦長(ポートレート)がある。



印刷範囲

プリンター用紙に印刷ができる限界のこと。用紙の上下および左右の余白部分を除いた印刷可能領域を指す。

インストール

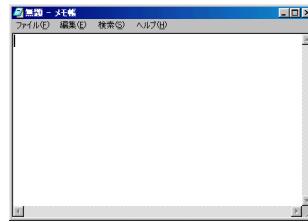
一般にはシステムや装置を設置するという意味。ソフトウェアではOSやアプリケーションをコンピューターに組み込むという意味。

インターフェース

2つの装置<デバイス>を通信できるように接続するための仕様、ケーブルシステム。

ウィンドウ

アプリケーションやドキュメントが表示される画面上の領域で、開いたり、閉じたりすることができる。



ウォームアップ

プリンターの電源をONにした後、ヒートローラーが一定の温度になり印刷が可能になるまでの状態をいう。「節電モード」状態になっている場合、ヒーターをOFFにしているが、印刷データの受信を待たずともプリンタステータスウィンドウのウォームアップボタンをクリックすることによりウォームアップをただちに開始できる。

エミュレーション機能

他の装置(プリンター)のために開発されたソフトウェアの制御コードをこのプリンターで使用できるようにする機能。たとえば、PC-PR201系シリアルプリンターの制御コードが使用できる場合を201PLエミュレーションと呼ぶ。この機能を実現するためのプログラムをエミュレーターと呼ぶ。

エリート文字

1インチ当たり12文字の等間隔で印刷する文字のこと。タイプライターが使われていた頃からの用語。

解像度

プリンターが文字や画像を印刷するときの細かさのこと。1インチ(25.4mm)当たりのドット数で表す。

拡張子

MS-DOS、Windowsなどでファイル名の最後に付加する文字列で、ファイルの種類を表すためのもの。ピリオドに続けて表記される。「.txt」や「.jpg」など。

拡張制御コード

制御コードのうち、ESC(1BH)、FS(1CH)、のように後に続くコードと組み合わせで機能を表すコードをいう。(←基本制御コード)

紙づまり

用紙がつまってプリンターが動作しなくなった状態をいう。

かんたん設定

Windows 2000/NT 4.0のプリンタードライバでのみ使える機能。[印刷設定]ダイアログボックスの[メイン]シート右上のリストビュー。リストビューのアイコンをクリックすると、プリンターで登録済みの設定や、ユーザーが用途に合わせて登録した設定が読み込まれる。

輝度

モニターなどの画面の明るさ。

機能選択バー

Windows 2000/NT 4.0のプリンタードライバーでのみ使える機能。[印刷設定]ダイアログボックスの[メイン]シート左側にある縦向きのバー。ボタンをクリックすると[複数ページレイアウト]、[リプリント]などの機能の設定項目が[メイン]シート右下に表示される。

基本制御コード

制御コードのうち、CR (0DH)、LF (0AH)のように単独で機能を表すコード。(↔拡張制御コード)

クライアント

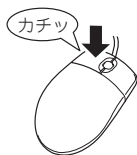
ネットワークを介して他のコンピューター(またはサーバー)にアクセスしている利用者または、利用者のコンピューター。

クライアント・サーバー(システム)

中規模/大規模のネットワークに適した接続形態。専用のコンピューター(サーバー)が共有の資源(ハードディスクやプリンター)を管理し、接続を許されたコンピューター(クライアント)が利用できるようにしたもの。本書ではクライアント・サーバー型ネットワークとも呼んでいる。(→ピア・ツー・ピア)

クリック

マウスのボタンを押して素早く放す操作のこと。



グレースケールイメージ

白黒写真のように色彩情報がなく、ドットの多少により明暗を表現するグラフィックスイメージ。(→ハーフトーン)

現像ユニット

OPCドラム上に形成された潜像に、負帯電させたトナーを付着させる役を持つ。ドラムカートリッジに内蔵されている。

コマンド

コンピューターに行わせたい作業を実行するために選択または入力する命令。

コンデンス文字

1インチ当たり約17文字で印刷する文字のこと。タイプライターが使われていた頃からの用語。

コントラスト

グラフィックなどの明るい部分と暗い部分の差の度合い。

コントロールパネル

Windowsで、キーボードやマウスの使用条件、スピーカーの音量、スクリーンセーバーの種類などパソコンのさまざまな設定を行うための画面をいう。

サスペンド機能

データやプログラムを作業時の状態のままにしてパソコンの動作を一時停止させる機能。

システム管理者

コンピューターシステムを管理する人。あるグループ全体のコンピューターや周辺装置、ソフトウェアなどシステムを構成する様々な要素に関する情報をもとに、システムが効果的に運用できるように管理する。

自動給紙

カット紙(単票用紙)を連続して自動的に給紙することという。

自動排出

コンピューターからのデータが一定時間なかったとき、プリンター内のデータを自動的に印刷して排出する機能。

シリアルプリンター

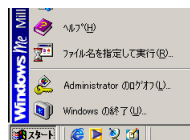
文字単位で印刷を行うプリンターの総称。

ジョブ結合

PrintAgent リプリント2で実現する機能。これを利用すると一度印刷してスプールしてあるドキュメントを組み合わせて、一つにまとめて印刷することができる。再印刷のために複数のアプリケーションを起動する手間を省くことができる。

[スタート]ボタン

Windows Me/98/95やWindows 2000、Windows NT 4.0でアプリケーションソフトの選択、起動、ファイルの検索、Windowsの終了などを行うことができるボタン。



ステータス印刷

テスト印刷のうちのひとつ。給紙構成や動作モード、メモリースイッチの設定状態などプリンターの状態を印刷するもの。

スプール

ドキュメント(文書)を印刷する場合に印刷データをコンピューターのハードディスクにファイルとしていったん保存して、保存した順にプリンターに送ること。これによりプリンターが印刷を終了するのを待たずにコンピューターでは別の作業を行うことができるようになる。プリンターに送り終えたファイルは自動的に消去される。

制御コード

プリンターの動作を制御するためのコード。印刷データと異なり印刷されない。たとえば、CR(改行コード)やFF(改ページ)など。

セントロニクス・インターフェース

旧セントロニクス社が開発したプリンターとコンピュータ間の通信仕様。仕様名として当時の会社名がそのまま使われている。8ビットパラレルデータに制御信号を加えてプリンター用のインターフェース規格として広く使用されている。本プリンターは標準の36ピン・パラレルコネクタで利用できる。

双方向通信

コンピュータとプリンターの間で、情報のやり取りをする通信形態のこと。PrintAgent機能を実現するための必須条件。コンピュータから印刷データが送られるだけでなく、プリンターからもコンピュータに情報を送ることができるので、印刷の状況がプリンタステータスウィンドウのアニメーションと音声で、正確にわかる。双方向通信にはセントロニクスインターフェースが双方向通信可能なプリンターインターフェースを装備したコンピュータであるかネットワークで接続されていることが必要。

ソフトウェア

コンピュータやプリンターなどハードウェアに作業を実行させるための命令の集まり。プログラム、アプリケーション、オペレーティングシステム、プリンタードライバーなどの総称。(↔ハードウェア)

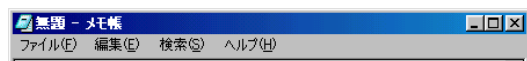
ダイアログボックス

設定や操作のために画面に表示されるボタンやリストボックスを持ったウィンドウ。



タイトルバー

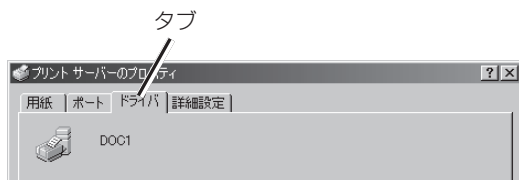
ウィンドウやダイアログボックスのタイトルを示す、横向きのバー。多くのウィンドウでは、[コントロールメニュー]ボックスや[最大表示]、[アイコン化]、[最小化]ボタンなどもついている。



タブ

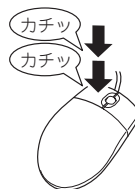
Windowsでは、ダイアログボックスの中に複数の設定画面(シート)がある場合に表示されるインデックスタイプのつまみ。

ワープロなどでカーソルの移動機能を指すこともある。



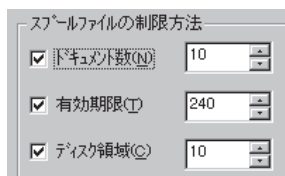
ダブルクリック

マウスのポインター(矢印)を動かさず、マウスのボタンを素早く2回押して放す動作。アプリケーションを起動するときなどに使う。



チェックボックス

ダイアログボックスの中の小さな正方形で、ON/OFFの切り替えができるオプション(機能)を示す。オンにするとチェックボックスに×や✓印が表示される。



通常使うプリンタ

アプリケーションで[印刷]コマンドを実行し、プリンターの指定を省略したときにその印刷データを印刷するプリンター。

坪量

用紙の重さを表す単位。用紙1枚1m²単位の重さをいう。(本マニュアルで使用している用紙の坪量は、64.0g/m²)。

ツールバー

ウィンドウのメニューバーの下ボタンがついている部分。

定着ユニット

用紙上のトナーを熱によって溶かし、圧力を加えて用紙に固定させるためのもの。ヒートローラーとプレッシャーローラーで構成されている。

テスト印刷

プリンターが正常に動作していることを確認するためのもの。

電子ソート

複数部数を印刷する場合にコンピューターから一部目だけ印刷データを送り、二部目以降はプリンターのメモリー上で印刷データ処理を行う機能。オプションの増設メモリーをプリンターに取り付けることで実現する。

ドライバー

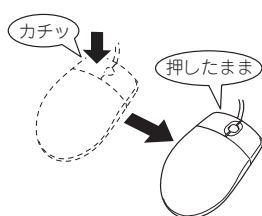
周辺装置やそのインターフェースをコントロールするプログラム。
(→プリンタードライバー)

ドライブ名

ハードディスク内やフロッピーディスクドライブ、CD-ROMドライブなどの領域に割り当てられている文字。「A」や「C」など。

ドラッグ

マウスのボタンを押したまま、マウスを動かす動作。例えば、ウィンドウのタイトルバーをドラッグするとウィンドウを移動させることができる。



ネットワーク

複数のコンピューターや周辺機器をケーブルまたは他の手段を用いて接続し、情報交換したり機器を共有したりできるようにしたコンピューターの集団。

ハードウェア

コンピューター本体、キーボード、マウス、コンピューターやプリンターなどコンピューターシステムを構成する個々の機器またはそれらの総称。(↔ソフトウェア)

ハーフトーン

画像を表示・出力する際に、一定間隔の点(網点)に分解し、それぞれの黒い点の大きさを変えることで濃淡を表現する。大きい点は濃いグレー、小さい点は薄いグレーになる。

バッファフル

ページバッファに1ページ分の印刷データがたまるところをバッファフルという。バッファフルになると、自動的にそのページの印刷を行う。

ハブ

LANでコンピューターなどの端末を放射線状に配線する際、中心に配置する集線装置。一般には10BASE-Tや100BASE-TXのLANケーブルを接続する集線装置を指す。RJ-45のジャックを4〜32口程度持つ箱で、各コンピューターのLANボードとツイストペアケーブルで接続して使う。動作によってリピーターハブとスイッチングハブ(スイッチ)に大別できる。

パラレルインターフェース

同時に複数の信号を並列に送るデータ転送方式、あるいは物理的な接続コネクタのこと。MultiWriterとコンピューター間ではセントロニクス仕様に準拠した方式(IEEE 1284規格準拠双方向パラレルインターフェース)が用いられる。

ピア・ツー・ピア

小規模のネットワークに適した接続形態。専用のサーバーコンピューターを必要とせず、コンピューターどうし、コンピューターとプリンター間で相互に通信が可能となる。本プリンターをピア・ツー・ピア接続して使用するためにはLANボード/LANアダプターが必要。本書ではピア・ツー・ピア型ネットワークとも呼んでいる。(→クライアント・サーバー)

ヒートローラー

定着ユニットにあり、プレッシャーローラーとともに熱と圧力でトナーを定着させる働きをする。

ピクセル

Pixel(Picture elementからの合成語)。画素とも言う。ディスプレイの画面に表示できる情報の最小単位。

ビットマップ

画面やプリンターに出力されるイメージを表す連続した点の集合。

フォーム印刷

見出し文字や罫線枠などのフォームデータを文章データと重ね合わせて印刷すること。フォームデータを作成するには別売のアプリケーションが必要。

フォント

同じ外観、サイズ、スタイルの文字、数字、記号またその他のシンボル等の集合。

不揮発性メモリー

電源をOFFにしても記憶した内容が消えないメモリー。

ブラウザー

インターネット上のWebページを閲覧(ブラウズ)するためのソフトウェア、WWWブラウザーとも呼ぶ。主なものに、Microsoft Internet Explorer やNetscape Navigator がある。

ブラシパターン

図形を塗りつぶすためのある一定のパターン。

プリンターケーブル

コンピューターとプリンターを接続するケーブル。

プリンタードライバー

コンピュータとプリンターの間のやり取りを仲介するプログラム。インターフェースやフォントの指定、インストールされたプリンターの機能などの情報を、OSに提供する。

プリンターバッファ

一般にコンピュータの処理速度は速くプリンターの処理速度は遅い。したがって、プリンターでの印刷をしている間コンピュータは何もしないで待つという状態が発生する。そこで、コンピュータから送られたデータをいったん記憶装置に蓄え、プリンターの処理に合わせて順次その記憶装置からプリンターに印刷データを送ることにする。これによってコンピュータは印刷の終了を待たずに印刷処理から解放され、別の仕事を行うことができる。この記憶装置をプリンターバッファと呼ぶ。

プリンタープール

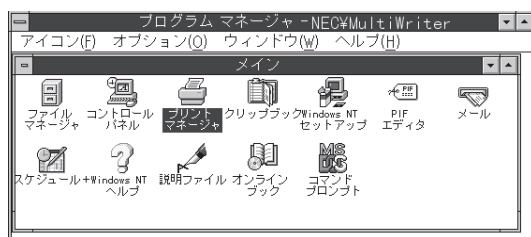
複数の同じ印刷装置をひとつの論理プリンターとして関連づけて印刷を行うこと。

プリントマネージャ

Windows 3.1やWindows NT 3.51オペレーティングシステムの一部で、Windowsアプリケーションからの印刷をコントロールし、印刷作業の監視も行う。

プログラムマネージャ

Windows 3.1やWindows NT 3.51の操作の基本となるウィンドウ。全体を管理しているもの。



プロトコル

コンピュータが他のコンピュータや周辺機器と通信するための規約。

プロパティ

ファイルやソフトウェアなどの固有の情報。フォントやウィンドウの色などさまざまな情報の設定、状態などを表す。プリンターの設定状態などを示す用語として広く使われている。

プロポーショナル文字

印刷される文字ごとに、文字幅が異なる文字のこと。

ページ記述言語

1 ページ分のテキスト(文字)やグラフィック(図形)のデータ、位置情報などを正確に表すための言語。

ページプリンター

ページ単位で印刷を行うプリンター。1ページ分のデータをプリントイメージとしてメモリー上に展開(作成)して印刷を行うプリンターのこと。

ポイント(マウスの)

マウスのポインターを目的の項目の上に置く動作。

ポイント(文字の)

印刷される活字の大きさの単位で、1ポイントは1/72インチ。

ポート

コンピュータが外部とデータをやり取りするとき使用するケーブルの接続部分。

ポートレート

用紙を縦長にした内容で印刷する印刷フォーマットのこと。(↕ランドスケープ)



ボタン

ダイアログボックス中のボタンの絵。選択した動作の実行やキャンセルを行う。[OK]ボタンや[キャンセル]ボタンなどがある。



マウスポインター

マウスの動きに応じて画面上を移動する矢印の形をしたマーク。ポインターの形は設定やアプリケーションによって異なる。

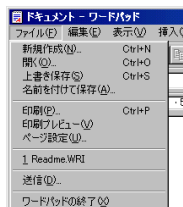


丸め誤差

四捨五入や切り捨て、切り上げなどで、切りのいい数字にすることによって生じた誤差。

メニュー

ウィンドウで使用できるコマンドの一覧。メニュー名をクリックするとメニュー名に関連するコマンドの一覧が表示される。



メニューバー

すべてのメニュー名が表示されるバー。ほとんどのアプリケーションで、このバーは、タイトルバーの下に表示される。



メモリー

データを保存する装置。または情報やプログラムの一時的な記憶場所。

メモリースイッチ (MSW)

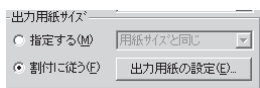
不揮発性メモリーを利用してプリンターのさまざまな設定を行うスイッチ。機械的にON/OFFを切り替えるスイッチではなく、電氣的に切り替えるスイッチ。

メモリースイッチ設定モード

プリンターの設定をプリンターの操作パネルを使ってメニュー形式で行うモード。

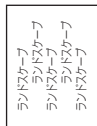
ラジオボタン

ダイアログボックスで複数の項目の中から一つを選ぶためのボタン。どれかを選択すると、それまでONだったものが連動してOFFになる。



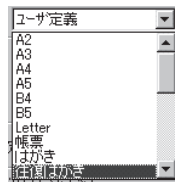
ランドスケープ

用紙を横長にした内容で印刷する印刷フォーマットのひとつ。(↔ポートレート)



リストボックス

ユーザーに対して項目の一覧を表示するためのボックス。通常、現在選択されている項目を表示している。



リブプレート

転写後の用紙を定着ユニットまで正しく送り込むための用紙ガイド。

リプリント

一度印刷した印刷データのスプールファイルを利用して再印刷する機能。この機能を使うと、いちいちアプリケーションを再起動する必要がない。標準シートとジョブ結合シートがある。

Windows Me/98/95/2000/NT 4.0の場合、PrintAgent リプリント2のウィンドウを使って実現し、その際に、丁合い、ジョブセパレート、両面印刷の設定も可能。



PrintAgent リプリント2のウィンドウ (MultiWriter 2800N)

連量

用紙の重さを表す単位。一般に788×1091mmのサイズの用紙1000枚当たりの重さをいう(本マニュアルで使用している用紙の連量は、70kg)。

ローカルプリンター

コンピューターと直接プリンターケーブルで接続しているプリンター。

索引

記号

136桁モード有効/無効	121
16進ダンプ印刷	117
1バイト系コード	121, 308
1バイト系ゼロ	118
2バイト系コード	309
2バイト系ゼロ	118
7ビット/8ビットデータの切り替え	121

A

A4ポートレート桁数	119, 121
ANK	118

C

CD-ROMからのインストール	48
CPU	295, 296, 297
CR機能の切り替え	121

D

DC1、DC3の有効/無効	121
DHCP	265
DocuWorks	10, 134, 143

E

EASY設定ユーティリティ	266
EPカートリッジ	17
～の回収と購入	186
～の交換	185, 187
～の寿命	188
～の種類	186
～を取り付ける	22
ESC/P	108
ESC/Pエミュレーションモード	129

F

FD作成	62
FSfコマンド	122

I

I/F設定メニュー	119
Internet Printing Protocol	278
IPP	
Windows 2000 日本語版	278
Windows 95 日本語版	273
Windows 98 日本語版	273
Windows Me 日本語版	270
Windows NT 4.0 日本語版	284
～印刷の設定	261
IPPサーバー	262
IPアドレスの設定	265
EASY設定ユーティリティ	266
PrintAgentプリンタ管理ユーティリティ	267

L

LANアダプター	
LANアダプタ(TCP/IP)	234
PR-NP-03TR2 LANアダプタ(TCP/IP)	239
PR-NP-02T2 LANアダプタ(TCP/IP)	240
LAN初期化	119
LANステータス印刷	117
LANボード	
LANボード(TCP/IP)	239
PC-PR-L01 マルチプロトコルLANボード	238
PC-PR-L02 マルチプロトコルLANボード	238
PR-WL-11 無線LANプリンタボード	238
～用スロット	20, 21
LPR	
Windows 2000 日本語版	280, 281
Windows NT 4.0 日本語版	288
～印刷の設定	261
lprコマンド	291
LPRバイトカウント機能	283

M

Macintosh	
PR-2200NW2-21 拡張プリンタドライバ	241
PR-SW-DR01 拡張プリンタドライバ	240
Microsoft TCP/IP印刷(LPR)	288
Microsoft TCP/IP印刷サービス	289
MOPYING	6
MPカセット	20, 21
MP定形外用紙	117
MP微調整	118
MP用紙種別	117
MS-DOS	87
環境での両面印刷設定	88
プリンターを選択する	87
両面印刷のために必要な設定項目	88

N

NEC e-mailメンテナンス	135
NEC Network Port	75
NEC TCP/IP Port	49, 63
NEC TCP/IP Printing System	75
NECサービス網一覧表	17
NPD L	108

O

OHPフィルム	99, 108, 299
OS	298

P

PC-PR201	88
PC-PTOS環境 ～でプリンターを選択する	90
PrintAgent システムアイコン	51
～システムが起動しないときは	206
～の削除	82
～の追加	82
～を正しく動作させるために	212
「PrintAgent」ツールバー	134, 136
PrintAgentプリンタ管理ユーティリティ	267
PrintAgent リプリント2	51, 141, 143
Printer-MIB	238, 239, 240
PSWのプロパティ	209
putコマンド	291

S

SETを使用する/しない	122
SNMP	291
Standard TCP/IP Port (LPR)	281

T

TCP/IP	45, 289
--------------	---------

U

UNIX	280, 291
UNIXコマンド	265, 268
UNIX用印刷サービス (LPR)	280
USBプリンタケーブル	237

W

Web PrintAgent	135
Windows 2000 日本語版	48, 56, 59, 84, 278
Windows 3.1 日本語版	73, 81
Windows 95 日本語版	48, 54, 59, 75, 78, 273
Windows 98 Second Edition 日本語版	65
Windows 98 日本語版	48, 59, 65, 67, 75, 76, 78, 79, 273
Windows Me 日本語版	48, 59, 65, 78, 270
Windows NT	291
Windows NT 3.5 日本語版	87
Windows NT 3.51 日本語版	72, 80
Windows NT 4.0 日本語版	48, 59, 70, 77, 80, 284

ア

厚紙	299
アラーム表示が出ているときは	195

イ

イーサネットインターフェースコネクタ	20
印刷 思うように～できないときは	201
～が薄い	198
画像面積比5%の～例	188
グレー～ができない	199
白く抜ける	200
～速度	295, 296, 297
縦線や横線が入る	199
～できないときは	193
～に異常が見られるとき	198
にじむ	198
ネットワークで思うように～できないときは	290
～方向	108
真っ黒	199
～を中止する	138
印刷位置 ～をずらす	135
～の調整	181
印刷指令の切り替え	121
印刷範囲	300
印刷ログ出力	135
印字濃度	117
インストール媒体の作成	62
インストール方法の選択	46
インターフェース	295, 296, 297
[インタフェース1] コネクタ	20, 21
[インタフェース2] コネクタ	20, 21
[インタフェース3] コネクタ	20

ウ

ウォームアップ	139, 295, 296, 297
運搬	231

エ

エミュレーション	119
エミュレーションモード	121
エンドガイド	24

オ

お客様登録申込書	227, 17
オプション品	233, 235
重さ(質量)	295, 296, 297
温度制御	118
オンラインマニュアル	iv, 44

カ

海外でのご使用	230
解像度設定	118, 121
各国文字の切り替え	121
拡大・縮小印刷	146
～拡大・縮小率を指定する	178
～する	134
～の設定	176
～用紙サイズを指定する	179
カセット	20, 21
MPカセット	20, 21, 236
増設カセット(250)	234, 236
増設カセット(500)	236
標準カセット	20, 21
カセットカバー	24
紙づまり	
給紙部の～	223
～処理後の確認	226
手差し部の～	225
～の処理	221
～のときは	217
～の発生箇所	217
本体部の～	221
両面部の～	223
環境	295, 296, 297
漢字	118
かんたん設定	
ユーザー設定の削除	155
ユーザー設定の登録	154
管理銘板	227

キ

給紙方法	128
------------	-----

ク

国別	118
クライアント	213
グラフィックモード	121
クリーニングキット	189
クリッピング機能について	89
クリップ	118
グループプリンタ	148, 316
グレースケールの網点の切り替え	121

ケ

ケーブル	
使用できるコンピューターとプリンター～	260
ネットワークケーブル	31, 36
契約保守	228

コ

購入	
EPカートリッジの～	186
固定用部材	18
コピー枚数指定	117
コンピューター	
～に接続する	29
使用できる～とプリンターケーブル	260
コンフィグレーションページ	
工場出荷時の印刷例	35
設定変更後の印刷例	35

サ

サーバー	213
IPPサーバー	262
プリントサーバー	267
プロキシーサーバー	273, 284
再印刷	7
サイドガイド	24
サイドガイドロックレバー	24, 97, 100
サブネットマスク	33, 39
サンプル印刷	117

シ

自動排出	118
自動復帰改行の切り替え	121
修理	230

縮小／拡大モード	108
出張修理	228
出力用紙サイズ	176
寿命	
消耗品	295, 296, 297
製品	295, 296, 297
仕様	295
消費電力	295, 296, 297
情報サービス	229
除電針	191
ジョブ結合	143
～の設定	167
ジョブセパレート	
～を使った仕分け印刷	145
ジョブセパレート機能	117, 144
～が動作しないときは	211
～の設定	169
仕分け印刷	134, 143, 144
～の設定	169

ス

スイッチ	110
[MP]スイッチ	111
[印刷可]スイッチ	110
[印刷方向]スイッチ	112
[▲]スイッチ	114
[▼]スイッチ	114
[▶]スイッチ	114
[◀]スイッチ	114
[シフト]スイッチ	114
[縮小]スイッチ	112
[ストップ]スイッチ	111
[設定変更]スイッチ	114
[手差し]スイッチ	115
[排出]スイッチ	115
[ホッパ]スイッチ	112
[メニュー終了]スイッチ	114
[メニュー]スイッチ	112
[リセット]スイッチ	115
[両面]スイッチ	111
スタッカー	20, 21
スタック容量	295, 296, 297
ステータス印刷	117
スライドカセットロック	97, 100
寸法	295, 296, 297

セ

清掃	189
～箇所と時期	189
～手順	190
プリンターの表面	192
リブプレート	190

設置	11, 13
～してはいけない場所	16
～に必要なスペース	15
～に必要な高さ	242
設定初期化メニュー	118
節電機能	118
節電モード	123

ソ

騒音	295, 296, 297
操作パネル	20, 21, 93, 107
増設ホッパの種類	122
増設メモリー	241
テスト印刷	259
～の設定方法	173
～の取り付け	257
～の取り外し	259
双方向通信	139, 214

タ

ダイヤルアップルーター	262, 273, 284
縦置き	95, 169

チ

丁合い機能	144
～の設定	171

テ

データストローブ	91
データラッチタイミング	122
定形外サイズ用の紙に印刷する	135
定形用紙	300
ディスプレイ	108
手差し定形外用紙	117
手差しの用紙種別	117
手差し微調整	117
手差し用紙サポート	103
デジタル署名	57, 69
テスト印刷	
増設ホッパー	248
増設メモリー	259
～をする	27
電源	295, 296, 297
電源コード	17
～を接続する	26
電源コネクタ	20, 21
電源スイッチ	20, 21
電子ソート機能	145, 315
～の設定	173

ト

同期コードの有効/無効	122
動作エミュレーション	119
～の切り替え	129
動作自動切り替え	119
緩じしろ	117
ドット間隔	295, 296, 297
トップカバー	20, 21
トナー節約機能	117
トレーモード	123

ニ

日本語ページプリンタ言語NPDL (Level 2) リファレンス マニュアル	234, 241
--	----------

ネ

ネットワーク	
～に接続する	30
～の回線速度が遅い	212
ネットワーク印刷	262
ネットワーク共有プリンタ	49

ハ

廃棄するときは	231
はがき	99, 299
箱の中身を確認する	17
パスワードの設定	58, 61
パラレルインターフェースコネクタ	20, 21
バルーンメッセージ	136

ヒ

ビジアクノリッジ	122
ピックアップ	
手差し部	220
～の処理	219
用紙カセット	219
標準カセット	20, 21
表面微調整	118

フ

封筒	299
フォーム登録	196
フォント	298
複数ページ印刷	147
～する	134
～の設定	180

ブザー機能の有効/無効	121
普通紙	299
プラグ・アンド・プレイ	46, 52, 67
プリンター	
～の構成情報	138
～の自動切替	135, 148
プリンター管理者	58
プリンターケーブル	260
プリンターソフトウェア	
～CD-ROMについて	44
～の動作環境	45
～の容量	45
プリンターソフトウェアCD-ROM	17
プリンターソフトウェアのインストール	43
CD-ROMからのインストール	48
印刷先の変更	75
プラグアンドプレイによるインストール	52
プリンタードライバーのみのインストール	65
プリンターの設置	11, 13
プリンター一覧	51
プリンタ管理ユーティリティ	135
プリンタステータスウィンドウ	134
～がおかしいときは	207
プリントサーバー	163, 267
プロキシーサーバー	273, 284
プロッターエミュレーションモード	130
プロッタ設定メニュー	119
フロッピーディスク	
～でインストールする場合	43
プロトコル	
IPP	270, 273, 278, 284
LPR	280, 281, 288
TCP/IP	289
プロパティダイアログボックス	
Windows 2000	151
Windows 3.1	160
Windows Me/98/95	149
Windows NT 3.51	158
Windows NT 4.0	155
フロントカバー	20, 21
フロントカバー開閉ボタン	20, 21
フロントユニット	20, 21
フロントユニット開閉レバー	20, 21
文書結合	134, 142, 167
文書統合	143

ヘ

ペーパーサポート	20, 21
----------------	--------

ホ

ポート	
～の追加	75, 76, 77
ポートレート	108, 300, 302
保守	185
～サービス	228
保守情報	
～をメール通知する	135
補修用部品	230
保証	227
保証書	17
ホッパー	20, 21, 235
増設ホッパー	242
～のステータス印刷の例	248
プリンターの設定	245
増設ホッパ(250)	234, 235
増設ホッパ(500)	234, 235
～の切り替え	246
～の設置に必要な高さ	242
～の取り付け	243
～の取り外し	249
～への用紙のセット	245
ホッパ1微調整	118
ホッパ2微調整	118
ホッパ3微調整	118
ホッパ4微調整	118
ホッパ初期設定	117

マ

マルチプロトコルLANボード	238
----------------	-----

ム

無線LANプリンタボード	238
--------------	-----

メ

メニューツリー	124
メニューモード	
～設定項目一覧	117
～の設定変更のしかた	116
メモリー	241, 295, 296, 297, 316
PR-MW-M002 増設メモリー	241
PR-MW-M003 増設メモリー	241
PR-MW-M004 増設メモリー	241
～の取り外し	259
メモリーオーバー時の動作指定	122
メモリースイッチ	
～の設定変更のしかた	120
～の内容	121
メモリースイッチメニュー	118
メモリー設定	118

モ

文字セット	118
持ち込み修理	228

ヨ

用紙	
～のセット	245
～をセットする	24
～が汚れている	198
使用できる～	94
～にしわが入る	198
～についての注意事項	94
～の裏が汚れる	199
～のセット方向	95
～の保管方法	98, 101
容量	295, 296, 297
用紙位置の設定	121
用紙位置微調整方向	121
用紙サイズ	94, 108
用紙サイズ設定ダイヤル	97, 100
用紙サイズ表示	20, 21
用紙メニュー	117
用紙をセットする	
MPに～	99
手差しに～	102
ホッパに～	96
横置き	95, 169
余白	117
より進んだ使い方	133

ラ

ラベル紙	99, 299
ランドスケープ	108, 300, 302
ランドスケープ方向の切り替え	121
ランプ	109
印刷可ランプ	109
送受信ランプ	20
データランプ	109
電源ランプ	109
トナーランプ	109
両面ランプ	109
リンクランプ	20

リ

リアカバー	20, 21, 25
リフトプレート	18, 96, 99
リブプレート	189
リプリント機能	134, 140, 141
～が動作しないときは	210
～の設定	162

裏面微調整	118
リモート電源	138
リモート電源制御	140
両面印刷	88, 134
～の設定	174
MS-DOS環境	88
リレー給紙	93
～の設定	117, 128

ル

ルーター	262
------------	-----

レ

レフトマージン量の設定	121
-------------------	-----

ロ

ローカルポート	49
---------------	----



当社は国際エネルギースタープログラムの参加事業者として、本製品が国際エネルギースタープログラムの基準に適合していると判断します。

高調波ガイドライン適合品

この装置は、経済産業省通知の家電・汎用品
高調波抑制対策ガイドラインに適合しています。

電波障害自主規制について

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会(VCCI)の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。

本書に従って正しい取り扱いをしてください。

なお、ネットワークオプション*(PR-WL-11 無線LANプリンタボードを除く)を取り付けた場合、この装置は情報処理装置等電波障害自主規制協議会(VCCI)の基準に基づくクラスA情報技術装置です。この装置を家庭環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。ただし、MultiWriter 2800をお使いの場合で、LANボード(TCP/IP)(型番:PR-L2800-NP)のみを取り付けた場合、クラスB情報技術装置です。

* ネットワークオプションについては本書の238ページを参照してください。

漏洩電流自主規制について

この装置は、社団法人電子情報技術産業協会(社団法人日本電子工業振興協会)のパソコン業界基準(PC-11-1988)に適合しています。

電源の瞬時電圧低下対策について

この装置は、落雷等による電源の瞬時電圧低下に対し不都合が生じることがあります。電源の瞬時電圧低下対策としては、交流無停電電源装置等を使用されることをお勧めします。

(社団法人電子情報技術産業協会(社団法人日本電子工業振興協会)のパーソナルコンピューターの瞬時電圧低下対策ガイドラインに基づく表示)

海外でのご使用について

この装置は、日本国内での使用を前提としているため、海外各国での安全規格などの適用認定を受けておりません。したがって、本装置を輸出した場合に当該国での輸入通関、および使用に対し罰金、事故による補償等の問題が発生することがあっても、弊社は直接・間接を問わず一切の責任を免除させていただきます。

NEC MultiWriter 2800N/2800/2300N ユーザーズマニュアル

2000年 11月 初版
2001年 8月 第4版

日本電気株式会社
東京都港区芝五丁目7番1号
